

青森市埋蔵文化財調査報告書 第120集

川原館遺跡・中道遺跡・ 東早稲田遺跡

発掘調査報告書

(第二分冊)

平成28年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第120集

川原館遺跡・中道遺跡・ 東早稻田遺跡

発掘調査報告書

(第二分冊)

平成28年度

青森市教育委員会

目 次

(第2分冊)

目次

図表・写真目次

第IV章 中道遺跡

第1節 概要	1
第2節 A区	1
第3節 B区	78
第4節 C区	121
第5節 D区	196
第6節 E・F区	231

第V章 東早稲田遺跡

第1節 概要	233
第2節 検出遺構	233
第3節 遺構外出土遺物	240

第VI章 自然科学分析

第1節 漆膜構造分析	242
第2節 樹種同定	249
第3節 中道遺跡・川原館遺跡出土木材の酸素同位体比年輪年代測定	256

第VII章 まとめ 260

引用参考文献 272

写真図版 273

報告書抄録

図表目次

図版目次

第286図	中道遺跡A区遺構配置図	2	第321図	中道遺跡A区SP区分図う	53
第287図	中道遺跡A区SK	5	第322図	中道遺跡A区SP区分図え・え(1)	54
第288図	中道遺跡A区出土遺物SK(1)	6	第323図	中道遺跡A区SPえ(2)	55
第289図	中道遺跡A区出土遺物SK(2)	7	第324図	中道遺跡A区SPえ(3)	56
第290図	中道遺跡A区SD(1)	17	第325図	中道遺跡A区SPえ(4)	57
第291図	中道遺跡A区SD(2)	18	第326図	中道遺跡A区SP区分図お・お(1)	58
第292図	中道遺跡A区SD(3)	19	第327図	中道遺跡A区SPお(2)	59
第293図	中道遺跡A区SD(4)	20	第328図	中道遺跡A区SPお(3)	60
第294図	中道遺跡A区出土土器SD(1)	21	第329図	中道遺跡A区出土土器SP	61
第295図	中道遺跡A区出土土器SD(2)	22	第330図	中道遺跡A区遺構外出土土器(1)	62
第296図	中道遺跡A区出土土器SD(3)	23	第331図	中道遺跡A区遺構外出土土器(2)	63
第297図	中道遺跡A区出土土器SD(4)	24	第332図	中道遺跡A区遺構外出土土器(3)	64
第298図	中道遺跡A区出土土器SD(5)	25	第333図	中道遺跡A区遺構外出土土器(4)	65
第299図	中道遺跡A区出土土器SD(6)	26	第334図	中道遺跡A区遺構外出土遺物	66
第300図	中道遺跡A区出土土器SD(7)	27	第335図	中道遺跡B区遺構配置図	79
第301図	中道遺跡A区出土土器SD(8)	28	第336図	中道遺跡B区SK	81
第302図	中道遺跡A区出土土器SD(9)	29	第337図	中道遺跡B区出土土器SK	82
第303図	中道遺跡A区出土土器SD(10)	30	第338図	中道遺跡B区SD(1)	87
第304図	中道遺跡A区出土土器SD(11)	31	第339図	中道遺跡B区SD(2)	89・90
第305図	中道遺跡A区出土土器SD(12)	32	第340図	中道遺跡B区SD(3)	91
第306図	中道遺跡A区出土土器SD(13)	33	第341図	中道遺跡B区出土土器SD(1)	92
第307図	中道遺跡A区出土土器SD(14)	34	第342図	中道遺跡B区出土土器SD(2)	93
第308図	中道遺跡A区出土遺物SD(1)	35	第343図	中道遺跡B区出土土器SD(3)	94
第309図	中道遺跡A区出土遺物SD(2)	36	第344図	中道遺跡B区出土土器SD(4)	95
第310図	中道遺跡A区SE・SN・SX	38	第345図	中道遺跡B区出土遺物SD	96
第311図	中道遺跡A区出土遺物SE(1)	39	第346図	中道遺跡B区SE・SN	97
第312図	中道遺跡A区出土遺物SE(2)	40	第347図	中道遺跡B区SX	98
第313図	中道遺跡A区SP分割図	45	第348図	中道遺跡B区SP分割図	102
第314図	中道遺跡A区SP区分図あ	46	第349図	中道遺跡B区SP区分図あ	103
第315図	中道遺跡A区SPあ(1)	47	第350図	中道遺跡B区SPあ(1)	104
第316図	中道遺跡A区SPあ(2)	48	第351図	中道遺跡B区SPあ(2)	105
第317図	中道遺跡A区SPあ(3)	49	第352図	中道遺跡B区SPあ(3)	106
第318図	中道遺跡A区SP区分図い・い(1)	50	第353図	中道遺跡B区SPあ(4)	107
第319図	中道遺跡A区SPい(2)	51	第354図	中道遺跡B区SPあ(5)	108
第320図	中道遺跡A区SPい(3)	52	第355図	中道遺跡B区SP区分図い・い(1)	109
			第356図	中道遺跡B区SPい(2)	110

第357図	中道遺跡B区SP区分図う・う(1) … 111	第394図	中道遺跡C区SPい(2) …………… 167
第358図	中道遺跡B区SPう(2) …………… 112	第395図	中道遺跡C区SPい(3) …………… 168
第359図	中道遺跡B区SP区分図え…………… 113	第396図	中道遺跡C区SPい(4) …………… 169
第360図	中道遺跡B区SP区分図お…………… 114	第397図	中道遺跡C区SPい(5) …………… 170
第361図	中道遺跡B区出土土器 SE・SN・SX・SP…………… 115	第398図	中道遺跡C区SPい(6) …………… 171
第362図	中道遺跡B区遺構外出土遺物 …… 116	第399図	中道遺跡C区SPい(7) …………… 172
第363図	中道遺跡C区遺構配置図 …………… 122	第400図	中道遺跡C区SP区分図う…………… 173
第364図	中道遺跡C区SB…………… 123	第401図	中道遺跡C区SPう(1) …………… 174
第365図	中道遺跡C区SK(1) …………… 127	第402図	中道遺跡C区SPう(2) …………… 175
第366図	中道遺跡C区SK(2) …………… 128	第403図	中道遺跡C区SPう(3) …………… 176
第367図	中道遺跡C区出土土器SK …… 128	第404図	中道遺跡C区SPう(4) …………… 177
第368図	中道遺跡C区SD(1) …………… 134	第405図	中道遺跡C区SP区分図え・え(1) … 178
第369図	中道遺跡C区SD(2) …………… 135	第406図	中道遺跡C区SPえ(2) …………… 179
第370図	中道遺跡C区SD(3) …………… 136	第407図	中道遺跡C区SP区分図お・お(1) … 180
第371図	中道遺跡C区SD(4) …………… 137	第408図	中道遺跡C区SPお(2) …………… 181
第372図	中道遺跡C区出土土器SD(1) …… 138	第409図	中道遺跡C区出土遺物SP…………… 182
第373図	中道遺跡C区出土土器SD(2) …… 139	第410図	中道遺跡C区遺構外出土土器(1) … 184
第374図	中道遺跡C区出土土器SD(3) …… 140	第411図	中道遺跡C区遺構外出土土器(2) … 185
第375図	中道遺跡C区出土土器SD(4) …… 141	第412図	中道遺跡C区遺構外出土土器(3) … 186
第376図	中道遺跡C区出土土器SD(5) …… 142	第413図	中道遺跡C区遺構外出土土器(4) … 187
第377図	中道遺跡C区出土土器SD(6) …… 143	第414図	中道遺跡C区遺構外出土遺物 …… 188
第378図	中道遺跡C区出土遺物SD …… 144	第415図	中道遺跡D区遺構配置図 …… 197
第379図	中道遺跡C区SE・SX …………… 146	第416図	中道遺跡D区SK(1) …………… 200
第380図	中道遺跡C区出土遺物SE(1) …… 147	第417図	中道遺跡D区SK(2) …………… 201
第381図	中道遺跡C区出土遺物SE(2) …… 148	第418図	中道遺跡D区出土土器SK …… 202
第382図	中道遺跡C区出土遺物SE(3) …… 149	第419図	中道遺跡D区SD(1) …………… 204
第383図	中道遺跡C区出土遺物SE(4) …… 150	第420図	中道遺跡D区SD(2) …………… 205
第384図	中道遺跡C区出土遺物SE(5) …… 151	第421図	中道遺跡D区出土遺物SD …… 206
第385図	中道遺跡C区出土遺物SE(6) …… 152	第422図	中道遺跡D区SE…………… 207
第386図	中道遺跡C区出土遺物SE(7)・SX … 153	第423図	中道遺跡D区出土遺物SE…………… 208
第387図	中道遺跡C区SP分割図…………… 160	第424図	中道遺跡D区SP分割図…………… 212
第388図	中道遺跡C区SP区分図あ…………… 161	第425図	中道遺跡D区SP区分図あ…………… 213
第389図	中道遺跡C区SPあ(1) …………… 162	第426図	中道遺跡D区SP区分図い・い(1) … 214
第390図	中道遺跡C区SPあ(2) …………… 163	第427図	中道遺跡D区SPい(2) …………… 215
第391図	中道遺跡C区SPあ(3) …………… 164	第428図	中道遺跡D区SP区分図う・う(1) … 216
第392図	中道遺跡C区SP区分図い…………… 165	第429図	中道遺跡D区SPう(2) …………… 217
第393図	中道遺跡C区SPい(1) …………… 166	第430図	中道遺跡D区SP区分図え・え(1) … 218
		第431図	中道遺跡D区SPえ(2) …………… 219

第432図	中道遺跡D区SPえ(3) ……………	220
第433図	中道遺跡D区SP区分図お・お(1) ……	221
第434図	中道遺跡D区SPお(2) ……………	222
第435図	中道遺跡D区SPお(3) ……………	223
第436図	中道遺跡D区SPお(4) ……………	224
第437図	中道遺跡D区SP区分図か……………	225
第438図	中道遺跡D区出土土器SP……………	226
第439図	中道遺跡D区遺構外出土土器……………	227
第440図	中道遺跡D区遺構外出土遺物……………	228
第441図	中道遺跡E区出土土器SD……………	231
第442図	中道遺跡E・F区SD……………	232
第443図	東早稲田遺跡遺構配置図……………	234
第444図	東早稲田遺跡SK・SD……………	235
第445図	東早稲田遺跡SP(1)……………	237
第446図	東早稲田遺跡SP(2)……………	238
第447図	東早稲田遺跡SP(3)……………	239
第448図	東早稲田遺跡遺構外出土遺物……………	240
第449図	川原館遺跡古代土器個体数比率……………	263
第450図	川原館遺跡非ロクロ・ロクロ 調整構成比(%)……………	263
第451図	川原館遺跡非ロクロ皿底部 調整比率(%)……………	263
第452図	川原館遺跡非ロクロ坏底部 調整比率(%)……………	263
第453図	川原館遺跡土師器皿口径分布……………	264
第454図	川原館遺跡土師器坏口径分布……………	264
第455図	川原館遺跡非ロクロ皿器高・底径 指数分布……………	264
第456図	川原館遺跡ロクロ調整皿器高・底径 指数分布……………	264
第457図	川原館遺跡非ロクロ坏器高・底径 指数分布……………	264
第458図	川原館遺跡ロクロ調整坏器高・底径 指数分布……………	264
第459図	中道遺跡古代土器個体数比率……………	268
第460図	中道遺跡非ロクロ・ロクロ 調整構成比(%)……………	268

第461図	中道遺跡非ロクロ皿底部 調整比率(%)……………	268
第462図	中道遺跡非ロクロ坏底部 調整比率(%)……………	268
第463図	中道遺跡土師器皿口径分布……………	269
第464図	中道遺跡土師器坏口径分布……………	269
第465図	中道遺跡非ロクロ皿器高・底径 指数分布……………	269
第466図	中道遺跡ロクロ皿器高・底径 指数分布……………	269
第467図	中道遺跡非ロクロ坏器高・底径 指数分布……………	269
第468図	中道遺跡ロクロ坏器高・底径 指数分布……………	269

表目次

第36表	中道遺跡A区SP観察表……………	41
第37表	中道遺跡A区出土土器観察表……………	67
第38表	中道遺跡A区出土木製品観察表……………	76
第39表	中道遺跡A区出土石器・ 石製品観察表……………	77
第40表	中道遺跡A区出土土製品観察表……………	77
第41表	中道遺跡A区出土鉄関連遺物 観察表……………	77
第42表	中道遺跡B区SP観察表……………	99
第43表	中道遺跡B区出土土器観察表……………	117
第44表	中道遺跡B区出土木製品観察表……………	119
第45表	中道遺跡B区出土石器観察表……………	120
第46表	中道遺跡B区出土鉄関連遺物 観察表……………	120
第47表	中道遺跡C区SP観察表……………	154
第48表	中道遺跡C区出土土器観察表……………	189
第49表	中道遺跡C区出土木製品観察表……………	193
第50表	中道遺跡C区出土石器・ 石製品観察表……………	195
第51表	中道遺跡C区出土鉄関連遺物 観察表……………	195
第52表	中道遺跡C区出土古銭観察表……………	195

第53表	中道遺跡D区SP観察表	208	写真図版13	検出遺構(12)	284
第54表	中道遺跡D・E区出土土器観察表	229	写真図版14	検出遺構(13)	285
第55表	中道遺跡D区出土木製品観察表	230	写真図版15	検出遺構(14)	286
第56表	中道遺跡D区出土石器観察表	230	写真図版16	検出遺構(15)	287
第57表	中道遺跡D区出土土製品観察表	230	写真図版17	検出遺構(16)	288
第58表	東早稲田遺跡SP観察表	236	写真図版18	検出遺構(17)	289
第59表	東早稲田遺跡出土土器観察表	241	写真図版19	検出遺構(18)	290
第60表	東早稲田遺跡出土木製品観察表	241	写真図版20	検出遺構(19)	291
第61表	東早稲田遺跡出土古銭観察表	241	写真図版21	検出遺構(20)	292
第62表	川原館遺跡遺構数	260	写真図版22	検出遺構(21)	293
第63表	中道遺跡遺構数	260	写真図版23	検出遺構(22)	294
第64表	東早稲田遺跡遺構数	260	写真図版24	検出遺構(23)	295
第65表	川原館遺跡古代土器種組成	263	写真図版25	検出遺構(24)	296
第66表	川原館遺跡非ロクロ坏構成比	263	写真図版26	検出遺構(25)	297
第67表	川原館遺跡ロクロ調整坏構成比	263	写真図版27	検出遺構(26)	298
第68表	川原館遺跡非ロクロ皿底部 調整比率	263	写真図版28	検出遺構(27)	299
第69表	川原館遺跡非ロクロ坏底部 調整比率	263	写真図版29	検出遺構(28)	300
第70表	中道遺跡古代土器種組成	268	写真図版30	検出遺構(29)	301
第71表	中道遺跡非ロクロ坏構成比	268	写真図版31	検出遺構(30)	302
第72表	中道遺跡ロクロ調整坏構成比	268	写真図版32	検出遺構(31)	303
第73表	中道遺跡非ロクロ皿底部調整比率	268	写真図版33	検出遺構(32)	304
第74表	中道遺跡非ロクロ坏底部調整比率	268	写真図版34	検出遺構(33)	305
			写真図版35	検出遺構(34)	306
			写真図版36	検出遺構(35)	307
			写真図版37	検出遺構(36)	308
			写真図版38	検出遺構(37)	309
			写真図版39	検出遺構(38)	310
			写真図版40	検出遺構(39)	311
			写真図版41	検出遺構(40)	312
			写真図版42	検出遺構(41)	313
			写真図版43	検出遺構(42)	314
			写真図版44	検出遺構(43)	315
			写真図版45	検出遺構(44)	316
			写真図版46	検出遺構(45)	317
			写真図版47	川原館遺跡出土遺物1	318
			写真図版48	川原館遺跡出土遺物2	319
			写真図版49	川原館遺跡出土遺物3	320
			写真図版50	川原館遺跡出土遺物4	321
写真図版					
写真図版1	DSE-01井戸枠	262			
写真図版2	検出遺構(1)	273			
写真図版3	検出遺構(2)	274			
写真図版4	検出遺構(3)	275			
写真図版5	検出遺構(4)	276			
写真図版6	検出遺構(5)	277			
写真図版7	検出遺構(6)	278			
写真図版8	検出遺構(7)	279			
写真図版9	検出遺構(8)	280			
写真図版10	検出遺構(9)	281			
写真図版11	検出遺構(10)	282			
写真図版12	検出遺構(11)	283			

写真図版51	川原館遺跡出土遺物 5	322
写真図版52	川原館遺跡出土遺物 6	323
写真図版53	川原館遺跡出土遺物 7	324
写真図版54	川原館遺跡出土遺物 8	325
写真図版55	川原館遺跡出土遺物 9	326
写真図版56	川原館遺跡出土遺物 10	327
写真図版57	川原館遺跡出土遺物 11	328
写真図版58	川原館遺跡出土遺物 12	329
写真図版59	川原館遺跡出土遺物 13	330
写真図版60	川原館遺跡出土遺物 14	331
写真図版61	川原館遺跡出土遺物 15	332
写真図版62	川原館遺跡出土遺物 16	333
写真図版63	川原館遺跡出土遺物 17	334
写真図版64	川原館遺跡出土遺物 18	335
写真図版65	川原館遺跡出土遺物 19	336
写真図版66	中道遺跡出土遺物 1	337
写真図版67	中道遺跡出土遺物 2	338
写真図版68	中道遺跡出土遺物 3	339
写真図版69	中道遺跡出土遺物 4	340
写真図版70	中道遺跡出土遺物 5	341
写真図版71	中道遺跡出土遺物 6	342
写真図版72	中道遺跡出土遺物 7	343
写真図版73	中道遺跡出土遺物 8	344
写真図版74	中道遺跡出土遺物 9	345
写真図版75	中道遺跡出土遺物 10	346
写真図版76	中道遺跡出土遺物 11	347
写真図版77	中道遺跡出土遺物 12	348
写真図版78	中道遺跡出土遺物 13	349
写真図版79	中道遺跡出土遺物 14	350
写真図版80	中道遺跡出土遺物 15・ 東早稲田遺跡出土遺物	351

第IV章 中道遺跡

第1節 概要

中道遺跡からは掘立柱建物跡1棟、土坑45基、溝跡70条、井戸跡11基、カマド状遺構2基、焼土遺構1基、その他の遺構3基、ピット987基を検出したほか、土師器、須恵器、擦文土器、製塩土器や珠洲、越前、瀬戸・美濃などの陶磁器、木製品、土製品、石器・石製品、鉄関連遺物、古銭が出土した。

第2節 A区

1. 土坑

ASK-37 (第287図)

FG・FH-157・158グリッドで検出した。ASP-257・258と重複している。ASP-258が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASP-257との新旧関係は不明である。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸94×短軸92×深さ10cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

ASK-38 (第287図)

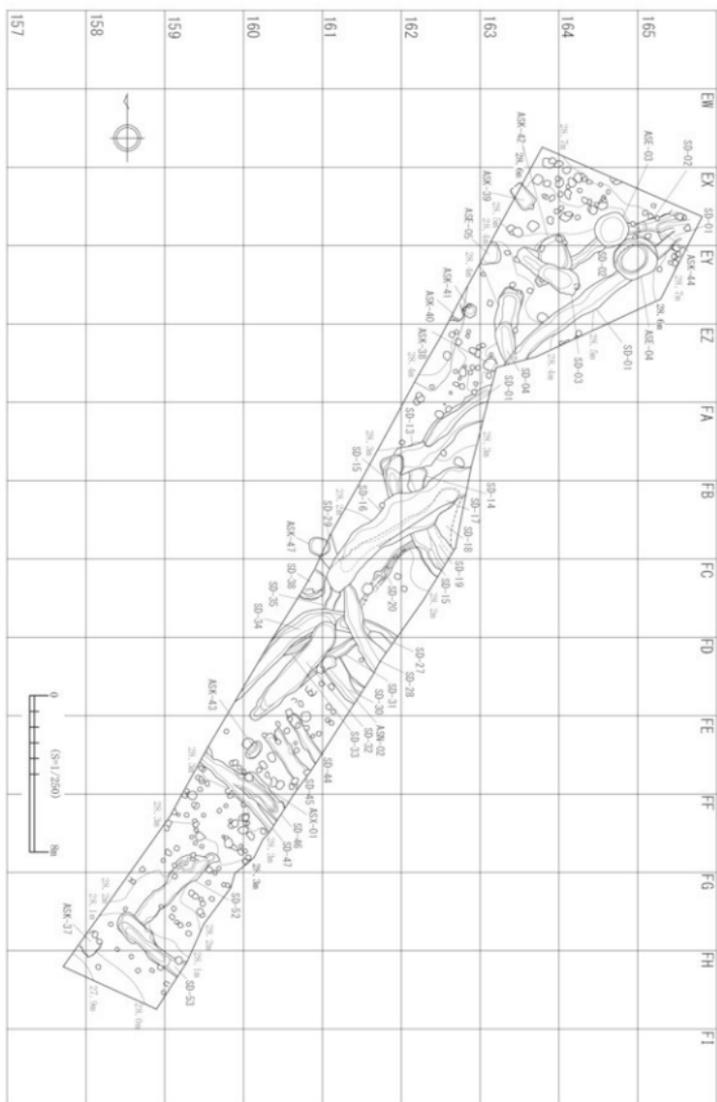
EZ-163グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸64×短軸62×深さ72cmを測る。壁は一部オーバーハングするものの、ほぼ垂直に立ち上がり、底面は北側にやや傾斜する。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品1点(第288図木1)を図示した。木1は柄杓の瓢部分で、口径・底径19.6cm、器高20.2cmを測る。柄を通すための孔が認められる。

ASK-39 (第287図)

EX-163グリッドで検出した。A・C区に跨っており、A区でASP-316、C区でCSP-334と重複している。CSP-334が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASP-316との新旧関係は不明である。平面形は長方形を呈しており、規模は長軸90×短軸84×深さ50cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器甕1点を図示した(第288図1)。1は甕の体部破片で外面タキ成形、内面ナデが施されている。

ASK-40 (第287図)

EY-162グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸72×短軸30×深さ10cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は1層で黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品1点(第288図木2)を図示した。木2は漆塗碗で、内外面ともに赤、黒漆が塗布されている。



第286図 中道遺跡A区遺構配置図

ASK-41 (第287図)

EY-162グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸77×短軸60×深さ50cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品1点を図示した(第288図木3)。木3は断面六角形に整形されており、上端がややすばまる形状から、杭と考えられる。

ASK-42 (第287図)

EX・EY-163・164グリッドで検出した。SD-02・03、ASP-347・348、372と重複している。本遺構がSD-02を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-03、ASP-347・348、372が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸194×短軸128×深さ108cmを測る。壁は一部オーバーハンクして立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏3点、甕3点、小甕1点、把手付土器1点(第288図2～10)、木製品2点(第289図木4・5)を出土した。2は非ロクロ皿の口縁～底部で、外面刻書が認められる。坏は3点ともにロクロ調整で、3点ともに底径が5.6～6.4とやや大きめの資料である。3は外面底部付近に油痕が認められる。甕は3点ともに口縁部～体部である。6・7は口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部はほぼ直線的で緩やかに外反する。8は口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部がやや強く外反する。9は小甕の体部～底部で、内外面・底部ともにヘラナデによって調整されている。10は把手付土器の体部～底部の資料で、体部外面はヘラナデ、ヘラケズリ、内面はナデによって調整されており、底部は網代痕が認められる。把手は根元が部分的に残存しており、断面方形で外面はヘラナデが施されている。木4・5は部材と考えられ、手斧による加工痕が認められる。木4は左側部にほぞ穴が2箇所認められる。

ASK-43 (第287図)

FE-160グリッドで検出した。ASP-418と重複している。本遺構がASP-418を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸102×短軸56×深さ26cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

ASK-44 (第287図)

EX・EY-165グリッドで検出した。SD-01・02、ASP-340、365、371、376と重複している。SD-01・02、ASP-340、365、371、376が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により全体形は不明であるが、平面形は不整形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸195×短軸134×深さ16cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

ASK-47 (第287図)

FB-160・161グリッドで検出した。A・C区に跨っており、A区でSD-29と重複している。本遺

構がSD-29を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈しており、規模は長軸113×短軸82×深さ66cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器壺1点(第288図11)、木製品5点(第289図木6~10)を図示した。11は壺の口縁部~体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや直立する形状を呈する。木6は露卯下駄、木7は瓶底板、木8は膳、木9・10は箸である。木8は表裏面赤漆が塗布されている。

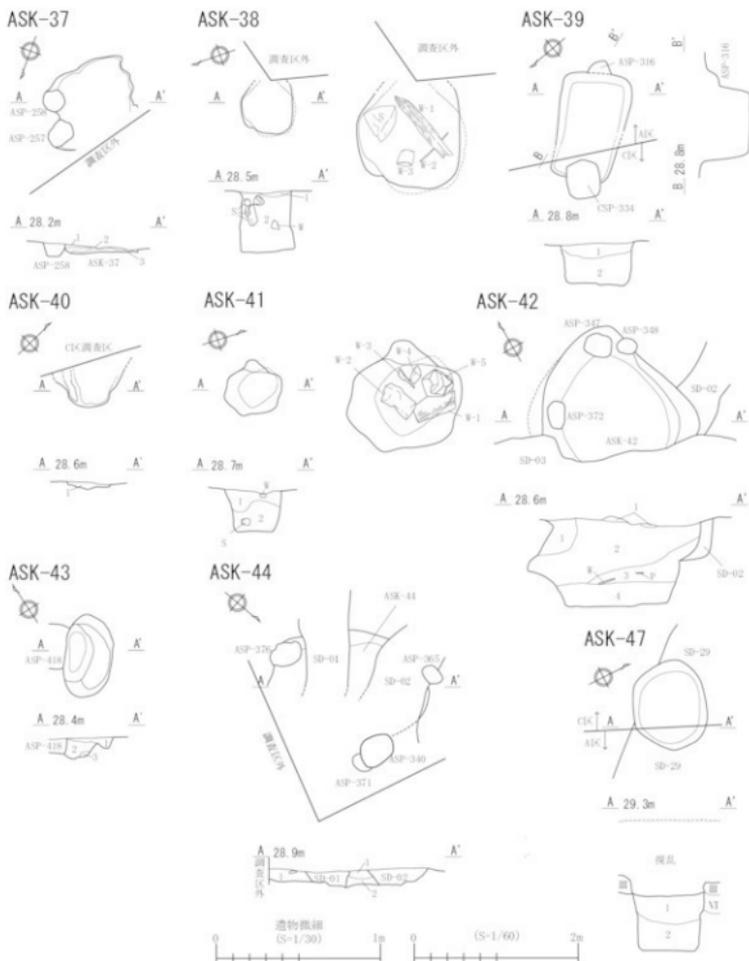
2. 溝跡

SD-01 (第290図)

EX-165、EY-163~165、EZ-162~164、FA-162・163グリッドで検出した。ASK-44、SD-04、13、ASE-04、ASP-350、465・466、485と重複している。本遺構がASK-44、SD-04、13、ASP-350を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASE-04、ASP-465・466、485が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。南西側で一部屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長16.16m、幅95cm、深さ56cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は4層に分層した。黒褐色土が堆積しており、1~3層は自然堆積、4層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿2点、坏11点、甕8点、小甕1点、壺1点、須恵器甕2点(第294・295図12~36)を図示した。皿は2点ともにロクロ調整で、12に比べて、13の口縁部がやや外反する。坏は11点のうち、非ロクロ3点(14~16)、ロクロ調整8点(17~24)である。非ロクロの坏の底部は14が瓶目痕、15は網代痕、16はヘラナデである。17は口縁部が端反る形状を呈する。18、24は大坏で、18の底部はやや高台状を呈する。19は内面の底部付近に刻書が認められる。21は内外面ロクロ調整が施された後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。ロクロ調整の底部切離は、18、20、24がやや太めの糸による糸切、19、21~23が細めの糸による糸切である。25・26、29・30は甕の口縁部~体部上半、28は体部、27、31・32は底部の資料である。25・26は体部上半がほぼ直線的で、口縁部は緩やかに外反する。27は甕の底部資料で、底部は網代痕が認められる。28は甕の体部で、外面はヘラナデ、内面はハケメ調整が認められる。31・32は体部~底部で、底部は31砂底、32は網代痕である。33は小甕で、体部上半がやや張っており、口縁部へとすぼまる形状を呈する。34は壺の口縁部~体部で、体部が強く丸みを帯び、口縁部は直立気味である。35、36は須恵器甕の体部で、35は酸化焼成である。

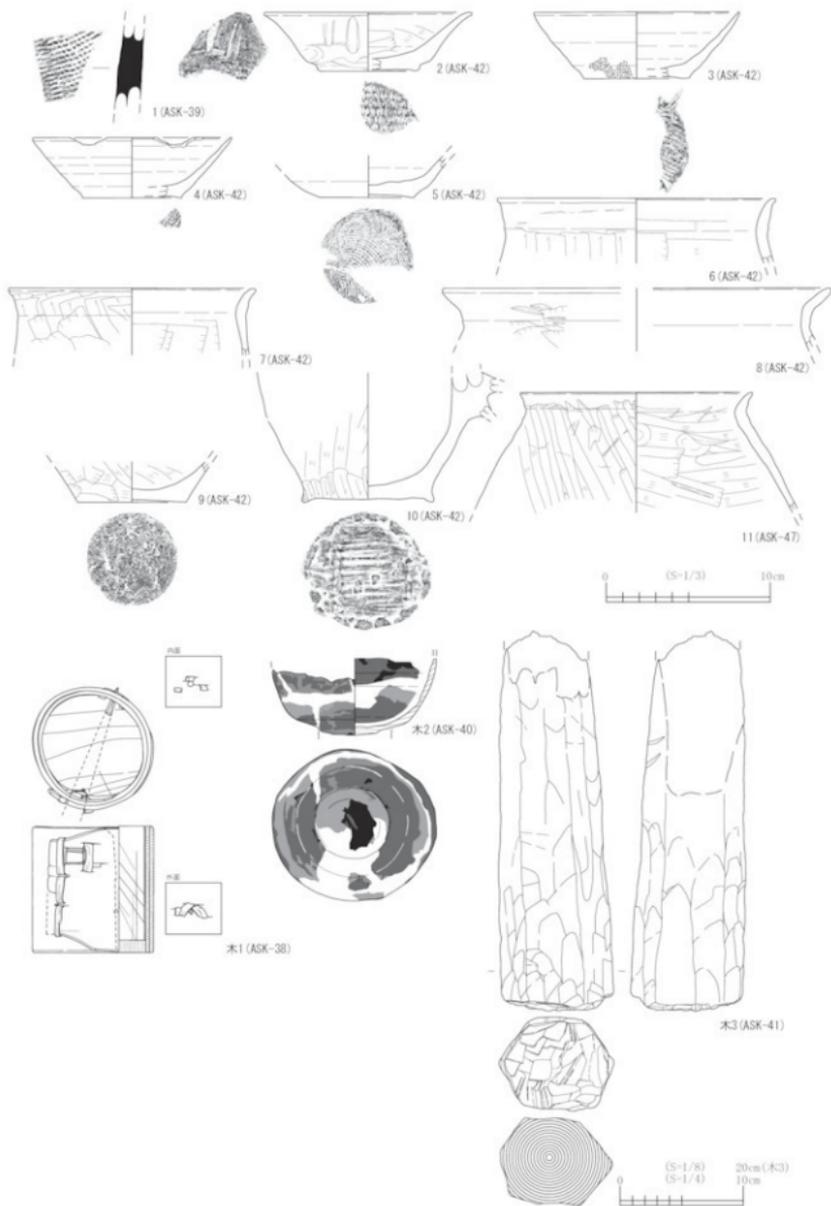
SD-02 (第290図)

EX-164・165、EY-163・164グリッドで検出した。ASK-42、44、SD-03、ASE-03、ASP-340、351、365・366、370・371と重複している。本遺構がASK-44を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASK-42、SD-03、ASE-03、ASP-340、351、365・366、370・371が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASE-03との重複部分でやや屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長851cm、幅72cm、深さ22cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、小甕1点(第295図37・38)を図示した。37は大坏の体部上半~底部の資料で、ロクロ調整が施されており、底部は柱状高台で太めの糸による回転糸切である。38は小甕の口縁部~体部下半の資料で、くびれが認められず、口縁部

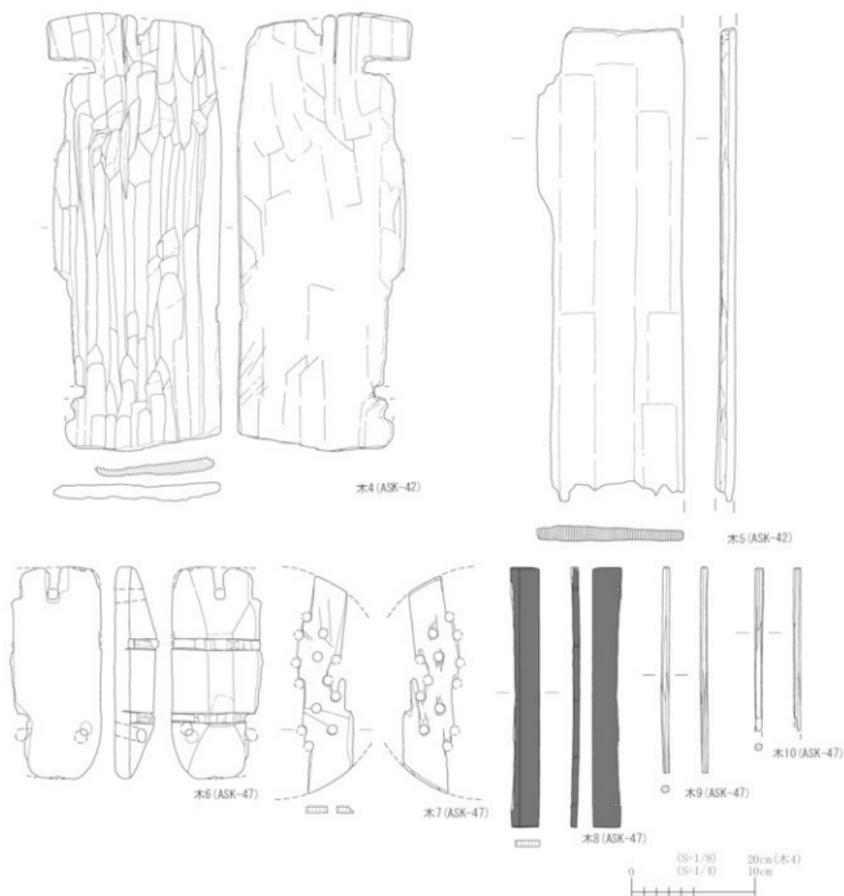


ASK-37	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~3m) 少量	ASK-42	第1層 10YR7/6 明黄褐色土	地山由来土
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒 (φ1~7m) 少量	第2層 10YR3/4 暗褐色土	黒色土粒 (φ3~5m) 斑状に少量		
第3層 10YR5/6 黄褐色土		第3層 10YR2/1 黒色土	褐色土粒ブロック (φ30m) 少量、木片		
ASK-38	第1層 10YR2/1 黒色土	褐色土粒ブロック (φ20m) 少量、灰白色砂ブロック (φ20m) 微量	第4層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 中量、ロームブロック (φ30m) 中量	
第2層 10YR1 7/1 黒色土	灰白色砂粒 (φ10m) 微量、土器碎片少量、自然煤 (φ150m) 少量、木片少量	ASK-43	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 少量、褐色土ブロック (φ10m) 少量	
ASK-39	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 少量、ロームブロック (φ15m) 少量	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 少量、褐色土ブロック (φ10m) 中量	
ASK-40	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ1~5m) 中量、ロームブロック (φ10~50m) 多量、酸化鉄粒 (φ1~9m) 中量、炭化粒 (φ1~9m) 少量	第3層 10YR4.4 褐色土	黒色土ブロック (φ10m) 少量	
ASK-41	第1層 10YR1 7/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 少量、褐色土ブロック (φ50m) 多量	ASK-44	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 微量、酸化鉄粒 (φ5m) 微量、酸化鉄ブロック (φ10m) 多量
第2層 10YR2/1 黒色土	ロームブロック (φ50m) 少量、木材少量	第2層 10YR2/1 黒色土	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒 (φ2~5m) 微量、酸化鉄粒 (φ5m) 微量、酸化鉄ブロック (φ5m) 微量、酸化鉄ブロック (φ20m) 少量	
		ASK-47	第1層 10YR1 7/1 黒色土	灰白色砂ブロック (φ20m) 少量、自然煤 (φ150m) 中量	
		第2層 10YR1 7/1 黒色土	第2層 10YR1 7/1 黒色土	灰白色砂粒 (φ2~5m) 中量、灰白色砂ブロック (φ10m) 少量	

第287図 中道遺跡A区SK



第288図 中道遺跡A区出土遺物SK (1)



第289図 中道遺跡A区出土遺物SK (2)

と体部の境が不明瞭である。

SD-03 (第290図)

EY-163・164グリッドで検出した。ASK-42、SD-02、ASP-351、355、489と重複している。本遺構がASK-42、SD-02、ASP-351、489を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP-355が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。東端がやや膨らむ形状を呈するが、概ね直線状を呈し、規模は長軸348cm、幅88cm、深さ45cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器環1点(第295図39)、木製品1点(第308図木11)を図示した。39は非ロクロ環の体部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整され、底部は網代痕である。木11は木筒で、表裏面ともに手斧による加工痕が認められる。表裏面ともに墨書が認められ、表面の3行のうち、1行目は「上田番所」、2行目は「□□代」と判読できるが、裏面は不明である(奈良文化財研究所渡辺晃宏氏のご教示による)。

SD-04 (第290図)

EY・EZ-163グリッドで検出した。SD-01、ASP-460、502と重複している。本遺構がASP-502を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-01、ASP-460が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長375cm、幅108cm、深さ26cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器環1点、甕2点(第295図40～42)、木製品3点(第308図木12～14)、鉄関連遺物1点(第309図鉄1)を図示した。40は非ロクロ環の体部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部は太めの糸による静止糸切である。41は甕の口縁部～体部の資料で、体部～口縁部までほぼ直線的で外面には輪積痕が認められる。42は甕の口縁部～体部で、体部～口縁部までほぼ直線的で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。木12・13は同じ用途で使われた部材と考えられる木製品である。木12は表面が断面U字形に掘り込まれ、裏面には断面V字形の溝が2条認められる。木13も同様に表面が断面U字形に掘り込まれ、裏面には断面V字形の溝が1条認められる。全面に手斧による加工痕が認められる。建築材と考えられる。木14は用途不明の板材で、表面には刃痕が認められる。第309図鉄1は断面方形を呈する棒状鉄製品である。

SD-13 (第290図)

FA-161～163グリッドで検出した。SD-01、14・15、ASP-488と重複している。本遺構がSD-14を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-01、15、ASP-488が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかに蛇行しており、規模は延長415cm、幅92cm、深さ64cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は一部段をもつ部分が認められる。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器環1点(第295図43)を図示した。ロクロ調整が施されており、口縁部は欠損するものの、やや外反すると考えられる。

SD-14 (第290図)

FA・FB-162グリッドで検出した。SD-13、16と重複している。SD-13、16が本遺構を掘り込んで

であり、本遺構が古い。部分的な検出のため、詳細は不明であるが、ほぼ直線状を呈すると考えられ、確認できた規模は延長110cm、幅81cm、深さ17cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。エレベーションのみの確認のため、堆積土の状況は不明である。

SD-15 (第290図)

FA~FC-161・162グリッドで検出した。SD-13、16・17、19・20と重複している。本遺構がSD-13、19・20を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-16・17が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長630cm、幅70cm、深さ64cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、かわらけ1点(第296図44・45)、木製品2点(第309図木15・16)を図示した。44は非ロクロ坏の口縁部~底部の資料で、外面には巻き上げ痕が認められる。外面はヘラナデ、内面はヘラミガキ、底部はヘラナデによって調整されている。45はロクロかわらけの体部で、やや白みがかかった胎土である。木15は両端が欠損した箸で、木16は板状を呈する用途不明の木製品である。

SD-16 (第290図)

FA・FB-162、FB・FC-161グリッドで検出した。SD-14・15、17・18、28・29、35、ASP-487と重複している。本遺構がSD-14・15、17・18、28・29、35を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP-487が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長845cm、幅62cm、深さ50cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は4層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏20点、甕12点、小甕2点、壺2点、須恵器壺2点(第296~299図46~83)、木製品1点(第309図木17)、土製品6点(第309図土1~6)を図示した。坏は20点のうち、非ロクロが6点(46~51)、ロクロ調整14点(52~65)である。51は非ロクロ坏の口縁部~底部で、内面ハケメ調整が施されている。非ロクロ坏の底部調整は、48網代痕+ヘラケズリ、49静止糸切、50柎目痕、51ヘラナデである。ロクロ調整のうち、57は内面がヘラミガキによって黒色処理されており、56、64・65はロクロ調整の後、内外面ヘラナデが施されている。53はやや小ぶりの坏の口縁部~底部で、口縁部が端反る形状を呈し、63と器形が類似する。外面底部付近には工具痕が認められる。58は内面底部には刻書、外面底部には油痕、60は外面底部付近には刻書が認められ、底部には糸切痕の上に糸の圧痕が認められる。62・63は大坏である。ロクロ調整の坏の底部切離は、54、62、65がやや太めの糸による糸切、そのほかは細めの糸による糸切である。甕は77が口縁部~底部、70が体部~底部、そのほかは口縁部~体部の資料である。体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するものが多い。76はSD-20との接合資料である。66は口縁部のくびれが浅く、口縁部が比較的長めである。68は体部の丸みが強く、口縁部も長く、外反の度合いが強い。71・72は口縁部と体部の間のくびれが縦に長く、長めの口縁部を有する。76は比較的短い口縁部を持ち、内面は幅の細いヘラナデが施されている。78・79は小甕の口縁部~体部の資料である。いずれもやや体部が膨らむ形状を呈する。80は壺の口縁部~体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈する。内外面ロクロ調整の後、内面ヘラミガキが施されている。81は壺の体部~底部で、底径に対して体部が強く開く形状を呈する。82は須恵器壺の体部~底部、83は須恵器

壺の頸部～体部資料である。83は頸部にリング状凸帯が認められる。木17は馬形と考えられる。土1～6は焼成粘土塊である。混入物であるスサ痕が認められるものが多い。

SD-17 (第290図)

FB-161・162、FC-161グリッドで検出した。SD-15・16、18・19、28、35と重複している。本遺構がSD-15、18・19、28、35を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-16が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的に屈曲する緩やかな弧状を呈し、規模は延長844cm、幅78cm、深さ34cmを測る。壁は開口部へとすぼまるように立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は6層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、甕4点、小甕1点、須恵器甕1点、陶磁器壺1点(第299図84～91)を図示した。84は坏の口縁部～体部上半の資料で、器壁が薄く、内外面ともにロクロ調整が施されている。85は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部は緩やかに外反する。86は甕の体部下～底部の資料で、体部は内外面ともにナデによって調整されており、底部は網代痕である。87は甕の体部～底部資料で、体部の外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されており、底部は刻書が認められる。88は甕の体部下～底部資料で、体部外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されており、底部は網代痕が認められる。89は小甕の体部～底部でSD-19との接合資料である。やや開き気味に立ち上がり、外面ヘラナデ、内面ハケメが施されている。90は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデにより調整されている。91は陶磁器壺で、内外面ともにロクロナデによって調整されている。

SD-18 (第290図)

FB-162グリッドで検出した。SD-16・17、19と重複している。SD-16・17、19が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部分の検出であり、軸線や形状は不明である。確認できた規模は延長141cm、幅235cm、深さ10cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は6層に分層した。黒色土、褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-19 (第290図)

FB・FC-162グリッドで検出した。SD-15、17・18と重複している。本遺構がSD-18を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-15、17が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出であるが、概ね直線状を呈し、規模は延長375cm、幅80cm、深さ31cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、須恵器長頸壺1点(第300図92・93)を図示した。92は皿の口縁部～底部で底部から直線的に開く形状を呈している。底部は細めの糸による静止糸切である。93は須恵器長頸壺の頸部で、ロクロナデによって調整されており、頸部にはリング状凸帯、肩部には刻書が認められる。

SD-20 (第290図)

FB-161・162、FC-161グリッドで検出した。SD-15、28、ASP-497と重複している。SD-15、28、ASP-497が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。北東側でやや蛇行するが、ほかに直

線状を呈し、規模は延長426cm、幅68cm、深さ15cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-27 (第291図)

FC・FD・FE-161・162グリッドで検出した。A・D区に跨っており、A区ではSD-28、34、D区ではDSK-11、SD-25と重複している。本遺構がSD-25、34を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK-11、SD-28が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長717cm、幅122cm、深さ74cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は7層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はA区から土師器皿1点、坏8点、ミニチュア土器1点、D区から土師器皿2点、坏7点、甕7点、ミニチュア土器1点、小壺1点(第300・301図94~121)、木製品4点(第309図木18~21)、土製品1点(第309図土7)、鉄関連遺物2点(第309図鉄2・3)を図示した。皿は3点のうち、非ロクロ2点(94・95)、ロクロ調整1点(96)である。94は非ロクロ皿の口縁部~底部、95は口縁部~体部で、内外面ともナデによって調整されている。坏は15点のうち非ロクロは6点(97~102)、ロクロ調整は9点(103~111)である。非ロクロ坏の底部調整は、97、102ナデ、101無調整である。97は内面に刻書が認められる。110は外面に墨書が認められる。甕は7点のうち、口縁部~体部の資料が6点(112~117)、体部~底部資料が1点(118)である。口縁部~体部の資料は体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するものが多い。114は甕の口縁部~体部で、口縁部と体部の間のくびれが長く、微妙に頸部を有する。117は体部がやや丸みを帯び、口縁部は短く反る形状を呈する。119は小壺の体部資料で、ロクロ調整が施されている。120・121はミニチュア土器の体部~底部で、120はヘラケズリ、ナデ、121は内外面ともにロクロナデによって調整され、底部は回転糸切である。木18~20は杭、木21は部材と考えられる。土7は焼成粘土塊である。鉄2・3は炉壁で同一個体と考えられる。

SD-28 (第291図)

FB・FC・FD-161・162グリッドで検出した。A・D区に跨っており、SD-16・17、20、27、31、34と重複している。本遺構がSD-20、27、31、34を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-16・17が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部屈曲しており、規模は延長936cm、幅104cm、深さ29cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面には凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は坏6点、甕6点、須恵器甕1点(第301・302図122~134)、木製品1点(第309図木22)を図示した。坏は6点のうち、非ロクロ2点(122・123)、ロクロ調整4点(124~127)であった。122は体部~底部で底部は柱状高台を呈する。125は内外面ロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。非ロクロ坏の底部は、122が疋目痕、123はヘラナデである。125は外面に墨書が認められる。甕は口縁部~体部の資料2点(128・129)、体部~底部の資料が4点(130~133)である。128は口縁部と体部の間に浅いくびれが認められるが、外面のくびれに対し、口縁部内面は強く屈曲している。129は体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。体部~底部の資料のうち、底部調整は130が網代痕、131、133が疋目痕、132がヘラケズリである。134は須恵器甕の体部で、外面はタタキ、内面はナデによって調整されている。木22は用途不明の木製品で、表面は丸木材の表面をそのまま利用し、裏面はU字状になっている。

SD-29 (第291図)

FB-159、FB・FC-160・161グリッドで検出した。A・C区に跨っており、A区でASK-47、SD-16・17、C区でCSK-17、SD-36、38、CSP-354～357と重複している。本遺構がSD-38、CSP-357を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASK-47、CSK-17、SD-16・17、CSP-354～356が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長624cm、幅122cm、深さ55cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は5層に分層した。黒色・黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。1層からは土師器坏や甕の小片が多量に出土した。遺物は土師器皿1点、甕1点、小甕1点(第302図135～137)を図示した。135は皿の口縁部～体部で内外面ともにロクロナデによって調整されている。137は小甕の体部～底部で、底部から直線状に開く形状で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部は砂底である。136は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が短く、外面ヘラナデ、内面ナデによって調整されている。

SD-30 (第292図)

FD-161、FE-161・162グリッドで検出した。A・D区に跨っており、A区でSD-31、ASN-02、ASP-451、D区でDSP-167・168と重複している。SD-31、ASN-02、ASP-451、DSP-167・168が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長708cm、幅107cm、深さ28cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は段を有する。堆積土は9層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、4～9層は埋め戻し等による人為堆積、1～3層は自然堆積と考えられる。遺物はA区から土師器坏7点、甕4点、D区から土師器坏2点、小甕1点、須恵器壺1点(第302・303図138～152)を図示した。坏は9点のうち、非ロクロ2点(138・139)、ロクロ調整7点(140～146)である。144・145はロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。甕のうち、口縁部～体部の資料は、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。148は口縁部がやや長めの資料である。149は体部が丸みを帯び、口縁部の外反の度合いが強い。151は小甕の口縁部～体部で体部がやや丸みを帯び、口縁部は直立気味である。152は須恵器壺の体部～底部で内外面ともにロクロ調整が施されており、底部は回転系切である。

SD-31 (第292図)

FD-160・161グリッドで検出した。SD-28、30、32、ASN-02、ASP-451と重複している。本遺構がSD-30を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-28、32、ASN-02、ASP-451が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長358cm、幅48cm、深さ29cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿2点、坏1点、小甕1点を図示した(第303図153～156)。153は皿の体部～底部資料で、内外面ともにロクロ調整が施されており、底部は柱状高台である。高台には打欠が認められる。154は皿の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、口縁部が端反る形状を呈する。155は坏の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。156は小甕の体部下半～底部で、外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されており、底部は砂底である。

SD-32 (第292図)

FC・FD-160・161、FE-160グリッドで検出した。SD-31、33・34と重複している。本遺構がSD-31、33・34を掘り込んでおり、本遺構が新しい。北東側がやや屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長635cm、幅134cm、深さ22cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏8点、甕7点、壺1点、須恵器鉢1点、壺1点、甕1点を図示した(第303・304図157～176)。157は皿の底部資料で、内外面ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。坏は8点のうち、非ロクロ2点(158・159)、ロクロ調整6点(160～165)である。ロクロ調整のうち、160はロクロ調整の後、内面ヘラミガキにより黒色処理されている。163は灯明痕が認められ、口唇部に打欠が認められる。外面底部には炭化物が付着している。甕は7点のうち、口縁～体部5点、体部1点、体部～底部1点である。口縁部～体部の資料では、体部が直線的で、口縁部が緩やかに外反するものが多い。173は壺の口縁部～体部で、体部が大きく丸みを帯び、口縁部が短い器形である。174は須恵器鉢の口縁部～体部で、内外面ともにロクロナデによって調整されている。175は須恵器壺の体部で、外面ヘラナデ、内面ナデによって調整されている。176は須恵器甕の体部である。

SD-33 (第292図)

FC・FD-160グリッドで検出した。SD-32、34と重複している。SD-32、34が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長160cm、幅28cm、深さ16cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-34 (第292図)

FC-160・161、FD-159・160、FE-159グリッドで検出した。A・C区に跨っており、A区でSD-27・28、32・33、35、C区でSD-40、46と重複している。本遺構がSD-33、35、40を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-27・28、32が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD-46との新旧関係は不明である。緩やかな弧状を呈し、規模は延長10.13m、幅120cm、深さ82cmを測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は8層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物はA区から土師器皿4点、坏13点、甕5点、ミニチュア土器1点、須恵器甕1点、C区から皿1点、坏4点、甕5点、須恵器壺1点(第304～306図177～211)、土製品3点(第309図土8～土10)を図示した。皿は5点のうち、非ロクロ1点(177)、ロクロ調整4点(178～181)である。178、180は口縁部が端反る形状を呈する。179はやや口縁が歪んでいる。181は口唇部が先細る形状で、器形は施釉陶器を模していると考えられる。坏は17点のうち、非ロクロ3点(182～184)、ロクロ調整14点(185～198)である。非ロクロ坏の底部は182台付、184静止糸切である。182は非ロクロ坏の口縁部～底部で、外面のヘラケズリと底部中心部の指ナデによって高台を作出している。186は坏の口縁部～底部で、内外面ロクロ調整後、外面ヘラナデによって調整しており、底部は静止糸切の後、ヘラケズリを施している。185はロクロ調整後、内外面ヘラナデによって調整されており、内外面に刻書が認められる。188は坏の口縁部～体部で、内面には刻書が認められる。198は坏の体部～底部で、柱状高台を

呈し、内外面ともにロクロナデによって調整されており、底部は回転糸切である。ロクロ調整の坏の底部調整は細めの糸による糸切が多く、190のように太めの糸による糸切は少ない。甕は口縁部～体部5点、体部4点、体部～底部1点である。口縁部～体部の資料では、体部が直線的で、口縁部が緩やかに外反するものが多い。202は体部が丸みを帯び、口縁部がやや強く外反する。203～206は甕の体部で、外面はヘラナデ、内面はハケメが認められる。207は甕の体部～底部で底部は砂底である。209はミニチュア土器で、内外面ともにナデによって調整されており、底部は砂底である。外面には輪積痕が認められる。210は須恵器壺の頸部で、ロクロナデによって調整されている。211は須恵器甕の体部で、外面はタタキ、内面はナデによって調整されている。土8～10は焼成粘土塊である。

SD-35 (第292図)

FC-161グリッドで検出した。SD-16・17、34と重複している。SD-16・17、34が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。やや蛇行しており、規模は延長121cm、幅40cm、深さ12cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。エレベーションのみの確認のため、堆積土の状況は不明である。

SD-38 (第292図)

FB-159・160、FC-160・161グリッドで検出した。A・C区に跨っており、C区でSD-29、36、CSP-236、358・359と重複している。本遺構がSD-36を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-29、CSP-236、358・359が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈しており、規模は延長598cm、幅192cm、深さ66cmを測る。壁は直線的に立ち上がる部分と緩やかに段をもって立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。堆積土は8層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、甕3点(第306図212～215)を図示した。212は非ロクロ坏の口縁部～底部で、内外面ナデによって調整され、底部は細めの糸による静止糸切である。213は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部は直立気味である。214は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部は外反する。215は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

SD-44 (第292図)

FD・FE-160グリッドで検出した。ASP-438～440、443と重複している。ASP-438～440、443が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長278cm、幅62cm、深さ39cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕2点を図示した(第306図216、217)。216は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈する。217は甕の体部～底部で、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されており、底部は網代痕である。

SD-45 (第292図)

FE・FF-160グリッドで検出した。A・D区に跨っており、A区でASP-422、432、434・435、D区でDSP-142と重複している。ASP-422、432、434・435、DSP-142が本遺構を掘り込んでお

り、本遺構が古い。直線状を呈し、北西端で二股状となる。規模は延長447cm、幅78cm、深さ13cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は4層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物はA区から土師器皿1点、坏1点、甕1点、D区から土師器坏1点を図示した（第306・307図218～221）。218は皿の口縁部～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は柱状高台で、回転系切が施されている。219は非ロクロ坏の口縁部～底部で、外面ヘラナデ、内面ナデによって調整されており、底部は砂底である。220は坏の口縁部で、ロクロ調整が施されている。221は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部は直立気味の形状を呈する。

SD-46（第293図）

FE-159・160、FF-160グリッドで検出した。A・C・D区に跨っており、A区でSD-47、ASX-01、C区でSD-34、D区でDSP-182～187と重複している。本遺構がSD-47を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASX-01、DSP-182～187が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD-34との新旧関係は不明である。ASX-01との重複部分でやや屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長544cm、幅86cm、深さ24cmを測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、3層は埋め戻し等による人為堆積、1・2層は自然堆積と考えられる。遺物はA区から土師器皿1点、坏4点、甕3点、須恵器甕2点、D区から土師器皿2点、大坏1点、甕2点、須恵器甕1点（第307図222～236）、木製品1点（第309図木23）を図示した。皿は3点のうち、非ロクロ1点（222）、ロクロ調整2点（223・224）である。222は外面ナデ、ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、外面体部～底部にかけて刻書が認められる。坏は5点のうち、非ロクロ1点（225）、ロクロ調整4点（226～229）である。226は大坏である。228は坏の体部～底部で、底部は太めの糸による回転系切である。甕は5点のうち、口縁部～体部4点、体部～底部1点である。口縁部～体部のものでは、口縁部が短く、口縁部と体部の境がはっきりしないものが多い。234は口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部は緩やかに外反する。235・236は須恵器甕の体部資料で、外面はタタキ成形が施されており、内面はナデにより調整されている。木23は塗漆椀で、外面には黒漆、内面には赤漆が塗布されている。

SD-47（第293図）

FE・FF-159・160、FG-160グリッドで検出した。A・D区に跨っており、A区でSD-46、ASP-305、385、D区ではDSK-13、DSP-121、183・184、186と重複している。DSK-13、SD-46、ASP-385、DSK-13、DSP-121、183・184、186が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASP-305との新旧関係は不明である。概ね直線状を呈しており、規模は延長585cm、幅33cm、深さ51cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。底面からはビット4基、SK1基を検出した。各ビット、SKの規模はPit1=長軸31×短軸25×深さ24cm、Pit2=長軸32×短軸24×深さ37cm、Pit3=長軸51×短軸51×深さ50cm、Pit4=長軸35×短軸17×深さ34cm、SK1=長軸113×短軸32×深さ38cmを測る。堆積土は3層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器甕1点を図示した（第307図237）。237は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデにより調整されている。

SD-52 (第293図)

FF-159、FG-158・159グリッドで検出した。SD-53、ASP-402・403、405・406、454と重複している。SD-53、ASP-402・403、405・406、454が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長516cm、幅80cm、深さ24cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は3層で、黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器小皿1点、坏2点、把手付土器1点を図示した(第307・308図238～241)。238は小皿の口縁部～底部である。ロクロ調整が施されており、底部は静止糸切である。239は非ロクロの坏で、内外面ヘラナデによって調整されており、底部は網代痕である。240は坏の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、内面は更にヘラミガキによって黒色処理されている。241は把手付土器の把手で外面ヘラケズリ、ヘラナデによって調整されている。

SD-53 (第293図)

FG-158、FH-158・159グリッドで検出した。A・B区に跨っており、A区でSD-52、ASP-262、269、B区でBSP-109と重複している。本遺構がSD-52を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP-262、BSP-109が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASP-269との新旧関係は不明である。概ね直線状を呈し、規模は延長438cm、幅108cm、深さ63cmを測る。壁は一旦ほぼ垂直に立ち上がり、開口部付近で緩やかとなる。底面はやや凹凸が認められる。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏1点、壺1点を図示した(第308図242～244)。242は非ロクロ皿の口縁部～体部で、内外面ともにナデによって調整されている。243は非ロクロの坏の口縁部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部は柁目痕である。内外面口縁部付近には灯明痕が認められる。244は壺の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部は直立気味である。外面はヘラナデ、内面はハケメ調整が施されている。

3. 井戸跡

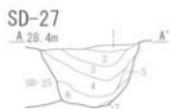
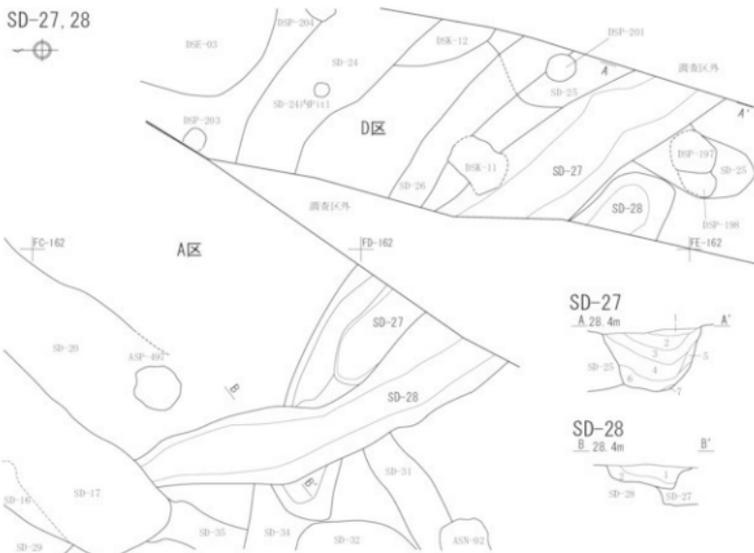
ASE-03 (第310図)

EX・EY-164グリッドで検出した。SD-02と重複している。本遺構がSD-02を掘りこんでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸168×短軸166×深さ88cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底部はほぼ平坦である。堆積土は5層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した(第311図245)。245は甕の口縁部～体部で、体部がほぼ直線的で口縁部は緩やかに外反する形状を呈する。

ASE-04 (第310図)

EX・EY-164・165グリッドで検出した。SD-01、ASP-368と重複している。本遺構がSD-01を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP-368が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸212×短軸203×深さ134cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認であり、堆積土の状況は不明である。遺物は土師器甕4点、越前罽1点(第311図246～250)、木製品4点(第311図木24～27)、石製品1点(第312図石

SD-27, 28

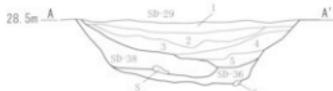
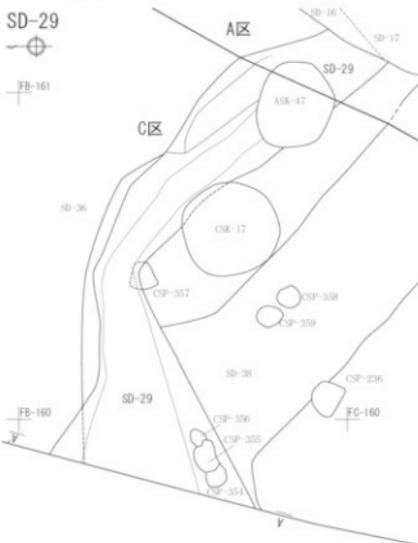


SD-29



FB-161

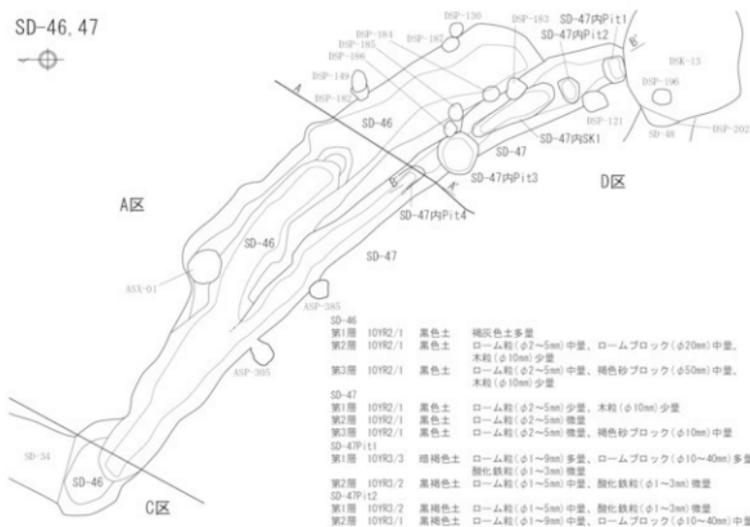
0 (S-1/60) 2m



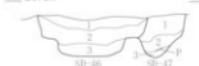
- SD-27
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、
ロームブロック(φ10~30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
- 第2層 7.5YR3/1 黒褐色土と7.5YR5/4にぶいた褐色ロームの混合層
焼土粒(φ1~10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
- 第3層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/2に黄褐色ロームの混合層
酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
- 第4層 10YR1.7/1 黒色土
ローム粒(φ1~10mm)少量、
炭化粒(φ1~10mm)少量、
焼土粒(φ1~8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
- 第5層 10YR2/1 黒色土
ローム粒(φ1~8mm)少量、
炭化粒(φ1~10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
- 第6層 10YR3/1 黒褐色土
ローム粒(φ1~10mm)少量、
焼土粒(φ1~5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
- 第7層 10YR2/3 黒褐色土と10YR6/4にぶいた黒褐色ロームの混合層
- SD-28
- 第1層 10YR1.7/1 黒色土
褐色砂ブロック(φ10mm)少量、
灰白色砂ブロック(φ10mm)中量
- 第2層 10YR2/1 黒色土
褐色土多量、
褐色砂ブロック(φ30mm)多量
- SD-29
- 第1層 10YR2/1 黒色土
ローム粒(φ1~5mm)少量、
酸化鉄(φ1~10mm)少量
- 第2層 10YR3/1 黒褐色土
ローム粒(φ1~10mm)中量、
ロームブロック(φ20~50mm)少量、
炭化粒(φ1~9mm)少量、
酸化鉄(φ1~10mm)少量
- 第3層 10YR2/1 黒色土
ロームブロック(φ10~30mm)中量
- 第4層 10YR4/1 褐色土
ロームブロック(φ10~20mm)少量、
酸化鉄(φ1~9mm)少量、
炭化鉄ブロック(φ10~15mm)少量
- 第5層 10YR3/1 黒褐色土
ロームブロック(φ20~50mm)多量

第291図 中道遺跡A区SD(2)

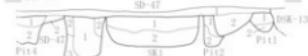
SD-46, 47



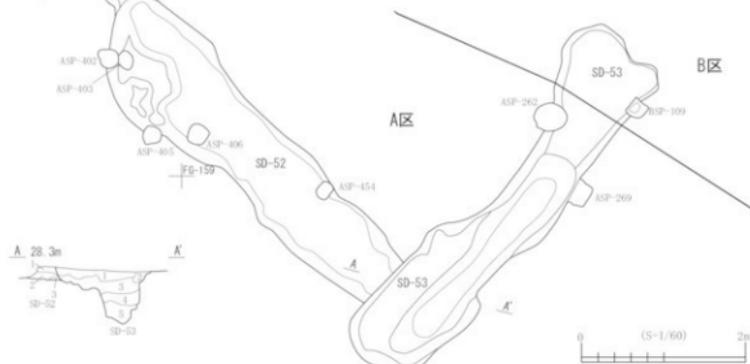
A 29.3m



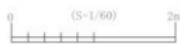
B 28.4m



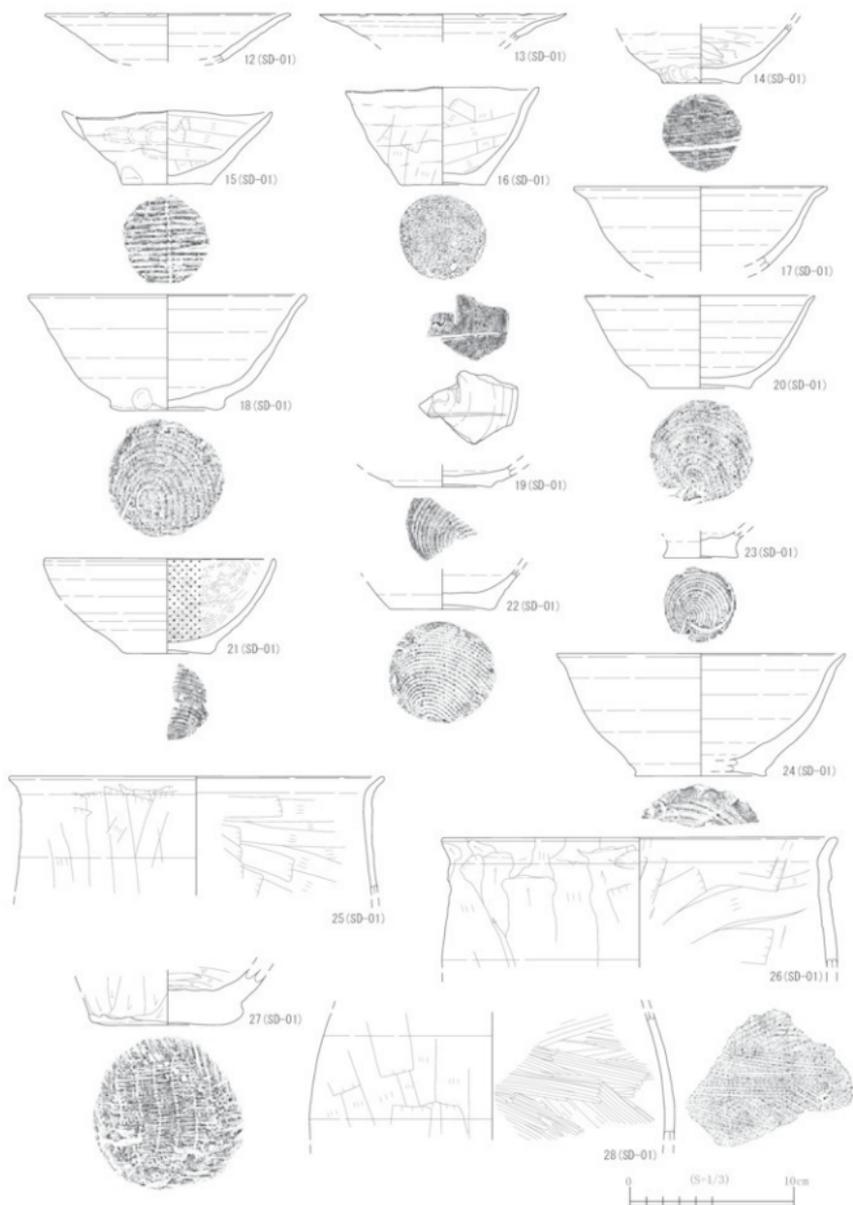
SD-52, 53



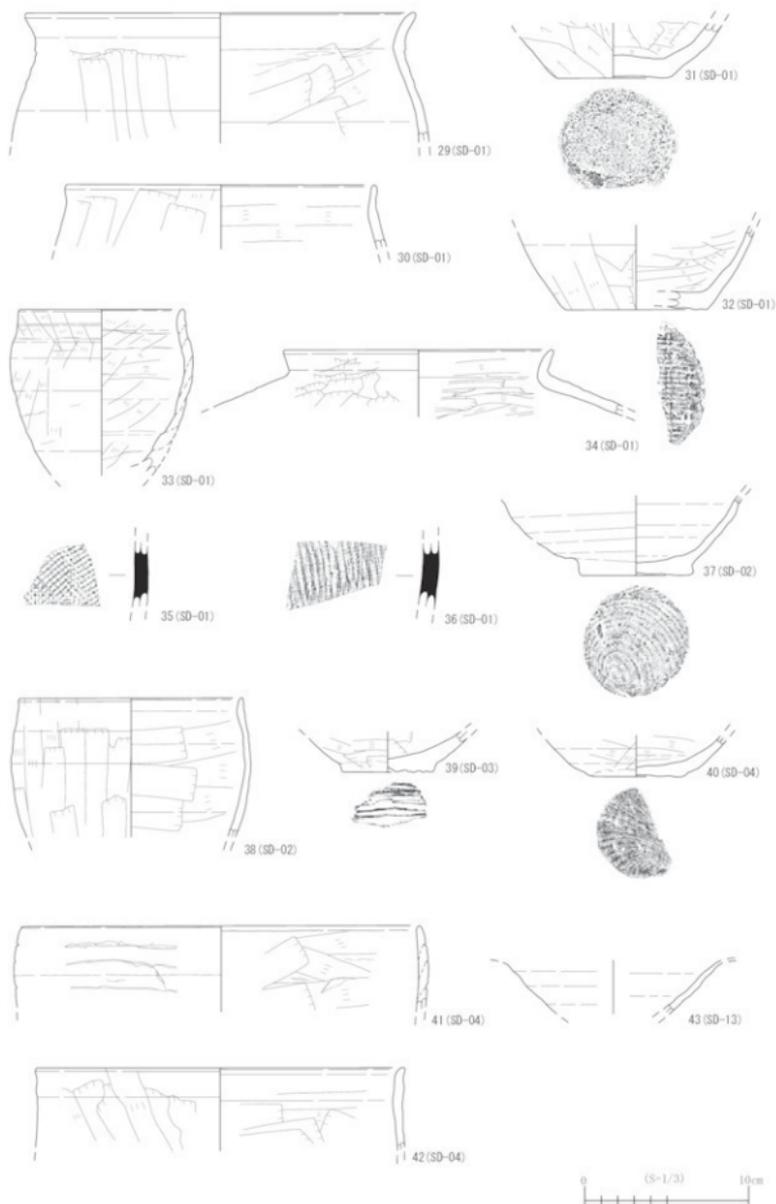
A 28.3m



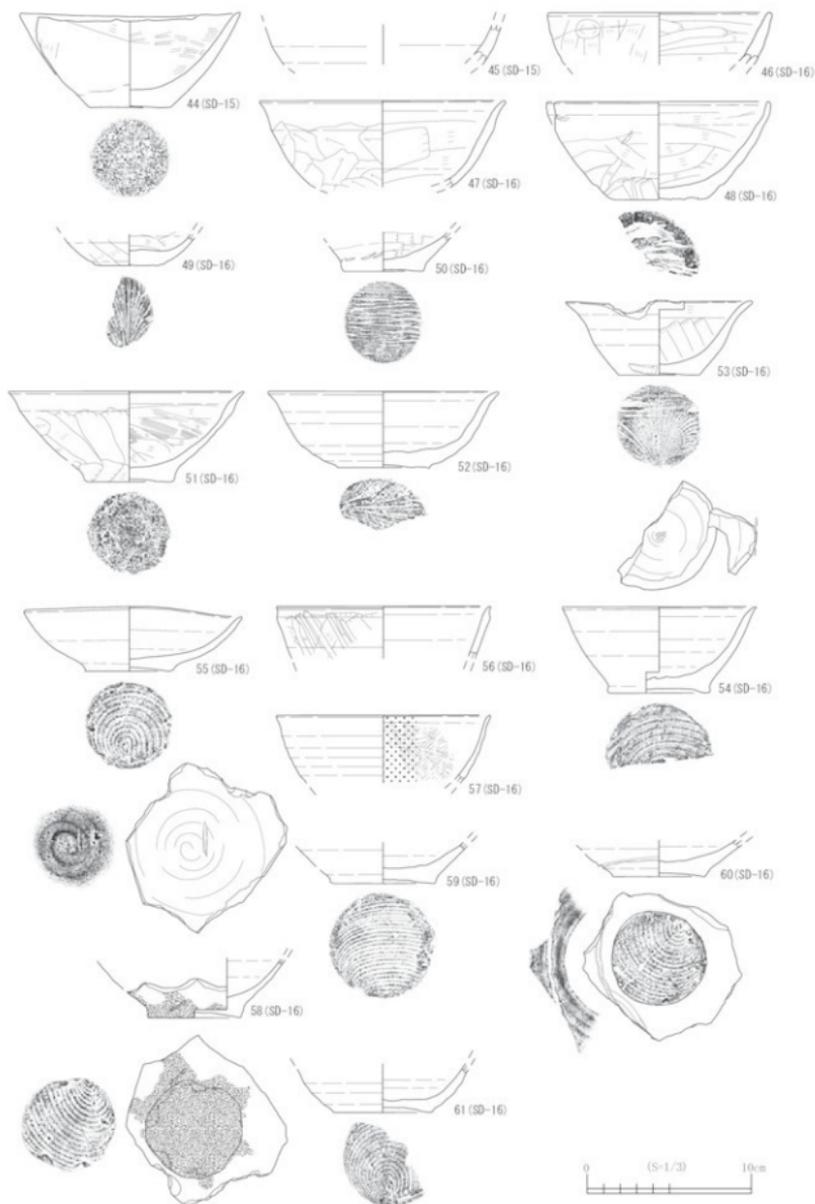
第293図 中道遺跡A区SD(4)



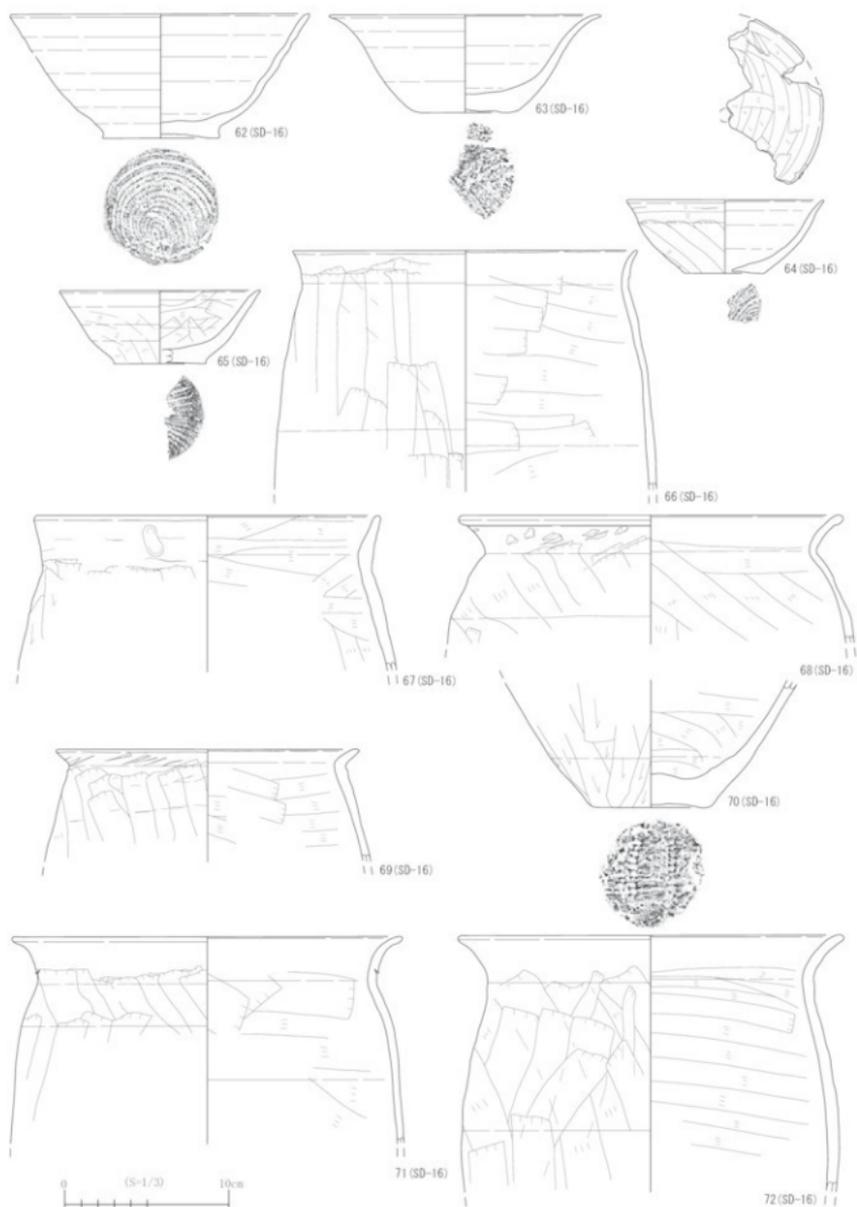
第294図 中道遺跡A区出土土器SD(1)



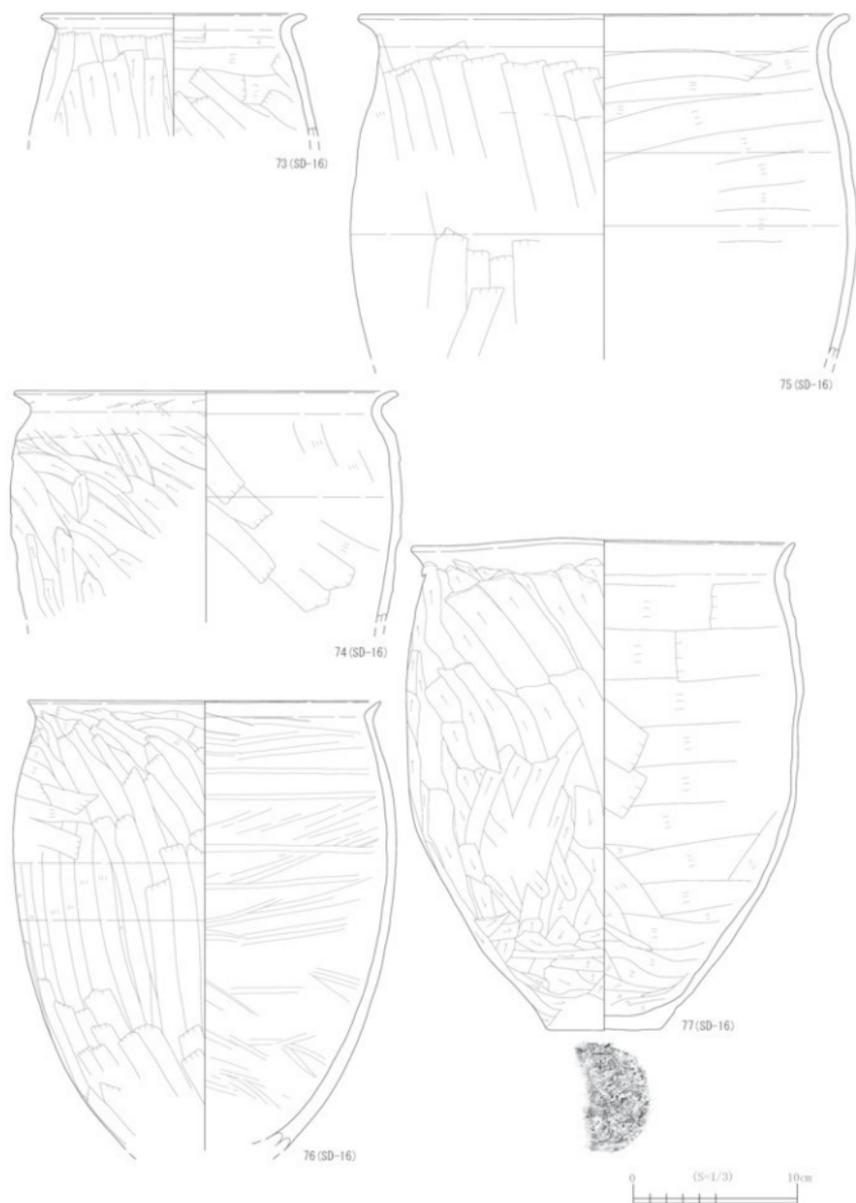
第295図 中道遺跡A区出土土器SD(2)



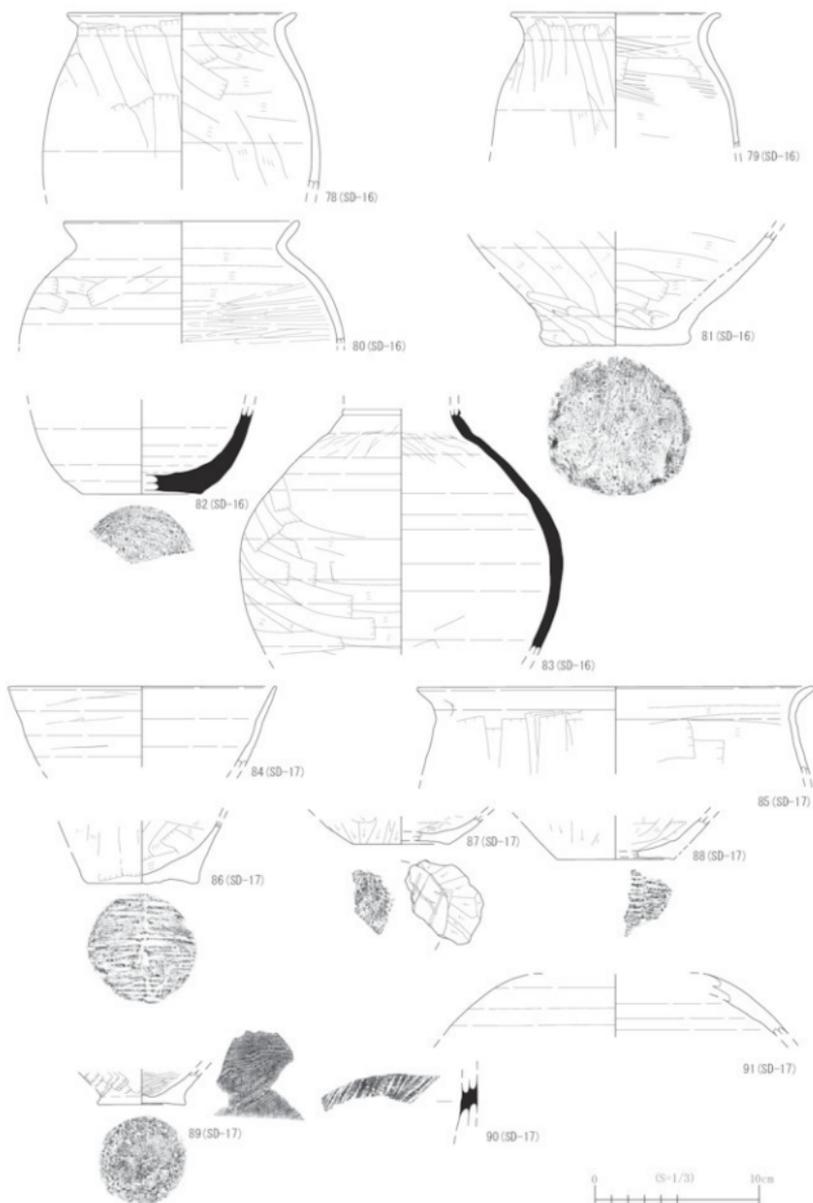
第296図 中道遺跡A区出土土器SD(3)



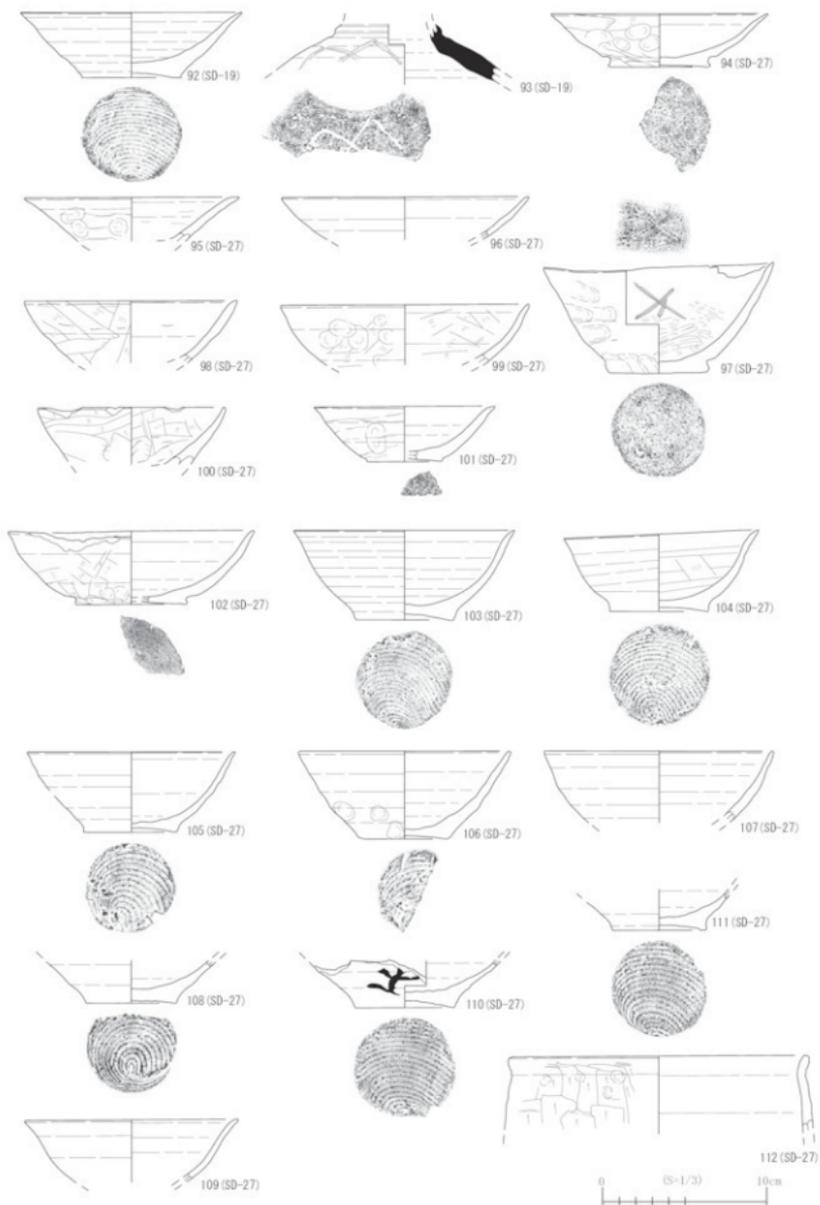
第297図 中道遺跡A区出土土器SD(4)



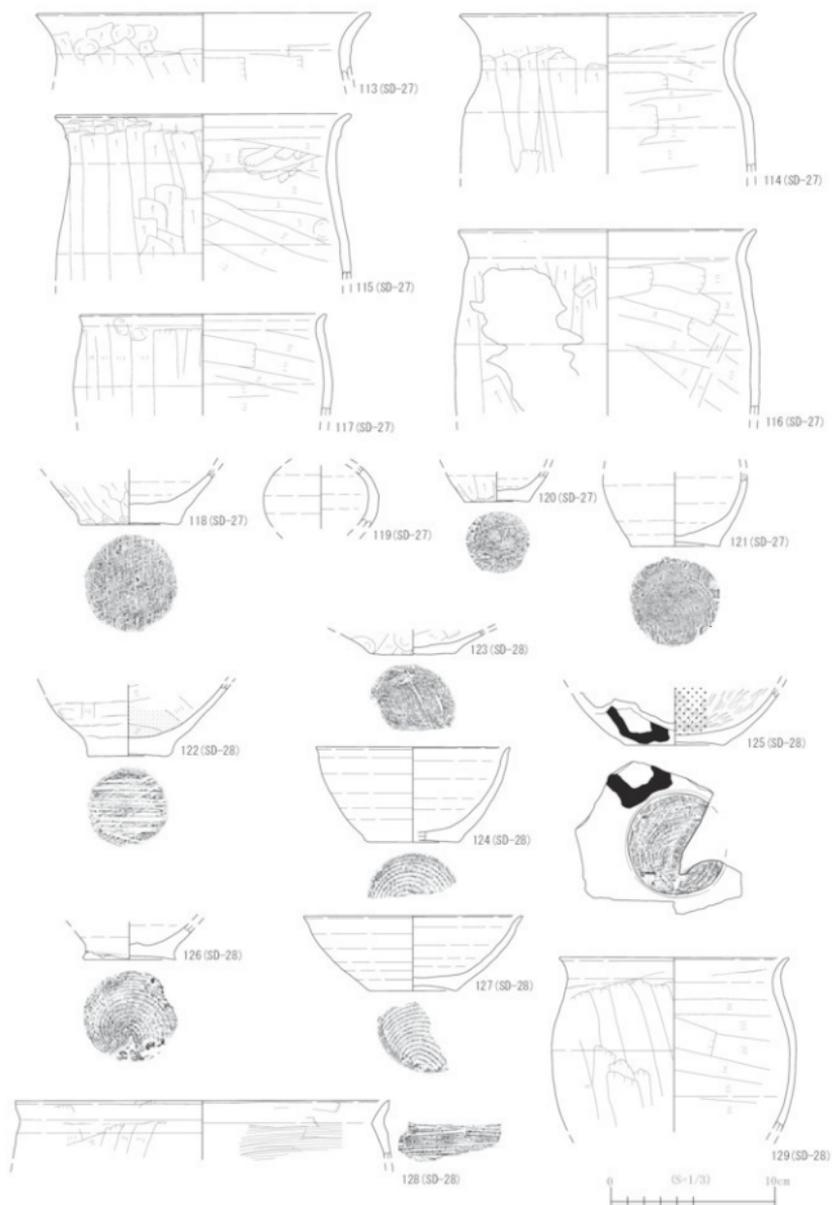
第298図 中道遺跡A区出土土器SD(5)



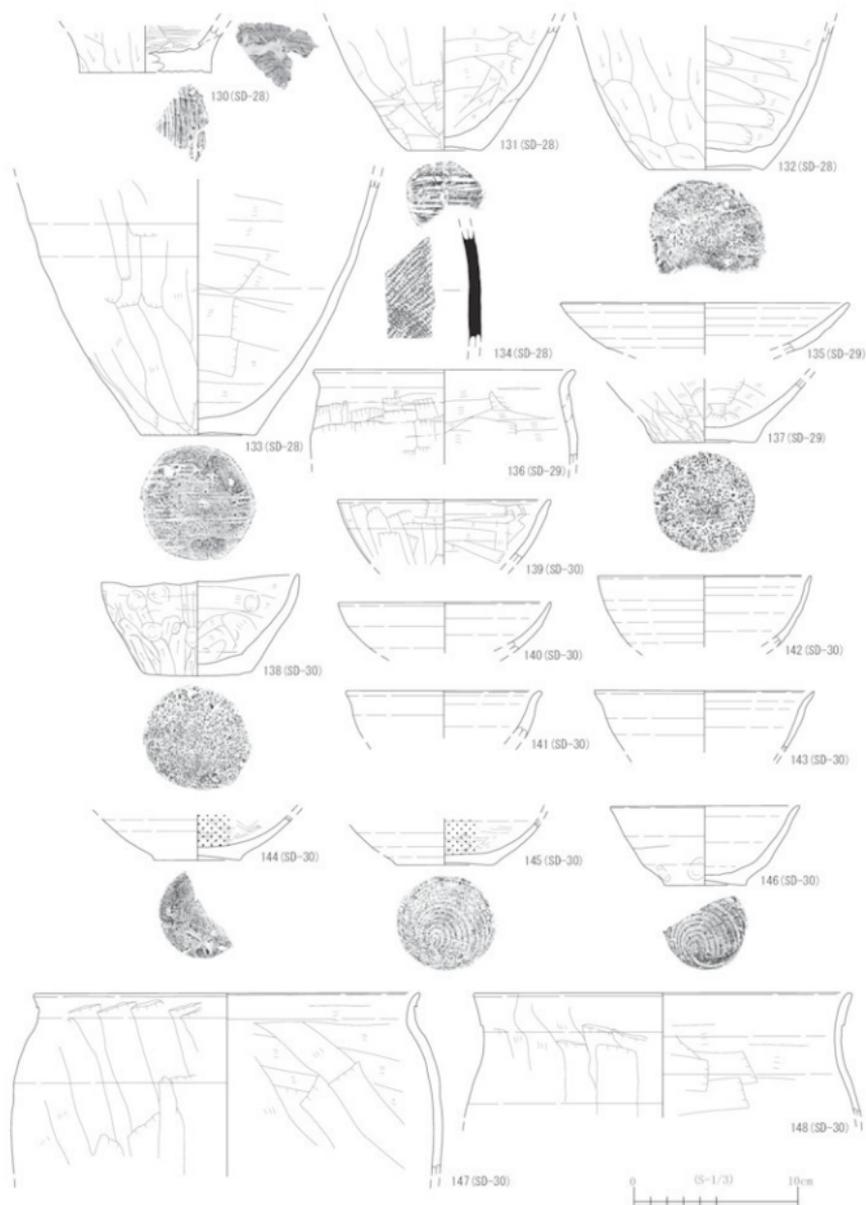
第299図 中道遺跡A区出土土器SD(6)



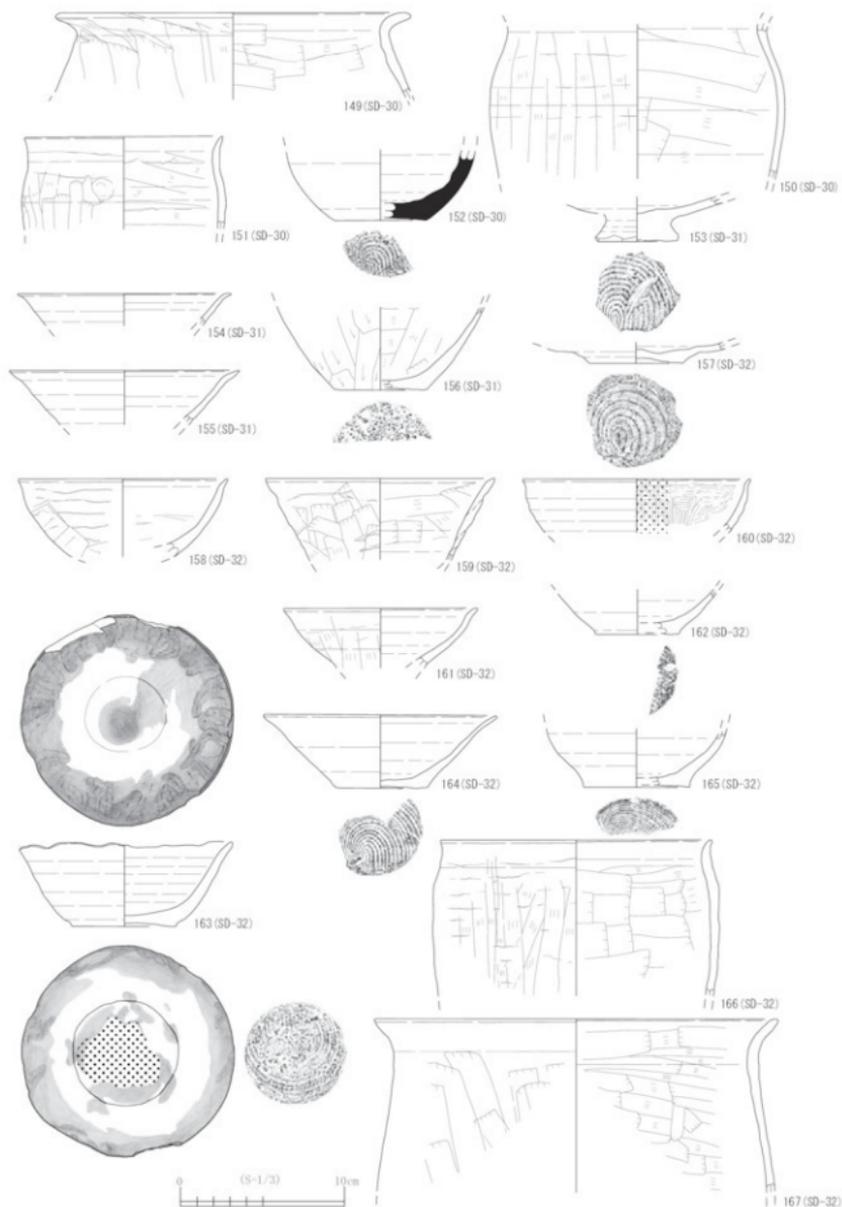
第300図 中道遺跡A区出土土器SD(7)



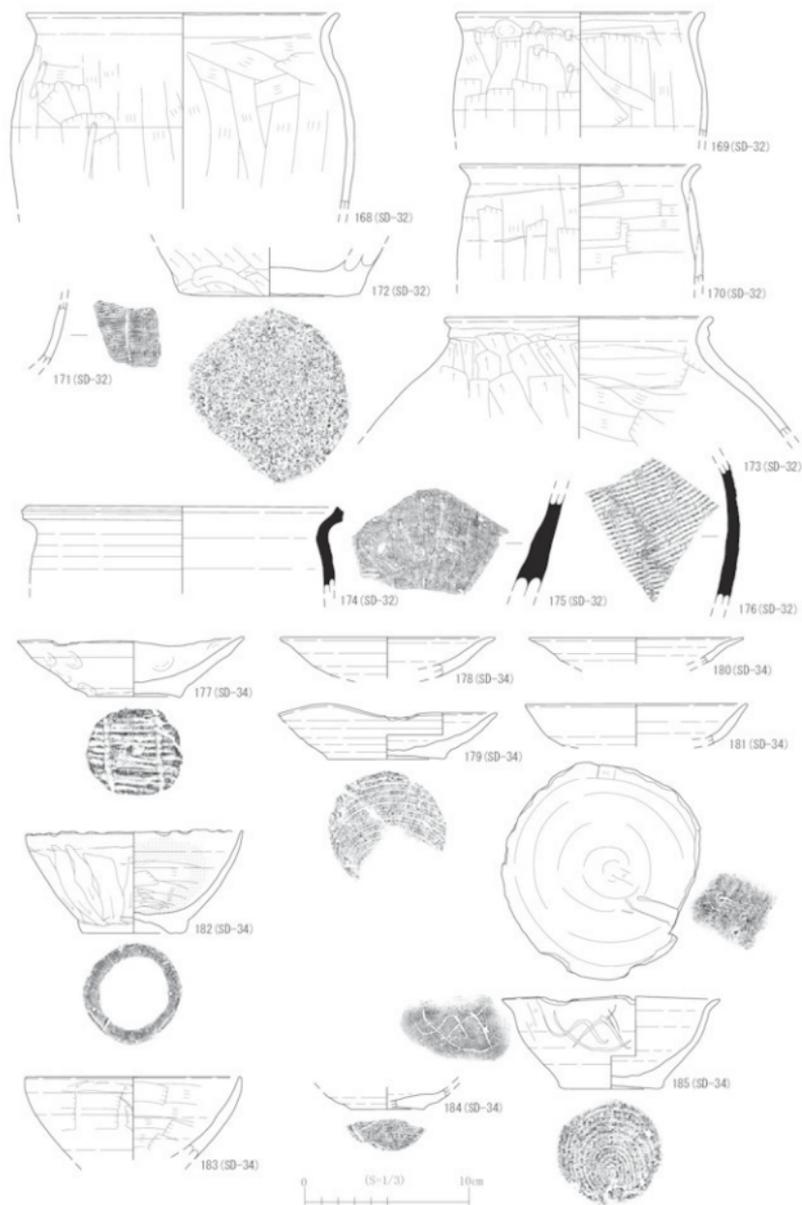
第30図 中道遺跡A区出土土器SD(8)



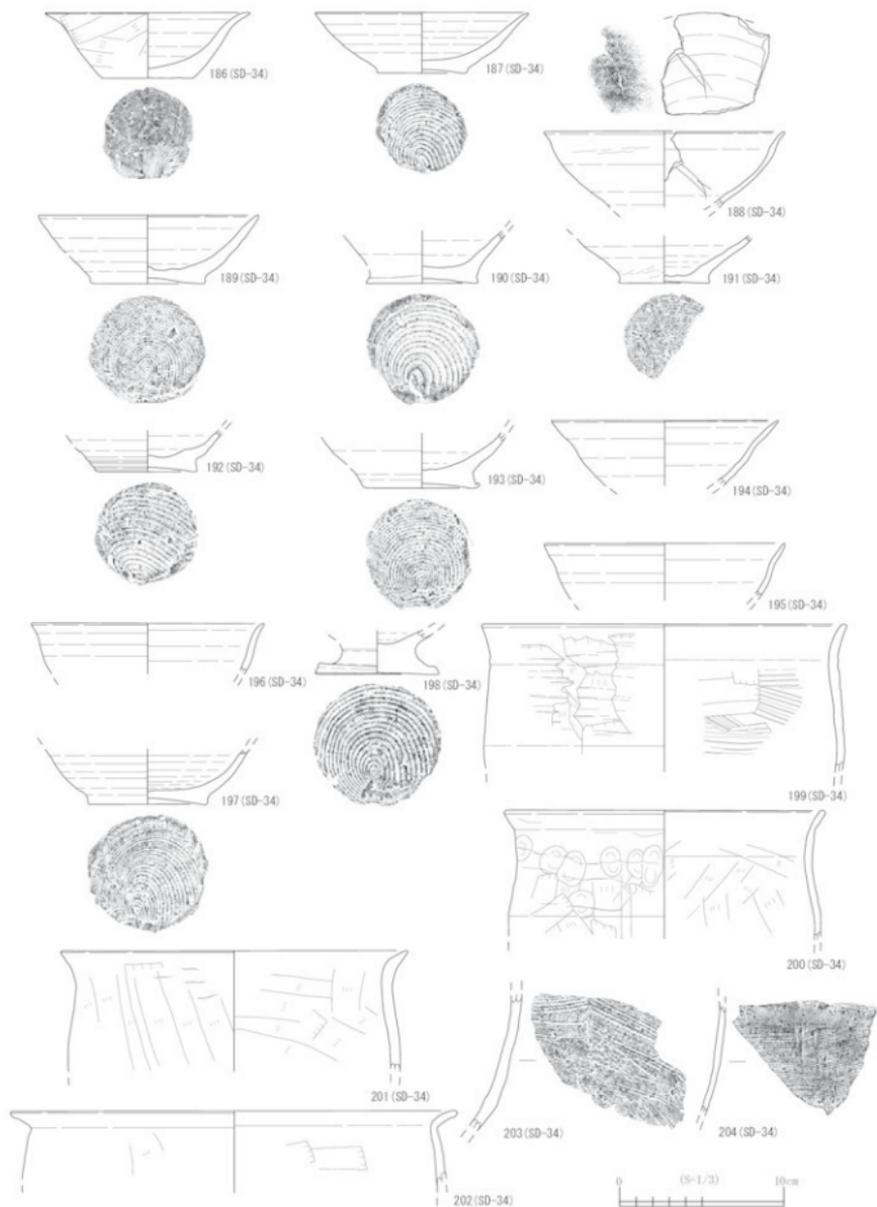
第302図 中道遺跡A区出土土器SD(9)



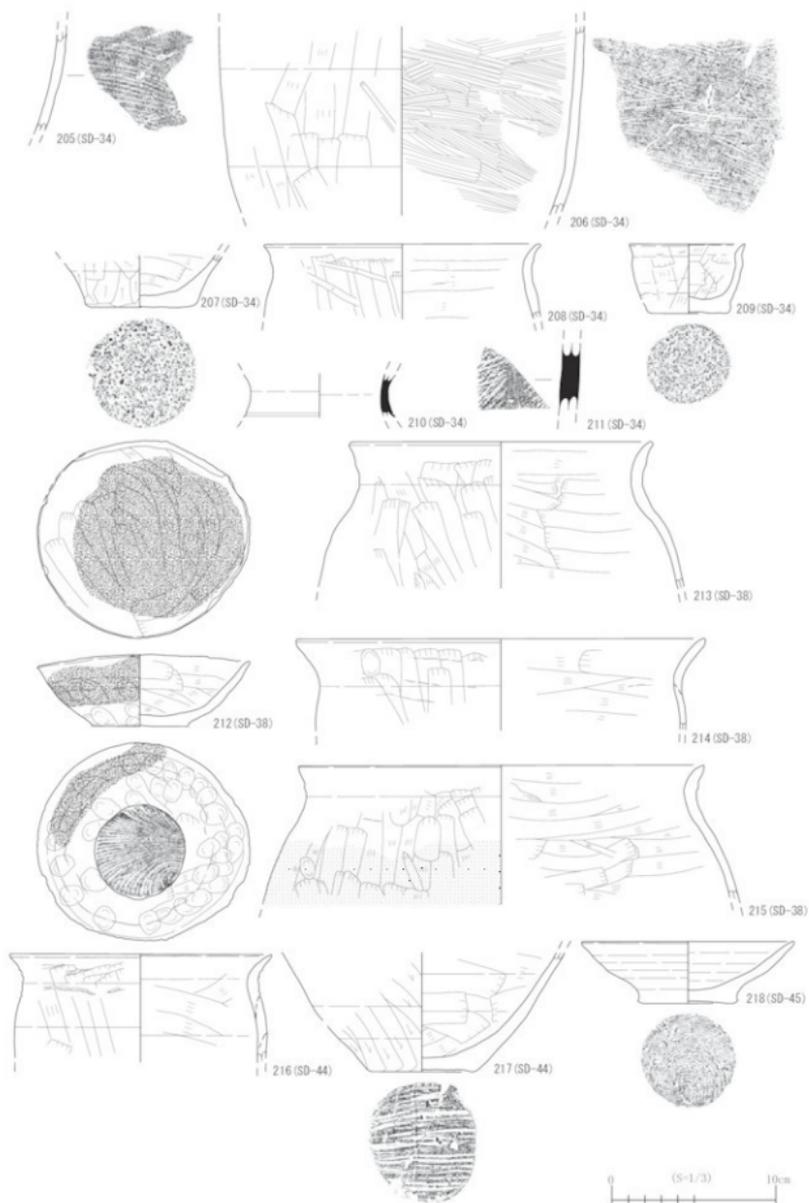
第303図 中道遺跡A区出土土器SD (10)



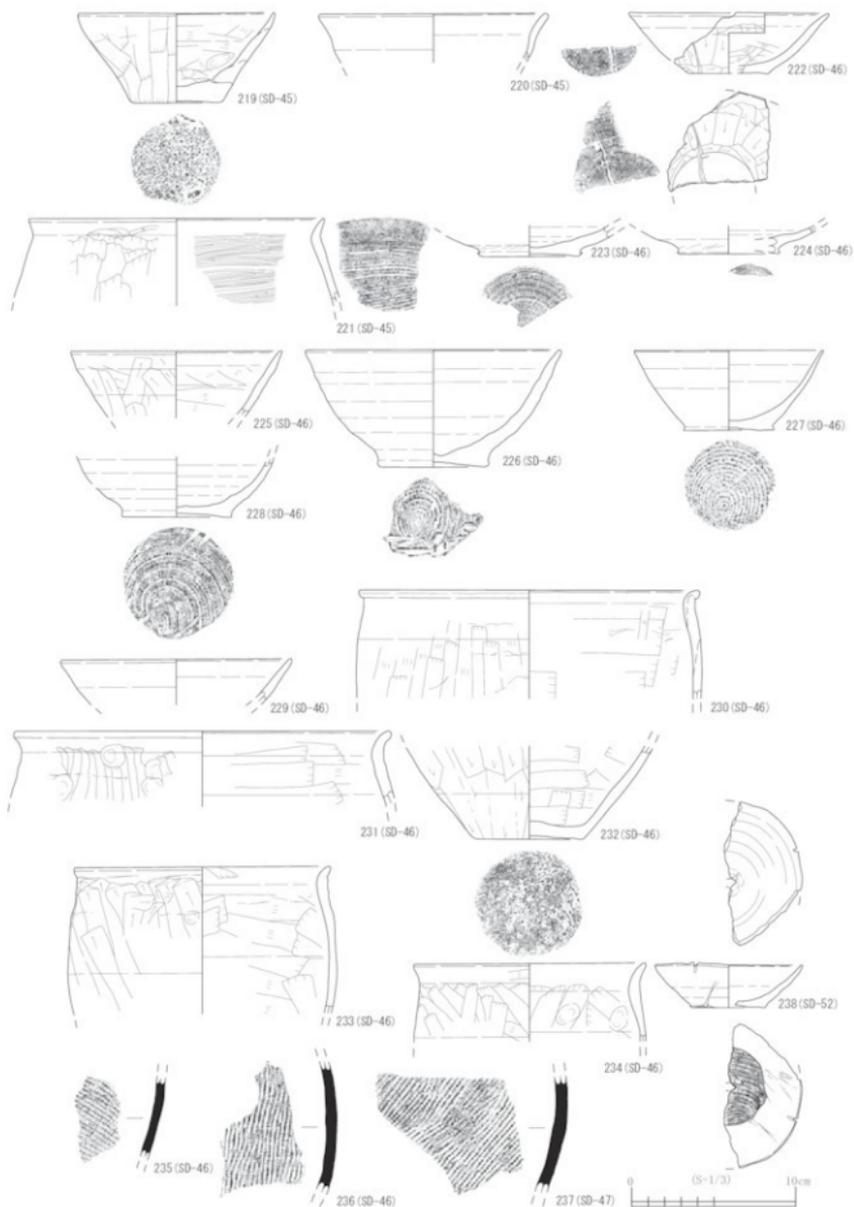
第304図 中道遺跡A区出土土器SD (11)



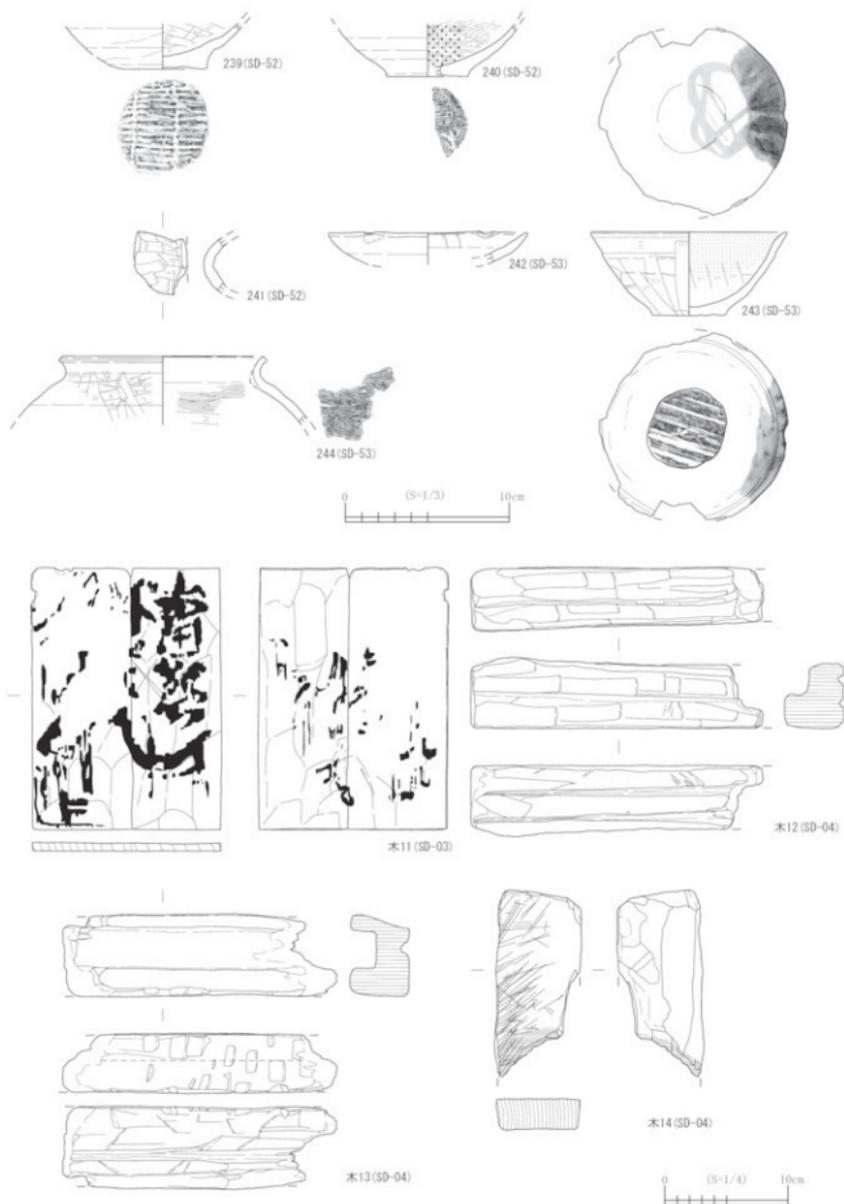
第305図 中道遺跡A区出土土器SD (12)



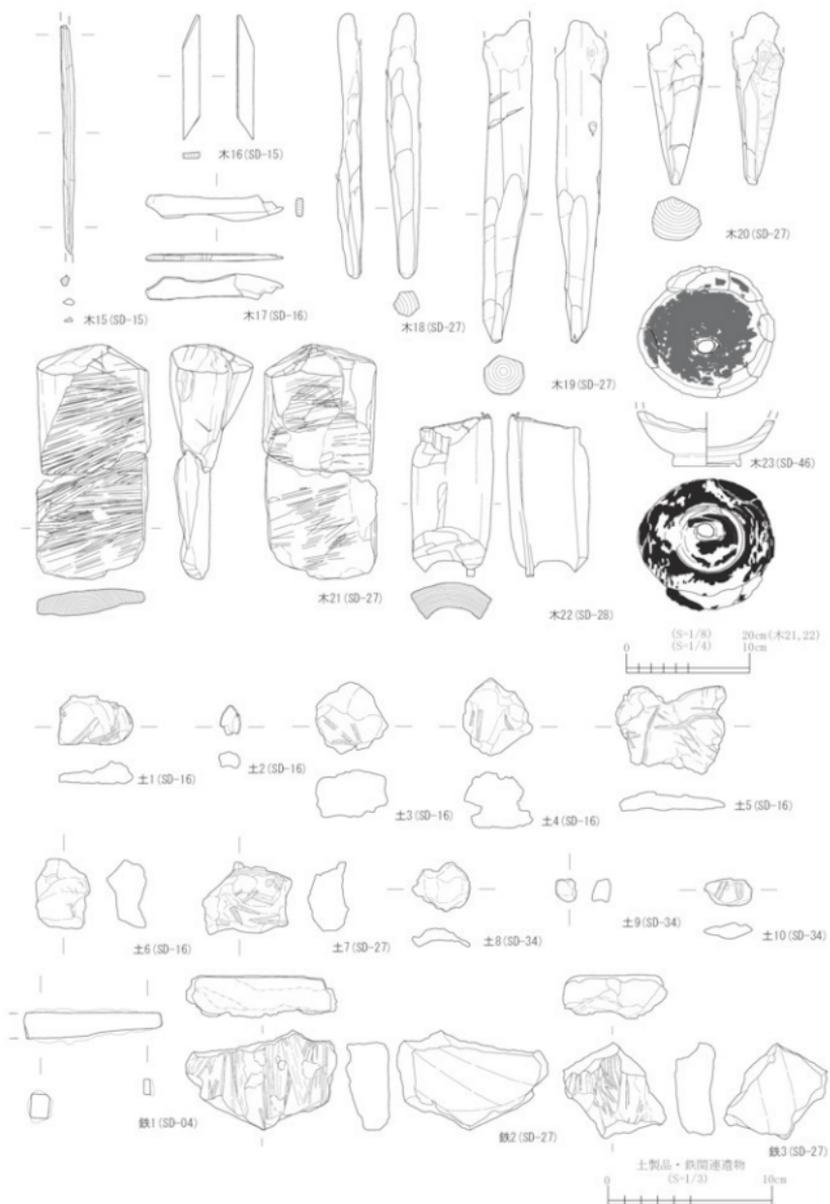
第306図 中道遺跡A区出土土器SD (13)



第307図 中道遺跡A区出土土器SD (14)



第308图 中道遺跡A区出土遺物SD(1)



第309図 中道遺跡A区出土遺物SD(2)

1) を図示した。246は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。247は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が外反する。248は甕の体部で、体部はほぼ直線的で、口縁部へと緩やかに外反すると考えられる。249は甕の体部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部は網代痕である。250は越前播鉢の体部である。木24は部材である。木25、27は曲物底板である。木25は表面に柿渋が塗布されている。木26は連歯下駄で、歯の部分がやや薄くなっている。石1は甕の破片で、表面には擦痕が認められる。

ASE-05 (第310図)

EX・EY-163グリッドで検出した。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸104×短軸100×深さ80cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からは井戸枠が認められた。堆積土は7層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、井戸枠の内側と外側で土層が分離する状況で、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器小甕1点(第311図251)、木製品6点(第312図木28～33)、礫石器1点(第312図石2)を図示した。251は小甕の口縁部～底部で、体部は丸みを帯び、底部はケズリによって台状に作られている。底部は網代痕である。木28～33は建築部材を転用した井戸枠材で、いずれも手斧によって加工されており、ほぞ穴が認められる。石2は台石と考えられ、被熱が認められる。

4. カマド状遺構

ASN-02 (第310図)

FD-160・161グリッドで検出した。カマド状遺構の燃焼部と考えられ、平面形は楕円形を呈し、規模は長軸81×短軸62×深さ13cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面から火床面は認められなかったが、壁面が焼土となっており、底面直上に炭化物がやや多量に混入していた。堆積土は1層で黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

5. その他の遺構

ASX-01 (第310図)

FE-160グリッドで検出した。SD-46と重複している。本遺構がSD-46を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸44×短軸38×深さ40cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面には底のない桶が据えられており、埋桶と考えられる。堆積土は桶外側の埋土を1層のみ確認した。にぶい黄褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

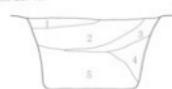
6. ビット

A区からは252基のビットを検出した。分布状況はFB～FDラインを除いて満遍なく分布している。各ビットの詳細及び出土遺物については第36表及び第313～329図のとおりである。

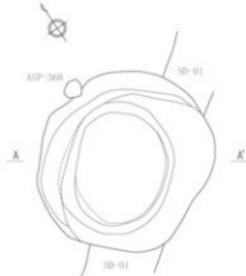
ASE-03



A. 28.7m



ASE-04



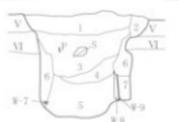
A. 28.8m



ASE-05



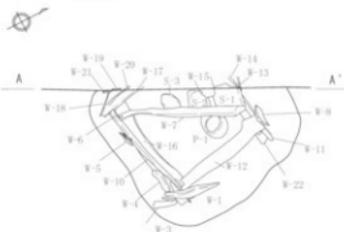
A. 28.9m



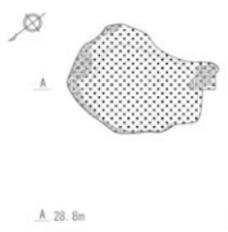
B. 28.5m



ASE-05 微細



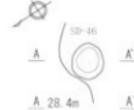
ASN-02



A. 28.8m



ASX-01



A. 28.4m



ASX-01微細



ASE-03

第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ2~5m)多量、ロームブロック(φ20m)多量、灰白色粘土ブロック(φ30~50m)多量
第2層	10YR2/3	黄褐色土	ローム粒(φ5~8m)中量、ロームブロック(φ10~30m)中量、灰白色粘土ブロック(φ20~30m)中量
第3層	10YR2/2	黄褐色土	ローム粒(φ5~8m)中量、ロームブロック(φ30~50m)多量、灰白色粘土ブロック(φ20~30m)中量
第4層	10YR1/7	黒色土	ローム粒(φ5m)少量、ロームブロック(φ20~30m)中量
第5層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5m)少量、ロームブロック(φ20~30m)少量、砂粒多量

ASE-05

第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、褐灰色土多量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ20m)少量
第3層	10YR2/1	黒色土	褐灰色土多量、木屑(φ5m)少量、自然煤(φ150m)微量
第4層	10YR2/1	黒色土	褐色砂少量、白色粘土ブロック(φ15m)少量
第5層	10YR2/1	黒色土	褐色砂多量、白色粘土ブロック(φ15m)多量
第6層	10YR2/1	黒色土	褐色土ブロック(φ20m)多量、白色粘土ブロック(φ20m)多量
第7層	10YR2/1	黒色土	褐色砂多量、灰白色砂多量

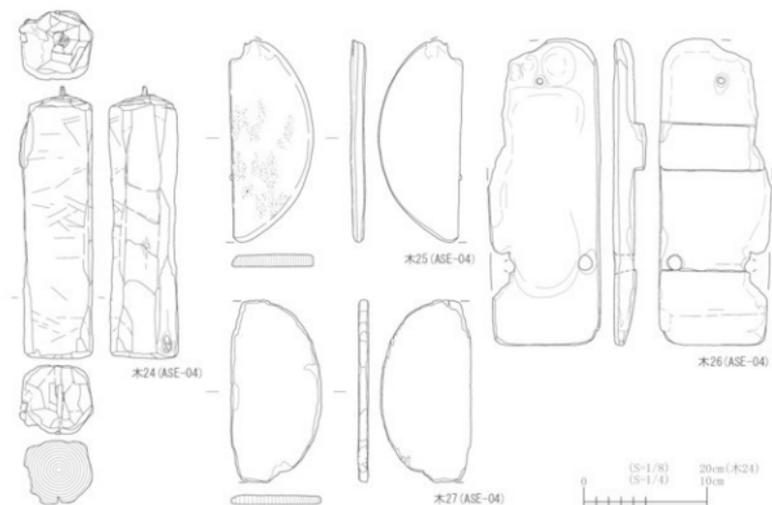
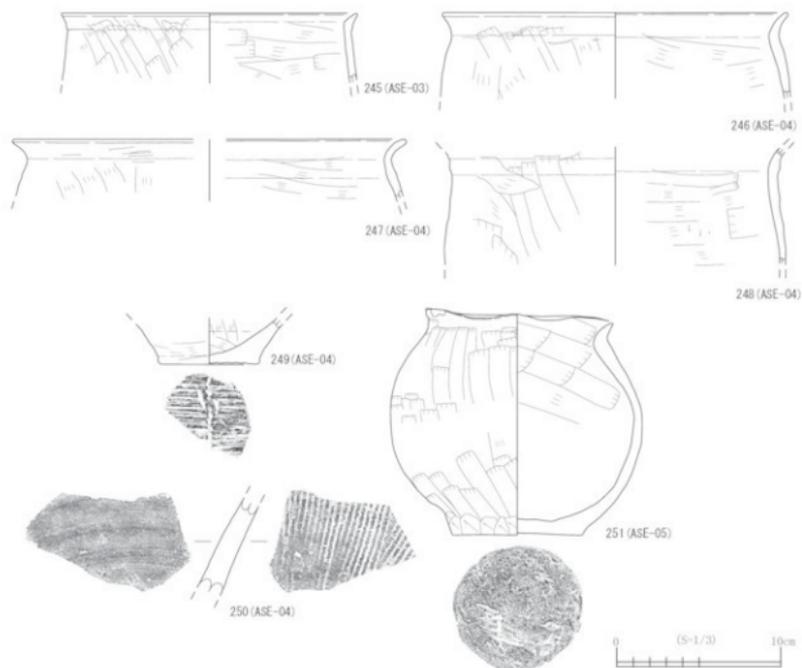
ASN-02

第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ20m)少量、白色粘土ブロック(φ30m)少量、 下層に炭化物(φ5m)多量
-----	---------	-----	--

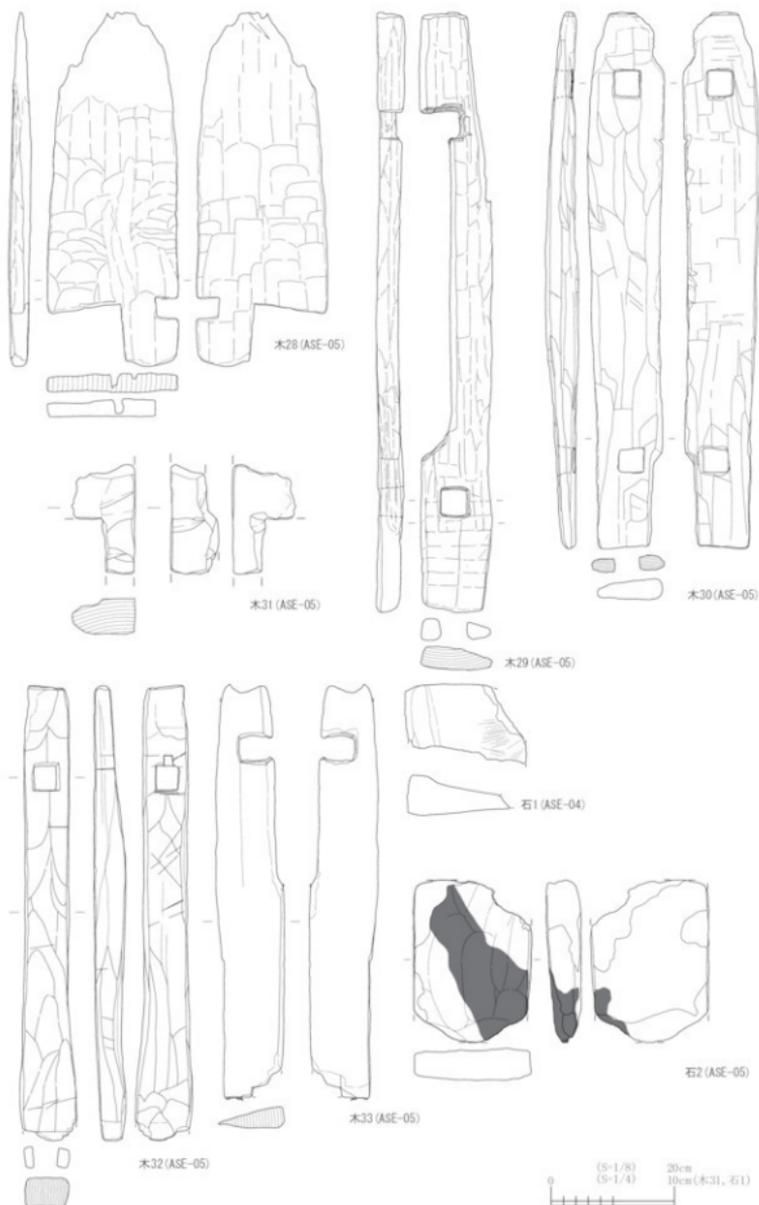
ASX-01

第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~5m)中量、ロームブロック(φ10~40m)微量、砂多量
-----	---------	---------	--------------------------------------

第310図 中道遺跡A区SE・SN・SX



第311図 中道遺跡A区出土遺物SE (1)



第312図 中道遺跡A区出土遺物SE (2)

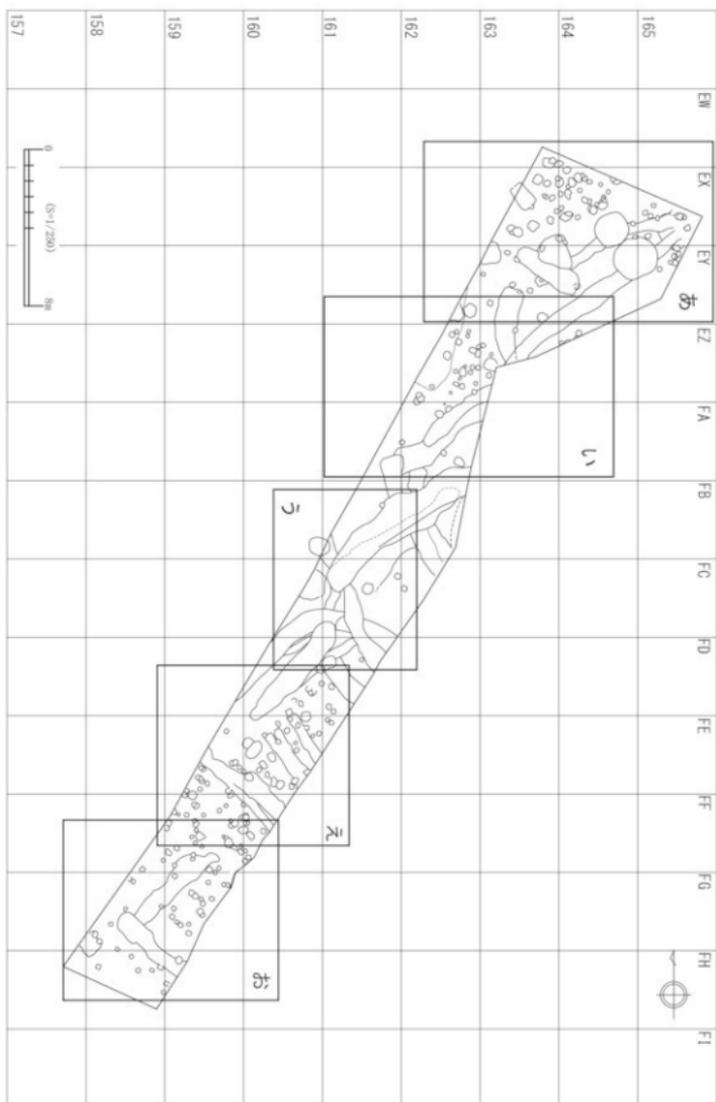
第36表 中道遺跡A区SP観察表

図録番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模 (cm)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第326區	ASP-257	FG-158	ASK-37と新旧不明	34	24	16	f	a			
第326區	ASP-258	FG-158	ASP-258&ASK-37	28	28	17	h	d			
第326區	ASP-259	FF-159		31	25	35	f	a			
第326區	ASP-260	FF-159		22	18	8	b	a			
第326區	ASP-261	FH-158		24	24	13	c	c			
第326區	ASP-262	FH-159	ASP-262>SD-53	42	35	28	h	h			
第326區	ASP-263	FG・FH-158		21	17	20	c	a			柱礎跡有
第327區	ASP-264	FH-158		21	20	18	h	j			
第327區	ASP-265	FH-158		24	22	37	c	a			
第327區	ASP-266	FH-158		23	18	14	e	i			
第327區	ASP-267	FH-158		22	20	11	h	h			
第327區	ASP-268	FH-159	ASP-271と新旧不明	(19)	(9)	10	h	a			
第327區	ASP-269	FH-158	SD-53と新旧不明	32	(21)	16	e	a			
第327區	ASP-270	FG-158		21	21	15	e	i			
第327區	ASP-271	FG-158・159	ASP-268と新旧不明	22	(20)	14	h	h			
第327區	ASP-272	FG-159		30	24	20	f	a			
第327區	ASP-273	FG-159		28	26	12	e	i			
第327區	ASP-274	FG-159		22	17	16	h	a			
第327區	ASP-275	FG-159		26	22	10	c	i			
第327區	ASP-276	FG-159		24	22	12	c	i			
第327區	ASP-277	FG-159		22	20	9	e	h			
第327區	ASP-278	FG-159	ASP-278&ASP-279	25	19	24	f	a			
第327區	ASP-279	FG-159	ASP-279&ASP-278	(30)	30	16	e	e			
第327區	ASP-280	FG-159	ASP-280&ASP-383	36	30	38	c	e			
第327區	ASP-281	FG-159		28	21	8	e	h			
第327區	ASP-282	FG-159		22	22	9	c	h			
第327區	ASP-283	FF・FG-159		32	32	29	c	a			柱礎跡有
第327區	ASP-284	FF-158		27	23	13	c	a			
第328區	ASP-285	FF-159		21	20	22	e	j			
第328區	ASP-286	FF-159		20	19	16	f	j			
第328區	ASP-287	FF-159		20	19	16	c	a			
第322區	ASP-288	FF-159		21	17	7	f	h			
第322區	ASP-289	FF-159		50	40	15	e	e			
第322區	ASP-290	FF-158・159	ASP-290&ASP-291	(20)	(20)	21	e	d			
第322區	ASP-291	FF-159	ASP-291>ASP-290	30	16	22	e	g			
第328區	ASP-292	FF-159	ASP-292&ASP-293, 382	48	45	62	h	j			
第328區	ASP-293	FF-159	ASP-293&ASP-292	36	22	23	e	e			
第322區	ASP-294	FF-159		22	22	18	h	i			
第322區	ASP-295	FF-159	ASP-295&ASP-296	26	21	24	c	a			
第322區	ASP-296	FF-159	ASP-296&ASP-295	35	(17)	48	f	a			
第327區	ASP-297	FG-158		20	(12)	20	h	a			
第323區	ASP-298	FE・FF-159		44	44	46	h	j			
第323區	ASP-299	FE-159		24	23	41	h	j			柱礎跡有
第323區	ASP-300	FE-159		27	19	22	c	a			
第323區	ASP-301	FE-159	ASP-301&ASP-302	26	(19)	33	h	g			
第323區	ASP-302	FE-159	ASP-302&ASP-301, 384	24	22	21	h	g			
第323區	ASP-303	FE-159	ASP-303&ASP-304	24	22	20	c	a			柱礎跡有
第323區	ASP-304	FE-159	ASP-304&ASP-303	25	13	54	c	a			
第323區	ASP-305	FE-159	SD-47と新旧不明	(29)	24	18	e	a			
第323區	ASP-306	FE・FF-159		30	18	16	e	g			
第323區	ASP-307	FF-159		19	18	24	c	h			
第323區	ASP-308	FF-159・160	ASP-308&ASP-309	37	32	58	e	f			
第323區	ASP-309	FF-159・160	ASP-309&ASP-308	52	35	10	e	d			
第323區	ASP-310	FF-159		18	15	9	c	a			
第323區	ASP-311	FF-160		43	26	36	e	j			
第323區	ASP-312	FF-159・160		51	37	11	e	i			
第315區	ASP-313	EW・EX-163	ASP-313&ASP-314, 335	(58)	47	9	e	i			
第315區	ASP-314	EW-163	ASP-314&ASP-313, 335	36	30	21	e	j			
第315區	ASP-315	EX-163		50	43	21	e	j			
第315區	ASP-316	EX-163	ASK-39と新旧不明	(18)	(16)	14	c	d			
第315區	ASP-317	EX-163	ASP-317&ASP-318	18	16	9	h	h			
第315區	ASP-318	EX-163	ASP-318&ASP-317	(22)	22	7	e	a			柱礎跡有
第315區	ASP-319	EX-164	ASP-319&ASP-320	24	(17)	10	e	a			柱礎跡有
第315區	ASP-320	EX-164	ASP-320&ASP-319	48	37	43	e	a			柱礎跡有
第315區	ASP-321	EX-164	ASP-338と新旧不明	32	20	25	e	a			
第315區	ASP-322	EX-164		28	19	10	e	c			
第315區	ASP-323	EX-164		20	8	24	c	a			
第315區	ASP-324	EX-164		25	24	13	c	a			
第315區	ASP-325	EX-163・164		28	23	34	e	a			柱礎跡有
第315區	ASP-326	EX-164	ASP-327と新旧不明	40	32	16	e	h			

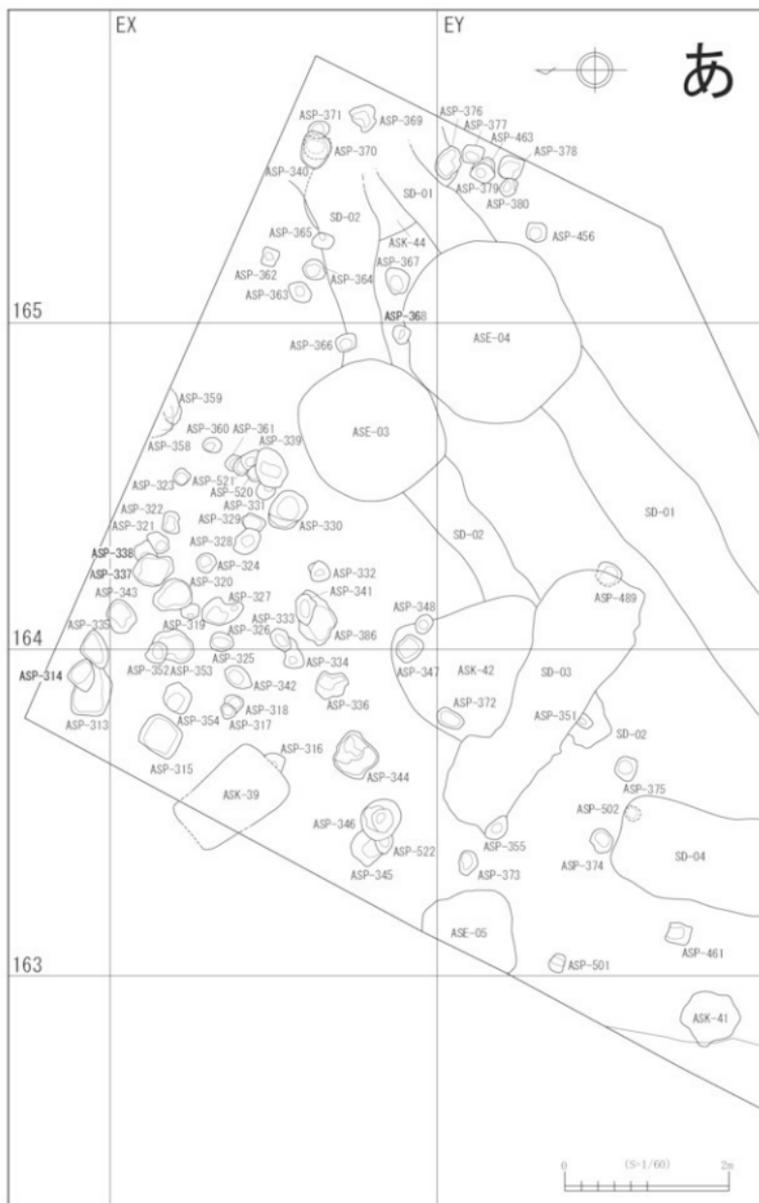
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模 (cm)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第315図	ASP-327	EX-164	ASP-326と新旧不明	(16)	19	9	e	d			
第315図	ASP-328	EX-164	ASP-328&ASP-329	34	28	14	e	a			
第315図	ASP-329	EX-164	ASP-329&ASP-328	21	(18)	15	f	a			
第315図	ASP-330	EX-164		50	39	18	c	a			柱礎残存
第315図	ASP-331	EX-164	ASP-331<ASP-339	(28)	(23)	24	h	d			
第315図	ASP-332	EX-164		24	23	14	e	c			
第315図	ASP-333	EX-163・164	ASP-333&ASP-334	21	20	16	f	i			
第315図	ASP-334	EX-163・164	ASP-334&ASP-333	(40)	24	12	e	j			
第315図	ASP-335	EW-163・164	ASP-313&ASP-335<ASP-314	48	31	32	e	i			
第316図	ASP-336	EX-163		40	29	8	e	c			
第315図	ASP-337	EX-164	ASP-337>ASP-338	50	40	32	e	a			
第315図	ASP-338	EX-164	ASP-338&ASP-337 ASP-321と新旧不明	23	(18)	30	c	d			
第315図	ASP-339	EX-164	ASP-339&ASP-331, 520・521	64	43	26	e	a			
第316図	ASP-340	EX-165	ASP-340&ASP-370- 371, ASK-44, SD-02	42	35	16	h	d			
第316図	ASP-341	EX-164	ASP-341&ASP-386	38	22	24	e	a			
第316図	ASP-342	EX-163		38	24	16	e	a			
第316図	ASP-343	EW・EX-164		36	34	12	e	c			
第316図	ASP-344	EX-163		48	48	21	e	j			
第316図	ASP-345	EX-163	ASP-345&ASP-346, 522	38	(29)	7	e	d			
第316図	ASP-346	EX-163	ASP-346&ASP-345, 522	66	44	29	e	a			
第316図	ASP-347	EX-163・164	ASP-347>ASK-42	32	28	17	e	a			柱礎残存
第316図	ASP-348	EX-164	ASP-348&ASK-42	25	19	30	n	j			
第323図	ASP-349	FF-159	ASP-349&ASP-357	39	33	45	e	h			
第318図	ASP-350	EY-163	ASP-350<SD-01	26	24	40	c	a			
第316図	ASP-351	EY-163	SD-02<ASP-351< SD-03	(18)	14	20	f	d			
第316図	ASP-352	EX-163・164	ASP-352&ASP-353	26	22	28	c	a			柱礎残存
第316図	ASP-353	EX-163・164	ASP-353<ASP-352	50	38	16	e	a			柱礎残存
第316図	ASP-354	EX-163		34	31	55	c	a			柱礎残存
第316図	ASP-355	EY-163	ASP-355<SD-03	37	22	22	f	h			
第322図	ASP-356	FF-159		19	19	11	e	a			
第323図	ASP-357	FF-159	ASP-357&ASP-349	30	(17)	18	c	i			
第316図	ASP-358	EX-164	ASP-358&ASP-359	(24)	(12)	22	e	d			
第316図	ASP-359	EX-164	ASP-359&ASP-358	(34)	(14)	29	e	a			
第316図	ASP-360	EX-164		21	19	8	h	i			
第315図	ASP-361	EX-164	ASP-361<ASP-521	19	(14)	11	a	a			
第317図	ASP-362	EX-165		21	18	10	e	h			
第317図	ASP-363	EX-165		32	23	21	h	a			
第317図	ASP-364	EX-165		28	25	9	h	i			
第317図	ASP-365	EX-165	ASP-365>ASK-44, SD-02	27	21	12	e	h			
第317図	ASP-366	EX-164	ASP-366<SD-02	26	21	7	e	d			
第317図	ASP-367	EX-165		35	27	14	e	a			
第317図	ASP-368	EX-164	ASP-368>ASE-04	24	20	9	e	h			
第317図	ASP-369	EX-165		33	32	8	e	d			
第316図	ASP-370	EX-165	ASP-340, 371>ASP- 370<SD-02	35	(26)	10	e	d			
第316図	ASP-371	EX-165	ASP-340&ASP-371 >ASP-370, ASK-44	27	23	12	h	a			
第317図	ASP-372	EX・EY-163	ASP-372<ASK-42	34	20	10	b	a			
第317図	ASP-373	EY-163		30	22	5	f	d			
第317図	ASP-374	EY-163		29	27	13	e	a			柱礎残存
第317図	ASP-375	EY-163		30	17	10	c	g			
第317図	ASP-376	EX・EY-165	ASP-376>ASK-44	41	31	8	e	a			
第317図	ASP-377	EY-165	ASP-377>ASP-463	24	22	29	c	a			
第317図	ASP-378	EY-165	ASP-378<ASP-380	28	28	24	c	a	土師甕1点 (第329図252)	平安時代	柱礎残存
第317図	ASP-379	EY-165	ASP-379&ASP-463	29	21	34	c	j			
第317図	ASP-380	EY-165	ASP-380&ASP-378	(22)	19	35	h	a			
第328図	ASP-381	FF-159		16	12	10	f	h			
第328図	ASP-382	FF-159	ASP-382<ASP-292	(24)	(16)	18	h	a			
第327図	ASP-383	FG-159	ASP-383<ASP-280	36	29	56	e	a			
第323図	ASP-384	FE-159	ASP-384<ASP-302	28	15	18	h	a			
第323図	ASP-385	FF-159・160	ASP-385<SD-47	24	22	6	e	h			
第316図	ASP-386	EX-164	ASP-386&ASP-341	56	42	11	e	a			
第323図	ASP-387	FF-159・160	ASP-387>ASP-388	14	17	12	c	a			
第323図	ASP-388	FF-160	ASP-388<ASP-387	21	(14)	6	e	i			
第323図	ASP-389	FF-160		28	26	9	h	i			
第328図	ASP-390	FF-159・160		21	18	15	c	d			
第328図	ASP-391	FF-160		26	23	8	c	d			
第328図	ASP-392	FF-159・160		28	24	8	c	h			

区画番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模 (m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第323区	ASP-393	FF-159		23	21	16	f	h			柱礎跡有
第324区	ASP-394	FF-159		20	20	20	h	a			柱礎跡有
第324区	ASP-395	FE・FF-159	ASP-395>ASP-396	(26)	(21)	28	e	i			
第324区	ASP-396	FE-159	ASP-396>ASP-395	(20)	(16)	29	e	a			
第324区	ASP-397	FF-159		(30)	(17)	18	f	d			
第324区	ASP-398	FF-159		18	16	6	h	d			
第324区	ASP-399	FF-159	ASP-399>ASP-400	23	18	21	h	a			
第324区	ASP-400	FF-159	ASP-400>ASP-399	30	25	16	e	j			
第328区	ASP-401	FF-159		24	24	8	c	i			
第328区	ASP-402	FF-159	ASP-402>SD-52、ASP-403	27	23	14	e	d			
第328区	ASP-403	FF-159	SD-52>ASP403<ASP-402	24	(17)	12	f	c			
第328区	ASP-404	FF-158		22	22	16	e	a			
第328区	ASP-405	FF-159	ASP-405>SD-52	22	22	16	e	d			
第328区	ASP-406	FG-159	ASP-406>SD-52	25	24	17	c	a			
第328区	ASP-408	FF・FG-159		22	20	6	c	a			
第328区	ASP-409	FF-159		21	20	18	c	a			
第328区	ASP-410	FE-159	ASP-410>ASP-411	23	20	23	c	a			
第328区	ASP-411	FG-159	ASP-411<ASP-410	25	21	24	f	a			
第328区	ASP-413	FG-159	ASP-413>ASP-414	22	18	10	e	h			
第328区	ASP-414	FG-159	ASP-414>ASP-413	30	23	14	e	c			
第324区	ASP-416	FE-159	ASP-416>ASP-417	32	26	23	f	i			
第324区	ASP-417	FE-159	ASP-417<ASP-416	30	(16)	26	h	a			
第324区	ASP-418	FE-159・160	ASP-418>ASK-43	56	44	18	e	c			
第324区	ASP-420	FE-160		44	26	39	e	j			
第324区	ASP-421	FE-160		49	38	34	f	a			
第324区	ASP-422	FE-160	ASP-422>SD-45	40	28	18	e	j			
第324区	ASP-423	FE-160		32	24	10	e	d			
第324区	ASP-425	FE-159		22	21	13	h	d			
第324区	ASP-426	FE-159		23	22	21	h	a			
第324区	ASP-427	FE-160		26	26	6	h	a			
第324区	ASP-428	FE-160		30	20	16	e	g			
第324区	ASP-429	FE-160	ASP-429>ASP-430	48	36	30	e	a			
第324区	ASP-430	FE-160	ASP-430>ASP-429	48	(27)	33	e	g			
第324区	ASP-431	FE-159・160		24	20	21	c	a			
第324区	ASP-432	FE-160	ASP-432>SD-45	(36)	(20)	22	e	a			
第324区	ASP-433	FE-160		27	23	23	c	a			
第324区	ASP-434	FE-160	ASP-434>SD-45	27	24	13	c	h			
第325区	ASP-435	FE-160	ASP-435>SD-45	24	22	34	c	a			
第325区	ASP-436	FE-160		29	20	18	e	a			
第325区	ASP-437	FE-160		32	26	20	e	a			
第325区	ASP-438	FE-160	ASP-438>SD-44	28	21	28	f	a			
第325区	ASP-439	FE-160	ASP-439>SD-44	23	22	38	c	a			
第325区	ASP-440	FD-160	ASP-440>SD-44	32	22	48	c	a			
第325区	ASP-441	FE-160		24	22	30	h	a			
第325区	ASP-442	FE-160		20	18	8	h	d			
第325区	ASP-443	FE-160	ASP-443>SD-44	25	(20)	22	h	a			
第325区	ASP-444	FD・FE-160		50	48	18	e	d			
第325区	ASP-445	FE-161		22	18	34	c	a			
第325区	ASP-446	FE-161		24	24	19	f	a			
第325区	ASP-447	FD-160		(24)	(9)	14	f	a			
第325区	ASP-448	FD-160		32	21	22	c	h			柱礎跡有
第325区	ASP-449	FD-161		32	28	21	e	g			
第325区	ASP-450	FD-161		30	28	36	h	a			
第325区	ASP-451	FD-160・161	ASP-451>SD-30・31、ASN-02	40	(31)	11	c	a			
第328区	ASP-452	FG-158		21	18	23	e	a			
第328区	ASP-453	FG-158		21	22	18	c	a			
第328区	ASP-454	FG-158	ASP-454>SD-52	22	17	12	f	a			
第317区	ASP-456	EY-165		26	26	11	c	i			
第318区	ASP-457	EZ-164		32	29	25	h	a			
第318区	ASP-458	EZ-164		(19)	(6)	34	h	a			
第318区	ASP-459	EZ-164		(27)	(8)	42	c	a			
第318区	ASP-460	EZ-163	ASP-460>SD-04	28	21	34	h	j			
第317区	ASP-461	EY-163		27	24	20	c	a			柱礎跡有
第318区	ASP-462	EZ-164		21	16	16	e	a			柱礎跡有
第317区	ASP-463	EY-165	ASP-463>ASP-377、379	(20)	(10)	14	h	d			
第319区	ASP-464	FA-161・162		24	24	12	c	a			
第319区	ASP-465	FA-162	ASP-465>SD-01	42	36	18	f	i			
第319区	ASP-466	FA-162	ASP-466>SD-01	36	26	20	f	a			
第319区	ASP-467	EZ・FA-162	ASP-467>ASP-468、486	(37)	(30)	12	b	a			
第319区	ASP-468	EZ-162	ASP-467>ASP-468<ASP-486	32	(32)	26	e	a			

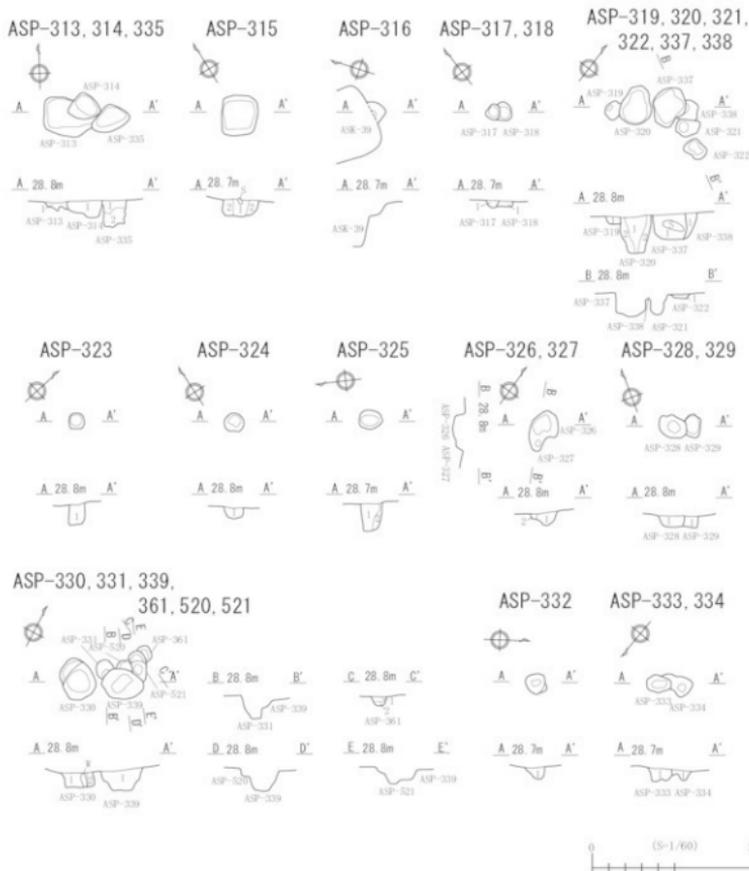
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模 (m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第319図	ASP-469	EZ-162		31	18	12	e	a			
第319図	ASP-470	EZ-162		29	26	13	h	d			
第319図	ASP-471	EZ-162		21	20	14	h	d			
第319図	ASP-472	EZ-162		49	34	24	e	i			
第319図	ASP-473	EZ-162		45	38	35	e	i			
第319図	ASP-474	EZ-162	ASP-474<ASP-475	(38)	28	10	b	d			
第319図	ASP-475	EZ-162・163	ASP-475>ASP-474	38	24	9	b	a			
第319図	ASP-476	EZ-162・163	ASP-476>ASP-503	24	21	18	e	a			柱礎跡有
第319図	ASP-477	EZ-162		30	29	10	h	a			
第319図	ASP-478	EZ-162		22	18	7	c	d			
第319図	ASP-479	EZ-162		24	20	6	f	a			
第319図	ASP-480	EZ-162		24	22	14	e	a			
第319図	ASP-481	EZ-162・163		27	24	22	e	d			
第319図	ASP-482	EZ-162		32	30	14	c	a	須恵御養1点 (第329図253)	平安時代	
第320図	ASP-485	EZ-162	ASP-485>SD-01	28	24	14	e	i			
第319図	ASP-486	EZ-162	ASP-486>ASP-467・ 469	30	25	28	h	i			
第321図	ASP-487	FB-161	ASP-487>SD-16	28	24	29	h	a			
第320図	ASP-488	FA-162	ASP-488>SD-13	28	26	12	c	d			
第317図	ASP-489	EY-164	ASP-489>SD-03	30	29	34	h	a			柱礎跡有
第325図	ASP-490	FD-160	ASP-490>ASP-491・ 494	(28)	(26)	18	x	a			
第325図	ASP-491	FD-160	ASP-490>ASP-491 <ASP-494	(26)	(26)	17	x	c			
第325図	ASP-492	FD-160・161		27	26	12	e	d			
第325図	ASP-493	FD-161		26	24	23	e	a			
第325図	ASP-494	FD-160	ASP-494>ASP-490・ 491	25	22	11	h	a			
第325図	ASP-495	FE-160		18	17	8	e	d			
第321図	ASP-496	FD-161		22	20	30	e	a			
第321図	ASP-497	FC-162	ASP-497>SD-20	60	50	16	e	i			柱礎跡有
第321図	ASP-499	FC-161・162		29	28	29	c	j			
第320図	ASP-500	FA-162		51	42	20	e	i			
第317図	ASP-501	EY-163		23	17	14	e	g			
第317図	ASP-502	EY-163	ASP-502<SD-04	20	17	14	c	a			
第319図	ASP-503	EZ-162・163	ASP-503>ASP-476	(26)	23	12	c	a			
第320図	ASP-504	EZ-163		18	14	6	c	a			
第320図	ASP-505	EZ-162		20	16	10	c	a			
第320図	ASP-506	EZ-162		20	20	14	e	a			
第320図	ASP-507	EZ-162		20	18	5	e	d			
第320図	ASP-508	EZ-163		28	24	24	h	a			
第321図	ASP-509	FC-161・162		28	27	14	c	h			
第320図	ASP-510	EZ-162		20	18	12	e	d			
第315図	ASP-520	EX-164	ASP-520>ASP-339・ 521	(19)	(12)	10	h	a			
第315図	ASP-521	EX-164	ASP-339>ASP-521 >ASP-361・520	(38)	(17)	20	c	b			
第316図	ASP-522	EX-163	ASP-345>ASP-522 <ASP-346	(20)	20	13	f	a			
第320図	ASP-523	EZ-162		14	13	9	h	g			
第320図	ASP-524	EZ-162		18	14	4	h	g			
第320図	ASP-525	EZ-162		17	12	8	h	g			
第320図	ASP-526	FA-162		8	8	4	h	g			



第313図 中道遺跡A区SP分割図

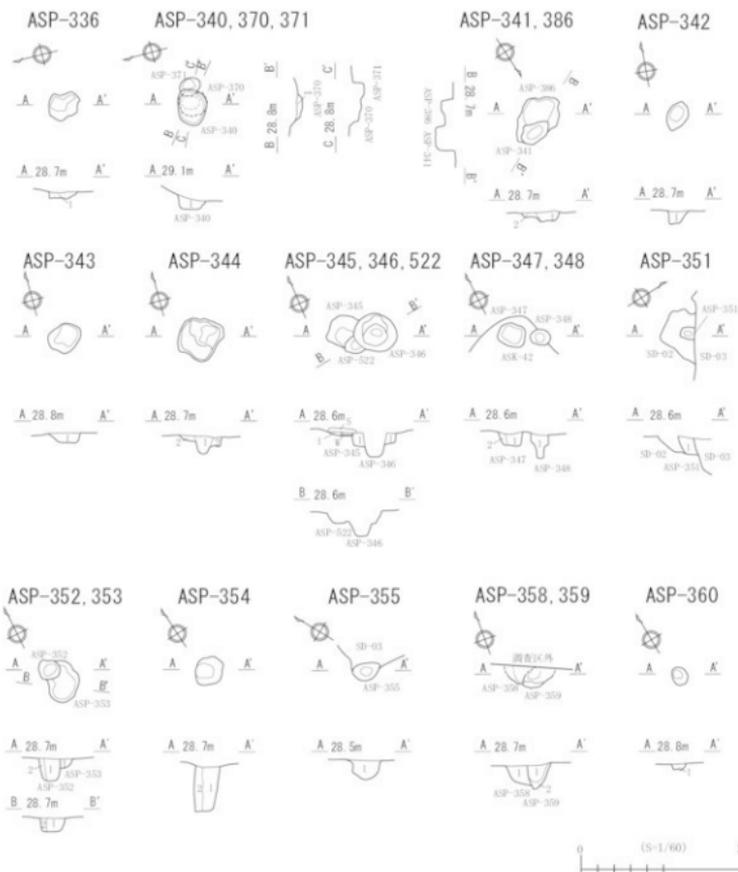


第314図 中道遺跡A区SP区分図あ



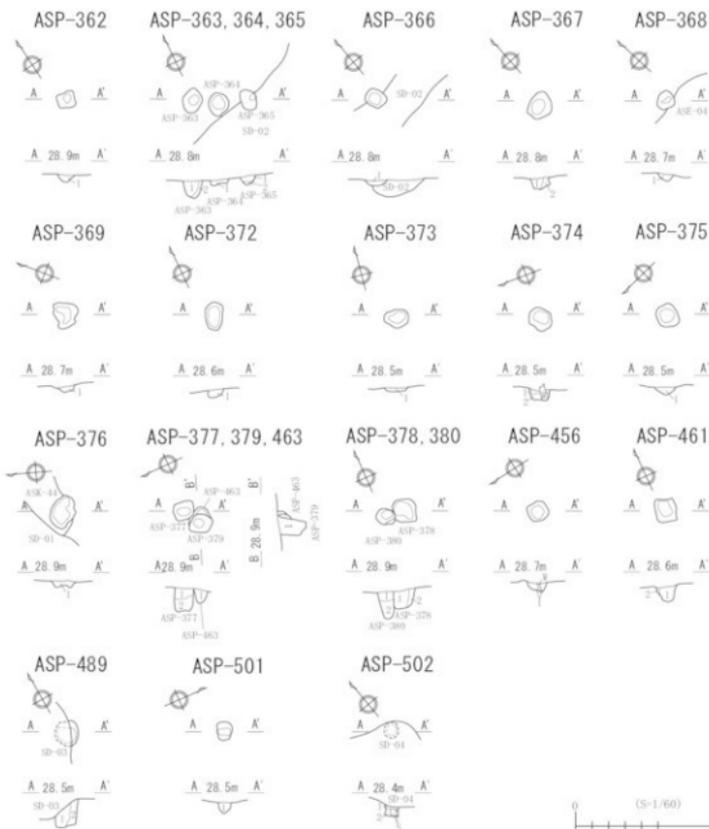
ASP-313	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-314	第1層 10YR4/1	褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-315	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
	第2層 10YR4/1	褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、黒色土ブロック(φ10mm)少量
			斑文状に多量
ASP-317	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-318	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-319	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-320	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-321	第1層 10YR4/1	褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-322	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-323	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-324	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-325	第1層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-326	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-327	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-328	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-329	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-330	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-331	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-339	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-332	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-333	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-334	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量

第315図 中道遺跡A区SPあ(1)



ASP-336 第1層 10YR2/1 黒色土	ロームブロック(φ10m)少量、自然礫(φ150m)微量	ASP-341 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、焼灰色土多量
ASP-340 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量、ロームブロック(φ50m)中量	ASP-342 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ15m)中量
ASP-343 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量	ASP-343 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、焼灰色土多量
ASP-344 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量ロームブロック(φ50m)中量	ASP-344 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量
ASP-345 第1層 10YR2/1 黒色土	木粒(φ10m)少量、ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)中量	ASP-345 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、木粒(φ5m)少量
ASP-346 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量、上面に扁平な自然礫	ASP-346 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)中量
ASP-347 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量	ASP-347 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ15m)中量
ASP-348 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量	ASP-348 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ50m)多量
ASP-349 第1層 10YR4/1 焼灰色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)少量	ASP-349 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量
ASP-351 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)少量	ASP-351 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ20m)少量、焼灰色土少量
ASP-352 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、自然礫(φ150m)微量	ASP-352 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、焼灰色土多量
ASP-353 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量、ロームブロック(φ50m)中量	ASP-353 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、焼灰色土多量
ASP-354 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量	ASP-354 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、焼灰色土多量
ASP-355 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)中量ロームブロック(φ50m)中量	ASP-355 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ20m)中量
ASP-358 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、木粒(φ5m)少量	ASP-358 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)中量
ASP-359 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)中量	ASP-359 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ15m)中量
ASP-360 第1層 10YR4/1 焼灰色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ10m)少量	ASP-360 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5m)少量、ロームブロック(φ50m)多量

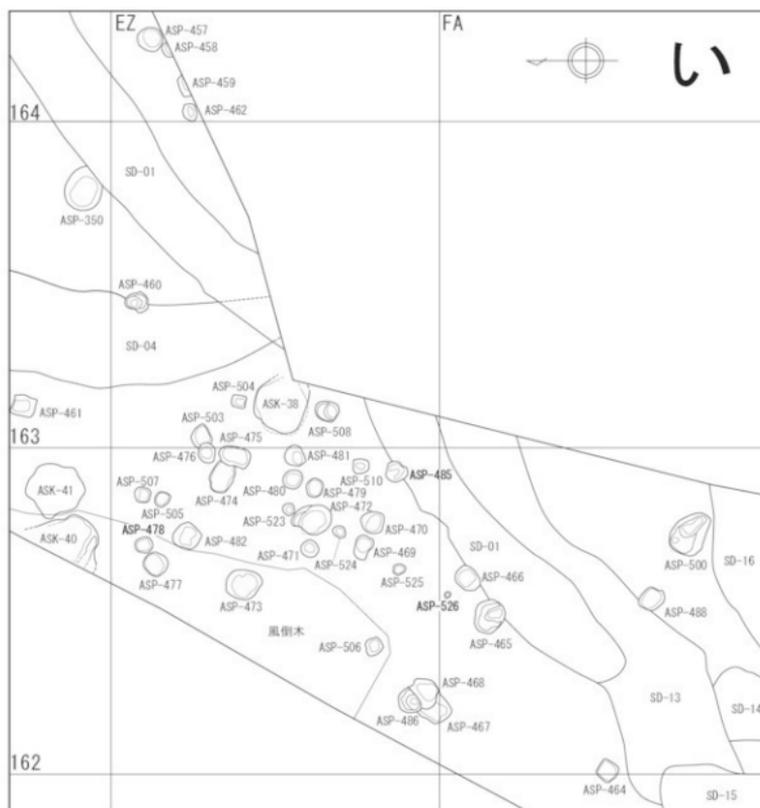
第316図 中道遺跡A区SPあ(2)



ASP-362	第1層 10YR2/1	黒色土	ロームブロック(φ30mm)少量
ASP-363	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-364	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)微量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-365	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-365	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-366	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)微量
ASP-366	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-367	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)中量
ASP-367	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-368	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、暗褐色土少量
ASP-369	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-372	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)多量
ASP-373	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)少量
ASP-374	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土多量
ASP-374	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量、木片含む
ASP-375	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土少量

ASP-376	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)中量、ロームブロック(φ10mm)微量
ASP-377	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土ブロック(φ10mm)少量
ASP-377	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色土ブロック(φ15mm)少量
ASP-378	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)中量
ASP-378	第2層 10YR4/1	褐色土	ロームブロック(φ10mm)中量
ASP-379	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)中量
ASP-380	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土多量
ASP-380	第2層 10YR2/1	黒色土	褐色土ブロック(φ15mm)微量
ASP-461	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土少量
ASP-461	第1層 10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-461	第2層 10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-463	第1層 10YR4/1	褐色土	ロームブロック(φ10mm)中量、木片少量
ASP-469	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色土少量、酸化鉄粒(φ5mm)少量
ASP-469	第2層 10YR6/1	褐色土	灰白色粘土粒(φ5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)少量
ASP-502	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)微量、ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-502	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
ASP-502	第2層 10YR2/1	黒色土	ロームブロック(φ20mm)多量

第317図 中道遺跡A区SPあ(3)



ASP-350



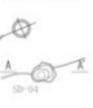
ASP-457



ASP-458, 459



ASP-460



ASP-462



ASP-350
第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR2/1 黒色土
第3層 10YR2/1 黒色土

ASP-457
第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR2/1 黒色土
ASP-458
第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR2/1 黒色土

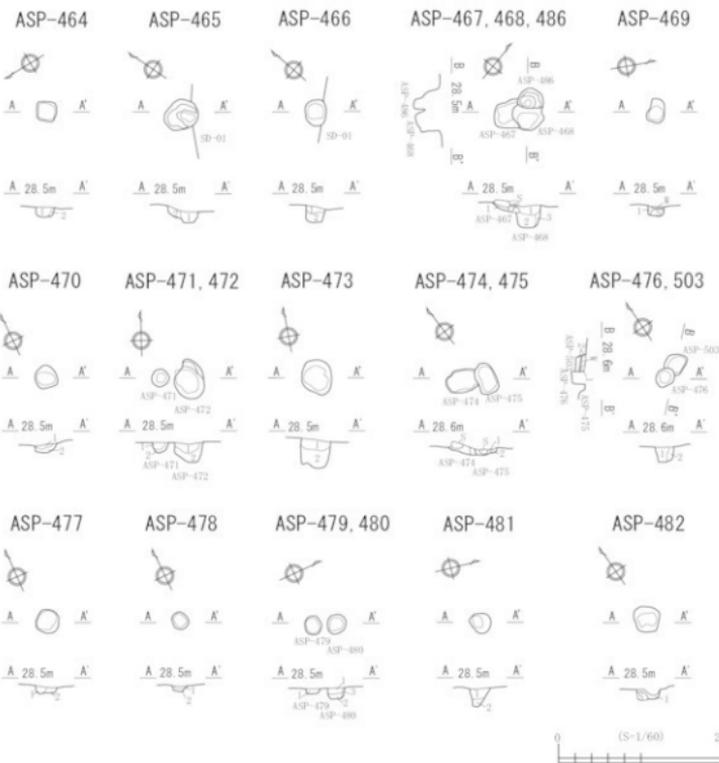
ローム粒 (φ2~5mm) 中量、木粒 (φ2~5mm) 中量
ローム粒 (φ2~5mm) 多量、ロームブロック (φ10mm) 少量
ローム粒 (φ2~5mm) 多量、ロームブロック (φ15mm) 少量
褐色土少量
褐色土ブロック (φ15mm) 少量
ローム粒 (φ2~5mm) 少量、灰褐色土多量
褐色砂ブロック (φ10mm) 多量

ASP-459
第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR2/1 黒色土
第3層 10YR2/1 黒色土
ASP-460
第1層 10YR1, 7/1 黒色土
第2層 10YR1, 7/1 黒色土
第3層 10YR2/1 黒色土
ASP-462
第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR2/1 黒色土

褐色土ブロック (φ30mm) 少量
褐色土ブロック (φ20mm) 中量
褐色土ブロック (φ30mm) 少量
ローム粒 (φ2~5mm) 中量
ローム粒 (φ2~5mm) 少量
褐色土ブロック (φ10mm) 少量
褐色土ブロック (φ10mm) 多量

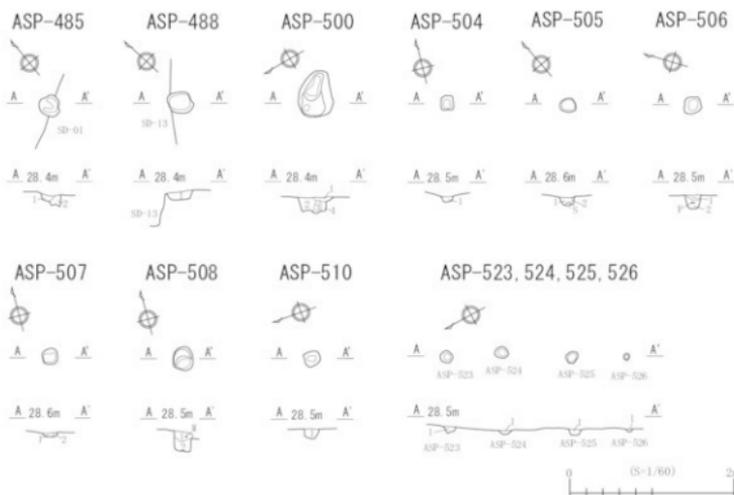
褐色土ブロック (φ30mm) 少量
褐色土ブロック (φ20mm) 中量
褐色土ブロック (φ30mm) 少量
ローム粒 (φ2~5mm) 中量
ローム粒 (φ2~5mm) 少量
褐色土ブロック (φ10mm) 少量
褐色土ブロック (φ10mm) 多量

第318図 中道遺跡A区SP区分図い・い(1)



ASP-464	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量	ASP-475	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~20mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-465	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)中量	ASP-476	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
ASP-466	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	ASP-477	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
ASP-467	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-478	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ10~20mm)微量
ASP-468	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-479	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-469	第1層 10YR3/1 黒褐色土	10YR7/6明黄褐色土少量、ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量	ASP-480	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-470	第1層 10YR3/1 黒褐色土	10YR4/3に多い黄褐色土少量、ローム粒(φ1~5mm)微量	ASP-481	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-471, 472	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)微量	ASP-482	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)少量
ASP-473	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	ASP-483	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-474, 475	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-484	第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)中量
ASP-476, 503	第2層 10YR3/1 黒褐色土	10YR7/6明黄褐色土少量、ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量	ASP-485	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量、ロームブロック(φ10~20mm)少量、酸化鉄粒(φ1~9mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)微量
ASP-477	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-486	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-478	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-487	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-479, 480	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-488	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-481	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-489	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-482	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-490	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-483	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-491	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-484	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-492	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-485	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-493	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-486	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-494	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-487	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-495	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-488	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-496	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-489	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-497	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-490	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	ASP-498	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

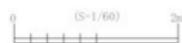
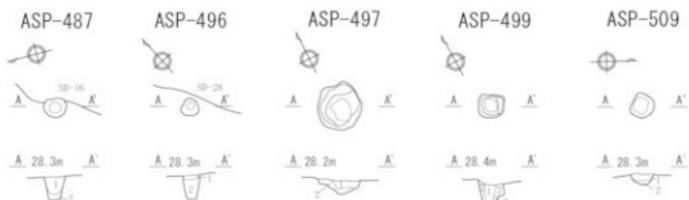
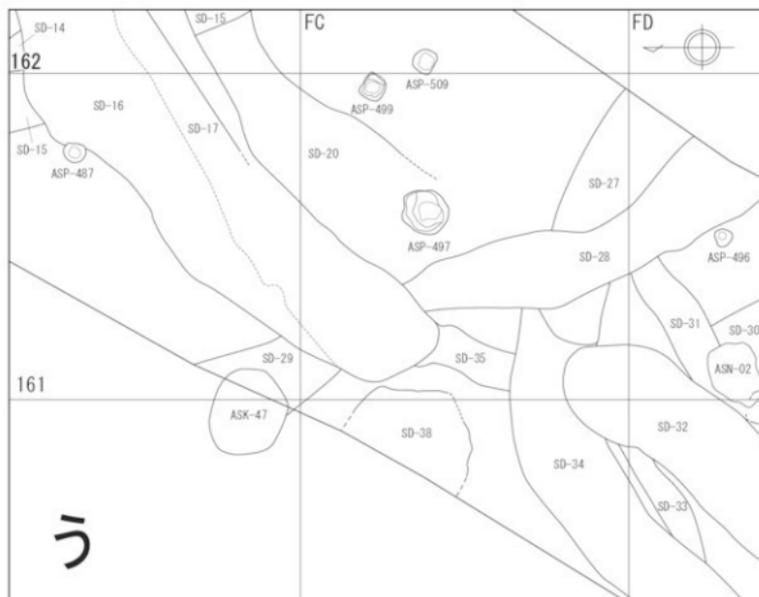
第319図 中道遺跡A区SPい(2)



ASP-485	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
ASP-488	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
ASP-500	第1層 10YR2/1	黒色土	褐色砂粒(φ2~5mm)少量
	第2層 10YR4/1	褐灰色土	褐色砂粒(φ2~5mm)少量、褐色砂ブロック(φ30mm)少量
	第3層 10YR2/1	黒色土	
	第4層 10YR4/1	褐灰色土	褐色砂ブロック(φ10mm)少量
ASP-504	第1層 10YR2/3	黒褐色土	
ASP-505	第1層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)微量
	第2層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量
ASP-506	第1層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)中量
	第2層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)中量

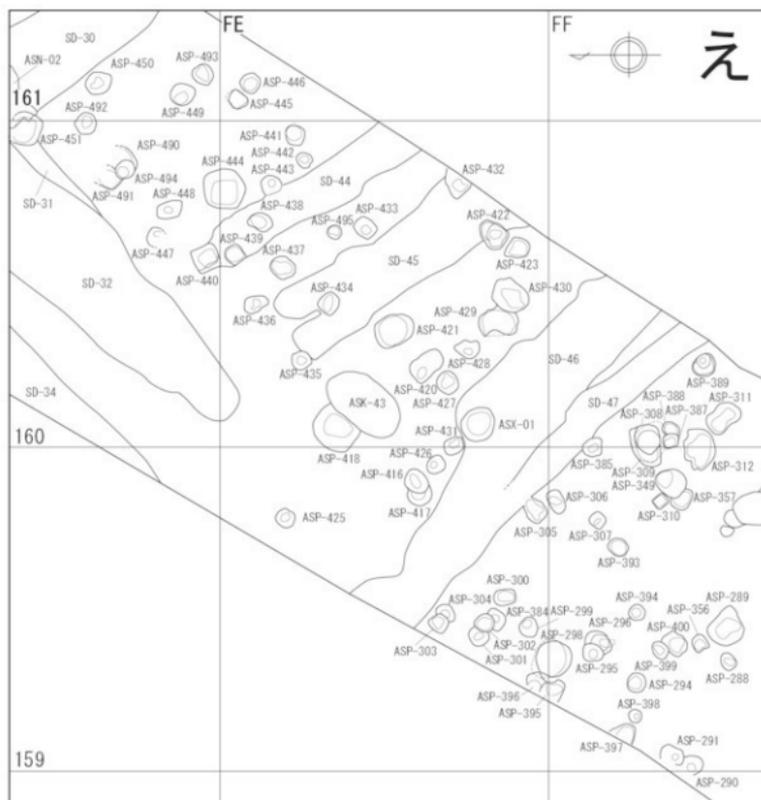
ASP-507	第1層 10YR1.7/1	黒色土と10YR4.2灰黄褐色土の混合層	
	第2層 10YR1.7/1	黒色土	ロームブロック(φ10mm)微量
ASP-508	第1層 10YR4.2	灰黄褐色土	ローム粒(φ3mm)少量、木片を含む
	第2層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ3mm)少量
ASP-510	第1層 10YR4.2	灰黄褐色土	ローム粒(φ3mm)極微量
ASP-523	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量
ASP-524	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量
ASP-525	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量
ASP-526	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量

第320図 中道遺跡A区SPい(3)



- | | | |
|---------------|-------|----------------------------------|
| ASP-487 | 黒色土 | ローム粒 (φ1~5mm) 少量、炭化粒 (φ1~5mm) 少量 |
| 第1層 10YR2/1 | 黒色土 | ローム粒 (φ1~5mm) 微量 |
| 第2層 10YR2/1 | | |
| ASP-496 | 黒色土 | 褐灰色土多量、褐色砂粒 (φ3~5mm) 微量 |
| 第1層 10YR2/1 | 黒色土 | 褐色砂ブロック (φ10mm) 微量 |
| 第2層 10YR1.7/1 | | |
| ASP-497 | 黒色土 | ローム粒 (φ3~5mm) 少量 |
| 第1層 10YR2/1 | 黒色土 | 褐灰色土多量、褐色砂ブロック (φ50mm) 微量 |
| 第2層 10YR2/1 | | |
| ASP-499 | 黒色土 | ローム粒 (φ3~5mm) 少量 |
| 第1層 10YR2/1 | 黒色土 | 灰白色砂ブロック (φ10~20mm) 少量 |
| 第2層 10YR2/1 | 黒色土 | 灰白色砂粒 (φ2~5mm) 中量 |
| 第3層 10YR2/1 | | |
| ASP-509 | 灰黄褐色土 | ローム粒 (φ3mm) 少量 |
| 第1層 10YR4.2 | 黒色土 | |
| 第2層 10YR1.7/1 | | |

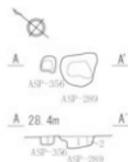
第321図 中道遺跡A区SP区分図う



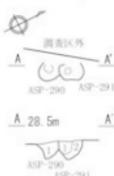
ASP-288



ASP-289, 356



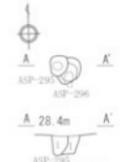
ASP-290, 291



ASP-294



ASP-295, 296

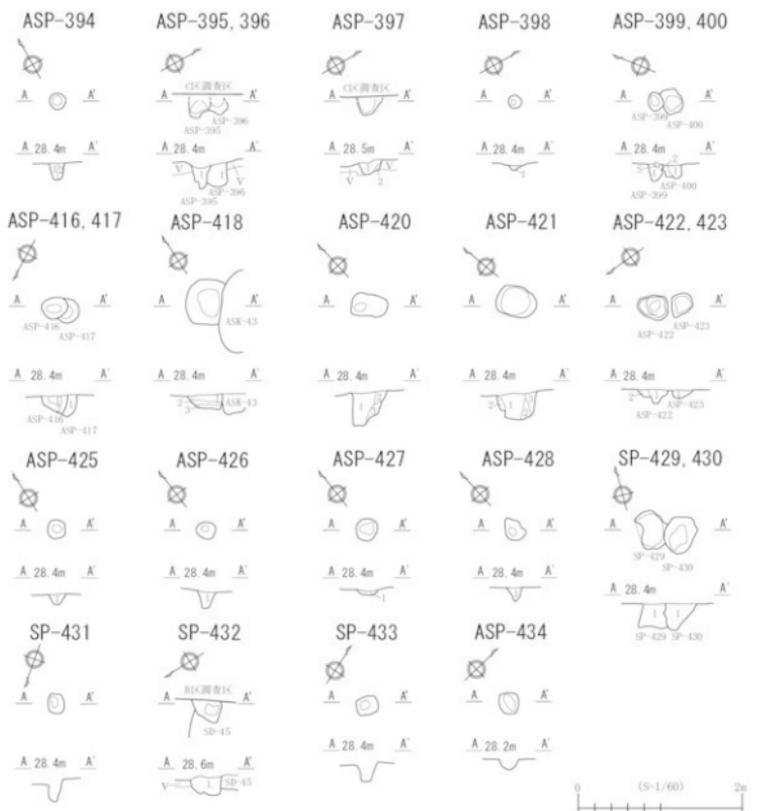


ASP-288
第1層 10YR4/1 褐灰色土 酸化鉄粒 (φ5mm) 微量
ASP-289
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 少量、酸化鉄粒 (φ5mm) 微量
第2層 10YR4/1 褐灰色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 少量、酸化鉄粒 (φ5mm) 微量
ASP-290
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 中量、木粒 (φ5mm) 中量
ASP-291
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 少量
第2層 10YR4/1 褐灰色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 少量、木粒 (φ5mm) 微量

ASP-294
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 中量
第2層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 少量
ASP-295
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 中量
ASP-296
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ2~5mm) 中量
ASP-296
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒 (φ5mm) 少量、酸化鉄粒 微量

0 (S-1/60) 2m

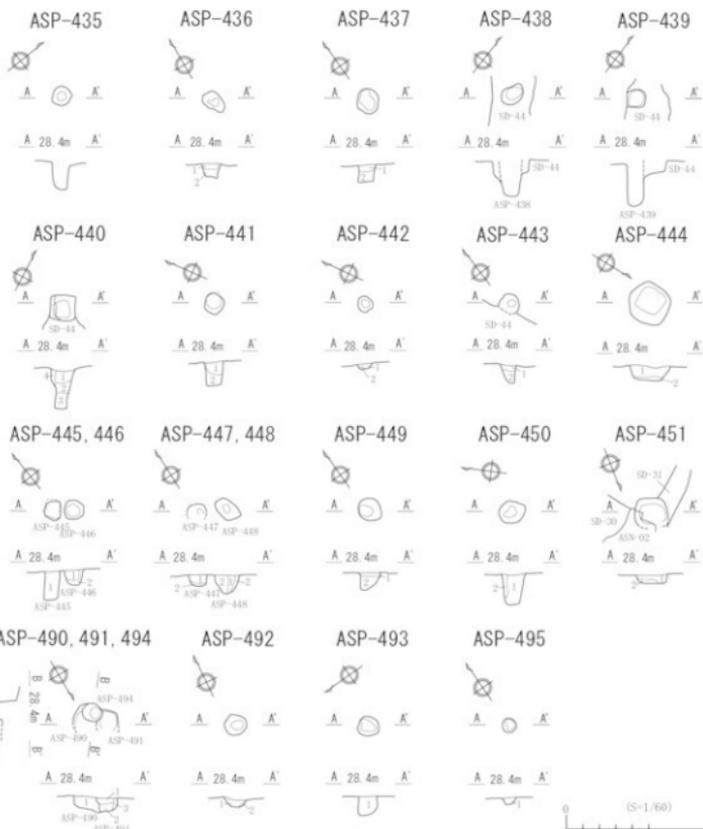
第322図 中道遺跡A区SP区分図え・え(1)



ASP-394	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3cm)微量、酸化鉄粒(φ1cm)少量
ASP-395	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1cm)微量
ASP-396	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)少量
ASP-397	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5cm)中量	
ASP-398	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~3cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
ASP-399	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1cm)微量
ASP-400	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1cm)微量、ロームブロック(φ10~30cm)中量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ2~5cm)中量
ASP-416	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量
ASP-418	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量、ロームブロック(φ10cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量、灰褐色土ブロック(φ10cm)少量
第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5cm)微量、褐色土ブロック(φ10cm)中量

ASP-420	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量、ロームブロック(φ15cm)中量、褐色土ブロック(φ15cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量、ロームブロック(φ20cm)中量
第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量、ロームブロック(φ20cm)中量
ASP-421	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量
第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)微量、ロームブロック(φ10cm)微量
ASP-422	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)微量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量、ロームブロック(φ10cm)微量
ASP-423	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量
ASP-425	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)中量、褐色土ブロック(φ10cm)少量
ASP-426	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)微量
ASP-427	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)微量
ASP-428	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5cm)微量
ASP-429	第1層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~9cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)中量
ASP-430	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~20cm)少量
第2層 10YR2/1	黒色土	褐色土ブロック(φ10cm)少量

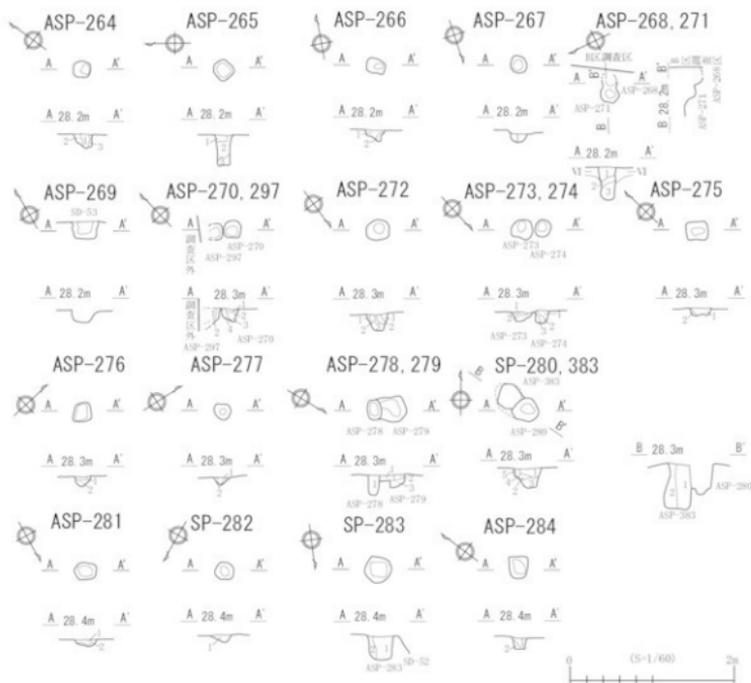
第324図 中道遺跡A区SPえ(3)



- ASP-435
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂多量
 ASP-437
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-440
 第1層 10YR2/1 褐色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、黒色土少量、白色砂ブロック(φ15mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂ブロック(φ10mm)少量
 ASP-441
 第1層 10YR1 7/1 黒色土 褐色土少量
 第4層 10YR4/1 褐色土 褐色土少量
 ASP-442
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂少量
 ASP-443
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-444
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-445, 446
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂多量
 ASP-447, 448
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-449
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色砂多量
 ASP-450
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-451
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-490, 491, 494
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂多量
 ASP-492
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量、褐色砂少量
 ASP-493
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 褐色土少量
 ASP-495
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量

- ASP-446
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土ブロック(φ15mm)少量
 ASP-449
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-450
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色砂ブロック(φ10mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-451
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-490
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-491
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-492
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 褐色土少量
 ASP-493
 第1層 10YR3/3 暗褐色土 褐色土少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量
 ASP-495
 第1層 10YR2/1 黒色土 褐色土少量

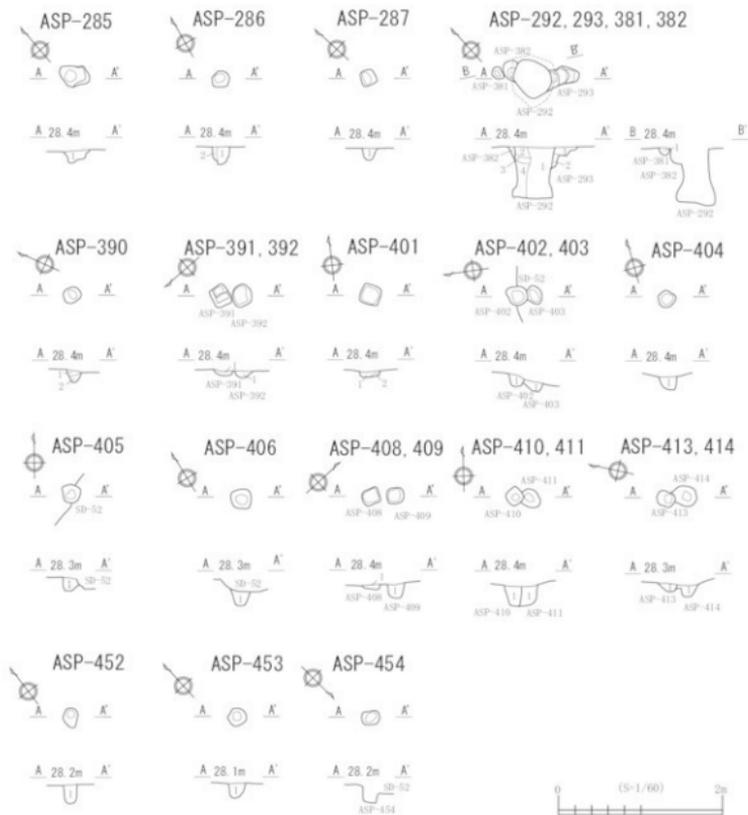
第325図 中道遺跡A区SPえ(4)



ASP-264	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR1/7	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)少量、 ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-265	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、木の皮中量
	第3層 10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、 ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-266	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量
ASP-267	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、焼土粒(φ1~2mm)極微量
ASP-269	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、 炭化粒(φ1~5mm)微量、焼土粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
ASP-270, 297	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
	第5層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量
ASP-272	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-273, 274	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第5層 10YR1/7	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)微量
ASP-275	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~9mm)微量、 焼土粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、 焼土粒(φ1~5mm)中量
	第3層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第4層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第5層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第6層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量

ASP-276	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、木の皮中量
	第3層 10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、 ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-277	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、木の皮中量
	第3層 10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、 ロームブロック(φ10mm)少量
ASP-278, 279	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-280, 383	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)中量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第5層 10YR1/7	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)少量
ASP-281	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~9mm)微量、 焼土粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、 焼土粒(φ1~5mm)中量
	第3層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第4層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第5層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第6層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量

第327図 中道遺跡A区SPお(2)



ASP-285 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)多量、木粒(φ5mm)微量	ASP-292 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
ASP-286 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量	ASP-293 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-287 第1層 10YR4/1 褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量	ASP-299 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)少量
ASP-292, 293, 381, 382 第1層 10YR4/1 褐色土	酸化鉄粒(φ5mm)微量	ASP-292 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-390 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)多量、ロームブロック(φ50mm)中量	ASP-391 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-391, 392 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)中量、ロームブロック(φ20mm)中量	ASP-392 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
ASP-401 第3層 10YR5/1 褐色土	ローム粒(φ2~5mm)多量	ASP-402, 403 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
ASP-402, 403 第4層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)多量、ロームブロック(φ30mm)少量	ASP-404 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-405 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量	ASP-408, 409 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-406 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量	ASP-410, 411 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、粘土ブロック(φ10~30mm)少量
ASP-408, 409 第3層 10YR5/1 褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量	ASP-411 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-410, 411 第4層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量	ASP-413, 414 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-413, 414 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)微量	ASP-414 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
ASP-452 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量	ASP-452 第1層 10YR2/1 黒色土	褐色砂少量
ASP-453 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量	ASP-453 第1層 10YR2/1 黒色土	褐色砂少量
ASP-454 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量	ASP-454 第1層 10YR2/1 黒色土	褐色砂少量
ASP-454 第2層 10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量		

第328図 中道遺跡A区SPお(3)



第329図 中道遺跡A区出土土器SP

7. 遺構外出土遺物

(1) 土器

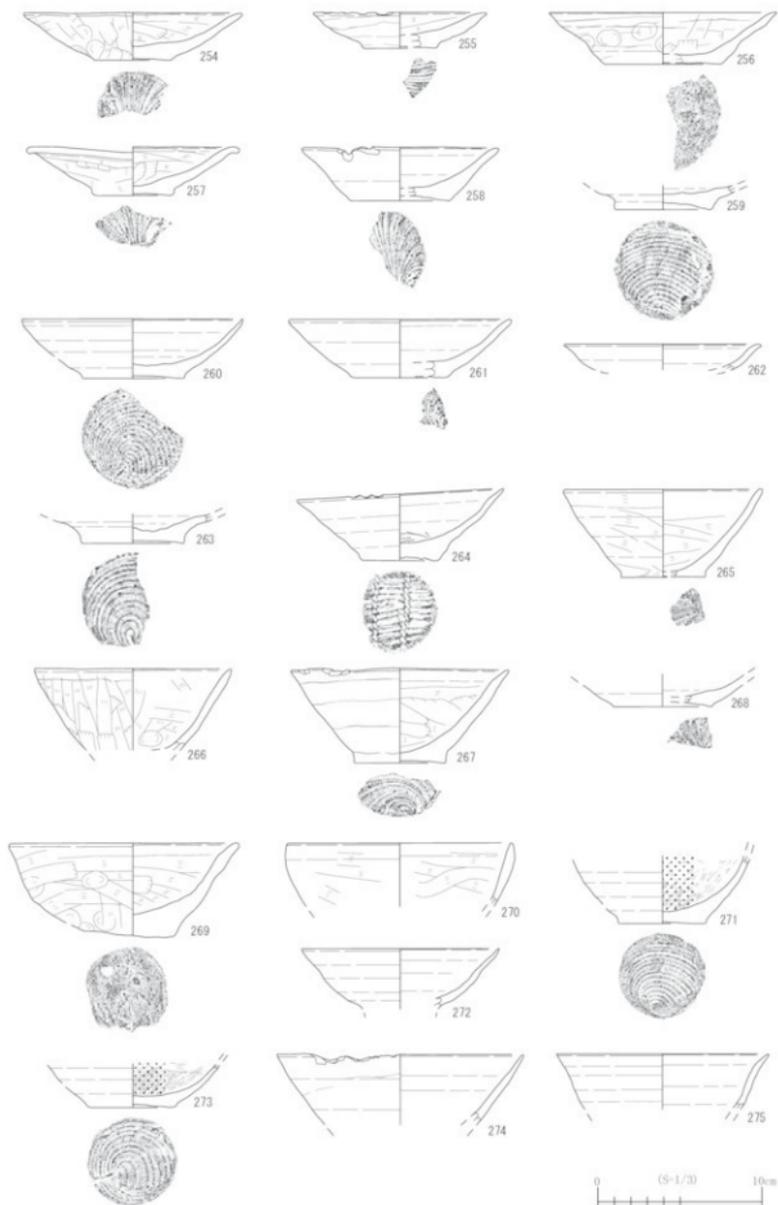
土師器皿10点、坏20点、甕28点、小甕2点、須恵器甕3点、陶磁器壺1点を図示した（第330～333図254～317）。皿は10点のうち、非ロクロ4点（254～257）、ロクロ調整6点（258～263）である。非ロクロ皿の底部調整は254・255、257が静止糸切、256がヘラナデである。257はやや厚めの器壁でやや口縁部が端反る形状を呈する。ロクロ調整の皿の底部調整は細めの糸による糸切が多く、263のみ太めの糸による糸切である。262は施軸陶器の器形を模していると考えられ、口縁部がやや端反る形状を呈する。坏は20点のうち、非ロクロ7点（264～270）、ロクロ調整13点（271～283）である。非ロクロ坏の底部調整は、264網代痕、265、267・268が静止糸切、269がヘラケズリである。ロクロ調整の坏のうち、271、273は内面ヘラミガキにより黒色処理されている。277は内面口縁部付近に刻書が認められる。280は内面底部にヘラケズリによる調整のほか、底部に穿孔が認められる。甕は28点のうち、口縁部～体部が21点、体部1点、体部～底部が6点である。口縁部が残存する資料は、体部が丸みを帯び、口縁部にくの字状のくびれを持つものが多いが、291・292、302・303、311のように口縁部と体部の境が明確でない直線状を呈するもの、297のように口縁部と体部の間のくびれが浅いコの字状を呈するものも認められる。甕の体部～底部資料6点の底部調整は、304、307ヘラナデ、305・306網代痕、308砂底、310ヘラケズリである。312は小甕の口縁部～体部で、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。313は小甕の体部～底部で、体部はヘラナデによって調整されており、底部は網代痕である。314～316は須恵器甕の体部で、外面はタタキ、内面はナデにより調整されている。317は陶磁器の壺と考えられ、内外面ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。

(2) 石器

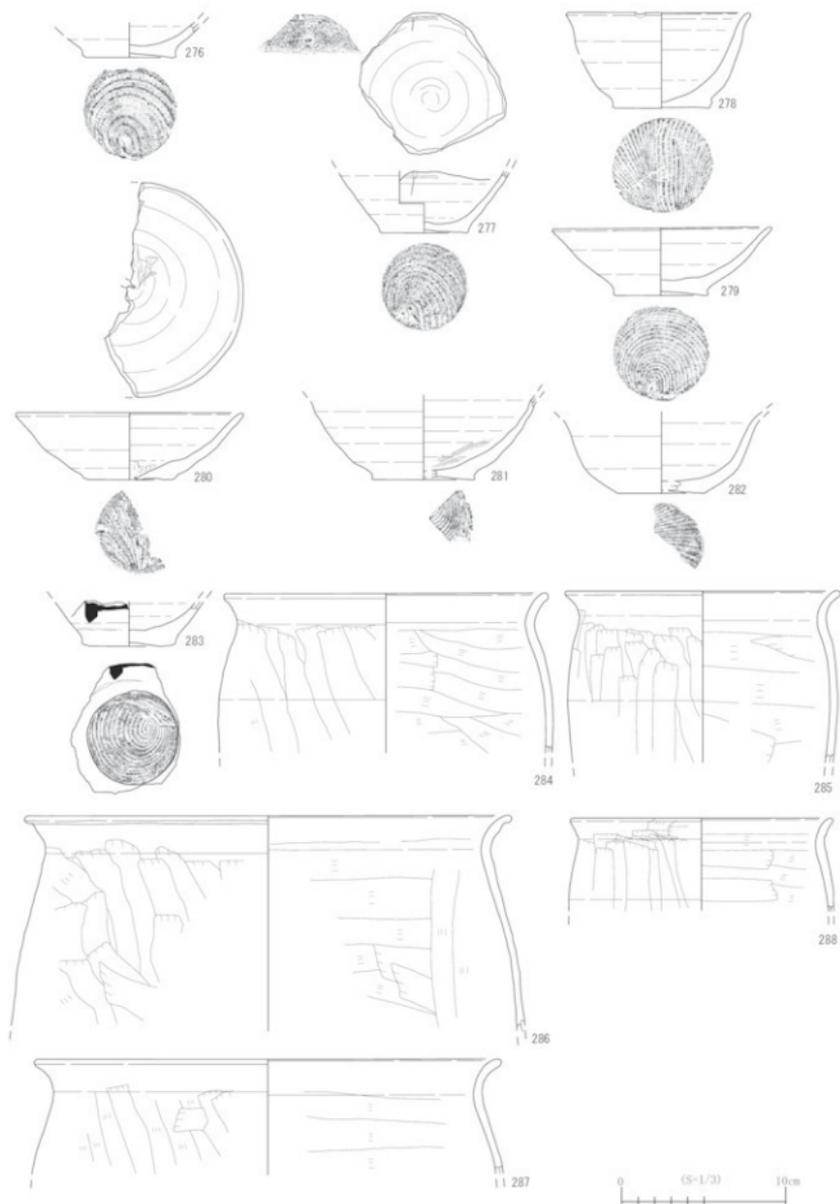
礫石器1点（第334図石3）を図示した。石3は棒状を呈し、下端に敲打痕、裏面には磨りが認められる。

(3) 土製品

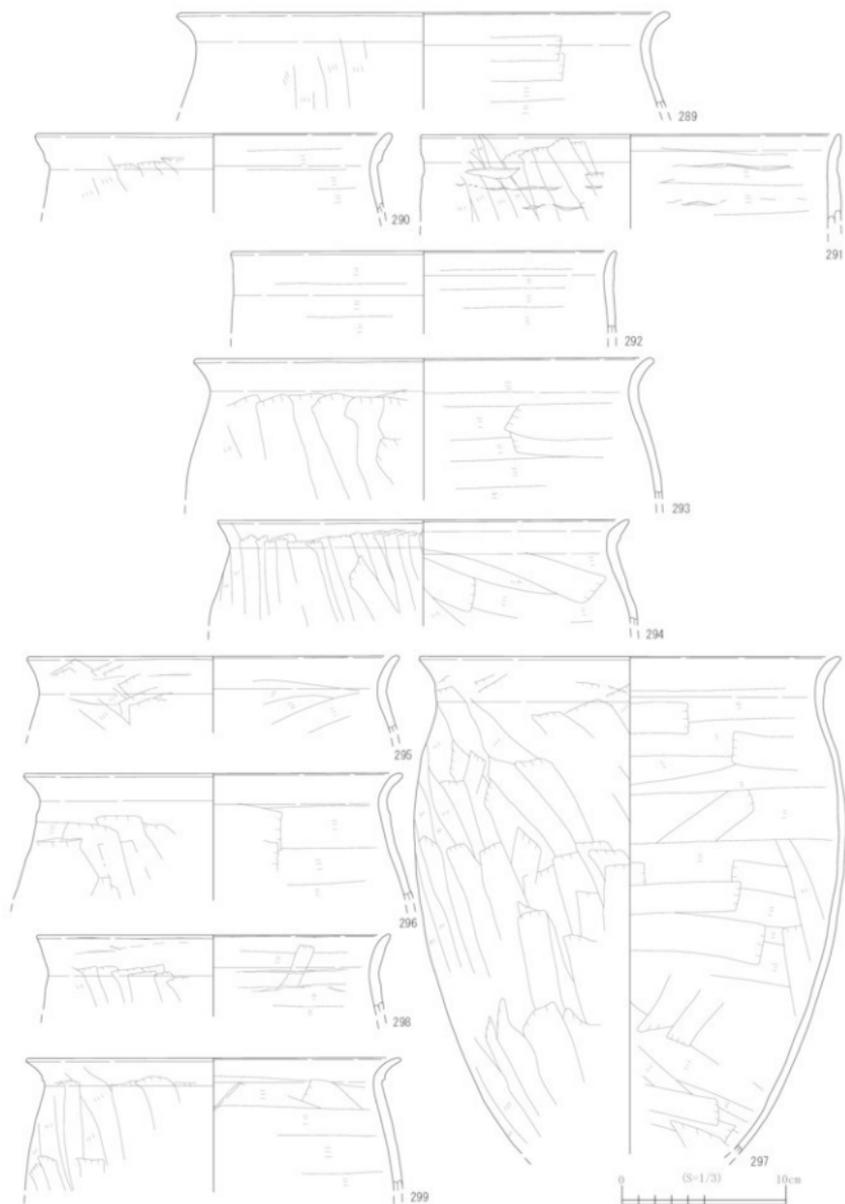
焼成粘土塊1点（第334図土11）を図示した。土11は塊状を呈する。



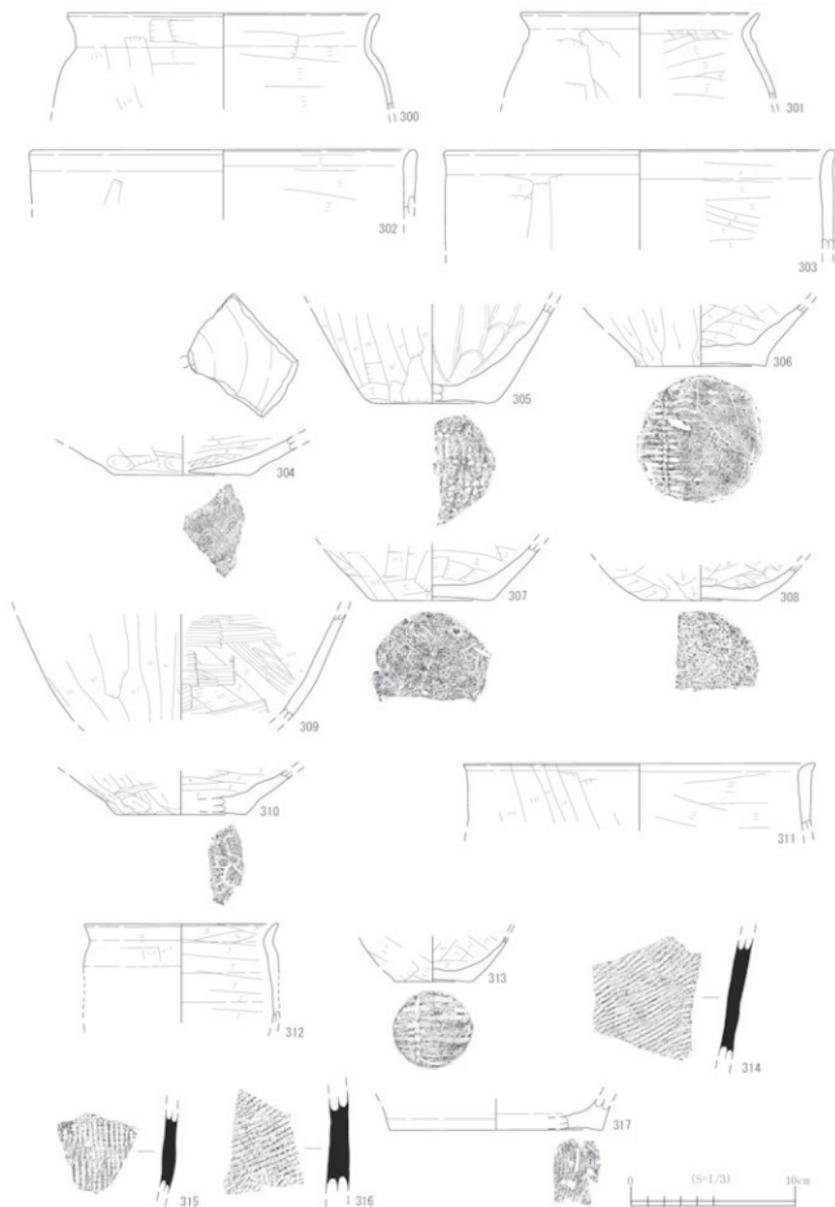
第330図 中道遺跡A区遺構外出土土器(1)



第331图 中道遺跡A区遺構外出土土器(2)



第332図 中道遺跡A区遺構外出土土器(3)



第333图 中道遺跡A区遺構外出土土器(4)



第334図 中道遺跡A区遺構外出土遺物

第37表 中道通線A区出土土器観察表

図録番号	No.	出土位置	層位	種類	器種	部位	形制諸値(mm)			色澤		文様・運動			備考				
							口径	高さ	底径	外面	内面	底径	外面	文様		運動			
第2859図	1	ASK-39	1層	土師器	壺	胴部	—	—	50	2/1	5/10	3/1	良	タナキ	ナナ	—	少	多	外周彫刻、高頸正部、輪溝有、内外面深付蓋
第2860図	2	ASK-42	2層	土師器	壺	口縁~胴部	12.6	3.6	(6.2)	5/1R/4/1	N 1.5/0	良	ハナナ	ハナナ	横代	—	少	少	外周彫刻、高頸正部、輪溝有、内外面深付蓋
第2861図	3	ASK-42	2層	土師器	杯	口縁~胴部	12.4	4.1	(6.4)	5/1R/6/6	5/1R/6/6	良	口コナナ	口コナナ	静止水切	—	少	少	外周彫刻文様有
第2862図	4	ASK-42	2層	土師器	杯	口縁~胴部	12.0	3.7	(6.0)	5/1R/5/8	5/1R/17/1	良	口コナナ	口コナナ	静止水切+	—	少	少	口唇部打文様有、内外面深付蓋
第2863図	5	ASK-42	2、3層	土師器	杯	体部~底部	—	(2.6)	5.6	5/1R/17/1	5/1R/2/1	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	底面彫刻の糸による彫刻、内外面深付蓋
第2864図	6	ASK-42	2層	土師器	壺	口縁~胴部	17.0	(4.0)	—	5/1R/7/6	7.5/1R/7/8	良	ハナナ	ナナ	—	—	少	少	外周彫刻有
第2865図	7	ASK-42	1層	土師器	壺	口縁~胴部	15.0	(4.2)	—	5/1R/3/1	10/1R/2/2	良	ハナナ	ナナ	—	—	少	少	内外面深付蓋
第2866図	8	ASK-42	2層	土師器	壺	口縁~体部	(23.6)	(3.9)	—	5/1R/4/1	5/1R/4/6	良	ハナナ	ナナ	—	—	少	少	口唇部打文様有
第2867図	9	ASK-42	3層	土師器	小壺	体部~底部	—	(2.5)	5.6	7.5/1R/4/1	N 1.5/0	良	ハナナ	ハナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	多	少	口唇部打文様有
第2868図	10	ASK-42	2層	土師器	肥半付土器	体部~胴部	—	(7.9)	8.0	5/1R/4/4	5/1R/4/6	良	ヘラナナ	ナナ	横代	—	少	少	肥半付有、彫刻有、内外面深付蓋
第2869図	11	ASK-47	2層	土師器	壺	口縁~体部	(14.0)	(7.4)	—	7.5/1R/6/4	7.5/1R/7/4	良	ナナ	ハナナ	—	—	少	少	外周彫刻有、内外面深付蓋
第2940図	12	SD-01	2層	土師器	壺	口縁~体部	(15.0)	(3.0)	—	5/1R/7/6	7.5/1R/6/4	良	口コナナ	口コナナ	—	—	少	少	口唇部打文様有
第2941図	13	SD-01	4層	土師器	壺	口縁~体部	(15.0)	(1.7)	—	5/1R/5/3	5/1R/5/4	良	口コナナ	口コナナ	—	—	少	少	口唇部打文様有
第2942図	14	SD-01	覆土	土師器	杯	体部~底部	—	(3.6)	4.8	5/1R/6/6	10/1R/6/4	良	ナナ	ナナ	花目	—	少	少	外周彫刻有、外周彫刻正部有
第2943図	15	SD-01	2層	土師器	杯	口縁~底部	12.8	4.4	5.4	7.5/1R/6/4	7.5/1R/6/4	良	ナナ	ナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	中	少	外周彫刻正部有、口唇部打文様有、内外面深付蓋
第2944図	16	SD-01	2層	土師器	杯	口縁~底部	11.8	6.0	5.4	3.5/1R/5/6	2.5/1R/6/6	良	ハナナ	ハナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	少	少	外周彫刻有、外周彫刻正部有
第2945図	17	SD-01	覆土	土師器	杯	口縁~体部	(15.2)	(5.2)	—	7.5/1R/7/6	7.5/1R/7/6	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	外周彫刻有、外周彫刻正部有
第2946図	19	SD-01	覆土	土師器	大杯	口縁~底部	(17.0)	7.1	7.0	5/1R/6/6	7.5/1R/4/2	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	内外面深付蓋、底面彫刻の糸による彫刻
第2947図	20	SD-01	2層	土師器	杯	体部~底部	—	(1.4)	(6.0)	10/1R/6/3	2.5/1R/6/3	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	内外面深付蓋、底面彫刻の糸による彫刻
第2948図	21	SD-01	2層	土師器	壺	口縁~底部	(14.0)	5.7	6.4	5/1R/7/4	5/1R/7/4	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	中	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2949図	22	SD-01	2層	土師器	壺	口縁~底部	(13.8)	5.8	5.4	10/1R/6/4	N 1.5/0	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2950図	23	SD-01	2層	土師器	杯	体部~底部	—	(2.5)	6.4	7.5/1R/7/4	7.5/1R/7/4	良	口コナナ	口コナナ	静止水切+	ハナナ	少	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2951図	24	SD-01	1層	土師器	壺	底部	—	(1.6)	4.4	7.5/1R/8/2	10/1R/7/3	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2952図	25	SD-13	1層	土師器	大杯	口縁~底部	(17.6)	7.5	(8.0)	10/1R/8/2	10/1R/7/3	良	口コナナ	口コナナ	右面彫刻+	ハナナ	少	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2953図	26	SD-01	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(22.6)	(7.3)	—	2.5/1R/5/6	5/1R/5/6	良	ナナ	ハナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	中	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2954図	27	SD-01	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(24.0)	(8.0)	—	5/1R/6/6	5/1R/6/6	良	ハナナ	ハナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	多	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2955図	28	SD-01	2層	土師器	壺	体部~底部	—	(3.4)	9.2	2.5/1R/5/8	7.5/1R/17/1	良	ヘラナナ	ヘラナナ	横代	—	多	少	底面彫刻の糸による彫刻
第2956図	29	SD-01	2層	土師器	壺	体部	—	(7.8)	—	7.5/1R/3/1	7.5/1R/4/2	良	ヘラナナ	ナナ	—	—	少	少	外周彫刻有
第2957図	30	SD-01	2層	土師器	壺	口縁~体部	(23.6)	(8.0)	—	2.5/1R/5/6	2.5/1R/5/6	良	ナナ	ナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	少	少	内外面深付蓋
第2958図	31	SD-01	1層	土師器	壺	口縁~体部	(18.0)	(4.0)	—	2.5/1R/6/6	2.5/1R/6/6	良	ハナナ	ハナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	多	少	内外面深付蓋
第2959図	32	SD-01	2層	土師器	壺	体部~底部	—	(3.4)	7.0	5/1R/6/4	2.5/1R/6/4	良	ハナナ	ナナ	横代	—	多	少	内外面深付蓋
第2960図	33	SD-01	2層	土師器	小壺	体部~底部	—	(5.2)	(8.6)	10/1R/3/1	10/1R/2/1	良	ハナナ	ナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	中	少	内外面深付蓋
第2961図	34	SD-01	2層	土師器	小壺	口縁~体部	(10.0)	(10.2)	—	7.5/1R/2/2	7.5/1R/2/2	良	ナナ	ナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	少	少	内外面深付蓋
第2962図	35	SD-01	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(16.2)	(4.1)	—	5/1R/5/6	5/1R/5/4	良	ヘラナナ	ナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	多	少	内外面深付蓋

調査番号	No.	土上位置	方位	構造	用途	部位	計測距離(m)			色線			文書・運動			備考		
							口線	線裏	線裏	外壁	内壁	内成	外壁	内壁	扉部			
第29502	35	SD-01	2階	床面	壁	体部	線裏	線裏	外壁	内壁	内成	外壁	内壁	扉部	少	少	少	壁化形成
第29502	36	SD-01	2階	土壁	大床	体部	(4.9)	6.8	2.5YR 5/6	7.5YR 6/4	N 4/0	9.9+	7.7+	7.7+	少	少	少	壁化形成
第29502	37	SD-02	1階	土壁	小床	体部-体部	(13.4)	(8.5)	2.5YR 6/4	5.1YR 6/4	5R 7/1	ヘナナ	クロコナ	右面体部	中	多	多	断面の赤による赤
第29502	38	SD-03	下層	土壁	体部-体部	体部-体部	(2.5)	(5.6)	10YR 3/2	5.1R 5/1	7R 7/1	ヘナナ	ヘナナ	現代	中	少	少	外壁面
第29502	40	SD-04	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(2.5)	5.6	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	ヘナナ	ヘナナ	静止赤	中	少	少	外壁面上部、断面の赤による赤
第29502	41	SD-04	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(24.0)	(5.3)	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	少	少	内外壁面
第29502	42	SD-04	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(22.0)	(5.1)	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	少	少	内外壁面
第29502	43	SD-13	1階	土壁	体部	体部	(3.3)	6.7	7.5YR 3/1	7.5YR 5/1	2.5YR 6/6	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	中	少	少	外壁面上部
第29502	44	SD-15	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(13.7)	6.7	4.8	7.5YR 4/2	7.5YR 1/1	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外壁面上部
第29502	45	SD-15	2階	土壁	体部	体部	(2.4)	6.4	10YR 7/3	10YR 7/3	10YR 7/3	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	多	少	少	外壁面上部
第29502	46	SD-16	2階	土壁	体部	体部	(3.2)	6.2	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	ナナ	ナナ	ヘナナ	中	少	少	外壁面上部、指張仕立
第29502	47	SD-16	1階	土壁	体部	体部	(15.0)	(5.3)	7.5YR 4/6	7.5YR 4/3	7.5YR 4/3	ナナ	ナナ	ヘナナ	中	少	少	外壁面
第29502	48	SD-16	1階	土壁	体部	体部	(13.4)	(6.0)	7.5YR 6/3	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	ナナ	ナナ	現代+	中	少	少	口線部土壁、内壁上層
第29502	49	SD-16	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(1.9)	4.4	7.5YR 7/3	7.5YR 7/3	7.5YR 7/3	ナナ	ナナ	静止赤	少	少	少	断面の赤による赤
第29502	50	SD-16	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(2.4)	5.0	5YR 5/6	7.5YR 4/2	7.5YR 4/2	ナナ	ナナ	藍目	多	少	少	外壁面付点部、外壁上層、内面
第29502	51	SD-16	2階	土壁	体部	体部	(14.0)	5.6	5.3	7.5YR 5/3	7.5YR 5/4	ナナ	ナナ	ナナ	中	少	少	内面
第29502	52	SD-16	1、2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(14.0)	4.6	6.6	2.5YR 5/4	2.5YR 6/6	クロコナ	クロコナ	静止赤+	少	少	少	外壁面、断面の赤による赤
第29502	53	SD-16	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	11.4	4.7	5.0	7.5YR 4/2	7.5YR 3/1	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	少	少	少	断面の赤による赤
第29502	54	SD-16	覆土	土壁	体部	体部	(11.8)	5.3	6.2	10YR 6/3	10YR 7/2	クロコナ	クロコナ	静止赤	少	少	少	断面の赤による赤
第29502	55	SD-16	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	13.2	3.9	5.3	5YR 7/6	5YR 6/6	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	56	SD-16	2階	土壁	体部	体部	(13.0)	(3.2)	2.5YR 6/8	2.5YR 6/8	2.5YR 6/8	良	ヘナナ	ヘナナ	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	57	SD-16	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(13.0)	(4.2)	10YR 6/3	N 2/0	N 2/0	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	58	SD-16	覆土	土壁	体部-体部	体部-体部	(3.6)	5.8	7.5YR 4/2	7.5YR 3/1	7.5YR 3/1	クロコナ	クロコナ	ヘナナ	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	59	SD-16	1階	土壁	体部-体部	体部-体部	(2.5)	6.4	7.5YR 7/1	7.5YR 7/3	7.5YR 7/3	クロコナ	クロコナ	静止赤	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	60	SD-16	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(2.2)	5.8	7.5YR 7/6	7.5YR 4/2	7.5YR 4/2	クロコナ	クロコナ	右面体部	少	少	少	断面の赤による赤
第29502	61	SD-16	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(3.0)	6.0	5YR 5/3	7.5YR 4/1	7.5YR 4/1	クロコナ	クロコナ	右面体部	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	62	SD-16	1、2階	土壁	大床	体部-体部	(18.0)	7.6	7.0	10YR 7/4	10YR 7/4	クロコナ	クロコナ	右面体部	中	少	少	内外面付点部、断面の赤による赤
第29502	63	SD-16	2階	土壁	大床	体部-体部	(16.6)	6.0	(6.4)	2.5YR 6/6	2.5YR 6/6	クロコナ	クロコナ	静止赤	中	少	少	内外面付点部、断面の赤による赤
第29502	64	SD-16	1階	土壁	体部	体部	(12.0)	4.5	(5.0)	5YR 4/4	2.5YR 5/8	クロコナ	クロコナ	静止赤	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	65	SD-16	2階	土壁	体部	体部	(12.2)	4.5	(5.6)	5YR 4/3	5YR 4/3	クロコナ	クロコナ	静止赤	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	66	SD-16	2階	土壁	体部-体部	体部-体部	(20.6)	(14.8)	-	7.5YR 7/4	5YR 7/6	良	ナナ	ナナ	中	少	少	断面の赤による赤
第29502	67	SD-16	2階	土壁	体部	体部	(21.0)	(9.5)	-	2.5YR 4/1	2.5YR 6/6	良	ナナ	ナナ	中	少	少	断面の赤による赤

図号番号	No.	土工図番号	層位	種類	箇所	部位	計算値(m³)			色塗		文庫・運動				備考			
							口塗	縁高	直塗	外周	内周	形成	外周	内周	原部		積砂	得	差
第297図	68	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(23.0)	(7.9)	-	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	良	ナリ+	ナリ+	-	多	少	少	口唇部のみを削り、口唇部狭く外反
第297図	69	SD-17	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(18.4)	(6.9)	-	2.5YR 6/6	5YR 6/4	良	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	外面無積砂
第297図	70	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(7.8)	7.0	7.5YR 7/6	7.5YR 3/4	並	ヘラナズリ	ナリ+	ナリ+	少	少	少	外面盛付番
第297図	71	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(23.6)	(12.8)	-	2.5YR 5/4	7.5YR 5/3	並	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	口唇部やや低め、外周盛付番
第297図	72	SD-16	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(23.0)	(15.8)	-	5YR 6/8	2.5YR 5/6	並	ナリ+	ナリ+	-	少	多	少	口唇部やや低め、外周盛付番
第298図	73	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(16.0)	(7.5)	-	2.5YR 5/6	2.5YR 5/4	並	ナリ+	ナリ+	-	多	多	少	内面盛付番
第298図	74	SD-16	1層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(23.0)	(14.2)	-	5YR 7/6	7.5YR 7/8	並	ナリ+	ナリ+	-	多	多	少	外面無積砂、口唇部内面削風
第298図	75	SD-16	1、2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	300	(21.2)	-	5YR 6/6	5YR 5/4	並	ナリ+	ナリ+	-	多	多	少	外面無積砂、内周盛付番
第298図	76	SD-20	1、2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	21.6	(27.6)	-	10YR 2/3	10YR 1/1	並	ナリ+	ナリ+	-	多	少	多	内面削みのヘラナズリ、内周盛付番
第298図	77	SD-19	1、2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	23.3	30.2	7.0	2.5YR 6/6	2.5YR 4/1	並	ナリ+	ナリ+	ヘラナズリ	多	少	少	内面盛付番
第299図	78	SD-16	1、2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	140	(10.8)	-	2.5YR 7/8	2.5YR 7/8	良	ナリ+	ナリ+	-	多	少	多	内面無積砂
第299図	79	SD-17	1、4層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(12.6)	(8.3)	-	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	並	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	内外面盛付番
第299図	80	SD-17	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(14.4)	(7.5)	-	7.5YR 7/4	N 2/1	並	口口ナズリ	口口ナズリ	-	多	多	多	内外面盛付番
第299図	81	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(7.0)	9.0	5YR 6/4	2.5YR 5/1	並	ナリ+	ナリ+	ヘラナズリ	中	少	少	口唇部外周削込み、外周一部削みより
第299図	82	SD-16	2層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(5.3)	(7.2)	N 3/0	N 4/0	良	口口ナズリ	口口ナズリ	右面系可	少	少	多	口唇部外周削込み、口唇部の外による系可
第299図	83	SD-16	1、2層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(15.1)	-	5YR 3/1	5YR 2/3	良	口口ナズリ	口口ナズリ	-	少	少	少	口唇部外周削込み、外周一部削みより
第299図	84	SD-17	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(15.2)	(5.0)	-	10YR 5/2	5YR 5/4	並	口口ナズリ	口口ナズリ	-	中	少	少	外面土盛削、外周盛付番
第299図	85	SD-17	2層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(23.8)	(5.4)	-	2.5YR 5/6	5YR 5/1	並	ナリ+	ナリ+	-	中	少	少	口唇部外周削込み、内外面盛付番
第299図	86	SD-17	4層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(3.8)	6.8	5YR 4/1	5YR 3/1	並	ナリ+	ナリ+	新代機	中	少	少	口唇部外周削込み、内外面盛付番
第299図	87	SD-17	1層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(1.7)	(6.0)	2.5YR 5/6	5YR 6/6	並	ヘラナズリ	ヘラナズリ	-	多	少	少	外面無積砂
第299図	88	SD-17	1層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(2.6)	(7.0)	2.5YR 5/4	5YR 5/3	並	ヘラナズリ	ヘラナズリ	新代機	少	少	多	外面無積砂
第299図	89	SD-17	1層	土砂盛	土砂盛	体部~体部	-	(4.5)	5.4	5YR 5/4	5YR 5/3	並	ヘラナズリ	ヘラナズリ	ヘラナズリ	中	少	少	外面無積砂、外周盛付番
第299図	90	SD-17	1層	土砂盛	土砂盛	体部	-	-	N 4/0	N 4/0	並	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	口唇部外周削込み、内外面盛付番	
第299図	91	SD-17	2層	土砂盛	土砂盛	体部	-	(3.9)	-	2.5YR 6/2	2.5YR 7/2	良	口口ナズリ	口口ナズリ	-	少	少	少	口唇部外周削込み、内外面盛付番
第300図	92	SD-19	底土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(13.4)	4.0	6.0	10YR 7/2	10YR 7/3	並	口口ナズリ	口口ナズリ	静止系可	少	少	少	口唇部外周削込み、内外面盛付番
第300図	93	SD-19	3層	土砂盛	土砂盛	体部	-	(3.6)	-	7.5YR 2/1	7.5YR 3/1	並	口口ナズリ	口口ナズリ	-	多	多	少	体部無積砂、口唇部削込み、口唇部
第300図	94	SD-27	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(13.1)	3.3	(6.2)	2.5YR 5/4	2.5YR 5/1	並	ナリ+	ナリ+	-	中	少	少	外面無積砂
第300図	95	SD-27	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(13.0)	(2.7)	-	7.5YR 5/3	7.5YR 2/1	並	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	口唇部外周削込み、外周盛付番
第300図	96	SD-27	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(14.0)	(2.6)	-	5YR 5/4	5YR 5/4	並	口口ナズリ	口口ナズリ	-	少	少	少	口唇部外周削込み、外周盛付番
第300図	97	SD-27	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	140	6.8	6.0	7.5YR 5/2	N 15/0	良	ナリ+	ナリ+	ナリ+	少	少	少	内面無積砂、外周無積砂、削込み盛付番
第300図	98	SD-27	5層	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(13.0)	(3.8)	-	5YR 7/6	5YR 7/4	並	ヘラナズリ	ヘラナズリ	-	多	多	少	外面無積砂
第300図	99	SD-27	覆土	土砂盛	土砂盛	口端~体部	(15.0)	(3.7)	-	2.5YR 5/6	2.5YR 3/1	並	ナリ+	ナリ+	-	少	少	少	外面無積砂、内周盛付番

図面番号	No.	土土位置	層位	種別	遺物	部位	計測値(mm)		色相		構成	文相・遺相		種	砂	骨	備考		
							口径	高さ	外径	内径		内面	外面						
第300段	100	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	11.4	(3.5)	7.5R 3/1	7.5R 7/4	良	ナテ	ナテ	一	少	少	口縁部打欠損、内面凹痕有、灯明用か？		
第300段	101	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	(11.0)	3.4	(4.6)	5R 6/1	良	ナテ	ナテ	一	少	少	内外縁部、中心部削落、遺物が全体に行き		
第300段	102	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	(14.8)	4.5	(6.0)	2.5R 5/5	5R 3/3	良	ナテ	ナテ	一	少	少	内外縁部上縁、損壊遺存有、内外底縁付着	
第300段	103	SD-27	5層	土師器	杯	口縁～底部	13.4	5.5	6.0	5R 6/4	5R 5/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	中	少	中	口縁部打欠損有、内面底縁付着	
第300段	104	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	(11.8)	5.0	6.0	5R 5/4	5R 5/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	少	少	中	口縁部打欠損有、内面底縁付着	
第300段	105	SD-27	4層	土師器	杯	口縁～底部	(12.6)	4.9	5.7	2.5R 6/6	2.5R 6/8	良	口ロコナテ	口ロコナテ	少	少	多	底面本底のみによる水切	
第300段	106	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	(12.8)	5.4	5.4	2.5R 6/6	2.5R 6/6	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	口縁部損壊、外周面底縁付着、底面本底のみによる水切	
第300段	107	SD-27	5層	土師器	杯	口縁～底部	(14.0)	(4.4)	10R 4/1	10R 4/1	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	中	少	少	口縁部打欠損、内面底縁付着	
第300段	108	SD-27	5層	土師器	杯	体部～底部	(2.6)	5.5	7.5R 3/1	7.5R 4/1	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	内外底縁付着		
第300段	109	SD-27	覆土	土師器	杯	口縁～底部	(13.0)	(3.8)	5R 6/3	5R 7/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	一	少	少	内外底縁付着	
第300段	110	SD-27	覆土	土師器	杯	体部～底部	(2.9)	6.0	5R 6/4	7.5R 6/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	内外底縁付着		
第300段	111	SD-27	覆土	土師器	杯	体部～底部	(2.5)	5.7	7.5R 7/3	7.5R 7/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	内外底縁付着		
第300段	112	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(18.0)	(4.8)	10R 6/3	10R 7/3	良	ナテ	ナテ	一	少	多	外周面底縁、損壊遺存有		
第301段	113	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(20.0)	(4.2)	5R 7/6	5R 6/6	良	ナテ	ナテ	一	少	多	一	外周面底縁有、内面底縁付着	
第301段	114	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(18.0)	(6.8)	7.5R 7/4	7.5R 6/6	良	ナテ	ナテ	一	少	多	少	この字様に似てくび(脚部)を有する、内	
第301段	115	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(18.0)	(10.2)	5R 5/6	5R 5/3	良	ナテ	ナテ	一	少	多	少	外周底縁付、内周面底縁有	
第301段	116	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(18.0)	(11.4)	5R 3/1	5R 4/2	良	ナテ	ナテ	一	多	少	少	内外底縁付着	
第301段	117	SD-27	覆土	土師器	蓋	口縁～底部	(15.0)	(6.2)	5R 6/4	5R 6/4	良	ナテ	ナテ	一	多	多	多	内外底縁付着	
第301段	118	SD-27	覆土	土師器	蓋	体部～底部	(3.3)	6.0	7.5R 5/2	7.5R 3/1	良	ナテ	ナテ	一	少	少	多	内外底縁付着	
第301段	119	SD-27	5層	土師器	ニ ニ ニ	口縁～底部	(1.9)	3.8	7.5R 5/2	7.5R 4/1	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	少	内外底縁付着	
第301段	120	SD-27	覆土	土師器	ニ ニ ニ	口縁～底部	(1.8)	3.8	5R 6/4	7.5R 6/2	良	ナテ	ナテ	一	少	少	少	内外底縁付着	
第301段	121	SD-27	覆土	土師器	ミ ニ ニ	口縁～底部	(4.5)	5.6	7.5R 4/2	7.5R 4/1	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	少	少	内面底縁付着	
第301段	122	SD-28	1層	土師器	杯	体部～底部	(4.3)	5.0	7.5R 6/4	N 2/0	良	ナテ	ナテ	一	中	少	中	外周面底縁有、内面底縁付着	
第301段	123	SD-28	1層	土師器	杯	体部～底部	(1.5)	5.4	7.5R 2/1	7.5R 1/1	良	ナテ	ナテ	一	中	少	少	手づかひ、内周面底縁付着	
第301段	124	SD-28	1層	土師器	杯	口縁～底部	(11.8)	5.8	(5.6)	7.5R 8/4	7.5R 2/1	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	多	少	少	内外底縁付着有、口縁部底縁
第301段	125	SD-28	1層	土師器	杯	体部～底部	(3.5)	6.2	5R 6/4	N 2/0	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	多	中	外周面底縁有、内面底縁付着	
第301段	126	SD-28	1層	土師器	杯	体部～底部	(2.3)	5.6	7.5R 5/2	7.5R 6/2	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	多	中	外周面底縁有、内面底縁付着	
第301段	127	SD-28	1層	土師器	杯	口縁～底部	(13.0)	4.6	(5.4)	5R 6/4	5R 6/4	良	口ロコナテ	口ロコナテ	一	少	多	中	内面底縁
第301段	128	SD-28	1層	土師器	蓋	口縁～底部	(22.8)	(3.6)	7.5R 5/2	7.5R 4/3	良	ナテ	ナテ	一	中	少	中	外周面底縁有	
第301段	129	SD-28	1層	土師器	蓋	口縁～底部	(14.0)	(10.6)	5R 7/6	5R 6/6	良	ナテ	ナテ	一	多	中	中	内外面底縁付着、外周底縁付着	
第302段	130	SD-28	3層	土師器	蓋	体部～底部	(2.9)	(6.0)	7.5R 4/2	7.5R 2/3	良	ナテ	ナテ	一	中	少	少	内外底縁上縁有、外周底縁付着	
第302段	131	SD-28	1層	土師器	蓋	体部～底部	(7.6)	4.4	5R 5/4	5R 4/4	良	ナテ	ナテ	一	多	少	少	内外底縁付着	

図例番号	No.	土土位置	層位	種別	遺構	部位	計測箇所(㎡)		色層		文書・遺物		検砂	検骨	備考	
							口縁	溝底	外周	内周	外周	内周				遺部
第3002段	132	SD-28	1層	土師器	環	口縁~底部	(8.8)	7.0	2.5YR 5/6	2.5YR 6/2	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	133	SD-28	1層	土師器	環	口縁~底部	(15.7)	7.0	7.5YR 3/2	7.5YR 6/1	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	134	SD-28	1層	土師器	環	口縁~底部	-	-	5B 2/1	5B 4/1	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	135	SD-29	1層	土師器	環	口縁~底部	(3.1)	-	7.5YR 4/1	7.5YR 4/1	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	136	SD-29	1層	土師器	環	口縁~底部	(5.8)	-	7.5YR 6/4	7.5YR 6/3	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	137	SD-29	1層	土師器	小環	口縁~底部	(3.9)	6.4	10YR 7/3	10YR 7/3	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	138	SD-30	下層	土師器	環	口縁~底部	12.0	6.2	10YR 7/2	10YR 8/3	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	139	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	12.9	(4.0)	10YR 7/4	10YR 7/4	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	140	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(13.0)	(3.1)	5YR 4/4	5YR 4/4	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	141	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(11.8)	(2.9)	5YR 6/4	7.5YR 5/2	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	142	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(13.0)	(4.4)	7.5YR 7/4	5YR 7/6	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	143	SD-30	4層	土師器	環	口縁~底部	(13.4)	(3.8)	5YR 7/6	2.5YR 5/8	ロクロナ	ロクロナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	144	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(2.8)	5YR 4/6	2.5YR 1/1	ロクロナ	右皿鉢切+ ハタココ	少	多	内瓦色色処理、内瓦片遺	
第3002段	145	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(2.9)	7.5YR 7/4	10YR 1/1	ロクロナ	右皿鉢切	少	多	内瓦色色処理、内瓦片遺	
第3002段	146	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(11.4)	4.8	5YR 4/7	7.5YR 5/1	ロクロナ	右皿鉢切	少	多	外瓦面瓦片遺、巻上遺物	
第3002段	147	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(23.6)	(11.3)	5YR 4/8	5YR 1/1	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	148	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(23.0)	(7.7)	5YR 7/6	5YR 6/6	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	149	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(21.0)	(5.3)	7.5YR 3/1	7.5YR 5/2	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	150	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(19.5)	-	7.5YR 3/2	7.5YR 4/3	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	151	SD-30	埋土層	土師器	小環	口縁~底部	(12.0)	(5.7)	2.5YR 6/6	5YR 7/8	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	152	SD-30	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(4.3)	N 4/0	N 3/0	ロクロナ	右皿鉢切	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	153	SD-31	1層	土師器	環	口縁~底部	(2.8)	(5.0)	7.5YR 6/3	7.5YR 7/4	ロクロナ	右皿鉢切	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	154	SD-31	1層	土師器	環	口縁~底部	(13.0)	(2.5)	10YR 6/2	2.5YR 5/6	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	155	SD-31	1層	土師器	環	口縁~底部	(14.0)	(3.3)	5YR 5/4	5YR 5/4	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	156	SD-31	1層	土師器	小環	口縁~底部	(5.1)	(5.8)	7.5YR 5/2	7.5YR 4/1	ナギナ	ナギナ	多	少	内外瓦片遺物有	
第3002段	157	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(1.3)	5B	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	右皿鉢切+ ハタココ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	158	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(12.6)	(4.8)	7.5YR 1/1	7.5YR 6/3	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	159	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(14.0)	(5.0)	7.5YR 5/3	N 2/0	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	160	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(13.8)	(3.3)	10YR 3/2	N 2/0	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	161	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	(11.6)	(3.7)	10YR 3/1	N 2/0	ロクロナ	ロクロナ	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	162	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(2.7)	2.5YR 6/6	N 1/5	ロクロナ	静止水切	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	163	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	13.1	5.3	6.5	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	ロクロナ	ロクロナ	多	少	内外瓦片遺物有
第3002段	164	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	14.0	4.5	6.8	2.5YR 6/8	2.5YR 5/6	ロクロナ	ロクロナ	多	少	内外瓦片遺物有
第3002段	165	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	-	(3.6)	7.5YR 7/3	10YR 4/1	ロクロナ	右皿鉢切	少	多	内外瓦片遺物有	
第3002段	166	SD-32	埋土層	土師器	環	口縁~底部	16.4	(9.6)	7.5YR 2/2	7.5YR 2/3	ナギナ	ナギナ	少	多	内外瓦片遺物有	

図面番号	No.	出土位置	層位	種類	器種	部位	計測値(mm)			色澤		形成	文様・彫刻		備考
							口径	高さ	底径	外周	内周		外周	内周	
第300段	167	SD-32	1層	土師器	甕	口縁~体部	24.4	(10.7)	-	5YR 6/6	7.5YR 7/6	並	ヘラナナ	ナナ+	内面化粧
第300段	168	SD-32	甕土師器	甕	口縁~体部	(19.0)	(12.0)	-	7.5YR 2/1	7.5YR 1/1	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧、高化動物文	
第304段	169	SD-32	甕土師器	甕	口縁~体部	(15.0)	(7.4)	-	7.5YR 8/3	2.5YR 7/6	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧、高化動物文	
第304段	170	SD-32	甕土師器	甕	口縁~体部	(14.6)	(7.4)	-	10YR 7/4	10YR 7/3	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧	
第304段	171	SD-32	甕土師器	甕	体部	-	(3.0)	-	7.5YR 5/2	5YR 5/2	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧	
第304段	172	SD-32	甕土師器	甕	体部~底部	-	(3.0)	-	11.0	7.5YR 7/4	7.5YR 5/1	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧
第304段	173	SD-32	甕土師器	甕	口縁~体部	(16.0)	(7.5)	-	7.5YR 7/4	7.5YR 5/1	並	ヘラナナ	ナナ+	内外面化粧	
第304段	174	SD-32	甕土師器	甕	口縁~体部	(19.0)	(5.3)	-	10Y 2/1	7.5Y 2/2	良	口ワナナ	口ワナナ	内外面化粧	
第304段	175	SD-32	甕土師器	甕	体部	-	-	-	5B 2/1	N 3.0	ナナ	ヘラナナ	ナナ	内面化粧	
第304段	176	SD-32	甕土師器	甕	体部	-	-	-	N 4.0	7.5YR 5/2	やや不良	ナナ+	ナナ+	内面化粧	
第304段	177	SD-34	甕土師器	甕	口縁~底部	13.8	(3.7)	5.6	7.5YR 6/6	10YR 6/6	良	ナナ	ナナ	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧	
第304段	178	SD-34	甕土師器	甕	口縁~底部	(13.0)	(2.9)	-	7.5YR 6/4	7.5YR 7/3	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧	
第304段	179	SD-34	甕土師器	甕	口縁~底部	(13.0)	3.1	7.2	7.5YR 6/4	5YR 6/6	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧	
第304段	180	SD-34	1層	土師器	甕	口縁~体部	(13.0)	(1.6)	-	5YR 6/1	5YR 6/6	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧
第304段	181	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~体部	(13.4)	(2.6)	-	7.5YR 6/3	7.5YR 5/2	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧
第304段	182	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~底部	13.2	6.3	6.4	2.5YR 5/6	5YR 6/8	並	ヘラナナ	ナナ+	外面土器、内面黒漆塗、内外面化粧
第304段	183	SD-34	2層	土師器	甕	口縁~体部	(13.0)	(5.1)	-	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	並	ナナ+	ナナ	外面土器
第304段	184	SD-34	1層	土師器	甕	体部~底部	-	(1.4)	(4.6)	7.5YR 5/4	7.5YR 6/3	並	ナナ	ナナ	外面土器
第304段	185	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~底部	13.2	5.7	6.4	5YR 4/6	N 1.5/0	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	186	SD-34	1層	土師器	甕	口縁~底部	12.6	4.2	5.6	7.5YR 7/4	7.5YR 6/4	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	187	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~底部	13.0	3.7	5.4	5YR 6/4	5YR 6/4	良	ヘラナナ	ヘラナナ	外面土器
第305段	188	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~底部	(14.0)	(4.7)	-	10YR 6/1	10YR 6/2	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	189	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~底部	(13.4)	4.2	6.8	7.5YR 7/4	7.5YR 6/2	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	190	SD-34	1層	土師器	甕	体部~底部	-	(3.2)	6.8	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	191	SD-34	2層	土師器	甕	体部~底部	-	(2.9)	5.6	7.5YR 6/8	5YR 6/6	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	192	SD-34	2層	土師器	甕	体部~底部	-	(2.5)	6.0	5YR 6/4	5YR 6/4	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	193	SD-34	1層	土師器	甕	体部~底部	-	(3.4)	7.0	5YR 6/4	5YR 6/4	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	194	SD-34	1,2,4層	土師器	甕	口縁~体部	13.8	(4.0)	-	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	口ワナナ	口ワナナ	外面土器
第305段	195	SD-34	甕土師器	甕	口縁~体部	(14.6)	(3.5)	-	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器	
第305段	196	SD-34	甕土師器	甕	口縁~体部	(14.2)	(3.1)	-	10YR 8/4	10YR 17/1	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器	
第305段	197	SD-34	甕土師器	甕	体部~底部	-	(3.4)	7.2	10YR 5/4	10YR 5/3	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器	
第305段	198	SD-34	甕土師器	甕	体部~底部	-	(2.7)	7.6	10YR 7/4	10YR 7/4	良	口ワナナ	口ワナナ	外面土器	
第305段	199	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~体部	(22.0)	(9.1)	-	10YR 17/1	10YR 4/1	良	ナナ+	ナナ+	外面土器
第305段	200	SD-34	4層	土師器	甕	口縁~体部	(19.4)	(7.9)	-	7.5YR 4/1	2.5YR 6/8	並	ナナ	ナナ	外面土器
第305段	201	SD-34	甕土師器	甕	口縁~体部	(21.2)	(7.4)	-	10YR 7/2	10YR 7/2	並	ヘラナナ	ヘラナナ	外面土器	

路線番号	No.	土地区画 番号	種別	用途	部位	制限種別(㎡)		色画		文書・図章		種	砂	骨	備考
						口狭	(5.0)	外画	内画	外画	内画				
第305線	202	SD-34	舗装	舗	口端~体部	(27.2)	(5.0)	10YR 6/4	10YR 3/2	ヘナナ	ヘナナ	中	少	少	内外面保行書
	203	SD-34	舗装	舗	体部	-	-	5YR 3/2	5YR 3/1	ヘナナ	ヘナナ	多	中	少	内外面保行書
第305線	204	SD-34	舗装	舗	体部	-	-	75YR 4/2	75YR 1/1	ヘナナ	ヘナナ	少	少	少	外面維持書、内外面保行書
	205	SD-34	舗装	舗	体部	-	-	75YR 5/3	75YR 2/1	ヘナナ	ヘナナ	多	中	少	内外面維持書
第306線	206	SD-34	舗装	舗	体部	-	(11.6)	25YR 4/8	25YR 4/4	ヘナナ	ヘナナ	多	多	多	外面保行書
	207	SD-16	舗装	舗	体部~体部	(3.2)	6.8	75YR 8/4	75YR 8/4	ヘナナ	砂底	多	少	少	内外面維持書
第306線	208	SD-34	舗装	舗	口端~体部	(16.8)	(4.6)	10YR 7/4	75YR 6/6	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	内外面維持書
	209	SD-34	舗装	舗	口端~体部	(7.0)	4.3	10YR 3/2	10YR 7/3	ナナ	砂底	多	多	少	外面維持書
第306線	210	SD-34	舗装	舗	体部	-	(2.7)	N 3/0	N 3/0	ナナ	ナナ	多	少	少	外面維持書
	211	SD-34	舗装	舗	体部	-	-	5P 2/1	5P 3/1	ナナ	ナナ	多	少	少	外面維持書
第306線	212	SD-38	舗装	舗	口端~体部	13.0	4.4	25YR 6/6	5YR 6/4	ナナ	ナナ	多	中	少	外面維持書、内外面保行書、 断面図のためによる条切
	213	SD-38	舗装	舗	口端~体部	(18.6)	(6.0)	5YR 6/4	7.5YR 7/2	ヘナナ	ヘナナ	多	中	中	断面図のためによる条切
第306線	214	SD-38	舗装	舗	口端~体部	(24.9)	(5.6)	5YR 6/4	5YR 7/4	ヘナナ	ヘナナ	多	中	中	断面図のためによる条切
	215	SD-38	舗装	舗	口端~体部	(24.8)	(8.5)	5YR 6/4	7.5YR 7/4	ヘナナ	ヘナナ	多	中	中	断面図のためによる条切
第306線	216	SD-44	舗装	舗	口端~体部	(16.0)	(6.6)	5YR 6/6	7.5YR 6/3	ナナ	ナナ	多	少	少	外面維持書、内外面保行書
	217	SD-44	舗装	舗	口端~体部	(7.3)	7.4	5YR 9/6	5YR 5/6	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外面維持書
第306線	218	SD-45	舗装	舗	口端~体部	12.8	3.8	2.5YR 6/8	2.5YR 6/6	ヘナナ	砂底	多	少	少	内外面保行書
	219	SD-45	舗装	舗	口端~体部	(12.0)	5.5	7.5YR 8/4	10YR 8/4	ヘナナ	ヘナナ	多	多	少	外面維持書
第307線	220	SD-45	舗装	舗	口端~体部	(13.6)	(3.0)	5YR 5/4	5YR 5/4	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外面維持書
	221	SD-45	舗装	舗	口端~体部	(18.0)	(5.4)	7.5YR 6/6	7.5YR 4/2	ヘナナ	ヘナナ	多	少	多	外面維持書
第307線	222	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(12.2)	3.7	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	ナナ	ヘナナ	多	多	多	外面維持書~断面図にかけて維持書
	223	SD-46	舗装	舗	体部~体部	-	(1.9)	2.5YR 6/6	5YR 7/6	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外面維持書
第307線	224	SD-46	舗装	舗	体部~体部	-	(1.7)	5YR 4/4	5YR 7/2	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外面維持書、断面図のためによる条切
	225	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(12.8)	(4.0)	7.5YR 8/3	7.5YR 8/3	ナナ	ナナ	多	少	少	外面維持書
第307線	226	SD-01	舗装	大床	口端~体部	(15.4)	7.2	7.5YR 7/4	7.5YR 2/1	ヘナナ	右面保行書 ヘナナ	少	少	少	内外面保行書
	227	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(11.6)	4.9	5YR 7/6	5YR 7/6	ヘナナ	右面保行書 ヘナナ	多	少	少	内外面保行書
第307線	228	SD-46	舗装	舗	体部~体部	-	(3.7)	10YR 6/4	10YR 5/3	ヘナナ	右面保行書 ヘナナ	少	少	少	内外面保行書、断面図のためによる条切
	229	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(14.0)	(2.8)	5YR 6/5	5YR 6/6	ヘナナ	ヘナナ	多	多	多	内外面維持書
第307線	230	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(20.0)	(6.7)	7.5YR 4/2	7.5YR 7/6	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	内外面維持書、断面図のためによる条切
	231	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(22.8)	(4.6)	10YR 3/2	10YR 3/2	ヘナナ	砂底	多	少	少	外面維持書
第307線	232	SD-46	舗装	舗	体部~体部	-	(5.7)	10YR 7/2	10YR 4/2	ヘナナ	ヘナナ	多	多	多	内外面維持書
	233	SD-46	舗装	舗	口端~体部	(15.4)	(9.0)	2.5YR 6/6	2.5YR 3/1	ヘナナ	ヘナナ	多	少	少	外面維持書、断面図のためによる条切

図面番号	No.	土主位置	層位	種類	部材	計測値(m)		色層		構成		文書・図章		検出	備考
						口径	高さ	外面	内面	外面	内面	外面	内面		
第307図	234	SD-46	覆土	土師器	小壺	胴口~体部	(140)	(48)	5YR 5/2	5YR 3/1	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内面底面直線有、内外底面付着
第307図	235	SD-46	覆土	土師器	鉢部	体部	-	-	5B 3/1	N 3/0	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内面底面付着
第307図	236	SD-46	覆土	土師器	鉢部	体部	-	-	5B 3/1	5PB 4/1	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内面底面付着
第307図	237	SD-47	覆土	土師器	鉢部	体部	-	-	5B 3/1	5PB 4/1	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内面底面付着
第307図	238	SD-47	覆土	土師器	小壺	胴口~底面	(80)	2.6	4.6	7.5YR 4/2	7.5YR 4/2	良	ナナ+	ナナ+	内面底面付着、底面中央部に穿五孔
第308図	239	SD-52	覆土	土師器	小壺	胴口~底面	(28)	5.4	5YR 5/6	5YR 6/2	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有
第308図	240	SD-52	覆土	土師器	杯	体部~底面	-	(3.3)	(5.0)	10YR 6/2	N 1.5/0	良	ナナ+	ナナ+	内面底面付着
第308図	241	SD-52	覆土	土師器	肥子	体部	(3.9)	-	10YR 6/4	10YR 4/1	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	内面底面付着、土着有、内面底面付着
第308図	242	SD-53	覆土	土師器	口罎~体部	(13.0)	(1.9)	-	10YR 6/2	10YR 3/1	良	ナナ+	ナナ+	ナナ+	口罎部打欠直線有、内面底面付着
第308図	243	SD-53	覆土	土師器	杯	口罎~底面	(12.0)	5.2	4.6	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	良	ナナ+	ナナ+	口罎部打欠直線有、内外底面付着有
第308図	244	SD-53	覆土	土師器	壺	口罎~体部	(12.2)	(4.2)	-	10YR 6/3	10YR 7/4	良	ナナ+	ナナ+	内外底面底面直線有
第311図	245	ASE-03	1層	土師器	壺	口罎~体部	(18.0)	(4.3)	-	7.5YR 3/1	7.5YR 2/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着
第311図	246	ASE-04	覆土	土師器	壺	口罎~体部	(20.8)	(5.3)	-	5YR 5/6	5YR 6/8	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着
第311図	247	ASE-04	覆土	土師器	壺	口罎~体部	(23.6)	(3.8)	-	7.5YR 2/2	7.5YR 5/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着
第311図	248	ASE-04	下層	土師器	壺	体部	-	(7.2)	7.5YR 2/2	7.5YR 4/2	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着	
第311図	249	ASE-04	下層	土師器	壺	体部~底面	-	(2.8)	6.0	7.5YR 1/1	7.5YR 4/2	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着
第311図	250	ASE-04	覆土	土師器	壺	体部	-	-	7.5YR 6/6	5YR 6/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着	
第311図	251	ASE-05	5層	土師器	小壺	胴口~底面	11.2	1.8	8.0	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ナナ+	ナナ+	内外底面付着
第329図	252	ASP-37B	覆土	土師器	壺	体部~底面	-	(2.1)	7.0	5YR 4/1	5YR 4/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第329図	253	ASP-482	埋設品	土師器	壺	体部	-	-	N 3/0	N 3/0	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着	
第330図	254	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(13.2)	2.9	(4.6)	7.5YR 4/2	10YR 3/2	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	255	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(10.5)	2.2	(4.4)	7.5YR 5/6	7.5YR 5/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	256	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(13.8)	3.2	(7.0)	5YR 5/4	5YR 3/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	257	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(12.8)	3.0	(4.8)	7.5YR 6/1	7.5YR 6/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	258	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(13.0)	3.3	(6.0)	2.5YR 5/2	2.5YR 5/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	259	溝溝外	埋設品	土師器	壺	体部~底面	-	(1.5)	6.0	5YR 6/6	7.5YR 7/4	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	260	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(13.4)	3.6	(6.3)	5YR 7/6	5YR 6/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	261	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~底面	(13.4)	3.6	(6.0)	10YR 6/4	10YR 5/3	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	262	溝溝外	埋設品	土師器	壺	口罎~体部	(12.0)	(1.6)	-	7.5YR 6/3	7.5YR 2/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	263	溝溝外	埋設品	土師器	壺	体部~底面	-	(1.8)	4.2	10YR 7/3	10YR 7/2	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	264	溝溝外	埋設品	土師器	杯	口罎~底面	12.5	4.4	(6.8)	2.5YR 6/0	5YR 5/2	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	265	溝溝外	埋設品	土師器	杯	口罎~底面	(12.0)	5.4	(6.0)	2.5YR 6/0	7.5YR 7/4	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	266	溝溝外	埋設品	土師器	杯	口罎~底面	(12.0)	(5.0)	-	7.5YR 8/3	7.5YR 8/3	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	267	溝溝外	埋設品	土師器	杯	口罎~底面	(13.2)	5.7	(5.6)	10YR 5/3	10YR 3/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	268	溝溝外	埋設品	土師器	杯	体部~底面	-	(1.9)	(6.0)	7.5YR 6/3	5YR 5/1	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着
第330図	269	溝溝外	埋設品	土師器	杯	口罎~底面	(14.0)	5.8	5.0	5YR 5/2	5YR 5/6	良	ナナ+	ナナ+	内外底面土着有、内外底面付着

図面番号	No.	出土位置	層位	種類	図種	部位	製形(単位)			色澤	内面	形成	文様・装飾			種	砂	骨	備考	
							口径	高さ	厚さ				外面	底面	文様					装飾
第333図	303	溝槽外	表層	土師器	甕	口縁~底部	(23.4)	(6.1)	(2.4)	5YR 6/6	7.5YR 4/2	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	少	少	内外面磨光
第333図	304	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(24)	(6.2)	(2.4)	7.5YR 4/2	7.5YR 6/3	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	少	少	底面磨光、内外面磨光	
第333図	305	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(24)	(6.1)	(2.4)	7.5YR 4/2	7.5YR 2/3	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	多	多	内外面磨光、内外面磨光	
第333図	306	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(24)	(3.8)	(0.8)	10YR 2/3	10YR 6/3	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	内外面磨光、内外面磨光	
第333図	307	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(24)	(3.5)	(0.7)	7.5YR 4/2	7.5YR 5/2	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	少	少	内外面磨光、内外面磨光	
第333図	308	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(22)	(7.2)	(2.2)	5YR 3/1	N 1.50	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	内外面磨光	
第333図	309	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部	(27)	(6.0)	(2.7)	7.5YR 2/2	7.5YR 3/3	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	多	多	外表面磨光	
第333図	310	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部~底部	(21.4)	(4.1)	(1.1)	5YR 6/6	5YR 5/3	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	少	少	内外面磨光	
第333図	311	溝槽外	埋没層	土師器	甕	口縁~底部	(11.8)	(6.1)	(2.1)	2.5YR 5/6	5YR 5/4	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	内外面磨光	
第333図	312	溝槽外	埋没層	土師器	小甕	口縁~底部	(11.8)	(6.1)	(2.1)	2.5YR 5/6	5YR 5/4	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	内外面磨光、底面磨光	
第333図	313	溝槽外	埋没層	土師器	小甕	体部~底部	(28)	(4.8)	(2.8)	5YR 5/6	2.5YR 6/8	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	多	多	外表面磨光	
第333図	314	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部	(28)	(5.9)	(3.1)	N 3.0	N 3.0	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	外表面磨光	
第333図	315	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部	(28)	(5.9)	(3.1)	N 3.0	7.5YR 2/1	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	外表面磨光	
第333図	316	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部	(28)	(5.4)	(1.1)	N 4.0	N 4.0	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	中	中	外表面磨光	
第333図	317	溝槽外	埋没層	土師器	甕	体部	(28)	(1.9)	(13.0)	N 3.0	10YR 5/1	底面	外面	ヘナナ	ヘナナ	ヘナナ	少	少	内外面磨光	

第38表 中道道線A区出土木製品観察表

図面番号	No.	出土位置	層位	長さ	計測値(cm)			製品群	製品名	木種	用途	備考
					幅	厚さ	深さ					
第298図	8-1	ASK-38	2層	10.3	9.8	0.9	管筒	竹筒	椀目	ヒノキ材アスタノ口蓋	一部磨光。断面10.3cm。磨面No.24	
第298図	8-2	ASK-40	層土	(13.3)	(6.0)	(6.2)	管筒	椀(漆器)	椀目	ヒノキ材アスタノ口蓋	口コロのみ。内外面磨光(内・裏)。漆器分析No.1	
第298図	8-3	ASK-41	表面	62.0	18.6	15.3	建築材部材片等	板	芯持丸木			
第298図	8-4	ASK-42	表面	71.5	26.6	2.7	建築材部材片等	板	芯持丸木			
第298図	8-5	ASK-42	3層	(38.7)	11.9	1.3	建築材部材片等	板	芯持丸木			
第298図	8-6	ASK-47	層土	17.3	(7.4)	(3.6)	彫刻具	下駄	椀目芯下		遺跡下駄	
第298図	8-7	ASK-47	層土	(17.7)	(4.6)	0.5	彫刻具	彫刻板	椀目		内外面磨光(裏)。有	
第298図	8-8	ASK-47	層土	21.2	(2.3)	0.5	彫刻具	管	椀目		有	
第298図	8-9	ASK-47	層土	16.8	0.65	0.6	彫刻具	管	新材温収			
第298図	8-10	ASK-47	層土	(13.3)	0.7	0.6	彫刻具	管	新材温収			
第308図	8-11	SD-03	2層	21.5	15.1	0.6	文房具	木製	底目			
第308図	8-12	SD-04	層土	(22.7)	5.8	4.8	建築材部材片等	部材	椀目			
第308図	8-13	SD-04	層土	(22.2)	6.8	5.7	建築材部材片等	部材	椀目			
第308図	8-14	SD-04	層土	(18.2)	7.1	2.6	建築材部材片等	部材	椀目			
第308図	8-15	SD-15	層土	12.0	1.9	0.5	彫刻具	管	椀目			
第308図	8-16	SD-16	2層	11.2	1.9	0.6	彫刻具	管	椀目			
第308図	8-17	SD-16	層土	(21.6)	(2.7)	(2.0)	建築材部材片等	部材	椀目		磨面No.23	
第308図	8-19	SD-27	層土	(26.3)	(4.0)	(4.3)	建築材部材片等	板	芯持丸木		磨面付	
第308図	8-20	SD-27	層土	(14.0)	(4.4)	(4.2)	建築材部材片等	板	芯持丸木		磨面付	
第308図	8-21	SD-27	層土	(38.2)	18.5	13.4	建築材部材片等	部材	芯持丸木			
第308図	8-22	SD-28	層土	26.8	1.35	7.0	用途不明	木製品				
第308図	8-23	SD-46	層土	(11.1)	(10.3)	(4.4)	彫刻具	椀(漆器)	椀目		口コロのみ。磨面(内・裏)。有	
第311図	8-24	ASE-04	下層	44.5	11.8	11.3	建築材部材片等	部材	椀目		ヒノキ材アスタノ口蓋	

第3節 B区

1. 土坑

BSK-01 (第336図)

FH-159・160グリッドで検出した。BSP-40・41、48、81~84、89・90、99と重複している。本遺構がBSP-81~84、89・90を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP-40・41、48、99が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸158×短軸92×深さ16cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕2点を図示した(第337図318・319)。318は甕の口縁部へ体部で、口縁部が短く、体部はやや丸みを帯びる形状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。319は甕の口縁部へ体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

BSK-02 (第336図)

FJ-159グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸103×短軸79×深さ18cmを測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻しによる人為堆積と考えられる。遺物は珠洲播鉢1点(第337図320)を図示した。320は体部である。

BSK-05 (第336図)

FP-158グリッドで検出した。BSP-153と重複している。BSP-153が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸116×短軸81×深さ28cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK-06 (第336図)

FQ-158グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸75×短軸58×深さ24cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は一部凹む部分を除いてほぼ平坦である。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK-07 (第336図)

FQ-159グリッドで検出した。SD-67と重複している。SD-67が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出のため、全体形は不明であるが、楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸197×短軸97×深さ110cmを測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は8層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK-08 (第336図)

FJ-161グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸65×短軸34×深さ26cmを測る。

壁は急角度に立ち上がり、底面は北側に傾斜する。堆積土は3層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK-09 (第336図)

FI-160グリッドで検出した。BSP-92、94・95と重複している。BSP-92、94・95が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸50×短軸45×深さ10cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK-10 (第336図)

FI-158・159グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸61×短軸47×深さ16cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は中央部がやや凹む形状を呈する。堆積土は3層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

2. 溝跡

SD-50 (第338図)

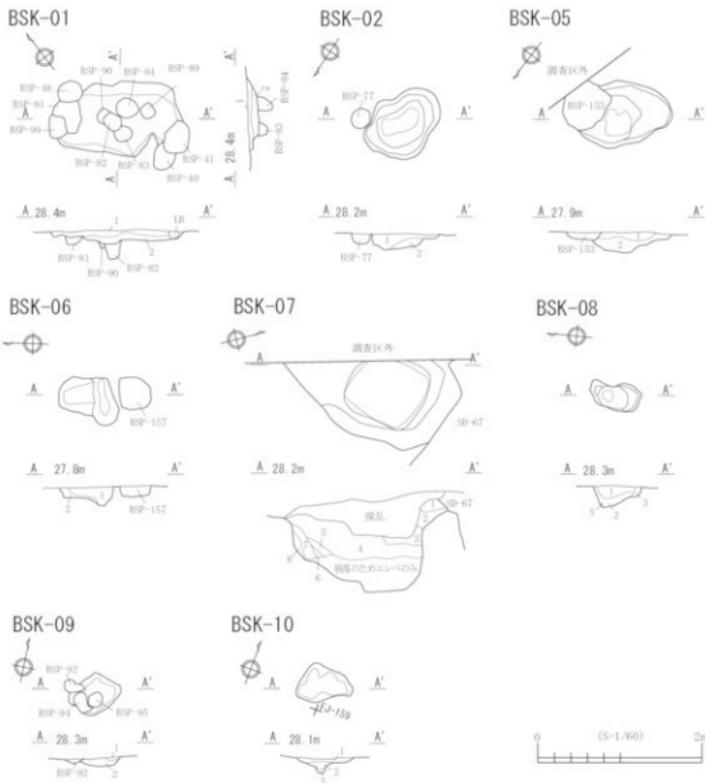
FH~FJ-161グリッドで検出した。SD-51、BSP-26、29と重複している。SD-51、BSP-26、29が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかに蛇行しており、規模は延長549cm、幅54cm、深さ10cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層で、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-51 (第338図)

FI-161グリッドで検出した。SD-50、BSP-39と重複している。本遺構がSD-50を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP-39が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出であるが、概ね直線状を呈していると考えられ、規模は延長148cm、幅67cm、深さ10cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

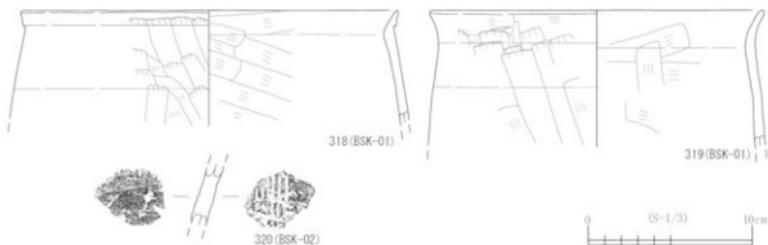
SD-54 (第338図)

FK・FL-159・160、FK-161グリッドで検出した。SD-57、BSP-27・28と重複している。本遺構がBSP-27・28を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-57が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈しており、規模は延長619cm、幅49cm、深さ23cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は緩やかなV字状を呈する。堆積土は2層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕3点、埴戸1点、陶磁器播鉢1点を図示した(第341図321~325)。321~323はいずれも甕の口縁部~体部である。321、323は体部が丸みを帯び、口縁部が短い資料で、322は口縁部~体部までほぼ直線的である。324は埴戸の底部付近、325は播鉢の底部で近世以降の所産と考えられる。



- BSK-01**
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ5~10mm)微量、焼土粒(φ5~10mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)多量、焼土粒(φ5~10mm)少量
- BSK-02**
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)微量、ロームブロック(φ20~30mm)少量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4.4褐色土の混合層 焼土粒(φ1~5mm)微量
- BSK-05**
 第1層 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR1.7/1 黒色土と10YR2.2黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
- BSK-06**
 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20~50mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)微量
- BSK-07**
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ5~10mm)少量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~50mm)少量
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、ロームブロック(φ20~70mm)中量、炭化粒(φ5~20mm)少量
 第4層 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(φ30~40mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ5~60mm)少量
 第5層 10YR3/1 黒褐色土 酸化鉄粒(φ10~30mm)少量、砂混じり
 第6層 10YR2/2 黒褐色土 酸化鉄粒(φ1~5mm)多量、酸化鉄粒(φ1~10mm)多量、砂混じり
 第7層 10YR1.7/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量
- BSK-08**
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量
 第3層 10YR1.7/1 黒色土と10YR4.6褐色土の混合層 ローム粒(φ1~5mm)少量
- BSK-09**
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ50mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
- BSK-10**
 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ5~20mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量

第336図 中道遺跡B区SK



第337図 中道遺跡B区出土土器SK

SD-55 (第338図)

FJ・FK-159・160グリッドで検出した。緩やかな弧状を呈し、規模は延長215cm、幅72cm、深さ30cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-56 (第338図)

FI-158・159、FJ-159グリッドで検出した。B・D区に跨っており、B区でBSP-107・108、BSX-01と重複している。BSP-107・108、BSX-01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長610cm、幅93cm、深さ24cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。北西端部よりピット2基を検出した。平面形はPit1円形、Pit2不整形を呈し、規模はPit1=長軸19×短軸18×深さ7cm、Pit2=長軸54×短軸42×深さ11cmを測る。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器環1点、甕2点(第341図326~328)を図示した。326は坯の口縁部で、ロクロ調整が施されている。327は甕の口縁部へ体部で、体部が丸みを帯び、口縁部は直立気味である。328は甕の口縁部へ体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。

SD-57 (第339図)

FJ~FL-157・158、FK・FL-159、FL・FM-160グリッドで検出した。SD-54、58、62と重複している。本遺構がSD-54、58、62を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈する大溝で、確認できた規模は延長12.82m、上端幅457cm、下端幅160cm、深さ145cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、特に南西壁は多くの段をもつ。底面はほぼ平坦で、断面形は箱型状を呈する。南西壁よりピット2基を検出した。各ピットの規模はPit1=長軸38×短軸30×深さ7cm、Pit2=長軸24×短軸16×深さ20cmを測る。堆積土は22層に分層した。上~中層は黒褐色土を主体とする土層、下層は褐灰色、灰黄褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿8点、環

10点、甕16点、小甕2点、把手付土器1点、須恵器壺1点、須恵器甕3点（第341～343図329～369）、木製品8点（第345図木34～41）を図示した。皿は8点のうち、非ロクロ7点（329～335）、ロクロ調整1点（336）である。非ロクロの底部調整は、332・333静止糸切、334・335網代痕である。非ロクロのものは、内外面巻上痕、指頭圧痕が認められる。坏は10点のうち、非ロクロ4点（337～340）、ロクロ調整6点（341～346）である。ロクロ調整のうち、343はロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。非ロクロの底部調整は339・340が網代痕である。344は内外面油痕、346は内外面に灯明痕が認められる。甕は16点のうち、361・362のみ体部～底部の資料で、そのほかは口縁部～体部の資料である。口縁部～体部の資料では概ね体部が丸みを帯び、口縁部緩やかに外反するものが多いが、口縁部～体部までほぼ直線的な351、357、359や、口縁部の屈曲度合がやや強い347、349が認められる。363は小甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。364は小甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部はやや外反する。365は把手付土器の口縁部～底部付近で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。把手部は断面円形を呈する。366は須恵器壺の底部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、底部はヘラナデである。367～369は須恵器甕の体部で、外面はタタキ成形、内面はナデによって調整されている。木34は棒状、木35は不明、木37、39・40は板状を呈する用途不明木製品である。木40は上端中央に穿孔が認められる。木36は木簡で、羽子板状に成形され、表裏面に墨書が認められる。木38は栓と考えられ、逆円錐状を呈する。木41は杭と考えられる。

SD-58（第339図）

FM-160グリッドで検出した。SD-57、59と重複している。本遺構がSD-59を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-57が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長194cm、幅49cm、深さ48cmを測る。壁は段をもって急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。壁沿いから3基のピットを検出した。本遺構は塼と考えられ、本来ピットが等間隔に2基ずつ設置されていたと考えられるが、SD-59との重複により不明である。各ピットの規模は、Pit1=長軸16×短軸16×深さ15cm、Pit2=長軸26×短軸7×深さ14cm、Pit3=長軸32×短軸22×深さ16cmを測る。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-59（第339図）

FM-159・160グリッドで検出した。SD-58、60と重複している。SD-58、60が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈する大溝で、確認できた規模は延長346cm、上端幅168cm、下端幅46cm、深さ116cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は狭いものの、ほぼ平坦で、断面箱葉研削状を呈する。堆積土は10層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、甕3点、小甕1点を図示した（第343図370～374）。370は坏の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。371は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。372は甕の口縁部～体部で、口縁部へと開く形状を呈し、口縁部は緩やかに外反する。373は甕の体部～底部で、底部は網代痕である。374は小甕の口縁部～体部で、体部は丸みを帯び、口縁部はくの字状のくびれを有する。外面はヘラナデ、内面はナデである。

SD-60 (第339図)

FM・FN-159・160グリッドで検出した。SD-59、61と重複している。本遺構がSD-59を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-61が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出であるが、直線状を呈し、確認できた規模は延長133cm、幅88cm、深さ100cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は7層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-61 (第339図)

FL-157、FM-157～159、FN-158～160グリッドで検出した。SD-60、62と重複している。本遺構がSD-60、62を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈する大溝で、確認できた規模は延長12.95m、上端幅262cm、下端幅119cm、深さ123cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。断面形は箱型状を呈する。堆積土は8層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏4点、甕7点、羽釜1点(第343・344図375～387)、木製品3点(第345図木42～44)、鉄関連遺物1点(第345図鉄4)を図示した。375は口径19cmの非ロクロ皿で、外面巻き上げ痕が認められ、内外面ともにナデによって調整されている。坏は4点のうち、非ロクロ1点(376)、ロクロ調整3点(377～379)である。376は口径16cm、器高7.1cmの大坏である。外面には巻上痕が認められ、底部は静止糸切である。379は坏の底部で、底部は細めの糸による糸切である。甕は7点のうち、386が底部で、そのほかは口縁部～体部資料である。口縁部～体部資料は体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかにすぼまるものが多い。382～384は体部がやや丸みを帯び、口縁部へとすぼまるような形状を呈する。387は羽釜の口縁部～体部の資料である。体部は直胴で、口縁部が緩やかに外反している。木42は菰籠である。木43は用途不明の棒状木製品である。木44は紡錘者の紡輪と考えられ、中心部には軸を通すために穿たれたと考えられる穴が認められる。鉄4は先端部寄りの羽口体部破片である。

SD-62 (第339図)

FL・FM-158・159グリッドで検出した。SD-57、61、BSP-158と重複している。本遺構がBSP-158を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-57、61が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長392cm、幅63cm、深さ8cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-63 (第339図)

FN-160、FO-159・160グリッドで検出した。SD-64と重複している。SD-64が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。両端がやや屈曲し、規模は延長293cm、幅34cm、深さ9cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した(第344図388)。388は甕の体部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部はヘラケズリである。

SD-64 (第339図)

FN-157・158、FO-157～160グリッドで検出した。SD-63、67と重複している。本遺構がSD-63、67を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈する大溝で、規模は延長12.76m、上端幅178cm、下端幅62cm、深さ117cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は平坦である。底面は東側が狭く、断面葉研堀状を呈するが、西側に向かって広がっていき、断面形は箱堀状を呈する。堆積土は10層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、1・2層は自然堆積、3～10層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿2点、坏4点、甕3点、須恵器甕1点、越前掃鉢1点（第344図389～399）を図示した。皿は非ロクロ1点、ロクロ調整1点で、390の底部は太めの糸による回転糸切である。坏は4点のうち、非ロクロ2点（391・392）、ロクロ調整が2点（393・394）である。392は底部からやや開き気味に立ち上がり、口縁部で内湾する形状を呈する。395は甕の口縁部へ体部で、口縁部と体部の境にわずかな窪みが認められるものの、ほぼ直線的な形状である。396は甕の口縁部へ体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。397は甕の体部へ底部で、底部は木葉痕である。398は須恵器甕の体部、399は越前掃鉢の体部である。

SD-65 (第339図)

FP-159・160グリッドで検出した。SD-67と重複している。SD-67が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。南西側がやや屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長252cm、幅26cm、深さ3cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-66 (第339図)

FP・FQ-159グリッドで検出した。SD-67と重複している。本遺構がSD-67を掘り込んでおり、本遺構が新しい。部分的な検出であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長96cm、幅97cm、深さ24cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底部はやや凹凸が認められる。堆積土は2層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した（第344図400）。400は甕の口縁部で、口縁部が比較的長めの資料である。

SD-67 (第339図)

FO-158、FO～FQ-159グリッドで検出した。BSK-07、SD-64～66と重複している。本遺構がBSK-07、SD-65を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-64、66が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈する大溝で、規模は延長706cm、上端幅142cm、下端幅86cm、深さ128cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦で、断面形は箱堀状を呈する。堆積土は17層に分層した。黒褐色土、黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-68 (第340図)

FR-156、FS・FT-156・157グリッドで検出した。直線状を呈する大溝で、規模は延長814cm、上端幅244cm、下端幅101cm、深さ111cmを測る。壁は急角度に段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦で、断面形は箱堀状を呈する。堆積土は26層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、

埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕4点（第345図401～404）、木製品1点（第345図木45）を図示した。401～403は甕の口縁部～体部、404は甕の体部～底部である。401は体部が丸みを帯び、わずかな口縁部を持つ資料である。402は口縁部と体部の境が浅い窪みのみである。403は短い口縁部を持つ資料で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。404は体部～底部で外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ、底部はヘラナデによって調整されている。木45は曲物で、器高7.4cmを測る。

SD-69（第340図）

FT・FU-155・156グリッドで検出した。直線状を呈する大溝で、規模は延長354cm、上端幅190cm、下端幅53cm、深さ81cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦で、断面形は菜研堀状を呈する。堆積土は12層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

3. 井戸跡

BSE-01（第346図）

FL-160グリッドで検出した。平面形は方形を呈し、規模は長軸102×短軸98×深さ118cmを測る。素掘りの井戸で、壁は一部オーバーハングしながら立ち上がり、底部はやや丸みを帯びる。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点（第361図405）、木製品4点（第361図木46～49）を図示した。405は体部～底部で、緩やかに立ち上がる形状を呈している。木46は樹皮で、曲物の留具と考えられる。木47は板状を呈し、表面には刃痕、裏面には切り込みが認められる。木48は斉串である。木49の上端は棒状、下端は薄く尖るように整形されている。

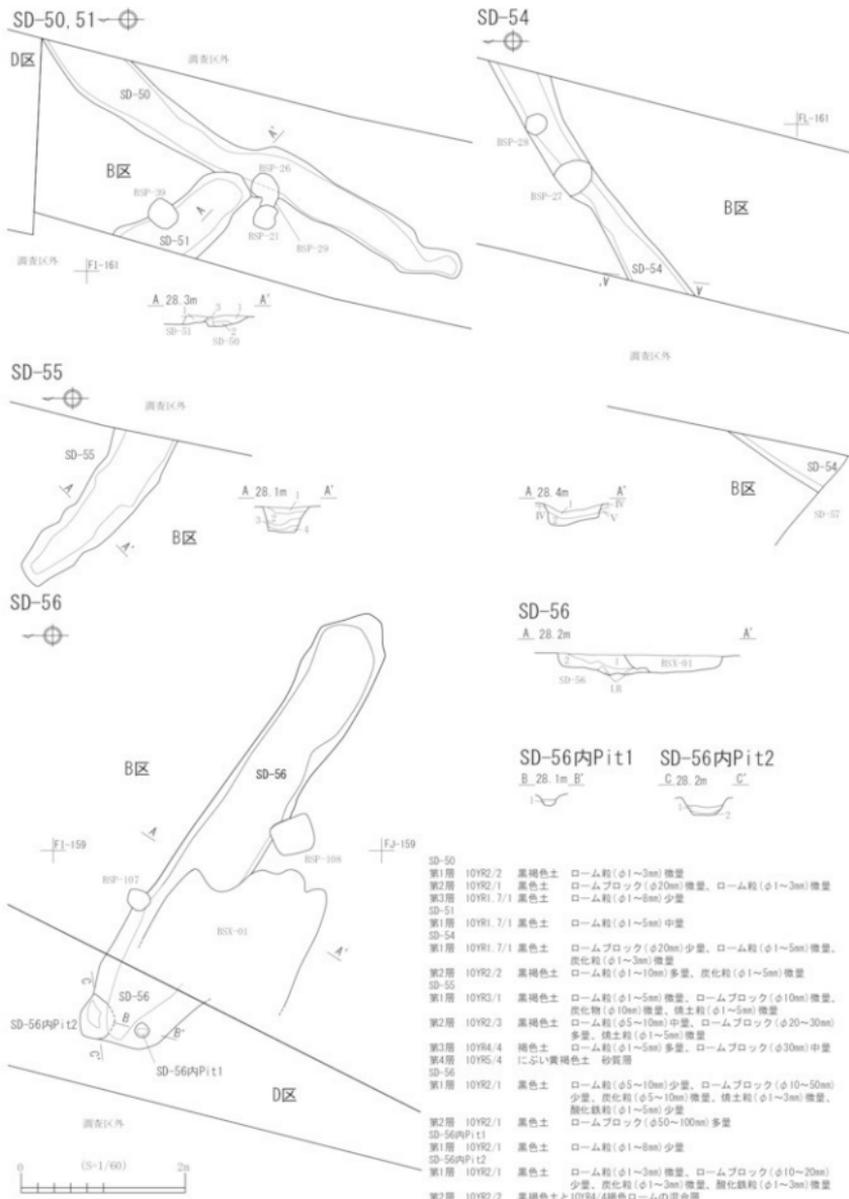
4. 焼土遺構・カマド状遺構

BSN-01（第346図）

FH・FI-160グリッドで検出した。BSP-47と重複している。本遺構がBSP-47を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は方形を呈する焼土遺構で、規模は長軸100×短軸99cmを測り、被熱部分の厚さは3cmを測る。掘方は方形を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は4層に分層した。3層は焼土層、2、4層は掘方埋土で、そのほかは黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器杯1点（第361図406）を図示した。406は杯の口縁部～体部で内外面ともにクロコナデによって調整されている。

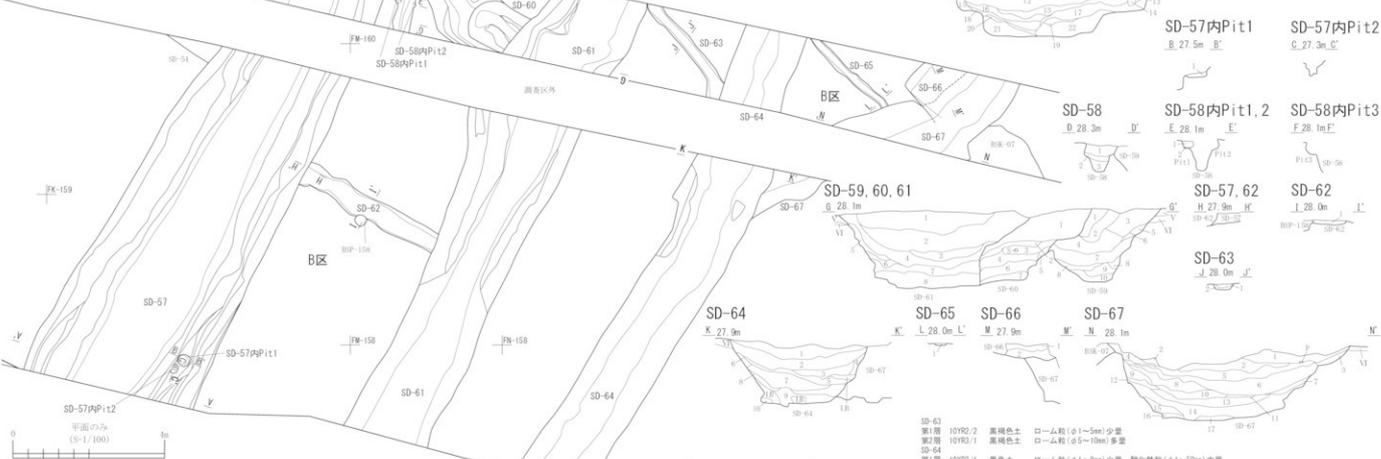
BSN-02（第346図）

FI-160グリッドで検出した。BSP-49、54・55と重複している。BSP-49、54・55が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。カマド状遺構の燃焼部と考えられ、平面形は馬蹄形を呈し、規模は長軸96×短軸95cmを測る。掘方までの深さは10cmを測る。壁は緩やかに立ち上がる。火床面はやや東側に向かって傾斜する。堆積土は掘方を含めて4層に分層した。2層は焼土層、3層は炭化物層、4層は掘方埋土であり、1層は黒褐色土で自然堆積と考えられる。



第338図 中道遺跡B区SD1

SD-57, 58, 59, 60, 61,
62, 63, 64, 65, 66, 67



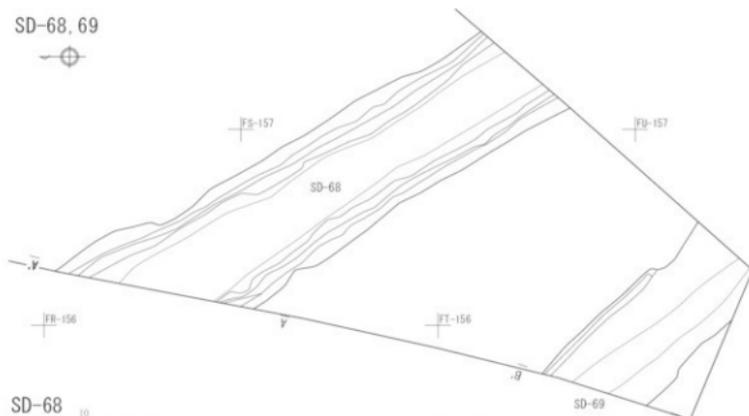
SD-57	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~2cm) 中量、炭化粒 (φ1~3cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~40μ) 多量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、炭化物ブロック (φ20cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~120μ) 多量
	第3層 10YR1/7.1	黒色土	ローム層 (φ1~20cm) 微量、酸化鉄粒 (φ10~70μ) 少量
	第4層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 微量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 中量
	第5層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 微量、炭化粒 (φ1~8cm) 少量、炭化物ブロック (φ30cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第6層 10YR2/3	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 微量、ロームブロック (φ20~30cm) 少量、炭化物ブロック (φ20cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第7層 7.5YR/7.1	黒色土	ロームブロック (φ20~50cm) 少量、炭化物ブロック (φ30cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~40μ) 中量
	第8層 7.5YR2/1	黒色土	ローム層 (φ1~10cm) 微量、炭化粒 (φ1~10cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~100μ) 多量
	第9層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 微量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~100μ) 多量
	第10層 10YR2/2	暗褐色土	10YR4 暗褐色ローム層
	第11層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、ロームブロック (φ20~60μ) 少量、炭化粒 (φ1~10μ) 少量、酸化鉄粒 (φ1~200μ) 多量
	第12層 10YR1/7.1	黒色土	ローム層 (φ1~2cm) 少量、ロームブロック (φ20~50cm) 少量、炭化粒 (φ1~10cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~40μ) 中量
	第13層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20~50cm) 中量、炭化粒 (φ1~8cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~10μ) 少量
	第14層 10YR2/1	黒色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第15層 10YR2/2	黒褐色土	10YR2 暗褐色土の混合層
	第16層 10YR4/1	褐色土	ロームブロック (φ20~40cm) 微量、炭化粒 (φ1~3cm) 多量
	第17層 10YR4/2	灰褐色土	砂利層
	第18層 2.5YR5/1	黄褐色土	砂利層
	第19層 10YR2/1	黒褐色土	砂利層
	第20層 10YR4/6	褐色土	砂利層
	第21層 10Y5/2	灰褐色土	砂利層
	第22層 10YR4/1	褐色土	砂利層
	SD-57内Pit1	第1層 10YR4/2	灰褐色土
	SD-58	第1層 10YR2/2	黒褐色土
	SD-59	第1層 10YR3/3	暗褐色土
	SD-58内Pit1	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-58内Pit2	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-58内Pit3	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-59, 60, 61	第1層 10YR1/7.1	黒色土
	SD-62	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-63	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-64	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-65	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-66	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	SD-67	第1層 10YR2/1	黒褐色土

SD-59	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 中量、酸化鉄粒 (φ5~10cm) 微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20~30cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~8cm) 微量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 中量、酸化鉄粒 (φ1~10cm) 少量
	第4層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~8cm) 少量、ロームブロック (φ20cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第5層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~2cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~5cm) 微量
	第6層 10YR2/4	暗褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20cm) 微量
	第7層 10YR1/1	黒色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20~50μ) 少量、炭化粒 (φ1~5μ) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10μ) 少量
	第8層 10YR1/1	黒色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 多量
	第9層 10YR2/2	黒褐色土	10YR1/7.1 黒色の混合層
	第10層 10YR2/1	黒褐色土	10YR1/7.1 黒色の混合層
	SD-60	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~2cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~60μ) 多量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~2cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~60μ) 多量
	第4層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第5層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、ロームブロック (φ30cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 微量
	第6層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第7層 10YR2/1	黒褐色土	ロームブロック (φ50μ) 少量、酸化鉄粒 (φ20~30μ) 中量
	第8層 10YR1/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~2cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第9層 10YR1/7.1	黒色土	ローム層 (φ1~8cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~8μ) 少量
	第10層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~3cm) 微量

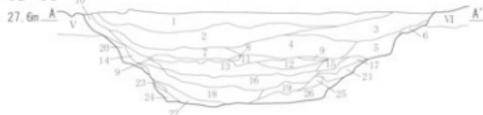
SD-63	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 少量
	第2層 10YR1/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 多量
	SD-64	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~8cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 中量、酸化鉄粒 (φ1~100μ) 多量
	第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20~40cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10μ) 少量
	第4層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、ロームブロック (φ20~40cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10μ) 少量
	第5層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ20~50μ) 少量、粘土質
	第6層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ10~40μ) 少量
	第7層 10YR3/3	暗褐色土	砂層
	第8層 10YR1/7.1	黒色土	10YR4 黒色の混合層
	第9層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 中量、酸化鉄粒 (φ10~40μ) 中量
	第10層 10YR2/1	黒褐色土	10YR4 黒色の混合層
	SD-65	第1層 10YR2/1	黒褐色土
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10μ) 少量
	第3層 10YR1/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~5cm) 微量、ロームブロック (φ10~20cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~5μ) 微量
	SD-67	第1層 10YR2/2	黒褐色土
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、ロームブロック (φ20~40μ) 少量、炭化粒 (φ1~10μ) 少量、炭化物ブロック (φ30cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~70μ) 少量
	第3層 10YR1/7.1	黒色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、炭化粒 (φ30μ) 酸化鉄粒 (φ1~70μ) 中量
	第4層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第5層 10YR2/3	暗褐色土	ロームブロック (φ30μ) 少量、炭化粒 (φ1~8μ) 少量、酸化鉄粒 (φ10~50μ) 少量
	第6層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、ロームブロック (φ30μ) 少量、炭化粒 (φ1~8μ) 少量、酸化鉄粒 (φ1~20μ) 少量
	第7層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第8層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~10cm) 少量、炭化粒 (φ1~5cm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第9層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第10層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第11層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第12層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第13層 10YR1/1	黒褐色土	10YR3 黒色の混合層
	第14層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第15層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第16層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層 (φ1~3cm) 少量、炭化粒 (φ1~3cm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50μ) 少量
	第17層 10YR2/3	暗褐色土	10YR4 黒色の混合層

第339区 中道通跡B区SD(2)

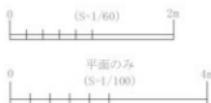
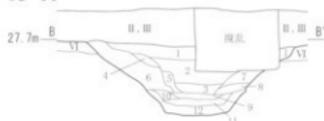
SD-68, 69



SD-68



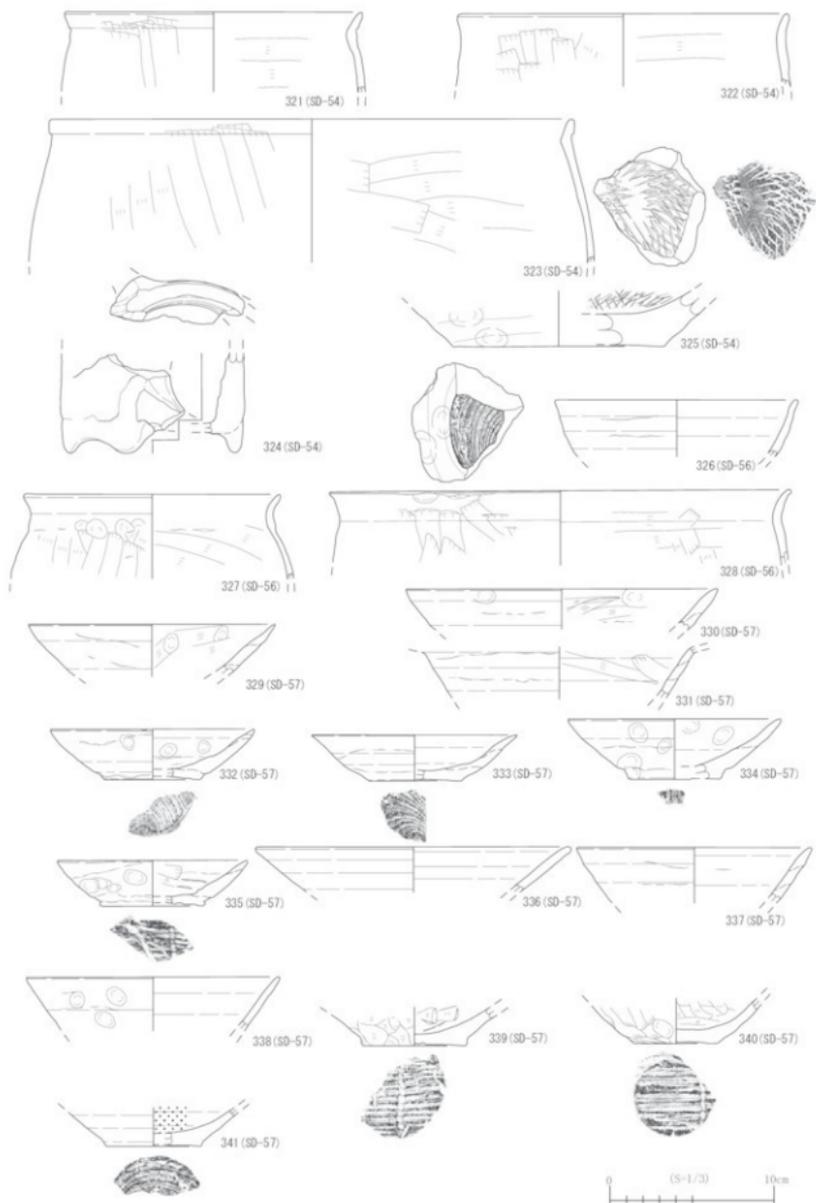
SD-69



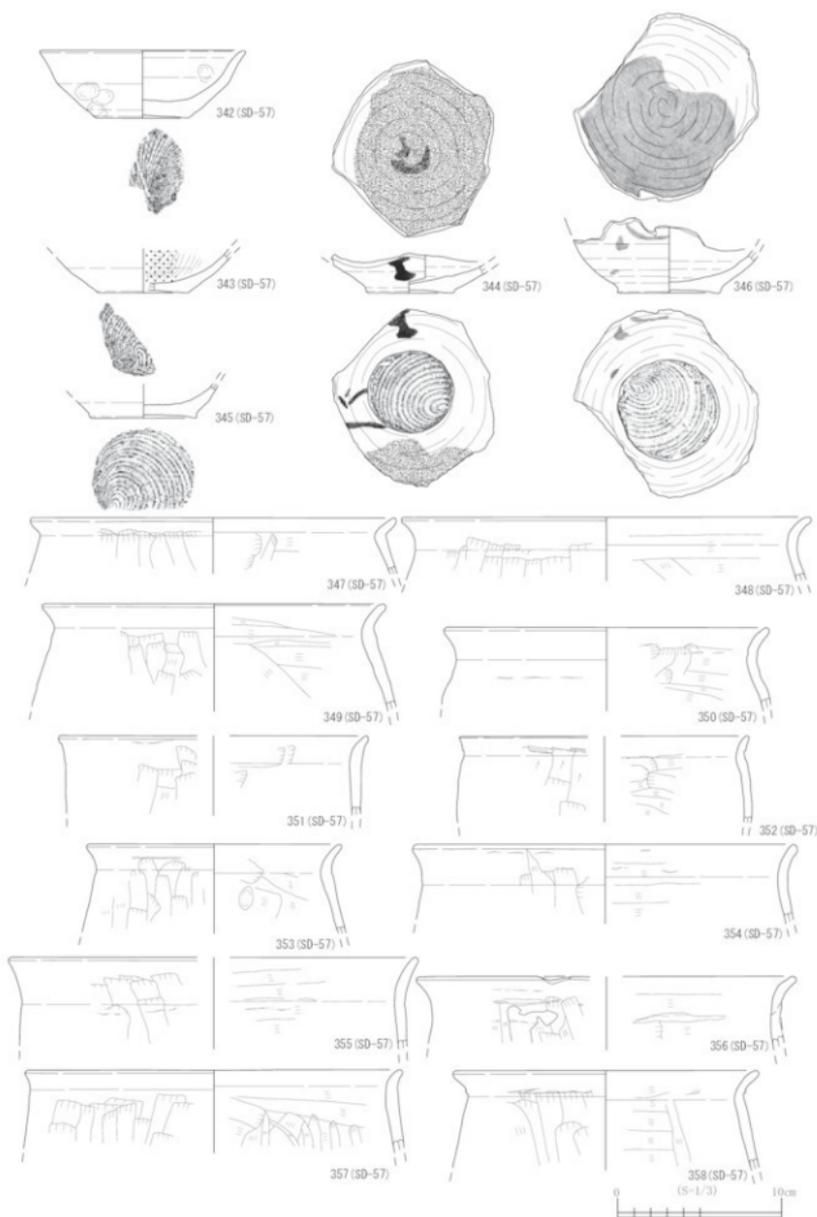
SD-68

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~40mm)少量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~40mm)少量、10YR2/3黒褐色土少量混入
 第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR2/1黒色の混合層 ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~50mm)少量
 第4層 10YR3/1 黒褐色土と10YR2/1黒色の混合層 ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~70mm)中量、酸化鉄粒(φ5~90mm)中量
 第5層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ5~50mm)少量
 第6層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第7層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20~80mm)中量、酸化鉄粒(φ1~50mm)少量
 第8層 10YR1/7/1 黒色土と10YR2/1黒色の混合層 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第9層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
 第10層 7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量、炭化粒(φ1~2mm)微量
 第11層 7.5YR2/1 黒色土 酸化鉄粒(φ1~20mm)微量
 第12層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ5~10mm)微量
 第13層 10YR2/1 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)微量
 第14層 7.5YR2/1 黒色土 酸化鉄粒φ10~40mm)多量
 第15層 10YR3/1 黒褐色土
 第16層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第17層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
 第18層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)微量
 第19層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量
 第20層 10YR1/7/1 黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層 ロームブロック(φ20~140mm)中量、酸化鉄粒(φ5~20mm)少量
 第21層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ1~30mm)中量
 第22層 10YR4/2 灰黄褐色土 砂質層 ロームブロック(φ40mm)微量、10YR2/3黒褐色土少量混入
 第23層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)微量
 第24層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 砂質層
 第25層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ20~50mm)多量、酸化鉄粒(φ15mm)微量
 第26層 10YR3/2 暗褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ20~110mm)多量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
- SD-69
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
 第4層 7.5YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
 第5層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
 第6層 10YR1/7/1 黒色土と10YR4/3にぶい黄褐色土ロームの混合層 ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ5~40mm)少量
 第7層 10YR1/7/1 黒色土と10YR4/4褐色土ロームの混合層 酸化鉄粒(φ5mm)微量
 第8層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
 第9層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第10層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第11層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第12層 10YR3/2 暗褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)微量

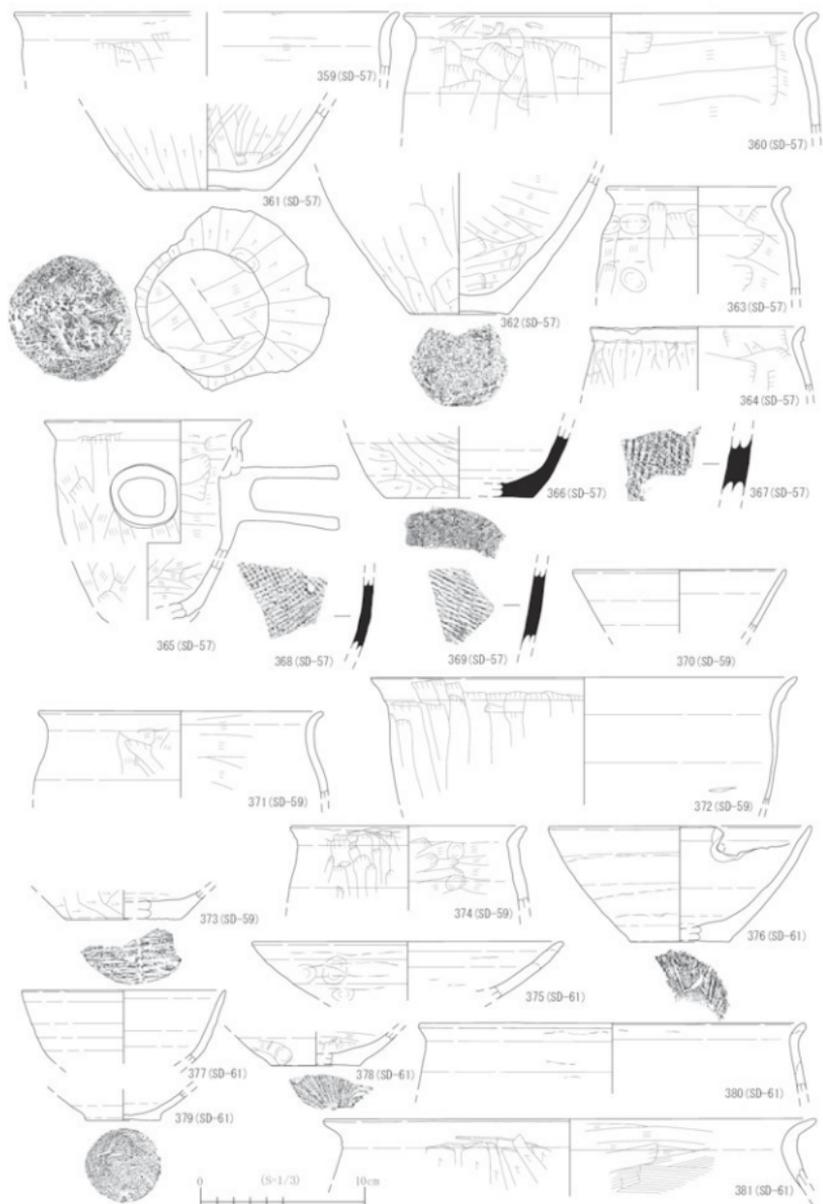
第340図 中道道跡B区SD(3)



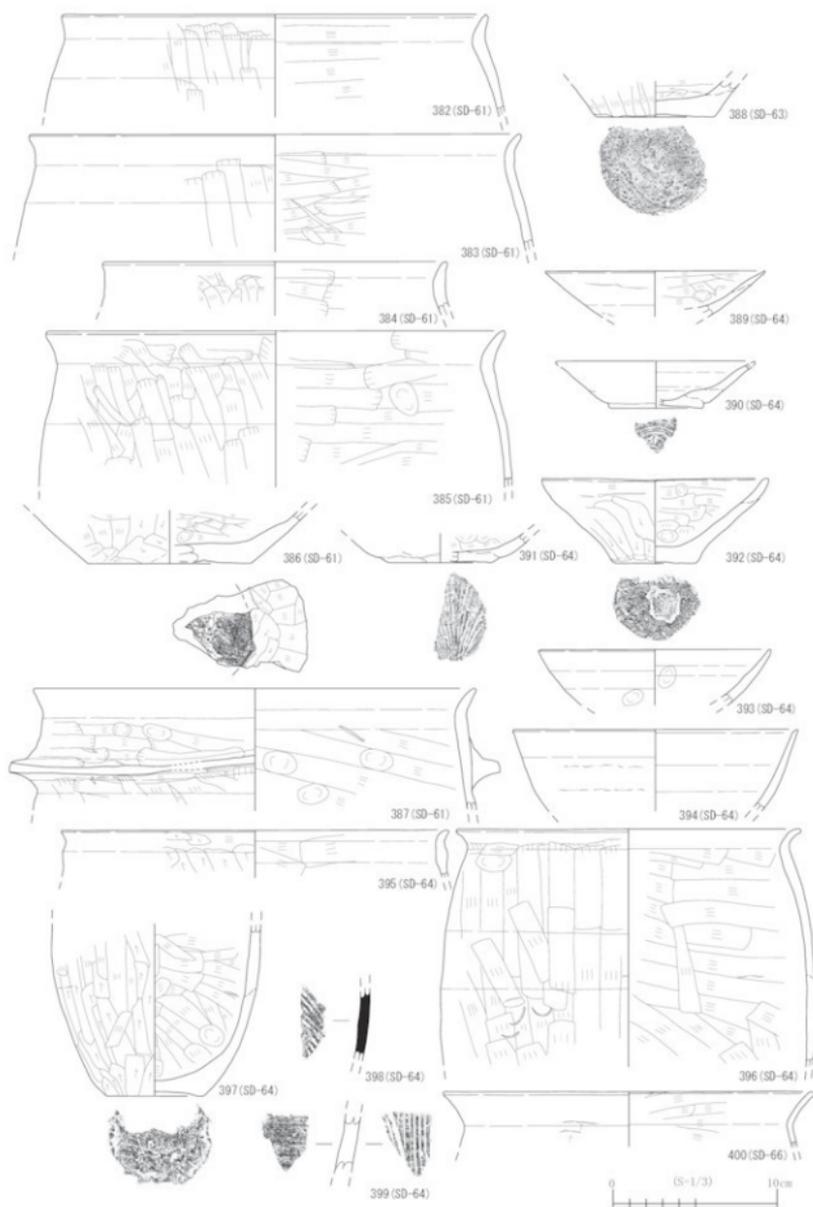
第341図 中道遺跡B区出土土器SD(1)



第342図 中道遺跡B区出土土器SD(2)

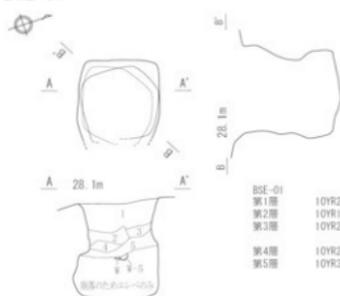


第343図 中道遺跡B区出土土器SD(3)



第344図 中道遺跡B区出土土器SD(4)

BSE-01

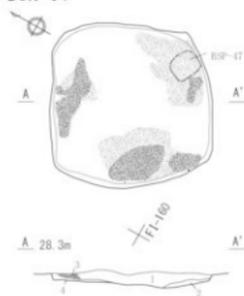


BSE-01
第1層
第2層
第3層
第4層
第5層

10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化物(φ1~3mm)微量
10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量、ロームブロック(φ10~40mm)混入、炭化物(φ1~50mm)混入
10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量



BSN-01



BSN-01

第1層 10YR2/1 黒色土
第2層 10YR1/3/1 黒色土
第3層 7.5YR4/4 褐色土
第4層 10YR1/7/1 黒色土

BSN-02

第1層 10YR2/1 黒褐色土
第2層 5YR5/4 にふい赤褐色土
第3層 10YR1/3/1 黒色土
第4層 7.5YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化物(φ1~5mm)微量、焼土粒(φ1~5mm)少量
ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、焼土粒(φ1~3mm)微量、軽灰色灰(10YR4/1)中量
焼土層

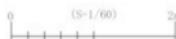
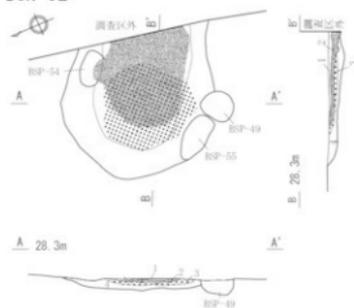
炭化粒(φ1~10mm)中量、焼土粒(φ1~5mm)少量、焼土ブロック(φ30mm)少量

焼土層 炭化粒(φ1~10mm)少量

炭化物層

炭化粒(φ1~10mm)微量、焼土粒(φ5~10mm)少量

BSN-02



第346図 中道遺跡 B区SE・SN

5. その他の遺構

BSX-01 (第347図)

FI-158グリッドで検出した。SD-56と重複している。本遺構がSD-56を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸186×短軸167×深さ20cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、甕3点、小甕1点を図示した(第361図407~411)。407は坏の体部~底部で、ロクロ調整が施されており、底部は太めの糸による糸切である。408は甕の口縁部~体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。409は甕の口縁部~体部で、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。410は甕の口縁部~体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する。411は小甕の口縁部~体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。外面へラナデ、内面へハケメが施されている。

6. ビット

B区からは174基のビットを検出した。D区に隣接するグリッドラインFH~FJに比較的集中するが、そのほかは分布がまばらである。詳細・出土遺物は第42表及び第348~361図のとおりである。

7. 遺構外出土遺物

(1) 土器

土師器坏1点、甕5点、小甕1点、壺1点を図示した(第362図416~423)。416は坏の口縁部~体部で、内外面ロクロ調整が施されている。甕は体部~口縁部まで直線的な形状を呈する418を除いて、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する。420はやや口縁部に向かってすぼまる形状で、口縁部は緩やかに外反する。422は小甕の体部~底部で、底部は網代痕である。423は壺の口縁部で、ロクロ調整が施され、内面はヘラミガキによって黒色処理されている。

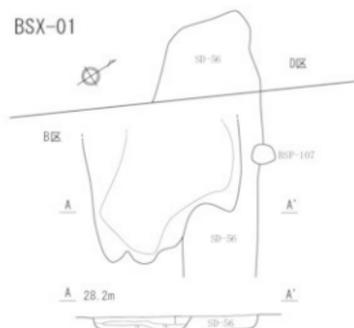
(2) 石器

砥石1点(第362図石4)を図示した。平面逆台形状を呈し、砥面は4面認められる。

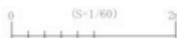
(3) 鉄関連遺物

鉄鍋1点(第362図鉄5)を図示した。口縁部破片で、内面には沈線が3条認められる。

BSX-01



BSX-01			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~7mm)少量、 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、 灰化物(φ10mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、 ロームブロック(φ10~30mm)少量、 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR2/1	黒色土と10YR4.3にふい黄褐色土の混合層	ローム粒(φ1~9mm)多量、 ロームブロック(φ20~50mm)中量、 酸化鉄粒(φ5~9mm)少量



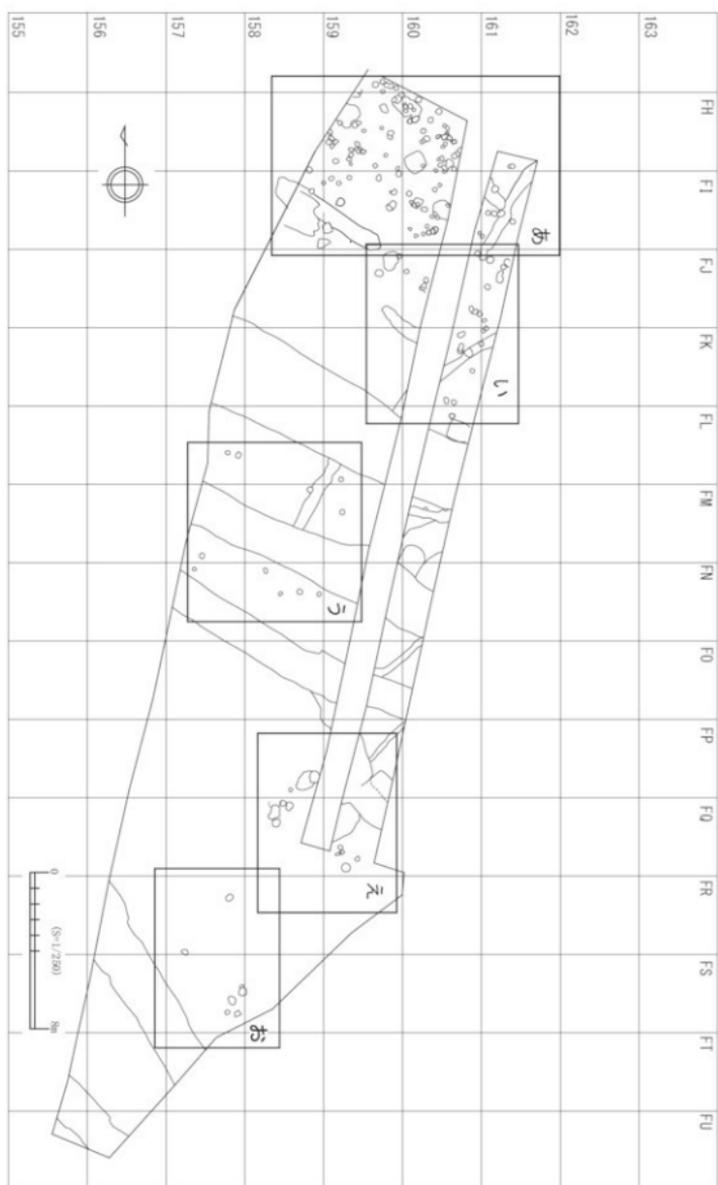
第347図 中道遺跡B区SX

第42表 中道遺跡B区SP観察表

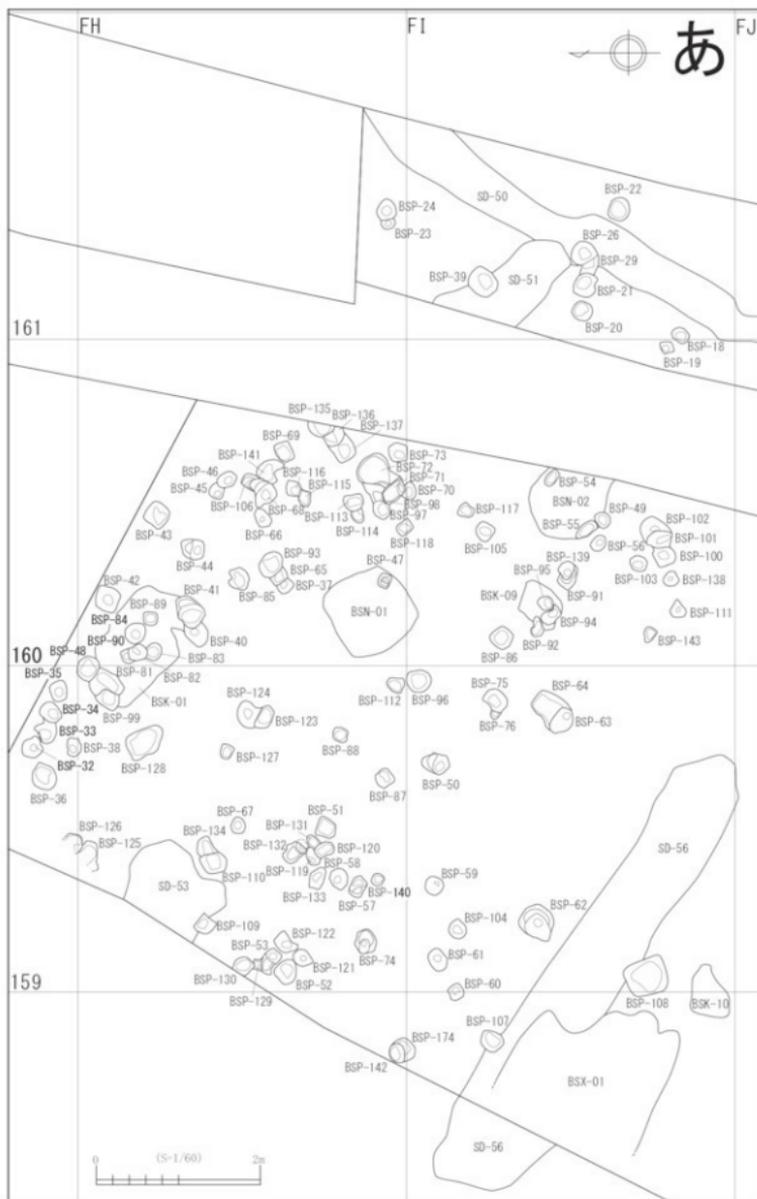
図番番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第355図	BSP-01	FL-160		28	27	11	h	d			
第355図	BSP-02	FK-160		27	25	36	h	d			
第355図	BSP-03	FK-160		36	23	8	f	d			
第355図	BSP-04	FK-160		24	21	17	h	d			
第355図	BSP-05	FK-160	BSP-05>BSP-25	41	24	17	h	d			
第355図	BSP-06	FK-160		40	25	34	g	e			
第355図	BSP-07	FJ-161		24	16	12	f	d			
第355図	BSP-08	FJ・FK-161		23	19	14	h	a			
第355図	BSP-09	FK-160・161		23	16	18	h	d			
第355図	BSP-10	FJ-160・161		28	24	11	e	d			
第355図	BSP-11	FJ-160	BSP-11>BSP-12	29	26	14	e	d			
第355図	BSP-12	FJ-160	BSP-12<BSP-11	39	22	8	g	d			
第356図	BSP-13	FJ-161		30	21	30	h	d			
第356図	BSP-14	FJ-161		28	22	14	f	d			柱礎跡有
第356図	BSP-15	FJ-161		37	35	23	h	a			
第356図	BSP-16	FJ-160		30	27	18	h	d			
第356図	BSP-17	FJ-161		(25)	32	17	f	e			
第350図	BSP-18	FI-160・161		22	17	16	f	d			
第350図	BSP-19	FI-160		15	15	8	c	d			
第350図	BSP-20	FI-161		24	23	12	h	a			
第350図	BSP-21	FI-161	BSP-21>BSP-29	29	25	20	h	d			
第350図	BSP-22	FI-161		28	25	16	h	d			
第350図	BSP-23	FH-161	BSP-23<BSP-24	18	(12)	10	h	d			
第350図	BSP-24	FH-161	BSP-24>BSP-23	25	23	21	h	d	土師器1点 (第361図412)	平安時代	
第355図	BSP-25	FK-160	BSP-25<BSP-05	30	28	15	h	d			
第350図	BSP-26	FI-161	BSP-26<SD-50 BSP-29<新旧不明	30	26	40	h	d			
第356図	BSP-27	FK-160	BSP-27<SD-54	44	40	13	f	d			
第356図	BSP-28	FK-160・161	BSP-28<SD-54	28	24	10	h	d			
第350図	BSP-29	FI-161	SD-50<BSP-29< BSP-21 BSP-26<新旧不明	(21)	18	24	a	a			
第359図	BSP-30	FQ-159		28	20	13	e	d			
第359図	BSP-31	FQ-159		45	44	33	h	d			
第350図	BSP-32	FG-159		27	25	29	h	d			
第350図	BSP-33	FG-159	BSP-33<BSP-34	27	27	23	e	d			
第350図	BSP-34	FG-159	BSP-34<BSP-33	26	21	29	f	d			
第350図	BSP-35	FG-159		24	21	28	c	d			柱礎跡有
第350図	BSP-36	FG-159		31	29	37	h	d			
第350図	BSP-37	FH-160	BSP-37<BSP-65	(14)	19	31	a	d			
第350図	BSP-38	FG・FH-159		22	20	20	e	d			
第350図	BSP-39	FI-161	BSP-39<SD-51	36	31	12	f	d			
第350図	BSP-40	FH-160	BSP-41<BSP-40> BSK-01	(23)	27	22	f	j			
第350図	BSP-41	FH-160	BSP-41>BSK-01, BSP-40	42	33	23	f	d			
第350図	BSP-42	FH-160		30	28	36	c	d			
第350図	BSP-43	FH-160		28	28	38	c	e			柱礎残存
第350図	BSP-44	FH-160		28	24	15	f	d			
第351図	BSP-45	FH-160	BSP-45<BSP-46	(15)	17	6	h	d			
第351図	BSP-46	FH-160	BSP-46<BSP-45	24	18	7	f	d			
第351図	BSP-47	FH-160	BSP-47<BSN-01	17	15	24	a	e			
第351図	BSP-48	FH-159・160	BSP-48<BSK-01, BSP-81	30	25	18	f	d			
第351図	BSP-49	FI-160	BSP-49<BSN-02	20	17	21	h	d			
第351図	BSP-50	FI-159		34	24	18	f	d			
第351図	BSP-51	FH-159		29	22	14	a	d			
第351図	BSP-52	FH-159		29	26	14	h	d			
第351図	BSP-53	FH-159	BSP-53<BSP-129	18	15	13	c	d			
第351図	BSP-54	FH-160	BSP-54<BSN-02	22	12	9	g	d			
第351図	BSP-55	FH-160	BSP-55<BSN-02	30	15	7	g	d			
第351図	BSP-56	FH-160		21	16	8	f	d			
第351図	BSP-57	FH-159		25	18	12	c	d			
第351図	BSP-58	FH-159		26	22	19	f	d			
第351図	BSP-59	FI-159		22	22	16	h	d			
第351図	BSP-60	FI-158・159		18	17	15	a	d			
第351図	BSP-61	FI-159		28	20	18	f	e			
第352図	BSP-62	FI-159		40	38	21	h	d	土師器2点(第 361図413・414)	平安時代	
第352図	BSP-63	FI-159	BSP-63<BSP-64	34	24	22	f	d			
第352図	BSP-64	FI-159	BSP-64<BSP-63	(44)	39	10	f	a			
第350図	BSP-65	FH-160	BSP-37<BSP-65< BSP-93	(13)	21	34	a	d			
第352図	BSP-66	FH-160		26	16	18	f	d			
第352図	BSP-67	FH-159		20	17	7	h	d			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第352図	BSP-68	FH-160	BSP-68>BSP-106、141	33	27	27	e	e			
第352図	BSP-69	FH-160		24	20	15	c	d			
第352図	BSP-70	FH・FH-160	BSP-70>BSP-71	22	17	9	h	d			
第352図	BSP-71	FH-160	BSP-71>BSP-70、72、97・98	30	20	25	b	d			
第352図	BSP-72	FH-160	BSP-72>BSP-71、98	(44)	42	24	e	j			
第352図	BSP-73	FH-160		23	22	17	c	d			
第352図	BSP-74	FH-159		30	26	22	h	d			
第352図	BSP-75	Fi-159	BSP-75>BSP-76	29	22	29	c	b			
第352図	BSP-76	Fi-159	BSP-76>BSP-75	(9)	11	7	h	d			
第356図	BSP-77	FJ-159		25	23	13	h	d			柱礎跡有
第356図	BSP-78	FJ-159		43	34	19	f	d			
第356図	BSP-79	FJ-160		24	22	29	c	j			
第356図	BSP-80	FJ-160		29	22	19	e	d			
第351図	BSP-81	FH-159	BSP-81>BSP-48、99、BSK-01	(38)	33	20	e	d			
第352図	BSP-82	FH-160	BSP-83・90>BSP-82>BSK-01	23	19	23	c	d			
第352図	BSP-83	FH-160	BSP-83>BSK-01・BSP-82	22	19	12	h	d			
第352図	BSP-84	FH-160	BSP-84>BSK-01	27	25	18	h	d			
第352図	BSP-85	Fi-160		28	25	19	e	d			
第352図	BSP-86	Fi-160		25	25	25	h	d			
第352図	BSP-87	FH-159		20	20	16	c	e			
第352図	BSP-88	FH-159		17	17	18	c	d			
第353図	BSP-89	FH-160	BSP-89>BSK-01	17	16	6	a	d			
第352図	BSP-90	FH-160	BSP-90>BSK-01・BSP-82	18	(9)	9	h	d			
第353図	BSP-91	Fi-160	BSP-91>BSP-139	30	21	16	f	d			
第353図	BSP-92	Fi-160	BSP-92>BSK-09	24	16	6	e	g			
第350図	BSP-93	FH-160	BSP-93>BSP-65	32	26	40	f	d			
第353図	BSP-94	Fi-160	BSP-94>BSK-09	25	16	14	e	d			
第353図	BSP-95	Fi-160	BSP-95>BSK-09	18	17	4	h	d			
第353図	BSP-96	Fi-159		30	27	28	h	d			
第352図	BSP-97	FH-160	BSP-71>BSP-97>BSP-98	46	21	12	e	d			
第352図	BSP-98	FH-160	BSP-72>BSP-98>BSP-71、97	(17)	12	7	x	d			
第351図	BSP-99	Fi-159	BSP-99>BSK-01、BSP-81	25	20	11	a	d			
第353図	BSP-100	Fi-160	BSP-100>BSP-101	25	22	22	c	d			
第353図	BSP-101	Fi-160	BSP-101>BSP-100、102	33	22	25	e	d			
第353図	BSP-102	Fi-160	BSP-102>BSP-101	(19)	30	27	h	d			
第353図	BSP-103	Fi-160		21	19	12	h	d			
第353図	BSP-104	Fi-159		22	20	42	h	d			
第353図	BSP-105	Fi-160		21	21	12	c	d			
第352図	BSP-106	FH-160	BSP-106>BSP-66 BSP-141(土師器不明)	(20)	18	34	c	d			
第353図	BSP-107	Fi-158	BSP-107>SD-56	29	24	11	f	d			
第353図	BSP-108	Fi-158・159	BSP-108>SD-56	50	43	12	c	d			
第353図	BSP-109	FH-159	BSP-109>SD-63	21	21	16	c	e			
第353図	BSP-110	FH-159	BSP-110>BSP-134	30	25	11	c	d			
第353図	BSP-111	Fi-160		22	19	13	e	e			
第353図	BSP-112	FH-159		21	17	12	e	d			
第353図	BSP-113	FH-160	BSP-113>BSP-114	24	20	17	f	c			
第353図	BSP-114	FH-160	BSP-114>BSP-113	(16)	15	5	f	d			
第353図	BSP-115	FH-160	BSP-115>BSP-116	18	14	6	c	d			
第353図	BSP-116	FH-160	BSP-116>BSP-115	19	16	16	c	d			
第354図	BSP-117	Fi-160		18	17	11	c	d			
第354図	BSP-118	Fi-160		19	15	9	c	d			
第354図	BSP-119	FH-159	BSP-120>BSP-119 >BSP-131・132	23	(15)	10	f	d			
第354図	BSP-120	FH-159	BSP-120>BSP-119、131	24	16	12	f	d			
第351図	BSP-121	FH-159		23	19	21	h	d			
第351図	BSP-122	FH-159		28	17	21	e	e			
第354図	BSP-123	FH-159	BSP-123>BSP-124	29	18	7	f	d	土師器腰1点 (第361図415)	平安時代	
第354図	BSP-124	FH-159	BSP-124>BSP-123	34	27	26	f	d			
第354図	BSP-125	Fi-159	BSP-125>BSP-126	(23)	31	18	e	d			
第354図	BSP-126	FG・FH-159	BSP-126>BSP-125	(15)	24	13	h	d			
第354図	BSP-127	FH-159		18	15	7	c	d			
第354図	BSP-128	FH-159		48	32	6	f	d			
第351図	BSP-129	Fi-159	BSP-129>BSP-53、130	26	23	9	e	d			
第351図	BSP-130	FH-159	BSP-130>BSP-129	22	21	11	h	d			

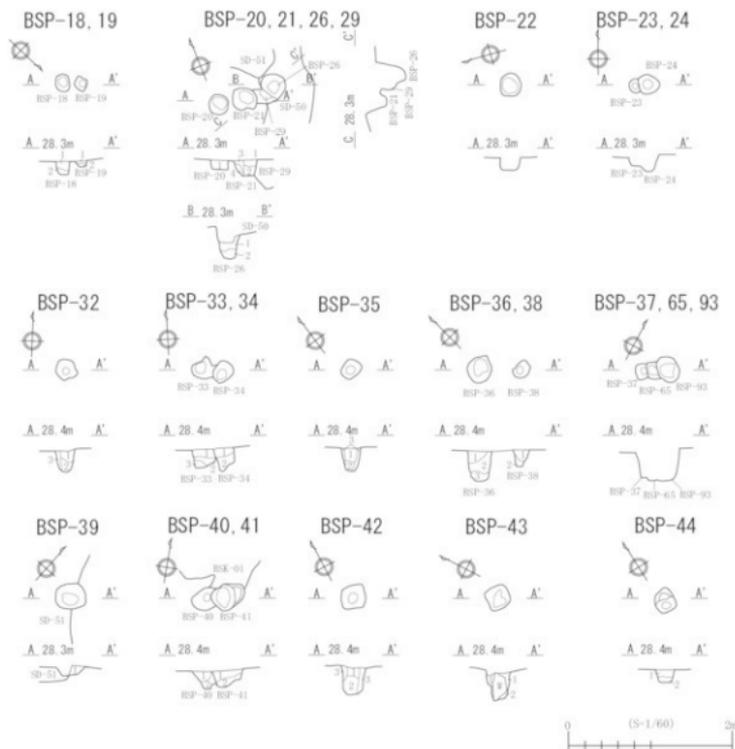
図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第354図	BSP-131	FH-159	BSP-131<BSP-119-120	(16)	13	8	f	d			
第354図	BSP-132	FH-159	BSP-132<BSP-119	34	22	22	e	d (一辺f)			
第354図	BSP-133	FH-159		27	18	11	f	d			
第354図	BSP-134	FH-159	BSP-134<BSP-110	(22)	21	9	c	d			
第354図	BSP-135	FH-160	BSP-135<BSP-136	32	(17)	60	h	d			
第354図	BSP-136	FH-160	BSP-135<BSP-136 >BSP-137	26	(17)	60	h	d			
第354図	BSP-137	FH-160	BSP-137<BSP-136	(28)	26	26	c	f			
第354図	BSP-138	FI-160		18	18	10	h	g			
第353図	BSP-139	FI-160	BSP-139<BSP-91	21	18	24	h	d			
第354図	BSP-140	FH-159		15	14	6	h	d			
第352図	BSP-141	FH-160	BSP-141<BSP-68, 106	29	28	16	e	a			
第354図	BSP-142	FH-158	BSP-142<BSP-174	24	19	50	f	d			
第354図	BSP-143	FI-160		19	14	10	e	d			
第356図	BSP-144	FJ-160	BSP-145<BSP-144 >BSP-146	41	(37)	23	e	d			
第356図	BSP-145	FJ-160	BSP-145<BSP-144, 146	18	16	40	h	d			
第356図	BSP-146	FJ-160	BSP-146<BSP-144, 145	10	(4)	11	h	x			
第360図	BSP-147	FS-157		30	25	11	b	d			
第360図	BSP-148	FS-157		25	21	5	h	d			
第360図	BSP-149	FS-157		46	35	14	f	e			
第360図	BSP-150	FS-157	BSP-150<BSP-151	19	14	7	h	d			
第360図	BSP-151	FS-157・158	BSP-151<BSP-150	40	39	16	f	d			
第360図	BSP-152	FR-157		40	31	9	f	d			
第359図	BSP-153	FP-158	BSP-153<BSK-05	59	49	9	e	d			
第359図	BSP-154	FP-158		22	19	10	h	d			
第359図	BSP-155	FQ-158		43	35	13	e	d			
第359図	BSP-156	FQ-158		30	29	19	h	d			柱礎跡有
第359図	BSP-157	FQ-158		39	38	14	h	a			
第357図	BSP-158	FM-158	BSP-158<SD-62	30	29	17	h	d			
第357図	BSP-159	FM-159		27	25	10	h	d			
第357図	BSP-160	FL-159		24	23	12	h	a			
第360図	BSP-161	FR・FS-157		35	26	15	f	d			
第357図	BSP-162	FN-158		23	20	7	h	d (一辺f)			
第357図	BSP-163	FN-158		28	26	19	h	d			
第358図	BSP-164	FN-158		22	16	15	e	g			
第358図	BSP-165	FN-158		29	19	10	f	a			
第358図	BSP-166	FM-157		29	26	12	h	g			
第358図	BSP-167	FN-157		19	17	8	c	d			
第359図	BSP-168	FQ-159		24	22	16	h	d			
第359図	BSP-169	FQ-159	BSP-169<BSP-170	25	14	9	f	g			
第359図	BSP-170	FQ-159	BSP-170<BSP-169, 171	15	(9)	10	h	x			
第359図	BSP-171	FQ-159	BSP-171<BSP-170	20	20	13	c	d			
第358図	BSP-172	FL-157		30	24	30	c	d			
第358図	BSP-173	FL-157		24	20	20	c	d			
第354図	BSP-174	FI・FH-158	BSP-174<BSP-142	29	(20)	26	h	d			



第348図 中道遺跡 B区 SP分割図



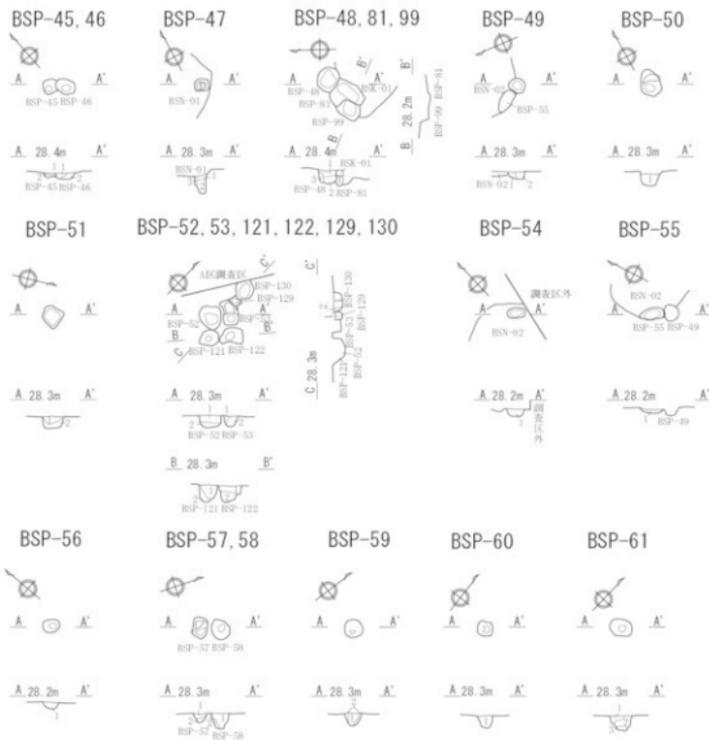
第349図 中道遺跡B区SP区分図あ



BSP-18	第1層 10YR1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~8mm)多量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)多量
BSP-19	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~2mm)少量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
		ロームブロック(φ20mm)微量
BSP-20	第1層 10YR2/3 黒褐色土上10YR3/4黒褐色土の混合層	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-21	第1層 10YR1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第3層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
BSP-26	第1層 10YR1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-32	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR2/1 黒色土上10YR3/4黒褐色土の混合層	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-33	第1層 10YR2/2 黒褐色土	粘土ブロック(φ10~30mm)少量
	第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第3層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量
BSP-34	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)少量
BSP-35	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ロームブロック(φ10~30mm)中量
	第3層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
	第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量
BSP-36	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量
BSP-37	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
	第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量

BSP-38	第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-39	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ5~10mm)微量
		ロームブロック(φ50mm)混入
BSP-40	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量
		ロームブロック(φ10~25mm)中量
BSP-41	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ロームブロック(φ10~20mm)少量
	第3層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
BSP-42	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR2/1 黒色土	ロームブロック(φ10~30mm)多量
BSP-43	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)多量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)多量
BSP-44	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
		ロームブロック(φ10~50mm)中量

第350図 中道遺跡B区SPあ(1)

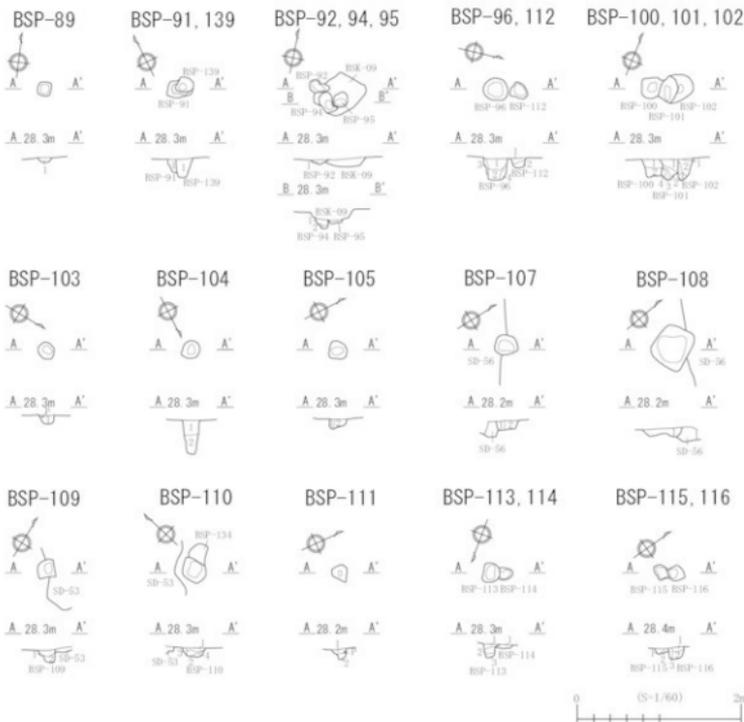


- BSP-45
 第1層 10YR2/1 黒色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-46
 第1層 10YR2/1 黒色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-47
 第1層 10YR2/2 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 第3層 10YR2/1 黒色土
 BSP-48
 第1層 10YR2/3 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-49
 第1層 10YR2/2 黒褐色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-50
 第1層 10YR2/1 黒色土
 BSP-51
 第1層 10YR2/1 黒色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-52
 第1層 10YR2/1 黒色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-53
 第1層 10YR2/2 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-54
 第1層 10YR2/2 黒褐色土

- BSP-55
 第1層 10YR2/1 黒色土
 BSP-56
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-57
 第1層 10YR2/1 黒色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-58
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-59
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-60
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 BSP-61
 第1層 10YR2/3 黒褐色土
 第2層 10YR2/1 黒色土
 第3層 10YR2/3 黒褐色土
 BSP-121
 第1層 10YR3/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-122
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-129
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土
 BSP-130
 第1層 10YR1/1 黒褐色土
 第2層 10YR2/2 黒褐色土



第351図 中道遺跡B区SPあ(2)

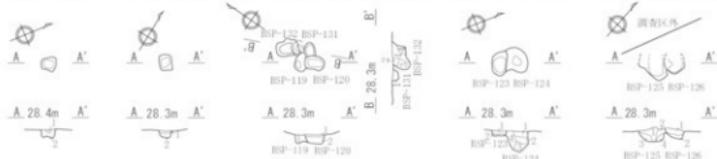


BSP-89	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-91	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ10~20mm)微量
BSP-92	第1層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ10~20mm)少量
BSP-94	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量
BSP-95	第2層 10YR2/2	黒褐色土	10YR4.6褐色ロームの混在層
BSP-96	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-99	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
BSP-100	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ20~30mm)中量
BSP-101	第1層 10YR1/1	黒色土	ロームブロック(φ20~40mm)少量
BSP-102	第2層 10YR1/1	黒色土	ロームブロック(φ20~30mm)中量
BSP-103	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
BSP-104	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-105	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-106	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-107	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-108	第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-109	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-110	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-111	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-112	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
BSP-113	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-114	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-115	第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-116	第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量

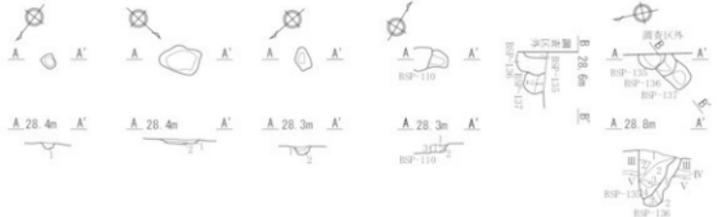
BSP-106	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
BSP-109	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
BSP-110	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量
BSP-111	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
BSP-112	第4層 10YR2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ20~50mm)多量、ロームブロック(φ20~50mm)少量
BSP-113	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、焼土粒(φ1~3mm)微量
BSP-114	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
BSP-115	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量
BSP-116	第4層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
BSP-117	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
BSP-118	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-119	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)中量
BSP-120	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)中量、粘土ブロック(φ10~40mm)中量
BSP-121	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
BSP-122	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-123	第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-124	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-125	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-126	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-127	第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-128	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
BSP-129	第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量

第353図 中道遺跡B区SPあ(4)

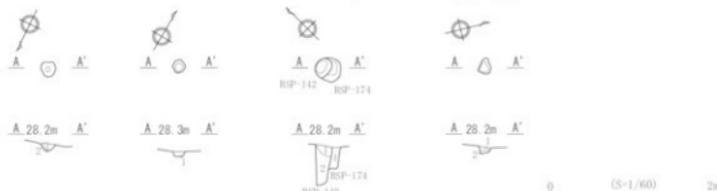
BSP-117 BSP-118 BSP-119, 120, 131, 132 BSP-123, 124 BSP-125, 126



BSP-127 BSP-128 BSP-133 BSP-134 BSP-135, 136, 137



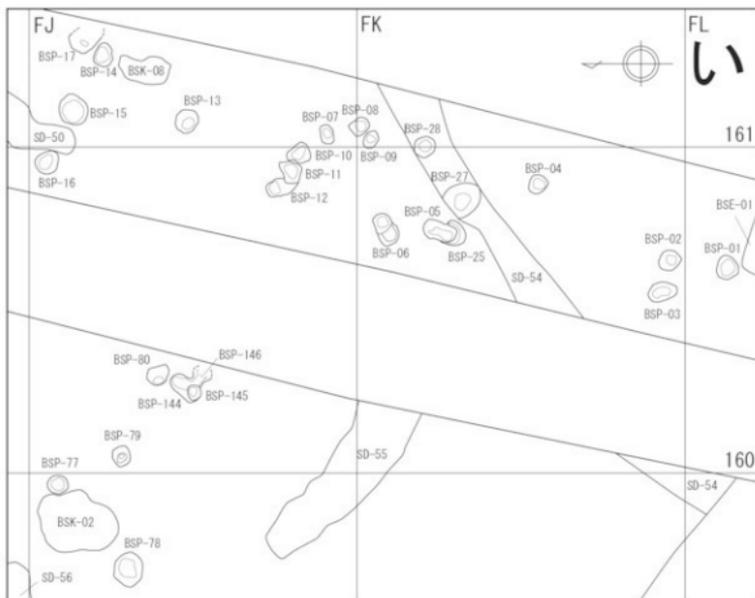
BSP-138 BSP-140 BSP-142, 174 BSP-143



- BSP-117
第1層 7.5YR2/2 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量
- BSP-118
第1層 7.5YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量
- BSP-119
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
- BSP-120
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
第4層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
- BSP-123
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)中量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR3/2 暗褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ10mm)少量
- BSP-124
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ10~20mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ10~20mm)多量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
第4層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~30mm)少量
- BSP-125
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ50mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄粒(φ10mm)少量
第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
- BSP-126
第1層 10YR4/4 褐色ローム
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ10~30mm)少量
第3層 7.5YR4/6 褐色土
- BSP-127
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
- BSP-128
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ30mm)少量、酸化鉄粒(φ3mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)多量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ40mm)中量、酸化鉄粒(φ5mm)微量
- BSP-129
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~6mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

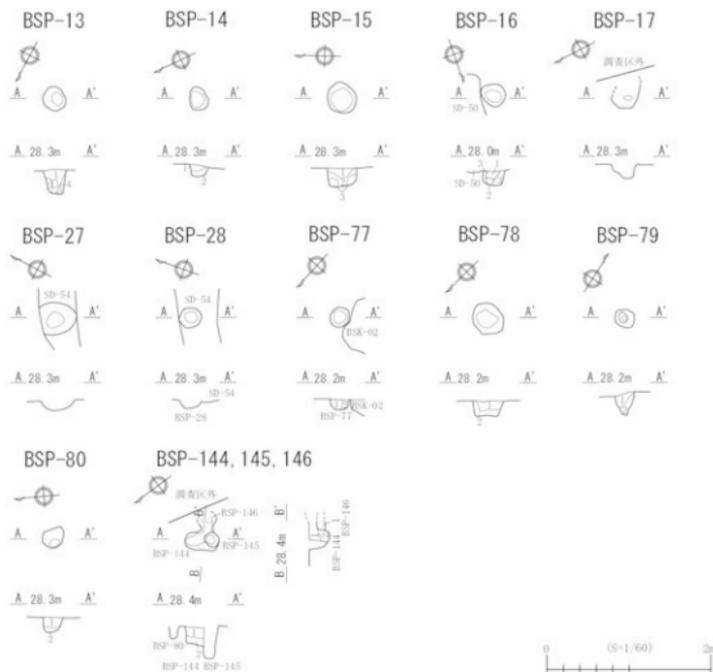
- BSP-133
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)多量
- BSP-134
第1層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)中量
第3層 10YR3/2 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ5mm)微量
- BSP-135
第1層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)多量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ5~10mm)少量
第3層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~50mm)多量
- BSP-136
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~60mm)中量
第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(φ20~50mm)多量
- BSP-137
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
- BSP-138
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ50mm)多量
- BSP-142
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ10mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
- BSP-143
第1層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~7mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ10~20mm)中量、酸化鉄粒(φ10~20mm)中量
- BSP-174
第1層 10YR2/1 黒色土と10YR4/4褐色ロームの混合層

第354図 中道遺跡B区SPあ(5)



BSP-01		BSP-02		BSP-03		BSP-04		BSP-05, 25	
A	A'	A	A'	A	A'	A	A'	A	A'
A. 28. 2m	A'	A. 28. 2m	A'	A. 28. 2m	A'	A. 28. 3m	A'	A. 28. 2m	A'
BSP-06		BSP-07		BSP-08, 09		BSP-10, 11		BSP-12	
A	A'	A	A'	A	A'	A	A'	A	A'
A. 28. 2m	A'	A. 28. 3m	A'	A. 28. 3m	A'	A. 28. 3m	A'	A. 28. 3m	A'
BSP-01 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR1. 7/1 黒色土 BSP-02 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR3/1 黒褐色土 BSP-03 第1層 10YR1. 7/1 黒色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 BSP-04 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土 BSP-05 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土 第3層 10YR1. 7/1 黒色土 BSP-06 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR1. 7/1 黒色土 第3層 10YR1. 7/1 黒色土 BSP-07 第1層 10YR1. 7/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量 ローム粒 (φ1mm) 少量 ローム粒 (φ1~2mm) 微量 ローム粒 (φ1~2mm) 中量 ローム粒 (φ1mm) 微量 ローム粒 (φ1~2mm) 中量 ローム粒 (φ1mm) 微量、炭化物混入 ローム粒 (φ1~2mm) 微量 ローム粒 (φ1~2mm) 多量、 ロームブロック (φ10~40mm) 少量 ローム粒 (φ1~2mm) 中量 ローム粒 (φ1mm) 微量 ローム粒 (φ1~10mm) 多量 ローム粒 (φ1mm) 少量 ローム粒 (φ1~3mm) 中量 ローム粒 (φ1~2mm) 少量	BSP-08 第1層 10YR1. 7/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR3/1 黒褐色土 第5層 10YR2/2 黒褐色土 BSP-09 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR3/1 黒褐色土 BSP-10 第1層 10YR1. 7/1 黒色土 第1層 10YR1. 7/1 黒色土 BSP-11 第1層 10YR3/1 黒褐色土 BSP-12 第1層 10YR2/1 黒色土と10YR2/3黒褐色土の混合層 ローム粒 (φ1~2mm) 多量、 ロームブロック (φ10~30mm) 少量	0 (S-1/60) 2m						

第355図 中道遺跡B区SP区分図い・い(1)



BSP-13			
第1層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、	ロームブロック(φ20~30mm)微量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量	
第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量、	ロームブロック(φ20mm)微量
第4層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量	
BSP-14			
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、	炭化粒(φ1~10mm)少量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、	炭化粒(φ1~5mm)少量
BSP-15			
第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)多量、	炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、	ロームブロック(φ10~20mm)少量
第3層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)多量、	炭化粒(φ1~5mm)微量
BSP-16			
第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)多量	
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、	ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量
第3層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、	炭化粒(φ1~3mm)微量
BSP-17			
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、	焼土粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ5~10mm)少量、	焼土粒(φ1~5mm)微量
BSP-78			
第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、	ロームブロック(φ20mm)微量
第2層 10YR4/6	褐色土	黒褐色土(10YR3/1)少量混入	
BSP-79			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、	ロームブロック(φ20mm)微量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)中量、	ロームブロック(φ30mm)微量
BSP-80			
第1層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)微量、	炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量	
BSP-144			
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、	ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量
第2層 10YR1/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、	炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
BSP-146			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ50mm)多量	

第356図 中道遺跡B区SPい(2)



BSP-158



BSP-159



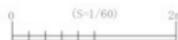
BSP-160



BSP-162



BSP-163



BSP-158

第1層 10YR2/2 黒褐色土

第2層 10YR2/3 黒褐色土

第3層 10YR3/1 黒褐色土

BSP-159

第1層 10YR2/2 黒褐色土

BSP-160

第1層 10YR2/3 黒褐色土

第2層 10YR3/4 暗褐色土

BSP-162

第1層 10YR2/3 黒褐色土

BSP-163

第1層 10YR3/3 暗褐色土

第2層 10YR3/1 黒褐色土

ローム粒 (φ1~2mm) 微量、炭化粒 (φ1~3mm) 微量
ローム粒 (φ1~2mm) 少量、炭化粒 (φ1~3mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10mm) 少量
ローム粒 (φ1~2mm) 微量、炭化粒 (φ1~3mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~20mm) 中量

ローム粒 (φ1~10mm) 少量、ロームブロック (φ20mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~50mm) 中量

ローム粒 (φ1~5mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~2mm) 微量

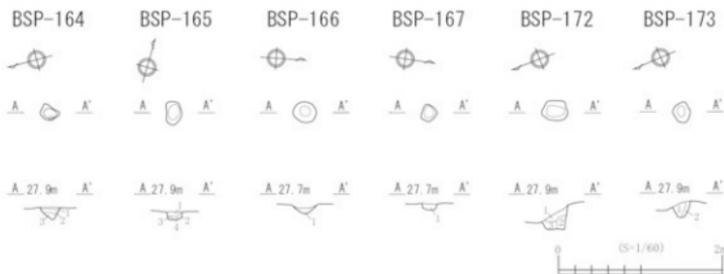
ローム粒 (φ1~8mm) 少量、炭化粒 (φ1~10mm) 微量

ローム粒 (φ1~3mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1mm) 微量

ローム粒 (φ1~10mm) 微量

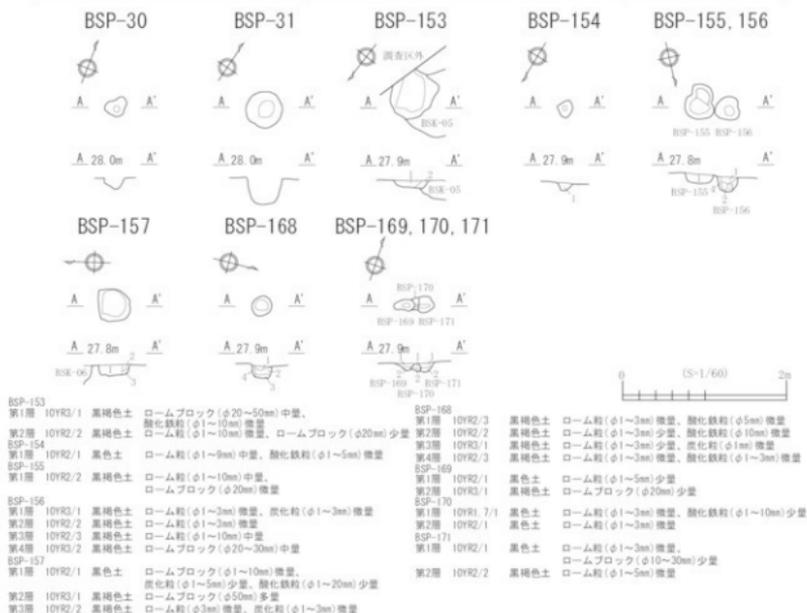
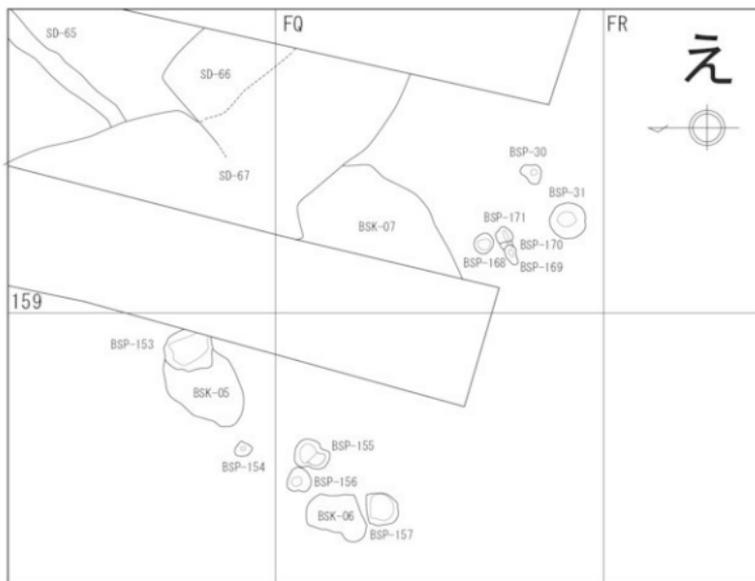
ローム粒 (φ1~3mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~5mm) 微量

第357図 中道遺跡B区SP区分図う・う (1)

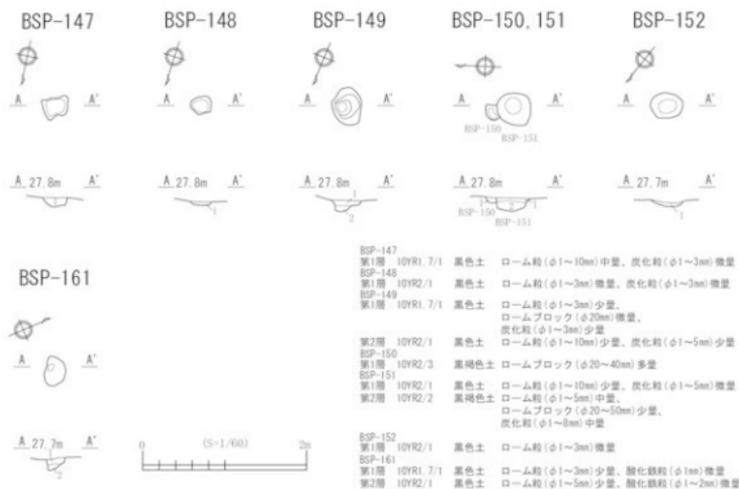
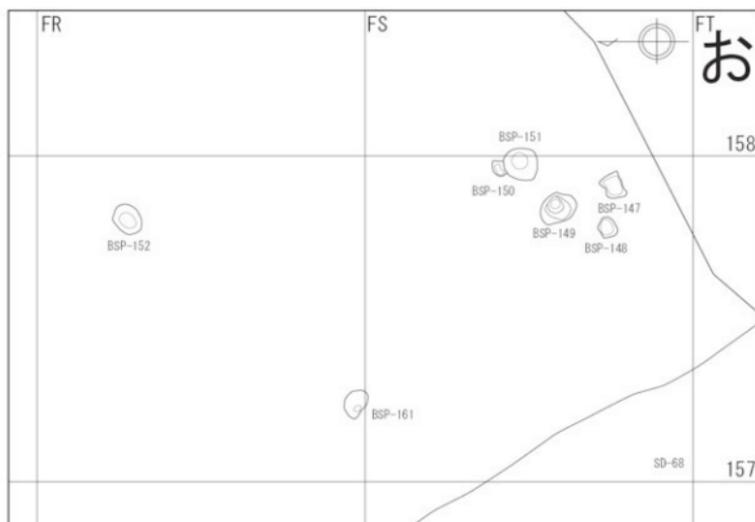


BSP-164					
第1層 10YR1, 7/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量			
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量			
第3層 10YR3/1	黒褐色土と10YR2/1黒色土の混合層	ローム粒(φ1~3mm)少量			
BSP-165					
第1層 10YR1, 7/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量			
第2層 10YR3/1	黒褐色土と10YR2/2褐色土の混合層	ローム粒(φ1mm)微量			
第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量			
第4層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)少量			
BSP-166					
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量			
BSP-167					
第1層 10YR1, 7/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量			
BSP-172					
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量			
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ10~30mm)少量			
第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量			
BSP-173					
第1層 10YR2/3	黒褐色土と10YR1, 7/1黒色土の混合層	ロームブロック(φ20~30mm)少量、酸化鉄粒(φ20mm)微量			
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量			

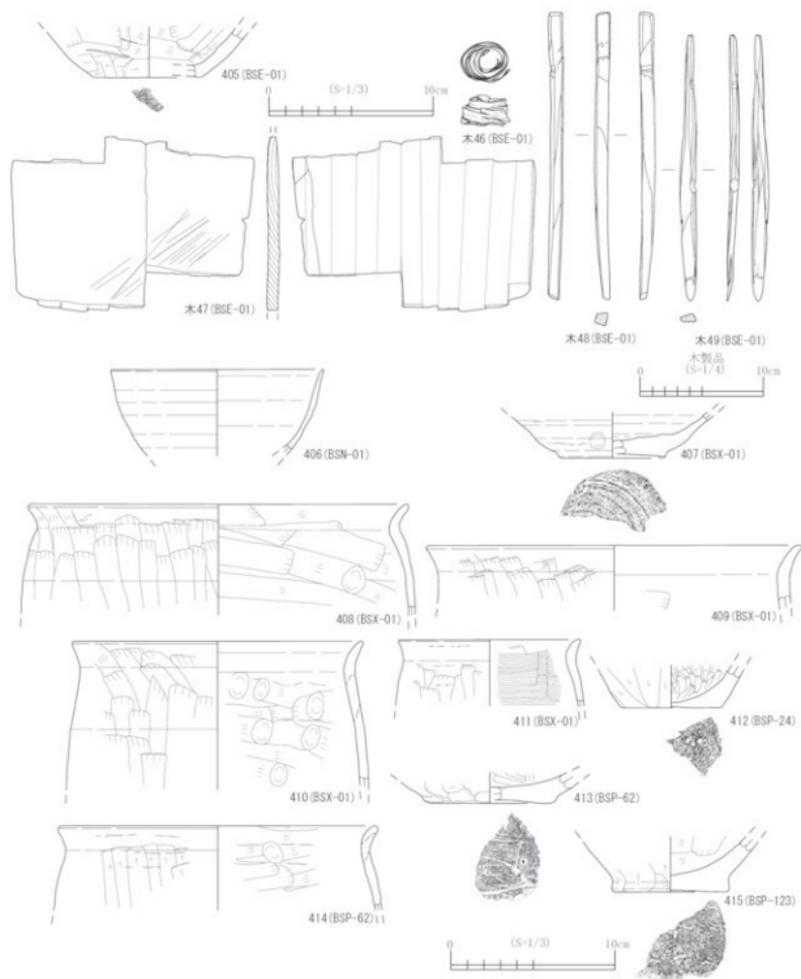
第358図 中道遺跡B区SPう(2)



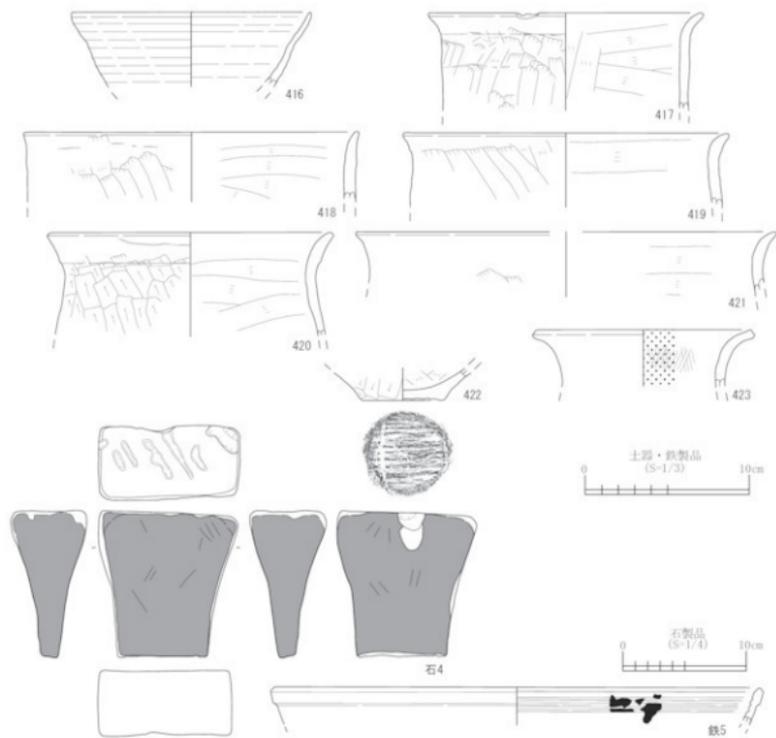
第359図 中道遺跡B区SP区分図え



第360図 中道遺跡B区SP区分図お



第361図 中道遺跡B区出土土器SE・SN・SX・SP



第362図 中道遺跡B区遺構外出土遺物

第43表 中道遺跡B区出土土器観察表

図号番号	No.	出土位置	層別	器種	部位	口徑	底高	器高	口径	底径	外周	内周	模成	文様・刷痕	押	砂	粘	焼	色	備考	
第337図	318	BEK-01	1層	土師器	甕	口縁~鉢部	(23.0)	(7.1)	—	5YR 6/6	5YR 6/4	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面灰付
第337図	319	BEK-01	1層	土師器	甕	口縁~鉢部	(20.2)	(8.4)	—	7.5R 7/2	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面灰付
第337図	320	BEK-02	1層	土師器	甕	口縁~鉢部	(18.0)	(4.9)	—	7.5R 6/6	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面灰付
第341図	321	SO-54	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(18.0)	(4.9)	—	7.5R 6/6	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面灰付
第341図	322	SO-54	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(20.0)	(4.8)	—	7.5R 6/6	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面灰付
第341図	323	SO-54	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(31.8)	(8.5)	—	2.5YR 6/6	2.5YR 6/8	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面、灰化割付
第341図	324	SO-54	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(16.1)	(6.1)	(10.0)	5YR 6/6	5YR 6/6	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	灰付
第341図	325	SO-54	2層	陶磁器	甕	口縁~鉢部	(13.4)	(3.4)	(13.0)	2.5YR 5/3	2.5YR 5/3	瓦	ハナナ	内面	右面灰付	—	多	多	多	多	外表面灰付
第341図	326	SO-56	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(14.8)	(3.5)	—	7.5YR 5/3	7.5YR 3/1	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外表面灰付、内面灰付
第341図	327	SO-56	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(15.6)	(5.2)	—	7.5YR 6/4	2.5YR 5/6	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外表面灰付、内面灰付、内面黒縁付、灰付
第341図	328	SO-56	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(28.0)	(4.6)	—	5YR 6/6	5YR 6/6	瓦	ハナナ	内面	—	少	少	少	少	少	外表面灰付、内面灰付、内面黒縁付、灰付
第341図	329	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(15.0)	(3.2)	—	2.5YR 6/4	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	外面上部有、内面黒縁付、灰付
第341図	330	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(19.0)	(2.5)	—	7.5YR 6/3	5YR 5/4	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面上部有、黒縁付
第341図	331	SO-57	2層	土師器	甕	口縁付	—	(3.2)	—	5YR 6/6	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	口縁部灰化、外面上部有、内面灰付
第341図	332	SO-57	2層	土師器	甕	口縁付	(13.4)	3.1	(5.8)	5YR 6/3	5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外面上部有、黒縁付、内面灰付
第341図	333	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(13.5)	2.8	(5.6)	7.5YR 6/4	5YR 6/4	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外面上部有、黒縁付
第341図	334	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(13.0)	3.7	(5.6)	7.5YR 5/4	5YR 5/2	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	外面上部有、内面黒縁付、内面灰付
第341図	335	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(11.6)	2.8	(6.2)	7.5YR 5/3	10YR 4/1	瓦	ハナナ	内面	—	少	少	少	少	少	内面上部有、内面黒縁付、内面灰付
第341図	336	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(19.2)	(2.8)	—	2.5Y 4/1	10YR 4/1	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	内面黒縁付、内面灰付
第341図	337	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(14.4)	(3.4)	—	10YR 3/1	10YR 3/1	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	内面上部有
第341図	338	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(15.4)	(3.3)	—	10YR 4/2	10YR 5/2	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外表面有、黒縁付、内面黒縁付
第341図	339	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.4)	(6.2)	10YR 6/3	10YR 7/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	外表面黒縁付、内面黒縁付、内面黒縁付、内面黒縁付
第341図	340	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.8)	(5.0)	5YR 5/4	10YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	外表面黒縁付、内面黒縁付
第341図	341	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.4)	(5.8)	7.5YR 5/3	N 2/0	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	底面灰化、内面黒縁付、内面黒縁付
第342図	342	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(12.6)	4.2	(5.6)	5YR 6/4	7.5YR 6/4	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	内面黒縁付、内面黒縁付
第342図	343	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.7)	(5.4)	7.5YR 5/4	10YR 2/1	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	内面黒縁付
第342図	344	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.4)	5.2	7.5YR 7/4	5YR 7/6	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付、打割有
第342図	345	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(2.1)	6.4	7.5YR 6/4	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付
第342図	346	SO-57	2層	土師器	甕	鉢部	—	(4.6)	6.2	10YR 7/1	10YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付
第342図	347	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(22.4)	(4.4)	—	7.5YR 4/1	10YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	内面黒縁付
第342図	348	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(25.0)	(3.9)	—	5YR 6/4	2.5YR 5/6	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付
第342図	349	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(21.0)	(6.6)	—	10YR 3/2	7.5YR 6/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付
第342図	350	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(19.8)	(5.1)	—	5YR 2/1	7.5YR 3/1	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	内面黒縁付
第342図	351	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(18.8)	(4.9)	—	7.5YR 4/1	7.5YR 4/2	瓦	ハナナ	内面	—	少	中	中	中	中	外表面黒縁付、内面黒縁付
第342図	352	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(17.6)	(5.3)	—	7.5YR 6/6	7.5YR 7/3	瓦	ハナナ	内面	—	多	多	多	多	多	内面黒縁付
第342図	353	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(15.6)	(5.5)	—	7.5YR 6/3	7.5YR 6/4	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	外表面黒縁付、内面黒縁付、内面黒縁付
第342図	354	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(23.4)	(4.9)	—	2.5YR 6/6	7.5YR 4/4	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	内面黒縁付
第342図	355	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(25.0)	(5.4)	—	7.5YR 7/6	5YR 6/6	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	内面黒縁付、内面黒縁付
第342図	356	SO-57	2層	土師器	甕	口縁~鉢部	(23.2)	(4.5)	—	7.5YR 6/4	2.5YR 6/6	瓦	ハナナ	内面	—	中	中	中	中	中	内面黒縁付

図面番号	No.	土主位置	層位	種類	形状	部位	製所(推定)		色層		文書・記載		種	砂	骨	備考	
							口径	高さ	口径	底径	外周	内周					外周
第342区	357	SO-57	下層	土師器	壺	口縁~体部	(23.0)	(5.1)	5YR 6/6	5YR 6/6	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第342区	368	SO-57	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(18.6)	(6.1)	2.5YR 3/3	2.5YR 5/6	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	359	SO-57	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(23.4)	(3.9)	7.5YR 1/1	2.5YR 6/3	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付、内外面磨付	
第343区	360	SO-57	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(25.2)	(7.4)	5YR 5/6	7.5YR 5/3	外周 ヘラナリ	内周 ヘラナリ	中	多	少	外周面磨付、内外面磨付	
第343区	361	SO-57	上層	土師器	壺	体部~底部	—	(5.3)	7.4	5YR 5/2	2.5YR 5/6	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	少	多	中	内外面磨付、内外面磨付
第343区	362	SO-57	上層	土師器	壺	体部~底部	—	(8.7)	5.8	5YR 6/6	N 2/0	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付、内外面磨付
第343区	363	SO-57	中層	土師器	小壺	口縁~体部	(11.2)	(6.6)	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	364	SO-57	覆土	土師器	小壺	口縁~体部	(13.0)	(3.9)	5YR 4/1	1.0YR 6/1	外周 ナリ	内周 ヘラナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	365	遺物外	覆土	土師器	器付付 器部付込	口縁~体部	(12.6)	(12.2)	7.5YR 4/4	5YR 6/6	外周 ヘラナリ	内周 ヘラナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	366	SO-57	上層	土師器	壺	口縁~体部	—	(4.4)	5G 3/1	N 4/0	口縁 ヘラナリ	内周 ナリ	中	多	中	内外面磨付	
第343区	367	SO-57	上層	土師器	壺	体部	—	(5.3)	5G 3/1	1.0G 4/1	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	中	少	中	内外面磨付	
第343区	368	SO-57	上層	土師器	壺	体部	—	—	N 4/1	5B 4/1	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	369	SO-57	覆土	土師器	壺	体部	—	—	5B 3/1	5B 3/1	外周 ナリ	内周 ナリ	少	多	中	内外面磨付	
第343区	370	SO-59	覆土	土師器	杯	口縁~体部	(13.0)	(3.9)	7.5YR 6/6	5YR 6/6	口縁 ナリ	内周 ナリ	中	中	中	内外面磨付	
第343区	371	SO-59	覆土	土師器	杯	口縁~体部	(17.4)	(5.3)	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	口縁 ナリ	内周 ナリ	中	中	中	内外面磨付	
第343区	372	SO-59	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(26.0)	(1.8)	5YR 7/6	7.5YR 7/4	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	373	SO-59	覆土	土師器	壺	体部~底部	(1.8)	(7.0)	5YR 6/6	2.5YR 5/4	外周 ヘラナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	374	SO-59	覆土	土師器	小壺	口縁~体部	(14.4)	(5.2)	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第343区	375	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(19.0)	(3.6)	7.5YR 6/3	7.5YR 5/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付、内外面磨付	
第343区	376	SO-61	覆土	土師器	大杯	口縁~底部	(15.0)	(7.1)	5YR 6/6	2.5YR 5/6	外周 ナリ	内周 ナリ	少	中	中	内外面磨付、内外面磨付	
第343区	378	SO-61	覆土	土師器	杯	体部~底部	(12.4)	(2.1)	2.5YR 5/3	5YR 6/3	口縁 ナリ	内周 ナリ	中	中	中	内外面磨付	
第343区	379	SO-61	覆土	土師器	杯	体部~底部	—	(1.9)	4.5	1.0YR 5/3	2.5Y 3/1	口縁 ナリ	内周 ナリ	多	中	中	内外面磨付、内外面磨付
第343区	380	SO-61	中層	土師器	壺	口縁~体部	(23.6)	(4.3)	1.0YR 5/3	1.0YR 5/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	中	少	内外面磨付	
第343区	381	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(30.0)	(4.7)	5YR 6/6	5YR 5/6	外周 ナリ	内周 ヘラナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	382	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(26.0)	(6.3)	1.0YR 1/1	7.5YR 7/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	383	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(30.0)	(7.2)	1.0YR 1/1	7.5YR 5/4	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	384	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(21.0)	(3.3)	5YR 6/6	5YR 5/6	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	385	SO-61	覆土	土師器	壺	口縁~体部	(28.0)	(9.7)	7.5YR 5/2	5YR 5/4	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	386	SO-61	覆土	土師器	壺	体部~底部	—	(3.3)	7.5YR 5/2	7.5YR 5/1	外周 ヘラナリ	内周 ヘラナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	387	SO-61	中層	土師器	煎鉢	口縁~体部	(27.0)	(7.5)	7.5YR 5/2	7.5YR 3/1	外周 ナリ	内周 ナリ	中	少	中	内外面磨付	
第344区	388	SO-63	覆土	土師器	壺	体部~底部	—	(2.2)	7.5YR 6/6	7.5YR 7/4	外周 ヘラナリ	内周 ヘラナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	389	SO-64	上層	土師器	壺	口縁~底部	(13.4)	(2.8)	5YR 6/6	7.5YR 7/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	390	SO-64	下層	土師器	壺	口縁~底部	(12.2)	(2.7)	7.5YR 6/3	7.5YR 5/1	口縁 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	391	SO-64	上層	土師器	杯	体部~底部	—	(1.8)	7.5YR 6/3	7.5YR 6/4	外周 ナリ	内周 ナリ	中	少	中	内外面磨付	
第344区	392	SO-64	上層	土師器	杯	口縁~底部	(13.8)	(5.2)	5YR 4/6	7.5YR 4/2	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	393	SO-64	上層	土師器	杯	口縁~底部	(14.2)	(3.4)	5YR 6/4	7.5YR 7/3	外周 ナリ	内周 ナリ	多	多	中	内外面磨付	
第344区	394	SO-64	上層	土師器	杯	口縁~底部	(17.4)	(5.0)	7.5YR 5/3	1.0YR 2/1	外周 ナリ	内周 ナリ	中	中	中	内外面磨付	

図例番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値(mm)		色層		文様・装飾		群	砂	赤	備考	
							口径	高さ	外径	内径	外周	内周					
第344図	395	SD-64	土師器	壺	口縁~体部	(21.0)	(2.9)	5YR 4/6	2.5YR 5/6	ナナ	ナナ	多	多	多	内外面磨光		
第344図	396	SD-64	土師器	壺	口縁~体部	(14.6)	(14.6)	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	多	多	多	外周面磨光有り、内外面磨光有り		
第344図	397	SD-64	土師器	壺	体部~底部	—	(10.6)	10YR 4/2	10YR 3/2	ナナ	ナナ	多	多	多	内周面磨光有り、内外面磨光有り		
第344図	398	SD-64	土師器	鉢	体部	—	—	10Y 4/1	10Y 4/1	不具	ナナ	多	多	多	—		
第344図	399	SD-64	土師器	鉢	体部	—	—	5Y 4/1	5YR 4/2	口ワコナテ	口ワコナテ	—	少	—	—		
第344図	400	SD-66	土師器	壺	口縁~体部	(22.4)	(3.4)	5YR 7/6	5YR 6/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	多	多	多	内周口縁部磨光有り		
第345図	401	SD-68	土師器	壺	口縁~体部	(25.0)	(5.4)	7.5YR 6/4	7.5YR 6/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	外周磨光	
第345図	402	SD-68	土師器	壺	口縁~体部	(25.4)	(6.8)	5YR 7/4	5YR 7/3	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	外周磨光	
第345図	403	SD-68	土師器	壺	口縁~体部	(16.8)	(3.6)	10YR 7/4	7.5YR 6/4	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	内外面磨光	
第345図	404	SD-68	土師器	壺	体部~底部	—	(4.0)	7.5YR 4/2	10YR 5/1	ヘラナズリ	ヘラナズリ	多	多	多	内外面磨光		
第361図	405	BSX-01	土師器	壺	体部~底部	—	(3.1)	10YR 3/1	10YR 4/1	ヘラナズリ	ヘラナズリ	中	中	中	外周面磨光有り、内外面磨光		
第361図	406	BSX-01	土師器	杯	口縁~体部	(13.0)	(5.3)	10YR 3/1	7.5YR 6/2	口ワコナテ	口ワコナテ	—	中	中	中	外周面磨光	
第361図	407	BSX-01	土師器	環	口縁~体部	—	(2.8)	5YR 7/4	7.5YR 6/4	口ワコナテ	口ワコナテ	—	中	中	中	外周面磨光	
第361図	408	BSX-01	土師器	壺	口縁~体部	(23.2)	(6.8)	5YR 6/6	7.5YR 6/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	多	多	多	内外面磨光		
第361図	409	BSX-01	土師器	壺	口縁~体部	(22.8)	(4.0)	5YR 6/6	5YR 6/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	内外面磨光	
第361図	410	BSX-01	土師器	壺	口縁~体部	(17.8)	(9.1)	7.5YR 5/4	7.5YR 5/3	ナナ	ナナ	—	多	多	少	内外面磨光有り、内外面磨光	
第361図	411	BSX-01	土師器	小壺	口縁~体部	(11.2)	(4.1)	7.5YR 7/3	7.5YR 6/4	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	中	中	中	外周面磨光	
第361図	412	BSX-24	土師器	壺	体部~底部	—	(2.6)	2.5YR 4/1	5YR 5/2	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	中	中	中	内外面磨光有り、内外面磨光	
第361図	413	BSX-62	土師器	壺	体部~底部	—	(1.9)	5YR 6/4	5YR 6/6	ナナ	ナナ	—	中	中	中	内外面磨光	
第361図	414	BSX-62	土師器	壺	口縁~体部	(17.6)	(5.2)	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	ヘラナズリ	ナナ	—	多	多	中	内外面磨光有り、内外面磨光	
第361図	415	BSX-123	土師器	壺	体部~底部	—	(3.4)	5YR 4/2	7.5YR 4/2	不具	ヘラナズリ	ナナ	—	多	多	中	内外面磨光
第362図	416	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(14.6)	(4.6)	7.5YR 7/4	7.5YR 6/4	口ワコナテ	口ワコナテ	—	中	中	中	内外面磨光	
第362図	417	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(16.8)	(6.3)	2.5YR 3/1	10YR 5/1	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	中	中	中	内外面磨光	
第362図	418	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(20.4)	(4.0)	7.5YR 5/2	7.5YR 4/1	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	中	中	少	内外面磨光	
第362図	419	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(19.6)	(6.4)	5YR 6/6	2.5YR 5/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	内外面磨光	
第362図	420	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(17.0)	(6.4)	7.5YR 7/6	5YR 6/6	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	内外面磨光	
第362図	421	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(25.6)	(4.0)	7.5YR 6/6	5YR 6/4	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	多	多	多	外周磨光	
第362図	422	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	—	(2.0)	10YR 6/4	5Y 2/1	ヘラナズリ	ヘラナズリ	—	少	多	多	内外面磨光	
第362図	423	溝溝外	土師器	壺	口縁~体部	(13.2)	(3.5)	5YR 6/4	2.5YR 6/6	口ワコナテ	口ワコナテ	—	多	多	中	内外面磨光	

第44表 中道通路B区出土土製品観察表

図例番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値(mm)		製品種別	製品名	製法	備考
							長さ	幅				
第345図	424	SD-67	土師器	壺	口縁~体部	2.9	1.9	用土不明	木取	木取	備考	
第345図	425	SD-67	土師器	壺	口縁~体部	4.4	1.9	用土不明	木取	木取	備考	
第345図	426	SD-67	土師器	壺	口縁~体部	(25.7)	2.4	用土不明	木取	木取	備考	
第345図	427	SD-67	土師器	壺	口縁~体部	22.4	5.1	用土不明	木取	木取	備考	

図録番号	No.	出土位置	層位	計測値(cm)		製品群	製品名	本型	参照	備考
				長さ	厚さ					
第3450図	水38	SD-57	下層	5.3	4.4	38	管蓋	花輪式木削出	ブナ科コナ属コナラ	参照同表No.28
第3450図	水39	SD-57	下層	(17.9)	3.3	0.5	板状	板状	ヒノ科アスチナ口属	参照同表No.40
第3450図	水40	SD-57	下層	21.7	3.6	8.0	板状	板状	ヒノ科アスチナ口属	参照同表No.3、上層中央部穿孔有
第3450図	水41	SD-57	下層	51.9	3.2	2.3	建築材断片状等	板状	ブナ科コナ属コナ	
第3450図	水42	SD-61	層土	14.6	6.0	3.1	紡錘具	花輪式木削出	ウ属コナラ属コナ	参照同表No.1
第3450図	水43	SD-61	層土	19.3	1.5	0.7	用途不明	磨行木製品		
第3450図	水44	SD-61	中層	4.9	4.7	6.0	紡錘具	板状	ヒノ科アスチナ口属	参照同表No.2
第3450図	水45	SD-68	下層	16.7	15.8	0.7	管蓋	曲物	ヒノ科アスチナ口属	参照同表No.4
第3501図	水46	BSE-01	層土	4.0	3.3	2.5	管蓋	板状		
第3501図	水47	BSE-01	層土	14.3	19.7	0.9	管蓋	板状		
第3501図	水48	BSE-01	層土	20.4	1.2	0.2	用途不明	管蓋		
第3501図	水49	BSE-01	層土	21.7	1.3	0.7	用途不明	管蓋	ヒノ科アスチナ口属	参照同表No.33

第45表 中道遺跡B区出土石器観察表

図録番号	No.	出土位置	層位	種類	計測値(cm)		重量(g)	材質	備考	
					長さ	厚さ				
第3602図	石4	遺構外	表土	砂石	12.0	11.3	6.1	892	燧石	重量及び高部測定が精度とれている。

第46表 中道遺跡B区出土鉄関連遺物観察表

図録番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値(cm)		重量(g)	材質	備考	
					長さ	厚さ				
第3450図	鉄4	SD-61	層土	穿孔	(4.5)	(0.4)	1.9	46.6	メタル度	備考
第3602図	鉄5	遺構外	表土	鉄錐	(4.2)	(2.3)	0.6	22.4	L・●	測定口径23.5cm、外径5.9cm 測定口径29.7cm

第4節 C区

1. 掘立柱建物跡

CSB-01 (第364図)

EW-EZ-160~162グリッドで検出した。平面形は長方形を呈する。桁行4間、梁行2間の建物である。規模は長軸832×短軸373cmを測る。15基のピットで構成されていたと考えられるが、重複等によりPit1~13のみの検出である。各ピットの規模はPit1 (CSP-140) = 長軸33×短軸19×深さ15cm、Pit2 (CSP-153) = 長軸43×短軸41×深さ28cm、Pit3 (CSP-158) = 長軸25×短軸23×深さ24cm、Pit4 (CSP-176) = 長軸26×短軸20×深さ32cm、Pit5 (CSP-142) = 長軸50×短軸42×深さ22cm、Pit6 (CSP-203) = 長軸52×短軸42×深さ42cm、Pit7 (CSP-30) = 長軸50×短軸42×深さ42cm、Pit8 (CSP-62) = 長軸54×短軸41×深さ18cm、Pit9 (CSP-79) = 長軸48×短軸43×深さ14cm、Pit10 (CSP-185) = 長軸59×短軸48×深さ30cm、Pit11 (CSP-164) = 長軸74×短軸55×深さ18cm、Pit12 (CSP-213) = 長軸48×短軸37×深さ12cm、Pit13 (CSP-89) = 長軸50×短軸48×深さ16cmを測る。北角と南角に該当するピットは確認できなかった。主軸方位はN-28°-Eである。

2. 土坑

CSK-01 (第365図)

EW-160・161グリッドで検出した。CSP-124と重複している。本遺構がCSP-124を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸94×短軸77×深さ25cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。底面からはピット1基を検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸22×短軸16×深さ11cmを測る。堆積土は2層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

CSK-02 (第365図)

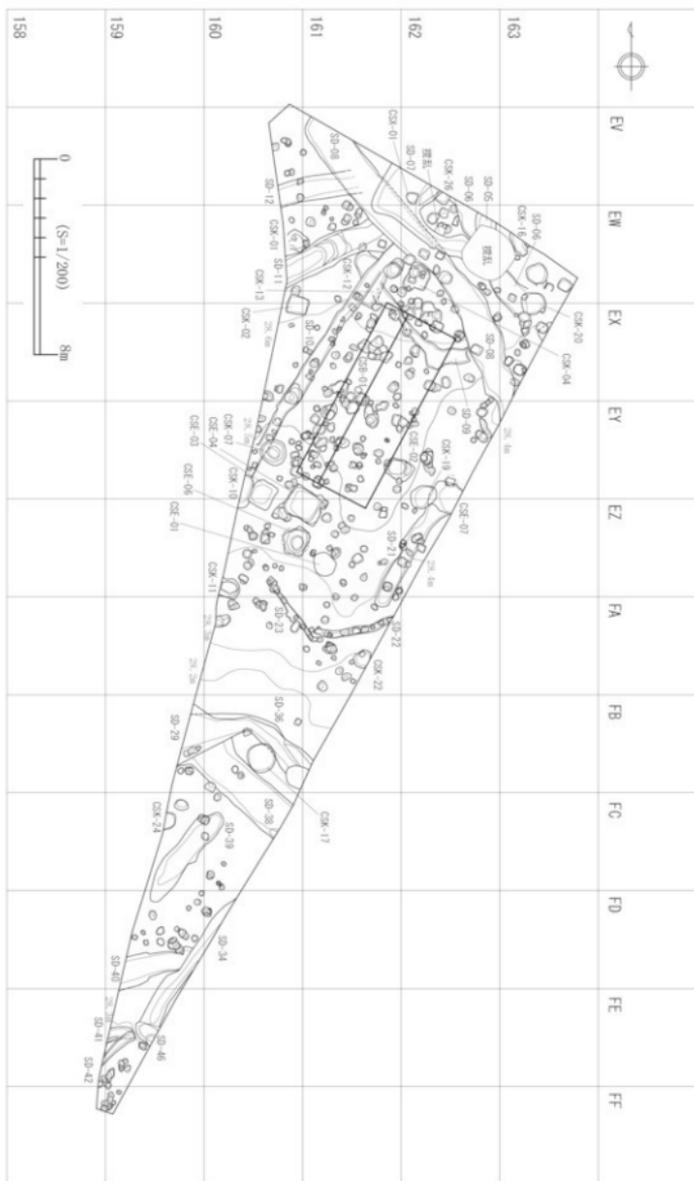
EW・EX-160・161グリッドで検出した。CSP-125と重複している。本遺構がCSP-125を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は方形を呈し、規模は長軸85×短軸77×深さ6cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

CSK-04 (第365図)

EW-162グリッドで検出した。CSP-127~129、174・175と重複している。本遺構がCSP-128・129、174・175を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSP-127が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸117×短軸85×深さ14cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

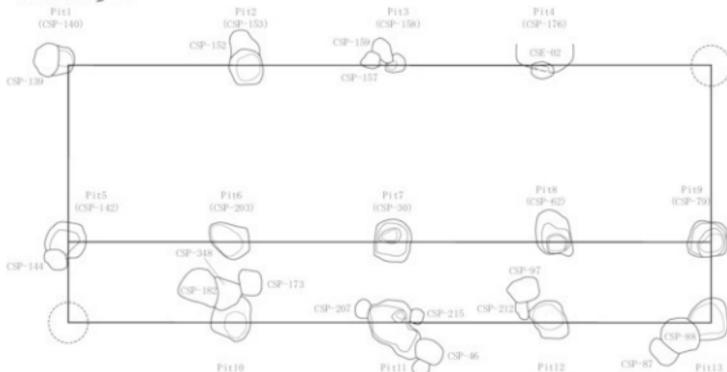
CSK-07 (第365図)

EY-160グリッドで検出した。SD-10、CSP-364と重複している。本遺構がSD-10、CSP-364



第363図 中道遺跡C区区構配置図

C5B-01



Pit1
(CSP-140)

A 28.8m A'



Pit2
(CSP-153)

A 28.7m A'



Pit3
(CSP-158)

A 28.7m A'



Pit4
(CSP-176)

A 28.7m A'



Pit5
(CSP-142)

A 28.8m A'



Pit6
(CSP-203)

A 28.7m A'



Pit7
(CSP-30)

A 28.7m A'



Pit8
(CSP-62)

A 28.6m A'



Pit9
(CSP-79)

A 28.6m A'



Pit10
(CSP-185)

A 28.7m A'



Pit11
(CSP-164)

A 28.7m A'



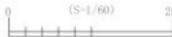
Pit12
(CSP-213)

A 28.6m A'



Pit13
(CSP-89)

A 28.6m A'



Pit1 (CSP-140)		ローム粒 (φ1~5m) 微量、炭化粒 (φ1~5m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~5m) 微量
第1層 10YR2/3	黒褐色土	
第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、ロームブロック (φ20m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~5m) 微量
Pit2 (CSP-153)		ローム粒 (φ1~5m) 中量、ロームブロック (φ20~50m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~15m) 少量
第1層 10YR2/1	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、ロームブロック (φ30m) 少量、 炭化粒 (φ1~8m) 少量
第3層 10YR2/3	黒褐色土	と10YR2/3黒褐色土と10YR2/3暗褐色土の混合物 ローム粒 (φ1~5m) 少量、炭化粒 (φ1~8m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~8m) 少量
Pit3 (CSP-158)		ローム粒 (φ1~5m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~30m) 少量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 微量、炭化粒 (φ1~10m) 微量
Pit4 (CSP-176)		ローム粒 (φ1~5m) 微量、炭化粒 (φ1~5m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~5m) 微量
第1層 10YR3/1	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、炭化粒 (φ1~8m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
Pit5 (CSP-142)		ローム粒 (φ1~10m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 中量、炭化粒 (φ1~10m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
Pit6 (CSP-203)		ロームブロック (φ20m) 微量、酸化鉄粒 (φ10m) 少量
第1層 10YR2/3	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~8m) 少量、ロームブロック (φ30~70m) 少量、炭化粒 (φ1~5m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒 (φ1~5m) 中量、炭化粒 (φ1~5m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~8m) 微量
Pit7 (CSP-30)		ローム粒 (φ1~3m) 微量、炭化粒 (φ1~3m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~3m) 微量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 中量、小礫 (φ1~10m) 中量
第3層 10YR3/4	暗褐色土	ローム粒 (φ1~5m) 少量

Pit8 (CSP-62)		ローム粒 (φ1~5m) 微量、炭化粒 (φ1~8m) 少量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/3	暗褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、ロームブロック (φ20~60m) 少量、炭化粒 (φ1~5m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~3m) 微量、 炭化粒 (φ1~8m) 中量、酸化鉄粒 (φ1~3m) 微量
第3層 10YR2/3	黒褐色土	
Pit9 (CSP-79)		ローム粒 (φ1~3m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~30m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~20m) 少量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒 (φ1~5m) 少量、線 (φ10~30m) 中量
Pit10 (CSP-185)		10YR5/6黄褐色土の混合物 酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第1層 10YR2/3	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、ロームブロック (φ20~40m) 微量、炭化粒 (φ1~3m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、炭化粒 (φ1~8m) 少量、 酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
Pit11 (CSP-164)		ローム粒 (φ1~10m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~10m) 少量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~3m) 微量、酸化鉄粒 (φ1~3m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~30m) 微量
第3層 10YR3/1	黒褐色土	と10YR4/6褐色土の混合物 ローム粒 (φ1~5m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~3m) 微量
Pit12 (CSP-213)		ローム粒 (φ1~10m) 中量、ロームブロック (φ20~40m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~5m) 微量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~5m) 少量、炭化粒 (φ1~3m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~20m) 微量
第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、ロームブロック (φ20~30m) 少量、酸化鉄粒 (φ1~20m) 中量
Pit13 (CSP-89)		ローム粒 (φ1~5m) 微量、炭化粒 (φ1~5m) 微量、 酸化鉄粒 (φ1~20m) 微量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	
第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒 (φ1~10m) 少量、炭化粒 (φ1~5m) 微量

第364図 中道遺跡C区SB

を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸101×短軸88×深さ38cmを測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は5層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕1点（第367図424）を図示した。424は甕の体部である。

CSK-10（第365図）

EY・EZ-160グリッドで検出した。SD-10、CSE-03と重複している。本遺構がSD-10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSE-03が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸135×短軸44×深さ10cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器環1点（第367図425）。425は環の体部～底部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。

CSK-11（第365図）

EZ・FA-160グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸81×短軸78×深さ21cmを測る。壁は緩やかに立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK-12（第365図）

EW-161グリッドで検出した。SD-10・11と重複している。SD-10・11が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸94×短軸93×深さ15cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で黒褐色土、黒色土と黄褐色土の混合層が堆積しており、1層は自然堆積、2層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点（第367図426）を図示した。426は甕の体部である。

CSK-13（第365図）

EW・EX-161グリッドで検出した。SD-09・10、CSP-241と重複している。SD-09・10、CSP-241が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により全体形は不明であるが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸79×短軸45×深さ14cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK-16（第365図）

EW-163グリッドで検出した。CSP-349と重複している。CSP-349が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出のため、全体形は不明であるが、平面形は不整形を呈し、規模は長軸103×短軸61×深さ20cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は2層に分層した。黒褐色土が堆積しており、1層は埋め戻し等による人為堆積、2層は自然堆積と考えられる。

CSK-17 (第365図)

FB-160グリッドで検出した。SD-29、36と重複している。本遺構がSD-29、36を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸121×短軸103×深さ15cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した(第367図427)。427は甕の口縁部～体部で、内外面ともにヘラナゲによって調整されている。

CSK-19 (第365図)

EY・EZ-162グリッドで検出した。SD-21、CSE-07と重複している。本遺構がCSE-07を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-21との新旧関係は不明である。平面形は不整形円形を呈しており、規模は長軸98×短軸92×深さ18cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK-20 (第366図)

EW・EX-163グリッドで検出した。CSP-311と重複している。CSP-311が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸98×短軸92×深さ18cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面壁寄から2基のピットを検出した。平面形はPit1不整形円形、Pit2円形を呈し、規模はPit1=長軸23×短軸21×深さ5cm、Pit2=長軸18×短軸18×深さ29cmを測る。堆積土は3層に分層した。黒褐色土とにぶい黄褐色土の混合層を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、甕2点(第367図428～430)を図示した。428は皿の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。429は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや強く屈曲する。430は甕の口縁部～体部で、ほぼ直線的な形状を呈する。

CSK-22 (第366図)

FA-161グリッドで検出した。CSP-274、344と重複している。CSP-274、344が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸75×短軸57×深さ15cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は1層で、黒褐色土とにぶい黄褐色土の混合層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK-24 (第366図)

FC-159グリッドで検出した。部分的な検出のため、全体形は不明だが、円形を呈していると考えられ、規模は長軸74×短軸41×深さ20cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

CSK-26 (第366図)

EV-162グリッドで検出した。SD-06・07と重複している。本遺構がSD-06を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-07が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出であるが、平面形

は方形を呈していると考えられ、規模は長軸52×短軸42×深さ68cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層で黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

3. 溝跡

SD-05 (第368図)

EW-162グリッドで検出した。SD-06と重複している。本遺構がSD-06を掘り込んでおり、本遺構が新しい。部分的な検出であるが、概ね直線状を呈し、規模は延長75cm、幅76cm、深さ85cmを測る。SD-07とつながる溝跡の可能性が高いが、異なる溝跡として取り扱った。壁は急角度に立ち上がり、断面形はV字形を呈する。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-06 (第368図)

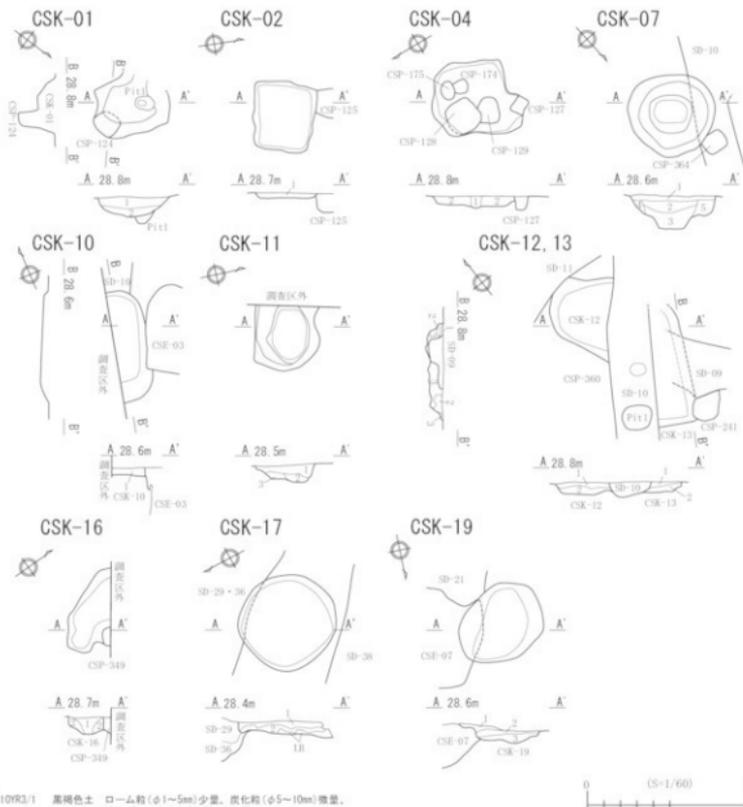
EV-162、EW-162・163、EX-163グリッドで検出した。CSK-26、SD-05、CSP-226、238と重複している。本遺構がCSP-226、238を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSK-26、SD-05が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長451cm、幅104cm、深さ51cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は中央部がやや凹む状況を呈している。底面からはピット2基を検出した。平面形はPit1が方形、Pit2が円形を呈し、規模はPit1=長軸29×短軸27×深さ11cm、Pit2=長軸28×短軸22×深さ12cmを測る。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-07 (第368図)

EV・EW-161・162グリッドで検出した。CSK-26、SD-08、CSX-01と重複している。本遺構がCSK-26、SD-08を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSX-01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長456cm、幅181cm、深さ46cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品7点(第378図木50～56)を図示した。木50は刳り下駄で、左半分が欠損している。木51は桶底板、木52・53は桶竹枠、木54は桶、木55は用途不明品、木56は板材である。木56は上端及び下端に木釘穴が認められる。

SD-08 (第368図)

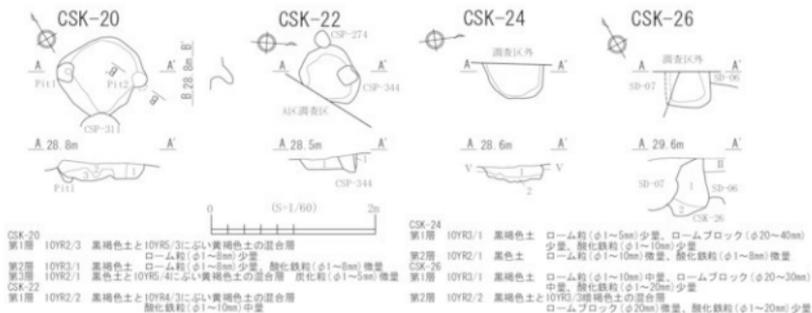
EV・EW-161・162、EX・EY-162・163グリッドで検出した。SD-07、10～12、CSP-135、217、233、324、336、350～353と重複している。本遺構がSD-10・11、CSP-336を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-07、12、CSP-135、217、233、324、350～353が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長14.50m、幅150cm、深さ25cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏3点、甕6点、小甕2点、羽釜1点、須恵器甕2点(第372図図431～444)を図示した。坏は3点のうち、非ロクロ2点(431・432)、ロクロ調整1点



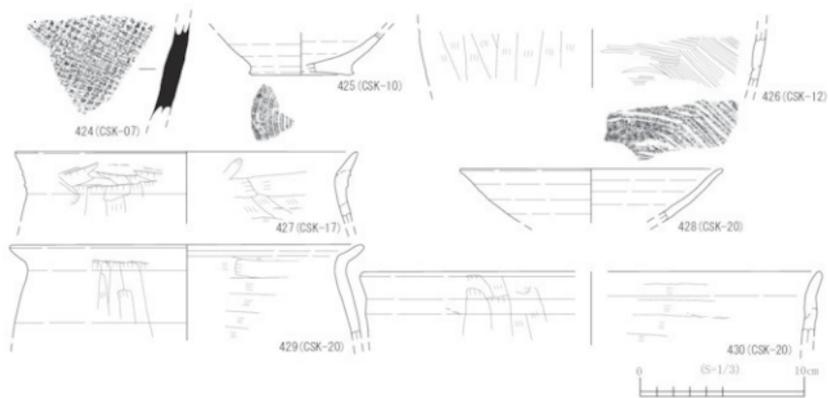
CSK-01			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ5~10mm)微量、粘土ブロック(φ10~30mm)少量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)微量
CSK-02			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ2~8mm)中量、炭化粒(φ5mm)微量
CSK-04			
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)中量
CSK-07			
第1層	10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ10~40mm)微量
第3層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~20mm)少量
第4層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)多量、ロームブロック(φ10~60mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)中量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)多量、ロームブロック(φ10~20mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量
CSK-10			
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
CSK-11			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~70mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~20mm)中量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
第3層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量

CSK-12			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1~40mm)少量
第2層	10YR2/1	黒色土と10YR5.8黄褐色土の混合層	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~40mm)少量
CSK-13			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~20mm)少量
第3層	10YR3/1	黒褐色土と10YR4.6褐色土の混合層	炭化粒(φ1~20mm)中量
CSK-16			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)多量、ロームブロック(φ10~50mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~20mm)少量
CSK-17			
第1層	10YR2/2	黒褐色土と10YR5.6黄褐色土の混合層	炭化粒(φ5mm)微量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)多量、ロームブロック(φ10~40mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
CSK-19			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量
第3層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量

第365図 中道遺跡C区SK(1)



第366図 中道遺跡C区SK(2)



第367図 中道遺跡C区出土土器SK

(433)である。433は坯の口縁部～底部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、口縁部内面には灯明痕が認められる。甕は6点のうち、口縁～体部5点、体部～底部が1点である。口縁～体部の資料では、体部が丸みを帯び、やや直立気味の口縁部を持つ434以外は、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反するものである。438は甕の体部～底部で、底部から丸みを帯びるように立ち上がる。440は小甕の口縁～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部はやや強く外反する形状を呈する。441は小甕の体部～底部で、底部から直線的に開くように立ち上がり、底部は網代痕である。442は羽釜の口縁部～体部で、口縁部へとややすぼまる形状を呈し、羽部が短く作り出されている。443・444は須恵器甕の体部である。444は内面当て具痕が認められる。

SD-09 (第368図)

EW-161、EX-161・162グリッドで検出した。CSK-13、CSP-170、241と重複している。本遺構がCSK-13を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSP-170、241が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長439cm、幅62cm、深さ13cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面南西壁寄りからピット1基を検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸29×短軸26×深さ10cmを測る。堆積土は2層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点、須恵器甕1点(第372図445・446)を図示した。445は甕の体部～底部で、底部からやや開き気味に立ち上がる。446は須恵器甕の体部である。

SD-10 (第369図)

EW-161、EX-160・161、EY-160グリッドで検出した。CSK-07、10、12・13、SD-08、11、CSP-22、167、360～364、372と重複している。本遺構がCSK-12・13、SD-11、CSP-167を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSK-07、10、SD-08、CSP-360～364、372が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。CSP-22との新旧関係は不明である。ほぼ直線状を呈し、規模は延長11.06m、幅61cm、深さ18cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。底面よりピット13基を検出した。柱痕跡が認められ、柵の可能性も考えられるが、配置が不明瞭であるため、詳細は不明である。平面形はPit1不整形円形、Pit2、6、12・13方形、Pit3楕円形、Pit4、9不整形、Pit5不整形方形、Pit7・8台形、Pit10・11円形で、規模はPit1=長軸36×短軸34×深さ18cm、Pit2=長軸31×短軸26×深さ20cm、Pit3=長軸17×短軸14×深さ8cm、Pit4=長軸16×短軸13×深さ19cm、Pit5=長軸15×短軸14×深さ9cm、Pit6=長軸20×短軸15×深さ7cm、Pit7=長軸19×短軸13×深さ15cm、Pit8=長軸66×短軸57×深さ19cm、Pit9=長軸31×短軸28×深さ11cm、Pit10=長軸22×短軸20×深さ14cm、Pit11=長軸17×短軸15×深さ12cm、Pit12=長軸26×短軸20×深さ12cm、Pit13=長軸14×短軸12×深さ6cmを測る。堆積土は2層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD-11 (第369図)

EW-160・161グリッドで検出した。CSK-12、SD-08、10、CSP-218と重複している。本遺構がCSK-12、CSP-218を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-08、10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長440cm、幅126cm、深さ66cmを測る。壁は急角度に

立ち上がり、底面はほぼ平坦で、南西側でやや深くなる。南東壁よりピット1基を検出した。平面形は方形を呈し、規模は長軸30×短軸28×深さ17cmを測る。堆積土は10層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器杯3点、甕5点、小甕1点(第373図447~455)を図示した。杯は3点のうち、非ロクロ1点(447)、ロクロ調整2点(448・449)である。447は非ロクロ杯の口縁~底部で、内面には灯明痕が認められる。448は杯の体部~底部で内面に炭化物が付着している。449はロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されており、内面の一部には油痕が認められる。甕は5点のうち、口縁部~体部4点、体部~底部1点である。口縁部~体部の資料は、450を除いて、口縁部へとすばまる形状のものである。454は甕の体部~底部で、体部外面はヘラケズリ、ヘラナデ、内面はヘラナデによって調整され、底部は網代痕である。455は小甕の体部~底部で、体部は外面ナデ、内面はナデ、ハケメによって調整され、底部は木炭痕である。

SD-12 (第369図)

EV-160・161、EW-160グリッドで検出した。SD-08と重複している。本遺構がSD-08を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈し、規模は延長292cm、幅104cm、深さ19cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面南壁寄りからPit1、北壁寄りからPit2を検出した。平面形はPit1・2ともに不整形で、規模はPit1=長軸29×短軸26×深さ12cm、Pit2=長軸31×短軸22×深さ26cmを測る。堆積土は3層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器小甕1点、小壺1点(第373図456・457)を図示した。456は小壺の口縁部~体部で、丸みを帯びた体部を持ち、内外面ロクロ調整が施されている。457は小甕の体部~底部である。

SD-21 (第370図)

EZ-161・162、FA-161グリッドで検出した。CSK-19、CSE-07、CSP-289~293、296~298、338と重複している。CSK-19、CSE-07、CSP-289~293、296~298、338が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長470cm、幅72cm、深さ32cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は狭小であるがほぼ平坦であり、断面形はV字形を呈する。堆積土は7層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-22 (第370図)

FA-161グリッドで検出した。CSP-294、366・367と重複している。CSP-294、366・367が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長326cm、幅32cm、深さ14cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面よりピット4基を検出した。平面形はPit1楕円形、Pit2不整形、Pit3不整形円形、Pit4不整形円形で、規模はPit1=長軸23×短軸17×深さ7cm、Pit2=長軸25×短軸18×深さ12cm、Pit3=長軸17×短軸14×深さ20cm、Pit4=長軸38×短軸24×深さ38cmを測る。本遺構は柵の可能性が考えられる。堆積土は2層で、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、甕1点、小甕1点(第373図458~460)を図示した。458は非ロクロの皿の口縁部~底部で、内外面ともにナデによって調整されており、底部は静止糸切である。459は甕の口縁部~体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや強く外反する形状を呈する。460は小甕の体部~底部で、外面はロクロナデ、内面はロクロナデ、ヘラナデによって調整され、底

部は太めの糸による静止糸切である。

SD-23 (第370図)

EZ-161、FA-160・161グリッドで検出した。CSP-368～371と重複している。CSP-368～371が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。東側が一部屈曲しているが、そのほかは直線状を呈し、規模は延長299cm、幅18cm、深さ15cmを測る。壁は段状に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット4基を検出した。平面形はPit1不整形、Pit2、4不整形円形、Pit3台形で、規模はPit1=長軸21×短軸16×深さ16cm、Pit2=長軸22×短軸16×深さ18cm、Pit3=長軸20×短軸18×深さ15cm、Pit4=長軸26×短軸14×深さ14cmを測る。本遺構は柵の可能性も考えられる。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は石器1点(第378図石5)を図示した。台石と考えられ、表裏面に鉄の付着が認められる。

SD-36 (第370図)

FB-159・160グリッドで検出した。CSK-17、SD-29、38と重複している。CSK-17、SD-29、38が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長467cm、幅108cm、深さ55cmを測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段状に立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は1層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器Ⅲ4点、坏7点、甕18点、小甕5点、罎1点、須恵器壺2点、甕1点(第373～376図461～498)、礫石器1点(第378図石6)、鉄関連遺物1点(第378図鉄6)を図示した。Ⅲ4点はいずれもロクロ調整である。底部切離は461静止糸切、462～464回転糸切である。464は内面に灯明痕が認められ、底部は細めの糸による回転糸切である。461・462はSD-29との接合資料である。坏は7点のうち、非ロクロ2点(465・466)、ロクロ調整5点(467～469、492・493)である。底部切離は465ヘラナデ、467、469回転糸切、468静止糸切である。465の口縁部はやや内湾気味を呈し、466は口縁部が端反る形状を呈する。468は外面に黒書が認められる。甕は18点のうち、口縁部～体部が12点(470～481)、体部が1点(484)、体部～底部が5点(482・483、485～487)である。口縁部～体部では、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するものも多く、そのほか口縁部～体部までほぼ直線的なもの(470、477)、体部が丸みを帯び、口縁部へとすぼまる形状のもの(474)が認められる。479・480はやや口縁部が強く外反する。体部～底部の資料では、底部から直線的に立ち上がるものが多いが、483、486のようにやや丸みを帯びるように立ち上がるものも認められる。486は底径が大きく、直胴に近い形状を呈する。底部調整は482・483、485がヘラナデ、486ヘラケズリ、487網代痕、ヘラケズリである。小甕は5点のうち、口縁部～体部4点(488～491)、体部～底部1点(494)である。口縁部～体部の資料では、489は体部がやや丸みを帯びる形状で、488、490、491は体部がほぼ直線的な形状である。495は罎で、外面輪積痕が認められる。496・497は須恵器長頸壺で、497は頸部と肩部の間にリング状凸帯が認められる。498は須恵器甕の体部で外面交叉タキが認められる。石6は磨石で、下半が欠損しており、表面及び左側部に磨りが認められる。鉄6は炉壁である。表面はナデによる調整が認められ、裏面には木舞孔が認められる。胎土全体にスサが混入している。

SD-39 (第371図)

FC-159・160、FD-159グリッドで検出した。CSP-227、231・232と重複している。CSP-227、

231・232が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長455cm、幅103cm、深さ25cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、1層は埋め戻し等による人為堆積、2・3層は自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、甕6点、須恵器壺1点（第376図499～506）、礫石器1点（第378図石7）を図示した。499は皿の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されており、直線的に開き、口縁部が端反る形状である。甕は6点のうち、口縁部～体部5点、体部～底部1点である。口縁～体部の資料では、500・501が体部から口縁部へとすばまる形状で、短い口縁部を持ち、502～504は体部がやや丸みを持ち、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。505の底部は網代痕である。506は須恵器壺の体部下半～底部で、内外面ともにロクロ調整後、更にヘラナデが施されている。石7は台石で、表裏面及び右側部に被熱の痕跡や煤の付着が認められる。

SD-40（第371図）

FD・FE-159グリッドで検出した。SD-34、CSP-319と重複している。本遺構がCSP-319を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-34が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長289cm、幅122cm、深さ37cmを測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏1点、甕5点、小甕1点、須恵器甕1点（第376図507～513、377図514・515）を図示した。508は非ロクロの皿で、内外面ナデによって調整されている。507は非ロクロ坏で、口縁部がやや内湾する形状を呈する。甕は口縁部～体部4点、体部～底部1点である。口縁部～体部の資料では、509がやや丸みを帯びる体部を持ち、口縁部と体部の間のくびれが深くなっているが、510～512は体部がほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。513の底部は砂地で、ドーナツ状に砂粒が付着している。514は小甕で、体部がやや丸みを帯び、短い口縁部を有する。515は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。

SD-41（第371図）

FE-159グリッドで検出した。SD-42と重複している。SD-42が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長102cm、幅55cm、深さ55cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は5層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏3点、甕4点、ミニチュア土器1点（第377図516～524）を図示した。516は非ロクロ皿の口縁部～底部で、底部から直線的に開き、口縁部がやや内湾する形状を呈する。坏は3点のうち、非ロクロ2点（517、519）、ロクロ調整1点（518）である。517は非ロクロ坏で、内面炭化物が付着している。518は坏の体部～底部でロクロ調整が施されており、底部は柱状高台状で、底部からやや丸みを帯びるように立ち上がる。甕は4点のうち、口縁部～体部2点（521・522）、体部1点（523）、体部～底部1点（520）である。520は甕の体部～底部で、底部から直線的に開く形状を呈し、底部は木葉痕である。521は体部が口縁部へとすばまる形状を呈し、短い口縁部を有する。522は体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。524はミニチュア土器の口縁部～底部付近で、口縁部へと直線的に立ち上がる形状を呈する。

SD-42 (第371図)

FE-158・159グリッドで検出した。SD-41と重複している。本遺構がSD-41を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈し、規模は延長174cm、幅32cm、深さ46cmを測る。壁は段状に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は4層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

4. 井戸跡

CSE-01 (第379図)

EZ-161グリッドで検出した。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸106×短軸88×深さ120cmを測る。壁はオーバーハングして立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落により3層のみ確認した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は木製品6点を図示した(第380図木57～62)。木57は用途不明の板材であるが、下端には釘孔が3箇所認められ、膳の破片の可能性も考えられる。木58～61は箸である。木58・59は上端が欠損している。木62は建築部材と考えられる。

CSE-02 (第379図)

EY-161・162グリッドで検出した。CSP-176 (CSB-01Pit4)・177と重複している。CSP-176・177が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸111×短軸94×深さ157cmを測る。壁はオーバーハングしながら立ち上がり、底面はほぼ平坦である。崩落によりエレベーションのみのため、堆積土の状況は不明である。遺物は木製品7点を図示した(第380図木63～69)。木63・64は曲物底板で、木64の表裏面は一部焦げており、中心部には穿孔が認められる。木65～68は箸で、木66は上端が欠損している。木69は棒状を呈する用途不明品で、先端に加工が施されている。

CSE-03 (第379図)

EY・EZ-160・161グリッドで検出した。CSK-10と重複している。本遺構がCSK-10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸105×短軸93×深さ163cmを測る。壁は底面から丸みを帯びるように立ち上がり、開口部付近ではほぼ垂直に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。底面からは井戸枠と考えられる桶(第381図木86)が出土した。堆積土は崩落により5層のみ確認した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器片1点、甕1点(第380図525・526)、木製品62点(第381～385図木70～131)、礎石器1点(第386図石8)を図示した。525は坯の体部～底部でロクロ調整の後、内面へラミガキによって黒色処理されている。526は甕の口縁部～体部で、口縁部へとすばまる形状を呈し、短い口縁部を有する。木70は下駄で、左半分と下端部が欠損している。木71・72は漆碗で、木72はやや小型の資料である。木73～79、82、84は曲物や桶の底板で、木73～77の表裏面には刃痕が認められることから、まな板として転用したと考えられる。木84は表裏面に焦げ跡が認められる。木83は蓋と考えられ、表面に把手を嵌め込んだ孔と木釘が認められる。木80・81、86は桶である。木85は膳で表面に刃痕が認められる。木87・88、103・104は用途不明の板材で、木87・88には釘穴が認められる。木89～102、105・106は井戸枠に転用された建築部材で、木97、100、102には釘穴、木97の中心部にはほぞ穴が認められる。木107は杭と考えられる。木108～111は箸で、木111は上端及び下端が欠損している。木115・

SD-05, 06, 07, 08, 09



SD-05, 06



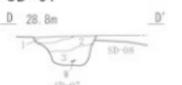
SD-06内Pit1



SD-06内Pit2



SD-07



SD-08



SD-09

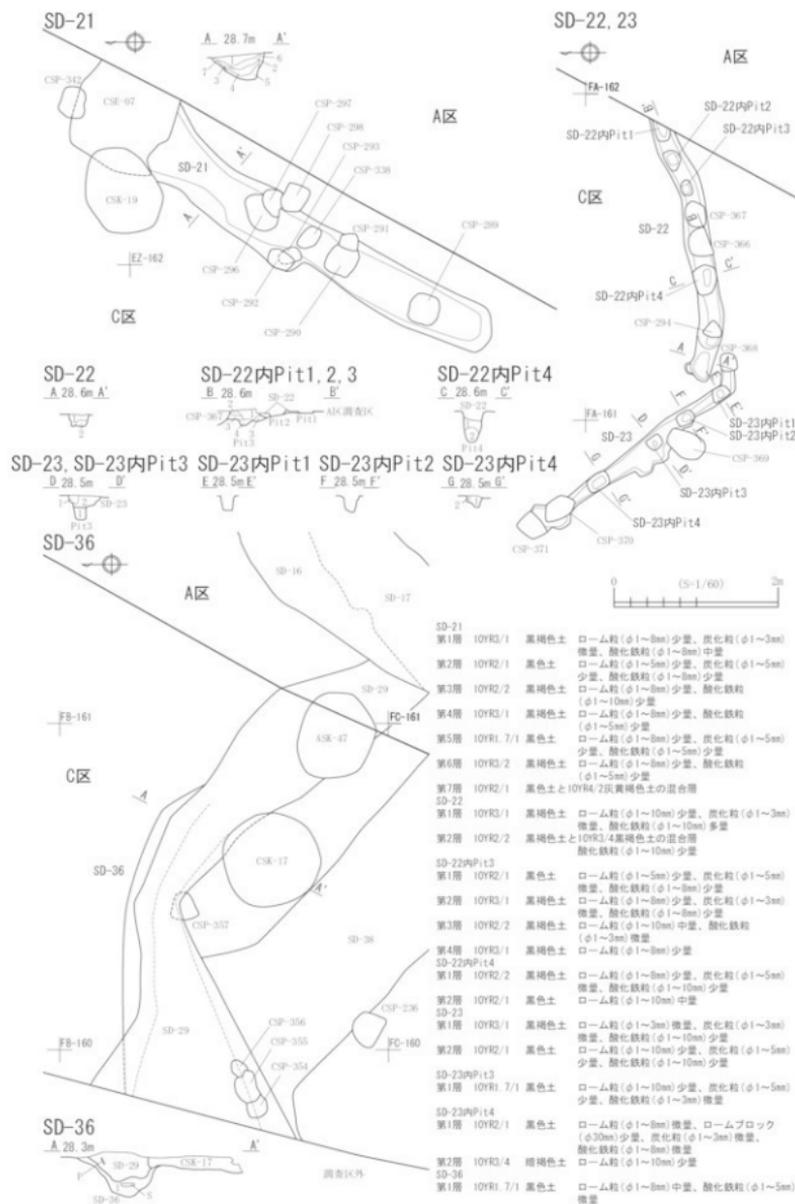


SD-09内Pit1



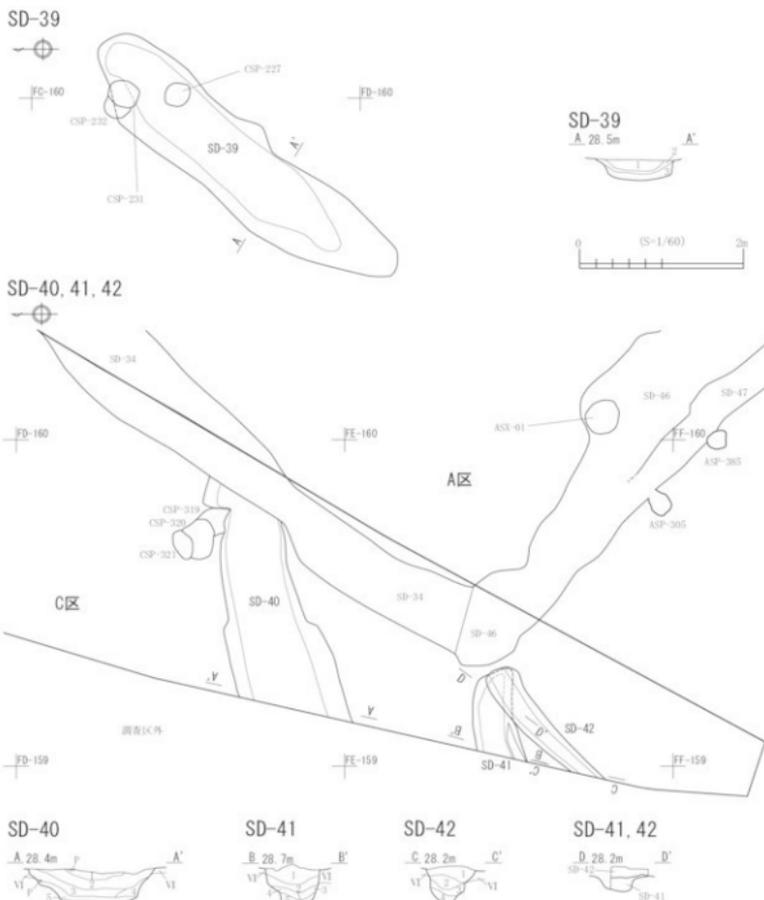
SD-05			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~60mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化物ブロック(φ20mm)微量	
SD-06			
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ10~50mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化物ブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~110mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~30mm)少量	
SD-06内Pit1			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、線(φ10~50mm)微量	
SD-07			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量	
第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)微量	
第3層 10YR2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ20~40mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
SD-08			
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~50mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量	
第3層 10YR3/1	黒褐色土	ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量	
SD-09			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~60mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量	
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~50mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量	
SD-09内Pit1			
第1層 10YR1/2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量	

第368図 中道遺跡C区SD(1)



- | | | | |
|-------------|---------------|----------------------|--|
| SD-21 | 第1層 IOYR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量 |
| | 第2層 IOYR2/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量 |
| | 第3層 IOYR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量 |
| | 第4層 IOYR2/1 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量 |
| | 第5層 IOYR1 7/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量 |
| | 第6層 IOYR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量 |
| | 第7層 IOYR2/1 | 黒色土とIOYR4/2灰黄褐色土の混合層 | |
| SD-22 | 第1層 IOYR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)多量 |
| | 第2層 IOYR2/2 | 黒褐色土とIOYR3/4黒褐色土の混合層 | 酸化鉄粒(φ1~10mm)少量 |
| SD-22内Pit13 | 第1層 IOYR2/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量 |
| | 第2層 IOYR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量 |
| | 第3層 IOYR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量 |
| SD-22内Pit14 | 第1層 IOYR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量 |
| | 第2層 IOYR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量 |
| | 第3層 IOYR2/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量 |
| SD-23内Pit13 | 第1層 IOYR1 7/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量 |
| SD-23内Pit4 | 第1層 IOYR2/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~8mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量 |
| SD-36 | 第1層 IOYR1 7/1 | 黒色土 | ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量 |

第370図 中道遺跡C区SD(3)



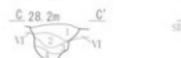
SD-40



SD-41



SD-42



SD-41, 42



SD-39

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、ロームブロック(φ10~20mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量

SD-40

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~25mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、焼土粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

第4層

10YR2/1 黒色土と10YR3/3暗褐色土の混合層 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

第5層

10YR3/3 暗褐色土と10YR7/6暗黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

SD-41

第1層 7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、焼土粒(φ1~8mm)多量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量

第2層

10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量

第3層

10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量

第4層

7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

第5層

10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~40mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

SD-42

第1層 7.5YR2/2 黒褐色土と7.5YR4/4褐色土の混合層 炭化粒(φ1~3mm)微量、焼土粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

第2層

7.5YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、焼土粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量

第3層

10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

第4層

7.5YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

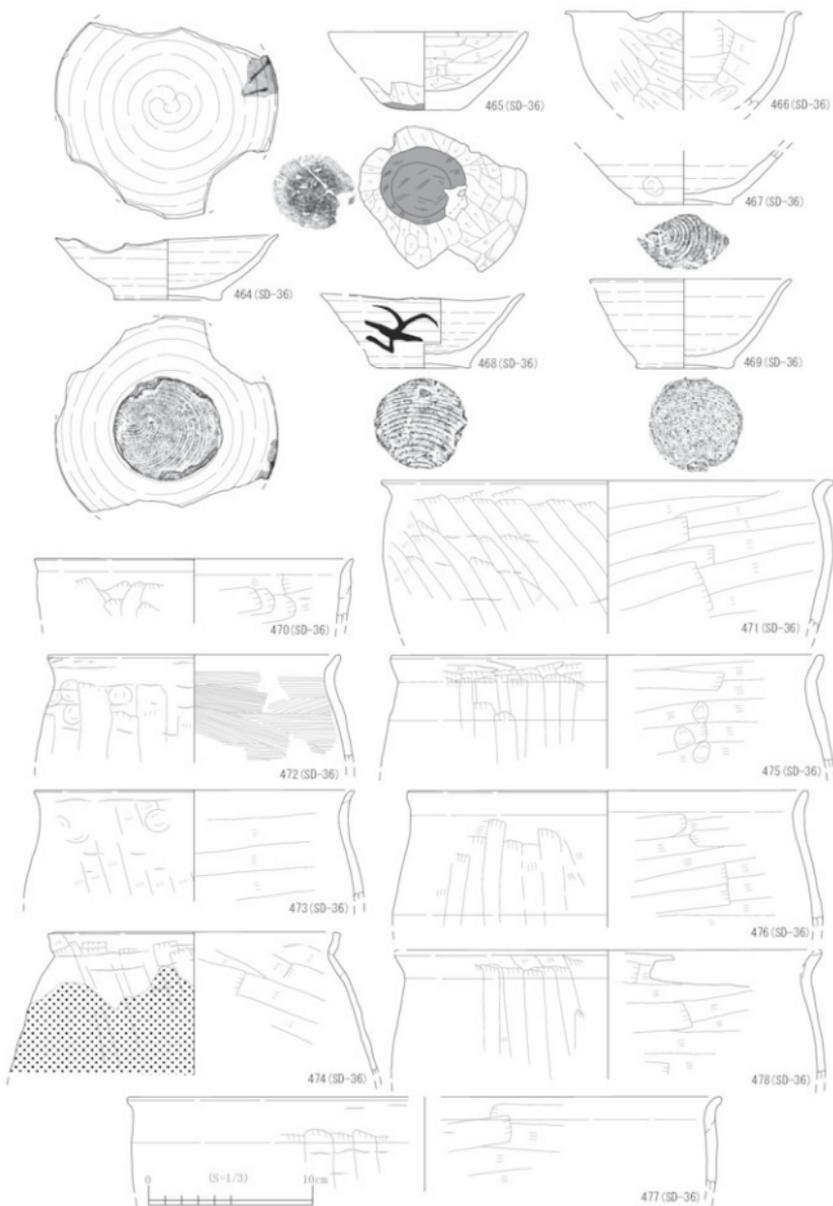
第371図 中道遺跡C区SD(4)



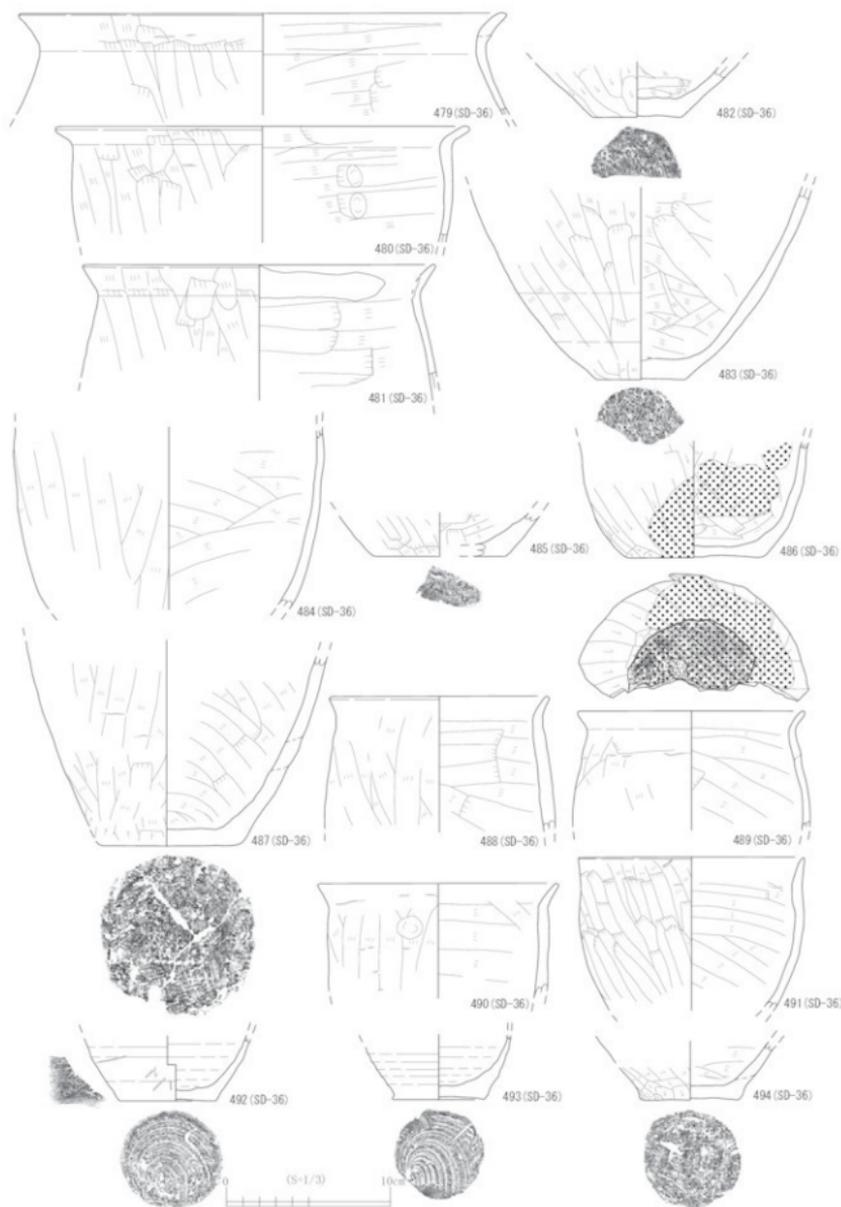
第372図 中道遺跡C区出土土器SD(1)



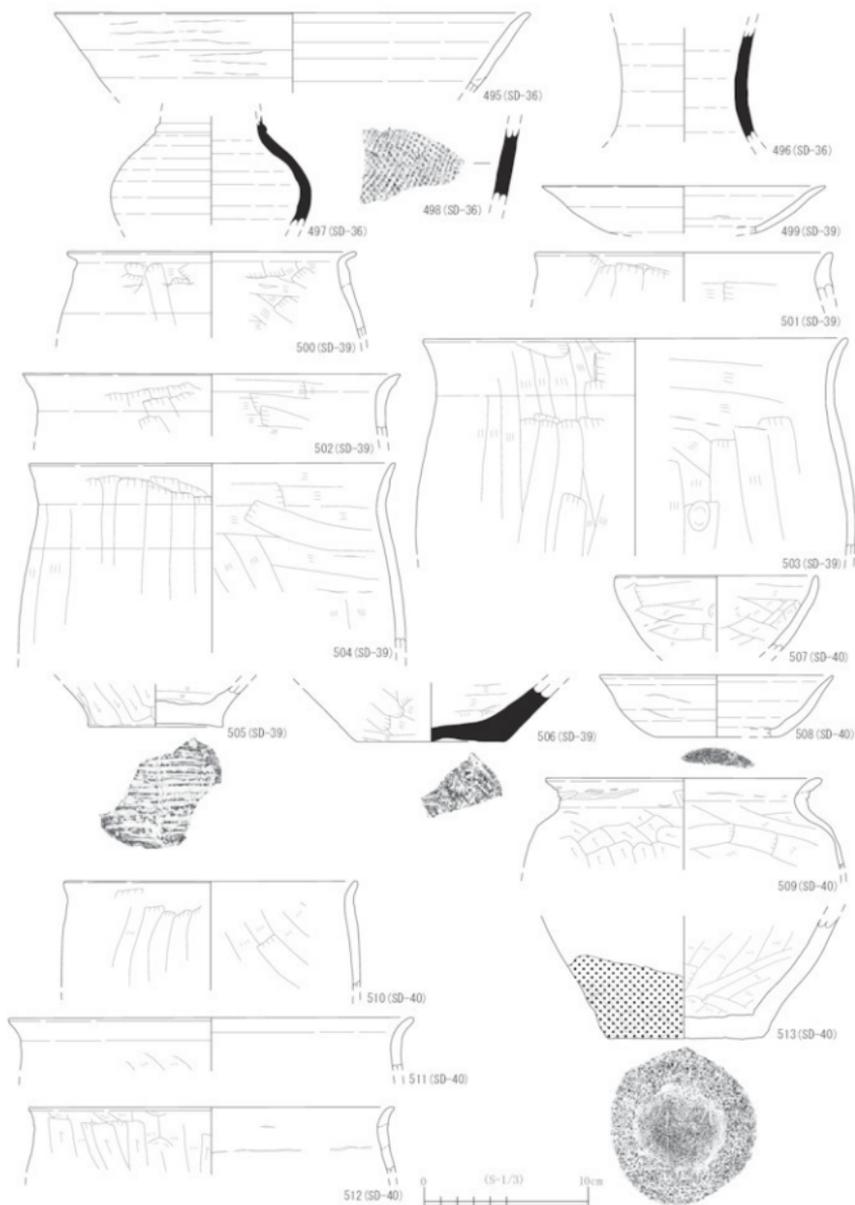
第373図 中道遺跡C区出土土器SD(2)



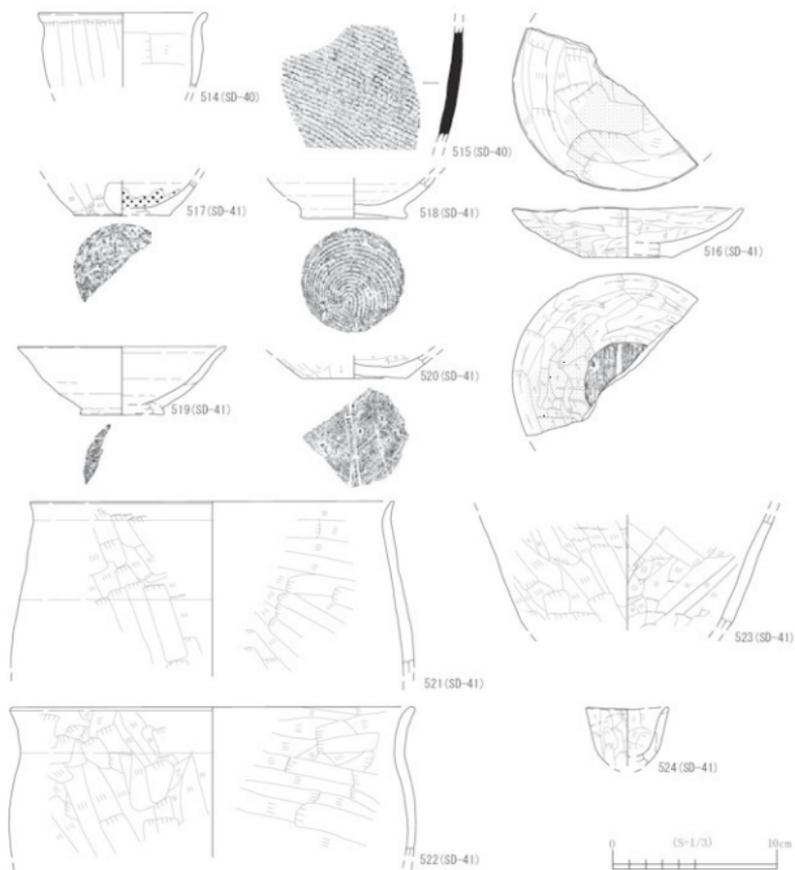
第374図 中道遺跡C区出土土器SD(3)



第375图 中道遺跡C区出土土器SD(4)



第376図 中道遺跡C区出土土器SD (5)



第377図 中道遺跡C区出土土器SD(6)



第378図 中道遺跡C区出土遺物SD

116は膳と考えられ、いずれも周囲に釘穴が認められる。木112・113、115・116は表面に刃痕が認められ、まな板として転用されたと考えられる。木115・116は裏面に赤漆が塗布されている。木117は杓子でクロク挽きによって成形されており、柄が嵌め込まれていたと考えられる溝が認められる。木118～131は棒状や板状を呈する用途不明品である。木118は上端に穿孔が認められる。木122～125は芯持材の先端を加工している棒状の木製品で、杭と考えられる。木127～131は棒状を呈する用途不明品で木釘や釘穴が認められる。石8は平面台形を呈する砥石で、表裏面及び両側面に砥面が認められる。

CSE-04 (第379図)

EY・EZ-160・161グリッドで検出した。CSP-187、247と重複している。本遺構がCSP-247を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSP-187との新旧関係は不明である。平面形は長方形を呈し、規模は長軸154×短軸119×深さ124cmを測る。壁は底面から急角度に立ち上がり、開口部付近でほぼ垂直に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。開口部より本遺構に付属すると思われるビット1基を検出した。平面形は隅丸長方形で、規模は長軸39×短軸24×深さ41cmを測る。堆積土は崩落により2層のみ確認した。黒色土を主体とする土層が堆積し、多量の礫が混入しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品12点(第385・386図木132～143)を図示した。木132、135は建築部材と考えられ、木132は角にほぞ穴、木135は釘穴が認められる。木133、139・140、142・143は板状や棒状を呈する用途不明品である。木136～138は箸である。木134、141は曲物底板で、釘穴が認められる。

CSE-06 (第379図)

EZ-160・161グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸116×短軸85×深さ182cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落により2層のみ確認した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は木製品1点、礫石器2点を図示した(第386図木144、石9・10)。木144は曲物底板である。表裏面に刃痕が認められ、まな板として転用したと考えられる。石9は砥石の破片で表裏面及び右側面に砥面が認められる。石10は台石で表面及び側面に煤が付着し、被熱が認められる。

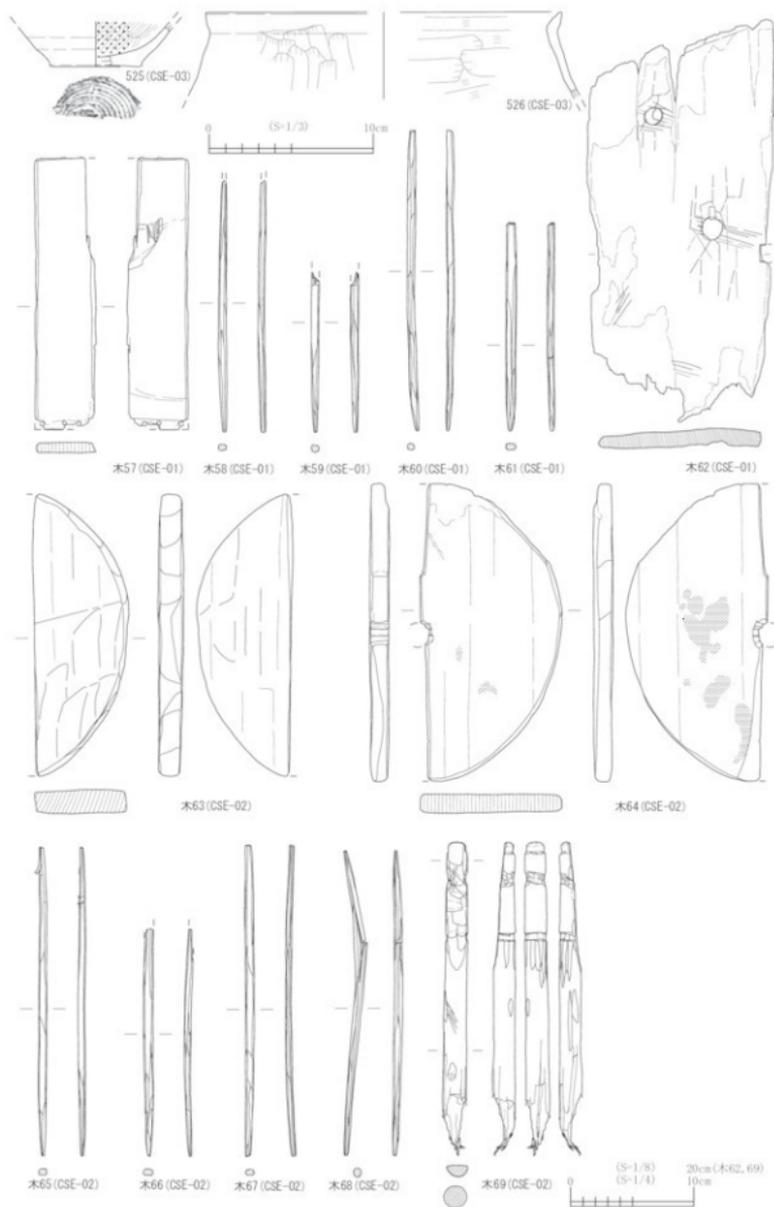
CSE-07 (第379図)

EY・EZ-162グリッドで検出した。CSK-19、SD-21、CSP-342と重複している。本遺構がSD-21を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSK-19が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。CSP-342との新旧関係は不明である。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸161×短軸111×深さ77cm以上を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は6層目で確認した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、下層は人為堆積、上層は自然堆積と考えられる。

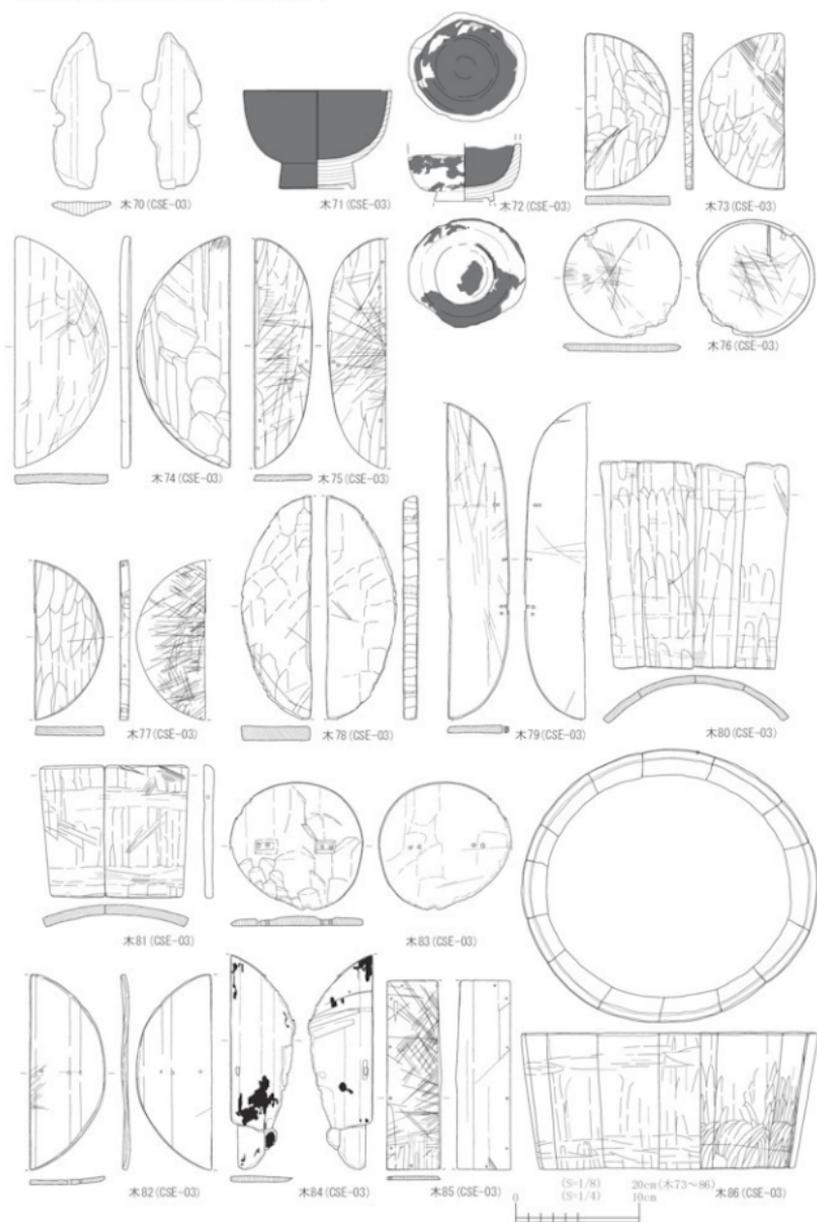
5. その他の遺構

CSX-01 (第379図)

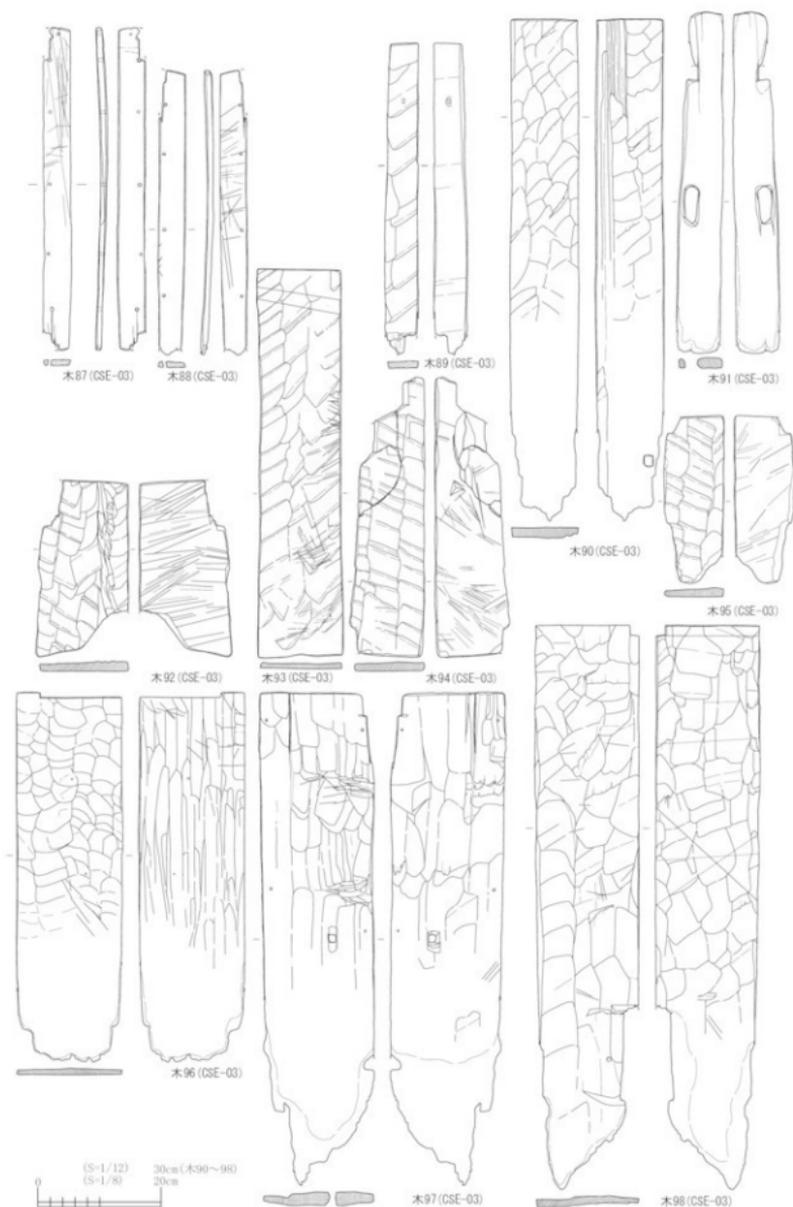
EV-162グリッドで検出した。SD-07と重複している。本遺構がSD-07を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸48×短軸46×深さ43cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。底面には底のない桶が据えられており、本遺構は埋桶と考えられる。堆積土は3層に分層した。灰黄褐色、明黄褐色土を主体とする土層が堆積しており、桶が据えられた後、周囲を埋め戻したと考えられる。遺物は据えられていた桶1点(第386図木145)を図示した。



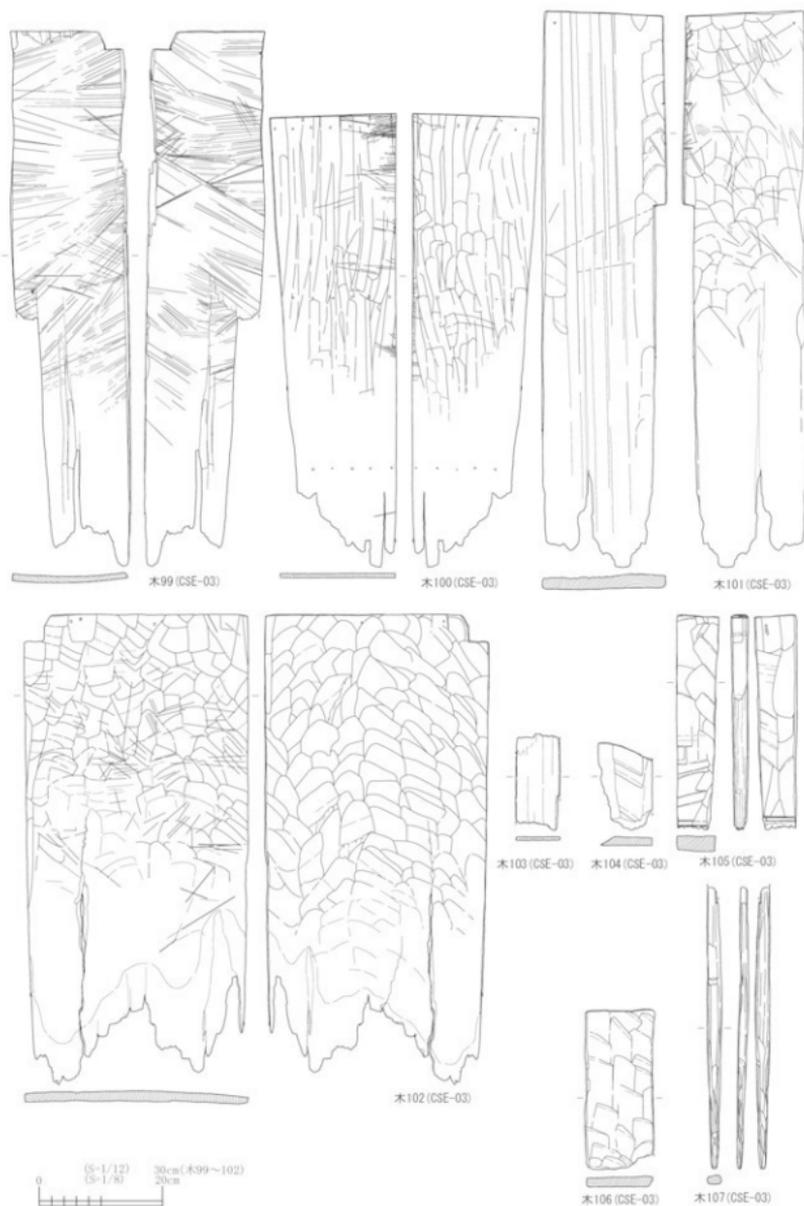
第380図 中道遺跡C区出土遺物SE (1)



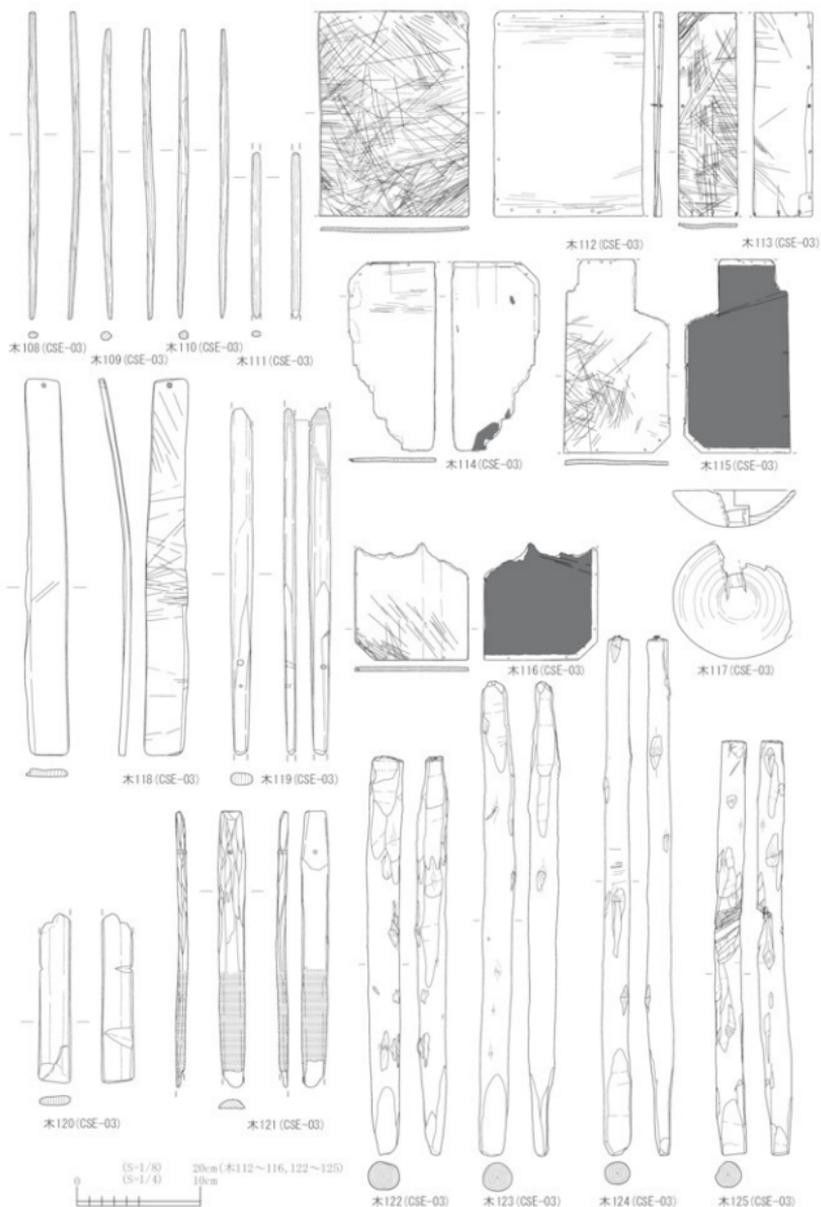
第381図 中道遺跡C区出土遺物SE(2)



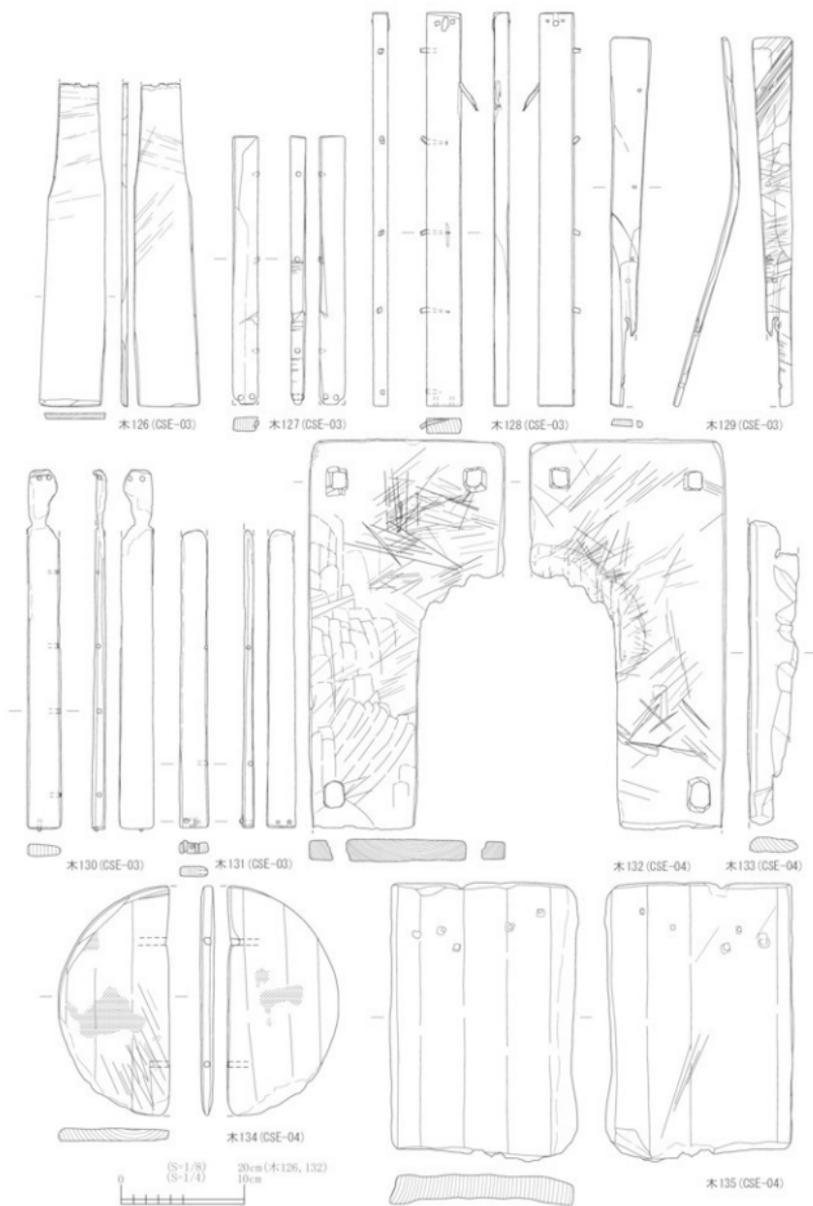
第382図 中道遺跡C区出土遺物SE(3)



第383図 中道遺跡C区出土遺物SE (4)



第384図 中道遺跡C区出土遺物SE (5)



第385図 中道遺跡C区出土遺物SE(6)



第386図 中道遺跡C区出土遺物SE(7)・SX

6. ビット

C区からは358基のビットを検出した。分布状況はSD-22・23以北に集中しており、SD-08、10、22・23に囲まれた範囲の密度が高い。詳細及び出土遺物は第47表、第387～409図のとおりである。

第47表 中道遺跡C区SP観察表

図番番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第389図	CSP-01	EV-160・161		27	25	22	h	d			
第389図	CSP-02	EW-160		26	20	14	f	h			
第389図	CSP-03	EW-161		43	37	27	e	h			柱礎跡有
第389図	CSP-04	EW-161		20	16	7	f	d			
第389図	CSP-05	EW-161		26	20	12	e	e			
第389図	CSP-06	EW-161		18	17	6	e	h			
第389図	CSP-07	EW-161		38	32	29	c	a			
第389図	CSP-08	EV・EW-161	CSP-08-CSP-09	37	28	19	e	a			柱礎残存
第389図	CSP-09	EV・EW-161	CSP-09-CSP-08	31	(17)	15	e	d			柱礎跡有
第389図	CSP-10	EW-161	CSP-10-CSP-81	30	26	8	h	e			
第389図	CSP-11	EW-161		28	23	16	h	h			
第389図	CSP-12	EW-161	CSP-12-CSP-13	32	(15)	38	e	a			柱礎跡有
第389図	CSP-13	EW-161	CSP-13-CSP-12	33	31	24	e	a			
第393図	CSP-14	EW-162		31	25	15	f	g			柱礎跡有
第393図	CSP-15	EX-162		33	30	10	c	h			
第393図	CSP-16	EX-161	CSP-16-CSP-17	29	(16)	34	e	b			
第393図	CSP-17	EX-161	CSP-17-CSP-16, 18	41	33	34	f	c			
第393図	CSP-18	EX-161	CSP-18-CSP-17	33	(20)	16	e	d			
第393図	CSP-19	EX-161		31	21	21	e	e			
第389図	CSP-20	EW-161		30	27	14	e	a	土師甕1点 (第409図527)	平安時代	
第393図	CSP-21	EX-161		23	22	23	h	a			柱礎跡有
第389図	CSP-22	EW-161・162	CSP-22-CSP-126	67	60	21	h	d			柱礎跡有
第393図	CSP-23	EX-160		22	15	13	b	g			
第393図	CSP-24	EX-161		33	31	22	e	d			
第393図	CSP-25	EX-161		28	22	9	f	h			
第393図	CSP-26	EX-161	CSP-26-CSP-27	37	(11)	29	e	h			
第393図	CSP-27	EX-161	CSP-27-CSP-26	35	25	26	f	d			
第393図	CSP-28	EX-161		35	23	24	f	c			
第393図	CSP-29	EX-161		28	23	24	e	a			柱礎跡有
第393図	CSP-30	EX・EY-161	CSP-30-CSP-208	50	42	42	e	j			CSB-01Pr7
第389図	CSP-31	EW-163	CSP-31-CSP-246	86	85	28	e	a			柱礎跡有
第393図	CSP-32	EX-161	CSP-163と新旧不明	36	(32)	22	e	d			
第393図	CSP-33	EX-161		46	37	28	e	a			
第393図	CSP-34	EX-161・162		34	30	16	f	g			
第393図	CSP-37	EY-161		27	21	12	e	c			
第393図	CSP-38	EY-162	CSP-38-CSP-39	25	(10)	15	e	a			柱礎跡有
第393図	CSP-39	EY-162	CSP-39-CSP-38	31	29	23	h	e			
第393図	CSP-40	EY-162	CSP-40-CSP-41	(32)	(14)	22	x	x			
第393図	CSP-41	EY-162	CSP-41-CSP-40、 330・331	(65)	(38)	63	e	e			
第394図	CSP-42	EX・EY-161	CSP-42-CSP-43	29	(20)	32	e	d			
第394図	CSP-43	EX・EY-161	CSP-44-CSP-43> CSP-42、186	34	(24)	40	e	a			
第394図	CSP-44	EY-161	CSP-44-CSP-43	57	50	10	f	c			
第394図	CSP-45	EX-161	CSP-45-CSP-46	22	(20)	11	e	h			
第394図	CSP-46	EX-161	CSP-46-CSP-45、 164	38	28	21	e	d			
第394図	CSP-47	EX-160	CSP-47-CSP-48	37	25	20	b	h			
第394図	CSP-48	EX-160	CSP-48-CSP-47	22	(10)	5	e	d			
第394図	CSP-49	EX-160		23	21	11	e	d			
第394図	CSP-50	EY-160		29	(13)	14	e	b			
第394図	CSP-51	EY-160		(26)	(23)	27	e	h			
第394図	CSP-52	EX・EY-160		(38)	(38)	52	e	e			柱礎跡有
第394図	CSP-53	EY-161		29	26	11	h	d			
第394図	CSP-54	EY-161	CSP-54-CSP-55、 216	44	30	12	f	d			
第394図	CSP-55	EY-161	CSP-54-CSP-55> CSP-216	49	(34)	16	e	g			
第394図	CSP-56	EY-160		25	23	19	h	a			
第394図	CSP-57	EY-161	CSP-57-CSP-58・ 59	(12)	(6)	11	e	d			
第394図	CSP-58	EY-160・161	CSP-58-CSP-57、 59	40	29	12	f	e			
第394図	CSP-59	EY-161	CSP-58-CSP-59> CSP-57	20	17	13	e	d			
第394図	CSP-60	EY-161	CSP-60-CSP-61、 83	55	32	17	f	d			

図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第394図	CSP-61	EY-161	CSP-61<CSP-60	40	(28)	16	e	d			
第394図	CSP-62	EY-161		50	41	16	e	c			CSB-01Pt8、柱礎跡有
第394図	CSP-63	EY-161		27	21	28	f	a			
第394図	CSP-64	EY-161		26	23	8	e	h			
第394図	CSP-65	EY-161		51	47	38	e	e			柱礎跡有
第394図	CSP-66	EY-161		21	19	9	h	d			
第394図	CSP-67	EY-161		27	22	15	e	e			
第395図	CSP-68	EY-161		40	31	12	e	c			
第395図	CSP-69	EY-161		22	21	8	h	h			
第395図	CSP-70	EY-161		32	25	9	e	d			
第395図	CSP-71	EY-161		30	25	10	e	d			
第395図	CSP-72	EY-161		29	25	11	e	c			
第395図	CSP-73	EY-161	CSP-73<CSP-74、184	32	(18)	6	e	h			
第395図	CSP-74	EY-161	CSP-74<CSP-73、184	32	29	33	e	e			柱礎跡有
第395図	CSP-75	EY-161	CSP-75<CSP-76	35	32	25	e	d			
第395図	CSP-76	EY-161	CSP-76<CSP-75、77	28	(19)	11	e	d			
第395図	CSP-77	EY-161	CSP-77<CSP-76	16	14	5	h	c			
第395図	CSP-78	EY-161	CSP-78<CSP-79	23	22	9	e	d			
第395図	CSP-79	EY-161	CSP-79<CSP-78	48	42	14	c	c			CSB-01Pt9
第395図	CSP-80	EY-161		34	22	6	f	c			
第399図	CSP-81	EW-161	CSP-81<CSP-10	29	(14)	9	f	e			
第395図	CSP-82	EY-161		18	17	5	h	d			
第395図	CSP-83	EY-161	CSP-83<CSP-60	30	(20)	26	e	e			
第395図	CSP-84	EY-161	CSP-84<CSP-85	21	20	4	c	d			
第395図	CSP-85	EY-161	CSP-85<CSP-84	38	29	(30)	b	a			柱礎残存
第395図	CSP-86	EY-160・161		30	29	27	h	b			柱礎跡有
第395図	CSP-87	EY-160	CSP-87<CSP-88	38	(22)	10	e	d	土跡崩壊1点 (第409図S28)	平安時代	
第395図	CSP-88	EY-160	CSP-88<CSP-87、89	46	43	30	h	e			
第395図	CSP-89	EY-160・161	CSP-89<CSP-88	50	48	16	e	d			CSB-01Pt13
第401図	CSP-90	EZ-161		40	37	34	h	d			
第395図	CSP-91	EY-161	CSP-91<CSP-92	58	52	47	e	e			
第395図	CSP-92	EY-161	CSP-208<CSP-92<CSP-91	(53)	53	26	e	a			
第395図	CSP-94	EY-161		20	16	19	e	e			
第396図	CSP-96	EY-161		43	41	25	c	a			
第396図	CSP-97	EY-161	CSP-97<CSP-212	40	30	37	e	a			
第396図	CSP-98	EY-160	CSP-98<CSP-99	(22)	23	9	e	d			
第396図	CSP-99	EY-160	CSP-99<CSP-98	28	20	6	e	d			
第401図	CSP-100	EZ-161	CSP-100<CSP-101	37	33	5	a	a			
第401図	CSP-101	EZ-161	CSP-101<CSP-100	25	(17)	9	e	a			
第401図	CSP-102	EZ-161		32	30	32	e	c			
第401図	CSP-103	EZ-161		29	28	24	h	d			
第401図	CSP-104	EZ-161	CSP-104<CSP-105	37	30	52	f	b			
第401図	CSP-105	EZ-161	CSP-105<CSP-104	32	(21)	7	f	h			
第401図	CSP-106	EZ-161		32	30	13	c	c			
第401図	CSP-107	EZ-161		48	35	60	e	j			
第401図	CSP-108	EZ-161		30	29	12	h	d			
第401図	CSP-109	EZ-161		46	40	10	b	d			
第401図	CSP-110	EZ-161		27	24	10	h	d			
第401図	CSP-111	EZ-160		30	25	11	e	c	土跡崩壊1点 (第409図S29)	平安時代	
第401図	CSP-112	EZ-160	CSP-112<CSP-113	32	(16)	17	e	d			
第401図	CSP-113	EZ-160	CSP-113<CSP-112 CSP-346と新旧不明	48	42	6	e	d			
第401図	CSP-114	EZ-160	CSP-114<CSP-115	23	(16)	7	e	d			
第401図	CSP-115	EZ-160	CSP-115<CSP-114、116	(24)	23	18	x	x			
第401図	CSP-116	EZ-160	CSP-116<CSP-115	38	33	47	e	d			
第401図	CSP-117	EZ-160		38	37	10	h	c			
第401図	CSP-118	EZ-160		23	16	14	f	d			
第401図	CSP-119	EZ-160	CSP-119<CSP-120	36	34	24	h	a			
第401図	CSP-120	EZ-160	CSP-120<CSP-119	27	(16)	24	e	a			
第401図	CSP-121	EZ-160		27	22	18	e	a			
第402図	CSP-122	EZ-160		20	18	6	h	d			
第402図	CSP-123	EZ-160		23	20	14	f	a	土跡崩壊小窪1点 (第409図S30)	平安時代	
第399図	CSP-124	EW-161	CSP-124<CSK-01	34	32	24	a	b			
第399図	CSP-125	EW-160	CSP-125<CSK-02	(38)	36	22	e	d			
第399図	CSP-126	EW-161・162	CSP-126<CSP-22	54	(23)	20	e	d			
第390図	CSP-127	EW-162	CSP-127<CSK-04	25	24	17	a	a			
第390図	CSP-128	EW-162	CSK-04<CSP-128<CSP-129	45	44	25	a	d			柱礎跡有
第390図	CSP-129	EW-162	CSP-129<CSK-04、CSP-128	32	(23)	14	e	a			柱礎跡有

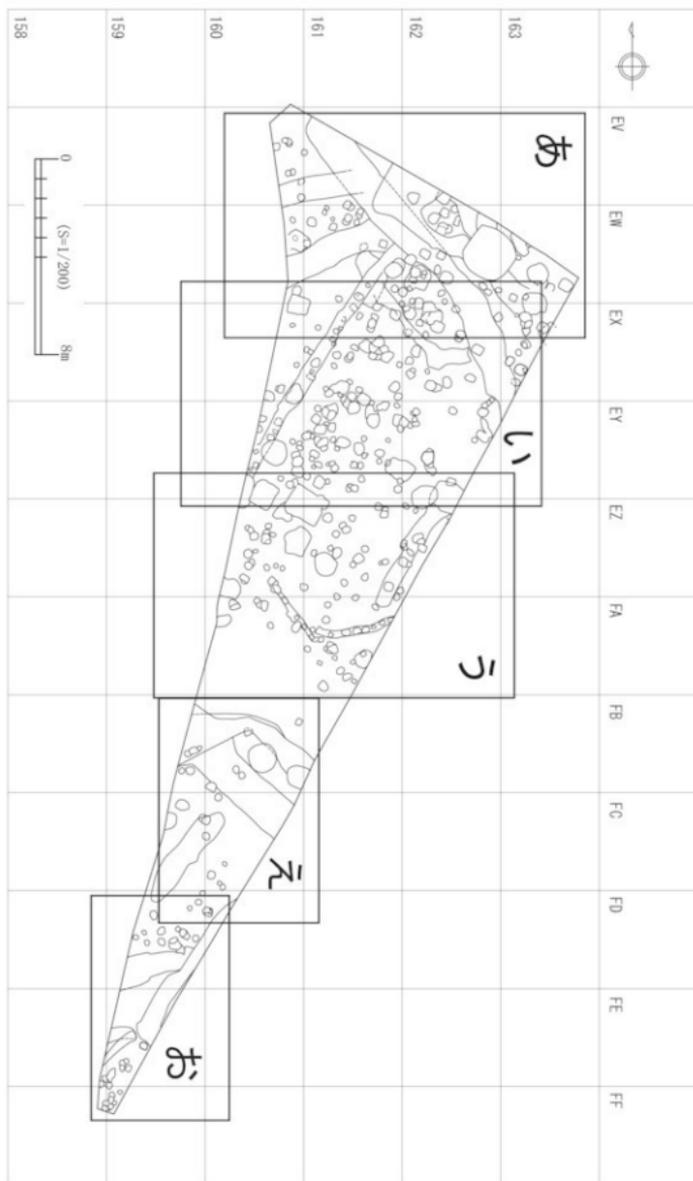
図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第396図	CSP-130	EX-162	CSP-131, 183<CSP-130>CSP-132, 211 CSP-133と新旧不明	(55)	(52)	11	e	x			
第396図	CSP-131	EX-162	CSP-131<CSP-130, 183 CSP-183と上新旧不明	54	(43)	11	e	d			
第396図	CSP-132	EX-162	CSP-132<CSP-130, 133, 183 CSP-211と新旧不明	58	50	22	e	a			
第396図	CSP-133	EX-162	CSP-131, 183<CSP-133>CSP-132 CSP-130と新旧不明	(47)	38	36	e	a			柱礎残存
第396図	CSP-134	EW・EX-162		24	20	7	f	a			
第396図	CSP-135	EX-162	CSP-135<SD-08	36	29	24	f	d			
第390図	CSP-136	EW-162		34	24	4	e	d			
第390図	CSP-137	EW-162		36	26	20	f	j			
第396図	CSP-138	EX-162・163		34	31	28	c	d			
第396図	CSP-139	EX-162	CSP-139<CSP-140	42	31	20	f	e			
第396図	CSP-140	EX-162	CSP-140<CSP-139	33	(19)	15	e	d			CSB-01Pt1
第396図	CSP-141	EX-162		30	25	10	f	a			
第396図	CSP-142	EX-162	CSP-142<CSP-144	49	(40)	25	e	d			CSB-01Pt5
第396図	CSP-143	EW・EX-161・162		25	23	23	h	g			
第396図	CSP-144	EX-162	CSP-144<CSP-142	32	25	33	e	b			
第396図	CSP-145	EW・EX-162		27	21	27	e	a			
第396図	CSP-146	EW・EX-162		48	38	22	b	a			
第396図	CSP-147	EX-162		50	36	25	e	e			
第396図	CSP-148	EX-162		37	33	17	e	d			
第397図	CSP-149	EX-162	CSP-149<CSP-150	26	(16)	48	e	b			
第397図	CSP-150	EX-162	CSP-150<CSP-149	38	28	48	d	b			柱礎残存
第397図	CSP-151	EX-162		22	16	15	c	a			
第397図	CSP-152	EX-162	CSP-152<CSP-153	34	(23)	21	e	d			
第397図	CSP-153	EX-162	CSP-153<CSP-152	43	41	28	h	c			CSB-01Pt2
第397図	CSP-154	EX-162		46	36	18	f	a			
第397図	CSP-155	EX-162		(41)	30	19	e	a			柱礎跡有
第397図	CSP-156	EX-162		(29)	28	21	e	e			
第397図	CSP-157	EY-162	CSP-157<CSP-159	25	22	16	e	d			
第397図	CSP-158	EY-162	CSP-158<CSP-158 <CSP-161	25	23	24	e	j			鉄製遺物 (第409図残7)
第397図	CSP-159	EY-162	CSP-157<CSP-159 <CSP-158	34	(19)	13	e	d			CSB-01pt3、柱礎跡有
第397図	CSP-160	EY-161・162	CSP-160<CSP-161・162	32	26	21	f	c			
第397図	CSP-161	EY-161・162	CSP-160, 160<CSP-161 <CSP-162	(53)	(44)	16	e	h			
第397図	CSP-162	EY-161・162	CSP-162<CSP-160-161	46	(27)	6	e	a			
第393図	CSP-163	EY-161	CSP-32と新旧不明	26	(22)	18	e	d			
第397図	CSP-164	EX-161	CSP-46<CSP-164> CSP-207, 215	84	56	18	e	a			古銭1点 (第409図残1)
第397図	CSP-166	EX-161	CSP-166<CSP-167	25	(18)	8	e	h			CSB-01Pt11
第397図	CSP-167	EX-161	SD-10<CSP-167> CSP-166	21	19	14	e	h			
第397図	CSP-170	EX-161	CSP-170<SD-09	49	45	21	d	h			
第390図	CSP-171	EW-161・162		39	36	41	c	d			柱礎跡有
第390図	CSP-172	EW-161		31	30	32	h	d			柱礎跡有
第398図	CSP-173	EX-161	CSP-173<CSP-210, 348	31	27	26	c	a			
第390図	CSP-174	EW-162	CSP-174<CSK-04, CSP-175	(18)	17	14	e	g			
第390図	CSP-175	EW-162	CSK-04<CSP-175> CSP-174	23	17	22	f	a			
第398図	CSP-176	EY-161	CSP-176<CSE-02	26	20	32	f	d			CSB-01Pt4
第398図	CSP-177	EY-161	CSP-177<CSE-02	25	23	32	e	d			
第398図	CSP-178	EY-161		34	32	27	h	h			
第402図	CSP-179	EZ-160・161		35	29	22	e	e			
第402図	CSP-180	FA-160	CSP-180<CSP-181	42	21	12	g	d			
第402図	CSP-181	FA-160	CSP-181<CSP-180	38	(23)	12	e	d			
第398図	CSP-182	EX-161	CSP-182<CSP-204, 348	52	43	24	e	h			
第396図	CSP-183	EX-162	CSP-183<CSP-130, 132<133, 211 CSP-131と新旧不明	(55)	(38)	36	e	e			
第395図	CSP-184	EY-161	CSP-73<CSP-184< CSP-74	(23)	(13)	(25)	e	d			
第398図	CSP-185	EX-161	CSP-185<CSP-348	59	48	30	d	e			CSB-01Pt10
第398図	CSP-186	EX-161	CSP-186<CSP-42・43	(34)	34	23	c	h			
第398図	CSP-187	EY-160	CSP-187<CSP-202 CSE-04と新旧不明	32	(18)	28	b	d			
第398図	CSP-188	EY-160		23	20	6	d	a			

図説番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第402図	CSP-189	EZ-160		24	17	8	c	a			
第402図	CSP-190	EZ-161		30	25	24	f	j			
第402図	CSP-191	EZ・FA-161		28	25	20	e	c			
第402図	CSP-192	FA-161		26	24	10	h	h			
第402図	CSP-193	FA-161		32	30	5	h	c			
第402図	CSP-194	EZ-161		23	22	37	c	a			
第402図	CSP-195	EZ-161		28	22	16	e	c			
第390図	CSP-196	EV-160		26	18	15	f	d			
第390図	CSP-197	EV-160		23	22	14	c	d			
第390図	CSP-198	EV-160	CSP-198×CSP-199	28	22	14	e	h			
第390図	CSP-199	EV-160	CSP-198×CSP-199×CSP-200	31	27	19	e	d			
第390図	CSP-200	EV-160	CSP-200×CSP-199	27	(8)	8	e	g			
第390図	CSP-201	EV-160		29	(22)	35	h	d			
第398図	CSP-202	EV-160	CSP-202×CSP-187	33	33	29	h	a			
第398図	CSP-203	EX-161	CSP-203×CSP-204, 210	52	42	34	e	a			CSB-01Pt6
第398図	CSP-204	EX-161	CSP-204×CSP-182, 203	34	(26)	11	e	x			
第402図	CSP-205	EZ-160	CSP-205×CSP-206	39	24	6	b	d			
第402図	CSP-206	EZ-160	CSP-206×CSP-205	(28)	(12)	12	e	h			
第397図	CSP-207	EX-161	CSP-207×CSP-164	24	(16)	19	f	d			
第398図	CSP-208	EX・EY-161	CSP-208×CSP-30, 92	19	19	16	c	a			
第398図	CSP-209	EX-161・162		22	20	7	c	d			
第398図	CSP-210	EX-161	CSP-210×CSP-173, 203	25	(18)	30	f	x			
第396図	CSP-211	EX-162	CSP-211×CSP-130, 183 CSP-132と新旧不明	28	24	10	e	x			
第398図	CSP-212	EY-161	CSP-212×CSP-97	(24)	11	12	x	d			
第398図	CSP-213	EY-161		48	37	12	e	d			CSB-01Pt12
第402図	CSP-214	FA-160		(52)	45	30	f	h			
第394図	CSP-215	EX-161	CSP-215×CSP-164	20	18	13	c	c			
第394図	CSP-216	EY-161	CSP-216×CSP-54, 55	(55)	(38)	13	x	d			
第398図	CSP-217	EX-162	CSP-217×SD-08	50	39	19	b	a			
第390図	CSP-218	EW-161	CSP-218×SD-11	36	29	37	f	d			
第402図	CSP-219	FA-161		28	24	14	h	a			柱礎跡有
第402図	CSP-220	FA-160	CSP-220×CSP-221	25	22	18	f	a			
第402図	CSP-221	FA-160	CSP-221×CSP-220, 222	37	(30)	29	e	d			
第402図	CSP-222	FA-160	CSP-222×CSP-221	44	28	9	e	d			
第402図	CSP-223	FA-160		30	25	17	e	d	土師磁環1点 (第409図531)	平安時代	
第390図	CSP-224	EW-162		48	41	16	e	a			
第390図	CSP-225	EW-162		38	38	24	e	d			
第390図	CSP-226	EW-162	CSP-226×SD-06	31	(25)	17	e	e			柱礎跡有
第405図	CSP-227	FC-159・160	CSP-227×SD-39	34	30	30	h	a			
第405図	CSP-228	FC-159		56	44	18	f	d			
第407図	CSP-230	FD-159		38	29	11	e	c			
第405図	CSP-231	FC-159・160	CSP-231×SD-39, CSP-232	38	33	30	f	a			
第405図	CSP-232	FC-159・160	SD-39×CSP-232×CSP-231	33	(16)	16	e	h			
第390図	CSP-233	EW-162	CSP-233×SD-08	50	44	27	e	a			
第405図	CSP-234	FB-159		26	23	11	h	a			
第405図	CSP-235	FB-159		36	34	22	f	j	土師磁環1点 (第409図532)	平安時代	
第405図	CSP-236	FB-160	CSP-236×SD-38	41	36	36	e	a			
第405図	CSP-237	FC-160		30	28	20	h	d			柱礎跡有
第390図	CSP-238	EW-162	CSP-238×SD-06	41	23	14	e	a			
第391図	CSP-239	EW-162	CSP-239×CSP-240	42	(28)	14	e	c			
第391図	CSP-240	EW-162	CSP-240×CSP-239	37	(22)	9	e	h			
第398図	CSP-241	EX-161	CSP-241×CSK-13, SD-09	45	33	20	e	a			
第391図	CSP-242	EW-163		54	47	14	c	d			
第391図	CSP-243	EW-163		20	20	17	e	h			
第389図	CSP-245	EW-163		32	(27)	24	e	a			
第389図	CSP-246	EW-163	CSP-246×CSP-31	45	(25)	25	e	d			
第403図	CSP-247	EZ-160	CSP-247×CSE-04	74	(32)	24	e	c			
第407図	CSP-248	FD-159		20	18	25	c	e			
第407図	CSP-249	FD-159	CSP-249×CSP-347	47	32	22	b	e			
第407図	CSP-250	FD-159		29	26	13	e	a			
第405図	CSP-251	FD-159		20	19	8	h	a			
第406図	CSP-252	FD-159		27	24	21	h	d			柱礎跡有
第406図	CSP-253	FD-159・160		24	21	12	h	a			
第406図	CSP-254	FC-160		35	33	27	h	e			
第406図	CSP-255	FC-160	CSP-255×CSP-256	23	(21)	26	e	d			

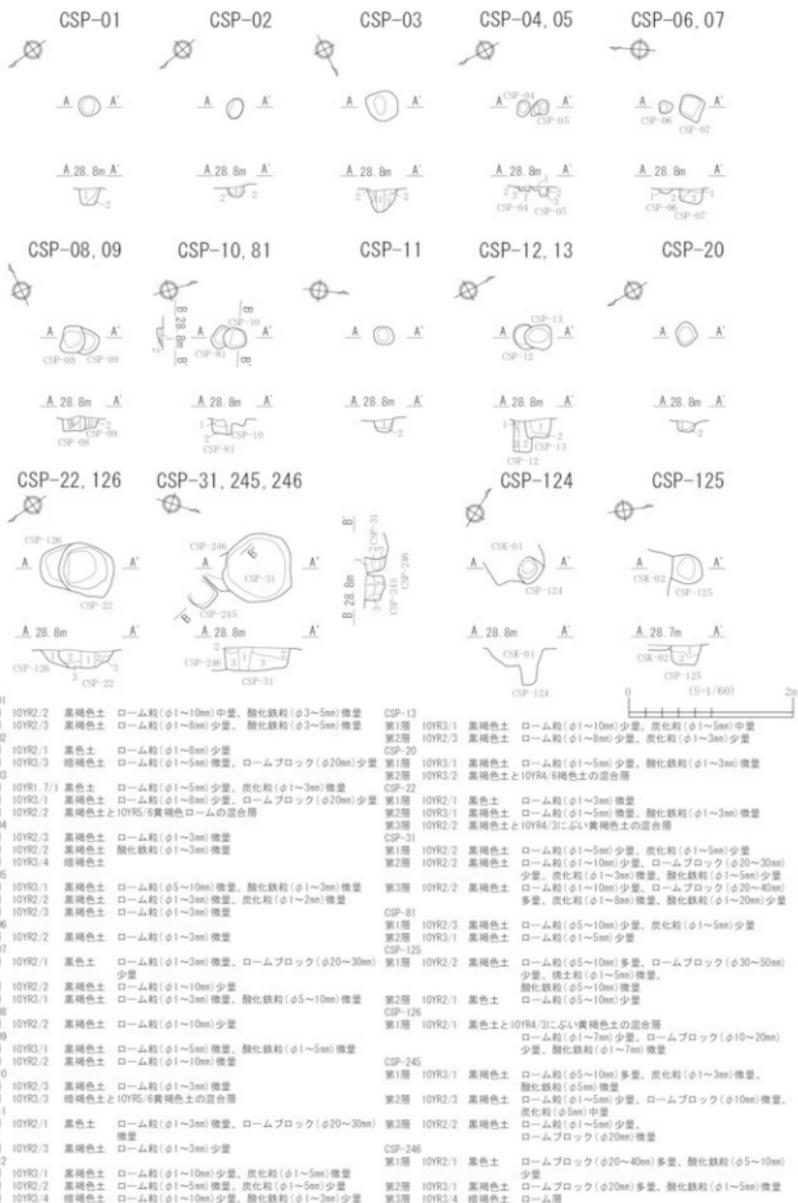
川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡 発掘調査報告書

図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第406図	CSP-256	FC-160	CSP-256<CSP-255	20	18	12	f	e			
第407図	CSP-257	FE-159		34	29	40	e	a	溝意遺構1点 (第409図533)	平安時代	
第407図	CSP-258	FF-158・159	CSP-258<CSP-284-285 CSP-259と新旧不明	29	28	13	e	d			
第407図	CSP-259	FF-158・159	CSP-260<CSP-259 <CSP-285 CSP-258と新旧不明	28	23	22	e	a			
第407図	CSP-260	FF-159	CSP-260<CSP-259, 261, 285-286	30	21	38	e	d			
第407図	CSP-261	FF-159	CSP-261<CSP-260	27	23	8	e	a			
第407図	CSP-262	FF-159		20	17	11	e	g			
第407図	CSP-263	FE・FF-158		29	(16)	6	e	a			
第408図	CSP-264	FE-159		28	24	27	e	a			
第408図	CSP-265	FE-159	CSP-265<CSP-267	23	21	16	e	h			
第408図	CSP-266	FE-159	CSP-266<CSP-267 CSP-267<CSP-265-266	29	22	10	e	d			
第408図	CSP-267	FE-159		28	(23)	6	e	x			
第403図	CSP-268	FA-161	CSP-268<CSP-282-283	21	14	4	f	a			
第403図	CSP-269	FA-161	CSP-269<CSP-282-283	45	38	33	e	c			
第403図	CSP-270	FA-161		40	36	38	e	a			
第406図	CSP-271	FB-160		29	24	30	c	a			
第403図	CSP-272	FA-161		41	27	30	f	d			
第403図	CSP-273	FA-161		34	27	33	f	d			
第403図	CSP-274	FA-161	CSP-274<CSK-22	21	18	13	e	h			
第403図	CSP-275	EZ・FA-161		27	25	10	e	a			
第403図	CSP-276	FA-161		32	22	22	e	a			柱礎跡有
第403図	CSP-277	EZ-161		33	27	40	e	d			柱礎跡有
第403図	CSP-278	EZ-161・162		30	28	21	e	e			
第403図	CSP-279	EZ・FA-161		28	25	14	h	a			柱礎跡有
第403図	CSP-280	EZ-161		27	23	11	c	h			
第403図	CSP-281	EZ-161		15	14	7	e	h			
第403図	CSP-282	FA-161	CSP-282<CSP-268-269 CSP-283と新旧不明	32	(25)	26	e	d			
第403図	CSP-283	FA-161	CSP-283<CSP-268-269 CSP-282と新旧不明	(30)	(15)	14	x	h			
第408図	CSP-284	FF-159	CSP-284<CSP-258-285	(10)	(5)	4	x	a			
第408図	CSP-285	FF-159	CSP-284<CSP-285 <CSP-258-259-260	(24)	22	9	e	e			
第408図	CSP-286	FF-159	CSP-285<CSP-286 <CSP-260	(19)	(13)	13	e	c			
第408図	CSP-287	FE・FF-158・159		25	24	18	e	a			
第408図	CSP-288	FE-159	CSP-288<CSP-309	59	30	15	e	c			
第403図	CSP-289	EZ-161	CSP-289<SD-21	38	37	28	c	a			
第403図	CSP-290	EZ-161・162	SD-21<CSP-290< CSP-291	37	(34)	22	c	c			
第403図	CSP-291	EZ-162	CSP-291<SD-21, CSP-290	23	20	18	d	g			柱礎跡有
第403図	CSP-292	EZ-161・162	CSP-292<SD-21, CSP-293	33	23	20	f	a			
第403図	CSP-293	EZ-162	SD-21<CSP-293< CSP-292	24	(13)	24	e	a			
第403図	CSP-294	FA-161	CSP-294<SD-22	21	20	24	f	j			
第404図	CSP-296	EZ-162	SD-21<CSP-296< CSP-297	50	(26)	42	f	a			
第404図	CSP-297	EZ-162	SD-21<CSP-297< CSP-298	36	28	48	e	a			
第404図	CSP-298	EZ-162	CSP-298<SD-21, CSP-297	35	31	15	e	d			
第404図	CSP-299	EZ-162		30	20	9	e	a			
第404図	CSP-300	EZ-162		20	18	14	c	a			
第408図	CSP-301	FD-159		(23)	20	7	e	h			
第408図	CSP-302	FD-159		28	26	16	h	h			
第408図	CSP-303	FD-159		21	17	14	f	a			
第408図	CSP-304	FD-159		39	29	7	e	d			柱礎跡有
第408図	CSP-305	FD-159		34	28	15	h	a			
第406図	CSP-306	FD-159・160	CSP-306<CSP-307, 318	31	26	33	e	c			
第406図	CSP-307	FD-159・160	CSP-307<CSP-306 CSP-307>CSP-318	40	(18)	15	e	d			
第406図	CSP-308	FC-160		21	17	18	f	a			
第408図	CSP-309	FE-158・159	CSP-309<CSP-288	28	(16)	20	e	a			
第399図	CSP-310	EX-163	CSP-311・312> CSP-310<CSP-313	(25)	(18)	9	x	x			

図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第399図	CSP-311	EX-163	CSK-20、CSP-310<CSP-311<CSP-312	55	42	13	e	d			
第399図	CSP-312	EX-163	CSP-312<CSP-310、311、313	40	26	36	e	a			
第399図	CSP-313	EX-163	CSP-313<CSP-310、312	40	(31)	23	e	a			
第399図	CSP-314	EX-163		18	16	25	e	c			
第399図	CSP-315	EX-163	CSP-315<CSP-316	45	35	8	c	d			
第399図	CSP-316	EX-163	CSP-316<CSP-315	25	22	19	h	e			
第399図	CSP-317	EX-163	CSP-317<CSP-337	52	48	15	e	a			
第406図	CSP-318	FD-160	CSP-318<CSP-307、306	(20)	(16)	24	x	g			
第408図	CSP-319	FD-159	CSP-319<SD-40、CSP-320	50	(25)	17	x	x			
第408図	CSP-320	FD-159	CSP-319<CSP-320<CSP-321	38	(32)	21	e	e			
第408図	CSP-321	FD-159	CSP-321<CSP-320	37	24	14	f	c			
第399図	CSP-322	EY-162		47	37	16	f	d			
第399図	CSP-323	EY-162		25	23	12	h	d			
第399図	CSP-324	EX-163	CSP-324<SD-08	43	34	23	f	a			
第399図	CSP-325	EY-162	CSP-325<CSP-326	28	23	6	e	h			
第399図	CSP-326	EX・EY-162	CSP-326<CSP-326<CSP-327	(20)	18	24	e	e			
第399図	CSP-327	EX・EY-162	CSP-327<CSP-326	24	(19)	30	e	g			
第399図	CSP-328	EX-163		29	24	29	f	a			
第399図	CSP-329	EY-162	CSP-329<新旧不明	52	34	48	f	a			
第393図	CSP-330	EY-162	CSP-330<CSP-331、41	56	(20)	10	e	d			
第393図	CSP-331	EY-162	CSP-330<CSP-331<CSP-41	(25)	(15)	35	x	x			
第391図	CSP-334	EX-163	CSP-334<ASK-39	52	45	30	c	i	土師器片1点 (第409図34)	平安時代	
第399図	CSP-336	EX-163	CSP-336<SD-08	38	28	29	e	a			
第399図	CSP-337	EX-163	CSP-337<CSP-317	17	16	18	x	a			
第404図	CSP-338	EZ-162	CSP-338<SD-21	35	22	24	f	c			
第399図	CSP-339	EY-162	CSP-329<新旧不明	88	23	44	g	a			
第404図	CSP-341	FA-161		23	21	27	e	a			柱礎残存
第399図	CSP-342	EY-162	CSP-342<CSE-07	42	33	67	e	f			
第404図	CSP-343	FA-161		19	18	17	a	a			
第404図	CSP-344	FA-161	CSP-344<CSK-22	26	25	28	a	a			
第404図	CSP-345	FA-161		21	16	20	a	d			
第401図	CSP-346	EZ-160	CSP-113<新旧不明	23	19	25	e	d			
第407図	CSP-347	FD-159	CSP-347<CSP-249	23	(18)	23	e	i			
第398図	CSP-348	EX-161	CSP-173、182<CSP-348<CSP-185	38	(27)	38	e	h			
第391図	CSP-349	EW-163	CSP-349<CSK-16	23	10	20	b	a			
第391図	CSP-350	EW-162	CSP-350<SD-08	60	52	8	b	d			
第391図	CSP-351	EW-162	CSP-351<SD-08	33	27	20	e	a			柱礎跡有
第391図	CSP-352	EW-162	CSP-352<SD-08	32	29	34	c	a			
第391図	CSP-353	EW-162	CSP-353<SD-08	41	35	23	e	a			
第406図	CSP-354	FB-159	SD-29<CSP-354<CSP-355	27	(20)	27	e	d			
第406図	CSP-355	FB-159	CSP-355<SD-29、CSP-354、356	35	26	28	e	e			柱礎跡有
第406図	CSP-356	FB-159	SD-29<CSP-356<CSP-355	(22)	17	14	e	a			
第406図	CSP-357	FB-160	CSP-357<SD-29	34	(18)	30	e	i			
第406図	CSP-358	FB-160	CSP-358<SD-38	28	26	24	h	e			柱礎跡有
第406図	CSP-359	FB-160	CSP-359<SD-38	32	25	6	e	a			
第391図	CSP-360	EW-161	CSP-360<SD-10	19	16	10	f	d			
第399図	CSP-361	EX-161	CSP-361<SD-10	21	20	25	h	d			
第399図	CSP-362	EX-161	CSP-362<SD-10	28	17	19	g	a [一部遺]			
第399図	CSP-363	EX-161	CSP-363<SD-10	42	34	19	h	e			柱礎残存
第399図	CSP-364	EY-160	CSK-07<CSP-364<SD-10	28	24	12	b	a			
第404図	CSP-365	FA-161		22	20	11	c	d			
第404図	CSP-366	FA-161	CSP-366<SD-22	35	26	16	e	g			
第404図	CSP-367	FA-161	CSP-367<SD-22	32	24	19	f	h			
第404図	CSP-368	FA-161	CSP-368<SD-23	22	20	20	c	c			
第404図	CSP-369	FA-160	CSP-369<SD-23	47	31	22	f	e			
第404図	CSP-370	EZ-160	CSP-370<SD-23	42	24	22	e	d			
第404図	CSP-371	EZ-160	CSP-371<SD-23	31	26	18	b	i			
第399図	CSP-372	EX-161	CSP-372<SD-10	17	15	14	d	d			



第387図 中道遺跡C区SP分割図



第389図 中道遺跡C区SPあ(1)

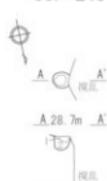
CSP-239, 240



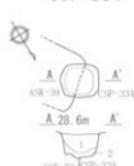
CSP-242



CSP-243



CSP-334



CSP-349



CSP-350, 351



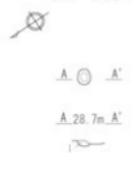
CSP-352



CSP-353



CSP-360



CSP-239

第1層 10YR1.7/1黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層

ローム粒(φ1~10mm)微量、ロームブロック(φ40mm)少量

CSP-240

第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

CSP-242

第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量

CSP-243

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/2

黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

CSP-334

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

第2層 10YR2/2

黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

CSP-349

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量

CSP-350

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)微量、ロームブロック(φ20~50mm)中量、酸化鉄粒(φ2mm)少量

CSP-351

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~50mm)中量

第2層 10YR3/2

黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層

CSP-353

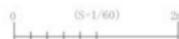
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄(φ1~50mm)少量

第2層 10YR2/2

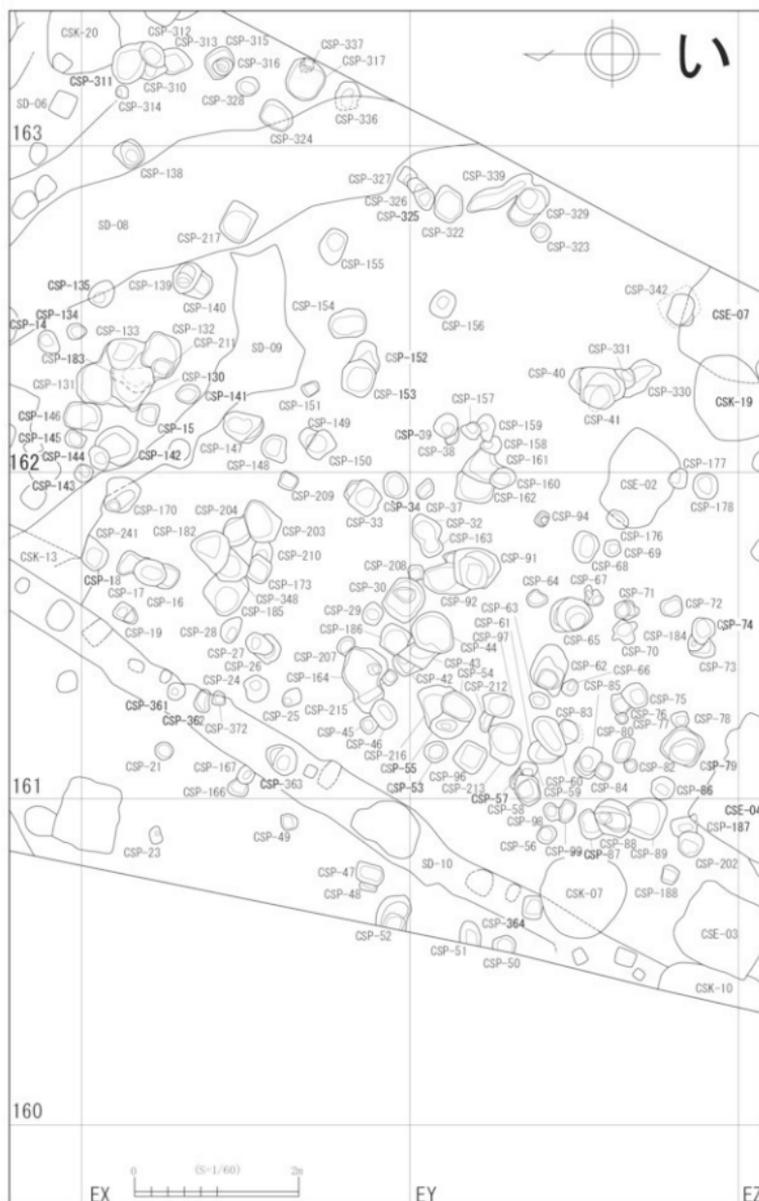
黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄(φ1~20mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量

CSP-360

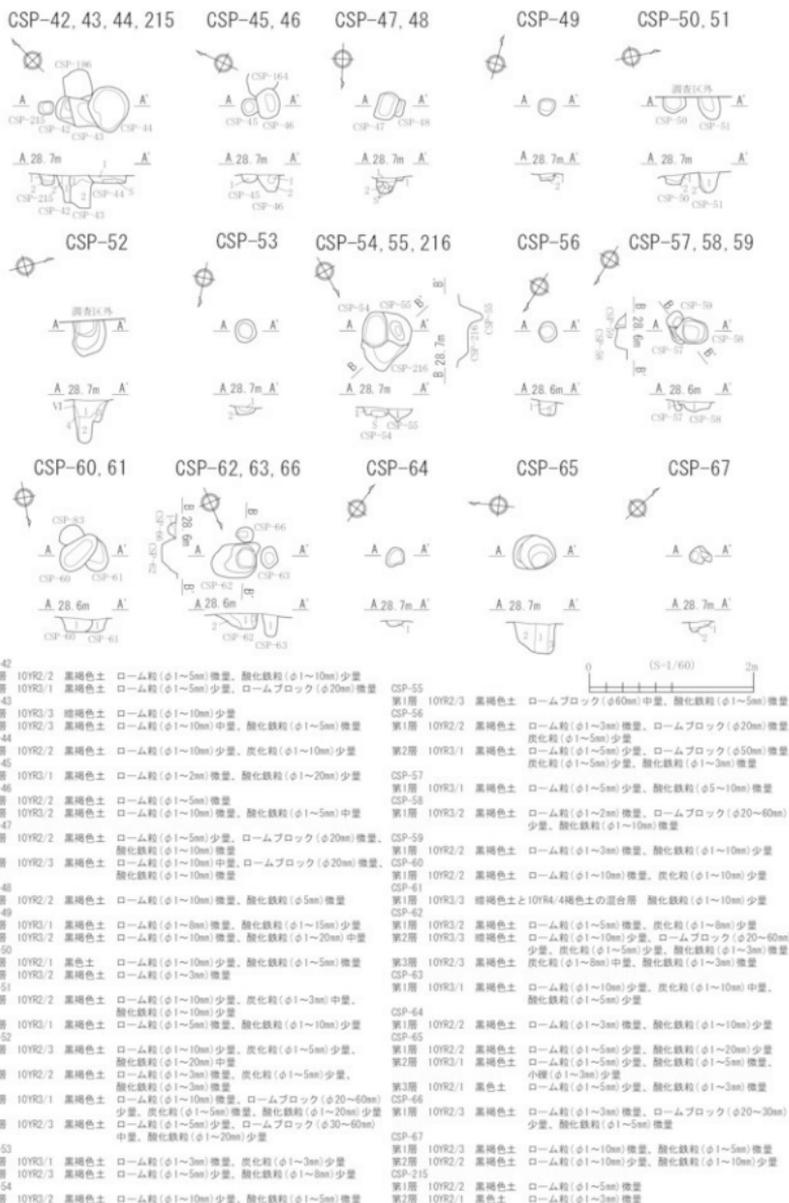
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量



第391図 中道遺跡C区SPあ(3)



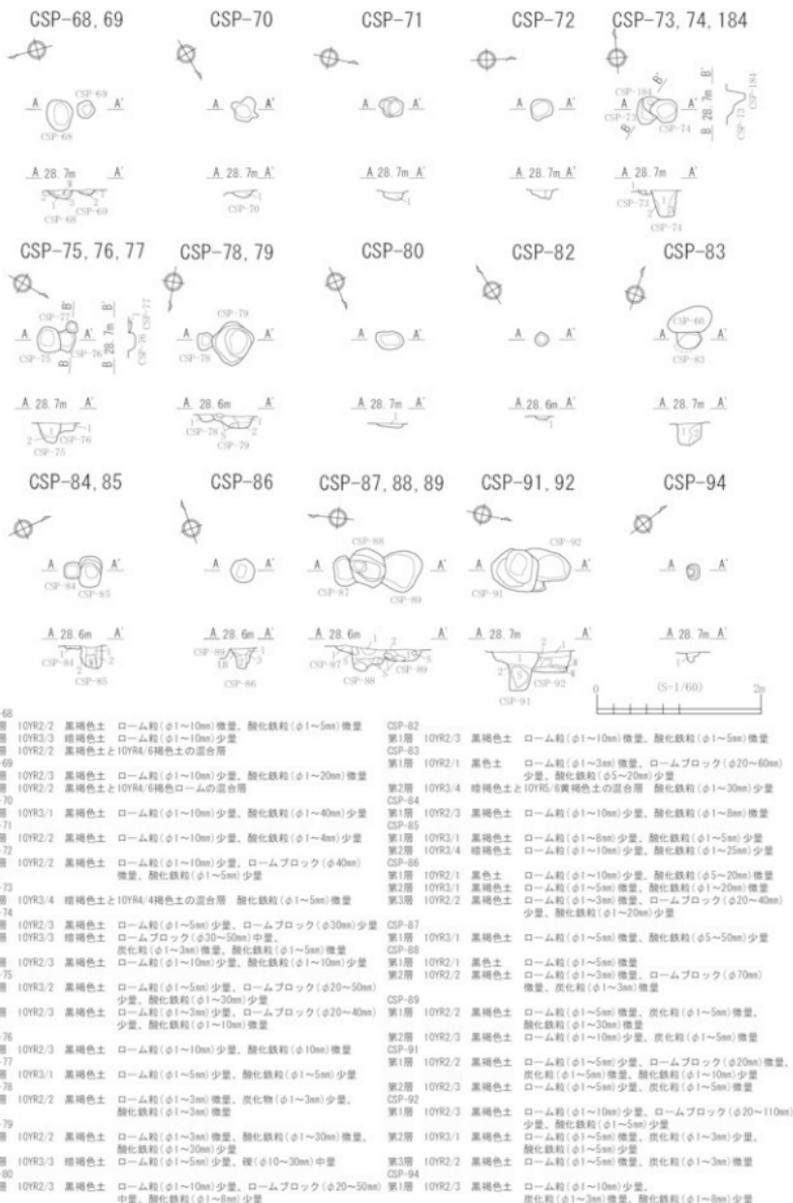
第392図 中道遺跡C区SP区分図い



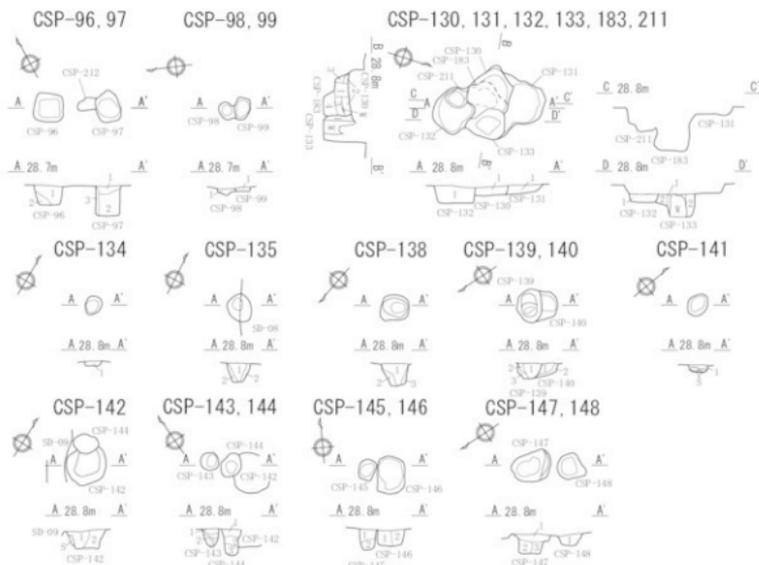
CSP-42	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。ロームブロック(φ20mm)微量
CSP-43	第1層 10YR2/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
CSP-44	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。炭化粒(φ1~10mm)少量
CSP-45	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
CSP-46	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
CSP-47	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。ロームブロック(φ20mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量。ロームブロック(φ20mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
CSP-48	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。酸化鉄粒(φ5mm)微量
CSP-49	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量。酸化鉄粒(φ1~15mm)少量
	第2層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。酸化鉄粒(φ1~20mm)中量
CSP-50	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
CSP-51	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。炭化粒(φ1~3mm)中量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-52	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~20mm)中量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。ロームブロック(φ20~60mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)微量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第4層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。ロームブロック(φ30~60mm)中量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
CSP-53	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量。炭化粒(φ1~3mm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
CSP-54	第1層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

CSP-55	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ60mm)中量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量。ロームブロック(φ20mm)微量。炭化粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。ロームブロック(φ50mm)微量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
CSP-57	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ5~10mm)微量
CSP-58	第1層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量。ロームブロック(φ20~60mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
CSP-59	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-60	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。炭化粒(φ1~10mm)少量
CSP-61	第1層 10YR3/3	暗褐色土	10YR4/4褐色土との混合層。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。炭化粒(φ1~8mm)少量
	第3層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。ロームブロック(φ20~60mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第4層 10YR2/3	黒褐色土	炭化粒(φ1~8mm)中量。酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
CSP-63	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。炭化粒(φ1~10mm)中量。酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
CSP-64	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-65	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。ロームブロック(φ20~30mm)少量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
CSP-67	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量。酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第4層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量

第394図 中道遺跡C区SPい(2)



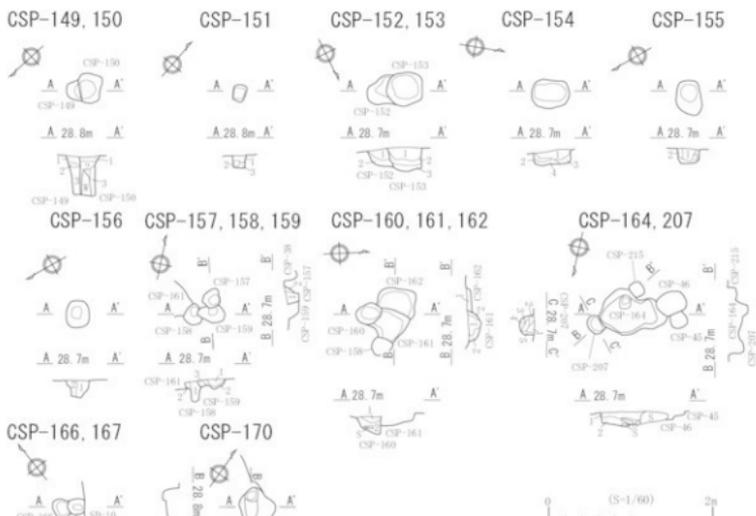
第395図 中道遺跡C区SPい(3)



CSP-96	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量
CSP-97	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR2/1	高褐色土	ロームブロック(φ30~40mm)少量
CSP-99	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
CSP-130	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量
CSP-131	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ5~10mm)微量
CSP-132	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化鉄粒(φ5~25mm)微量
CSP-133	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化鉄粒(φ1~10mm)微量
CSP-134	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化鉄粒(φ5~10mm)微量
CSP-135	第1層 10YR3/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第2層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)微量、炭化鉄粒(φ1~5mm)少量
CSP-138	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~60mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ5~20mm)微量
	第2層 10YR3/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~100mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/2	高褐色土と10YR4.4褐色土の混合層	
CSP-139	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~15mm)微量
	第2層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化鉄粒(φ1~30mm)少量
CSP-140	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/1	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第4層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量

CSP-141	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-142	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第2層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-143	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/3	高褐色土と10YR4.4褐色土の混合層	炭化鉄粒(φ1~20mm)微量
	第3層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
CSP-144	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
CSP-145	第1層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量
	第2層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄粒(φ1~20mm)微量
CSP-146	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~15mm)少量
	第2層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~15mm)少量
CSP-147	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/1	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、ロームブロック(φ80mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)中量
CSP-148	第1層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ40~50mm)少量、炭化鉄粒(φ1~20mm)少量
CSP-183	第1層 10YR2/2	高褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR3/1	高褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ20~50mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~8mm)少量
	第3層 10YR2/1	高褐色土	炭化骨ブロック(φ20mm)微量、炭化鉄粒(φ1~8mm)微量
	第4層 10YR2/3	高褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量

第396図 中道遺跡C区SPい(4)

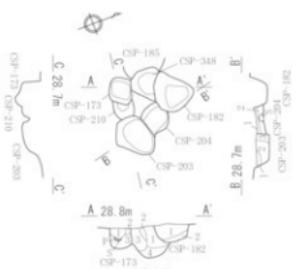


CSP-149	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
CSP-150	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)、炭化粒(φ1~8mm)少量
CSP-151	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ5~10mm)微量
	第2層 10YR2/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20mm)少量
CSP-152	第1層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
CSP-153	第1層 10YR1/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20~50mm)少量、酸化鉄粒(φ1~15mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
CSP-154	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ25mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~15mm)少量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~30mm)少量
CSP-155	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	10YR4/3に ϕ 15黄褐色ロームの混合層、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第3層 10YR4/3 暗褐色土	10YR4/4褐色ロームの混合層、ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量
CSP-156	第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-157	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)微量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

CSP-158	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~30mm)少量
	第2層 10YR2/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)微量
CSP-159	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ30mm)微量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ20mm)微量
CSP-160	第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
CSP-161	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ20~70mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量
CSP-162	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
CSP-164	第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	10YR4/4褐色土の混合層、ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
CSP-166	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
	CSP-167	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)微量
CSP-170	第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~15mm)少量
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
CSP-207	第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第4層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第5層 10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第397図 中道遺跡C区SPい(5)

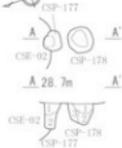
CSP-173, 182, 203, 204, 210, 348



CSP-176

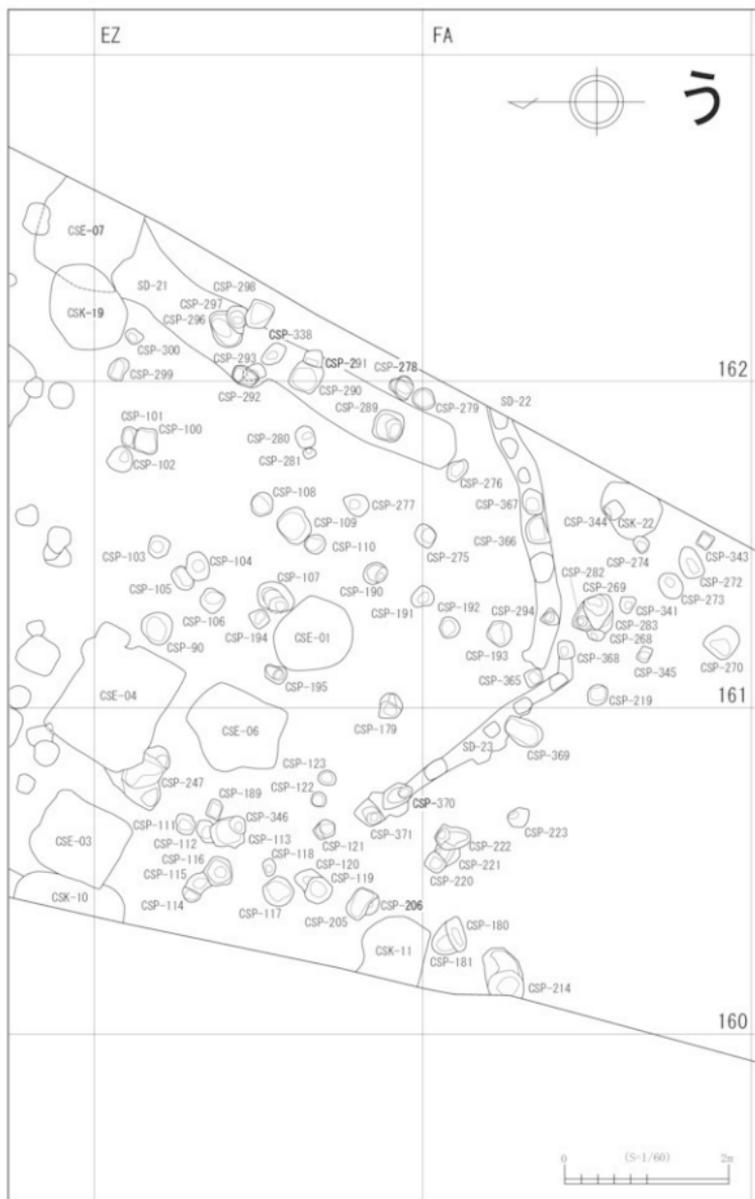


CSP-177, 178

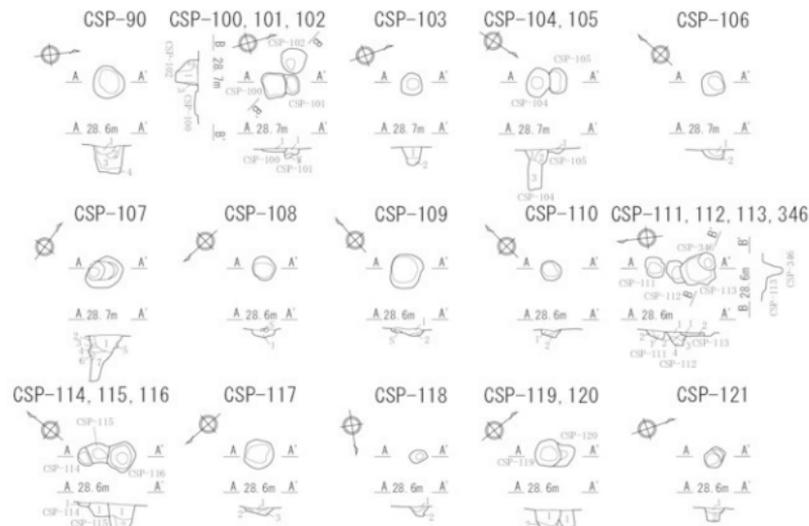


CSP-185





第400図 中道遺跡C区SP区分図



- CSP-90
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)中量、酸化鉄粒(φ1~15cm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量
CSP-100
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、酸化鉄粒(φ1~20cm)微量
CSP-101
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~30cm)少量
CSP-102
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10cm)中量、炭化粒(φ1~5mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 10YR4/3に3%黄褐色土の混入層
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、酸化鉄粒(φ1~10cm)微量
CSP-103
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ20cm)中量
CSP-104
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ20~30cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ30cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
第5層 10YR3/1 黒褐色土 10YR4/3に3%黄褐色土の混入層
ローム粒(φ1~10cm)少量
CSP-105
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40cm)中量
CSP-106
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)微量、ロームブロック(φ20~40cm)少量、炭化粒(φ1~2cm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 酸化鉄粒(φ1~10cm)微量
CSP-107
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、酸化鉄粒(φ1~20cm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ30~40cm)中量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)微量、酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 10YR3/3暗赤褐色土の混入層
酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第5層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)微量
第6層 10YR2/1 黒色土 10YR4/4褐色土の混入層
第7層 10YR2/2 黒褐色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20cm)少量
CSP-108
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
CSP-109
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、炭化粒(φ1~3cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
ロームブロック(φ40cm)微量
CSP-110
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)微量、酸化鉄粒(φ1~30cm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40cm)微量、酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
CSP-111
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、酸化鉄粒(φ1~20cm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)微量、ロームブロック(φ30cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ15mm)微量
CSP-112
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、炭化粒(φ1~3cm)微量、酸化鉄粒(φ5~20cm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)微量、酸化鉄粒(φ10~30cm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ35cm)少量、酸化鉄粒(φ30~35cm)微量
第4層 10YR2/2 黒褐色土 5YR4/6暗赤褐色土の混入層
ロームブロック(φ50cm)少量
CSP-113
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)微量、ロームブロック(φ50cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 5YR4/6暗赤褐色土の混入層
ロームブロック(φ20~30cm)少量
CSP-114
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5cm)微量、ロームブロック(φ30cm)少量、酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
CSP-115
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~40cm)少量
CSP-116
第1層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10cm)微量、ロームブロック(φ30~40cm)、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、酸化鉄粒(φ1~10cm)中量
第3層 10YR2/1 黒色土 10YR4/3に3%黄褐色土の混入層
酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-117
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)少量、ロームブロック(φ20cm)微量、酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 10YR5/6黄褐色土の混入層 砂まじり
第3層 10YR2/2 黒褐色土 10YR4/4褐色土の混入層
酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
CSP-118
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
CSP-119
第1層 10YR2/2 黒褐色土 5YR4/6暗赤褐色土の混入層
ローム粒(φ1~10cm)少量、ロームブロック(φ30cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、ロームブロック(φ40cm)微量、酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
CSP-120
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量、ロームブロック(φ20~40cm)少量、炭化粒(φ1~30cm)少量、酸化鉄粒(φ1~30cm)少量
CSP-121
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10cm)微量、炭化粒(φ1~10cm)微量、酸化鉄粒(φ1~30cm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 5YR4/6暗赤褐色土の混入層
ロームブロック(φ50cm)少量

第401図 中道遺跡C区SPう(1)

CSP-122, 123



A 28.6m A'



CSP-191



A 28.6m A'



CSP-179



A 28.6m A'



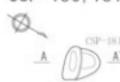
CSP-192



A 28.6m A'



CSP-180, 181



A 28.6m A'



CSP-193



A 28.6m A'



CSP-189



A 28.6m A'



CSP-190



A 28.6m A'



CSP-191



A 28.6m A'



CSP-192



A 28.6m A'



CSP-193



A 28.6m A'



CSP-194



A 28.6m A'



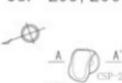
CSP-195



A 28.6m A'



CSP-205, 206



A 28.5m A'



CSP-214



A 28.5m A'



CSP-219



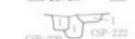
A 28.5m A'



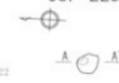
CSP-220, 221, 222



A 28.5m A'



CSP-223



A 28.5m A'



CSP-122

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ5~30mm)少量

CSP-123

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ5~30mm)少量

第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4.4褐色土の混合層

CSP-179

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)中量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

CSP-180

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

CSP-181

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR3.4暗褐色土の混合層
ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量

CSP-189

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量

CSP-190

第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量

CSP-191

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

CSP-192

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

CSP-193

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量

CSP-194

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量

第2層 10YR3/1 黒褐色土

ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第3層 10YR3/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄粒(φ1~5mm)少量



CSP-195

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量

CSP-205

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量

CSP-214

第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR3.4暗褐色土の混合層
ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/3 黒褐色土

ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量

第3層 10YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

第4層 10YR2/1 黒色土

ローム粒(φ1~10mm)微量、炭化鉄粒(φ1~10mm)微量

CSP-219

第1層 10YR2/3 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~30mm)多量

第3層 10YR3/2 黒褐色土

と10YR4.6褐色土の混合層
ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~10mm)少量

第4層 10YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第5層 10YR3.4 暗褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量

CSP-220

第1層 10YR3/1 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)微量、炭化鉄粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ10mm)微量

CSP-221

第1層 10YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化鉄粒(φ1~2mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量

CSP-222

第1層 10YR2/1 黒色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

CSP-223

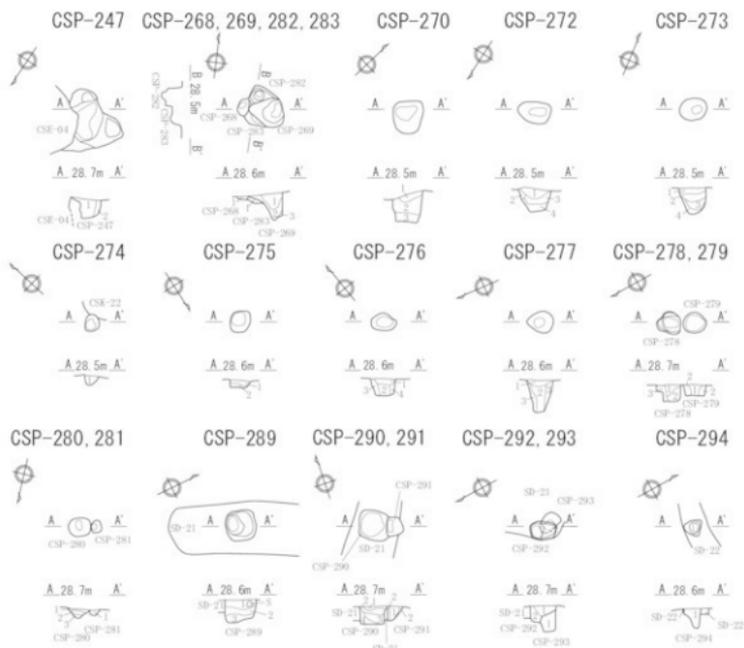
第1層 10YR2/2 黒褐色土

ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄粒(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

第2層 10YR2/1 黒色土

ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化鉄粒(φ1~3mm)微量

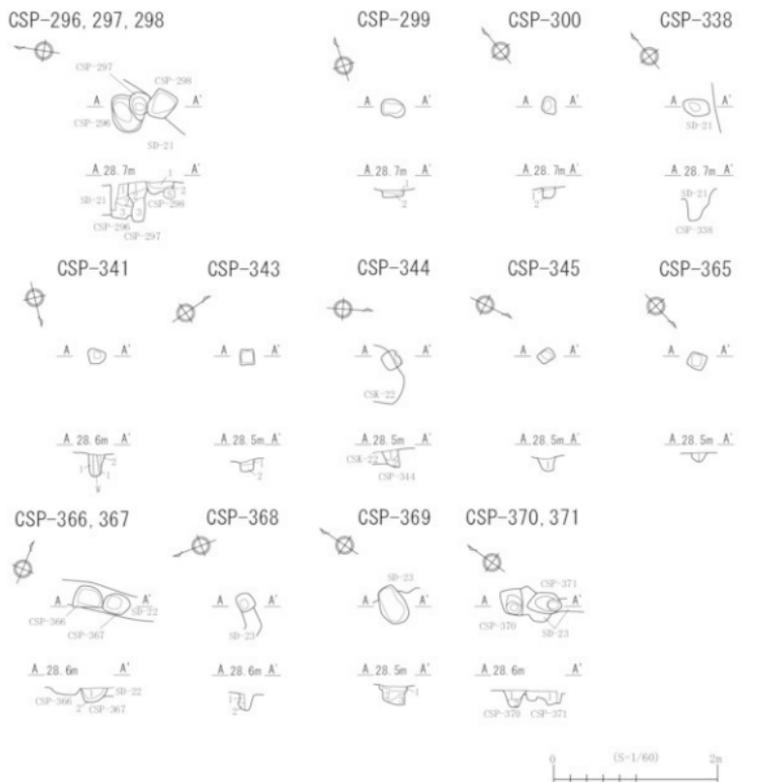
第402図 中道遺跡C区SPう(2)



CSP-247	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5cm)中量, ロームブロック(φ10~50cm)多量, 炭化粒(φ1~2cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
CSP-268	第1層 10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
CSP-269	第1層 7.5YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~10cm)多量
CSP-270	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~10cm)中量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-272	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5cm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)微量
	第4層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-273	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-274	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8cm), 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
	第4層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量
	第5層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量
	第6層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~11cm)少量
	第7層 10YR2/3	暗褐色土	10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層
CSP-277	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, ロームブロック(φ10~20cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
	第3層 10YR2/1	黒色土	少量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量

CSP-278	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量, ロームブロック(φ10~30cm)微量
CSP-279	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5cm)少量, ロームブロック(φ10~30cm)少量, 炭化粒(φ1~10cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-280	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5cm)微量, ロームブロック(φ10~30cm), 酸化鉄粒(φ1~5cm)微量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量
CSP-281	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土	7.5YR4/6褐色土の混合層
CSP-289	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, ロームブロック(φ10~40cm)中量, 炭化粒(φ1~8cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~10cm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
	第3層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 炭化粒(φ1~3cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
CSP-290	第1層 7.5YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量, 炭化粒(φ1~5cm)微量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
	第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)少量
	第4層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~2cm)中量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
CSP-292	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~5cm)中量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)中量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10cm)中量, 酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
	第4層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8cm)少量, ロームブロック(φ10~40cm)少量, 酸化鉄粒(φ1~8cm)中量

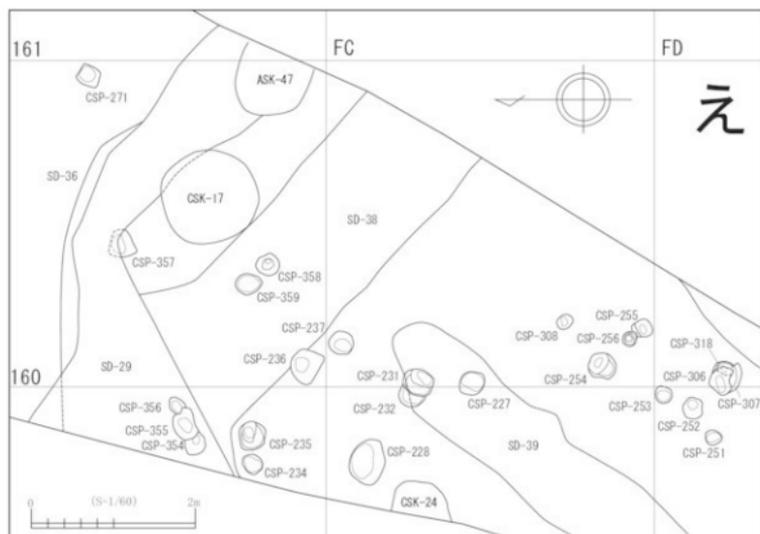
第403図 中道遺跡C区SPう(3)



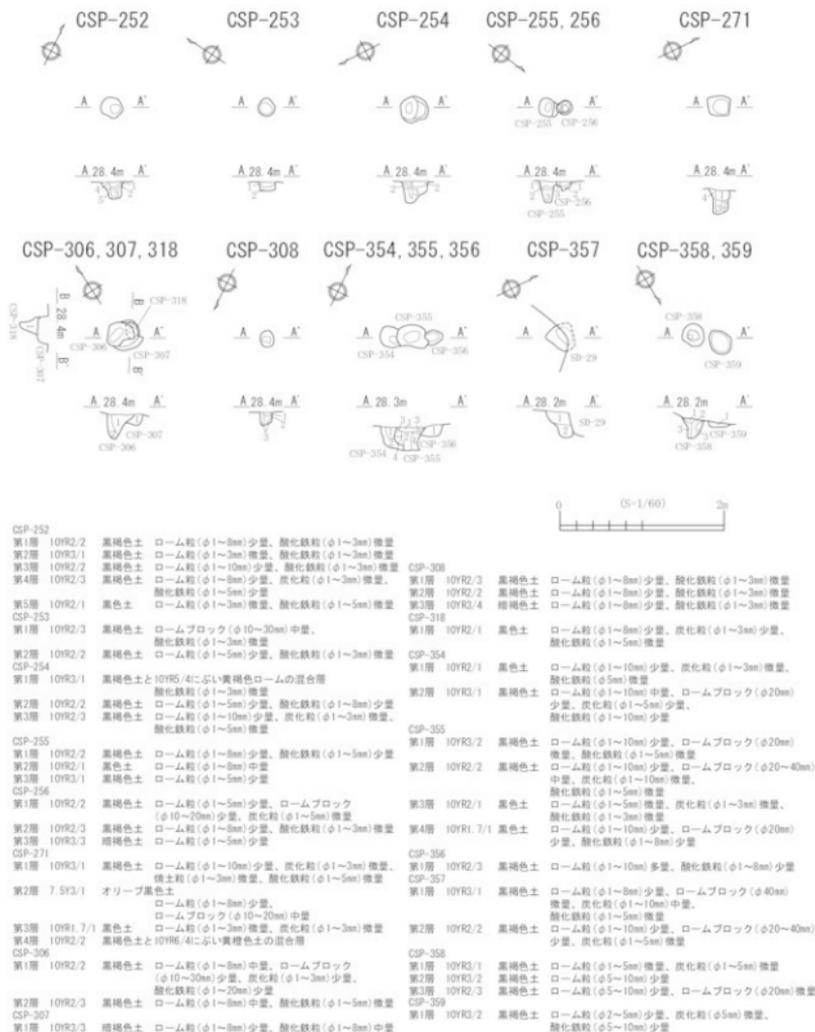
- CSP-295
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量。
 第2層 10YR2/1 黒色土 酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 CSP-296
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 CSP-297
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量
 CSP-298
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 CSP-299
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 CSP-300
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-370
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
 CSP-341
 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 CSP-343
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 CSP-344
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 CSP-345
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-365
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 CSP-366, 367
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 CSP-368
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 CSP-369
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-370, 371
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-371
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

- CSP-334
 第1層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/2灰黒褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第3層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/2灰黒褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 CSP-365
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 CSP-367
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 CSP-368
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-369
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ10mm)微量
 CSP-370
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
 CSP-371
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

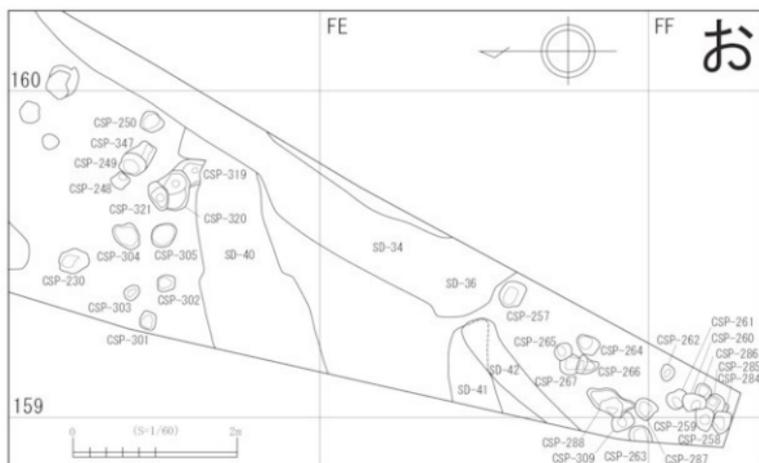
第404図 中道遺跡C区SPう(4)



第405図 中道遺跡C区SP区分図え・え(1)



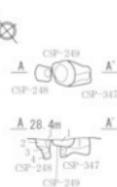
第406図 中道遺跡C区SPえ(2)



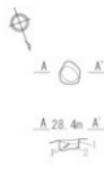
CSP-230



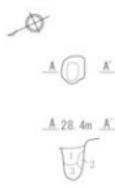
CSP-248, 249, 347



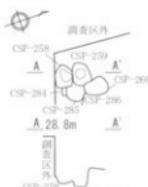
CSP-250



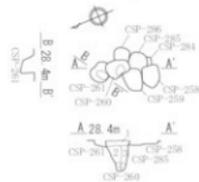
CSP-257



CSP-258, 259



CSP-260, 261



CSP-262



CSP-263



0 (S-1/60) 2m

CSP-230

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5m)微量、酸化鉄粒(φ3mm)微量

第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10m)少量、ロームブロック(φ20m)微量、

酸化鉄粒(φ5mm)微量

CSP-248

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10m)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10m)少量、ロームブロック(φ10~30m)少量、

酸化鉄粒(φ1~20m)中量

第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10m)少量

CSP-249

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~5m)微量

CSP-250

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5m)少量、酸化鉄粒(φ1~5m)微量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~5m)少量

CSP-257

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、

酸化鉄粒(φ1~8m)微量

第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、ロームブロック(φ10~20m)少量、

酸化鉄粒(φ1~5m)少量

第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)中量、ロームブロック(φ10~20m)少量、

酸化鉄粒(φ1~5m)少量

CSP-260

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第2層 7.5YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5m)少量、酸化鉄粒(φ1~8m)中量

第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~8m)少量

第4層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)中量

CSP-262

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3m)微量、炭化粒(φ1~5m)少量、酸化鉄粒

(φ1~8m)中量

第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~8m)微量

CSP-263

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~5m)微量

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8m)中量、ロームブロック(φ10~40m)少量、

酸化鉄粒(φ1~5m)微量

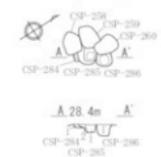
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/2灰黒褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ13mm)微量

第407図 中道遺跡C区SP区分図お・お(1)

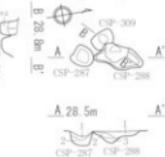
CSP-264, 265, 266, 267



CSP-284, 285, 286



CSP-287, 288, 309



CSP-301



CSP-302



CSP-303



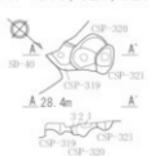
CSP-304



CSP-305



CSP-319, 320, 321

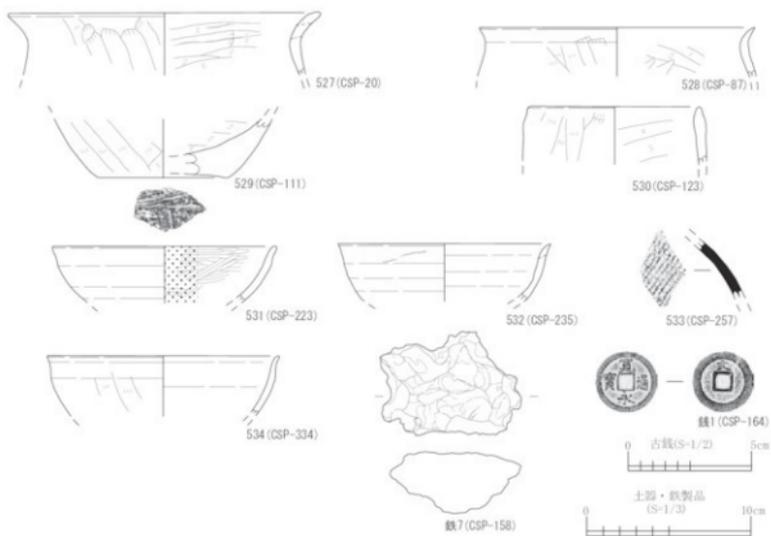


0 (S=1/60) 2m

CSP-264			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第3層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
第4層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量	
CSP-265			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量	
第3層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量	
CSP-266			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量	
CSP-267			
第1層 10YR2/1	黒褐色土と10YR4/3に多い黄褐色土の混合層		
CSP-284			
第1層 10YR3/3	暗褐色土と10YR4/3褐色土の混合層		
CSP-285			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量	
CSP-286			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
CSP-287			
第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量	
CSP-288			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
第2層 10YR2/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
CSP-309			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
CSP-319			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
CSP-320			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
CSP-321			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	

CSP-302			
第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
CSP-303			
第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	
第2層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第3層 10YR3/4	暗褐色土		
CSP-304			
第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
CSP-305			
第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
第2層 10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
CSP-309			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
CSP-319			
第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	
CSP-320			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第3層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
CSP-321			
第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	

第408図 中道遺跡C区SPお(2)



第409図 中道遺跡C区出土遺物SP

7. 遺構外出土遺物

(1) 土器

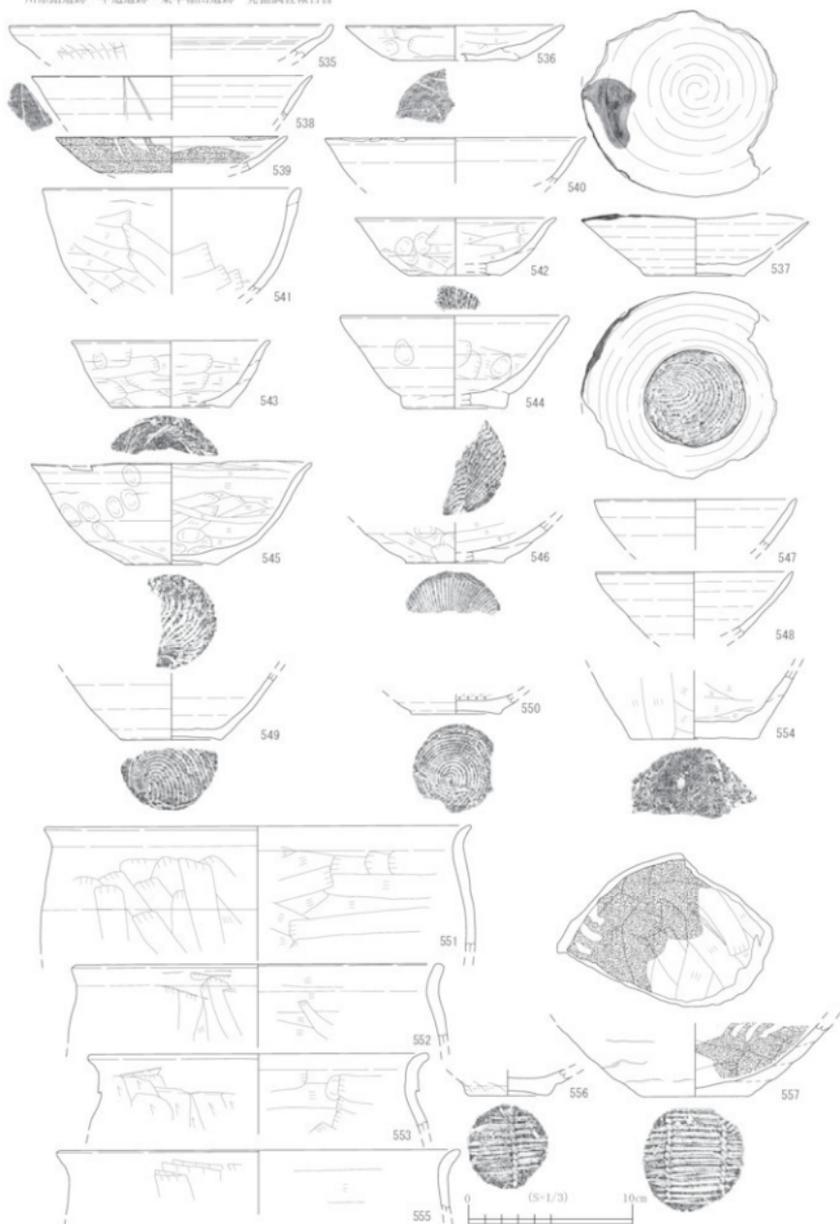
土師器皿7点、坏9点、甕31点、小甕11点、塀1点、壺2点、小壺1点、把手付土器1点、須恵器壺1点、須恵器甕4点、陶磁器1点(第410～413図535～603)を図示した。皿は7点のうち、非ロクロ3点(535・536、542)、ロクロ調整4点(537～540)である。535は非ロクロ皿の口縁部で口縁部がやや内湾する形状を呈する。536は非ロクロ皿で口縁部へ体部にかけてやや厚みのある器壁である。538は口唇部が先細る形状で外面に刻書が認められ、539は内外面油痕、537は灯明痕が認められる。坏は9点のうち、非ロクロ4点(541、543、545・546)、ロクロ調整5点(544、547～550)である。非ロクロ坏の底部調整は、545・546静止糸切、543木葉痕である。ロクロ調整の坏のうち、550は内面へラミガキによって黒色処理されている。ロクロ調整の坏の底部切離は544、549・550回転糸切である。甕は31点のうち、20点が口縁部へ体部、2点が体部、9点が体部へ底部である。口縁部へ体部の資料は、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するもの(551～553、558、560、564～570)が多く、そのほか体部がほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反するもの(555、559、561～563)、体部が丸みを帯び、口縁部へとぼまる形状のもの(573)が認められる。565、568・569は長めの口縁部を有する。体部へ底部の資料では、576、579のように柱状高台状を呈し、丸みを帯びるように立ち上がるものを除いて、直線的に開くように立ち上がる。557は内面油痕が認められる。小甕は11点のうち、口縁部へ体部3点、体部へ底部8点である。口縁部へ体部の3点は、体部がほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。体部へ底部では、直線的に開く形状のもの(586・587、589)、底部が柱状高台状になるもの(585、588、590～592)が認められる。593・594は壺で、593に比べて594の頸部が短くなっている。594は体部に焼台痕が認められる。595は小壺の体部へ底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。596は断面楕円形を呈する把手である。597は塀の口縁部で、内外面には輪積痕のほか、指頭圧痕が認められる。598は須恵器長頸壺の頸部で、頸部下にはリング状凸帯が認められる。599～602は須恵器甕の体部で、599は内面当て具痕が認められる。603は瀬戸・美濃折縁皿で内面そぎ入れが認められる。

(2) 石器・石製品

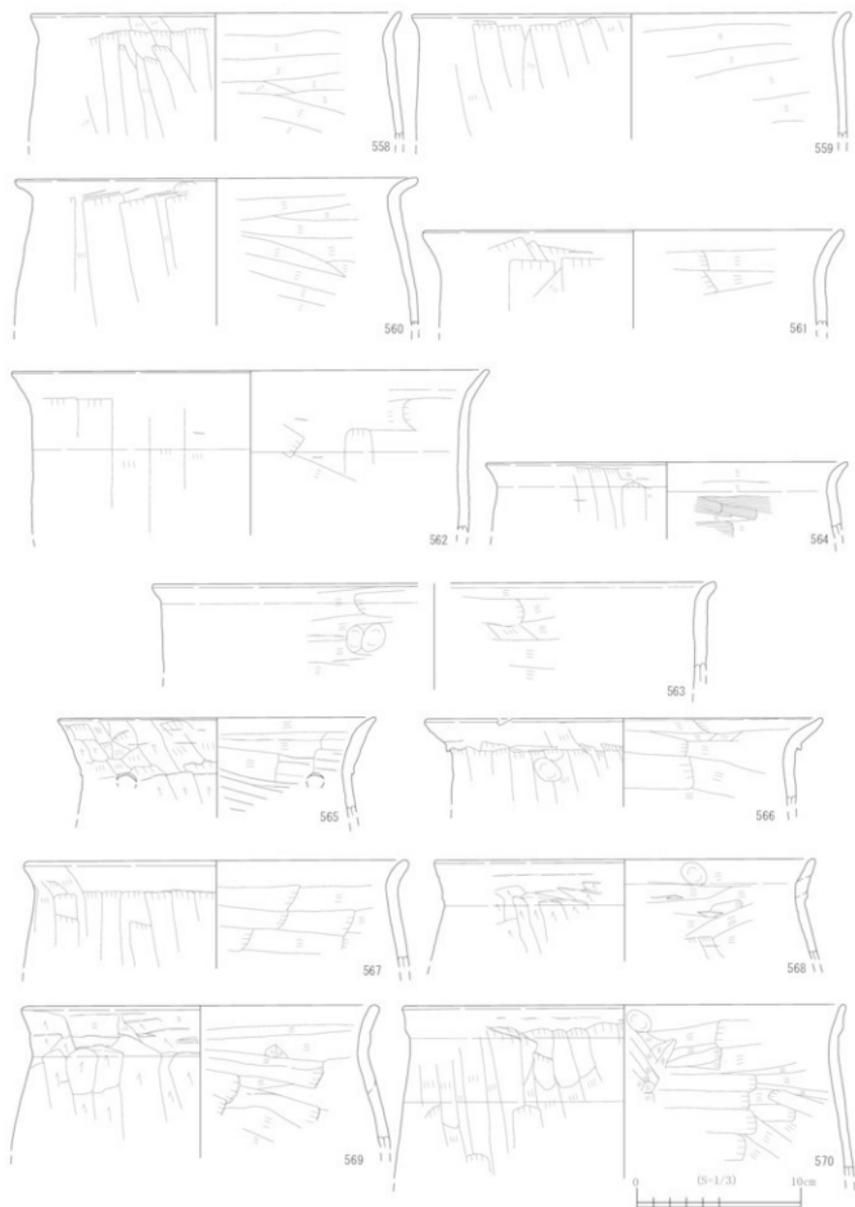
石製品1点、礫石器4点(第414図石11～15)を図示した。石12～15は小型の砥石で、石15は表面及び側面に一部磨りが認められる。石11は石臼である。

(3) 古銭

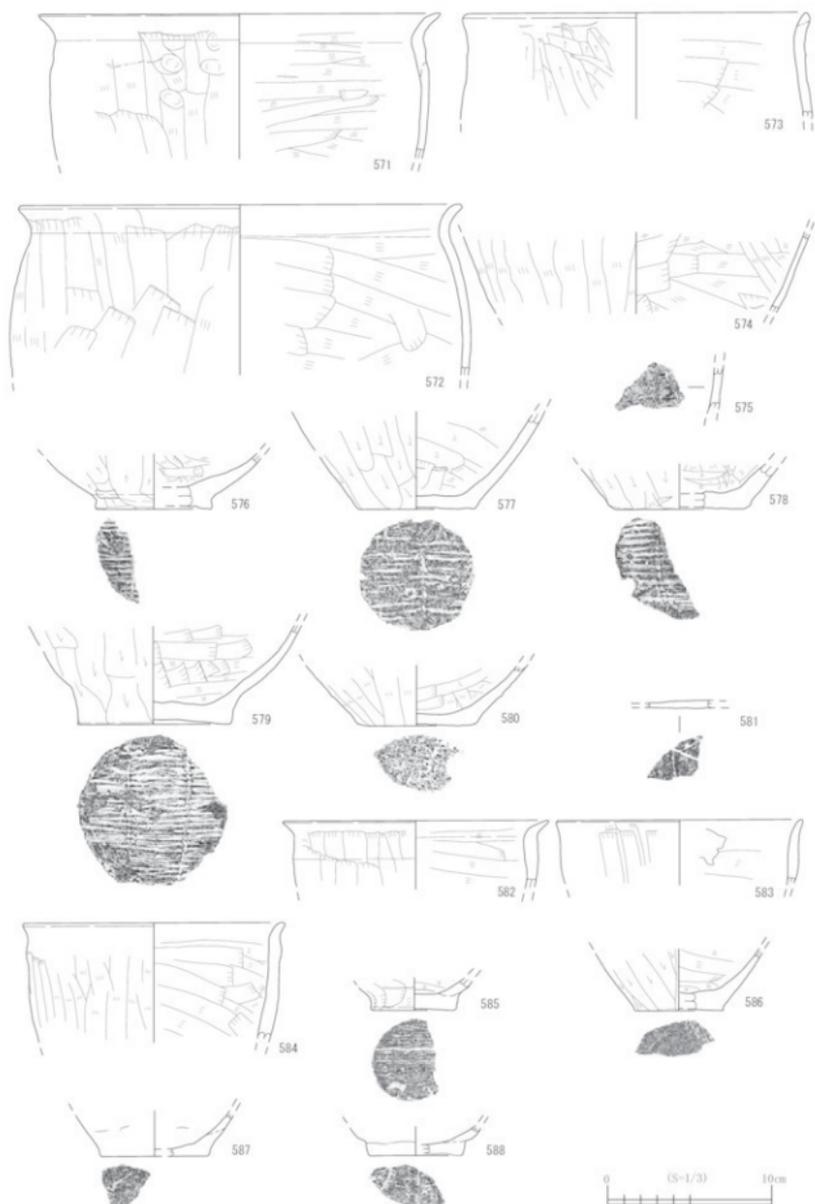
1点図示した(第414図銭2)。樹一銭青銅貨である。



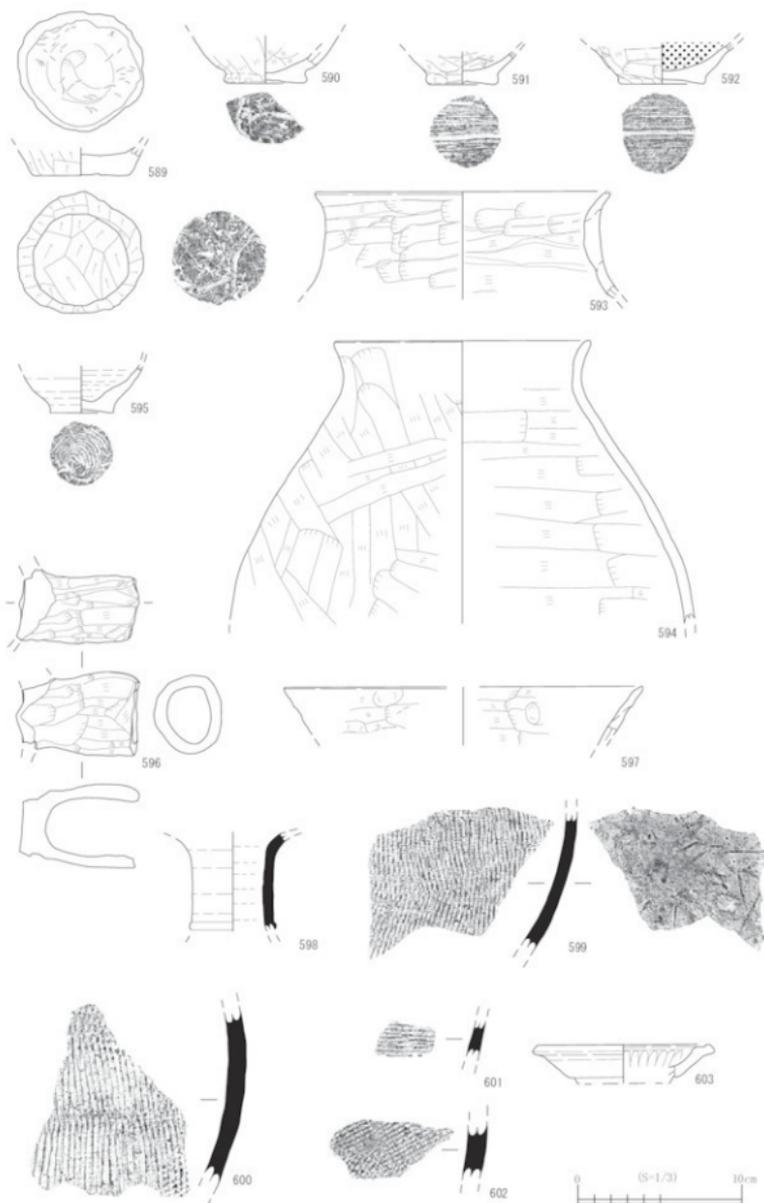
第410図 中道遺跡C区遺構外出土土器(1)



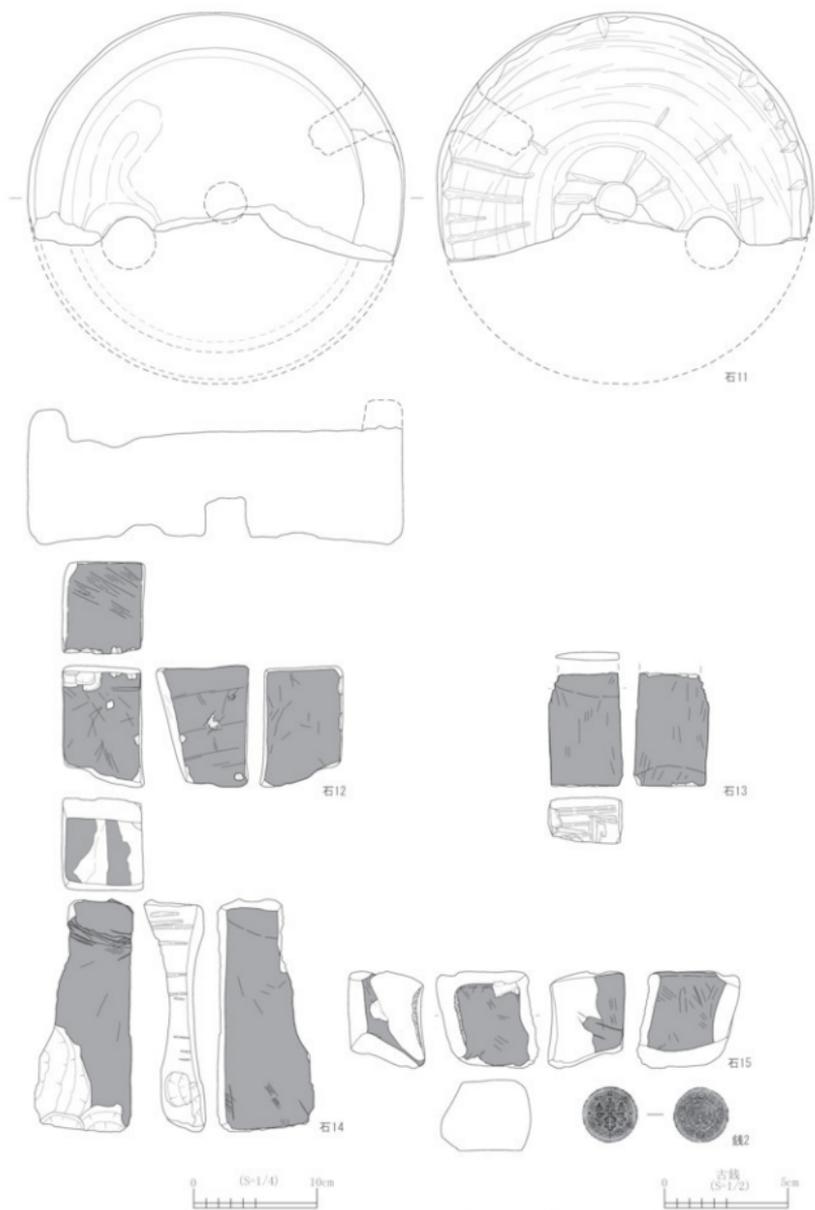
第411图 中道遺跡C区遺構外出土土器(2)



第412図 中道遺跡C区遺構外出土土器(3)



第413图 中道遺跡C区遺構外出土土器(4)



第414図 中道遺跡C区遺構外出土遺物

図面番号	No.	土台位置	層位	種別	階層	部位	計測箇所		直径	色層		文書・図章		磚	砂	骨	備考
							口徑	積層高		外周	内周	外周	内周				
第37362	402	SD-36 SD-29	上層 覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(152)	55	6.6	5YR 6/4	5YR 6/3	瓦 口ワナナ	口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	中外 内外瓦葺上層、瓦葺部心ばり瓦葺
第37363	403	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(124)	3.8	(6.8)	7.5YR 5/2	10R 3/1	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	中外 内外瓦葺上層
第37364	404	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	13.6	4.0	6.4	7.5YR 5/4	7.5YR 5/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	中外 内外瓦葺上層、口葺部打次瓦葺、内外瓦葺 付葺
第37365	405	SD-36 SD-38	上層 覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(122)	4.8	3.6	N 4/0	N 6/0	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、損壊瓦葺、瓦葺部 打次瓦葺、口葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37366	466	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(144)	(6.0)	—	7.5YR 3/3	10R 6/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37367	467	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(124)	(3.3)	(6.0)	7.5YR 5/2	10R 1/1	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37368	468	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(124)	4.6	5.6	10R 7/4	7.5YR 6/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37369	469	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(123)	5.5	6.0	5YR 7/6	10R 7/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37370	470	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(194)	(4.0)	—	7.5YR 6/4	5YR 5/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37371	471	SD-37	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(274)	(9.4)	—	7.5YR 7/6	10R 7/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37372	472	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(178)	(6.6)	—	10R 7/3	10R 7/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37373	473	SD-37	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(194)	(6.8)	—	7.5YR 5/3	10R 3/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37374	474	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(178)	(8.8)	—	5YR 6/4	7.5YR 4/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37375	475	SD-36	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(264)	(7.0)	—	7.5YR 3/1	7.5YR 4/2	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37376	476	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(242)	(8.4)	—	5YR 5/6	7.5YR 7/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37377	477	SD-36	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(362)	(5.8)	—	7.5YR 7/4	7.5YR 6/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37378	478	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(250)	(7.2)	—	7.5YR 6/0	7.5YR 6/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37379	479	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(250)	(7.2)	—	7.5YR 5/1	5YR 6/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37380	480	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(252)	(7.1)	—	5YR 6/6	5YR 6/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37381	481	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(21.6)	(3.4)	(5.4)	7.5YR 6/2	5YR 6/2	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37382	482	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(1.8)	(5.4)	7.5YR 6/3	5YR 6/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37383	483	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(1.2)	(5.4)	7.5YR 6/3	5YR 6/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37384	484	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(2.2)	(8.0)	10R 6/2	7.5YR 4/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37385	485	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(7.2)	(8.0)	10R 6/2	10R 6/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37386	486	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(2.2)	(8.0)	10R 4/2	10R 5/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37387	487	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(12.6)	(8.4)	—	7.5YR 4/2	7.5YR 4/2	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37388	488	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(13.2)	(8.4)	—	5YR 6/2	10R 7/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37389	489	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(13.8)	(7.3)	—	5YR 5/4	7.5YR 6/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37390	490	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	(14.6)	(7.1)	—	10R 7/3	5YR 6/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37391	491	SD-36	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(13.6)	(9.4)	—	5YR 6/4	10R 8/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37392	492	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(4.0)	5.8	10R 7/3	10R 7/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37393	493	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(4.0)	5.6	2.5Y 6/4	2.5Y 6/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37394	494	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(3.6)	(6.0)	—	10R 7/3	10R 7/3	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37395	495	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	(23.0)	(4.9)	—	5YR 6/6	5YR 6/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37396	496	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(7.0)	—	5Y 5/1	5Y 5/1	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37397	497	SD-36	下層	土跡	土跡	口縁～底部	—	(6.7)	—	N 4/0	N 4/0	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37398	498	SD-36	上層	土跡	土跡	口縁～底部	—	—	—	N 3/1	5P 3/1	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37399	499	SD-39	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(17.2)	(3.0)	—	2.5Y 6/6	5YR 6/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37400	500	SD-39	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(19.6)	(5.3)	—	5YR 6/6	5YR 7/6	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37401	501	SD-39	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(18.2)	(3.0)	—	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37402	502	SD-39	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(18.2)	(3.0)	—	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺
第37403	503	SD-39	覆土	土跡	土跡	口縁～底部	(25.8)	(13.3)	—	7.5YR 6/3	5YR 4/2	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	瓦 口ワナナ	内外 内面瓦葺上層、瓦葺部打次瓦葺、口葺部 葺

図号番号	No.	社名	種別	船種	船位	計画船種(%)			色別			文数・船数			備考			
						口渡	船渡	直渡	外航	内航	内航	外航	内航	外航		船数	文数	
第37682	504	SD-39	国土防衛	貨	口渡~体部 (22.2)	(11.6)	直渡	7.5R/7.3	少	中	少	内航内渡付着						
第37683	505	SD-39	国土防衛	貨	体部~体部 (8.2)	(2.6)	(8.2)	2.5R/6.6	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	少	中	少	内航内渡付着
第37686	506	SD-39	国土防衛	貨	体部~体部 (3.6)	(1.8)	(3.6)	N/5.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	少	中	少	内航内渡付着
第37688	507	SD-40	国土防衛	外	口渡~体部 (13.2)	(4.7)	-	5.1R/6.6	10.1R/7.4	10.1R/7.4	10.1R/7.4	10.1R/7.4	10.1R/7.4	10.1R/7.4	多	中	多	外航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37689	508	SD-40	国土防衛	貨	口渡~体部 (14.2)	(3.8)	(7.6)	5.1R/6.6	多	中	多	外航他上航路、船種付着、口渡船種付着						
第37690	509	SD-40	国土防衛	貨	口渡~体部 (16.6)	(5.6)	-	5.1R/6.6	多	中	多	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着						
第37691	510	SD-40	国土防衛	貨	口渡~体部 (17.6)	(6.7)	-	2.5R/6.6	5.1R/5.4	5.1R/5.4	5.1R/5.4	5.1R/5.4	5.1R/5.4	5.1R/5.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37692	511	SD-40	国土防衛	貨	口渡~体部 (24.6)	(3.2)	-	5.1R/6.6	7.5R/6.6	7.5R/6.6	7.5R/6.6	7.5R/6.6	7.5R/6.6	7.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37693	512	SD-40	国土防衛	貨	口渡~体部 (22.2)	(4.1)	-	10.1R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	多	中	多	外航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37695	513	SD-40	国土防衛	貨	体部~体部 (7.5)	(7.5)	9.4	5.1R/6.6	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	中	中	中	外航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37700	514	SD-40	国土防衛	小艇	口渡~体部 (10.2)	(4.6)	-	2.5R/6.6	5.1R/5.6	5.1R/5.6	5.1R/5.6	5.1R/5.6	5.1R/5.6	5.1R/5.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37701	515	SD-40	国土防衛	渡船	体部 (11.5)	(11.5)	-	N/15.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	少	中	少	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着
第37706	516	SD-41	国土防衛	貨	口渡~体部 (14.0)	(3.1)	(6.2)	7.5R/7.3	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	多	中	多	内航他上航路、船種付着
第37708	517	SD-41	国土防衛	貨	体部~体部 (2.2)	(2.2)	(5.6)	7.5R/5.2	7.5R/7.1	7.5R/7.1	7.5R/7.1	7.5R/7.1	7.5R/7.1	7.5R/7.1	中	中	中	内航他上航路、船種付着
第37709	518	SD-41	国土防衛	貨	体部~体部 (19.0)	(3.8)	-	5.1R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第37710	519	SD-41	国土防衛	貨	口渡~体部 (12.6)	(4.5)	(5.2)	5.1R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第37716	520	SD-41	国土防衛	貨	体部~体部 (1.4)	(1.4)	(6.4)	7.5R/5.4	5.1R/4.2	5.1R/4.2	5.1R/4.2	5.1R/4.2	5.1R/4.2	5.1R/4.2	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第37718	521	SD-41	国土防衛	貨	口渡~体部 (22.2)	(10.7)	-	2.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第37719	522	SD-41	国土防衛	貨	口渡~体部 (24.6)	(9.2)	-	7.5R/5.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	7.5R/7.2	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第37720	523	SD-41	国土防衛	貨	口渡~体部 (5.0)	(7.1)	-	7.5R/6.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第37726	524	SD-41	国土防衛	小艇	体部 (5.0)	(2.6)	-	7.5R/5.1	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第38000	525	CSE-03	3 種	土防衛	口渡~体部 (19.6)	(2.8)	(5.6)	7.5R/6.1	5.1R/5.1	5.1R/5.1	5.1R/5.1	5.1R/5.1	5.1R/5.1	5.1R/5.1	多	中	多	内航他上航路、船種付着
第38001	526	CSE-03	土防衛	貨	口渡~体部 (20.6)	(5.3)	-	7.5R/5.2	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	多	中	多	内航他上航路、船種付着
第38002	527	CSP-20	土防衛	貨	口渡~体部 (13.8)	(3.0)	-	5.1R/6.6	中	中	中	内航他上航路、船種付着						
第40026	528	CSP-87	土防衛	土防衛	口渡~体部 (16.8)	(3.0)	-	10.1R/7.1	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第40028	529	CSP-111	土防衛	土防衛	体部~体部 (15.6)	(3.6)	(7.8)	7.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第40029	530	CSP-111	土防衛	土防衛	口渡~体部 (15.6)	(3.6)	-	7.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第40028	531	CSP-223	土防衛	土防衛	口渡~体部 (13.8)	(3.5)	-	7.5R/6.4	10.1R/6.4	10.1R/6.4	10.1R/6.4	10.1R/6.4	10.1R/6.4	10.1R/6.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第40028	532	CSP-236	土防衛	土防衛	口渡~体部 (13.8)	(3.5)	-	7.5R/6.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第40028	533	CSP-257	土防衛	土防衛	体部 (14.2)	(3.7)	-	7.5R/4.1	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	N/4.0	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第40028	534	CSP-334	土防衛	土防衛	口渡~体部 (15.4)	(2.1)	-	10.1R/7.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第41008	535	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (19.6)	(2.1)	(7.5)	10.1R/4.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	536	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (13.2)	(2.1)	(7.5)	10.1R/4.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	537	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (13.8)	(3.8)	6.1	7.5R/7.2	7.5R/4.1	7.5R/4.1	7.5R/4.1	7.5R/4.1	7.5R/4.1	7.5R/4.1	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	538	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (17.2)	(2.7)	-	5.1R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第41008	539	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (15.6)	(6.5)	-	2.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第41008	540	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (15.6)	(6.5)	-	2.5R/6.6	少	中	少	内航他上航路、船種付着						
第41008	541	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (15.6)	(6.5)	-	5.1R/6.6	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	7.5R/6.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	542	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (12.2)	(3.5)	(5.6)	7.5R/7.3	中	中	中	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着						
第41008	543	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (12.2)	(4.1)	(7.2)	5.1R/6.6	中	中	中	内航他上航路、船種付着、口渡船種付着						
第41008	544	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (14.0)	(5.7)	(6.2)	5.1R/6.4	5.1R/6.6	5.1R/6.6	5.1R/6.6	5.1R/6.6	5.1R/6.6	5.1R/6.6	多	中	多	内航他上航路、船種付着
第41008	545	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (17.0)	(6.2)	5.6	5.1R/6.4	5.1R/7.4	5.1R/7.4	5.1R/7.4	5.1R/7.4	5.1R/7.4	5.1R/7.4	多	中	多	内航他上航路、船種付着
第41008	547	通航外	土防衛	土防衛	体部~体部 (13.2)	(5.3)	(6.0)	10.1R/5.6	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	10.1R/3.1	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	548	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (12.6)	(4.1)	-	5.1R/6.4	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	7.5R/6.3	少	中	少	内航他上航路、船種付着
第41008	549	通航外	土防衛	土防衛	口渡~体部 (12.6)	(4.1)	(6.0)	7.5R/6.2	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	7.5R/7.4	少	中	少	内航他上航路、船種付着

図面番号	No.	土上位置	属性	種別	階層	部位	計測箇所(階)	高さ	色番	形状	外周	内周	完成	位置	文書・図章	積砂	積砂	積砂	備考	
第41080	550	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁	(1,2)	(5,4)	外周	75YR 6/6	75YR 7/1	内周	75YR 6/6	口下	外周	75YR 6/6	75YR 6/6	75YR 6/6	内周色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	551	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(20,0)	(8,2)	外周	75YR 6/8	75YR 6/3	内周	75YR 6/3	口壁	外周	75YR 6/8	75YR 6/3	75YR 6/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	552	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(22,6)	(5,1)	外周	75YR 5/3	75YR 6/3	内周	75YR 6/3	口壁	外周	75YR 5/3	75YR 6/3	75YR 6/3	内外色色処理	
第41080	553	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(20,8)	(4,9)	外周	75YR 4/2	75YR 5/3	内周	75YR 5/3	口壁	外周	75YR 4/2	75YR 5/3	75YR 5/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	554	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,4)	(7,8)	外周	75YR 6/4	75YR 6/4	内周	75YR 6/4	口壁	外周	75YR 6/4	75YR 6/4	75YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	555	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,4)	(3,9)	外周	75YR 7/4	10YR 7/3	内周	10YR 7/3	口壁	外周	75YR 7/4	10YR 7/3	10YR 7/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	556	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,4)	(1,6)	外周	75YR 6/6	75YR 5/2	内周	75YR 5/2	口壁	外周	75YR 6/6	75YR 5/2	75YR 5/2	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	557	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(22,4)	(4,5)	外周	75YR 6/6	10YR 5/2	内周	10YR 5/2	口壁	外周	75YR 6/6	10YR 5/2	10YR 5/2	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	558	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(22,4)	(7,8)	外周	5YR 5/6	10YR 4/4	内周	10YR 4/4	口壁	外周	5YR 5/6	10YR 4/4	10YR 4/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	559	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(26,6)	(7,7)	外周	5YR 6/6	5YR 4/3	内周	5YR 4/3	口壁	外周	5YR 6/6	5YR 4/3	5YR 4/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	560	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,2)	(9,9)	外周	5YR 6/6	5YR 6/3	内周	5YR 6/3	口壁	外周	5YR 6/6	5YR 6/3	5YR 6/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	561	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(25,2)	(9,9)	外周	10YR 6/4	5YR 5/6	内周	5YR 5/6	口壁	外周	10YR 6/4	5YR 5/6	5YR 5/6	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	562	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(25,2)	(9,9)	外周	10YR 6/4	5YR 5/6	内周	5YR 5/6	口壁	外周	10YR 6/4	5YR 5/6	5YR 5/6	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	563	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(34,2)	(8,9)	外周	75YR 6/2	75YR 5/2	内周	75YR 5/2	口壁	外周	75YR 6/2	75YR 5/2	75YR 5/2	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	564	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(22,0)	(4,7)	外周	75YR 7/3	75YR 7/4	内周	75YR 7/4	口壁	外周	75YR 7/3	75YR 7/4	75YR 7/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	565	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(23,2)	(8,1)	外周	75YR 6/4	75YR 6/4	内周	75YR 6/4	口壁	外周	75YR 6/4	75YR 6/4	75YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	566	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,2)	(5,4)	外周	75YR 7/3	5YR 7/4	内周	5YR 7/4	口壁	外周	75YR 7/3	5YR 7/4	5YR 7/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	567	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(23,4)	(6,6)	外周	5YR 6/4	5YR 6/4	内周	5YR 6/4	口壁	外周	5YR 6/4	5YR 6/4	5YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	568	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(23,2)	(6,2)	外周	75YR 6/4	5YR 4/2	内周	5YR 4/2	口壁	外周	75YR 6/4	5YR 4/2	5YR 4/2	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	569	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(21,8)	(9,3)	外周	5YR 6/4	5YR 5/4	内周	5YR 5/4	口壁	外周	5YR 6/4	5YR 5/4	5YR 5/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	570	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(27,0)	(10,6)	外周	5YR 6/6	75YR 6/4	内周	75YR 6/4	口壁	外周	5YR 6/6	75YR 6/4	75YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	571	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(24,2)	(8,9)	外周	5YR 7/4	5YR 5/4	内周	5YR 5/4	口壁	外周	5YR 7/4	5YR 5/4	5YR 5/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	572	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(26,8)	(10,4)	外周	5YR 6/6	5YR 6/8	内周	5YR 6/8	口壁	外周	5YR 6/6	5YR 6/8	5YR 6/8	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	573	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(20,6)	(6,5)	外周	75YR 6/6	5YR 6/6	内周	5YR 6/6	口壁	外周	75YR 6/6	5YR 6/6	5YR 6/6	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	574	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	口壁~体部	(20,6)	(6,5)	外周	75YR 6/4	75YR 5/2	内周	75YR 5/2	口壁	外周	75YR 6/4	75YR 5/2	75YR 5/2	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	575	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部	体部	(5,0)	外周	75YR 3/1	75YR 2/3	内周	75YR 2/3	体部	外周	75YR 3/1	75YR 2/3	75YR 2/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	576	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部~断面	体部~断面	(3,4)	(7,0)	75YR 6/4	5YR 6/4	内周	5YR 6/4	体部	外周	75YR 6/4	5YR 6/4	5YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	577	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部~断面	体部~断面	(6,0)	7,0	5YR 6/4	2.5YR 6/4	内周	2.5YR 6/4	体部	外周	5YR 6/4	2.5YR 6/4	2.5YR 6/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	578	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部~断面	体部~断面	(2,8)	8,0	5YR 3/2	2.5YR 2/3	内周	2.5YR 2/3	体部	外周	5YR 3/2	2.5YR 2/3	2.5YR 2/3	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	579	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部~断面	体部~断面	(6,0)	9,2	5YR 2/2	10YR 5/6	内周	10YR 5/6	体部	外周	5YR 2/2	10YR 5/6	10YR 5/6	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	580	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	体部~断面	体部~断面	(3,7)	(6,0)	10YR 7/3	5YR 5/4	内周	5YR 5/4	体部	外周	10YR 7/3	5YR 5/4	5YR 5/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	581	溝橋外	埋設道	土砂層	壁	断面	断面	—	—	75YR 7/4	2.5YR 6/8	内周	2.5YR 6/8	断面	外周	75YR 7/4	2.5YR 6/8	2.5YR 6/8	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	582	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	口壁~体部	(18,2)	(4,2)	外周	5YR 5/4	75YR 5/4	内周	75YR 5/4	口壁	外周	5YR 5/4	75YR 5/4	75YR 5/4	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	583	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	口壁~体部	(18,0)	(7,3)	外周	5YR 6/6	5YR 5/6	内周	5YR 5/6	口壁	外周	5YR 6/6	5YR 5/6	5YR 5/6	内外色色処理、断面図の赤による表示	
第41080	584	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(15,8)	(7,3)	—	5YR 6/6	5YR 5/6	内周	5YR 5/6	体部	外周	—	5YR 6/6	5YR 5/6	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	585	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(2,0)	5,2	5YR 6/6	10YR 6/1	内周	10YR 6/1	体部	外周	5,2	5YR 6/6	10YR 6/1	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	586	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(3,8)	(5,4)	75YR 7/4	5YR 6/6	内周	5YR 6/6	体部	外周	75YR 7/4	5YR 6/6	5YR 6/6	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	587	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(2,8)	(6,4)	5YR 5/6	5YR 6/6	内周	5YR 6/6	体部	外周	5YR 5/6	5YR 6/6	5YR 6/6	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	588	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(1,7)	(5,6)	5YR 5/4	5YR 5/4	内周	5YR 5/4	体部	外周	5YR 5/4	5YR 5/4	5YR 5/4	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	589	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(1,8)	5,8	10YR 7/2	10YR 7/3	内周	10YR 7/3	体部	外周	10YR 7/2	10YR 7/3	10YR 7/3	内外色色処理、断面図の赤による表示
第41080	590	溝橋外	埋設道	土砂層	小壁	体部~断面	体部~断面	(—)	(2,9)	(5,0)	5YR 4/2	75YR 6/1	内周	75YR 6/1	体部	外周	5YR 4/2	75YR 6/1	75YR 6/1	内外色色処理、断面図の赤による表示

架設番号	No.	出土位置	層位	計測値(m)			製品群	製品名	木型	状態	備考
				長さ	幅	高さ					
架331R	850	CSE-03	層土	34.0	30.5	(7.7)	管巻	機	板目	傷跡4枚、表面傷け箇所	
架331R	851	CSE-03	層土	21.7	(24.1)	1.6	管巻	機	板目	表面傷け箇所	
架331R	852	CSE-03	層土	(31.9)	(12.2)	1.3	管巻	底板	板目	表面傷け箇所	
架331R	853	CSE-03	層土	(20.8)	(21.5)	1.6	管巻	底板	通底目	ヒノキ材アスタコ属	
架331R	854	CSE-03	層土	(35.0)	(10.5)	1.0	管巻	底板	板目	本打付者、表面傷け箇所	
架331R	855	CSE-03	層土	(30.9)	(8.8)	0.6	管巻	底板	通底目	内面張り面あり	
架331R	856	CSE-03	底面	48.0	44.6	22.6	管巻	機	板目・通底目	板目あり	
架342R	857	CSE-03	層土	52.7	4.6	1.2	用途不明	板材	板目	釘穴あり	
架342R	858	CSE-03	層土	(41.4)	4.4	1.1	用途不明	板材	板目	釘穴あり	
架342R	859	CSE-03	層土	(5.9)	5.4	1.1	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	850	CSE-03	-	(123.0)	16.3	2.7	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	851	CSE-03	-	(83.6)	10.6	2.6	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	852	CSE-03	層土	(44.3)	(22.6)	2.5	建築材部材残	部材	板目	釘穴あり	
架342R	853	CSE-03	層土	95.5	20.8	1.6	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	854	CSE-03	層土	68.5	18.3	2.3	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	855	CSE-03	層土	(41.2)	(14.7)	2.2	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	856	CSE-03	層土	(90.4)	25.9	1.6	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	857	CSE-03	層土	(150.7)	25.6	3.1	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架342R	858	CSE-03	層土	(131.0)	29.5	1.6	建築材部材残	部材	通底目	釘穴あり	
架333R	890	CSE-03	層土	(111.2)	30.8	1.1	建築材部材残	部材	通底目	釘穴多数あり、釘付板材	
架333R	8101	CSE-03	層土	(136.3)	30.5	3.5	建築材部材残	部材	通底目	表面傷け箇所あり、釘付板材	
架333R	8102	CSE-03	層土	(115.2)	54.8	3.0	建築材部材残	部材	通底目	表面傷け箇所あり、釘付板材	
架333R	8103	CSE-03	層土	(15.8)	7.2	0.6	用途不明	板材	板目	上部釘?下部釘あり	
架333R	8104	CSE-03	層土	(14.2)	(6.8)	1.5	用途不明	板材	板目		
架333R	8105	CSE-03	層土	35.0	6.8	2.5	建築材部材残	部材	板目		
架333R	8106	CSE-03	層土	26.2	11.4	1.8	建築材部材残	部材	板目		
架333R	8107	CSE-03	層土	46.0	2.4	1.8	建築材部材残	板	板目		
架344R	8108	CSE-03	層土	25.1	0.7	0.5	管巻	管	板目・断面出	架橋同家No.9	
架344R	8109	CSE-03	層土	23.7	0.9	0.6	管巻	管	板目・断面出	架橋同家No.10	
架344R	8110	CSE-03	層土	23.6	0.7	0.6	管巻	管	板目・断面出	架橋同家No.11	
架344R	8111	CSE-03	層土	(13.5)	0.7	0.45	管巻	管	断面出取		
架344R	8112	CSE-03	層土	33.6	24.6	0.9	管巻	折敷	板目	本打付者、表面傷け箇所	
架344R	8113	CSE-03	層土	33.3	(9.6)	0.6	管巻	折敷	板目	本打付者、表面傷け箇所	
架344R	8114	CSE-03	層土	(30.9)	(14.2)	0.7	管巻	折敷	板目	本打付者、表面傷け箇所	
架344R	8115	CSE-03	層土	31.6	(17.2)	0.9	管巻	管	板目	表面傷け箇所あり	
架344R	8116	CSE-03	層土	(18.1)	(18.3)	0.7	管巻	管	通底目	表面傷け箇所あり	
架344R	8117	CSE-03	層土	10.0	3.2	2.0	管巻	管子	板目	架橋同家No.30	
架344R	8118	CSE-03	層土	(35.7)	3.4	1.6	用途不明	板材	板目	架橋同家No.6	
架344R	8119	CSE-03	層土	(35.2)	3.6	1.6	用途不明	板材	板目	架橋同家No.15	
架344R	8120	CSE-03	層土	(13.6)	2.0	0.8	用途不明	板材	板目	架橋同家No.17	
架344R	8121	CSE-03	層土	(22.5)	2.3	0.8	用途不明	板材	板目	架橋同家No.15	
架344R	8122	CSE-03	層土	65.1	5.4	5.1	用途不明	機材	断面出取	架橋同家No.30	
架344R	8123	CSE-03	5層土	77.4	5.0	4.8	用途不明	機材	2次挿入本	架橋同家No.7	
架344R	8124	CSE-03	層土	84.8	4.8	4.3	用途不明	機材	2次挿入本	架橋同家No.16	
架344R	8125	CSE-03	層土	67.6	4.7	4.4	用途不明	機材	2次挿入本	架橋同家No.17	
架345R	8126	CSE-03	層土	52.8	10.7	1.1	用途不明	板材	板目	架橋同家No.11	
架345R	8127	CSE-03	層土	21.9	2.1	1.2	用途不明	機材	板目	本打付者	
架345R	8128	CSE-03	層土	32.1	(4.7)	1.2	用途不明	機材	通底目	本打付者	

調査番号	No.	出土位置	層位	計測値(cm)		製品名	木型	特徴	備考
				長さ	厚さ				
第395号	本129	CSE-03	層土	3.3	0.6	板状	板目	釘穴無	
第395号	本130	CSE-03	層土	(29.8)	1.2	用途不明	板目	板目不明	
第395号	本131	CSE-03	層土	2.8	1.2	用途不明	板状	板目不明	
第395号	本132	CSE-03	層土	(24.3)	2.35	用途不明	板目	板目付き	
第395号	本133	CSE-04	層土	(63.9)	3.17	建築材部材片等	板目	釘付付材	
第395号	本133	CSE-04	層土	(24.8)	4.1	用途不明	板状	釘穴無	
第395号	本134	CSE-04	層土	18.7	1.1	管筒	用途不明	釘穴無	
第395号	本135	CSE-04	層土	22.8	2.5	建築材部材片等	板目	釘穴無	
第396号	本136	CSE-04	層土	(21.5)	0.6	管筒	管筒	釘穴無	
第396号	本137	CSE-04	層土	21.5	1.0	管筒	管筒	釘穴無	
第396号	本138	CSE-04	層土	(15.9)	0.8	管筒	管筒	釘穴無	
第396号	本139	CSE-04	層土	(36.2)	(5.4)	用途不明	板目	釘付付き	
第396号	本140	CSE-04	層土	22.2	1.6	用途不明	板状	変化あり	
第396号	本141	CSE-04	層土	19.6	(10.5)	管筒	用途不明	ヒノキ材アスタ口風	
第396号	本142	CSE-04	層土	(5.7)	(1.7)	用途不明	板状	変化あり	
第396号	本143	CSE-04	層土	20.4	1.3	用途不明	板目	変化あり	
第396号	本144	CSE-06	層土	31.4	(12.0)	1.1 管筒	用途不明	釘付付き	
第396号	本145	CSE-01	層土	35.0	34.8	1.2 管筒	板目板目	釘付付き	

第50表 中道遺跡C区出土石器・石製品観察表

調査番号	No.	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	材質	備考
				長軸	短軸	厚さ			
第379号	石5	SD-23	層土	29.5	20.2	10.2	5000	湖底岩	
第379号	石6	SD-36	下層	8.8	7.8	5.3	496.3	石高取山岩	
第379号	石7	SD-39	層土	14.6	10.7	6.7	794	湖底岩	
第386号	石8	CSE-03	3層	13.7	7.6	3.7	466	湖底岩	
第386号	石9	CSE-06	上層	14.8	6.0	1.8	198	石高取山岩	
第386号	石10	CSE-06	下層	(15.7)	(13.2)	8.6	1850	湖底岩	
第414号	石11	遺物外	-	(30.5)	(30.5)	11.8	8000	湖底岩	
第414号	石12	遺物外	埋跡面	9.9	6.6	7.5	756	石高取山岩	
第414号	石13	遺物外	埋跡面	9.2	6.0	0.7	184	湖底岩	
第414号	石14	遺物外	埋跡面	18.9	7.8	5.0	546	湖底岩	
第414号	石15	遺物外	埋跡面	8.0	(8.3)	5.8	532	石高取山岩	

第51表 中道遺跡C区出土鉄附遺物観察表

調査番号	No.	出土位置	層位	類別	計測値(cm)			重量(g)	メタル度	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第379号	石6	SD-36	層土	中環	4.0	3.9	2.7	14.3	表面本原色	
第400号	石7	CSP-158	1層	中環組立環	6.4	8.6	3.6	246.1	5	

第52表 中道遺跡C区出土鉄観察表

調査番号	No.	出土位置	層位	姓名	計測値(mm)			重量(g)	製年	備考
					外径	孔径	穴縁厚			
第409号	81	CSP-164	層土	野水清彦	25.22	6.03	1.20	1.24	2.30	1668~1683 曹上「実」
第414号	82	遺物外	層土	野一鉄附遺物	23.11	-	1.28	1.28	3.50	1919

第5節 D区

1. 土坑

DSK-01 (第416図)

FG-160グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸63×短軸51×深さ37cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は北東側へ傾斜する。堆積土は2層で、黒褐色土、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK-02 (第416図)

FI-158グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸63×短軸61×深さ55cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は8層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕2点、小甕1点(第418図604~606)を図示した。604は甕の口縁部~体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。605は甕の体部~底部で、底部から直線的に開く形状を呈する。606は小甕の口縁部~体部で、口縁部~体部上半までほぼ直線的な形状を呈する。

DSK-03 (第416図)

FG-159グリッドで検出した。DSP-58、128、173、175・176と重複している。DSP-58、128、173、176が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。DSP-175と新旧不明である。平面形は不整形を呈し、規模は長軸91×短軸68×深さ52cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は北東側へやや傾斜する。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK-04 (第416図)

FE・FF-162グリッドで検出した。DSP-153と重複している。DSP-153が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。部分的な検出のため、詳細は不明であるが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸92×短軸21×深さ65cmを測る。壁は段状に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はやや南西側へ傾斜する。堆積土は8層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した(第418図607)。607は甕の口縁部~体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部にはくの字状のくびれが認められる。

DSK-05 (第416図)

FF-160グリッドで検出した。DSP-205と重複している。DSP-205が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸64×短軸46×深さ14cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはビット2基を検出した。平面形は2基ともに不整形で、規模はPit1=長軸27×短軸21×深さ8cm、Pit2=長軸19×短軸11×深さ5cmを測る。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器杯1点(第418図608)を図示した。608は杯の体部~底部で、内外面ロクロ調整が施されており、底部は細めの



第415図 中道遺跡D区遺構配置図

系による回転糸切である。

DSK-06 (第416図)

FF-161グリッドで検出した。DSP-143と重複しているが、新旧関係は不明である。部分的な検出のため、詳細は不明であるが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸91×短軸39×深さ23cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層で、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK-07 (第416図)

FE-161グリッドで検出した。部分的な検出のため、詳細は不明であるが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸90×短軸41×深さ28cmを測る。壁は段状に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒色、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK-08 (第416図)

FG-160グリッドで検出した。DSP-72と重複している。DSP-72が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸62×短軸46×深さ61cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK-09 (第416図)

FF-160グリッドで検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸46×短軸29×深さ26cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK-11 (第417図)

FD-162グリッドで検出した。SD-26・27と重複している。本遺構がSD-26・27を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸74×短軸58×深さ23cmを測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒褐色土と黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK-12 (第417図)

FD-162グリッドで検出した。SD-24・25と重複している。本遺構がSD-25を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD-24が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸135×短軸55×深さ28cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は2層に分層した。黒色土と黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、坏1点、甕4点を図示した(第418図609～614)。609は皿の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されており、口縁部が端反る形状を呈する。610は非ロクロの坏の口縁部～体部で、丸みを帯びるような形状を呈する。甕4点のうち、611～613が直線的な体部を持ち、直立気味で短い口縁部を有

し、614は体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

DSK-13 (第417図)

FG-160グリッドで検出した。SD-47・48、DSP-192、194、196、202と重複している。本遺構がSD-47・48を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP-192、194、196、202が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸179×短軸155×深さ55cmを測る。壁は段をもって立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は6層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕2点(第418図615・616)を図示した。2点とも体部がやや丸みを帯び、直立気味の口縁部を有する。

DSK-14 (第417図)

FG-160グリッドで検出した。部分的な検出のため、全体形は不明であるが、平面形は不整形円形を呈していると考えられ、規模は長軸165×短軸83×深さ64cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿1点、甕1点、小甕1点(第418図617～619)を図示した。617は非ロクロ皿の口縁部～体部である。618は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、直立気味の口縁部を有する。619は小甕の口縁部～体部で、体部へ口縁部までほぼ直線的な形状を呈する。

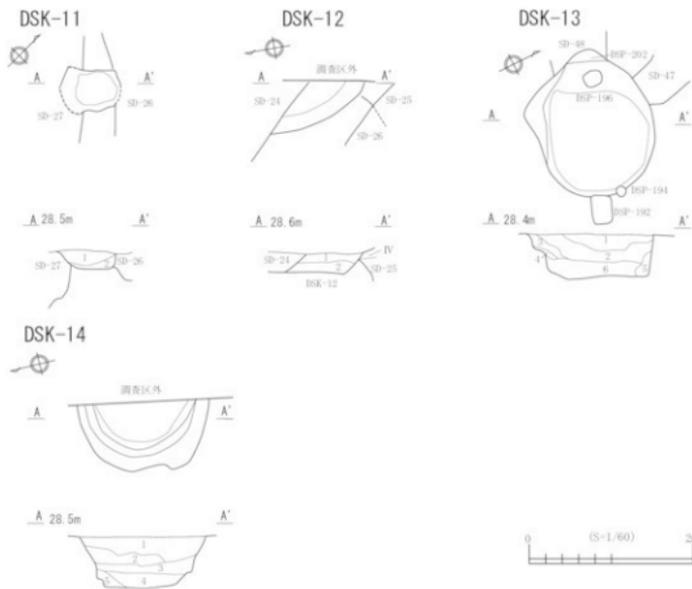
2. 溝跡

SD-24 (第419図)

FC・FD-162グリッドで検出した。DSK-12、DSP-204と重複している。本遺構がDSK-12を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP-204が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長235cm、幅102cm、深さ28cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。底面からはピット1基を検出した。平面形は円形を呈し、規模はPit1=長軸19×短軸19×深さ18cmを測る。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏3点、甕3点(第421図620～625)、礫石器1点(第421図石16)を図示した。坏は3点とも非ロクロで、620、622は丸みを帯びるような形状、621は底部から直線的に開く形状を呈する。甕は3点とも口縁部～体部である。623は体部から口縁部まで直線的な形状を呈する。624は体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。625は体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。石16は台石で、表面には被熱が認められ、右側面には煤が付着している。

SD-25 (第419図)

FD・FE-162グリッドで検出した。DSK-12、SD-26・27、DSP-197・198、201と重複している。DSK-12、SD-26・27、DSP-197・198、201が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長358cm、幅74cm、深さ70cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、北西側の壁は開口部で急角度に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。にぶい黄褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点、ミニチュア土器1点(第421図626・627)を図示した。626は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯



DSK-11

- 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)多量、ロームブロック(φ10~50mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSK-12

- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~9mm)微量、酸化鉄粒(φ1~9mm)微量

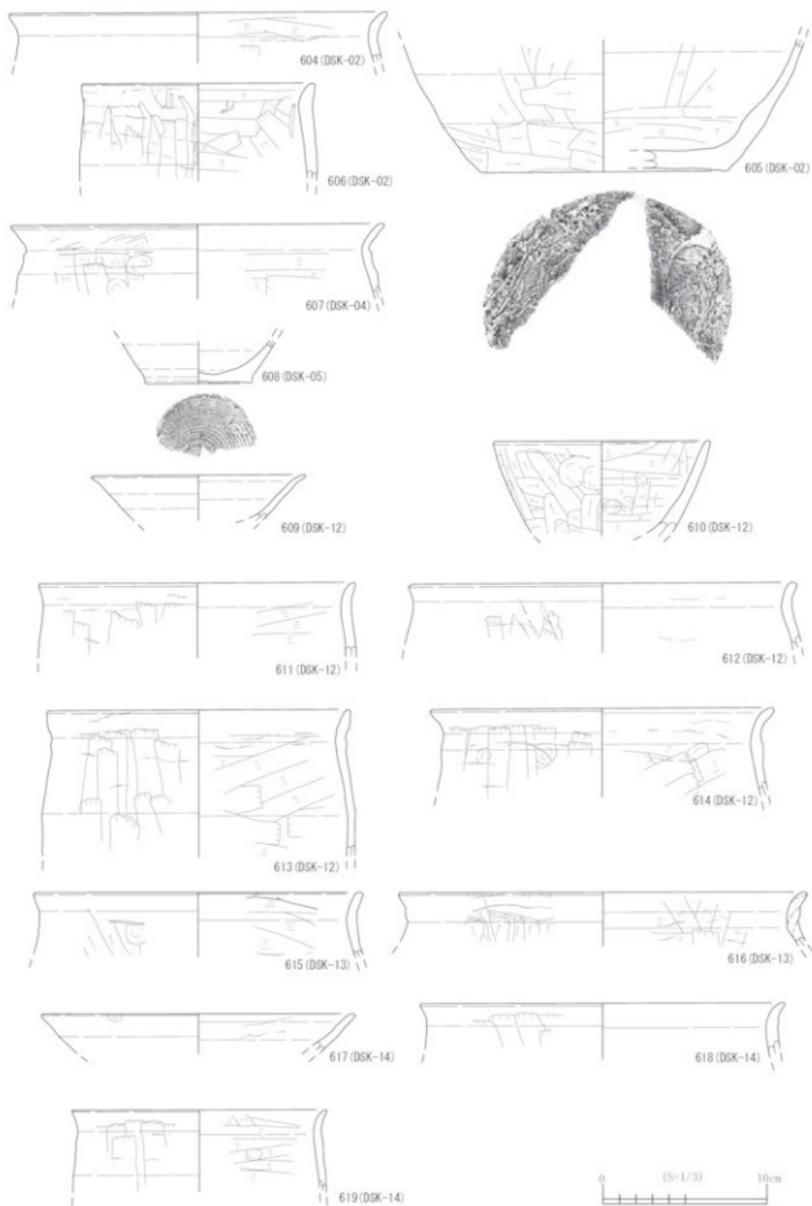
DSK-13

- 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量、礫(φ20mm)微量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第4層 10YR2/2 黒褐色土と10YR6.2灰黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~40mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 第6層 10YR3/1 黒褐色土と7.5YR6.2灰オリーブ色砂質土の混合層
 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)少量

DSK-14

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)中量、炭化粒(φ1~9mm)少量、炭化物ブロック(φ10~30mm)中量、酸化鉄粒(φ1~30mm)多量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~50mm)多量、炭化粒(φ1~9mm)少量、酸化鉄粒(φ1~30mm)中量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土と7.5YR5.6明褐色土の混合層
 ローム粒(φ1~9mm)多量、ロームブロック(φ10~20mm)多量、炭化粒(φ1~9mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)多量
 第4層 10YR4/1 褐色土 粘土層
 第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、酸化鉄粒(φ1~20mm)多量

第417図 中道遺跡D区SK(2)



第418図 中道遺跡D区出土土器SK

び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈し、内面には煤が付着している。627はミニチュア土器で、ロクロ調整が施されており、体部には刻書が認められる。

SD-26 (第419図)

FD-162グリッドで検出した。DSK-11、SD-25、DSP-201と重複している。本遺構がSD-25を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK-11、DSP-201が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長265cm、幅54cm、深さ51cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は5層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏1点、甕2点、須恵器甕1点(第421図628～631)を図示した。628は坏の体部～底部で、内外面ロクロ調整が施されており、内面には油痕、灯明痕が認められる。629は甕の口縁部～体部で、体部は丸みを帯び、やや長めで緩やかに外反する口縁部を有する。630は甕の口縁～体部で、体部がやや丸みを帯び、直立気味の口縁部を有する。631は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。

SD-43 (第419図)

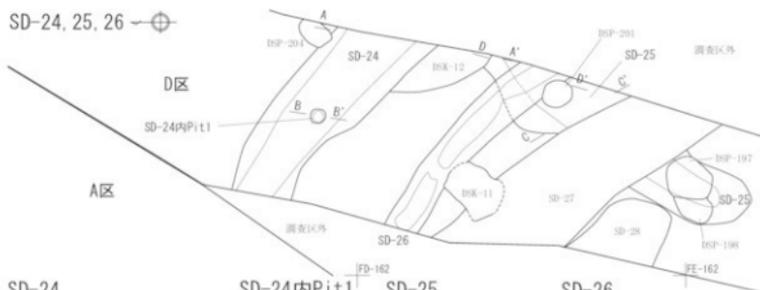
FE-160・161グリッドで検出した。DSP-151・152、169と重複している。DSP-151・152、169が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長172cm、幅110cm、深さ12cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット4基を検出した。平面形はPit1円形、Pit2、4不整形、Pit3不整形円形で、規模はPit1=長軸15×短軸6×深さ13cm、Pit2=長軸21×短軸19×深さ10cm、Pit3=長軸27×短軸17×深さ9cm、Pit4=長軸20×短軸17×深さ8cmを測る。堆積土は2層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-48 (第419図)

FF・FG-160グリッドで検出した。DSK-13、DSP-19、180・181、202、206と重複している。DSK-13、DSP-19、180・181、202、206が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかに蛇行しており、規模は延長230cm、幅70cm、深さ12cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット4基を検出した。平面形はPit1、3、4不整形、Pit2円形で、規模はPit1=長軸25×短軸16×深さ8cm、Pit2=長軸33×短軸32×深さ8cm、Pit3=長軸26×短軸16×深さ24cm、Pit4=長軸17×短軸14×深さ3cmを測る。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD-49 (第420図)

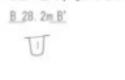
FF～FH-161グリッドで検出した。DSP-10、13、49、108と重複している。DSP-10、13、49、108が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。緩やかな弧状を呈し、規模は延長867cm、幅88cm、深さ7cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット16基を検出した。平面形はPit1、5、9・10、15・16円形、Pit2～4、13楕円形、Pit6、8、11・12、14不整形、Pit7隅丸方形で、規模はPit1=長軸30×短軸25×深さ19cm、Pit2=長軸30×短軸20×深さ6cm、Pit3=長軸24×短軸15×深さ9cm、Pit4=長軸21×短軸15×深さ9cm、Pit5=長軸27×短軸24×深さ



SD-24



SD-24内Pit1



SD-25



SD-26



SD-43



SD-43, SD-43内Pit1



SD-43内Pit2



SD-43内Pit3



SD-43内Pit4



SD-48



SD-48, SD-48内Pit1



SD-48内Pit2, 3



SD-48内Pit4

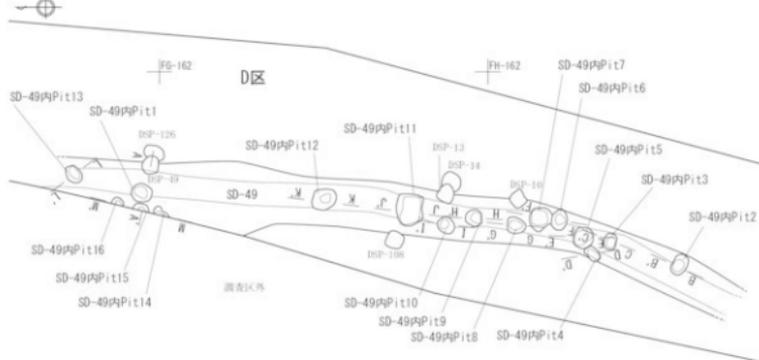


SD-24			
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。ロームブロック(φ10~30mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第3層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。ロームブロック(φ10~30mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第4層	10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。ロームブロック(φ10~20mm)微量。酸化鉄粒(φ1~9mm)微量
第5層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量。ロームブロック(φ10~20mm)中量。酸化鉄粒(φ1~10mm)微量
SD-24内Pit1			
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SD-25			
第1層	7.5YR6/6	緑色土と7.5YR5/4に多い黄褐色土の混合層	二重ローム(中・暗緑)・酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YR4/3	に多い黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量。ロームブロック(φ10~50mm)多量。酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
第3層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)微量。酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
第4層	10YR6/4	に多い黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量。ロームブロック(φ10~60mm)多量。酸化鉄粒(φ1~2mm)少量
SD-26			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。ロームブロック(φ10mm)微量。炭化粒(φ1~9mm)少量。炭化物ブロック(φ10~20mm)少量。酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量。ロームブロック(φ10~30mm)中量。炭化粒(φ1~9mm)微量。炭化物ブロック(φ10mm)微量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
第3層	10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)多量。ロームブロック(φ10~30mm)中量。炭化粒(φ1~5mm)微量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第4層	10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量。ロームブロック(φ10~30mm)微量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
第5層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量。ロームブロック(φ10~30mm)中量。酸化鉄粒(φ1~10mm)中量

SD-43			
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)中量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
第2層	10YR2/3	黒褐色土と10YR5/4に多い黄褐色土の混合層	酸化鉄粒(φ1~3mm)中量
SD-43内Pit1			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量。炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~3mm)微量。酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~3mm)微量。酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
SD-43内Pit2			
第1層	10YR4/3	黒褐色土と10YR4/2に多い黄褐色土の混合層	酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
SD-43内Pit3			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量。炭化粒(φ1~3mm)微量
SD-48			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。ロームブロック(φ10~30mm)少量。炭化粒(φ1~9mm)少量。酸化鉄粒(φ1~20mm)少量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~8mm)中量
第3層	10YR3/4	暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層	酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
SD-48内Pit1			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~3mm)微量
SD-48内Pit2			
第1層	10YR3/4	暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層	酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
SD-48内Pit3			
第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~3mm)中量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量。炭化粒(φ1~5mm)少量。酸化鉄粒(φ1~3mm)中量

第419図 中道遺跡D区SD(1)

SD-49



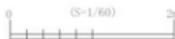
SD-49, SD-49内Pit1 SD-49内Pit2 SD-49内Pit3 SD-49内Pit4 SD-49内Pit5



SD-49内Pit6, 7 SD-49内Pit8 SD-49内Pit9 SD-49内Pit10 SD-49内Pit11

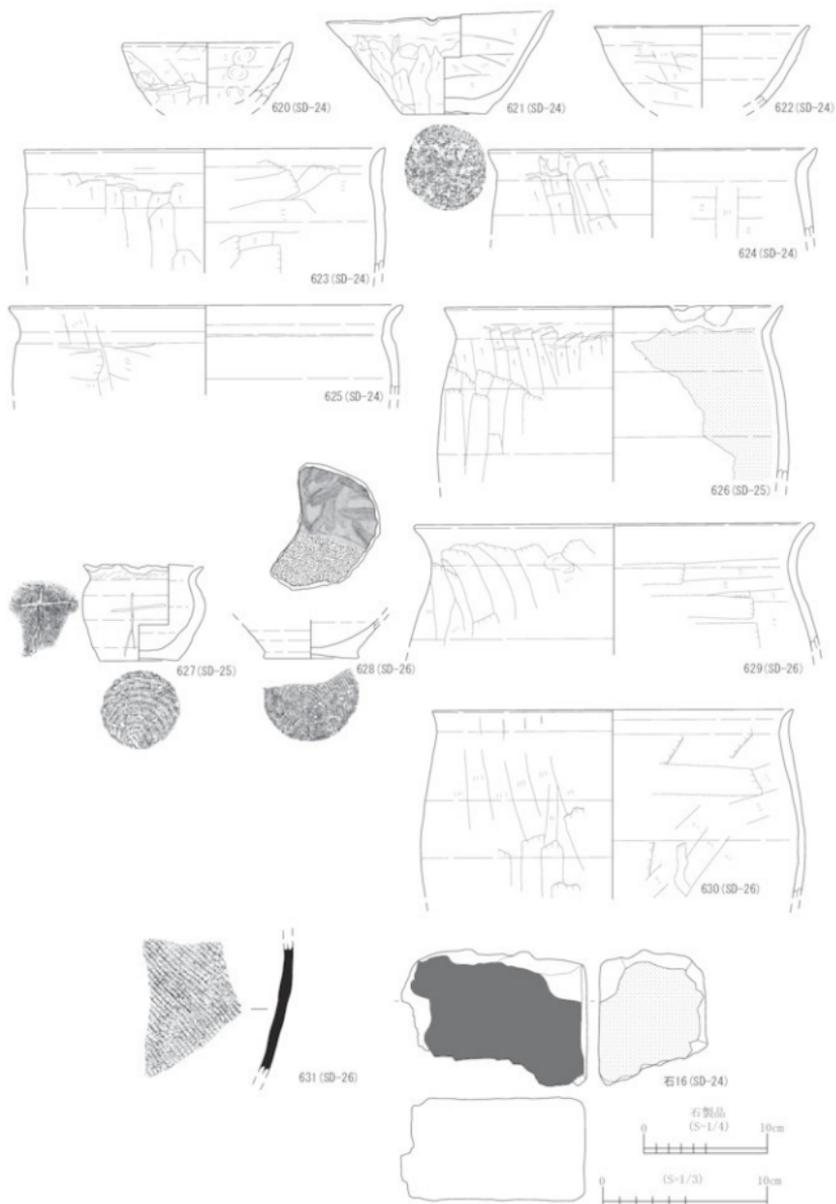


SD-49内Pit12 SD-49内Pit13 SD-49内Pit14, 15, 16



- SD-49
 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)微量、焼土粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit11
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR3/2 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 SD-49内Pit12
 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit13
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit14
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 SD-49内Pit15
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit16
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit17
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
 SD-49内Pit18
 第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層 炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit19
 第1層 7.5YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量
 第2層 7.5YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
 SD-49内Pit110
 第1層 10YR2/1 灰色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 第2層 7.5YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 SD-49内Pit111
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 SD-49内Pit112
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 SD-49内Pit114
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 SD-49内Pit115
 第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 SD-49内Pit116
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第240図 中道遺跡D区SD(2)



第421図 中道遺跡D区出土遺物SD

12cm、Pit6=長軸24×短軸18×深さ27cm、Pit7=長軸30×短軸27×深さ9cm、Pit8=長軸21×短軸18×深さ6cm、Pit9=長軸21×短軸21×深さ21cm、Pit10=長軸24×短軸18×深さ15cm、Pit11=長軸39×短軸33×深さ9cm、Pit12=長軸33×短軸24×深さ18cm、Pit13=長軸24×短軸18×深さ9cm、Pit14=長軸21×短軸9×深さ9cm、Pit15=長軸21×短軸9×深さ15cm、Pit16=長軸15×短軸9×深さ12cmを測る。配置等は不明であるが、柵の可能性も考えられる。堆積土は1層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

3. 井戸跡

DSE-03 (第422図)

FC-162グリッドで検出した。攪乱により全体形は不明であるが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸154×短軸133×深さ129cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。黒褐色、黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は木製品1点(第423図木146)を図示した。板状を呈する用途不明品で、中央部に挟りが認められる。

DSE-03

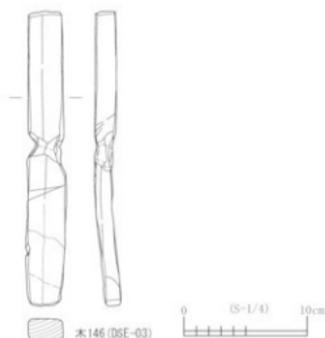


DSE-03

第1層	10YR2/3	黒褐色土	
第2層	10YR2/1	黒褐色土	
第3層	10YR2/1	黒色土	□—ム粒(φ1~9mm)少量
第4層	10YR1.7/1	黒色土	□—ム粒(φ1~9mm)少量



第422図 中道遺跡D区SE



第423図 中道遺跡D区出土遺物SE

4. ビット

D区からは203基のビットを検出した。分布状況はグリッドラインFE～FHの密度が高い。詳細及び出土遺物は第53表、第424～438図のとおりである。

第53表 中道遺跡D区SP観察表

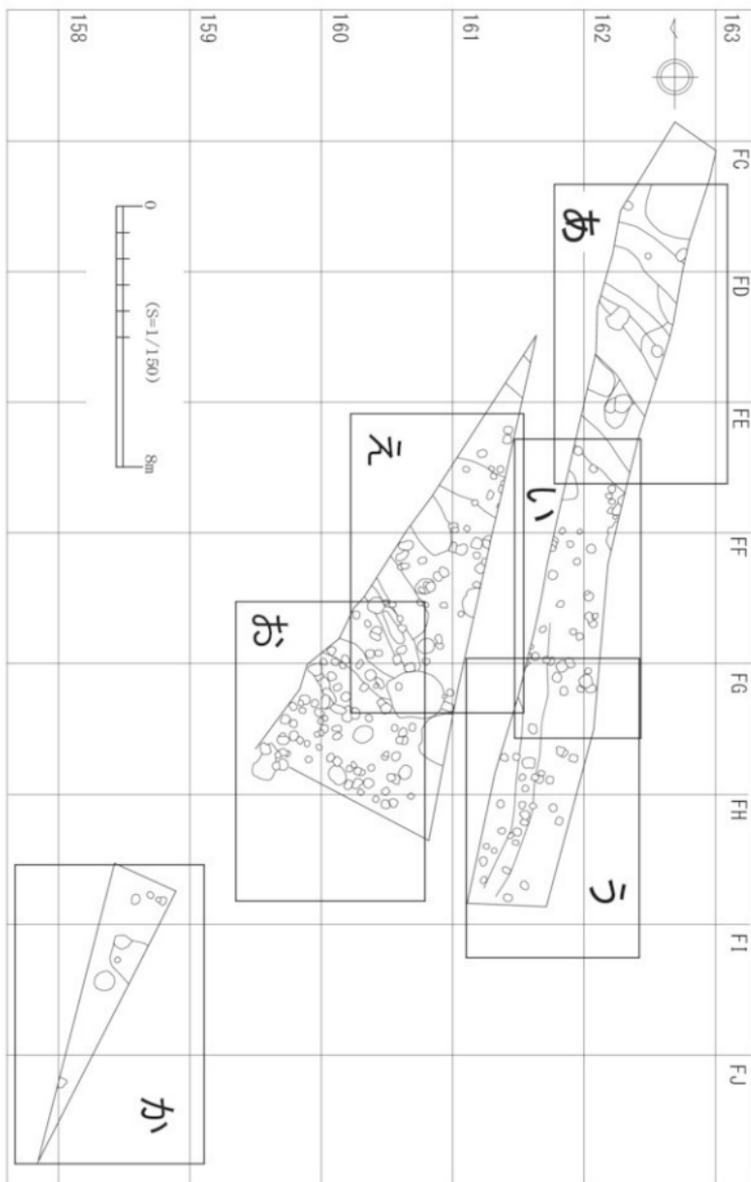
図版番号	遺物番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第437図	DSP-01	FJ-157・158		30	(25)	5	e	d			
第437図	DSP-02	FH-158		31	(25)	56	e	a			
第437図	DSP-03	FH-158		20	18	17	h	h			
第437図	DSP-06	FH-158	DSP-06>DSP-07	16	15	8	h	d			
第437図	DSP-07	FH-158	DSP-07<DSP-06	24	(14)	30	d	a			
第428図	DSP-08	FH-161		26	22	22	h	h			
第428図	DSP-09	FH-161		28	22	22	f	h			
第428図	DSP-10	FH-161	DSP-10>SD-49	19	18	16	c	a			
第428図	DSP-11	FH-161		22	20	20	c	d			
第428図	DSP-12	FG-161	DSP-12>DSP-191	24	10	16	g	a			
第428図	DSP-13	FG-161	DSP-13>DSP-14, SD-49	22	18	14	d	a			
第428図	DSP-14	FG-161	DSP-14<DSP-13	22	(15)	16	h	a			
第428図	DSP-15	FG-161		24	20	12	a	d			
第428図	DSP-16	FG-161		24	22	22	c	a			
第428図	DSP-17	FH-161		24	24	32	h	d			
第428図	DSP-18	FG-161		18	14	12	h	d			
第433図	DSP-19	FG-160	DSP-19>SD-48	26	20	30	c	a			
第433図	DSP-20	FG-160	DSP-20<DSP-21	22	(18)	9	h	d			
第433図	DSP-21	FG-160	DSP-21>DSP-20	32	30	30	h	d			
第433図	DSP-22	FG-160	DSP-22>DSP-23	17	16	7	h	d			
第433図	DSP-23	FG-160	DSP-23<DSP-22	19	(10)	14	h	g			
第433図	DSP-25	FG-160		28	21	28	c	d			
第433図	DSP-26	FG-160		31	31	33	h	a			
第433図	DSP-27	FH-160		25	25	12	h	h			
第433図	DSP-28	FH-160		26	24	21	h	d		柱根跡有	
第433図	DSP-29	FG・FH-160		22	18	20	c	h			
第433図	DSP-30	FG・FH-160		16	16	14	c	a			
第433図	DSP-31	FG-160	DSP-31>DSP-32	27	24	5	h	d			
第433図	DSP-32	FG-160	DSP-32<DSP-31	25	(17)	17	e	e			
第433図	DSP-33	FG-160		44	36	18	h	d			
第434図	DSP-34	FG-160		29	24	35	h	d			
第434図	DSP-35	FG-160	DSP-35>DSP-112	22	20	40	h	a			
第434図	DSP-36	FG-160		21	20	22	h	d			
第434図	DSP-37	FG-160	DSP-37>DSP-127	34	24	22	e	a			

図説番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第434図	DSP-38	FG・FH-160		17	17	12	c	a			
第434図	DSP-39	FG-160		18	20	11	h	d			
第434図	DSP-40	FG-160		20	15	11	h	d			
第426図	DSP-41	FG-161		26	22	24	h	e			
第426図	DSP-42	FG-161		31	28	11	h	i			
第426図	DSP-43	FG-161		20	20	20	e	d			柱礎跡有
第426図	DSP-44	FG-162		20	18	26	h	a			
第426図	DSP-45	FG-161・162	DSP-45>DSP-46	39	38	14	h	a			
第426図	DSP-46	FG-162	DSP-46<DSP-45	36	(22)	16	h	a			
第426図	DSP-47	FF・FG-161	DSP-47<DSP-48	33	32	49	h	a			
第426図	DSP-48	FF・FG-161	DSP-48>DSP-47	34	(22)	49	h	a			
第426図	DSP-49	FF・FG-161	DSP-49>DSP-126, SD-49	22	18	16	d	d			
第426図	DSP-50	FF-161		20	19	10	h	a			
第426図	DSP-51	FF-161		24	22	22	d	h			柱礎跡有
第426図	DSP-52	FF-162	DSP-53と新旧不明	24	20	14	h	d			
第426図	DSP-53	FF-162	DSP-53<DSP-54 DSP-52と新旧不明	19	(9)	13	e	d			
第426図	DSP-54	FF-162	DSP-54>DSP-53	22	20	10	f	d			
第426図	DSP-55	FF-162	DSP-55>DSP-56	18	10	7	f	a			
第426図	DSP-56	FF-162	DSP-56<DSP-55	28	20	52	h	j			
第434図	DSP-57	FG-159		19	11	10	h	d			
第434図	DSP-58	FG-159	DSP-58>DSP-59・60, DSK-03	24	22	8	h	d			
第434図	DSP-59	FG-159	DSP-59<DSP-58, 60	14	14	11	h	d			
第434図	DSP-60	FG-159	DSP-58>DSP-60>DSP-59	34	(24)	13	h	d			柱礎跡有
第434図	DSP-61	FG-159	DSP-61>DSP-62	36	24	28	f	a			柱礎跡有
第434図	DSP-62	FG-159	DSP-62<DSP-61	18	11	28	e	a			
第434図	DSP-63	FG-159		19	19	14	c	a			
第434図	DSP-64	FG-159		30	26	22	h	d			
第434図	DSP-65	FG-159		30	26	19	e	e			
第434図	DSP-66	FG-159		24	22	15	h	h			
第434図	DSP-67	FG-159		20	17	10	h	d			
第434図	DSP-68	FG-159	DSP-68<DSP-69	17	(15)	7	h	d			
第434図	DSP-69	FG-159・160	DSP-69>DSP-68, 70	19	14	12	h	h			
第434図	DSP-70	FG-159・160	DSP-70<DSP-69	24	(18)	30	h	d			
第434図	DSP-71	FG-159・160		19	16	7	f	d			
第434図	DSP-72	FG-160	DSP-72>DSK-08	26	26	22	c	d			
第434図	DSP-73	FG-160		26	20	11	f	d			
第435図	DSP-74	FG-159		24	20	27	c	d			
第435図	DSP-75	FG-160		29	18	11	f	d			
第435図	DSP-76	FG-160		28	21	15	f	d			
第435図	DSP-77	FG-159・160		19	19	11	h	h			
第435図	DSP-78	FG-160		18	14	10	h	h			
第435図	DSP-79	FG-159・160		29	24	22	e	d			
第435図	DSP-80	FG-159		25	20	26	h	h			
第435図	DSP-81	FG-159		20	16	8	h	d			
第435図	DSP-82	FG-159	DSP-82>DSP-83	18	16	7	h	a			
第435図	DSP-83	FG-159	DSP-83<DSP-82	32	22	16	h	d			
第435図	DSP-84	FG-159・160	DSP-84>DSP-85, DSP-178	42	26	12	f	d			
第435図	DSP-85	FG-160	DSP-84>DSP-85>DSP-86, 178	(39)	(8)	11	f	h			
第435図	DSP-86	FG-160	DSP-85>DSP-86>DSP-87<DSP-100	40	24	51	f	i			
第435図	DSP-87	FG-160	DSP-87>DSP-86, 88 DSP-100と新旧不明	(24)	(27)	28	d	d			
第435図	DSP-88	FG-160	DSP-88>DSP-87, 100	34	26	23	f	e			
第435図	DSP-89	FG-160		22	22	11	h	h			
第435図	DSP-90	FG-160	DSP-90>DSP-91	22	20	16	h	a			
第435図	DSP-91	FG-160	DSP-91<DSP-90	23	(15)	27	h	a	土師甕田1点 (第438図B32)	平安時代	
第435図	DSP-92	FG-160		22	18	16	h	e			
第435図	DSP-93	FG-160		28	24	18	h	d			
第436図	DSP-94	FG-160		27	28	28	h	d			柱礎跡有
第436図	DSP-95	FG-160		26	19	11	h	d			
第436図	DSP-96	FG-160		27	26	34	h	e			
第436図	DSP-97	FF・FG-160		22	20	17	h	i			
第436図	DSP-98	FG-159・160	DSP-99>DSP-98>DSP-177	26	(14)	8	h	d			
第436図	DSP-99	FG-159・160	DSP-99<DSP-98	41	37	21	e	d			
第435図	DSP-100	FG-159・160	DSP-100>DSP-86, 88 DSP-87と新旧不明	(29)	(24)	38	d	a	土師甕田1点 (第438図B33)	平安時代	

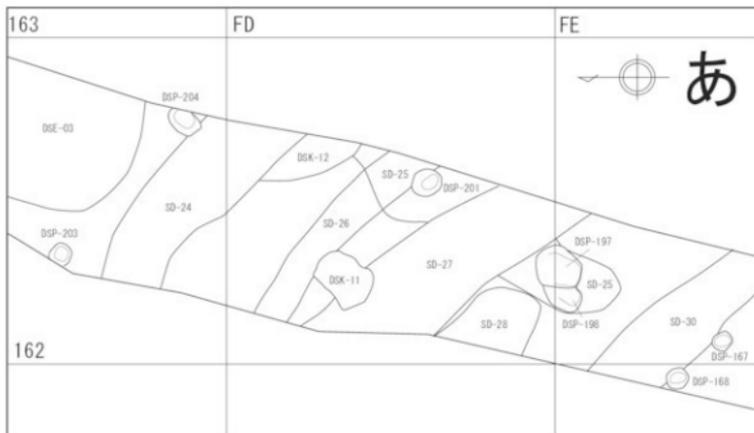
川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡 発掘調査報告書

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第429図	DSP-101	FH-161		20	19	21	f	h			
第429図	DSP-102	FH-161		28	22	21	h	d			
第429図	DSP-103	FH-161		19	16	11	h	h			
第429図	DSP-104	FH-161		16	16	7	h	h			
第429図	DSP-105	FH-161		23	20	10	h	d			
第429図	DSP-106	FH-161		24	22	30	h	e			
第429図	DSP-107	FG-161		24	22	13	d	h			
第429図	DSP-108	FG-161	DSP-108>SD-49	20	20	23	c	d			
第426図	DSP-109	FF-161		28	28	24	h	d			柱根跡有
第427図	DSP-110	FF-161		22	18	30	h	h			柱根跡有
第427図	DSP-111	FF-162		28	26	27	h	e			
第434図	DSP-112	FG-160	DSP-112>DSP-35	20	(11)	27	h	d			
第426図	DSP-113	FF-162		19	16	15	h	d			
第436図	DSP-114	FH-160		18	18	12	h	d			柱根跡有
第430図	DSP-115	FF-160		24	22	18	h	h			
第430図	DSP-116	FF-160		22	18	12	h	e			
第430図	DSP-117	FF-160	DSP-118と新旧不明	36	18	18	g	g			
第430図	DSP-118	FF-160	DSP-117と新旧不明	30	22	5	h	d			
第430図	DSP-119	FF-160		26	26	14	c	d			
第430図	DSP-120	FF-160		23	20	32	f	e			
第430図	DSP-121	FF・FG-160	DSP-121<SD-47	28	24	7	e	d			
第430図	DSP-122	FF・FG-160		22	20	13	e	a			
第430図	DSP-123	FF-160		50	46	60	h	a	土師器田1点 (第438図634)	平安時代	柱根跡有
第430図	DSP-124	FF-160	DSP-124<DSP-125	22	17	17	f	d			
第430図	DSP-125	FF-160	DSP-125>DSP-124	28	20	17	f	d			
第426図	DSP-126	FF・FG-161	DSP-126<DSP-49	24	13	11	f	d			
第434図	DSP-127	FG-160	DSP-127>DSP-37	16	15	4	h	a			
第436図	DSP-128	FG-159	DSP-128<DSP-129, 175, DSK-03	18	16	16	c	d			
第436図	DSP-129	FG-159	DSP-128<DSP-129 >DSP-174	(22)	20	16	e	d			
第430図	DSP-130	FF-160		17	16	16	h	d			
第430図	DSP-131	FF-160		22	20	7	e	d			
第431図	DSP-132	FF-161		18	16	17	h	c			
第431図	DSP-133	FF-161		24	18	16	h	a			
第431図	DSP-134	FF-161	DSP-134<DSP-135	20	(12)	13	h	d			
第431図	DSP-135	FF-161	DSP-135<DSP-134	(34)	(28)	53	e	d			
第431図	DSP-136	FF-161		20	20	12	d	h			
第431図	DSP-137	FF-161	DSP-188と新旧不明	32	32	48	c	e			
第431図	DSP-138	FF-161	DSP-138<DSP-139	(20)	(20)	9	e	d			
第431図	DSP-139	FF-161	DSP-139<DSP-138	(28)	22	21	e	h			
第431図	DSP-140	FE-161		17	17	8	c	d			
第431図	DSP-141	FE-160・161	DSP-141>DSP-142	24	16	11	f	h			
第431図	DSP-142	FE-160・161	DSP-141>DSP-142 >SD-45	27	(14)	12	f	h			
第431図	DSP-143	FF-161	DSK-06と新旧不明	24	(8)	11	g	a			
第431図	DSP-144	FF-160・161	DSP-145と新旧不明	30	20	8	e	d			
第431図	DSP-145	FF-161	DSP-144と新旧不明	34	32	20	e	d			
第431図	DSP-146	FF-160	DSP-146<DSP-147	30	(20)	10	h	a			
第431図	DSP-147	FF-160	DSP-147>DSP-146	32	26	13	f	d			
第431図	DSP-148	FF-160		26	20	18	h	f			
第431図	DSP-149	FF-160	DSP-149<DSP-182	26	17	18	f	d			
第431図	DSP-150	FF-160	DSP-199と新旧不明	24	19	30	e	e			
第431図	DSP-151	FE-161	DSP-152>DSP-151 >SD-43	(16)	(9)	37	h	d			
第431図	DSP-152	FE-161	DSP-152>DSP-151, SD-43	(22)	(10)	35	h	h			
第427図	DSP-153	FE・FF-162	DSP-153> DSK-04	19	12	30	e	a			
第427図	DSP-154	FF-161		20	19	5	c	d			
第427図	DSP-155	FF-161	DSP-155>DSP-156	20	(12)	10	h	h			
第427図	DSP-156	FF-161	DSP-155>DSP-156 >DSP-157	(14)	(14)	14	h	h			
第427図	DSP-157	FF-161	DSP-157>DSP-156	(16)	(12)	20	h	e			
第427図	DSP-158	FE・FF-161		18	16	14	c	d			柱根跡有
第427図	DSP-159	FF-161		18	18	15	h	d			
第427図	DSP-160	FE・FF-161		16	14	12	h	a			
第427図	DSP-161	FE-162		12	12	10	h	a			
第427図	DSP-162	FE-162	DSP-162<DSP-163	20	(10)	20	e	c			
第427図	DSP-163	FE-162	DSP-162<DSP-163 <DSP-195	(32)	(26)	42	e	d			
第427図	DSP-164	FE-162		20	17	16	e	a			
第427図	DSP-165	FE-162		20	16	14	d	c			
第427図	DSP-166	FE-162		22	22	19	h	d			
第425図	DSP-167	FE-162	DSP-167>SD-30	24	22	32	h	a			
第425図	DSP-168	FE-161	DSP-168>SD-30	26	25	15	h	d	土師器田1点 (第438図635)	平安時代	

図面番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模(m)			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				基底	幅縁	深さ					
第432図	DSP-169	FE-161	DSP-169>SD-43	18	16	13	c	a			
第432図	DSP-170	FE-161		18	12	7	b	d			
第432図	DSP-171	FE-161		21	20	23	h	h			
第432図	DSP-172	FE-161		29	22	23	f	e			
第436図	DSP-173	FG-159	DSP-173>DSP-175, DSK-03	37	28	20	e	e			
第436図	DSP-174	FG-159	DSP-174>DSP-129	16	(6)	11	h	d			
第436図	DSP-175	FG-159	DSP-175>DSP-128, 173 DSK-03と新旧不明	36	16	8	e	d			
第436図	DSP-176	FG-159	DSP-176>DSK-03	20	20	16	h	d			
第436図	DSP-177	FG-159・160	DSP-177>DSP-98, 178	(30)	28	41	e	h			
第436図	DSP-178	FG-160	DSP-177>DSP-178 >DSP-84・85	52	(26)	56	e	j			
第436図	DSP-179	FF-FG-159-160		22	19	20	h	d			
第436図	DSP-180	FF-160		24	22	14	d	h			
第436図	DSP-181	FF・FG-160	DSP-181>DSP-206, SD-48	21	18	15	h	d			
第431図	DSP-182	FF-160	DSP-149>DSP-182 >SD-46	20	18	4	d	d			
第432図	DSP-183	FF-160	DSP-183>SD-46・47	25	22	38	e	d			
第432図	DSP-184	FF-160	DSP-184>SD-46・47	21	18	7	f	d			
第432図	DSP-185	FF-160	DSP-185>SD-46	20	16	13	h	a			
第432図	DSP-186	FF-160	DSP-186>SD-46・47	16	16	21	h	a			
第432図	DSP-187	FF-160	DSP-187>SD-46	21	16	17	f	d			
第431図	DSP-188	FF-161	DSP-137と新旧不明	30	32	50	e	e			
第432図	DSP-189	FE-161		26	26	25	c	d			
第432図	DSP-190	FE-161		26	24	19	c	d			
第428図	DSP-191	FG-161	DSP-191>DSP-12	26	(24)	22	e	d			
第432図	DSP-192	FG-160・161	DSP-192>DSK-13	35	26	36	b	d			
第432図	DSP-193	FG-160・161		22	20	15	h	d			
第432図	DSP-194	FG-160	DSP-194>DSK-13	12	11	8	h	d			
第427図	DSP-195	FE-162	DSP-195>DSP-163	(32)	(12)	30	e	i			
第432図	DSP-196	FG-160	DSP-196>DSK-13	22	19	41	h	a			
第425図	DSP-197	FD・FE-162	DSP-197>DSP-198, SD-25	54	50	12	e	d			
第425図	DSP-198	FD・FE-162	DSP-197>DSP-198 >SD-25	40	(31)	9	e	d			
第431図	DSP-199	FF-160	DSP-190と新旧不明	22	19	30	e	d			
第436図	DSP-200	FG-160		24	18	18	f	d			
第425図	DSP-201	FD-162	DSP-201>SD-25・26	38	32	20	h	d			
第432図	DSP-202	FG-160	DSK-13と新旧不明	(46)	(24)	14	e	d			
第425図	DSP-203	FC-162		24	(24)	16	h	h			
第425図	DSP-204	FC-162	DSP-204>SD-24	40	(26)	16	f	d			
第432図	DSP-205	FF-160	DSP-205>DSK-05	24	14	11	d	h			
第436図	DSP-206	FF・FG-160	DSP-181>DSP-206 >SD-48	26	(22)	12	h	d			



第424図 中道遺跡D区SP分割図



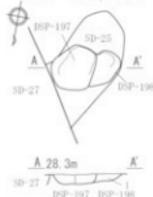
DSP-167



DSP-168



DSP-197, 198



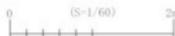
DSP-201



DSP-203

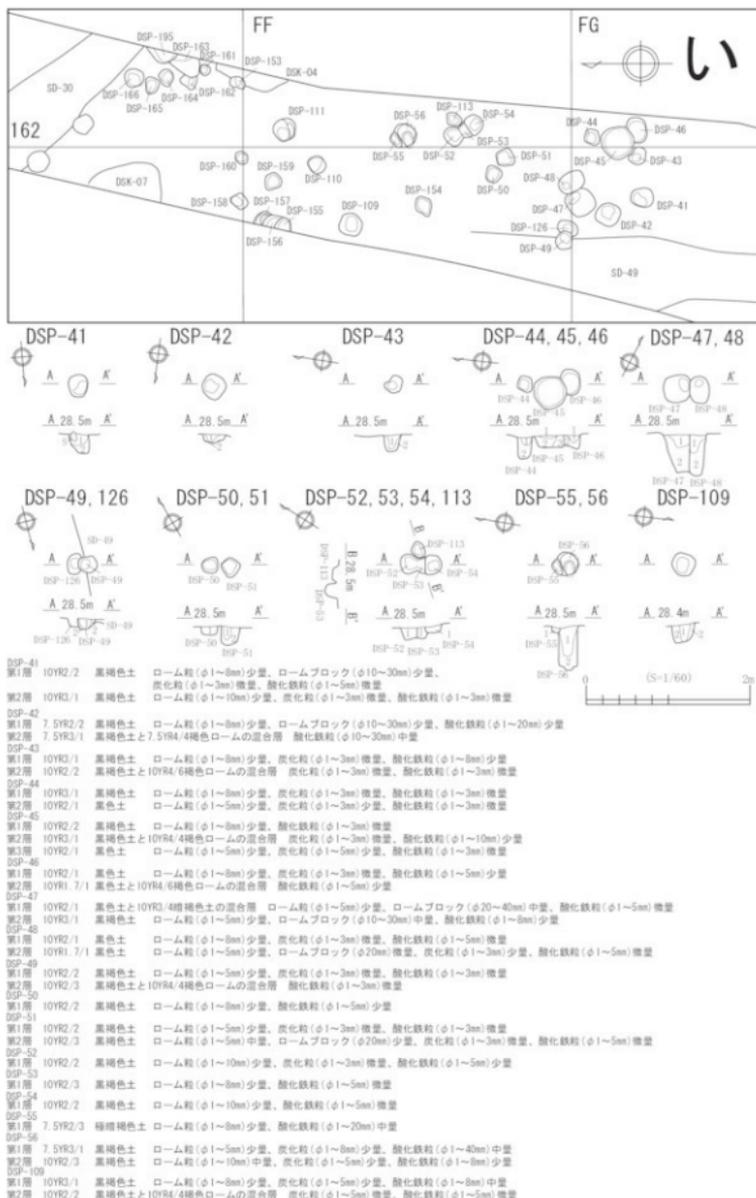


DSP-204

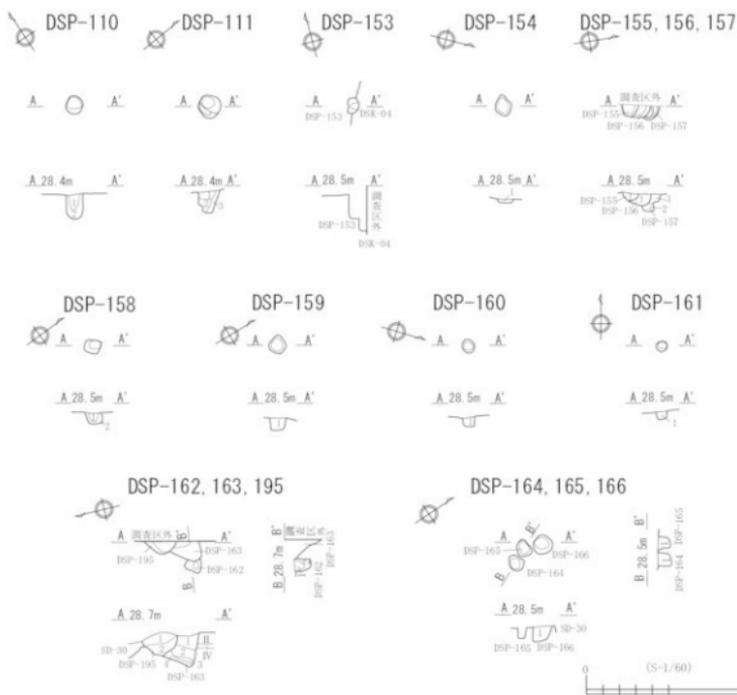


- DSP-167
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
- 第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/2 灰黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
- DSP-168
第1層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
- DSP-197
第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR6/2 灰黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
- DSP-198
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
- DSP-201
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~15mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
- 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~15mm)中量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~2mm)微量
- DSP-203
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~9mm)少量
- DSP-204
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

第425図 中道遺跡D区SP区分図あ

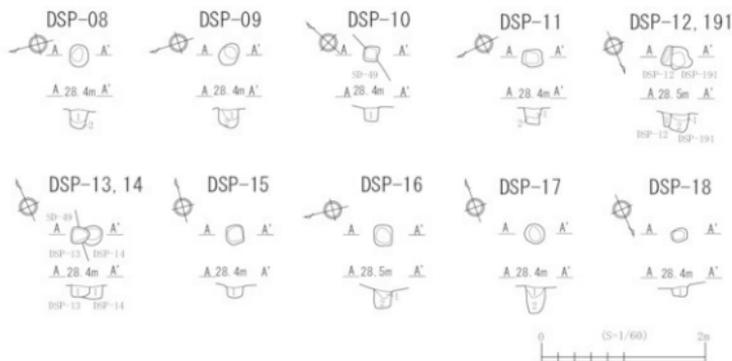
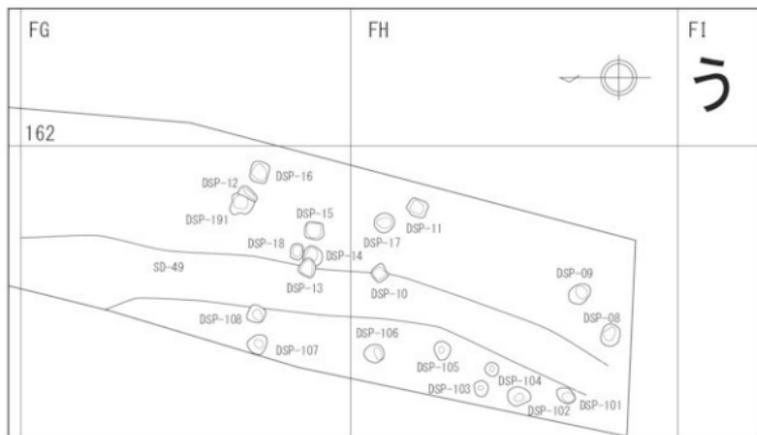


第426図 中道遺跡D区SP区分図い・い(1)



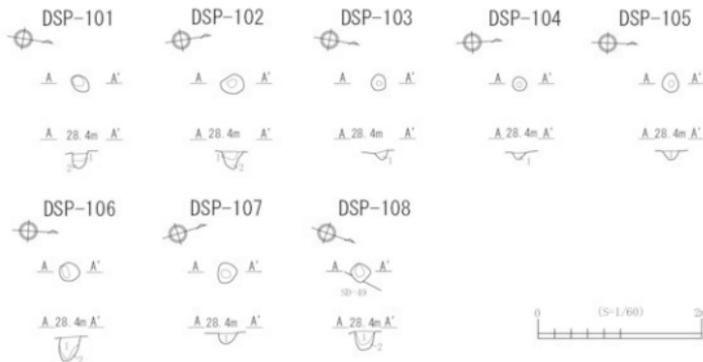
- DSP-110
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ20~40mm)少量
 DSP-111
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 DSP-154
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 DSP-155
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 DSP-156
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
 DSP-157
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 DSP-158
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 DSP-159
 第1層 10YR2/1 黒色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 DSP-160
 第1層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 DSP-161
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
 DSP-162
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量
 DSP-163
 第1層 5YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)多量
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量
 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量
 DSP-164
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
 DSP-165
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)中量
 DSP-166
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
 DSP-195
 第1層 7.5YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量
 第2層 7.5YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量

第427図 中道遺跡D区SPい(2)



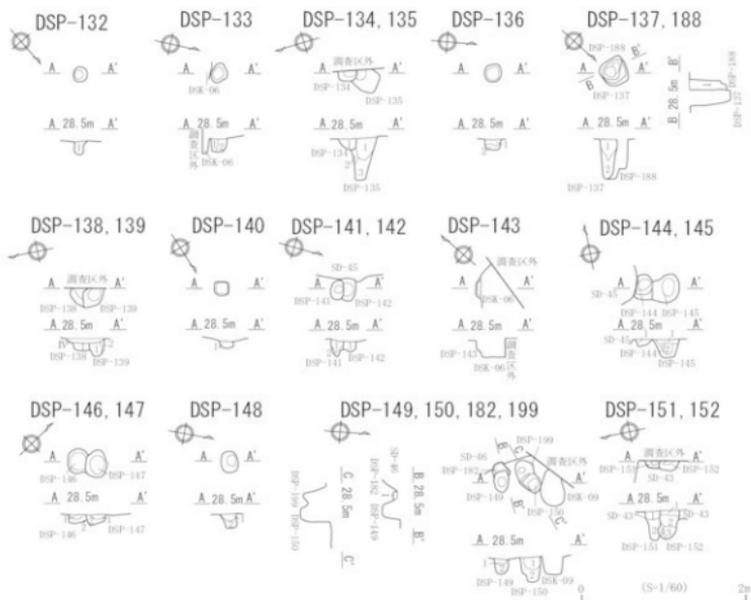
- DSP-08
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。炭化粒(φ1~2cm)微量。酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
- DSP-09
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3cm)少量。ロームブロック(φ10~20cm)少量。炭化粒(φ1~5cm)微量。酸化鉄粒(φ1~5cm)少量
第2層 10YR3/1 ローム粒(φ1~5cm)少量。ロームブロック(φ20~30cm)微量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
- DSP-10
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)中量。ロームブロック(φ10~25cm)少量。炭化粒(φ1~5cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)多量
- DSP-11
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)微量。炭化粒(φ1~8cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)少量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
- DSP-12
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
- DSP-13, 14
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)少量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
- DSP-15
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
- DSP-16
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~5cm)少量。礫(φ10~25cm)少量
- DSP-17
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。酸化鉄粒(φ1~3cm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3cm)少量。ロームブロック(φ10~40cm)少量。炭化粒(φ1~5cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)少量
- DSP-18
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5cm)微量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~8cm)中量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。炭化粒(φ1~8cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)多量
- DSP-191
第1層 10YR2/2 黒色土 ローム粒(φ1~5cm)微量。炭化粒(φ1~3cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)多量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量。炭化粒(φ1~3cm)微量。酸化鉄粒(φ1~3cm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8cm)中量。ロームブロック(φ10~30cm)少量。炭化粒(φ1~5cm)少量。酸化鉄粒(φ1~8cm)少量

第428図 中道遺跡D区SP区分図・う・(1)



DSP-101	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR2/2	DSP-102		
第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量	
第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
DSP-103	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-104	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-105	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-106	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量	
DSP-107	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-108	第1層 7.5YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量
第2層 10YR2/3	黒褐色土と10YR4/3に多い黒褐色ロームの混合層	炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量	

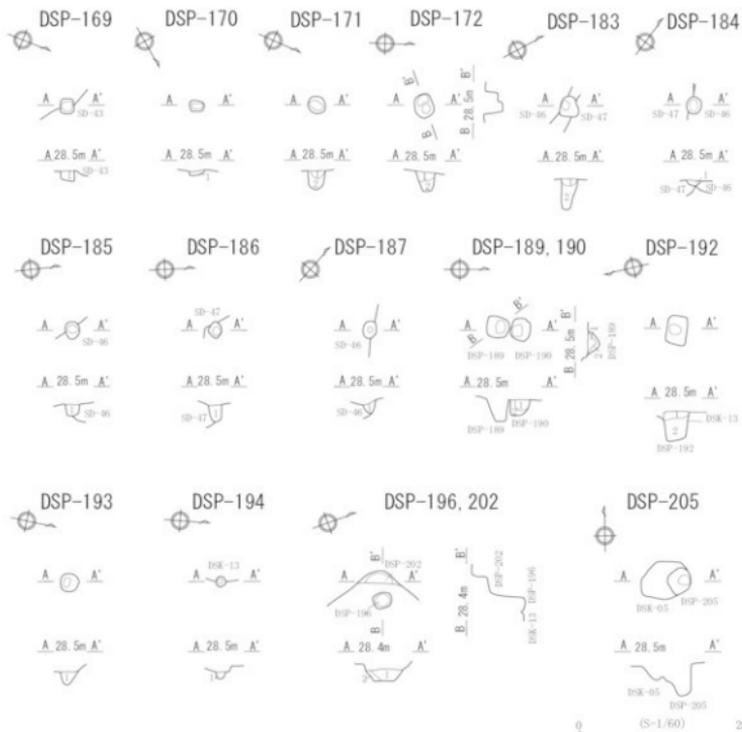
第429図 中道遺跡D区SPう(2)



DSP-132	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~3m)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-133	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-134	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
DSP-135	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~8m)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR1, 7/1	黒色土	ローム層(φ1~10m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
DSP-136	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 7.5YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~5m)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量
DSP-137	第1層 10YR2/2	黒褐色土	と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	と10YR4/4褐色ロームの混合層
DSP-138	第1層 10YR2/1	黒色土	と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-139	第1層 10YR2/2	黒褐色土	と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	と10YR4/4褐色ロームの混合層
DSP-140	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-141	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~5m)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	と10YR4/4褐色ロームの混合層
DSP-142	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-144	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

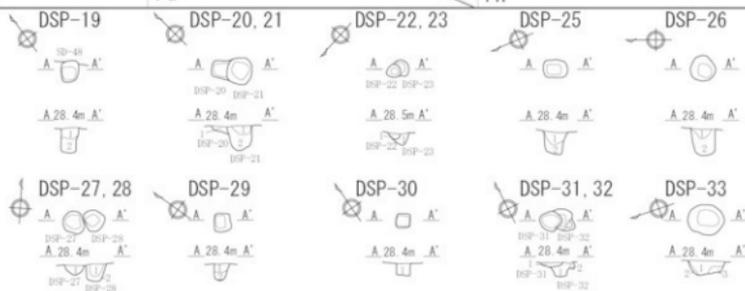
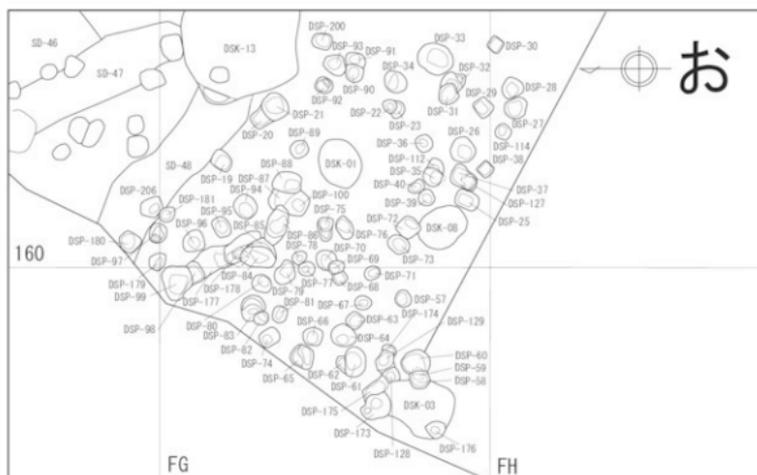
DSP-145	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)微量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~3m)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	と10YR4/4褐色ロームの混合層、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-146	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~3m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-147	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム層(φ1~3m)微量、ロームブロック(φ10~20mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR5/4	にぶい黄褐色ロームと10YR3/4褐色土の混合層	
DSP-148	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム層(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/3	暗褐色土	ローム層(φ1~5m)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-149	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム層(φ1~5m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム層(φ1~3m)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-150	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~2m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム層(φ1~3m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-151	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~5m)少量、ロームブロック(φ10~25mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10m)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~8m)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
DSP-152	第1層 7.5YR3/1	黒褐色土	ローム層(φ1~5m)微量、酸化鉄粒(φ1~10m)少量
	第2層 7.5YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~3m)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20m)中量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	ローム層(φ1~3m)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第4層 10YR2/2	黒褐色土	と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-152	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム層(φ1~8m)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-153	第1層 10YR2/1	黒色土	と10YR4/4褐色ロームの混合層、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

第431図 中道遺跡D区SPえ(2)



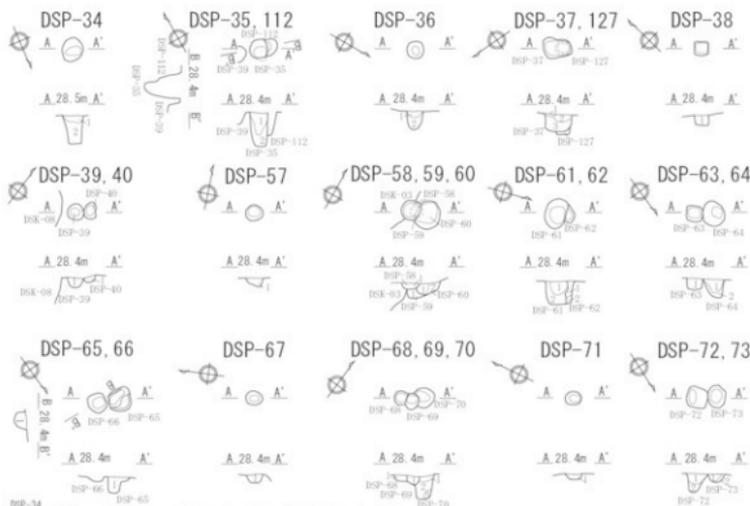
DSP-169	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
DSP-170	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量
DSP-171	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量
DSP-172	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
DSP-183	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
DSP-184	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-185	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
DSP-186	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-187	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-189, 190	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~25mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-192	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-193	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量
DSP-194	第2層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-196, 202	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-205	第2層 10YR3/1	黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層	酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-193	第1層 10YR2/1	黒色土	酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-194	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量
DSP-202	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)少量
DSP-192	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)微量

第432図 中道遺跡D区SPえ(3)



DSP-19	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8cm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~8cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量、礫(φ20mm)微量
DSP-20	10YR/2	黒褐色土と10YR5.6黄褐色ロームの混合層	酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-21	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~5cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~8cm)少量、ロームブロック(φ10~25cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-22	10YR/2	黒褐色土	ローム層(φ1~5cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
第1層	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~3cm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-25	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~10cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~5cm)中量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-26	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~10cm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
第1層	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~3cm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-27	10YR/1	黒色土	ローム層(φ1~10cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-28	10YR/2	黒褐色土	ローム層(φ1~5cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
第1層	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ20cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-29	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~5cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
第1層	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ10~25cm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-30	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8cm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第1層	10YR/2	黒褐色土	ローム層(φ1~8cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-31	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第1層	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~3cm)微量
DSP-32	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~10cm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第2層	10YR/2	黒色土	ローム層(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ30cm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-33	10YR/1	黒褐色土	ローム層(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30cm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

第433図 中道遺跡D区SP区分図お・お(1)



- DSP-34
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

- DSP-35
第1層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2.2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-36
第1層 10YR2.2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒(φ1~10mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-37
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

- DSP-38
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-39
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-40
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-57
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量

- DSP-58
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-59
第1層 10YR3/3 暗褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)中量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-60
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/3にふい黒褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

- DSP-61
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

- DSP-62
第1層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層
第2層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-63
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
第2層 7.5YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

- DSP-64
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
DSP-65
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量

- DSP-66
第1層 10YR2/3 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、炭化物ブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-67
第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

- DSP-68
第1層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
DSP-69
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

- DSP-70
第1層 7.5YR2/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

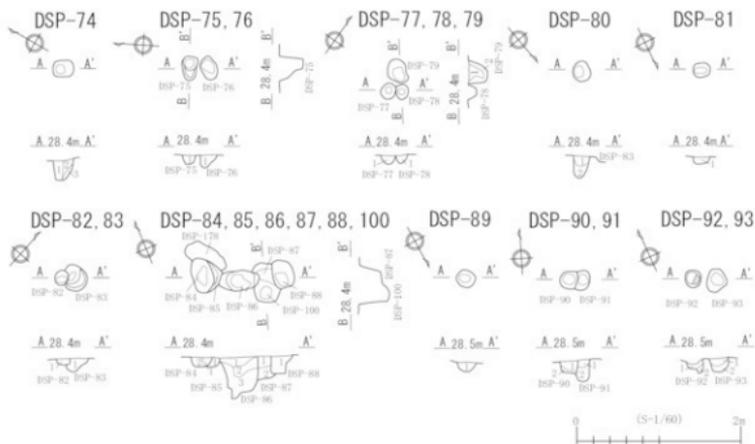
- DSP-71
第3層 10YR2/3 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 □—ム粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

- DSP-72
第1層 10YR2/2 黒褐色土と7.5YR3/4暗褐色土の混合層
第2層 10YR2/3 黒褐色土 □—ム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

- DSP-73
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 □—ム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)多量

- DSP-74
第1層 10YR2/2 黒褐色土 □—ム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)微量

第434図 中道遺跡D区SPお(2)



DSP-74

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
 第3層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-75

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-76

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-77

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

DSP-78

第1層 10YR3/1 黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

DSP-79

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-80

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

DSP-81

第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-82

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-83

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量

DSP-84

第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/3にふい黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-85

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-86

第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-87

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-88

第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)中量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量

DSP-89

第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層 炭化粒(φ1~5mm)少量

DSP-90

第1層 7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量

DSP-91

第2層 7.5YR2/2 黒褐色土と7.5YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~20mm)多量

DSP-92

第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

DSP-93

第1層 7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

DSP-94

第2層 7.5YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

DSP-95

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量

DSP-96

第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層

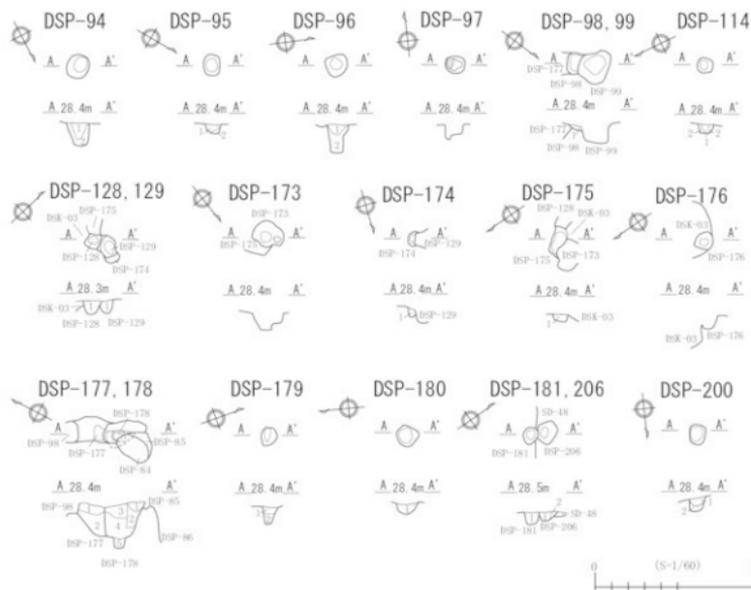
DSP-97

第1層 7.5YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

DSP-98

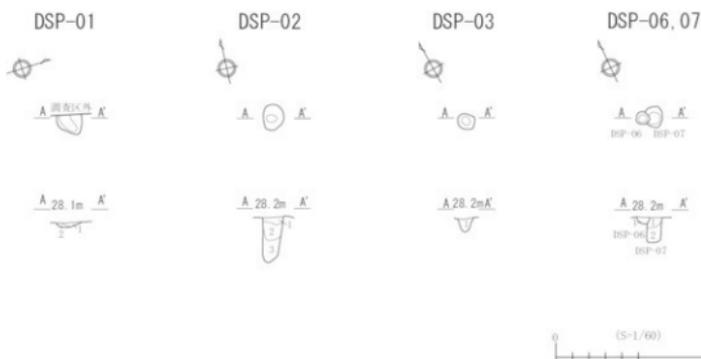
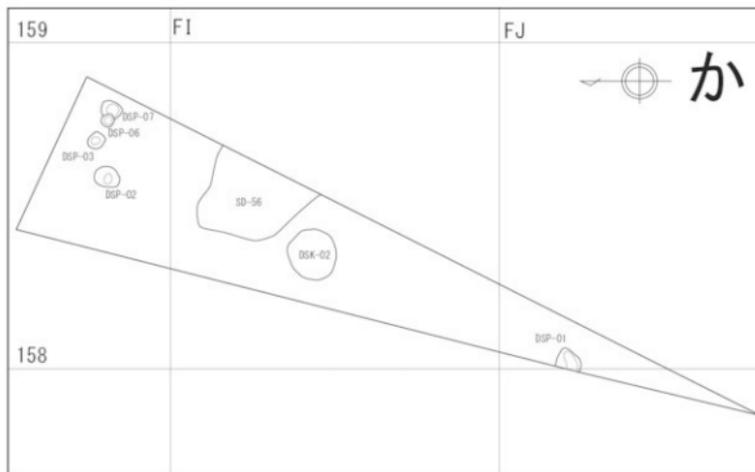
第2層 7.5YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)中量

第435図 中道遺跡D区SPお(3)



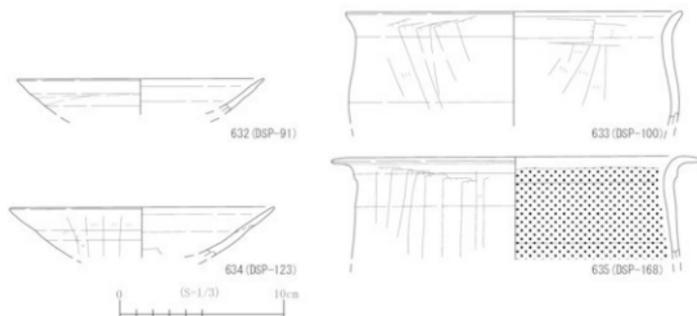
DSP-94	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-95	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土と10YR4.4褐色ロームの混合層	
DSP-96	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~20mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-98	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-174	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR3/1	黒褐色土と10YR5.4にぶい黄褐色ロームの混合層	酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
DSP-175	第1層 10YR2/2	黒褐色土と10YR4.7にぶい黄褐色ロームの混合層	炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ20~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量、粘土ブロック(10mm)微量
DSP-176	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~3mm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)中量
DSP-177	第1層 10YR2/3	黒褐色土と10YR5.6黄褐色ロームの混合層	酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
	第2層 10YR2/2	黒褐色土と10YR4.4褐色ロームの混合層	
DSP-178	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第2層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~20mm)多量
	第3層 7.5YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~10mm)少量
	第4層 7.5YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)多量
	第5層 7.5YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~20mm)中量
DSP-179	第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/1	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量	
DSP-180	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
DSP-181, 206	第1層 10YR2/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量
DSP-200	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR2/1	黒色土と10YR4.2灰黄褐色ロームの混合層	
DSP-206	第1層 10YR2/2	黒褐色土と10YR5.6黄褐色ロームの混合層	
	第2層 10YR2/3	黒褐色土ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄粒(φ1~5mm)微量	

第436図 中道遺跡D区SPお(4)



DSP-01	第1層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-02	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄粒(φ1~5mm)少量
	第3層 10YR2/2	黒褐色土	10YR4/4褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
DSP-03	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量
DSP-06	第1層 10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)少量、酸化鉄粒(φ1~8mm)微量
DSP-07	第1層 10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、酸化鉄粒(φ1~8mm)少量
	第2層 10YR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄粒(φ1~3mm)微量

第437図 中道遺跡D区SP区分図か



第438図 中道遺跡D区出土土器SP

5. 遺構外出土遺物

(1) 土器

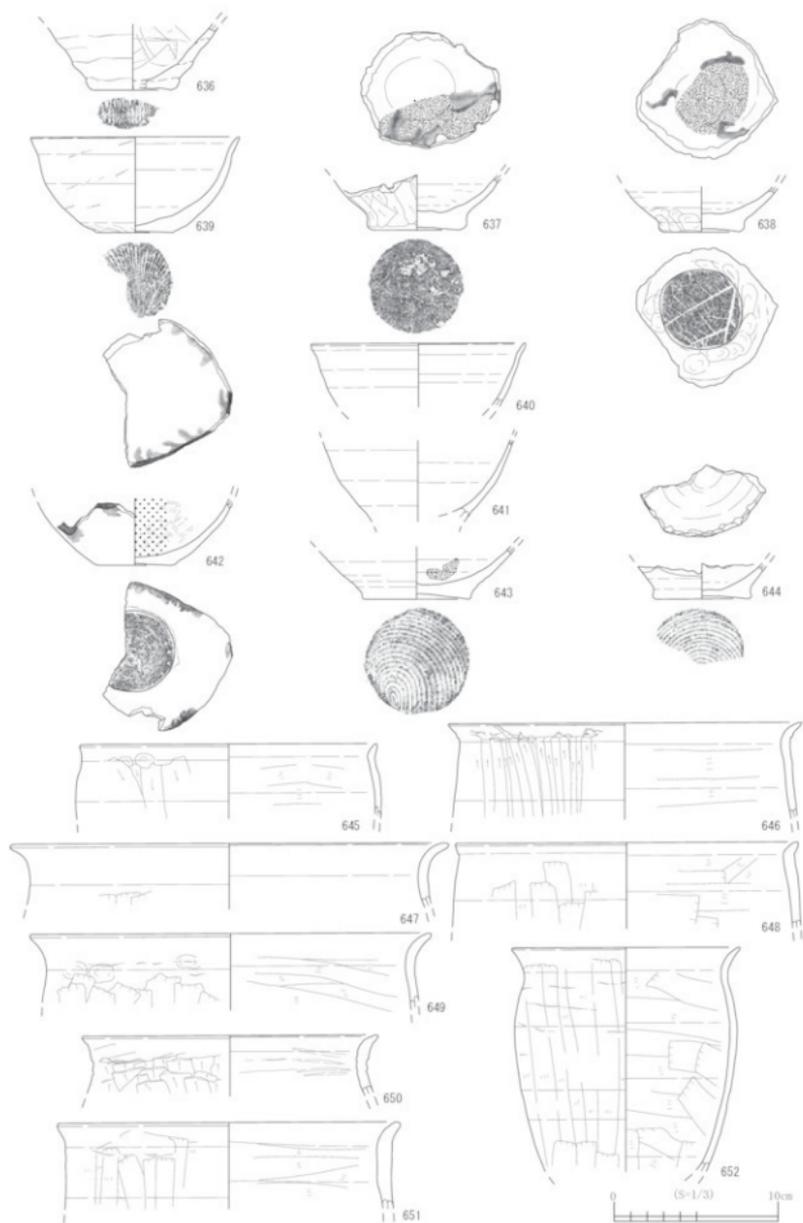
坏9点、甕10点、小甕3点、製塩土器2点、須恵器甕2点（第439図636～652、第440図653～661）を図示した。坏は9点のうち、非ロクロ3点（636～638）、ロクロ調整6点（639～644）である。非ロクロ坏では、637・638の底部が柱状高台状を呈し、いずれも内面油痕、灯明痕が認められる。底部切離は636網代痕、637ヘラナデ、638木葉痕である。ロクロ調整のうち、642はロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。642は内外面灯明痕、643は内面油痕が認められる。甕は10点のうち、口縁部～体部8点、体部～底部2点である。口縁部～体部の資料では、646・647、649、651のように体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反するものが多く、そのほか、650、652のように体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するもの、645、648のように体部が口縁部へとすぼまる形状を呈し、短い口縁部を有するものが認められる。体部～底部の資料では、653は底部からやや直線的に開くように立ち上がり、654は底部からやや丸みを帯びて立ち上がる。655は小甕の口縁部～体部で、口縁部～体部までほぼ直線的な形状を呈する。656は小甕の口縁部～体部で、体部は丸みを帯び、直立気味の口縁部を有する。657は小甕の体部～底部で、直線的に立ち上がる形状で、底部は木葉痕である。658・659は製塩土器体部で、輪積痕が認められ、内外面ともにナデによって調整されている。660・661は須恵器甕の体部で、外面タキ成形、内面ナデによって調整されている。

(2) 石器

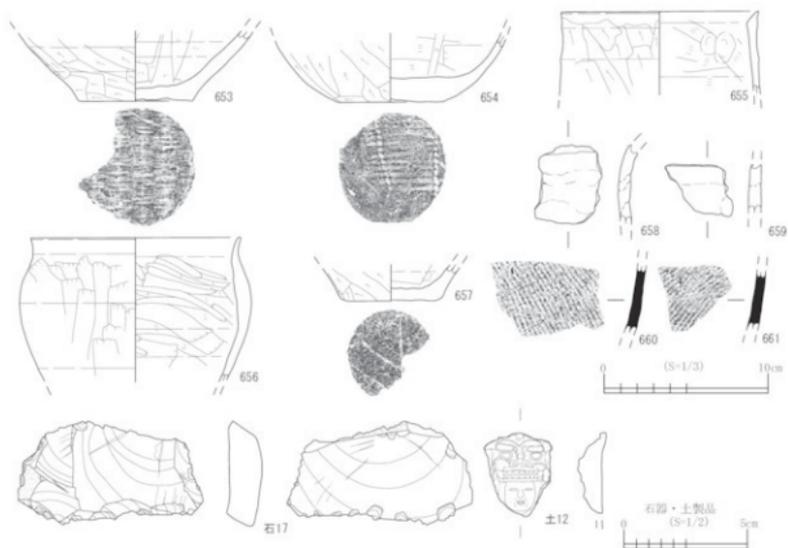
不定形石器1点（第440図石17）を図示した。左側縁に微細網離が認められる。

(3) 土製品

泥面子1点（第440図土12）を図示した。型抜きによって作られたものである。



第439图 中道遺跡D区遺構外出土土器



第440図 中道遺跡D区遺構外出土遺物

図面番号 No.	出土位置 No.	種別	部位	計測値(mm)		口縁	断面		形状	外周	文書・目録		検出	備考
				長さ	幅		高さ	厚さ			口ノリ	底ノリ		
第439回 641	溝溝外	土師器	杯	口縁	5.0	5.0	7.5R 3/1	7.5R 6/3	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	新館付高倉付片か?、外周底付蓋
第439回 642	溝溝外	土師器	杯	杯部	(4)	4.8	5R 4/1	N 1/0	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面打痕跡有り、内周黒色粘着、器心の赤による外欠
第439回 643	溝溝外	土師器	杯	杯部	(3)	6.4	5R 5/4	7.5R 7/3	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内周黒色粘着
第439回 644	溝溝外	土師器	杯	杯部	(2)	(5.8)	7.5R 4/2	N 2/0	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	打欠痕跡、内周底付蓋
第439回 645	溝溝外	土師器	腹	口縁	(18.0)	(4.6)	5R 6/4	5R 6/4	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	外周黒色粘着有り
第439回 646	溝溝外	土師器	腹	口縁	(21.4)	(5.9)	2.5R 5/6	2.5R 6/8	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	内外面底付蓋
第439回 647	溝溝外	土師器	腹	口縁	(26.4)	(4.0)	5R 6/6	10R 7/3	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	外周底付蓋、口縁部赤色粘着
第439回 648	溝溝外	土師器	腹	口縁	(20.7)	(5.3)	7.5R 4/2	7.5R 7/4	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	内外面底付蓋
第439回 649	溝溝外	土師器	腹	口縁	(22.2)	(4.7)	2.5R 5/4	2.5R 5/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面黒粘着、黒色底付蓋有り、内周底付蓋
第439回 650	溝溝外	土師器	腹	口縁	(18.0)	(3.7)	5R 6/6	5R 6/4	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第439回 651	溝溝外	土師器	腹	口縁	(20.8)	(5.2)	5R 4/1	5R 6/4	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	内外面黒粘着、内周底付蓋
第439回 652	溝溝外	土師器	腹	口縁	(13.8)	(13.7)	2.5R 5/8	2.5R 5/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面黒粘着、底付蓋
第440回 653	溝溝外	土師器	腹	杯部	(4.2)	7.0	5R 5/6	N 1/5/0	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 654	溝溝外	土師器	腹	杯部	(12.0)	(5.1)	N 1/5/0	7.5R 7/3	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 655	溝溝外	土師器	小腹	口縁	(12.0)	(5.1)	2.5R 6/6	2.5R 5/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	内外面黒色粘着
第440回 656	溝溝外	土師器	小腹	口縁	(12.0)	(8.9)	5R 3/1	5R 4/1	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	少	内外面底付蓋
第440回 657	溝溝外	土師器	小腹	杯部	(2.2)	5.6	7.5R 7/3	5R 6/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 658	溝溝外	土師器	杯部	杯部	(4.8)	(3.2)	2.5R 6/8	2.5R 6/4	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 659	溝溝外	土師器	杯部	杯部	(4.2)	(3.8)	2.5R 6/8	2.5R 6/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 660	溝溝外	土師器	杯部	杯部	(4.8)	(4.1)	5R 4/1	5R 4/1	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第440回 661	溝溝外	土師器	杯部	杯部	(4.2)	(3.1)	5R 3/1	5R 4/1	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋
第441回 662	SD-70	土師器	腹	口縁	(18.0)	(5.2)	5R 6/6	5R 7/6	口ノリ	口ノリ	口ノリ	口ノリ	多	内外面底付蓋

第55表 中道道路D区出土土製品観察表

図面番号 No.	出土位置 No.	種別	部位	計測値(mm)		長さ	幅	厚さ	断面	形状	製品名	木炭	埋蔵日	検出
				長さ	幅									
第423回	土146	DSE-03	腹土	24.0	3.3	1.7	1.7	用途不明	用途不明	板状				中央部に残り有り

第56表 中道道路D区出土石器観察表

図面番号 No.	出土位置 No.	種別	部位	計測値(mm)		長さ	幅	厚さ	断面	形状	製品名	木炭	埋蔵日	検出
				長さ	幅									
第421回	石16	SD-24	腹土	11.1	15.0	8.5	8.5	13/66	13/66	石質				黒部粘着、側面底付蓋
第440回	石17	溝溝外	腹土	4.3	7.5	1.5	1.5	44	44	目録有り				

第57表 中道道路D区出土土製品観察表

図面番号 No.	出土位置 No.	種別	部位	計測値(mm)		長さ	幅	厚さ	断面	形状	製品名	木炭	埋蔵日	検出
				長さ	幅									
第440回	土12	溝溝外	腹土	3.4	2.8	1.2	1.2			内周				断面黒粘着

第6節 E・F区

1. 溝跡

SD-70 (第442図)

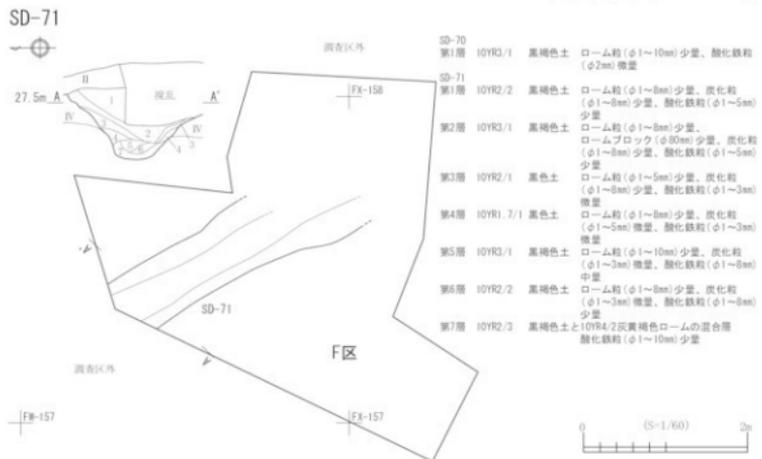
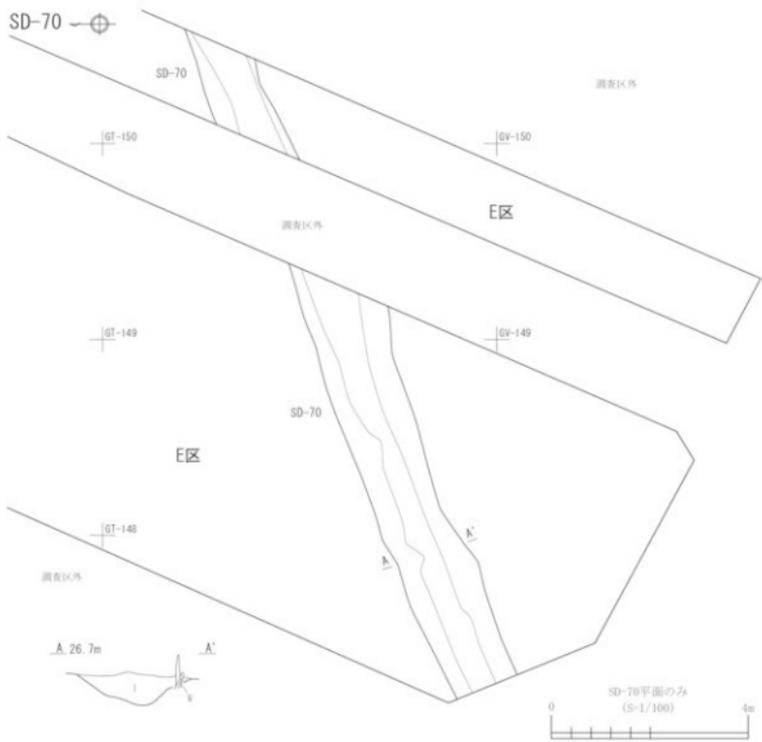
GT-147~150・GV-147グリッドで検出した。直線状を呈する大溝で、規模は延長14.12m、上端幅151cm、下端幅59cm、深さ37cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は1層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕1点を図示した(第441図662)。662は、体部がやや丸みを帯び、直立気味の口縁部を有する。外面ヘラケズリ、ヘラナデ、内面ヘラナデによって調整されている。

SD-71 (第442図)

FW-157グリッドで検出した。B区のSD-69と同軸線上にあるが、SD-69より幅が狭いため、別遺構とした。概ね直線状を呈し、規模は延長316cm、幅79cm、深さ87cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は狭小であるが、ほぼ平坦である。堆積土は7層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。



第441図 中道遺跡E区出土土器SD



- | | | | | |
|-------|-----|-----------|-------------------------|--|
| SD-70 | 第1層 | 10YR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒 (φ1~10mm) 少量、酸化鉄粒 (φ2mm) 微量 |
| SD-71 | 第1層 | 10YR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒 (φ1~8mm) 少量、炭化粒 (φ1~8mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~5mm) 少量 |
| | 第2層 | 10YR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒 (φ1~8mm) 少量、ロームブロック (φ50mm) 少量、炭化粒 (φ1~8mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~5mm) 少量 |
| | 第3層 | 10YR2/1 | 黒色土 | ローム粒 (φ1~5mm) 少量、炭化粒 (φ1~8mm) 少量、酸化鉄粒 (φ1~3mm) 微量 |
| | 第4層 | 10YR1.7/1 | 黒色土 | ローム粒 (φ1~8mm) 少量、炭化粒 (φ1~5mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~3mm) 微量 |
| | 第5層 | 10YR3/1 | 黒褐色土 | ローム粒 (φ1~10mm) 少量、炭化粒 (φ1~3mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~8mm) 少量 |
| | 第6層 | 10YR2/2 | 黒褐色土 | ローム粒 (φ1~8mm) 少量、炭化粒 (φ1~3mm) 微量、酸化鉄粒 (φ1~8mm) 少量 |
| | 第7層 | 10YR2/3 | 黒褐色土と10YR4.7灰黄褐色ロームの混合層 | 酸化鉄粒 (φ1~10mm) 少量 |

第442図 中道道跡E・F区SD

第V章 東早稲田遺跡

第1節 概要

東早稲田遺跡からは土坑3基、溝跡1条、ピット47基のほか、遺構外から土師器甕4点、古銭4点、木製品1点が出土した。調査区内の北側半分は削平されており、地山にキャタピラ痕が認められる状況であった。

第2節 検出遺構

1. 土坑

SK-13 (第444図)

MY-47グリッドで検出した。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸62×短軸58×深さ56cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。黒色土と灰黄褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SK-15 (第444図)

NC-34グリッドで検出した。部分的な検出のため、全体形は不明であるが、平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸46×短軸21×深さ16cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒色土が堆積しており自然堆積と考えられる。

SK-16 (第444図)

NC-32グリッドで検出した。部分的な検出のため、全体形は不明であるが、平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸64×短軸48×深さ28cmを測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は2層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

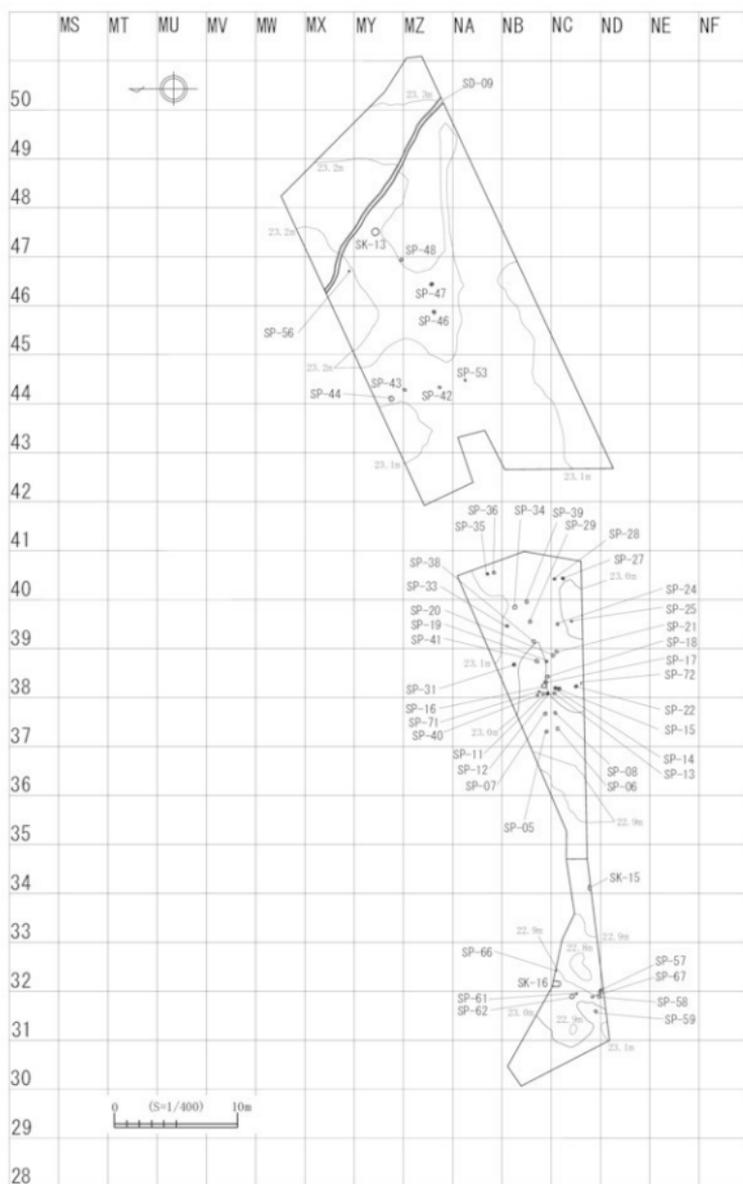
2. 溝跡

SD-09 (第444図)

MX~MZ-46~50グリッドで検出した。北西部でやや蛇行しており、規模は延長18.34m、幅24cm、深さ25cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は4層に分層した。1層はB-Tm火山灰層で黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物が出土していないため、帰属時期は不明であるが、B-Tm火山灰層から10世紀前葉以前に廃絶したと考えられる。

3. ピット

ピットは47基検出した。SD-09南側のグリッドライン41以南の分布密度が高い。詳細は第58表と第445~447図のとおりである。



第443図 東早稲田遺跡遺構配置図

SK-13



A 23.5m A'



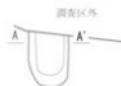
SK-15



A 23.1m A'



SK-16



A 23.2m A'



SK-13

- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、ロームブロック(φ10~80mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)微量、焼土粒(φ1~2mm)微量、酸化鉄(φ1~2mm)微量
 第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR6/3にぶい黄褐色ロームとの混合層
 ローム粒(φ1~2mm)少量、炭化粒(φ1mm)微量、酸化鉄(φ1~20mm)少量
 第3層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、炭化粒(φ1mm)微量、酸化鉄(φ1mm)微量
 第4層 10YR5/2 灰黄褐色ロームと10YR2/1黒色土との混合層
 ローム粒(φ1~8mm)多量、ロームブロック(φ10~50mm)多量、炭化粒(φ1mm)微量、酸化鉄(φ1~3mm)少量

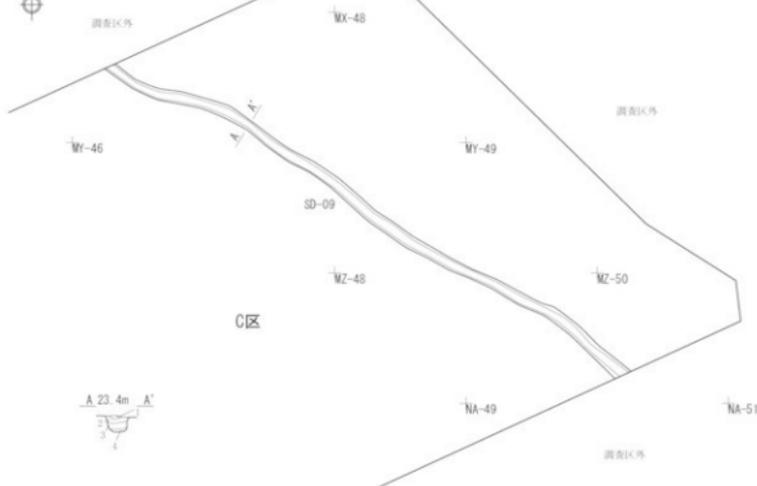
SK-15

- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量
 第2層 10YR1/7/1 黒色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、酸化鉄(φ1~5mm)微量

SK-16

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~50mm)多量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ20~40mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量

SD-09



SD-09

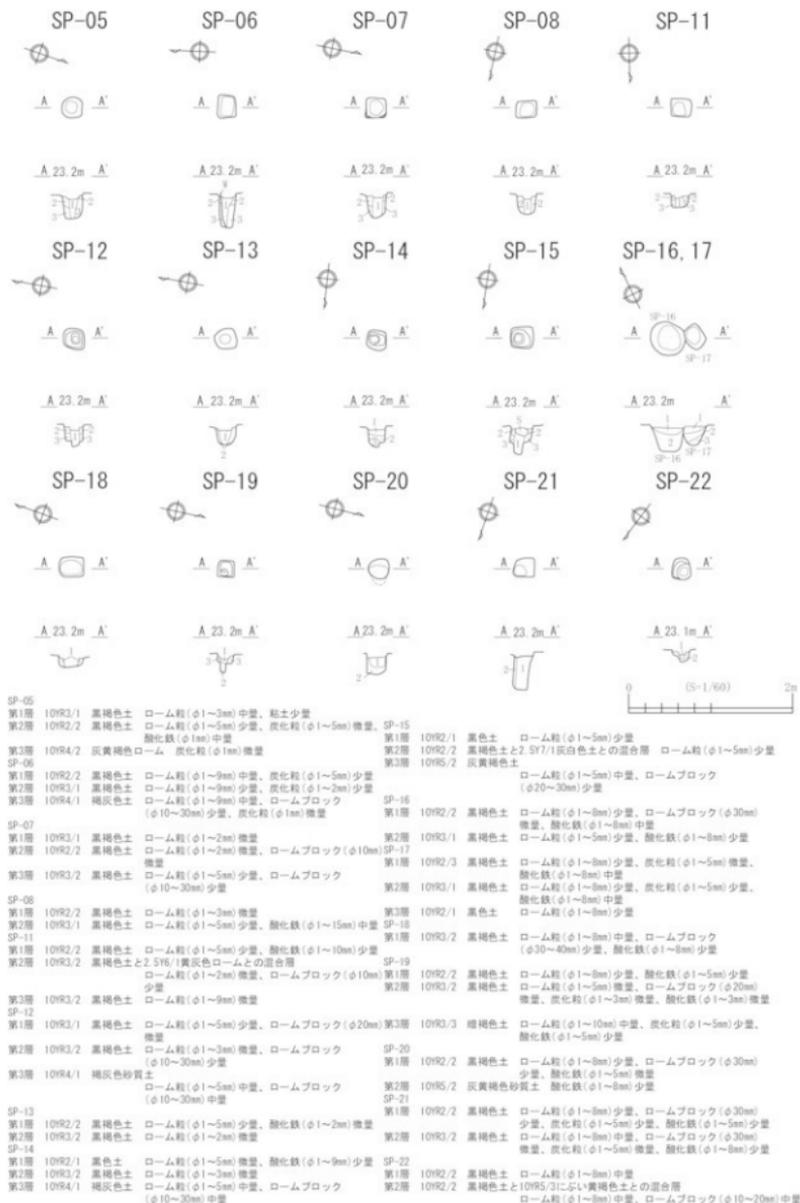
- 第1層 10YR5/2 灰黄褐色火山灰 火山灰層
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、酸化鉄(φ1~9mm)少量
 第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、酸化鉄(φ1~9mm)微量
 第4層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、酸化鉄(φ1~9mm)微量



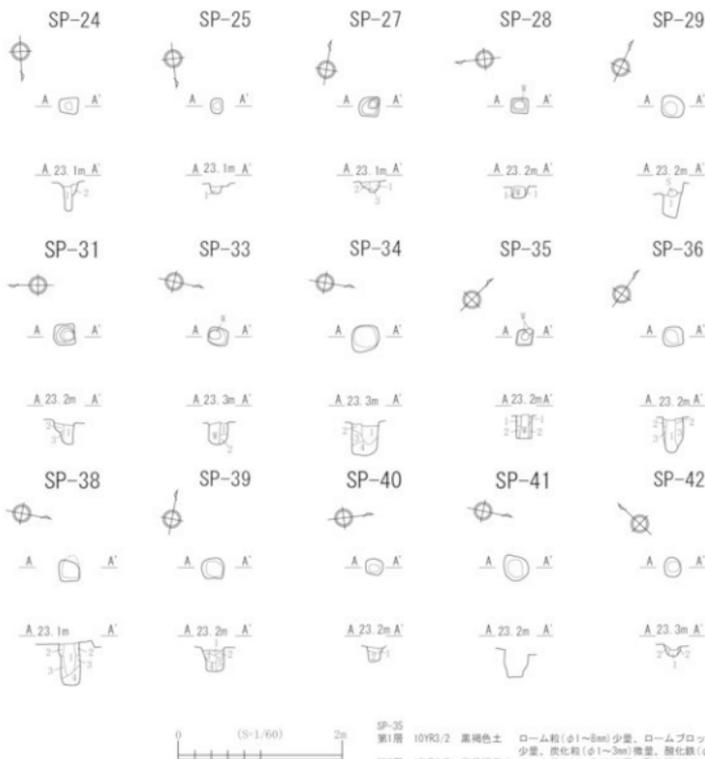
第444図 東早稲田遺跡SK・SD

第58表 東早稲田遺跡SP観察表

図録番号	遺構番号	位置	規模(m)			平面形	断面形	備考
			長軸	短軸	深さ			
第445図	SP-05	NB-37	26	25	28	h	d	柱礎跡有
第445図	SP-06	NC-37	28	21	42	b	a	柱礎跡有
第445図	SP-07	NB-37	25	24	28	c	h	柱礎跡有
第445図	SP-08	NC-37	25	21	22	c	h	柱礎跡有
第445図	SP-11	NB-38	25	23	14	c	d	柱礎跡有
第445図	SP-12	NB-38	25	25	23	c	j	柱礎跡有
第445図	SP-13	NC-38	25	24	21	e	d	柱礎跡有
第445図	SP-14	NC-38	25	24	22	c	e	
第445図	SP-15	NC-38	28	26	32	c	j	柱礎跡有
第445図	SP-16	NB-38	44	40	28	h	d	SP-16・SP-17
第445図	SP-17	NB-38	28	23	24	c	d	SP-17・SP-16
第445図	SP-18	NB-38	30	25	12	c	d	
第445図	SP-19	NB-38	21	20	22	c	j	
第445図	SP-20	NC-38	26	25	22	h	a	
第445図	SP-21	NC-38	25	23	42	c	c	柱礎跡有
第445図	SP-22	NC-38	25	23	12	c	e	柱礎跡有
第446図	SP-24	NC-39	23	20	34	c	e	柱礎跡有
第446図	SP-25	NC-39	19	15	10	f	d	
第446図	SP-27	NC-40	26	25	14	c	e	
第446図	SP-28	NC-40	20	19	15	c	d	柱礎残存
第446図	SP-29	NB-39	27	26	32	c	d	
第446図	SP-31	NB-38	25	24	24	c	e	柱礎跡有
第446図	SP-33	NB-39	25	22	26	c	d	柱礎残存
第446図	SP-34	NB-39	35	22	40	c	a	柱礎跡有
第446図	SP-35	NA-40	20	19	28	c	a	柱礎残存
第446図	SP-36	NA-40	25	24	42	c	h	柱礎跡有
第446図	SP-38	NB-39	32	25	52	e	c	柱礎跡有
第446図	SP-39	NB-39	28	25	26	c	d	
第446図	SP-40	NB-38	20	19	18	c	d	
第446図	SP-41	NB-38	34	29	34	e	d	
第446図	SP-42	MZ-44	25	20	16	f	d	柱礎跡有
第447図	SP-43	MY・MZ-44	30	20	16	f	d	
第447図	SP-44	MY-44	42	40	24	e	d	
第447図	SP-46	MZ-45	32	25	30	f	j	柱礎跡有
第447図	SP-47	MZ-46	30	28	38	h	j	柱礎跡有
第447図	SP-48	MY-46	32	27	15	c	d	
第447図	SP-53	NA-44	21	16	17	c	c	
第447図	SP-56	MX-46	16	14	14	h	g	
第447図	SP-57	NC・ND-31・32	36	21	32	g	a	
第447図	SP-58	NC・ND-31	30	25	34	c	c	柱礎跡有
第447図	SP-59	NC-31	30	24	14	e	d	
第447図	SP-61	NC-31	17	17	22	c	a	
第447図	SP-62	NC-31	37	35	30	f	d	
第447図	SP-66	NC-32	14	(11)	37	(c)	d	
第447図	SP-67	NC-31	21	18	34	c	a	
第447図	SP-71	NB-38	20	16	13	c	c	
第447図	SP-72	NC-38	22	(8)	22	(c)	d	



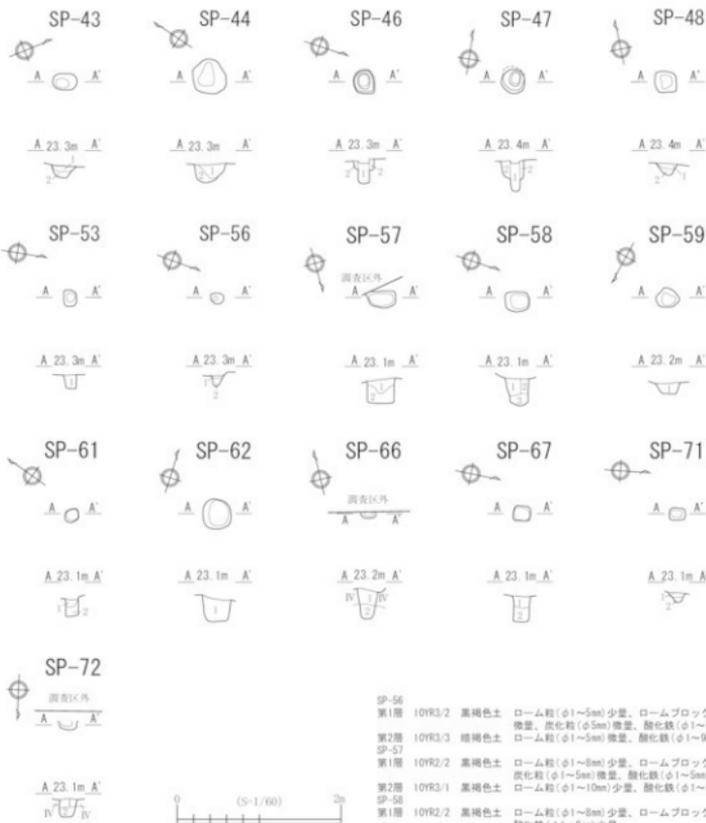
第445図 東早稲田遺跡SP(1)



SP-24	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第2層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ30~50mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
SP-25	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)微量、酸化鉄(φ1~5mm)少量
SP-27	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)微量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第2層	10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
第3層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SP-28	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
SP-29	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1~10mm)中量
SP-31	10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ30~50mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)微量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量
第1層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
第2層	7.5YR6/4 にがひ褐色土	10YR2/1 黒色土少量混入
SP-34	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
第2層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)中量、ロームブロック(φ30~40mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)少量
第3層	10YR6/2 灰黄褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)少量
第4層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量

SP-35	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30~40mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)微量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第2層	10YR4/2 灰黄褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量
第1層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~10mm)少量
第2層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~10mm)少量
第3層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
SP-38	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1~10mm)少量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量
SP-39	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第1層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~10mm)少量、酸化鉄(φ1~8mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第2層	10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1~5mm)微量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SP-40	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~13mm)少量、酸化鉄(φ1~3mm)少量、硬土粒(φ1mm)微量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量、酸化鉄(φ1~5mm)少量、酸化鉄(φ1mm)微量
SP-42	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)中量
第2層	10YR4/1 褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~20mm)中量、酸化鉄(φ1~5mm)少量

第446図 東早稲田遺跡SP(2)



SP-43
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量。
第2層 10YR5/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)少量

SP-44
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~15mm)少量、灰(10YR7/2)にぶい黄褐色土少量混入
第2層 10YR4/1 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)中量、炭化鉄(φ1~15mm)少量

SP-46
第1層 10YR1/7 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量

SP-47
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土にぶい黄褐色土との混合層 ローム粒(φ1~9mm)多量、ロームブロック(φ10~30mm)中量、炭化鉄(φ1~10mm)少量

SP-48
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~15mm)中量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄(φ1~10mm)少量

SP-53
第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~9mm)少量

SP-56
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~9mm)少量

SP-57
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量、炭化鉄(φ1~5mm)少量

SP-58
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化鉄(φ1~8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量

SP-59
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化鉄(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)微量、炭化粒(φ1~5mm)少量、炭化鉄(φ1~5mm)少量

SP-61
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化鉄(φ1~5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄(φ1~10mm)少量

SP-62
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、炭化鉄(φ1~3mm)微量、粘土(φ30mm)少量

SP-66
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~8mm)少量、炭化鉄(φ1~8mm)少量、礫(φ30mm)少量

SP-67
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~3mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量

SP-67
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化鉄(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量

SP-71
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)微量

SP-72
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)微量、炭化鉄(φ1~5mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土に10YR5/2灰黄褐色土との混合層

第447図 東早稲田遺跡SP(3)

第3節 遺構外出土遺物

(1) 土器

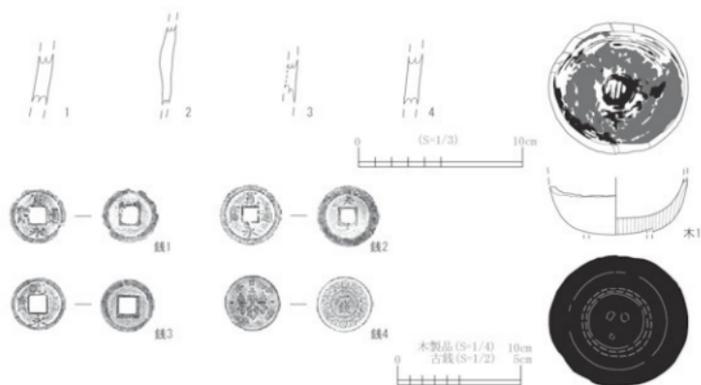
表採の土師器甕4点を図示した(第448図1~4)。いずれも体部破片で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。

(2) 木製品

漆塗椀1点を図示した(第448図木1)。外面黒漆、内面赤漆が塗布されている。

(3) 古銭

寛永通宝3点、昭和9年銘の桐一銭青銅貨1点を図示した(第448図銭1~4)。銭1~3は新寛永と考えられる。



第448図 東早稲田遺跡遺構外出土遺物

第VI章 自然科学分析

第1節 漆膜構造分析

（株）吉田生物研究所

1. はじめに

青森市に所在する、川原館遺跡及び中道遺跡から出土した漆製品5点と木製品1点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

2. 調査資料

調査した資料は、表1に示す中～近世と考えられる漆碗4点、皿1点、下駄1点である。

表1 調査資料

漆膜分析No.	遺跡名	品名	写真No.	樹種*	概 要
1	中道遺跡	漆器碗	1, 3	—	内外両面とも赤色の碗。ASP-484の覆土出土。
2	川原館遺跡	下駄	5, 7	—	上面と裏面に極めて少量の漆膜が遺存した下駄。表探遺物である。
3	中道遺跡	漆器碗	9, 11	ブナ属	内外両面とも赤色の漆器碗である。
4	中道遺跡	漆器碗	13, 15	ブナ属	内外両面とも赤色の漆器碗である。
5	川原館遺跡	皿	17, 19	ブナ属	内外両面とも、塗膜は見られず薄茶色を呈する碗である。
6	川原館遺跡	漆器碗	21, 23	ブナ属	内面は赤色で、外面は黒色を呈する漆碗である。

*：樹種については、第2節を参照のこと。

3. 調査方法

表1の資料本体の塗膜付着部分から数mm四方の破片を採取して、塗料の材質を調査するために、FT-IR分析を行った。

次に、各試料をエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

4. 調査結果

4-1. 機器分析結果

以下にFT-IR分析データを付す。

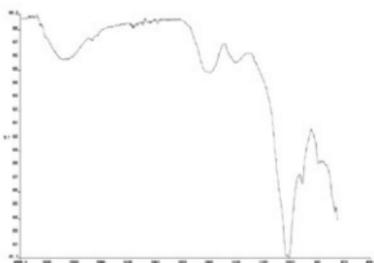


図1 No.1内面

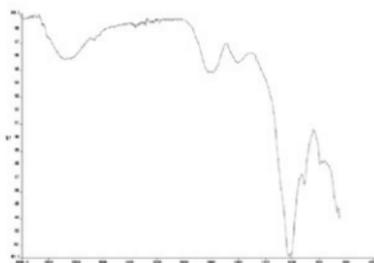


図2 No.1外面

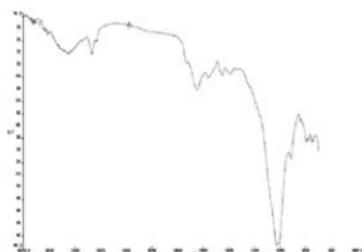


図3 No.2



図4 No.2 (左)とセルロース (右)

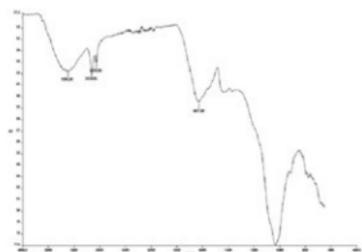


図5 No.3内面

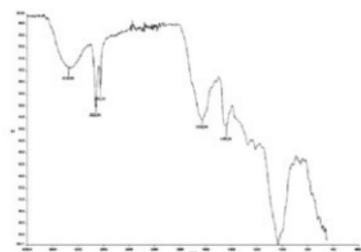


図6 No.3外面

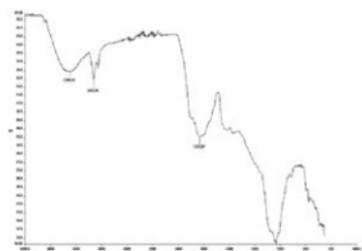


図7 No.4内面

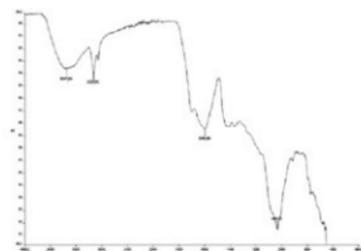


図8 No.4外面

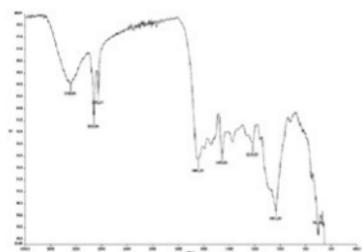


図9 No.5内面

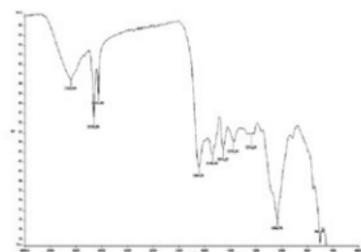


図10 No.5外面

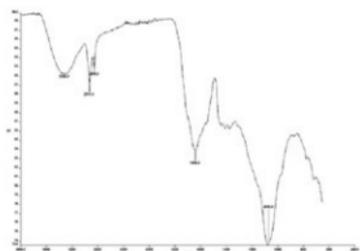


図11 No.6内面のデータ

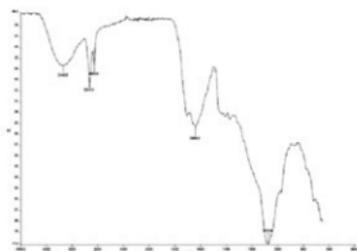


図12 No.6外面のデータ

図1と図2から、No.1は漆と判断される。No.2はNo.1とスペクトルの吸収パターンがやや異なり、図4で比較したとおり、セルロースとの類似が指摘される。図5から図10まで示したデータは、漆のデータと判断される。図9、図10のデータは、漆よりも柿渋のデータに近い。図11、図12に示したデータは、漆のデータと判断される。

4-2、断面観察

塗膜断面の観察結果を、表2と以下の文章に示す。

表2 漆器の断面観察結果表

No.	器種	部位	写真No.	塗膜構造(下層から)			
				下地		漆層構造	顔料
				膠着剤	混和材		
1	漆器椀	内面	2	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	ベンガラ
		外面	4	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	ベンガラ
2	下駄	上面	6	柿渋?	—	塗料	染料?
		下面	8	柿渋?	—	塗料	染料?
3	漆器椀	内面	10	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	ベンガラ
		外面	12	柿渋	木炭粉	透明漆1層/赤色漆1層	ベンガラ
4	漆器椀	内面	14	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
		外面	16	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
5	皿	内面	18	柿渋	—	—	—
		外面	20	柿渋	—	—	—
6	漆器椀	内面	22	柿渋	木炭粉	赤色漆1層	ベンガラ
		外面	24	柿渋	木炭粉	透明漆1層	—

塗膜構造：No.1、2は、木胎の上に下地、漆層や塗料が重なる様子が観察された。No.3～5は下層から、木胎、下地、漆層などの層構造が観察された。No.5内外面には、木胎に茶褐色を呈する物質が浸透している様子が見られた。これが漆器の下地の遺存か、上に漆層はもともとなかった

たのかについては不明である。No.6は下層から、木胎、下地、漆層が観察された。

下地：No.1・2下地の膠着剤は褐色を呈する柿渋であった。No.1には混和材として木炭粉がみられたが、No.2には明確な混和材はみられなかった。No.3・4の漆器の下地は、茶褐色を呈する柿渋に木炭粉を混和した、炭粉渋下地であった。No.6は濃褐色を呈する柿渋に木炭粉を混和した炭粉渋下地であった。

漆層・塗料層：下地の上に、No.1には漆が2層、No.2には塗料が1層重なっていた。No.1の漆層は、下層から、黄褐色を呈する透明漆と赤色顔料を混和した赤色漆層であった。No.2には色調の薄い膠着剤（塗料）がみられた。No.3には、内外両面とも下地の上に黄褐色を呈する透明漆が1層重なり、その上に赤色顔料を混和した赤色漆1層が重なっていた。No.4には、内外両面とも下地の上に直接赤色漆が重ねられていた。No.4の塗膜の層厚はNo.3のそれと比べると薄い。No.6の内面には、下地の上に赤色漆1層が重ねられていた。外面には、下地の上に淡黄褐色を呈する透明漆1層が重ねられていた。

顔料：No.1の赤色漆層には、顔料として透明度の低いベンガラを混和が認められた。No.2の塗料には、透明度の高い何らかの染料が混和されていた。No.3の赤色漆層に混和されていた赤色顔料は、極めて細かな粒子形状のベンガラ、No.6内面の赤色漆層に混和されていたのは、ベンガラであった。

5. 摘要

青森市に所在する、川原館遺跡・中道遺跡から出土した漆製品類の塗膜構造調査を行った。

中道遺跡から出土した内外とも赤色の漆器碗（No.1）は、炭粉渋下地の上に内外両面とも透明漆を塗布し、その上にベンガラを混和した赤色漆が塗り重ねられていた。

川原館遺跡で表採された下駄（No.2）は、柿渋の下地の上に赤色の染料で赤くした塗料が認められた。この塗料は機器分析のセルロースの吸収に近い結果と合わせて、セルロース系のラッカー塗料と推測された。このように化学薬品の塗料が施されている点は、この下駄が表採遺物である点とは矛盾しない。近現代の製品であろう。No.3・4の漆器碗はともに内外両面が赤色である。ブナ属の木胎に炭粉渋下地、その上に漆層が塗り重ねられていた。No.3には下地の上に透明漆を1層塗り重ね、その上にベンガラを混和した赤色漆が塗り重ねられていた。No.4も同様に内外両面が赤色であるが、ブナ属の木胎に炭粉渋下地が施され、その上にベンガラを混和した赤色漆が直接重ねられていた。このNo.4の塗膜は、特に内面が顕著であるが、層厚が薄い。これはNo.4の資料本体に遺存した塗膜の様子とも合致する（層厚が薄いため、塗膜が剥離しやすくなっている）。No.5には、茶褐色を呈する物質が遺存していた。これはFT-IR分析の結果から、柿渋の可能性が高い。もともと柿渋のみが塗布されたのか、それとも漆器の塗膜が失われて下地のみが遺存したのか、判断はできない。そのほかの2点には明瞭な漆塗膜が遺存している。FT-IR分析結果からも、漆のデータが得られた。No.6は塗膜断面観察の結果、ブナ属の木胎に炭粉渋下地を施し、内面には漆にベンガラを混和した赤色漆1層を塗布し、外面には黄褐色を呈する透明漆1層を塗布していた。

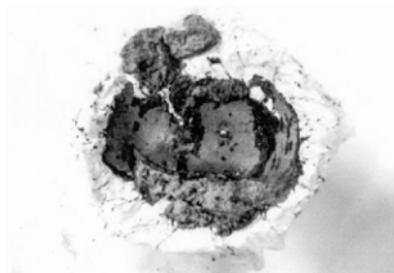


写真1 資料No. 1内面



写真2 No. 1内面の断面

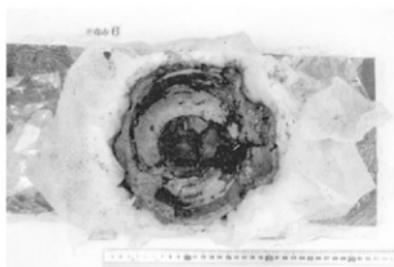


写真3 資料No. 1外面

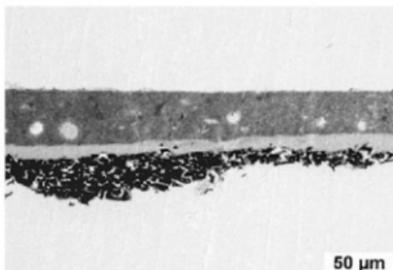


写真4 No. 1外面の断面

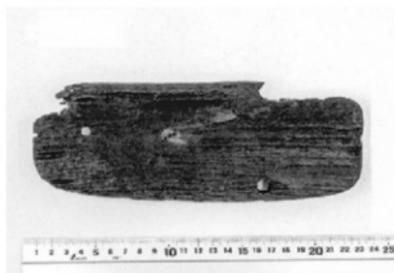


写真5 資料No. 2上面

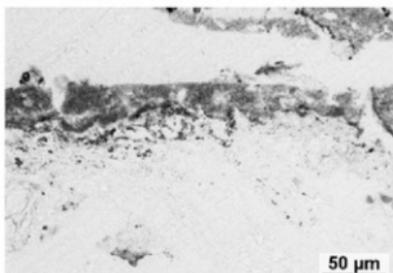


写真6 No. 2上面の断面



写真7 資料No. 2下面

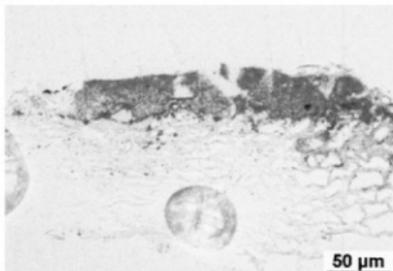


写真8 No. 2下面の断面

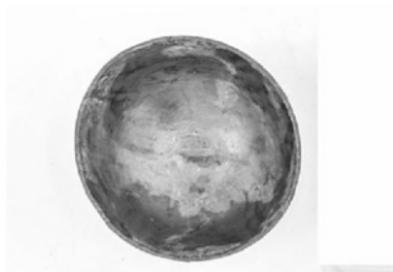


写真9 資料No.3内面

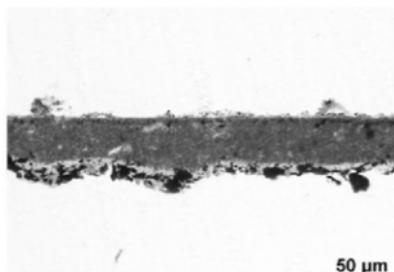


写真10 No.3内面の断面

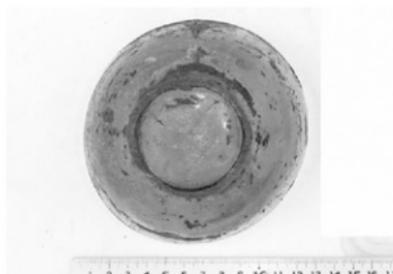


写真11 資料No.3外面

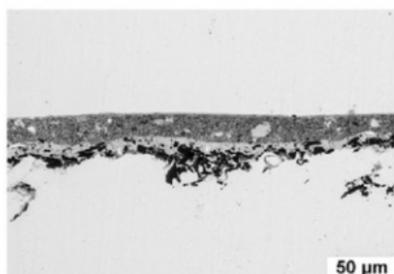


写真12 No.3外面の断面



写真13 資料No.4内面

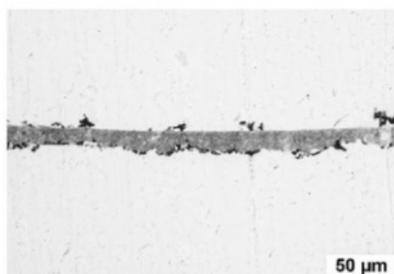


写真14 No.4内面の断面

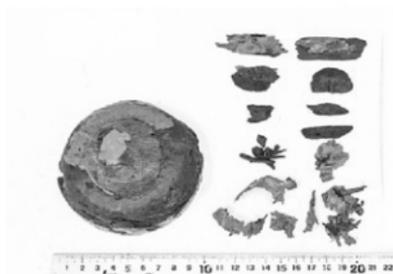


写真15 資料No.4外面

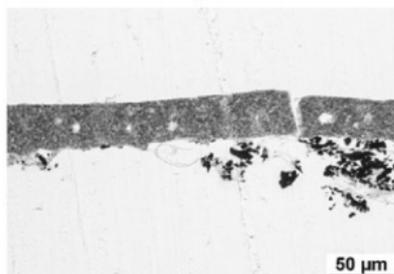


写真16 No.4外面の断面

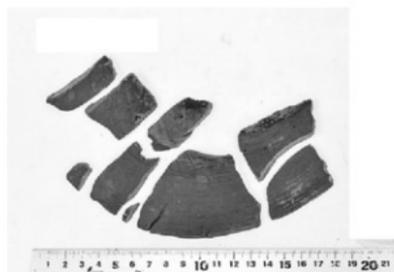


写真17 資料No.5外面

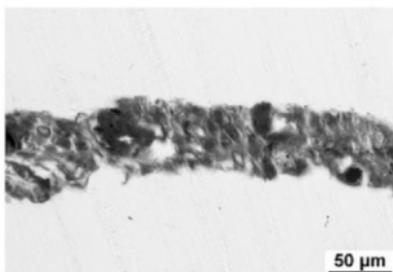


写真18 No.5外面の断面



写真19 資料No.5内面

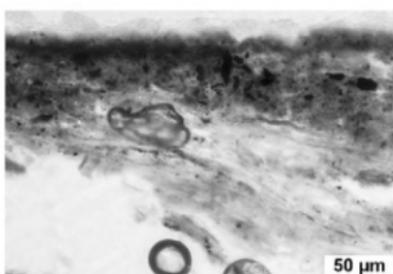


写真20 No.5内面の断面

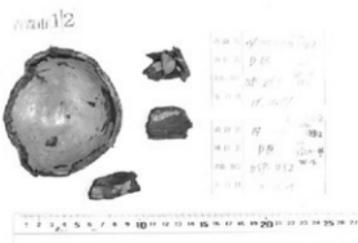


写真21 資料No.6内面

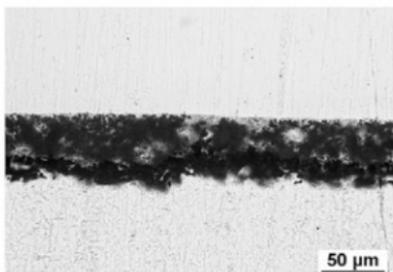


写真22 No.6内面の断面



写真23 資料No.6外面

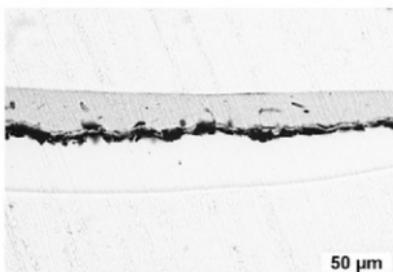


写真24 No.6外面の断面

第2節 樹種同定

（株吉田生物研究所）

1. 試料

試料は青森市川原館遺跡及び中道遺跡から出土した農具1点、紡織具2点、容器17点、食具5点、祭祀具2点、文房具1点、建築部材3点、用途不明15点である。

2. 観察方法

剃刀で木口（横断面）、柾目（放射断面）、板目（接線断面）の各切片を採取し、永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

3. 結果

樹種同定結果（針葉樹2種、広葉樹3種、タケ類1種）の表と顕微鏡写真を示し、以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

1) スギ科スギ属スギ (*Cryptomeria japonica* D.Don)

(遺物No.29)

(写真No.29)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に1～3個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね扁平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

2) ヒノキ科アスナロ属 (*Thujaopsis* sp.)

(遺物No.2～11,15～17,21～24,30～33,35～43,46)

(写真No.2～11,15～17,21～24,30～33,35～43,46)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で1分野に2～4個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ（ヒバ、アテ）とヒノキアスナロ（ヒバ）があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州、四国、九州に分布する。

3) ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節 (Sect. *Prinus* Loudon syn. *Diversipilosa*, *Dentatae*)

(遺物No.1,28,44,45)

(写真No.1,28,44,45)

環孔材である。木口では大道管（～380 μ m）が年輪界にそって1～3列並んで孔圈部を形成している。孔圏外では急に大きさを減じ、薄壁で角張っている小道管が単独あるいは2～3個複合して火炎状に配列している。放射組織は単列放射組織と非常に列数の広い放射組織がある。柾目では道管は単穿孔と対列壁孔を有する。放射組織は全て平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁には

大型の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と肉眼でも見られる典型的な複合型の広放射組織が見られる。コナラ節にはコナラ、ミズナラ、カシワ等があり、北海道、本州、四国、九州に分布する。

4) ブナ科ブナ属 (*Fagus* sp.)

(遺物No.12~14,26,27,34)

(写真No.12~14,26,27,34)

散孔材である。木口ではやや小さい道管 (~110 μm) がほぼ平等に散在する。年輪の内側から外側に向かって大きさおよび数の減少が見られる配列をする。放射組織には単列のもの、2~3列のもの、非常に列数の広いものがある。柾目では道管は単穿孔と階段穿孔を持ち、内部には充填物(チロース)が見られる。放射組織は大体平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔には大型のレンズ状の壁孔が存在する。板目では放射組織は単列、2~3列、広放射組織の3種類がある。広放射組織は肉眼でも1~3mmの高さを持った褐色の紡錘形の斑点としてはっきりと見られる。ブナ属はブナ、イヌブナがあり、北海道(南部)、本州、四国、九州に分布する。

5) トチノキ科トチノキ属トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume)

(遺物No.20,25)

(写真No.20,25)

散孔材である。木口ではやや小さい道管 (~80 μm) が単独かあるいは2~4個放射方向に接する複合管孔を構成する。道管の大きさ、分布数ともに年輪中央部で大きく年輪界近辺ではやや小さくなる傾向がある。軸方向柔細胞は1~3細胞の幅で年輪の一番外側(ターミナル状)に配列する。柾目では道管は単穿孔と側壁に交互壁孔、螺旋肥厚を有する。放射組織はすべて平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔は六角形をした比較的大きな壁孔が密に詰まって篩状になっている(上下緑辺の1~2列の柔細胞に限られる)。板目では放射組織は単列で大半が高さ~300 μm となっている。それらは比較的大きさが揃って階層状に規則正しく配列しており、肉眼では微細な縞模様(リップルマーク)として見られる。トチノキは北海道、本州、四国、九州に分布する。

6) イネ科タケ亜科 (*Subfam. Bambusoideae*)

(遺物No.18,19)

(写真No.18,19)

横断面では維管束がみられる。放射断面、接線断面では厚壁繊維の組織やその他の基本組織の細胞が輻射方向に配列している。タケ亜科は熱帯から暖帯、一部温帯に分布する。

◆参考文献◆

- 林 昭三「日本産木材顕微鏡写真集」京都大学木質科学研究所 (1991)
 伊東隆夫「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I~V」京都大学木質科学研究所 (1999)
 島地 謙・伊東隆夫「日本の遺跡出土木製品総覧」雄山閣出版 (1988) 北村四郎・村田 源「原色日本植物図鑑木本編 I・II」保育社 (1979)

奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第27冊 木器集成図録 近畿古代篇」(1985)

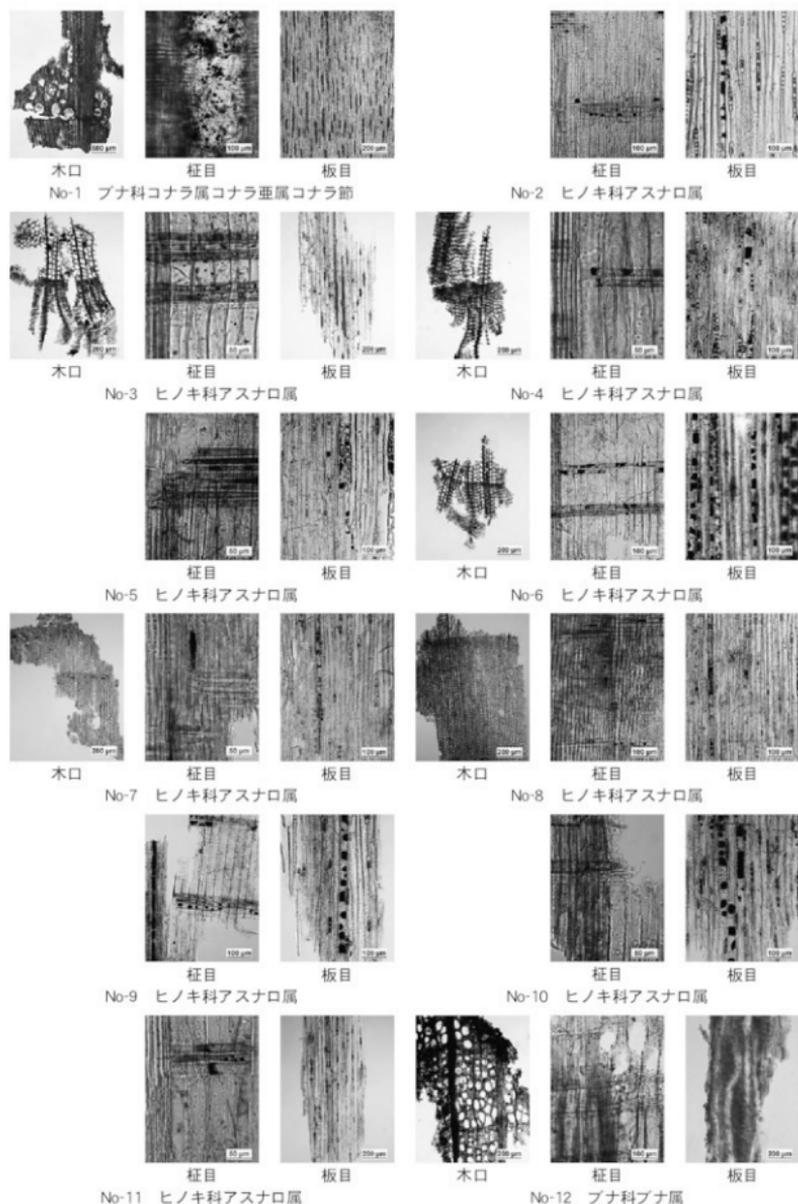
奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第36冊 木器集成図録 近畿原始篇」(1993)

◆使用顕微鏡◆

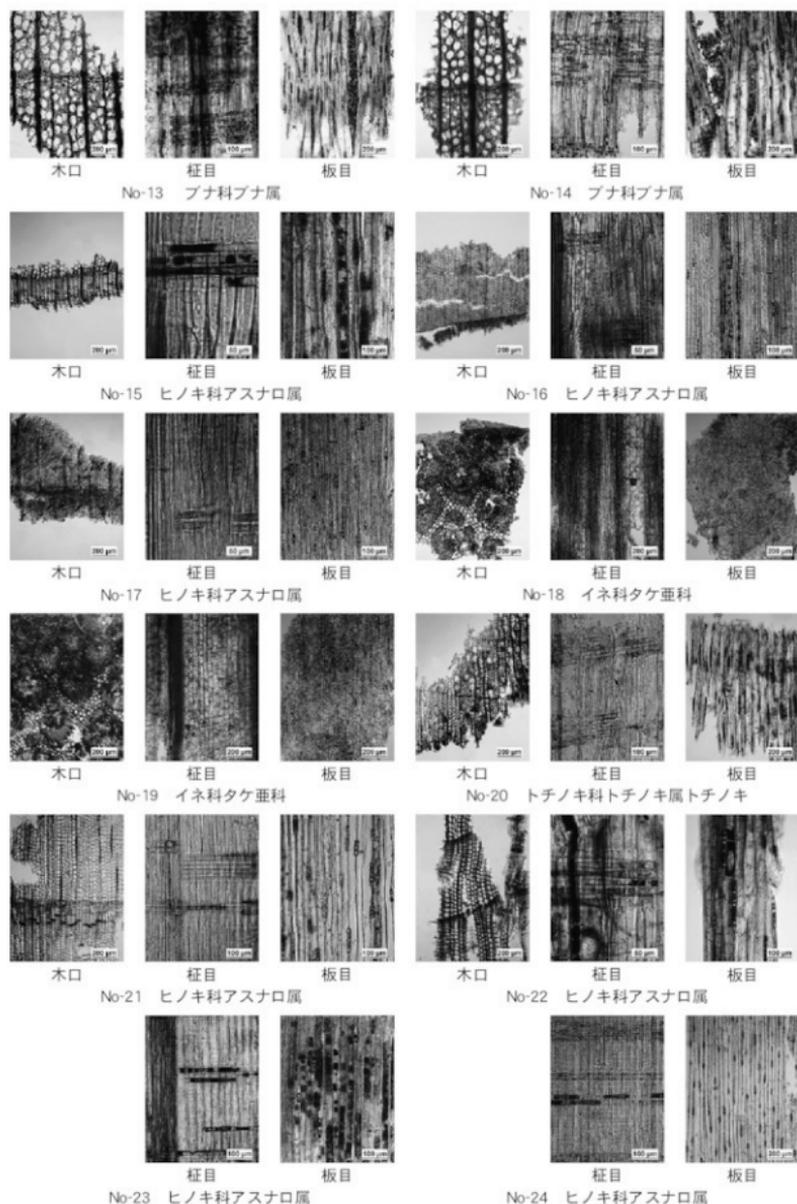
Nikon DS-Fi1

青森市川原館遺跡・中道遺跡出土木製品同定表

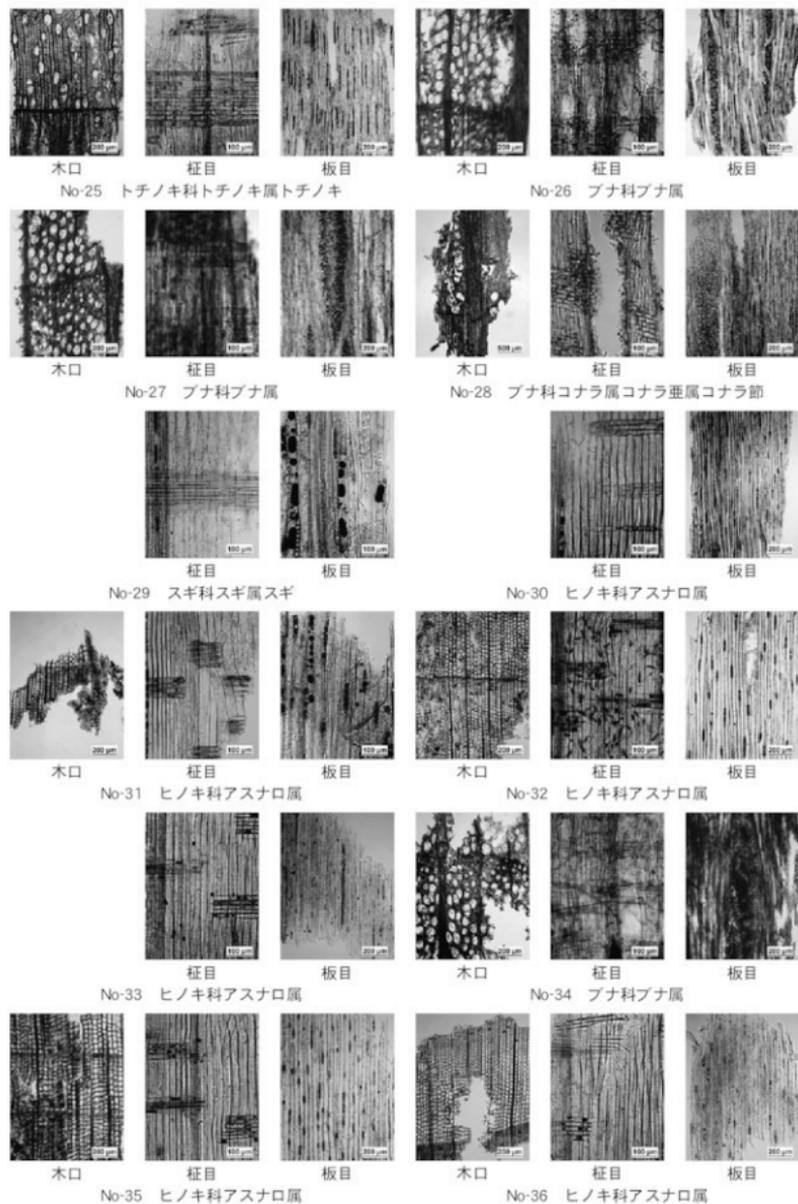
No.	遺跡名	製品群	品名	樹種
1	中道遺跡	紡織具	苧撚	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
2	中道遺跡	紡織具	紡錘車(紡輪)	ヒノキ科アスナロ属
3	中道遺跡	用途不明	板状	ヒノキ科アスナロ属
4	中道遺跡	容器	曲物	ヒノキ科アスナロ属
5	中道遺跡	容器	曲物底板	ヒノキ科アスナロ属
6	中道遺跡	容器	曲物底板	ヒノキ科アスナロ属
7	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
8	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
9	中道遺跡	食事具	箸	ヒノキ科アスナロ属
10	中道遺跡	食事具	箸	ヒノキ科アスナロ属
11	中道遺跡	食事具	箸	ヒノキ科アスナロ属
12	中道遺跡	食事具	杓子	ブナ科ブナ属
13	中道遺跡	容器	漆桶	ブナ科ブナ属
14	中道遺跡	容器	漆桶	ブナ科ブナ属
15	中道遺跡	用途不明	板状	ヒノキ科アスナロ属
16	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
17	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
18	中道遺跡	容器	桶竹枠	イネ科タケ亜科
19	中道遺跡	容器	桶竹枠	イネ科タケ亜科
20	川原館遺跡	容器	皿	トチノキ科トチノキ属トチノキ
21	川原館遺跡	容器	曲物	ヒノキ科アスナロ属
22	川原館遺跡	容器	曲物	ヒノキ科アスナロ属
23	中道遺跡	祭祀具	馬形	ヒノキ科アスナロ属
24	中道遺跡	容器	柄杓	ヒノキ科アスナロ属
25	川原館遺跡	用途不明	刎物	トチノキ科トチノキ属トチノキ
26	川原館遺跡	農具	田下駄	ブナ科ブナ属
27	川原館遺跡	容器	漆桶	ブナ科ブナ属
28	中道遺跡	容器	栓	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
29	川原館遺跡	用途不明	板状	スギ科スギ属スギ
30	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
31	川原館遺跡	用途不明	板状	ヒノキ科アスナロ属
32	中道遺跡	文房具	木筒	ヒノキ科アスナロ属
33	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
34	川原館遺跡	容器	漆桶	ブナ科ブナ属
35	川原館遺跡	容器	柄杓、側板	ヒノキ科アスナロ属
36	川原館遺跡	用途不明	板状	ヒノキ科アスナロ属
37	中道遺跡	用途不明	板材	ヒノキ科アスナロ属
38	中道遺跡	食事具	折敷	ヒノキ科アスナロ属
39	中道遺跡	容器	蓋	ヒノキ科アスナロ属
40	中道遺跡	用途不明	板状	ヒノキ科アスナロ属
41	川原館遺跡	祭祀具	香串	ヒノキ科アスナロ属
42	中道遺跡	用途不明	棒状	ヒノキ科アスナロ属
43	中道遺跡	容器	曲物底板	ヒノキ科アスナロ属
44	中道遺跡	建築材等	部材	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
45	中道遺跡	建築材等	部材	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
46	中道遺跡	建築材等	板材	ヒノキ科アスナロ属



図版 1



図版 2



図版 3



図版 4

第3節 中道遺跡・川原館遺跡出土木材の酸素同位体比年輪年代測定

箱崎真隆¹・木村勝彦²・佐野雅規³・李貞³・對馬あかね³・小林謙一⁴・
設楽政健⁵・木村淳一⁵・中塚武³

¹国立歴史民俗博物館・²福島大学共生システム理工学類・
³総合地球環境学研究所・⁴中央大学文学部・⁵青森市教育委員会

はじめに

青森市浪岡地区中道遺跡・川原館遺跡では、溝跡や井戸跡から板材が多量に出土した。これらは、古代のものが主体とされ、一部は中世・近世に時代が下ると推定されているが、詳細な年代は明らかにされていない。著者らは、これらの出土木材に、近年確立された酸素同位体比（以下 $\delta^{18}\text{O}$ ）年輪年代法（中塚ほか 2013, 中塚・佐野 2014）を適用し、その年代決定を試みた。

方法

中道遺跡の4点（ケヤキ材1点、アスナロ材3点）および川原館遺跡の1点（クリ材）を分析資料とした。資料の概要を表1に示す。各資料からブロック試料を分取し、その横断面から0.01mm精度で年輪幅を計測した。ブロック試料の横断面から厚さ1mmの薄板を切り出し「板ごとセルロース抽出法（Kagawa et al. 2015）」に従って、セルロース板を作成した。セルロース板から1年輪単位で $\delta^{18}\text{O}$ 測定用セルロースを切り出した。セルロースを銀箔で梱包し、熱分解元素分析計—同位体比質量分析計を使用して年輪 $\delta^{18}\text{O}$ を測定した。

得られた年輪 $\delta^{18}\text{O}$ 時系列データを年代既知の $\delta^{18}\text{O}$ 標準年輪曲線AOOI（西暦417—1595年：青森県東通村袋ヶ森砂丘アスナロ埋没木のデータ（箱崎ほか 2014, 2015, 未発表）、青森市石江遺跡群出土木材のデータ（箱崎ほか 2016a, 2016b, 未発表）から構築）とクロスデーティングして、年輪年代を測定した。クロスデーティングは年輪考古学で一般的に用いられている方法に従った（Baillie 1982, English Heritage 2004など）。

表1 中道遺跡・川原館遺跡年輪年代資料の概要

年輪ID	樹種	遺跡名	No	地区	遺跡名	W番号	層位	製品名
AONK001	ケヤキ	中道遺跡	木95	C	CSE-03	W-X	覆土	板材
AONK002	アスナロ	中道遺跡	木93	C	CSE-03	W-X	覆土	板材
AONK003	アスナロ	中道遺跡	木96	C	CSE-03	W-X	覆土	板材
AONK004	アスナロ	中道遺跡	木90	C	CSE-03	W-5	覆土	部材
AOKW001	クリ	川原館遺跡	木8	B	SD-05	W-X	覆土	部材

表2 中道遺跡・川原館遺跡年輪年代分析結果

年輪ID	年輪数	$\delta^{18}\text{O}$ 分析年数	年輪年代（西暦・最内—最外年輪）	t値
AONK001	91	91	—	—
AONK002	174	173	1166—1339	8.37
AONK003	115	87	1471—1585	7.38
AONK004	165	50	1299—1463	7.27
AOKW001	56	52	—	—

結果

クロスデーティングの結果、中道遺跡から出土した3資料（AONK002, 003, 004. いずれもアスナロ材）の年代が決定した。各資料の年輪年代と統計値を表2に、標準年輪曲線と重ね合わせたグラフを図1に示す。3試料の $\delta^{18}\text{O}$ 時系列データは、標準年輪曲線に対し、 $t = 3.5$ （有意性の基準）を大きく上回る t 値を示し（表2）、重なり合う年代範囲の全体にわたって変動パターンがよく一致することも確認された（図1）。一方、中道遺跡の1点（AONK001. ケヤキ材）と川原館遺跡の1点（AOKW001. クリ材）の $\delta^{18}\text{O}$ 時系列データは、標準年輪曲線との間で高い相関が得られず、年代決定には至らなかった。

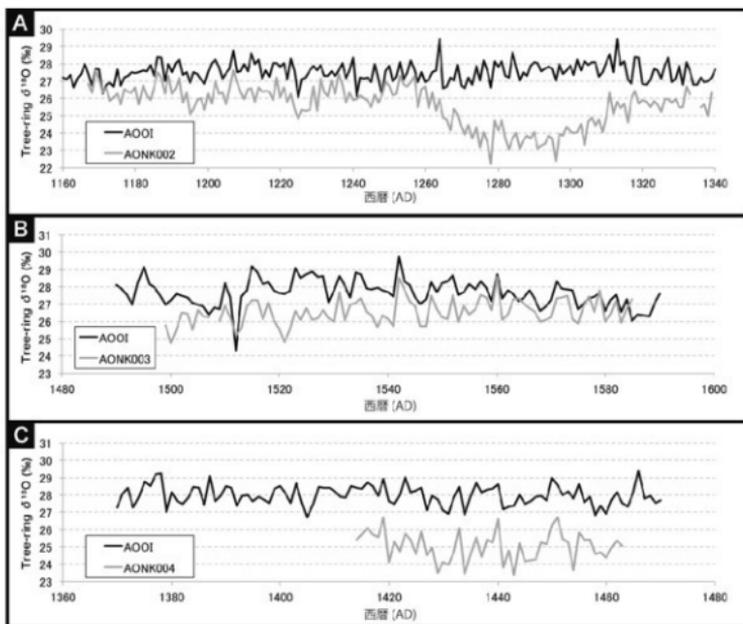


図1 中道遺跡出土アスナロ材3点の年輪 $\delta^{18}\text{O}$ 時系列データと標準年輪曲線AOOIのクロスデーティング結果
A) AONK002 B) AONK003 C) AONK004

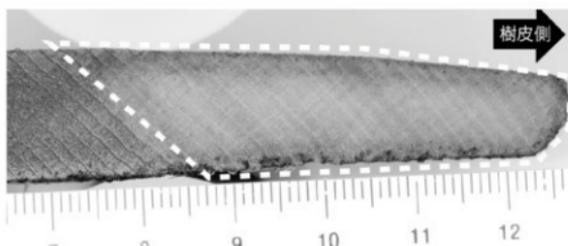


図2 中道遺跡出土アスナロ材 AONK003 で観察された辺材部（点線範囲）

考察

中道遺跡出土木材3資料の最外年輪の年代は、西暦1339年(AONK002)、1463年(AONK004)、1585年(AONK003)に決定した。このうちAONK003には辺材が残存し、辺材部に24年輪(合計年輪幅:35.3mm)が確認された(図2)。アスナロの辺材部の残存状況から伐採年を推定する方法は確立されていないが、青森市石江遺跡群新田(1)遺跡の出土アスナロ材(中世)では、樹皮直下年輪が残存する資料の辺材部の合計年輪幅が約15mm~30mm(箱崎ほか2011)であったことから、35.3mmの辺材部が残存するAONK003は、伐採年に近い年代の年輪をもつと考えられる。

3資料の最外年輪の年代は約120年ずつ離れており、比較的大きな年代差を持つことが明らかになった。3資料は同じ遺構(CSE-03)から出土した遺物であり、それぞれの原木の伐採年代が大きく異なると仮定すると、CSE-03は長期にわたって利用されていたと考えられる。ただし、AONK003以外の2資料は辺材が残存しないため、伐採年を見積もることができない。辺材が無い木材は、大径木の内側から加工されたものである可能性もあり、年輪年代が異なる場合でも、伐採・加工のタイミングまでその他の木材と異なるとは必ずしもいえない。遺構の詳細な利用年代を議論するには、これら3資料の年代情報だけでは不十分であると考えられ、今後、辺材の残る出土木材の年輪年代測定数を増やし、伐採年に関する全体の傾向を明らかにする必要がある。

今回の分析では、中道遺跡のケヤキ材1点と川原館遺跡のクリ材1点の年代が決定しなかった。 $\delta^{18}\text{O}$ 年輪年代法は、樹種が異なる場合や、年輪数が少ない場合(30-50年輪程度)でも、高い確率で年代決定が可能という、従来の年輪年代法にはない特徴をもつ。2資料からは50年以上の $\delta^{18}\text{O}$ 時系列データが得られており、標準年輪曲線とパターンが一致しなかった理由をデータ不足とみなすことは難しい。他の理由としては、この2資料が標準年輪曲線(西暦417-1595年)と重ならない年代のもの(あるいは重なりが30年より少ないもの)である可能性や、標準年輪曲線のクオリティが十分でない時代に当たっている可能性などが考えられる。北日本版標準年輪曲線A00Iは構築途上のものであり、年代検証は済んでいるものの、一部の年代範囲では構成するデータの個体数が十分ではない。年代未決定の2資料については、今後、標準年輪曲線の延伸またはクオリティ向上を待った上で、あらためて年代測定を試みる必要がある。なお、今回の分析によって年代が決定した3資料の $\delta^{18}\text{O}$ データは、標準年輪曲線のクオリティ向上に活用する予定である。

引用文献

- Baillie MGL. 1982. Tree-ring dating and archaeology. CroomHelm. 274p.
- English Heritage. 2004. Dendrochronology : guidelines on producing and interpreting dendrochronological dates. <http://www.helm.org.uk/upload/pdf/Dendrochronology.pdf>.
- 箱崎真隆・木村勝彦・佐野雅規・対馬あかね・李貞・木村淳一・小林謙一・中塚武. 2016a. 年輪酸素同位体比にもとづく青森市石江遺跡群の古代~中世の出土材の年輪年代測定. 第31回日本植生史学会大会創立30周年記念大会要旨集, pp20, 11月19-20日, 川崎.
- 箱崎真隆・中村俊夫・木村勝彦・中塚武. 2014. 北日本産樹木を用いた酸素同位体比標準年輪曲線の構築. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書XXV: 54-61.
- 箱崎真隆・中村俊夫・大山幹成・木村淳一・佐野雅規・中塚武. 2016b. 西暦774-775年の ^{14}C イベントと酸素同位体比年輪年代法に基づく青森市新田(1)遺跡アスナロ材の暦年代の検証. 名古屋大学加

- 速器質量分析計業績報告書XXVII: 34-39.
- 箱崎真隆・中塚武・佐野雅規・木村勝彦・中村俊夫, 2015. 北日本猿ヶ森砂丘の埋没木を用いた酸素同位体比標準年輪曲線構築. 第30回日本植生史学会北海道大会要旨集, pp56, 11月7-9日, 札幌.
- Kagawa A, Sano M, Nakatsuka T, Ikeda T, Kubo S. 2015. An optimized method for stable isotope analysis of tree rings by extracting cellulose directly from cross-sectional laths. *Chemical Geology*, 393-394: 16-25.
- 中塚武・佐野雅規, 2014. 酸素同位体比を用いた新しい木材年輪年代法. 月刊地球/号外 63: 106-113.
- 中塚武・佐野雅規・大石恭平・シュ チェンシ・岡部雅嵩・大西啓子・河村公隆・坂本稔・尾嵩大真・中尾七重・横山操・赤塚次郎・樋上昇・光谷拓実, 2013. 過去2千年間の本州中部産の全木材を対象にした年輪酸素同位体比クロノロジーの確立. 日本文化財科学会第30回大会研究発表要旨集, pp90-91, 7月6-7日, 弘前.

第七章 まとめ

第1節 調査成果の概要

川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡は、浪岡川によって形成された扇状地付近の標高23～30mの地点に位置する。平成25～27年度の調査の結果、川原館遺跡では調査面積3,605㎡から竪穴遺構4棟、掘立柱建物跡1棟、土坑152基、溝跡124条、井戸跡19基、ピット1715基などを検出した。中道遺跡では調査面積1,621㎡から掘立柱建物跡1棟、土坑45基、溝跡70条、井戸跡11基、ピット987基などを検出した。東早稲田遺跡では調査面積1,541㎡から土坑3基、溝跡1条、ピット47基を検出した。各遺跡の遺構数については第62～64表に記載した。検出遺構の主体は平安時代で、出土遺物等から中世、近世に属する遺構も認められた。出土遺物については、川原館遺跡と中道遺跡を主体に土師器、須恵器、擦文土器、製塩土器、かわらけ、珠洲、常滑等の陶磁器、木製品、石器・石製品、土製品、鉄関連遺物、古銭が出土した。

第62表 川原館遺跡遺構数

種別	区							合計
	A区	B区	C区	D区	F区	G区		
竪穴遺構 (SI)		2		1		1	4	
掘立柱建物跡 (SB)	1						1	
土坑 (SK)	20	30	7	44	13	38	152	
溝跡 (SD)	8	36	5	24	34	17	124	
井戸跡 (SE)	6	4	1	4	3	1	19	
焼土遺構 (SN)			2	2			4	
カマド状遺構 (SN)	1	5		2			8	
その他の遺構 (SX)		1	1				2	
ピット (SP)	277	179	157	607	150	345	1715	

第63表 中道遺跡遺構数

種別	区						合計
	A区	B区	C区	D区	E区	F区	
掘立柱建物跡 (SB)			1				1
土坑 (SK)	9	8	15	13			45
溝跡 (SD)	28	18	16	6	1	1	70
井戸跡 (SE)	3	1	6	1			11
焼土遺構 (SN)		1					1
カマド状遺構 (SN)	1	1					2
その他の遺構 (SX)	1	1	1				3
ピット (SP)	252	174	358	203			987

第64表 東早稲田遺跡遺構数

種別	検出数
土坑 (SK)	3
溝跡 (SD)	1
ピット (SP)	47

第2節 川原館遺跡

1. 検出遺構

(1) 竪穴遺構 4棟検出した。1辺の長さはBSI-03(第63図)が816cmを測り、229cmのDSI-01(第148図)、274cmのGSI-01(第240図)に比べて倍以上大きいことに加え、BSI-03のみ貼床が認められ、床面からカマドの可能性も考えられる焼土範囲を確認しており、BSI-04(第63図)、DSI-01、GSI-01との相違点が認められる。柱穴配置については、部分的な検出であるものの、DSI-01は壁際に柱穴が並ぶタイプと考えられ、その他のBSI-03・04、GSI-01については明確な配置不明である。時期については概ね10世紀後半と考えられる。

(2) 掘立柱建物跡 A区から桁行2間×梁行2間の建物跡を1棟検出した(第111図)。土器が出土していないため、詳細な時期は不明であるが、15～16世紀と考えられるASE-03(第34図)を本遺構のPit7が掘り込んでいることから、それ以降に帰属すると考えられる。

(3) 土坑 152基検出した。概ね10～11世紀に取まるものと考えられる。土坑の中には、BSK-04・05、07(第66図)、DSK-38、43、46(第154図)など1m近い深さをもつものがあり、井戸跡に近いものも含まれる。常滑壺(第155図862)が出土したDSK-28(第153図)は中世、白濁釉のみられる徳利(第155図866)が出土したDSK-33(第153図)は近世に属すると考えられ、底面に炭化物が広がり、多量の木製品が出土し、廃棄土坑と考えられるASK-03(第13図)は比較的時期の新しいものと考えられる。

(4) 溝跡 124条検出した。このうち、幅2m以上の大溝は7条で、規模から幅2m程度のもの(以下、大溝A)と、幅3～6.5mのもの(以下、大溝B)に分けることができる。堀であった可能性もあるが、土塁が確認できなかったことから大溝とした。大溝の機能としては、防壁、排水、区画などが考えられているが、明確に規定できない。大溝AはSD-105(第76図)、SD-119、124(第250図)が相当する。上端幅に比べて下端幅が狭い断面V字形やU字形に近い箱葉研状を呈し、土坑や溝跡などに掘り込まれている。大溝BはSD-05(第19図)、SD-57(第72図)、SD-117、120(第78図)が相当する。上端幅と下端幅に大きな差が見られない断面箱型に近い形状を呈し、多くの遺構を掘り込んで構築している。手づくねかわらけが出土したSD-117について時期の下限は12世紀代と推定でき、SD-105は10世紀前半～10世紀後半、その他は10世紀後半～11世紀代に取まるものと考えられる。ただし、大溝A、Bそれぞれの遺構重複状況やSD-119がSD-120に、SD-120がSD-117に掘り込まれている状況から、概ね大溝Aが古く、大溝Bが新しいと考えられ、大溝Bの中でも幅の広いものが新しい傾向にあると考えられる。川原館遺跡調査区の北側においては、SD-105以南に比べると遺構分布がやや希薄になっている状況が認められる。これについては規模や構造が近似するSD-105とSD-124が同一遺構で、それらによって区画されていた範囲の内側と外側の違いが表れている可能性や、SD-105が集落の主体時期に北側の境界であった可能性が考えられる。そのほかの溝跡では、南東側に開口部をもつ外周溝状を呈するSD-65(第157図)、SD-72、75(第158図)のほか、SD-77(第74図)が認められる。これらの溝跡からは、通常内側に付随する例の多い掘立柱建物跡や竪穴遺構は確認できなかったが、同じ浪岡地区で外周溝が多数検出された野尻(1)～(4)遺跡をはじめとして、南東方向に開口部をもつ外周溝が多いことから、これらの遺構も外周溝であった可能性が高い。時期については、10世紀中頃～10世紀後半と考えられる。また、A・D区南側から検出したSD-06(第20

図)はB-Tm火山灰が層状に堆積しており、非ロクロの柱状高台環などが出土しているものの、10世紀前半までの年代が考えられ、SD-06に掘り込まれているSD-07(第20図)はそれ以前の時期が考えられる。

(5) 井戸跡 19基検出した。円形(楕円形、不整円形を含む)14基、方形(隅丸方形、不整方形を含む)4基、不整形1基である。構造はほとんどが素掘りであるが、隅柱と側板が認められるDSE-01(写真図版1)のように井戸枠が設置されているものや井戸枠と考えられる板材が出土したASE-01(第34



写真図版1 DSE-01井戸枠

図)、底面から隅柱跡とみられるピット4基が検出されたDSE-05(第164図)のように井戸枠が設置されていたと考えられるものも認められる。底面まで確認できず、詳細不明なものもあるが、断面については、筒形のように整った形状を呈するものは少なく、崩落によりフラスコ状を呈するものが多い。分布はG区南側で1基、B区中央部で1基と標高29.3m付近にも認められるものの、そのほかの17基はA、C、F区やB区南側、D区南側など、南側の標高28.8~29m地点に集中しており、同時併存かは不明であるが、ASE-03と05、BSE-02と04、DSE-01と04、DSE-05と06、FSE-02と03のような2~3基単位の配置状況も認められる。時期は、ASE-03については土師器環のほか、珠洲焼罎鉢、越前焼罎鉢(第37図195、196)が出土しており、隅柱跡を確認したDSE-05については染付皿(第165図903)が出土していることから、同じく15~16世紀代と考えられる。その他の井戸跡の時期については、概ね10~11世紀代と考えられるが、多様な木製品や寛永通宝の出土などから、古代~中世に限らず、近世に帰属する井戸跡が存在する可能性が考えられる。

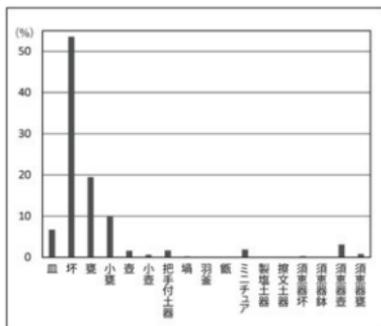
(6) カマド状遺構 8基検出した。SN番号が付された遺構のうち、円形や馬蹄形の焼土範囲に前庭部状の掘り込みが付属するものまたは付属すると考えられるものについてカマド状遺構とした。東北地方のカマド状遺構について集成を行った茅野嘉雄氏は、構造等からA~E類と分類している(茅野2008)。本遺跡のカマド状遺構を茅野氏の分類に当てはめると、ASN-01(第36図)、BSN-01、02、04・05(第93図)、CSN-01(第129図)、DSN-01(第166図)はD類の「煙道を持つ可能性が低いタイプ」、DSN-03(第166図)はE類の「削平などにより分類や検討が難しい物」に該当すると考えられる。本遺跡で多く確認されているこのD類については、「カマド状遺構と呼ぶべきかどうかの問題を残している」としながらも、米山(2)遺跡の年代測定結果などから12~13世紀に収まるものが多いとされている(茅野前掲)が、BSN-04、DSN-01については出土土器から10~11世紀と考えられる。

2. 出土遺物

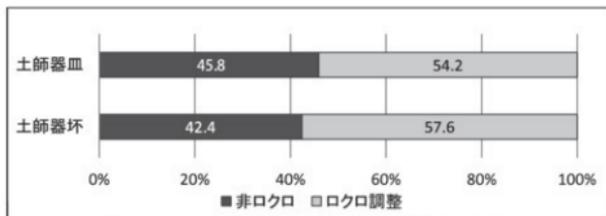
(1) 土器 平安時代を主体に近世までの土器を第一分冊の各図に示した。このうち、平安時代の土師器、須恵器、製塩土器、擦文土器について、口縁部・底部残存率計測法により個体数を算出した。第65表は器種毎の点数と個体数からみた器種構成、第449図は個体数の比率をグラフ化したもので、土師器環が53.5%と半数以上を占め、次いで甕19.5%、小甕9.9%、皿6.7%と続く。甕と小甕、壺、塀には非ロクロとロクロ調整が認められ、個体数の比率については、非ロクロ甕が99.6%、ロクロ調整甕

第65表 川原館遺跡古代土器器種組成

器種	点数	%	個体数	%
土師器皿	59	5.4	16.16	6.7
土師器坏	330	30.7	128.80	53.5
土師器罐	273	25.4	47.01	19.5
土師器小壺	78	7.3	23.71	9.9
土師器壺	20	1.9	3.83	1.6
土師器小壺	2	0.2	1.46	0.6
土師器把手付土器	4	0.4	4.00	1.7
土師器埴	4	0.4	0.37	0.2
土師器羽釜	2	0.2	0.25	0.1
土師器甌	1	0.1	0.13	0.1
土師器ミニチュア	15	1.4	4.56	1.9
製塩土器	8	0.7	0.00	0
櫛文土器	8	0.7	0.11	0
須恵器坏	2	0.2	0.75	0.3
須恵器鉢	2	0.2	0.08	0
須恵器壺	45	4.2	7.44	3.1
須恵器罐	221	20.6	1.92	0.8



第449図 川原館遺跡古代土器個体数比率



第450図 川原館遺跡非ロクロ・ロクロ調整構成比 (%)

第66表 川原館遺跡非ロクロ坏構成比

種類	個体数%
小坏	0.5
坏	92.5
高台付坏	5.8
大坏	1.2

第67表 川原館遺跡ロクロ調整坏構成比

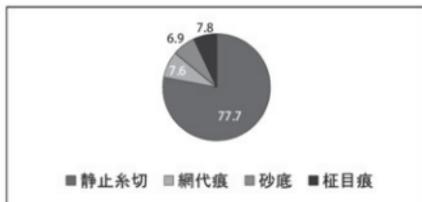
種類	個体数%
小坏	2.4
坏	83.4
高台付坏	1.1
大坏	3.9
黒色土器坏	9.2

第68表 川原館遺跡非ロクロ皿底部調整比率

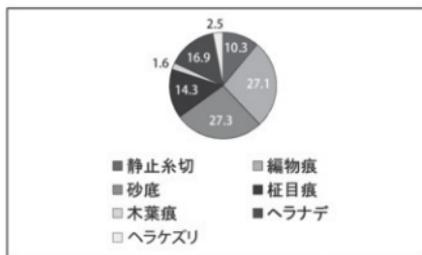
種類	個体数%
静止糸切	77.7
網代痕	7.6
砂底	6.9
柱目痕	7.8

第69表 川原館遺跡非ロクロ坏底部調整比率

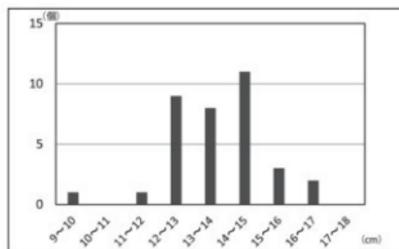
種類	個体数%
静止糸切	10.3
網物痕	27.1
砂底	27.3
柱目痕	14.3
木葉痕	1.6
ヘラナデ・無調整	16.9
ヘラクスリ	2.5



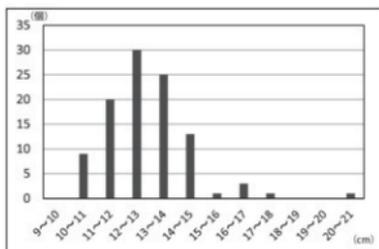
第451図 川原館遺跡非ロクロ皿底部調整比率 (%)



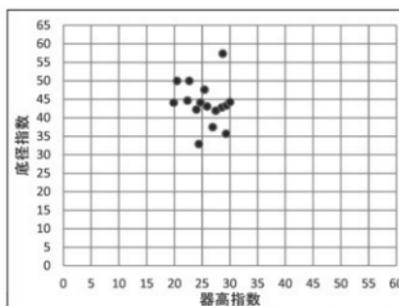
第452図 川原館遺跡非ロクロ坏底部調整比率 (%)



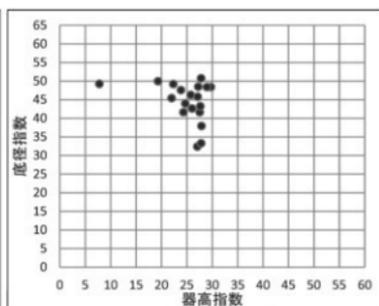
第453図 川原館遺跡土師器皿口径分布



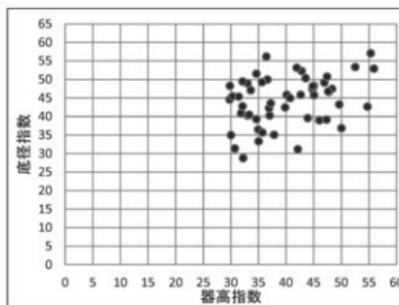
第454図 川原館遺跡土師器環口径分布



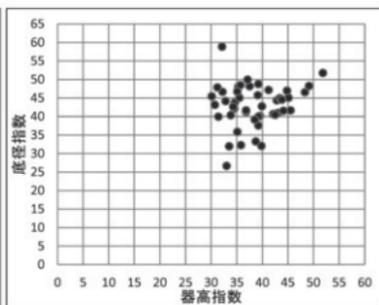
第455図 川原館遺跡非ロクロ口皿器高・底径指数分布



第456図 川原館遺跡ロクロ調整皿器高・底径指数分布



第457図 川原館遺跡非ロクロ口環器高・底径指数分布



第458図 川原館遺跡ロクロ調整環器高・底径指数分布

0.4%、非ロクロ小甕99.1%、ロクロ調整小甕0.9%、非ロクロ壺90.2%、ロクロ調整壺9.8%、非ロクロ鍋77.6%、ロクロ調整鍋22.4%であった。須恵器の点数の割合では甕が多いものの、個体数では壺の割合がやや高くなっており、甕については体部破片が多数を占めるため、実際の個体数より少なくなっているものと考えられる。土師器皿・環における非ロクロ・ロクロ調整それぞれの構成比は第450図のとおりで、皿・環ともにロクロ調整の比率がやや高く、環は皿に比べて非ロクロの比率が低い。第66・67表は非ロクロ・ロクロ調整環それぞれの個体数による器種構成比で、非ロクロは小環0.5%、大環1.2%、高台付環5.8%、それ以外の環92.5%で、ロクロ調整の環は小環2.4%、大環3.9%、高台付

環1.1%、黒色土器環9.2%、それ以外の環83.4%である。両者を比べると、ロクロ調整の環において小環、大環の比率がやや高く、非ロクロ環において高台付環の比率が高い。なお、高台付環については、付け高台が1点のみで、その他は柱状高台である。非ロクロ皿・環の底部調整について、その比率を第68・69表、第451・452図に示した。非ロクロ皿においては静止糸切が77.7%を占め、網代痕7.6%、砂底6.9%、柀目痕7.8%と同じような比率で続くのに対して、非ロクロ環においては皿で認められたもののほかに木葉痕が1.6%、ヘラケズリが2.5%加わり、網代痕やムシロ痕を含めた編物痕が27.1%、砂底が27.3%を占め、柀目痕が14.3%、ヘラナデ・無調整16.9%となっており、皿の底部調整で大半を占める静止糸切は10.3%と少ない。皿・環のうち口縁～底部が残存する資料138点について、皿・環毎の口径分布を示したものが第453・454図、非ロクロ・ロクロ調整毎の器高・底径指数分布を示したものが第455～458図である。なお、器高指数は器高÷口径×100、底径指数は底径÷口径×100で算出した値である。口径分布では皿が12～15cm、環は11～14cmに取まるものが多く、特に皿では14～15cm、環では12～13cmの数値が高い。器高指数をみると、皿は非ロクロ・ロクロ調整ともに20～30に取まるものが多いが、底径指数については非ロクロが35～45、ロクロ調整が40～50に取まるものが多く、非ロクロに比べるとロクロ調整皿の底径がやや大きくなる傾向がみられる。また、環の器高指数については、非ロクロが30～55の範囲に散在するのに対し、ロクロ調整が30～45の狭い値に集中しており、底径指数についても非ロクロが30～55と広い値に散在するのに対して、ロクロ調整は35～50と狭い値に集中するものが多いことから、指数の面では非ロクロに比べてロクロ調整環にやや規格性が認められる。皿と環には灯明痕や油痕、炭化物が付着するもののほか、内底面に黒痕が認められるものがあり、灯明具や硯として二次的に使用したと考えられる。皿のうち灯明具と考えられるものは2.6%、転用硯と考えられるものは0.5%、環のうち灯明具と考えられるものは5.5%、転用硯と考えられるものは0.1%である。また、墨書や刻書の認められる皿・環の点数の割合については、皿で刻書12.8%、環で刻書6.3%、墨書0.8%である。墨書・刻書のうち、文字として認識できるものは第23図68、第114図572、第162図875の「大」、第84図358の「十」、第113図545、第114図569の「井」のみで、その他の多くは記号と考えられる。

中世以降の土器は、かわらけ、珠洲、常滑、越前、染付、陶磁器である。このうち中世の土器の比率についてはかわらけ7.6%、珠洲58.3%、常滑26.5%、越前3.8%、染付3.8%であり、やや珠洲の割合が高い。

(2) 木製品 比率は紡織具(紡錘車)1.1%、服飾具(下駄)11.1%、容器(漆桶、皿、桶、曲物)23.3%、食事具(箸)13.3%、農耕具(田下駄)1.1%、建築部材等(杭ほか)15.5%、用途不明品34.6%であった。椀や皿で全体が把握できるものは少ないが、第39図木29の皿は口径12.1、器高2.4、底径6.9cm、第16図木5の椀は推定口径9.3cm、第237図木85の漆椀は推定口径11.6、底径5cmを測り、椀については小型のものが多い。下駄については刳り下駄40%、連齒下駄40%、露卯下駄20%の内訳である。全ての木製品の同定を行っていないため、全体の傾向を示すものではないが、樹種についてはヒノキ科アスナロ属が多い。ただし、漆椀はブナ科ブナ属、皿や割物はトチノキ科トチノキ属トチノキ、曲物類はヒノキ科アスナロ属が多いように製品によって樹種にある程度傾向が認められる。また、漆膜分析を実施した下駄1点、皿1点、漆椀1点のうち、皿では漆が認められないものの膠着剤として柿渋が塗布されており、漆椀は柿渋に木炭粉を混和した炭粉塗下地で、内面赤漆、外面透明漆が塗布されている。

第3節 中道遺跡

1. 検出遺構

(1) 土坑 45基検出した。概ね10～11世紀に取まるものと考えられるが、珠洲播鉢(第337図320)が出土したBSK-02(第336図)は中世と考えられる。

(2) 溝跡 70条検出した。溝跡は幅1.5m以上の大溝とそれ以外の小規模な溝跡に分けることができる。そのうち大溝は7条で、南側に集中しており、全てB区から検出した。北側のSD-57(第339図)が上端幅457cmと最も幅広く、他は上端幅170～250cmに取まり、幅の数値については近いものが多い。断面形については、SD-61(第339図)のように地点によって箱葉研堀状や箱堀状を呈するものがあるものの、セクション面から見て概ねSD-59、64(第339図)、SD-69(第340図)が箱葉研堀状、SD-57、61、67(第339図)、SD-68(第340図)が箱堀状を呈する。時期については、遺物の出土が一定量認められたSD-57、61、64では非クロコ皿や坏、口縁部と体部の境が明瞭でない甕の比率が高く、把手付土器、羽釜の出土から10世紀後半～11世紀代と考えられる。B区の溝跡には、南東～北西軸をもつSD-57、61、64や南南東～北北西軸をもつSD-67、68、69の大溝のほか、大溝以外にも北東～南西軸をもつSD-54(第338図)、SD-63、65(第339図)のように同軸線をもつ溝跡が複数認められる。溝跡相互の切り合いからみると、北東～南西軸のSD-65が南南東～北北西軸のSD-67、SD-67が南東～北西軸のSD-64に掘り込まれており、同様に南東～北西軸の溝に北東～南西軸の溝が掘り込まれていることから、大まかには北東～南西軸の溝→南南東～北北西軸の溝→南東～北西軸の溝への変遷が推定される。これらの同軸線を持つ溝跡は出土土器から明確に新旧の判定はできないものの、断面形の違い等から同時並存の可能性は低いと考えられるが、大きな時期差はないものと考えられる。大溝が集中するB区は本遺跡内でも遺構密度が低く、特にSD-57以南は急激に希薄となっている。この要因としては、大溝によって区画された区域の内側と外側の違いが表れている可能性が考えられる。本遺跡と同様に前述の川原館遺跡でも大溝の集中する区域で遺構密度が希薄となっている状況が確認でき、川原館遺跡の大溝と中道遺跡の大溝のうち、近似した規模や形態のものについては、外周を区画していた溝の可能性が考えられる。

その他の溝跡では、「上田番所」と書かれた木筒が出土したSD-03(第290図)や住居の部材と考えられる材が出土したSD-04(第290図)のように時期が下ると考えられるものも認められる。

(3) 井戸跡 11基検出した。円形(不整楕円形を含む)4基、方形(長方形、隅丸方形、不整方形含む)6基、不整形1基である。構造はほとんどが素掘りであるが、ASE-05(第310図)では井戸枠、CSE-04(第379図)では井戸枠と考えられる木材の残存が認められる。特にASE-05の井戸枠はほぞ穴の認められる木材の組み合わせや井戸枠の内側と外側の土層が分離する状況が認められた。底面まで確認できなかったものもあるが、断面は筒形を呈するものと、崩落によりフラスコ状を呈するものが認められる。分布状況はBSE-01(第346図)が標高28.0mとやや離れた地点に位置しており、そのほかA・C区北側の標高28.4～28.6m付近にまとまって分布する。本遺跡内では標高の高い区域に分布するものが多いが、前述の川原館遺跡と合わせると近い範囲に井戸跡がまとまっている。この分布状況については、沖積地の遺跡であり、どの地点でも湧水が容易であるという立地条件から、標高の低い地域に意識して構築しただけではなく、生活の便を意識したと推定される。時期は、ASE-04(第310図)については土師器のほか、出土した越前播鉢(第311図250)により下限を15～16世紀と推定で

き、CSE-03 (第379図) については木製品3点の年輪年代分析の結果、最外年輪から1339、1463、1585の年代が得られており(第VI章第3節参照)、14~16世紀の時期幅が考えられる。他の井戸跡は少量ながら土器の出土が認められるものについては時期推定が難しいものの、10~11世紀に取まるものと考えられる。

(4) **カマド状遺構** ASN-02 (第310図)、BSN-02 (第346図) 2基検出した。SN番号が付された遺構のうち、円形や馬蹄形の焼土範囲に前底部状の掘り込みが付属するものまたは付属すると考えられるものについてカマド状遺構とした。川原館遺跡と同様に2基とも煙道が認められないことから前述のD類に該当すると考えられる。

(5) **その他の遺構** SXとしてその他の遺構で取り扱ったもののうち、埋桶を2基検出した。ピット状の掘方に桶を埋めてトイレとして使用したものである。ASX-01 (第310図)、CSX-01 (第379図) とともに堆積状況から、底のない桶を据えた後、桶の周りを埋め戻して使用したと考えられる。このほか、SD-07 (第368図) から桶の枠や側板が出土しており、埋桶に関連する可能性が考えられる。これらの遺構から籌木と考えられる遺物は出土していないが、棒状の木製品の中に該当するものが含まれる可能性がある。時期については遺物が出土していないため不明であるが、近世の遺跡からの検出例が多いことから、近世に帰属すると考えられる。

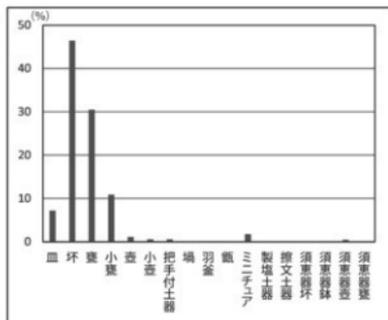
2. 出土遺物

(1) **土器** 平安時代を主体に近世までの土器を第IV章の各図に示した。このうち、平安時代の土師器、須恵器、製塩土器について、口縁部・底部残存率計測法により個体数を算出した。第70表は器種毎の点数と個体数からみた器種構成、第459図は個体数の比率をグラフ化したもので、個体数の比率は、土師器環46.4%と半数近くを占め、次いで甕30.5%、小甕10.9%、皿7.2%と続く。第65表・第449図の川原館遺跡と比べると土師器環が7ポイント低く、甕で11ポイント、小甕で1ポイント、皿で0.5ポイント高くなっている。小甕と壺には非ロクロとロクロ調整のものが認められ、個体数の比率は、小甕で非ロクロ98.5%、ロクロ調整1.5%、壺で非ロクロ77.5%、ロクロ調整16.7%、黒色処理5.8%である。須恵器については口縁部資料が少ないため、甕の個体数が0となっており、川原館遺跡に比べて壺の比率が高くなっている。

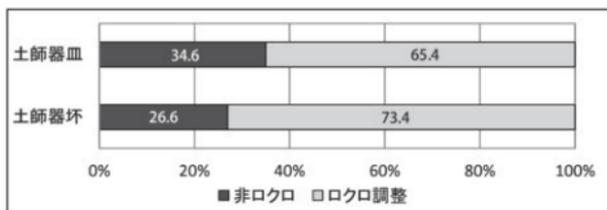
土師器皿・環における非ロクロ・ロクロ調整それぞれの構成比は第460図のとおりで、川原館遺跡と同様に全体的にロクロ調整の比率が高いが、川原館遺跡と比べて非ロクロの比率がより低く、ロクロ調整の比率がより高くなっている。第71・72表は非ロクロ・ロクロ調整環それぞれの個体数による器種構成比で、非ロクロが小環4.0%、高台付環8.4%、それ以外の環87.6%、ロクロ調整が高台付環1.5%、大環1.3%、黒色土器環12.5%であり、両者の比較では非ロクロにおいて高台付環の比率が高い。また川原館遺跡と比べると、非ロクロでは大環が認められなかったものの、小環と高台付環の比率が高く、ロクロ調整では小環が認められなかったものの、大環の比率が低く、黒色土器環の比率が高い結果であった。本遺跡の高台付環は第304図182を除いて、柱状高台である。非ロクロ皿・環の底部調整について、その比率を第73・74表、第461・462図に示した。非ロクロ皿については静止系切が40.8%、網代痕が32.2%と多く、次いでヘラナデ・無調整17.2%、柃目痕9.8%と続くのに対し、非ロクロ環については網代痕を含めた編物痕24.1%、ヘラナデ・無調整が28.2%と多く、次いで、柃目痕18.6%、静止系切16.2%、砂底10.3%、ヘラケズリ1.5%と続いており、皿に比べて環の底部調整にパリエーションが認められる。川原館遺跡と比べると、皿では静止系切の比率が低いのに対し、網代痕のほか、川原館

第70表 中道遺跡古代土器器種組成

器種	点数	%	個体数	%
土師器皿	62	9.5	1421	7.2
土師器坏	197	30.2	91.09	46.4
土師器罐	276	42.3	59.90	30.5
土師器小甕	47	7.2	21.38	10.9
土師器壺	9	1.4	2.23	1.1
土師器小壺	3	0.5	1.18	0.6
土師器把手付土器	4	0.6	1.17	0.6
土師器埴	2	0.3	0.13	0.1
土師器羽釜	2	0.3	0.29	0.1
土師器甌	0	0	0	0
土師器ミニチュア	5	0.7	3.50	1.9
製塩土器	2	0.3	0	0
櫛文土器	0	0	0	0
須恵器坏	0	0	0	0
須恵器鉢	1	0.2	0.12	0.1
須恵器壺	11	1.6	1.00	0.5
須恵器甕	32	4.9	0	0



第459図 中道遺跡古代土器個体数比率



第460図 中道遺跡非ロクロ・ロクロ調整構成比

第71表 中道遺跡非ロクロ坏構成比

種類	個体数%
小坏	4.0
坏	87.6
高台付坏	8.4

第72表 中道遺跡ロクロ調整坏構成比

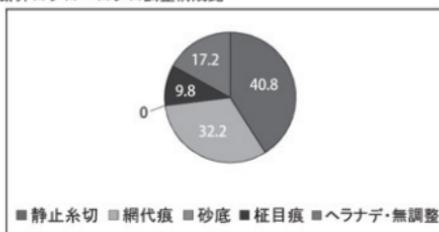
種類	個体数%
坏	84.7
高台付坏	1.5
大坏	1.3
黒色土器坏	12.5

第73表 中道遺跡非ロクロ皿底部調整比率

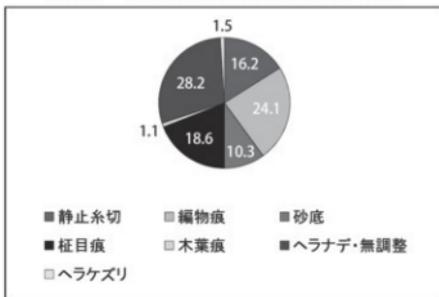
種類	個体数%
静止糸切	40.8
網代痕	32.2
砂底	0
柁目痕	9.8
ヘラナデ・無調整	17.2

第74表 中道遺跡非ロクロ坏底部調整比率

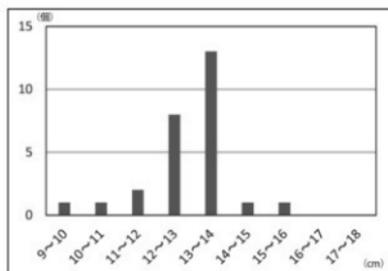
種類	個体数%
静止糸切	16.2
網物痕	24.1
砂底	10.3
柁目痕	18.6
木葉痕	1.1
ヘラナデ・無調整	28.2
ヘラケズリ	1.5



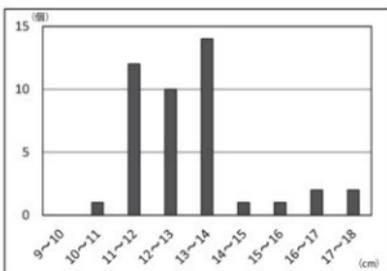
第461図 中道遺跡非ロクロ皿底部調整比率 (%)



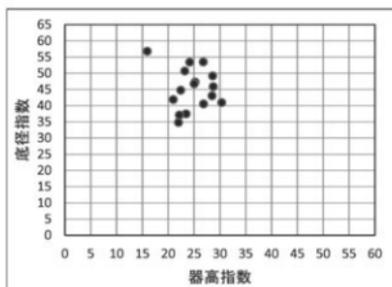
第462図 中道遺跡非ロクロ坏底部調整比率 (%)



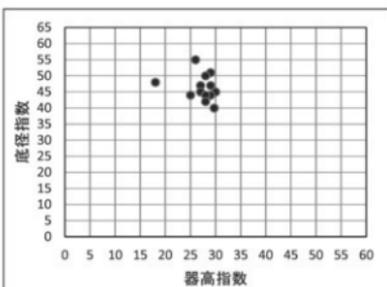
第463図 中道遺跡土師器皿口径分布



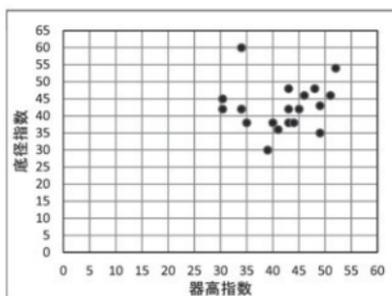
第464図 中道遺跡土師器環口径分布



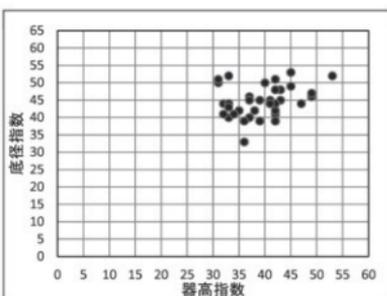
第465図 中道遺跡非口クロ皿器高・底径指数分布



第466図 中道遺跡口クロ皿器高・底径指数分布



第467図 中道遺跡非口クロ環器高・底径指数分布



第468図 中道遺跡口クロ環器高・底径指数分布

遺跡では認められなかったヘラナデ・無調整の比率が高く、坏では砂底とヘラナデ・無調整の比率が高くなっている。皿・坏のうち、口縁～底部が残存する88点について、皿・坏毎の口径分布を示したものが第463・464図、非口クロ・口クロ調整毎の器高・底径指数分布を示したものが第465～468図である。口径分布では皿が12～14cm、坏が11～14cmに収まるものが多く、皿・坏ともに特に13～14cmのものが多い。川原館遺跡に比べると、皿・坏ともに一回り小さな口径のものが多くなっている。器高指数・底径指数をみると、非口クロ皿が器高指数20～30、底径指数35～55とやや広い範囲に散在する

のに対し、ロクロ調整の皿は器高指数25～30、底径指数40～50と狭い範囲への集中が認められる。また、坏については、非ロクロが器高指数30～50、底径指数35～50と広い範囲に散在するのに対し、ロクロ調整が器高指数30～50、底径指数40～50とやや底径指数の高い範囲への集中が認められる。川原館遺跡と比べて、皿・坏ともに底径指数の高い範囲への分布が認められる。灯明具として二次使用されたと考えられるものは、皿で2%、坏で12%含まれており、川原館遺跡に比べて皿・坏ともに高い割合である。また、墨書や刻書の認められる皿・坏の点数の割合は、皿で刻書3.8%、坏で刻書6.3%、墨書2.9%であり、川原館遺跡と比べて皿の比率が低い。川原館遺跡と同様に刻書・墨書ともに記号が多く、文字として認識できるものまたは文字の可能性のあるものは、第300図110、第331図283、第374図468である。

中世と考えられる遺物はロクロかわらけ1点、珠洲播鉢1点、越前播鉢2点、瀬戸・美濃折縁皿1点である。

(2) 木製品 比率は紡織具(菰籠など)1.4%、服飾具(下駄)2.7%、容器(漆椀、曲物)23.9%、食事具(箸、膳)18.5%、文房具(木簡)1.4%、祭祀具(馬形、齊申)1.4%、建築部材等(枕ほか)27.4%、用途不明品23.3%であった。川原館遺跡に比べると、服飾具が8ポイント低く、食事具と建築部材がそれぞれ5ポイント、12ポイント高くなっている。本遺跡では農耕具が認められなかったのに対し、祭祀具(馬形等)や文房具(木簡)が認められた。また、食事具については、川原館遺跡で認められなかった漆塗の膳や折敷と考えられる木製品が出土したことにより、川原館遺跡に比べて食事具の比率が高くなったと考えられる。漆椀については、第288図木12が推定口径12cm、推定底径6cm、第309図木23で推定口径11cm、推定底径5.6cm、第381図木71で口径12cm、器高8cm、底径6cm、木72で推定口径9cm、底径5cmであった。いずれも近似した数値を示しており、川原館遺跡の漆椀と比べてやや規格性が認められる。樹種については、ヒノキ科アスナロ属が多い点や製品によって使用された樹種の傾向も川原館遺跡とほぼ同様であった。椀の漆膜構造分析については、炭粉渋下地という点で川原館遺跡と共通するが、No.1、3は下地の上に透明漆を塗り、更に赤色漆を塗り重ねて2層としており、赤色漆1層のみの川原館遺跡の椀と違いが認められる。

第4節 東早稲田遺跡

東早稲田遺跡については、近年の圃場整備により大部分で削平が認められた。古代と考えられる遺構はB-Tm火山灰を層状に検出したSD-09のみで、その他の土坑、ピットについては時期認定ができなかった。出土遺物についても少量の土師器、古銭、木製品のみであったが、断片的ながら、古代～近世までの土地利用が確認できた。

第5節 総括

3か年の調査の結果、川原館遺跡・中道遺跡を中心に平安時代を主体に中世～近世の遺構・遺物を検出した。川原館遺跡と中道遺跡については、平面上の遺跡範囲では分かれているものの、遺構や出土遺物の構成等からひとつのまとまりとして捉えることができる。沖積地という立地状況によるためか、堅

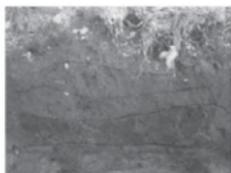
穴遺構が少ないが、溝跡が多く検出されており、区画以外にも排水や用水路としての機能が考えられる。古手と考えられる溝跡は、白頭山-苦小牧(B-Tm)火山灰を層状に検出した川原館遺跡SD-06、外周溝状を呈する川原館遺跡SD-65、72、75やSD-77が挙げられる。大溝は、川原館遺跡SD-105、119、124や中道遺跡SD-59については集落の主体時期に存在していたものと考えられ、その後、平安時代末期～中世に至るまでの間に川原館遺跡SD-05、57、117、120や中道遺跡SD-57、61、64のようなやや幅の広い大溝が構築されるようになったと推定される。前述の川原館遺跡北側や中道遺跡南側の大溝とそれ以外の遺構の分布状況や川原館遺跡南半と中道遺跡北半の遺構密度の高さから、大溝による囲郭の可能性が考えられるものの、囲郭とした場合、川原館遺跡SD-05、57の位置のほか、同軸線を有し交差するような配置状況を呈するSD-105と117、SD-124と120の理由付けができない点から、排水や境界としての機能も考えられる。平安時代の遺構・遺物は10世紀前半～11世紀に収まり、主体については10世紀後半～11世紀と考えられる。中世についてはかわらけ、珠洲、常滑、越前、瀬戸・美濃のほか、洪武通寶等が出土しているが、中世と考えられる遺構は川原館遺跡DSK-28、ASE-03、DSE-05、中道遺跡CSE-03・04であり、断片的な状況を呈する。川原館遺跡については、第II章にあるように浪岡御所の縁戚とされる川原館所に推定されているが、今回の調査で検出された中世と考えられる遺構・遺物は断片的で、川原館所の時期に相当する遺構・遺物はほとんど認められなかった。川原館所の位置については、『天和の絵図』に認められる二ヶ所の樹形状道路の存在から、現在の川原館遺跡の範囲よりも西側への立地が推定されており(浪岡町 2004)、本遺跡とは異なる場所に存在していた可能性が考えられる。川原館遺跡、中道遺跡、東早稲田遺跡ともに近世と考えられる遺構・遺物も認められており、古代～近世までの土地利用が考えられる。

引用・参考文献

- 青森県 1982 『土地分類基本調査 青森西部』
- 青森県 2003 『青森県史 資料編考古4』
- 青森県 2005 『青森県史 資料編考古3』
- 青森県教育委員会 1977 『石上神社遺跡発掘調査報告書』 青森県埋蔵文化財調査報告書第35集
- 青森県教育委員会 1982 『青森県の中世城館』
- 青森県教育委員会 1995 『水木館遺跡発掘調査報告書』 青森県埋蔵文化財調査報告書第173集
- 青森県教育委員会 1998 『高屋敷館遺跡発掘調査報告書』 青森県埋蔵文化財調査報告書第243集
- 青森市教育委員会 2014 『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅶ』
- 弘前市教育委員会 2000 『早稲田遺跡・福富遺跡発掘調査報告書』
- 五所川原市教育委員会 2013 『十三盛遺跡』 五所川原市埋蔵文化財調査報告書第33集
- 浪岡町 2000 『浪岡町史 第1巻』
- 浪岡町 2004 『浪岡町史 第2巻』
- 浪岡町教育委員会 1990 『大沼遺跡発掘調査報告書』 浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第4集
- 浪岡町教育委員会 2002 『平成13年度 浪岡町文化財要目Ⅱ』
- 蓬田村教育委員会 1987 『蓬田大館遺跡発掘調査報告書』 早稲田大学考古学研究室報告
- 秋田県教育委員会 2005 『東根小屋町遺跡』 秋田県文化財調査報告書第387集
- 鳥取県埋蔵文化財センター 2014 『殿河内ウルミ谷遺跡』 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書57
- 沼館愛三 1981 『津軽諸城の研究』
- 宇野隆夫 1992 『食器計量の意義と方法』『国立歴史民俗博物館研究報告第40集』
- 中世土器研究会 1995 『概説中世の土器・陶磁器』
- 齋藤淳 2002 『本州における擦文土器の変遷と分布について』『市川金丸先生古稀記念献呈論文集—海と考古学とロマン』
- 岩井浩介 2004 『弘前市早稲田遺跡出土資料の再検討—青森県津軽地域南半部における古代後半の土器片銭に関する一試案—』
『金沢大学考古学紀要27』
- 茅野嘉雄 2008 『カマド状遺構の集成と今後の研究課題について』『青森県埋蔵文化財調査センター研究紀要第13号』
- MihoMuseum 2010 『古陶の譜中世のやきもの —六古窯とその周辺—』
- 新山隆男 2011 『青森県内における平安時代の非クロコ成形環について』『青森県埋蔵文化財調査センター研究紀要第16号』
- 北東北古代集落遺跡研究会 2014 『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた北東北世界の実態的研究』



川原館遺跡ASK区全景(S→)



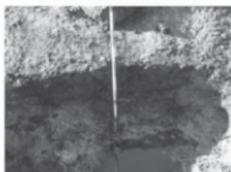
川原館遺跡ASK区基本層序(N→)



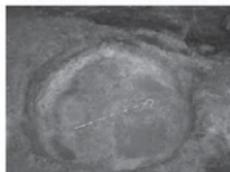
川原館遺跡ASK-01・02・04完掘(S→)



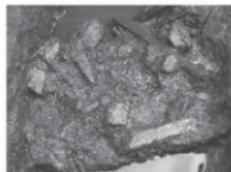
川原館遺跡ASK-01・02断面(S→)



川原館遺跡ASK-04断面(E→)



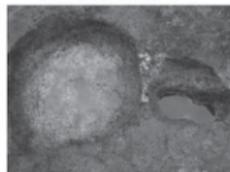
川原館遺跡ASK-03完掘(N→)



川原館遺跡ASK-03遺物出土状況(N→)



川原館遺跡ASK-03断面(N→)



川原館遺跡ASK-05、ASP-11・12完掘(N→)



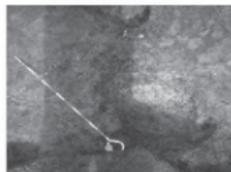
川原館遺跡ASK-05断面(N→)



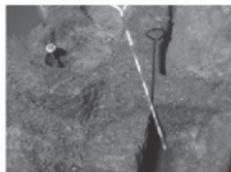
川原館遺跡ASK-06、10完掘(E→)



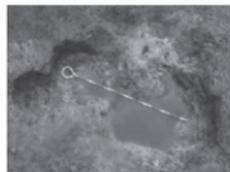
川原館遺跡ASK-06、10断面(N→)



川原館遺跡ASK-08完掘(S→)



川原館遺跡ASK-08断面(S→)



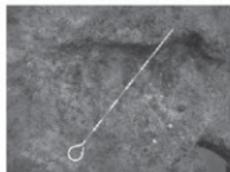
川原館遺跡ASK-09、ASP-45・46完掘(N→)



川原館遺跡ASK-11、SD-05完掘(N→)

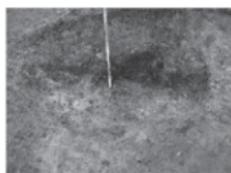


川原館遺跡ASK-11、SD-05断面(E→)

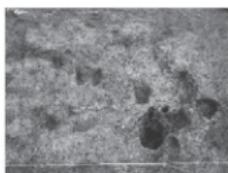


川原館遺跡ASK-12完掘(E→)

写真図版2 検出遺構(1)



川原館遺跡ASK-12断面(E→)



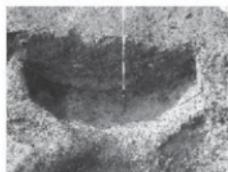
川原館遺跡ASK-18、ASP-60、66完掘(W→)



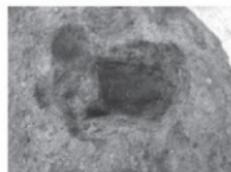
川原館遺跡ASK-18断面(N→)



川原館遺跡ASK-20、ASP-229完掘(W→)



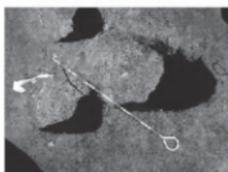
川原館遺跡ASK-20断面(E→)



川原館遺跡ASK-24、ASP-213完掘(N→)



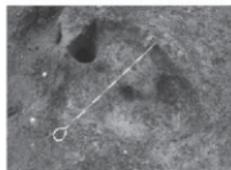
川原館遺跡ASK-24、ASP-213断面(S→)



川原館遺跡ASK-25、ASP-200完掘(S→)



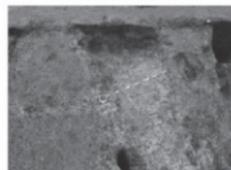
川原館遺跡ASK-25断面(S→)



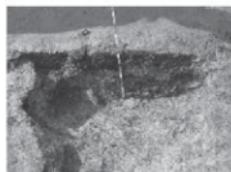
川原館遺跡ASK-26、ASP-166完掘(E→)



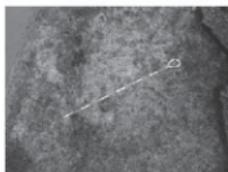
川原館遺跡ASK-26断面(W→)



川原館遺跡ASK-30完掘(E→)



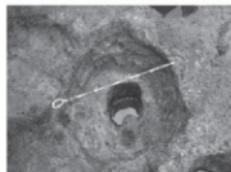
川原館遺跡ASK-30断面(E→)



川原館遺跡ASK-31完掘(W→)



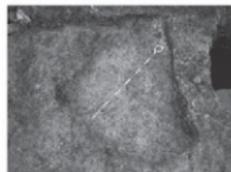
川原館遺跡ASK-31断面(W→)



川原館遺跡ASK-35完掘(W→)

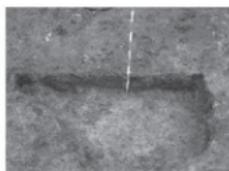


川原館遺跡ASK-35断面(W→)

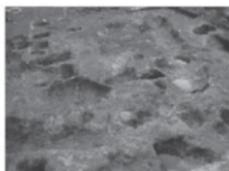


川原館遺跡ASK-36完掘(W→)

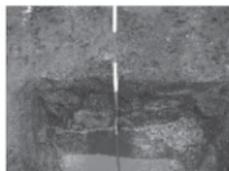
写真図版3 検出遺構(2)



川原館遺跡ASK-36断面(N→)



川原館遺跡SD-01完壁(N→)



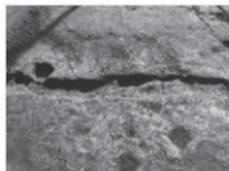
川原館遺跡SD-01断面(S→)



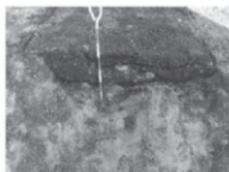
川原館遺跡SD-02上完壁(E→)



川原館遺跡SD-02上断面(E→)



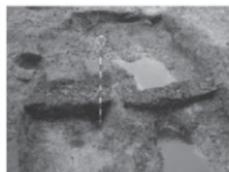
川原館遺跡SD-02下完壁(N→)



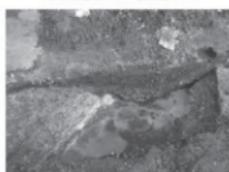
川原館遺跡SD-02下断面(N→)



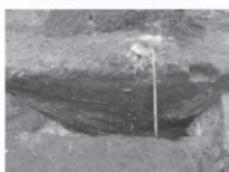
川原館遺跡SD-03・04完壁(N→)



川原館遺跡SD-03・04断面(E→)



川原館遺跡SD-05上完壁(S→)



川原館遺跡SD-05下断面(S→)



川原館遺跡SD-05上完壁(N→)



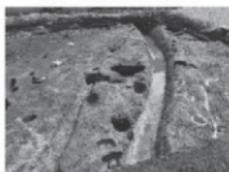
川原館遺跡SD-05下断面(N→)



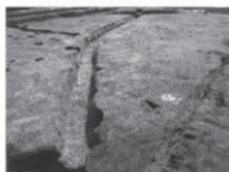
川原館遺跡SD-05上完壁(E→)



川原館遺跡SD-05下断面(N→)



川原館遺跡SD-06上・07完壁(W→)



川原館遺跡SD-06下完壁(NW→)



川原館遺跡SD-06B-Tmk火山灰検出状況(N→)

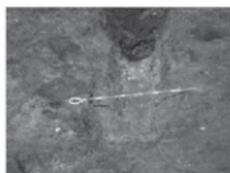
写真図版4 検出遺構(3)



川原館遺跡SD-06断面(S→)



川原館遺跡SD-07断面(E→)



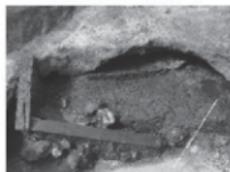
川原館遺跡SD-08完掘(E→)



川原館遺跡SD-08断面(E→)



川原館遺跡ASE-01完掘(S→)



川原館遺跡ASE-01遺物出土状況(E→)



川原館遺跡ASE-01断面(E→)



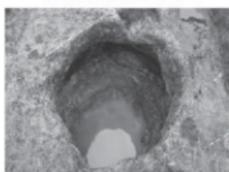
川原館遺跡ASE-03完掘(E→)



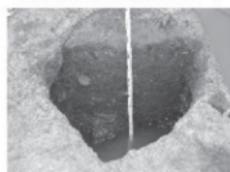
川原館遺跡ASE-03遺物出土状況(E→)



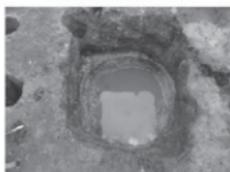
川原館遺跡ASE-03断面(E→)



川原館遺跡ASE-04完掘(N→)



川原館遺跡ASE-04断面(N→)



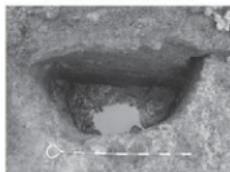
川原館遺跡ASE-05完掘(N→)



川原館遺跡ASE-05断面(N→)



川原館遺跡ASE-06完掘(N→)



川原館遺跡ASE-07完掘(N→)



川原館遺跡ASE-07断面(N→)



川原館遺跡ASN-01完掘(S→)

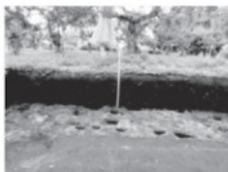
写真図版5 検出遺構(4)



川原館遺跡ASN-01、ASP-195断面(N→)



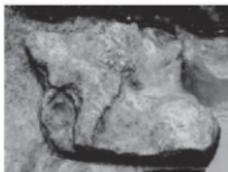
川原館遺跡B区全景(N→)



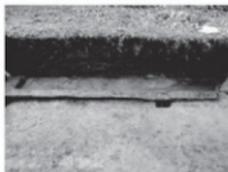
川原館遺跡B区基本階序(E→)



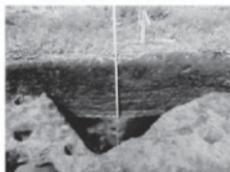
川原館遺跡BSI-03完掘(NE→)



川原館遺跡BSI-03内焼土範囲(N→)



川原館遺跡BSI-03断面(E→)



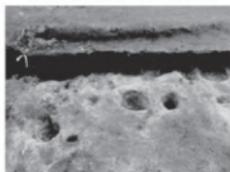
川原館遺跡BSI-04完掘・断面(E→)



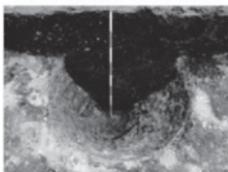
川原館遺跡BSK-01、BSE-05完掘(SE→)



川原館遺跡BSK-01、BSE-05断面(SE→)



川原館遺跡BSK-02、BSP-46~48完掘・断面(NW→)



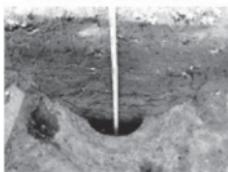
川原館遺跡BSK-03完掘・断面(W→)



川原館遺跡BSK-04・05、BSP-22完掘(E→)



川原館遺跡BSK-04・05断面(SE→)



川原館遺跡BSK-07完掘・断面(SE→)



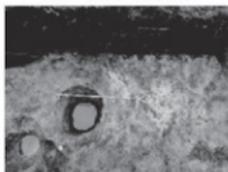
川原館遺跡BSK-08完掘(S→)



川原館遺跡BSK-08断面(SE→)

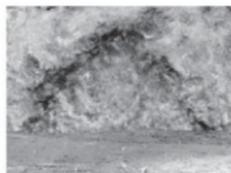


川原館遺跡BSK-09完掘・断面(E→)



川原館遺跡BSK-10完掘・断面(W→)

写真図版6 検出遺構(5)



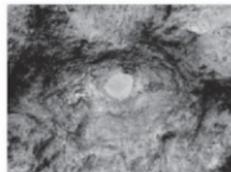
川原館遺跡BSK-11完掘 (W→)



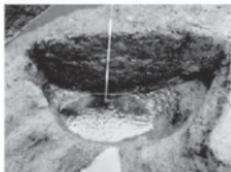
川原館遺跡BSK-11、SD-90①、100①断面 (E→)



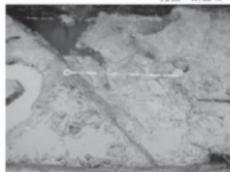
川原館遺跡BSK-12、SD-115①、SDP-77
完掘・断面 (E→)



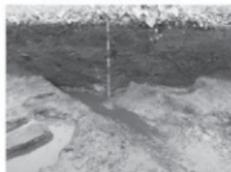
川原館遺跡BSK-13完掘 (N→)



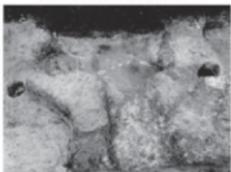
川原館遺跡BSK-13①断面 (S→)



川原館遺跡BSK-14、SD-81完掘 (E→)



川原館遺跡BSK-14、SD-81断面 (E→)



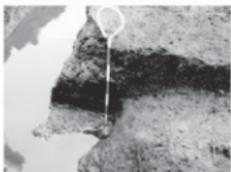
川原館遺跡BSK-15、SD-82完掘 (E→)



川原館遺跡BSK-15①断面 (E→)



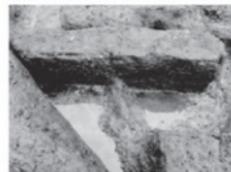
川原館遺跡BSK-16、SD-77、80完掘 (NE→)



川原館遺跡BSK-16、SD-77①断面 (SW→)



川原館遺跡BSK-17・18完掘 (E→)



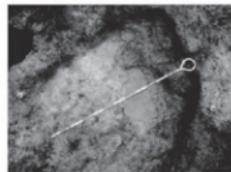
川原館遺跡BSK-17・18断面 (NE→)



川原館遺跡BSK-19完掘 (W→)



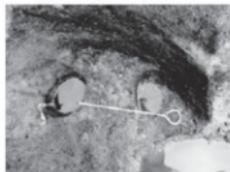
川原館遺跡BSK-19断面 (W→)



川原館遺跡BSK-20完掘 (NW→)

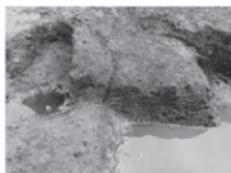


川原館遺跡BSK-20断面 (W→)

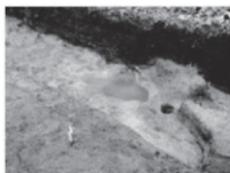


川原館遺跡BSK-21完掘 (SW→)

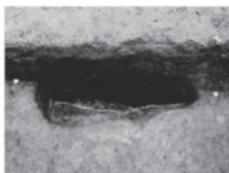
写真図版 7 検出遺構 (6)



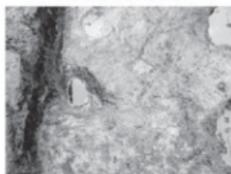
川原館遺跡BSK-21、13之断面(NW→)



川原館遺跡BSK-22完掘(E→)



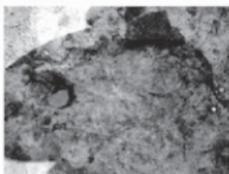
川原館遺跡BSK-23、BSP-108完掘・断面(NW→)



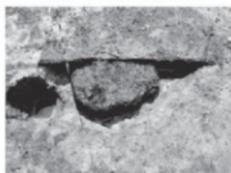
川原館遺跡BSK-24完掘(NW→)



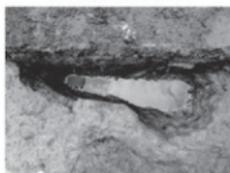
川原館遺跡BSK-24断面(N→)



川原館遺跡BSK-25、BSP-137、168完掘(NW→)



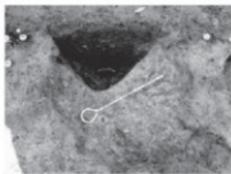
川原館遺跡BSK-25断面・炭化物確認状況(N→)



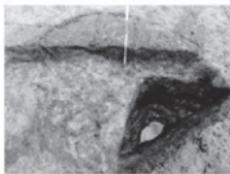
川原館遺跡BSK-26、BSP-153完掘(E→)



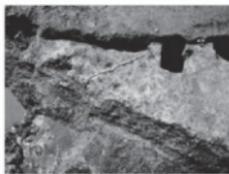
川原館遺跡BSK-26、BSP-153断面(E→)



川原館遺跡BSK-27、BSP-157完掘(SE→)



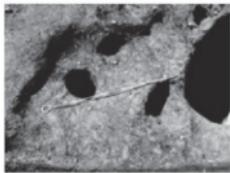
川原館遺跡BSK-27断面(NW→)



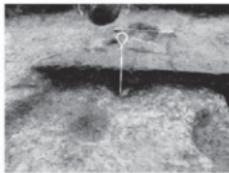
川原館遺跡BSK-29完掘(E→)



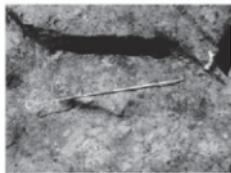
川原館遺跡BSK-29断面(S→)



川原館遺跡BSK-30完掘(E→)



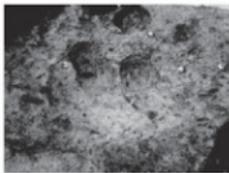
川原館遺跡BSK-30断面(E→)



川原館遺跡BSK-31完掘(E→)

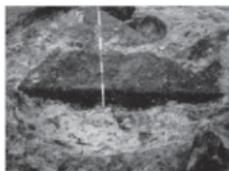


川原館遺跡BSK-31断面(E→)

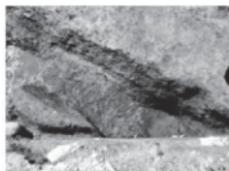


川原館遺跡BSK-32完掘(S→)

写真図版 8 検出遺構(7)



川原館遺跡6SK-32断面(S→)



川原館遺跡SD-46完掘(E→)



川原館遺跡SD-46断面(S→)



川原館遺跡SD-47完掘(NW→)



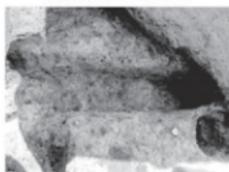
川原館遺跡SD-47断面(NW→)



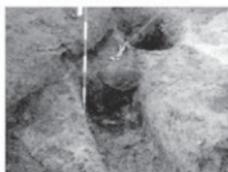
川原館遺跡SD-48完掘(E→)



川原館遺跡SD-48断面(E→)



川原館遺跡SD-49完掘(E→)



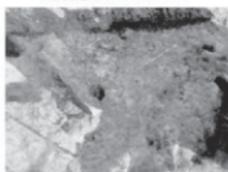
川原館遺跡SD-49断面(SE→)



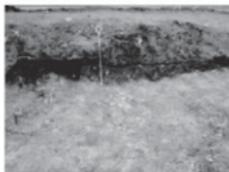
川原館遺跡SD-50・51・52完掘(W→)



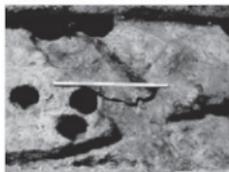
川原館遺跡SD-50・51・52断面(W→)



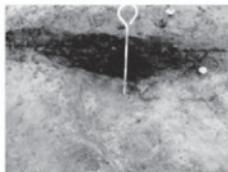
川原館遺跡SD-52完掘(W→)



川原館遺跡SD-52之断面(W→)



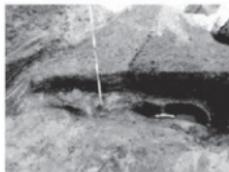
川原館遺跡SD-53完掘(E→)



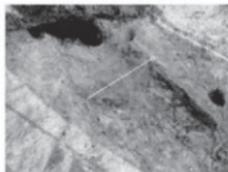
川原館遺跡SD-53之断面(E→)



川原館遺跡SD-54完掘(W→)

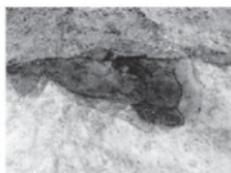


川原館遺跡SD-54・53之断面(NW→)



川原館遺跡SD-55完掘(W→)

写真図版9 検出遺構(8)



川原館遺跡SD-55断面(W→)



川原館遺跡SD-57-1完掘(NE→)



川原館遺跡SD-57-2完掘(SW→)



川原館遺跡SD-57-3断面(S→)



川原館遺跡SD-57-3完掘(E→)



川原館遺跡SD-57-2断面(E→)



川原館遺跡SD-57-4完掘(NE→)



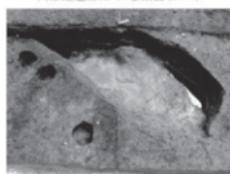
川原館遺跡SD-57-3断面(NW→)



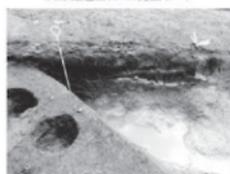
川原館遺跡SD-60完掘(W→)



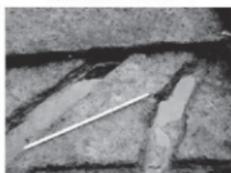
川原館遺跡SD-60断面(W→)



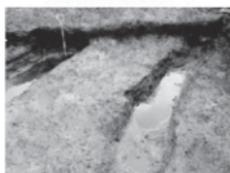
川原館遺跡SD-61完掘(W→)



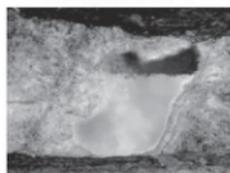
川原館遺跡SD-61断面(W→)



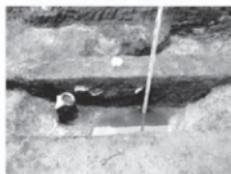
川原館遺跡SD-62・63断面(NW→)



川原館遺跡SD-62・63断面(NW→)



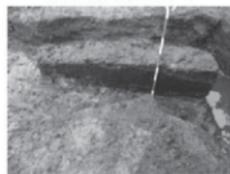
川原館遺跡SD-66完掘(E→)



川原館遺跡SD-66断面(E→)

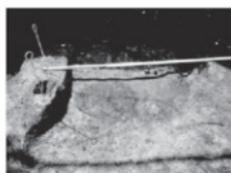


川原館遺跡SD-77-2、80断面(E→)

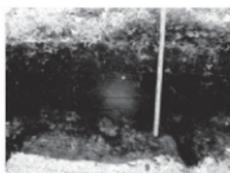


川原館遺跡SD-82、BSX-15-2断面(N→)

写真図版10 検出遺構(9)



川原館遺跡SD-83完掘(E→)



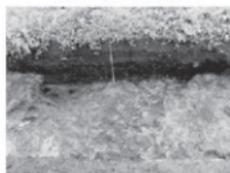
川原館遺跡SD-83断面(E→)



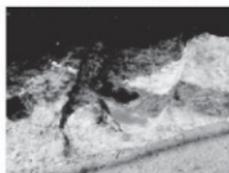
川原館遺跡SD-86J完掘(E→)



川原館遺跡SD-86之完掘(S→)



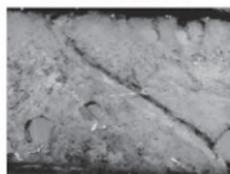
川原館遺跡SD-86断面(E→)



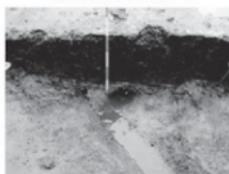
川原館遺跡SD-95完掘(E→)



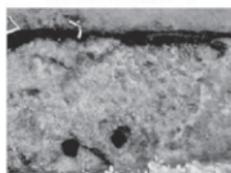
川原館遺跡SD-95断面(E→)



川原館遺跡SD-96完掘(W→)



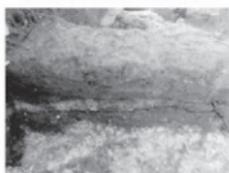
川原館遺跡SD-96、BSP-85断面(W→)



川原館遺跡SD-98J完掘(W→)



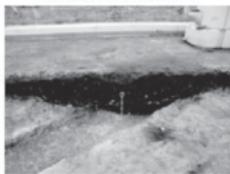
川原館遺跡SD-98之完掘(W→)



川原館遺跡SD-98之断面(SW→)



川原館遺跡SD-99完掘(NW→)



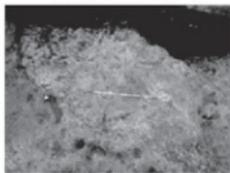
川原館遺跡SD-99断面(E→)



川原館遺跡SD-100完掘(SW→)



川原館遺跡SD-100之、111断面(W→)



川原館遺跡SD-101完掘(W→)



川原館遺跡SD-100之、101断面(W→)

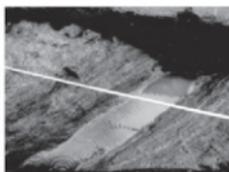
写真図版11 検出遺構(10)



川原館遺跡SD-102~104, BSP-39完掘 (SW→)



川原館遺跡SD-102~104, BSP-39断面 (SW→)



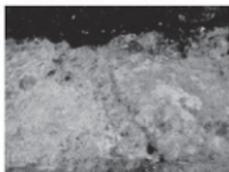
川原館遺跡SD-105.1完掘 (W→)



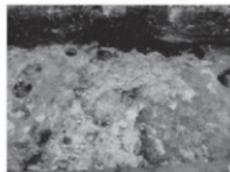
川原館遺跡SD-105.2完掘 (NW→)



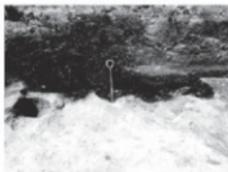
川原館遺跡SD-105断面 (NW→)



川原館遺跡SD-115.2完掘 (E→)



川原館遺跡SD-116完掘 (SE→)



川原館遺跡SD-116断面 (E→)



川原館遺跡SD-117完掘 (SE→)



川原館遺跡SD-117.1断面 (NE→)



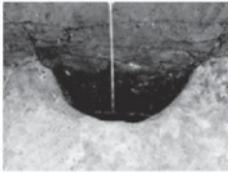
川原館遺跡SD-117.2、120.1断面 (E→)



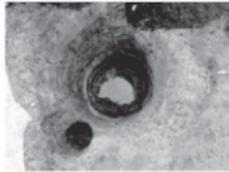
川原館遺跡SD-120完掘 (W→)



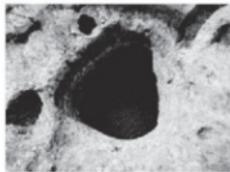
川原館遺跡SD-120.2・119.1断面 (NW→)



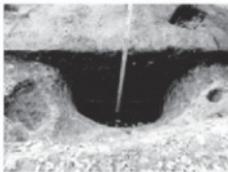
川原館遺跡BSE-01完掘・断面 (E→)



川原館遺跡BSE-02完掘 (E→)



川原館遺跡BSE-04完掘 (E→)



川原館遺跡BSE-04断面 (E→)

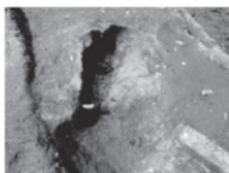


川原館遺跡B8N-01炭化物・焼土範囲 (S→)

写真図版12 検出遺構 (11)



川原館遺跡BSN-01断面 (S→)



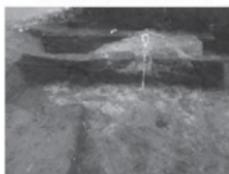
川原館遺跡BSN-02焼土範囲 (N→)



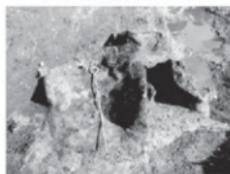
川原館遺跡BSN-02断面 (N→)



川原館遺跡BSN-03焼土範囲 (N→)



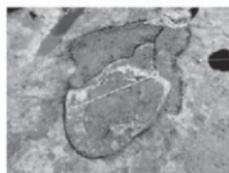
川原館遺跡BSN-03断面 (N→)



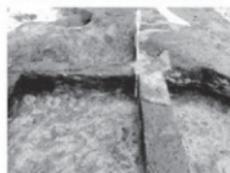
川原館遺跡BSN-04灰・焼土範囲 (N→)



川原館遺跡BSN-04断面 (N→)



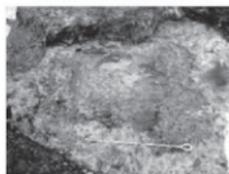
川原館遺跡BSN-05焼土範囲 (W→)



川原館遺跡BSN-05断面 (NE→)



川原館遺跡BSX-01完掘 (E→)



川原館遺跡BSX-01灰検出状況 (W→)



川原館遺跡BSX-01断面 (W→)



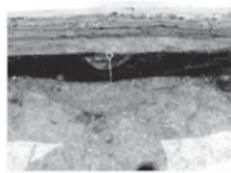
川原館遺跡CSK-01作業風景 (SE→)



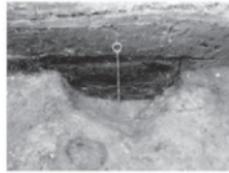
川原館遺跡CSK-01完掘 (SW→)



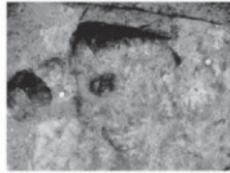
川原館遺跡CSK-01断面 (SW→)



川原館遺跡CSK-02完掘・断面 (NW→)

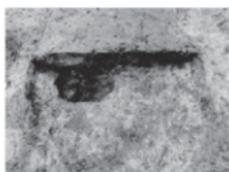


川原館遺跡CSK-03完掘・断面 (SE→)

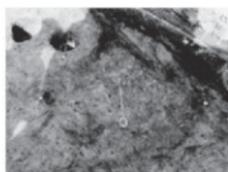


川原館遺跡CSK-04完掘 (E→)

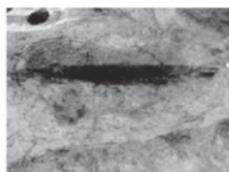
写真図版13 検出遺構 (12)



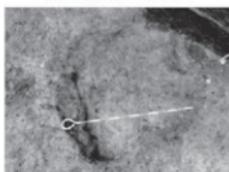
川原館遺跡CSK-04断面(E→)



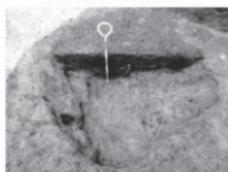
川原館遺跡CSK-05完掘(S→)



川原館遺跡CSK-05断面(SE→)



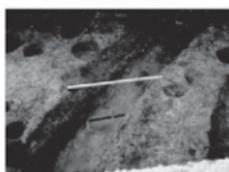
川原館遺跡CSK-06完掘(E→)



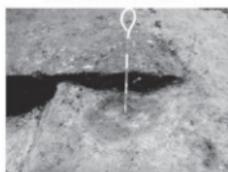
川原館遺跡CSK-06断面(E→)



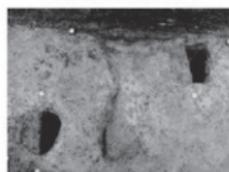
川原館遺跡CSK-07断面(S→)



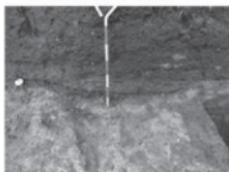
川原館遺跡SD-06③、09完掘(SE→)



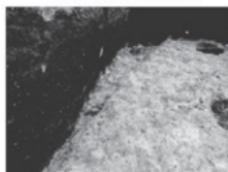
川原館遺跡SD-09断面(S→)



川原館遺跡SD-21完掘(S→)



川原館遺跡SD-21断面(S→)



川原館遺跡SD-33完掘(N→)



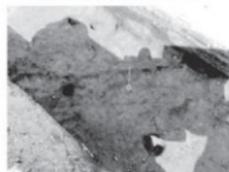
川原館遺跡SD-33断面(N→)



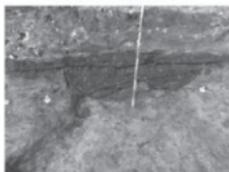
川原館遺跡SD-58完掘(SE→)



川原館遺跡SD-58断面(SE→)



川原館遺跡SD-59完掘(S→)



川原館遺跡SD-59断面(S→)



川原館遺跡CSE-01、CSX-01完掘(N→)

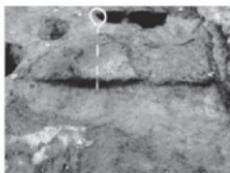


川原館遺跡CSE-01、CSX-01断面(N→)

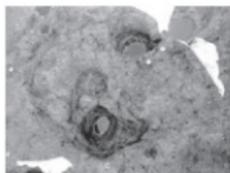
写真図版14 検出遺構(13)



川原館遺跡CSN-01確認状況 (S→)



川原館遺跡CSN-01断面 (S→)



川原館遺跡CSN-02、CSP-50完掘 (SW→)



川原館遺跡CSN-02、CSP-50断面 (SW→)



川原館遺跡D区全景① (NE→)



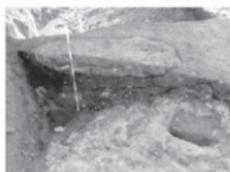
川原館遺跡D区全景② (S→)



川原館遺跡D区基本層序 (S→)



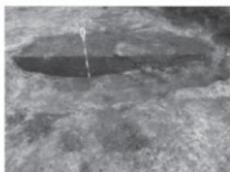
川原館遺跡DSK-01、DSK-28完掘 (NE→)



川原館遺跡DSK-01、DSN-04、DSK-28断面 (NE→)



川原館遺跡DSK-01完掘 (NW→)



川原館遺跡DSK-01断面 (NW→)



川原館遺跡DSK-02完掘 (E→)



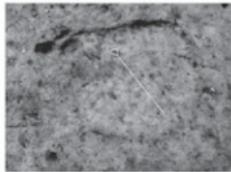
川原館遺跡DSK-02①、SD-94①断面 (E→)



川原館遺跡DSK-04完掘 (NE→)



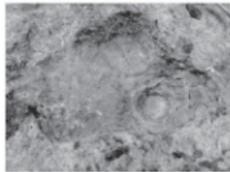
川原館遺跡DSK-04断面 (E→)



川原館遺跡DSK-05、DSP-41、86・87完掘 (NE→)



川原館遺跡DSK-05、DSP-86・87断面 (SW→)

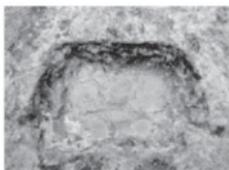


川原館遺跡DSK-06、DSP-70～73完掘 (NE→)

写真図版15 検出遺構 (14)



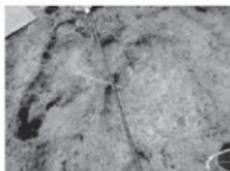
川原館遺跡DSK-06・SD-75(1)断面(E→)



川原館遺跡DSC-07完掘(NE→)



川原館遺跡DSC-07断面(NE→)



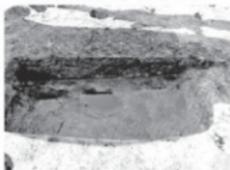
川原館遺跡DSC-08・09完掘(NE→)



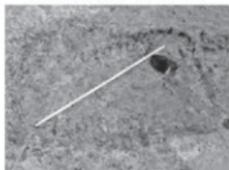
川原館遺跡DSC-08・09断面(E→)



川原館遺跡DSC-10・DSP-106, 109, 146完掘(N→)



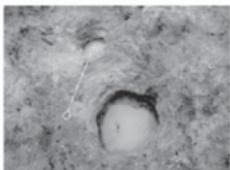
川原館遺跡DSC-10・DSP-146断面(NE→)



川原館遺跡DSN-11, 24・DSN-03完掘(NW→)



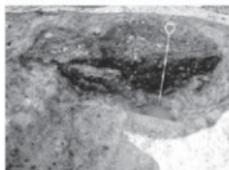
川原館遺跡DSN-11, 24(1)・DSN-03(1)断面(NW→)



川原館遺跡DSC-12~14完掘(S→)



川原館遺跡DSC-12(1)・13断面(S→)



川原館遺跡DSC-12(2)・14断面(E→)



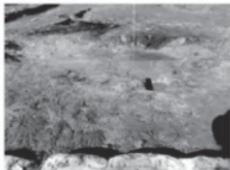
川原館遺跡DSC-15完掘(SE→)



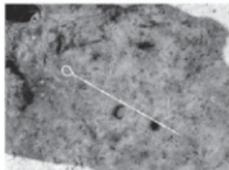
川原館遺跡DSC-15断面(S→)



川原館遺跡DSC-16, 19完掘(SE→)



川原館遺跡DSC-16, 19断面(SE→)

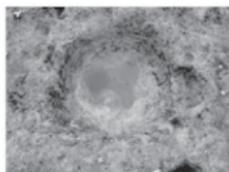


川原館遺跡DSC-17完掘(NE→)



川原館遺跡DSC-17断面(E→)

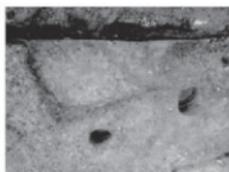
写真図版16 検出遺構(15)



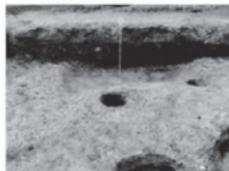
川原館遺跡OSK-18完掘(E→)



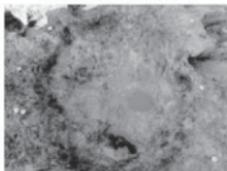
川原館遺跡OSK-18断面(E→)



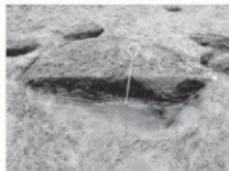
川原館遺跡OSK-20、DSP-220・221完掘(E→)



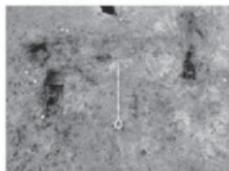
川原館遺跡OSK-20断面(E→)



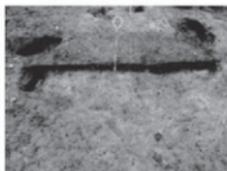
川原館遺跡OSK-21完掘(E→)



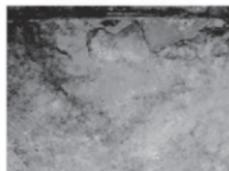
川原館遺跡OSK-21断面(E→)



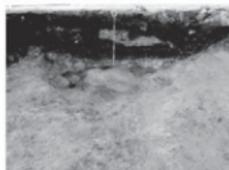
川原館遺跡OSK-22、DSP-37、227、232・233完掘(S→)



川原館遺跡OSK-22、DSP-37断面(SE→)



川原館遺跡OSK-23完掘(E→)



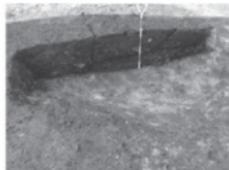
川原館遺跡OSK-23断面(E→)



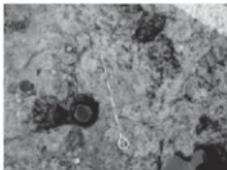
川原館遺跡OSK-24②、DSN-03②断面(SW→)



川原館遺跡OSK-25完掘(E→)



川原館遺跡OSK-25断面(SE→)



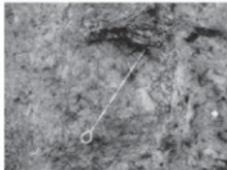
川原館遺跡OSK-26、DSP-38、249、295・296完掘(S→)



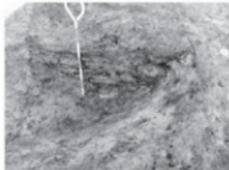
川原館遺跡OSK-45、SD-74完掘(W→)



川原館遺跡OSK-26、45断面(SW→)

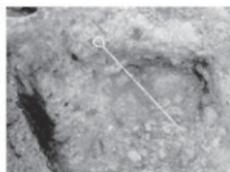


川原館遺跡OSK-27完掘(SE→)

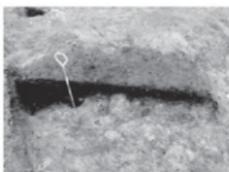


川原館遺跡OSK-27断面(S→)

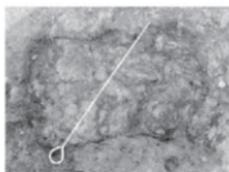
写真図版17 検出遺構(16)



川原館遺跡DSK-30、DSP-333完掘 (NE→)



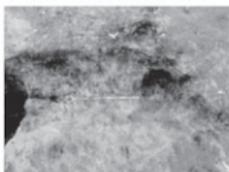
川原館遺跡DSK-30、DSP-333断面 (NE→)



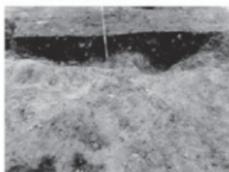
川原館遺跡DSK-31完掘 (SE→)



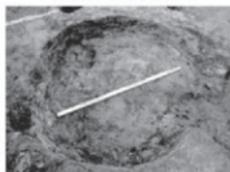
川原館遺跡DSK-31断面 (SE→)



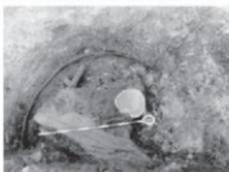
川原館遺跡DSK-32、DSP-336・337、387完掘 (E→)



川原館遺跡DSK-32、DSP-387断面 (E→)



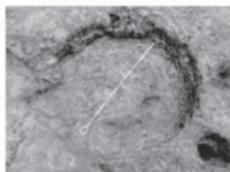
川原館遺跡DSK-33完掘 (E→)



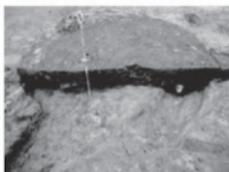
川原館遺跡DSK-33遺物出土状況 (W→)



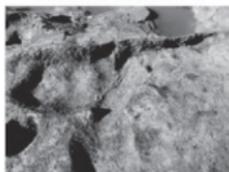
川原館遺跡DSK-33断面 (NW→)



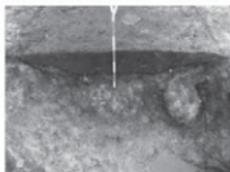
川原館遺跡DSK-34、DSP-469・470完掘 (SE→)



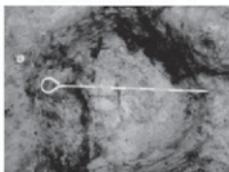
川原館遺跡DSK-34断面 (S→)



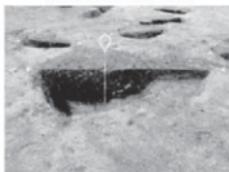
川原館遺跡DSK-35完掘 (E→)



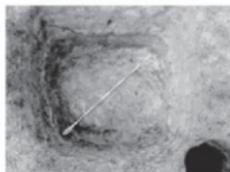
川原館遺跡DSK-35断面 (NE→)



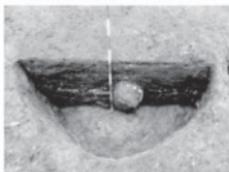
川原館遺跡DSK-36、DSP-426完掘 (E→)



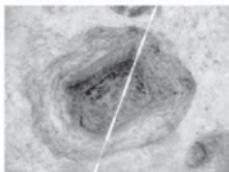
川原館遺跡DSK-36、DSP-426断面 (E→)



川原館遺跡DSK-37完掘 (SE→)

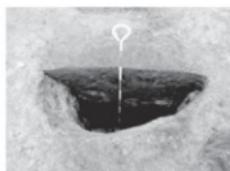


川原館遺跡DSK-37断面 (SE→)

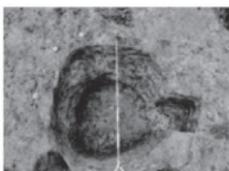


川原館遺跡DSK-38完掘 (SE→)

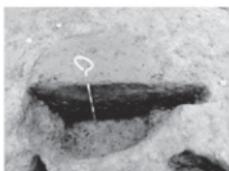
写真図版18 検出遺構 (17)



川原館遺跡DSK-38断面(SE→)



川原館遺跡DSK-39、DSP-556完掘(S→)



川原館遺跡DSK-39、DSP-556断面(SW→)



川原館遺跡DSK-40、DSP-611、613・614、622完掘(SE→)



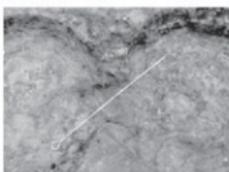
川原館遺跡DSK-40、DSP-613・614断面(S→)



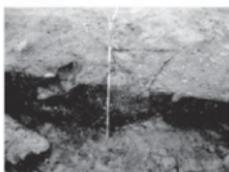
川原館遺跡DSK-41、DSP-391、464・465完掘(N→)



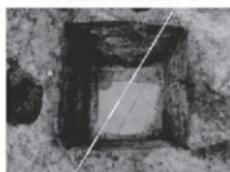
川原館遺跡DSK-41断面(NW→)



川原館遺跡DSK-42完掘(SE→)



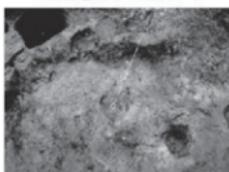
川原館遺跡DSK-42断面(NW→)



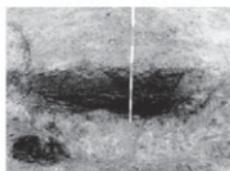
川原館遺跡DSK-43完掘(SE→)



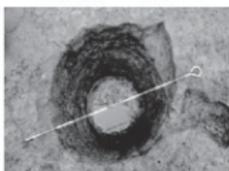
川原館遺跡DSK-43断面(SE→)



川原館遺跡DSK-44完掘(SE→)



川原館遺跡DSK-44断面(NE→)



川原館遺跡DSK-46完掘(NW→)



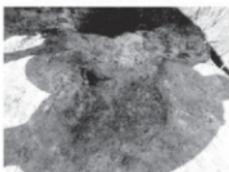
川原館遺跡DSK-46断面(SE→)



川原館遺跡SD-56完掘(W→)

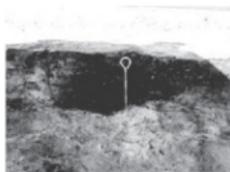


川原館遺跡SD-56、DSP-425断面(W→)

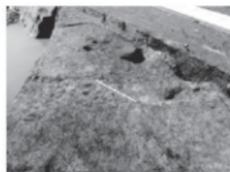


川原館遺跡SD-64完掘(SE→)

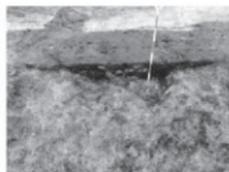
写真図版19 検出遺構(18)



川原館遺跡SD-64断面(SE→)



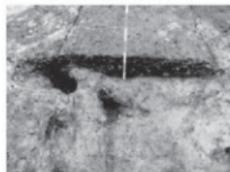
川原館遺跡SD-65完掘(N→)



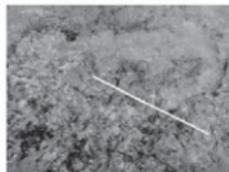
川原館遺跡SD-65断面(S→)



川原館遺跡SD-68・69完掘(E→)



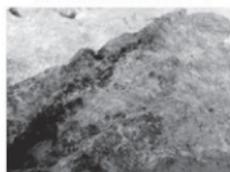
川原館遺跡SD-68・69断面(SE→)



川原館遺跡SD-70・71完掘(NE→)



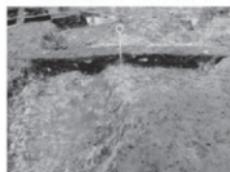
川原館遺跡SD-70・71断面(SE→)



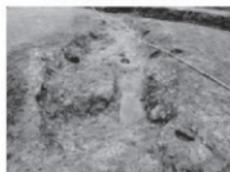
川原館遺跡SD-72完掘(SE→)



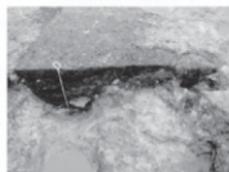
川原館遺跡SD-73完掘(E→)



川原館遺跡SD-72・73断面(SE→)



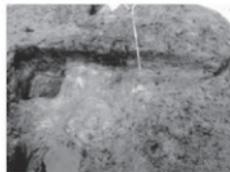
川原館遺跡SD-75完掘(NE→)



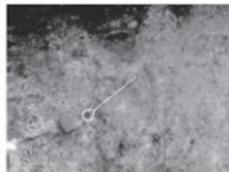
川原館遺跡SD-75(2)、DSP-93断面(SW→)



川原館遺跡SD-76、DSP-217、243完掘(S→)



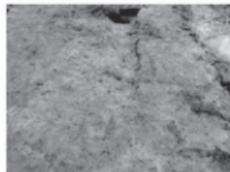
川原館遺跡SD-76、DSP-243断面(S→)



川原館遺跡SD-78完掘(SE→)



川原館遺跡SD-78断面(SE→)

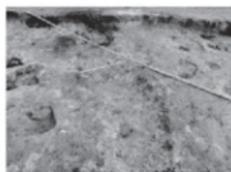


川原館遺跡SD-79完掘(SW→)

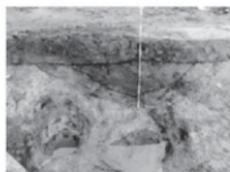


川原館遺跡SD-79断面(NW→)

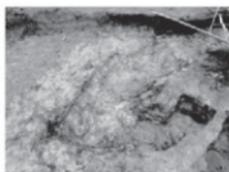
写真図版20 検出遺構(19)



川原館遺跡SD-84完掘 (W→)



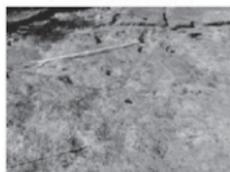
川原館遺跡SD-84断面 (W→)



川原館遺跡SD-85完掘 (W→)



川原館遺跡SD-85断面 (W→)



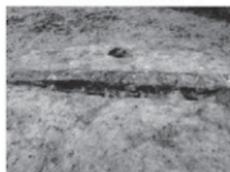
川原館遺跡SD-87完掘 (SW→)



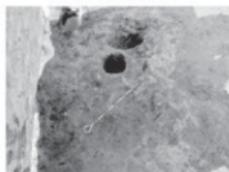
川原館遺跡SD-87断面 (S→)



川原館遺跡SD-88完掘 (SE→)



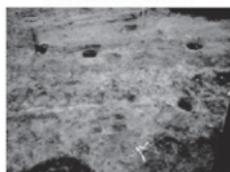
川原館遺跡SD-88断面 (S→)



川原館遺跡SD-89完掘 (SE→)



川原館遺跡SD-89断面 (E→)



川原館遺跡SD-90完掘 (NE→)



川原館遺跡SD-90、DSK-17断面 (N→)



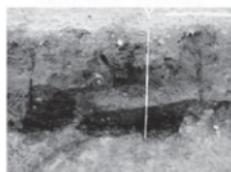
川原館遺跡SD-91～94完掘 (N→)



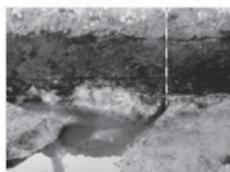
川原館遺跡SD-91、DSP-89断面 (SE→)



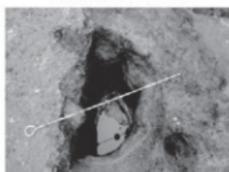
川原館遺跡SD-92断面 (SW→)



川原館遺跡SD-93断面 (E→)

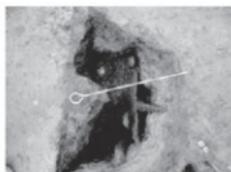


川原館遺跡SD-94②、DSK-02②断面 (E→)



川原館遺跡DSE-01完掘 (E→)

写真図版21 検出遺構 (20)



川原館遺跡DSE-01遺物出土状況 (SE→)



川原館遺跡DSE-01断面 (SE→)



川原館遺跡DSE-04完掘 (SE→)



川原館遺跡DSE-04遺物出土状況 (E→)



川原館遺跡DSE-04断面 (E→)



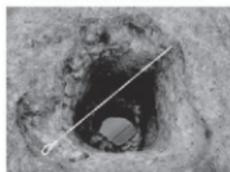
川原館遺跡DSE-05完掘 (SE→)



川原館遺跡DSE-05遺物出土状況 (SE→)



川原館遺跡DSE-05断面 (SW→)



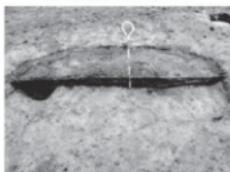
川原館遺跡DSE-06完掘 (E→)



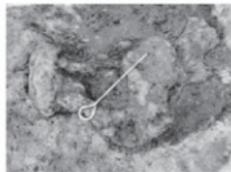
川原館遺跡DSE-06断面 (E→)



川原館遺跡DSN-01確認 (NE→)



川原館遺跡DSN-01断面 (E→)



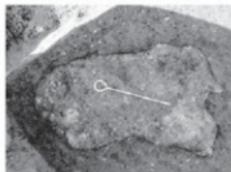
川原館遺跡DSN-02焼土検出状況 (SE→)



川原館遺跡DSN-02断面 (SE→)



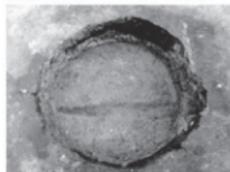
川原館遺跡DSN-03焼土・炭出土状況 (SW→)



川原館遺跡DSN-04遺物検出状況 (NE→)



川原館遺跡F区全景 (SE→)

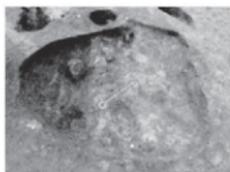


川原館遺跡FSK-01完掘 (NW→)

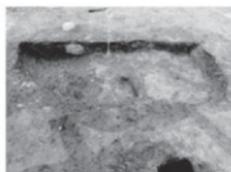
写真図版22 検出遺構 (21)



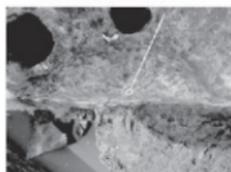
川原館遺跡FSK-01断面(NW→)



川原館遺跡FSK-02完掘(E→)



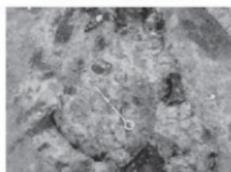
川原館遺跡FSK-02断面(SE→)



川原館遺跡FSK-03完掘(SE→)



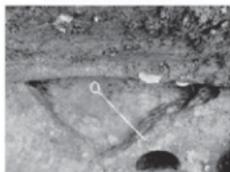
川原館遺跡FSK-03断面(SE→)



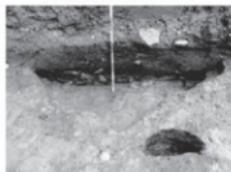
川原館遺跡FSK-04完掘(SW→)



川原館遺跡FSK-04、SD-32断面(S→)



川原館遺跡FSK-05完掘(NE→)



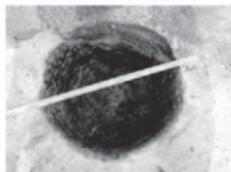
川原館遺跡FSK-05断面(NE→)



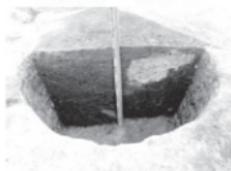
川原館遺跡FSK-06完掘(NE→)



川原館遺跡FSK-06断面(NE→)



川原館遺跡FSK-07完掘(N→)



川原館遺跡FSK-07断面(W→)



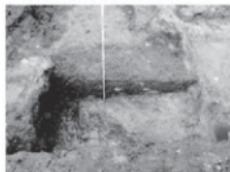
川原館遺跡FSK-08完掘・断面(E→)



川原館遺跡FSK-09・10完掘・断面(E→)



川原館遺跡FSK-11完掘(SE→)



川原館遺跡FSK-11断面(SE→)



川原館遺跡FSK-12完掘(SW→)

写真図版23 検出遺構(22)



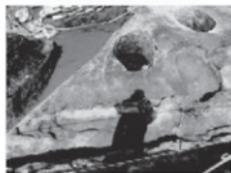
川原館遺跡FSK-12断面(SE→)



川原館遺跡FSK-13完掘(SW→)



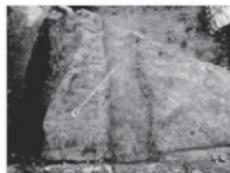
川原館遺跡FSK-13断面(NE→)



川原館遺跡SD-10①、11~16完掘(S→)



川原館遺跡SD-10②、17~20完掘(NW→)



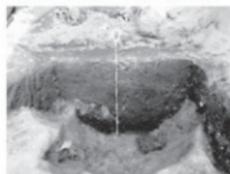
川原館遺跡SD-10③、18②、20②完掘(SE→)



川原館遺跡SD-10④、20③、22~26完掘(E→)



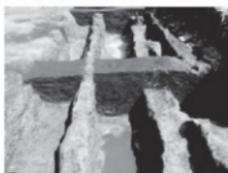
川原館遺跡SD-10①、18①、20①断面(SE→)



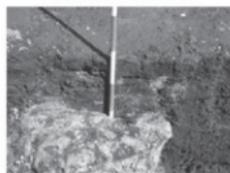
川原館遺跡SD-11断面(NW→)



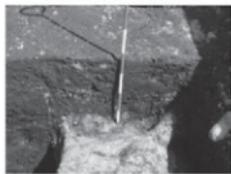
川原館遺跡SD-17断面(SE→)



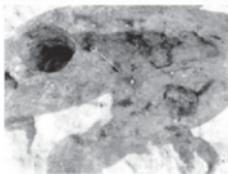
川原館遺跡SD-10②、20②、25・26断面(W→)



川原館遺跡SD-22断面(S→)



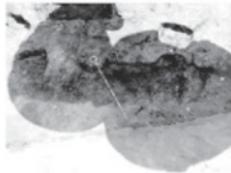
川原館遺跡SD-23断面(W→)



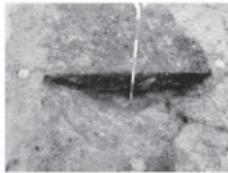
川原館遺跡SD-27完掘(SW→)



川原館遺跡SD-27断面(SE→)



川原館遺跡SD-28完掘(NE→)

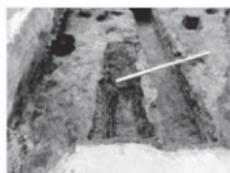


川原館遺跡SD-28断面(SW→)



川原館遺跡SD-10⑤、20④、29・30①完掘(NW→)

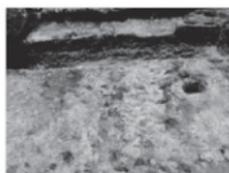
写真図版24 検出遺構(23)



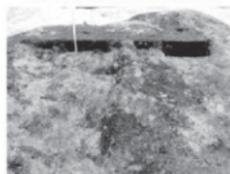
川原館遺跡SD-10(6)・30ㄊ完掘(E→)



川原館遺跡SD-30断面(SE→)



川原館遺跡SD-31完掘(NE→)



川原館遺跡SD-31・SP-95・96断面(N→)



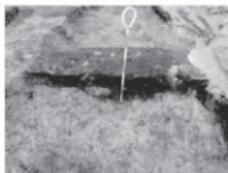
川原館遺跡SD-32完掘(SW→)



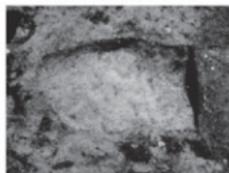
川原館遺跡SD-34完掘(SE→)



川原館遺跡SD-35完掘(SE→)



川原館遺跡SD-35断面(SE→)



川原館遺跡SD-36完掘(N→)



川原館遺跡SD-36断面(E→)



川原館遺跡SD-37・38ㄊ完掘(SW→)



川原館遺跡SD-37・38断面(SE→)



川原館遺跡SD-38ㄨ・39・40ㄊ・41~43完掘(NW→)



川原館遺跡SD-39断面(NE→)



川原館遺跡SD-40(ㄊ)・41・43断面(SE→)



川原館遺跡SD-40(2)・44・45ㄊ完掘(SW→)



川原館遺跡SD-44・40ㄨ断面(SE→)

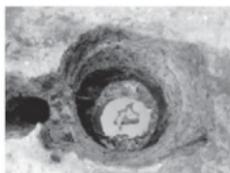


川原館遺跡SD-45ㄨ完掘(W→)

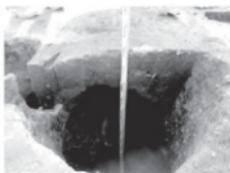
写真図版25 検出遺構(24)



川原館遺跡SD-45断面 (SE→)



川原館遺跡FSE-01完掘 (E→)



川原館遺跡FSE-01断面 (E→)



川原館遺跡FSE-03完掘 (W→)



川原館遺跡FSE-03断面 (W→)



川原館遺跡FSE-04完掘 (SE→)



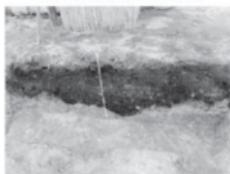
川原館遺跡FSE-04断面 (SE→)



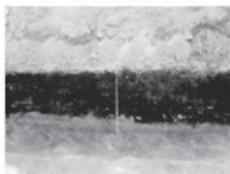
川原館遺跡G区全景① (S→)



川原館遺跡G区全景② (W→)



川原館遺跡G区基本帯序① (E→)



川原館遺跡G区基本帯序② (E→)



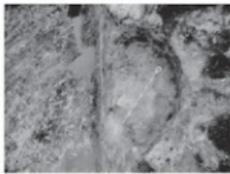
川原館遺跡GSI-01完掘 (E→)



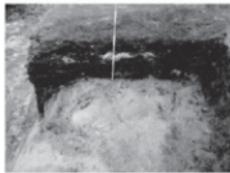
川原館遺跡GSI-01①断面 (W→)



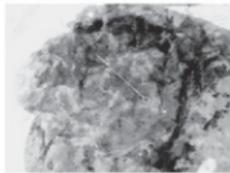
川原館遺跡GSI-01②断面 (W→)



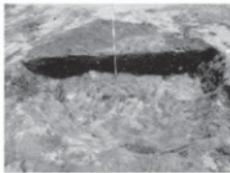
川原館遺跡GSK-01完掘 (SW→)



川原館遺跡GSK-01断面 (W→)

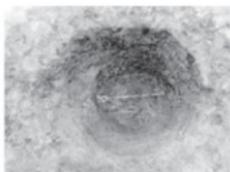


川原館遺跡GSK-02完掘 (W→)

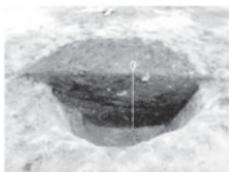


川原館遺跡GSK-02断面 (W→)

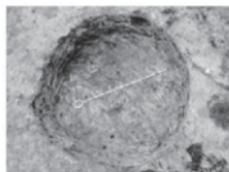
写真図版26 検出遺構 (25)



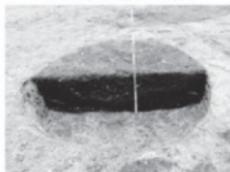
川原館遺跡GSK-03完掘(E→)



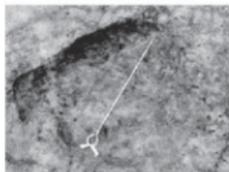
川原館遺跡GSK-03断面(E→)



川原館遺跡GSK-04完掘(E→)



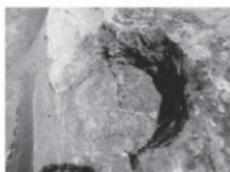
川原館遺跡GSK-04断面(E→)



川原館遺跡GSK-05、GSP-01完掘(SE→)



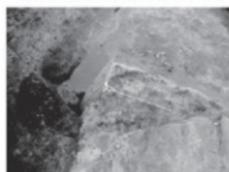
川原館遺跡GSK-05、GSP-01断面(SE→)



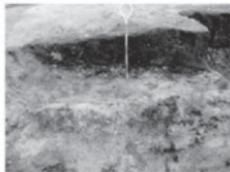
川原館遺跡GSK-06完掘(SW→)



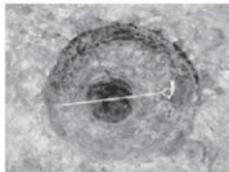
川原館遺跡GSK-06断面(NW→)



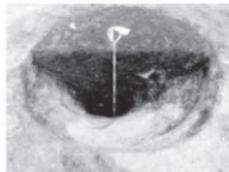
川原館遺跡GSK-07完掘(NE→)



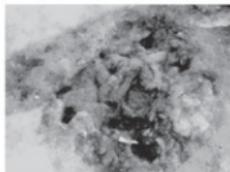
川原館遺跡GSK-07断面(W→)



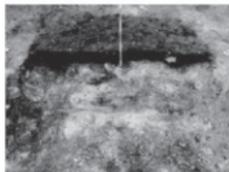
川原館遺跡GSK-08完掘(W→)



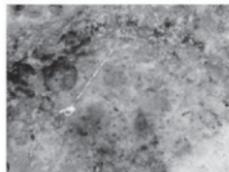
川原館遺跡GSK-08断面(W→)



川原館遺跡GSK-09完掘(N→)



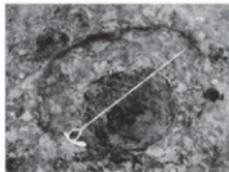
川原館遺跡GSK-09断面(NW→)



川原館遺跡GSK-10、GSP-04・05完掘(S→)



川原館遺跡GSK-10断面(E→)

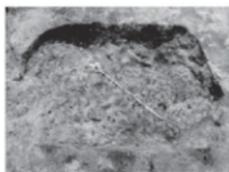


川原館遺跡GSK-11完掘(SE→)



川原館遺跡GSK-11断面(SE→)

写真図版27 検出遺構(26)



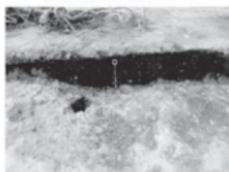
川原館遺跡GSK-12完掘(E→)



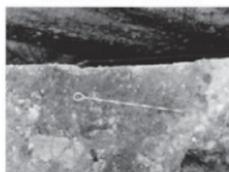
川原館遺跡GSK-12断面(E→)



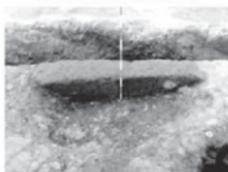
川原館遺跡GSK-13完掘(N→)



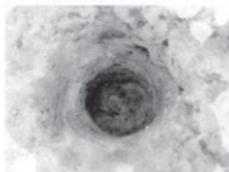
川原館遺跡GSK-13断面(E→)



川原館遺跡GSK-14完掘(E→)



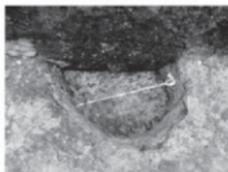
川原館遺跡GSK-14断面(E→)



川原館遺跡GSK-15完掘(E→)



川原館遺跡GSK-15断面(E→)



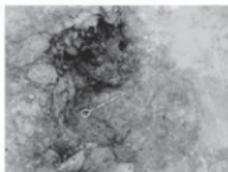
川原館遺跡GSK-16完掘(N→)



川原館遺跡GSK-16断面(N→)



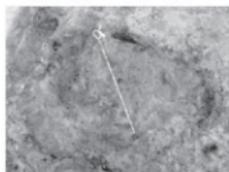
川原館遺跡GSK-17完掘・断面(N→)



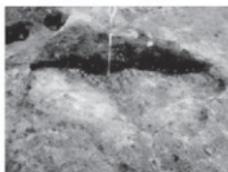
川原館遺跡GSK-18完掘(SE→)



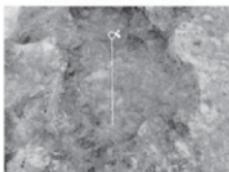
川原館遺跡GSK-18断面(S→)



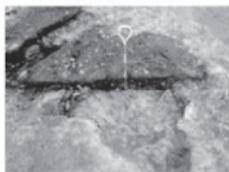
川原館遺跡GSK-19完掘(NE→)



川原館遺跡GSK-19断面(NE→)



川原館遺跡GSK-20完掘(N→)



川原館遺跡GSK-20断面(NE→)

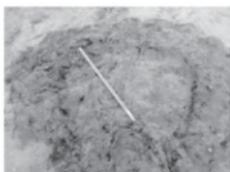


川原館遺跡GSK-21完掘(E→)

写真図版28 検出遺構(27)



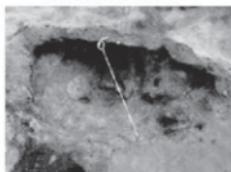
川原館遺跡GSK-21断面 (N→)



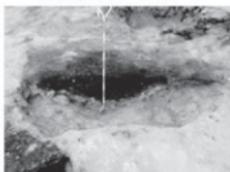
川原館遺跡GSK-22完掘 (S→)



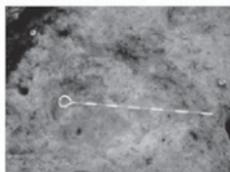
川原館遺跡GSK-22、SD-112・113断面 (SW→)



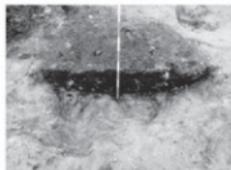
川原館遺跡GSK-24完掘 (NE→)



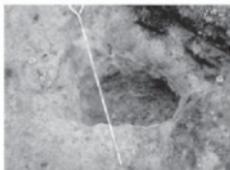
川原館遺跡GSK-24断面 (NE→)



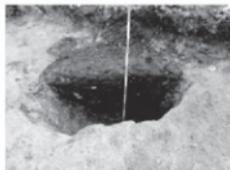
川原館遺跡GSK-25完掘 (E→)



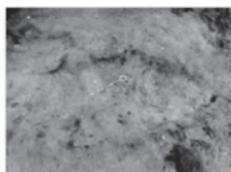
川原館遺跡GSK-25断面 (NE→)



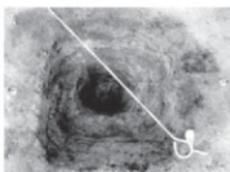
川原館遺跡GSK-26完掘 (N→)



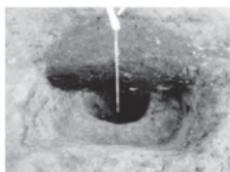
川原館遺跡GSK-26断面 (N→)



川原館遺跡GSK-27完掘 (NW→)



川原館遺跡GSK-28完掘 (SW→)



川原館遺跡GSK-28断面 (SW→)



川原館遺跡GSK-29・30完掘 (E→)



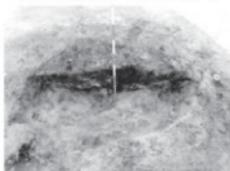
川原館遺跡GSK-29・30↑断面 (SE→)



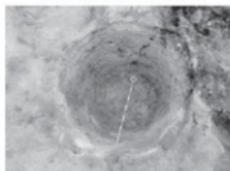
川原館遺跡GSK-30之断面 (W→)



川原館遺跡GSK-35完掘 (S→)

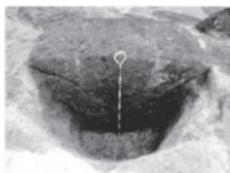


川原館遺跡GSK-35断面 (SE→)

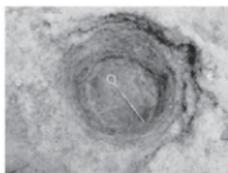


川原館遺跡GSK-36完掘 (NW→)

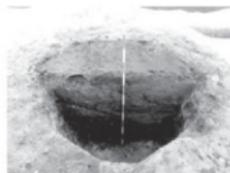
写真図版29 検出遺構 (28)



川原館遺跡GSK-36断面(N→)



川原館遺跡GSK-37断面(NE→)



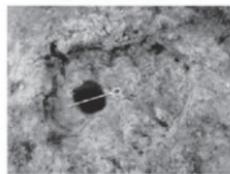
川原館遺跡GSK-37断面(E→)



川原館遺跡GSK-38完掘(N→)



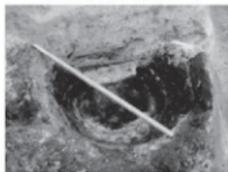
川原館遺跡GSK-38断面(NE→)



川原館遺跡GSK-39、GSP-337完掘(SW→)



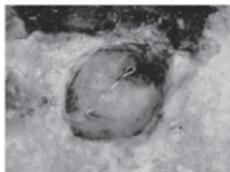
川原館遺跡GSK-39、GSP-337断面(SW→)



川原館遺跡GSK-40完掘(NE→)



川原館遺跡GSK-40断面(NE→)



川原館遺跡GSK-41完掘(NW→)



川原館遺跡GSK-42完掘(N→)



川原館遺跡GSK-42断面(N→)



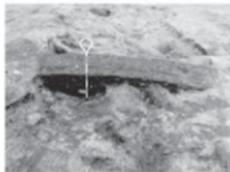
川原館遺跡GSK-43完掘(N→)



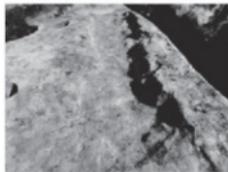
川原館遺跡GSK-43断面(N→)



川原館遺跡SD-97完掘(SW→)



川原館遺跡SD-97断面(SW→)



川原館遺跡SD-106完掘(NW→)

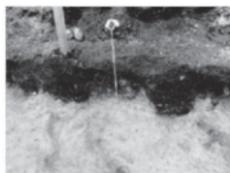


川原館遺跡SD-106断面(S→)

写真図版30 検出遺構(29)



川原館遺跡SD-107~109完掘(E→)



川原館遺跡SD-107・108断面(W→)



川原館遺跡SD-109断面(E→)



川原館遺跡SD-110完掘・断面(W→)



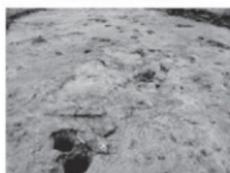
川原館遺跡SD-111完掘(NE→)



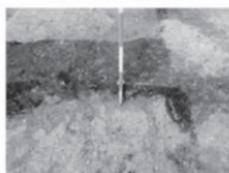
川原館遺跡SD-111断面(W→)



川原館遺跡SD-112・113完掘(NE→)



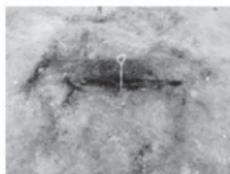
川原館遺跡SD-114完掘(N→)



川原館遺跡SD-114断面(SW→)



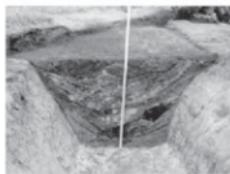
川原館遺跡SD-118完掘(E→)



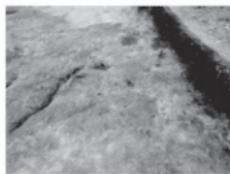
川原館遺跡SD-118断面(W→)



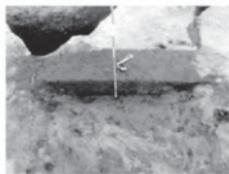
川原館遺跡SD-119完掘(NW→)



川原館遺跡SD-119之断面(SE→)



川原館遺跡SD-121完掘(NE→)



川原館遺跡SD-121断面(NW→)



川原館遺跡SD-122完掘(SE→)

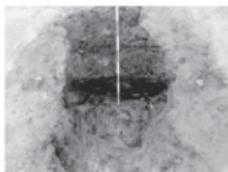


川原館遺跡SD-122断面(NW→)



川原館遺跡SD-123完掘(NW→)

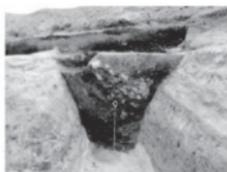
写真図版31 検出遺構(30)



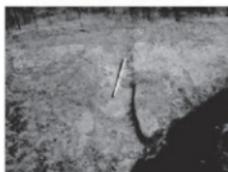
川原館遺跡SD-123断面(SE→)



川原館遺跡SD-124完掘(NE→)



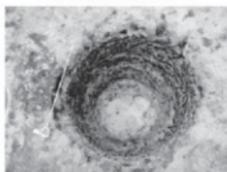
川原館遺跡SD-124断面(SW→)



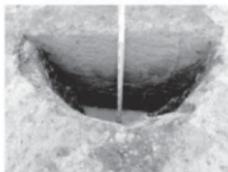
川原館遺跡SD-125完掘(N→)



川原館遺跡SD-125断面(S→)



川原館遺跡GSE-01完掘(S→)



川原館遺跡GSE-01断面(S→)



中道遺跡A区全景(N→)



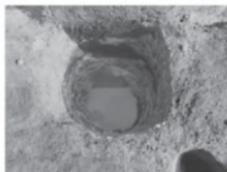
中道遺跡A区作業風景(N→)



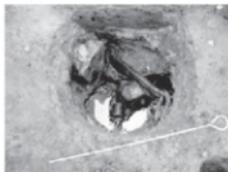
中道遺跡ASK-37、ASP-257・258完掘(W→)



中道遺跡ASK-37、ASP-258断面(N→)



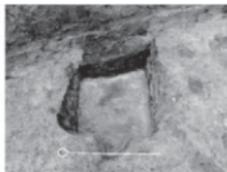
中道遺跡ASK-38完掘(W→)



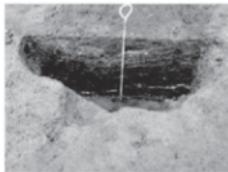
中道遺跡ASK-38遺物出土状況(W→)



中道遺跡ASK-38断面(W→)



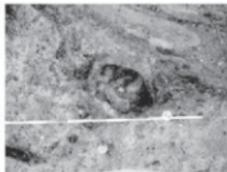
中道遺跡ASK-39完掘(E→)



中道遺跡ASK-39断面(E→)

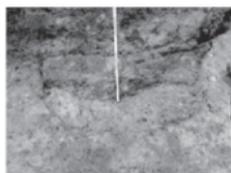


中道遺跡ASK-40完掘(E→)

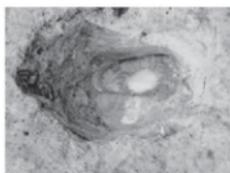


中道遺跡ASK-40遺物出土状況(E→)

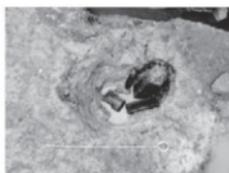
写真図版32 検出遺構(31)



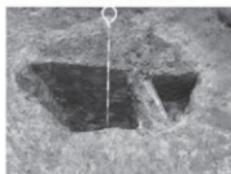
中道遺跡ASK-40断面 (SE→)



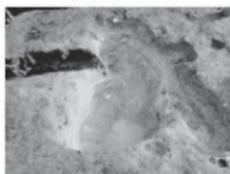
中道遺跡ASK-41完掘 (E→)



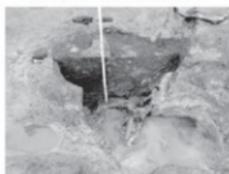
中道遺跡ASK-41遺物出土状況 (E→)



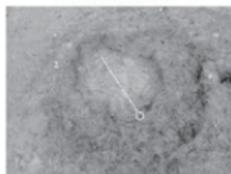
中道遺跡ASK-41断面 (E→)



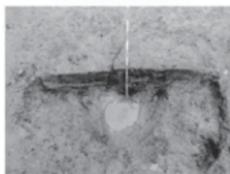
中道遺跡ASK-42完掘 (W→)



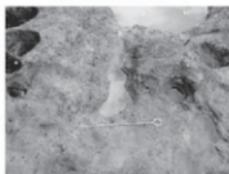
中道遺跡ASK-42断面 (S→)



中道遺跡ASK-43、ASP-418完掘 (S→)



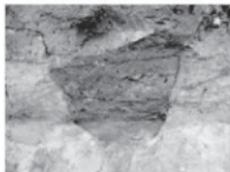
中道遺跡ASK-43、ASP-418断面 (SW→)



中道遺跡ASK-44完掘 (N→)



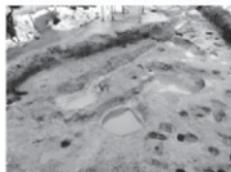
中道遺跡ASK-44、SD-01①・02断面 (N→)



中道遺跡ASK-47断面 (E→)



中道遺跡ASK-47完掘 (N→)



中道遺跡SD-01①・02、04完掘 (N→)



中道遺跡SD-01②、04断面 (N→)



中道遺跡SD-03完掘 (N→)



中道遺跡SD-03断面 (E→)

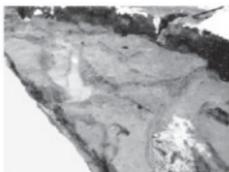


中道遺跡SD-01②、13・14完掘 (NE→)



中道遺跡SD-01③、13断面 (SW→)

写真図版33 検出遺構 (32)



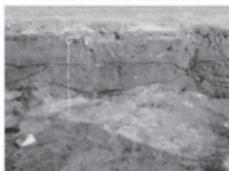
中道遺跡SD-15~20完掘 (SW→)



中道遺跡SD-15断面 (N→)



中道遺跡SD-16①・17①断面 (NE→)



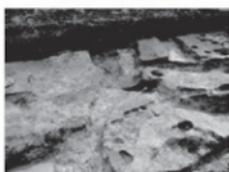
中道遺跡SD-18・19断面 (W→)



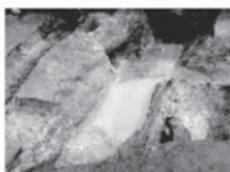
中道遺跡SD-20・16②・17②断面 (S→)



中道遺跡SD-27①・28①・30①~35完掘 (N→)



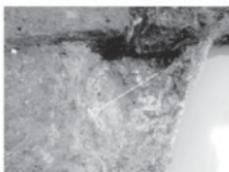
中道遺跡SD-27②~31②完掘 (W→)



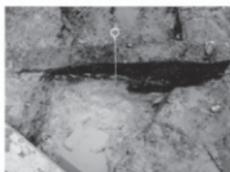
中道遺跡SD-27③完掘 (NW→)



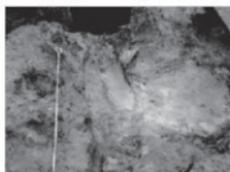
中道遺跡SD-27①断面 (W→)



中道遺跡SD-28③完掘 (E→)



中道遺跡SD-27②・28断面 (W→)



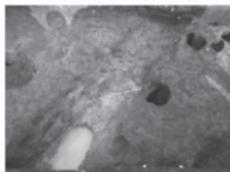
中道遺跡SD-29①完掘 (S→)



中道遺跡SD-29②完掘 (E→)



中道遺跡SD-29①・36①・38①断面 (E→)



中道遺跡SD-30③完掘 (W→)



中道遺跡SD-30遺物出土状況 (N→)



中道遺跡SD-30断面 (E→)



中道遺跡SD-31断面 (S→)

写真図版34 検出遺構 (33)



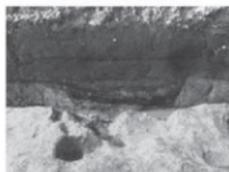
中道遺跡SD-32-2完掘(SE→)



中道遺跡SD-32・34-1断面(N→)



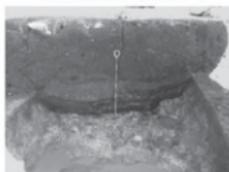
中道遺跡SD-34-2・33断面(S→)



中道遺跡SD-38-1完掘(E→)



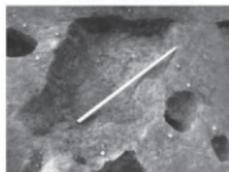
中道遺跡SD-38-2完掘(SE→)



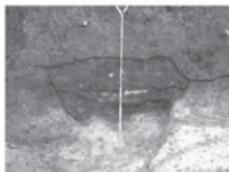
中道遺跡SD-38-2断面(NW→)



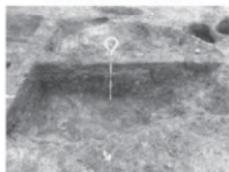
中道遺跡SD-45-1・44完掘(E→)



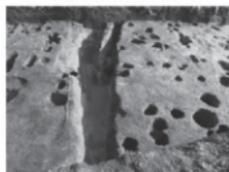
中道遺跡SD-45-2完掘(SE→)



中道遺跡SD-44断面(W→)



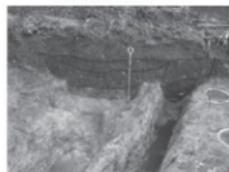
中道遺跡SD-45断面(SW→)



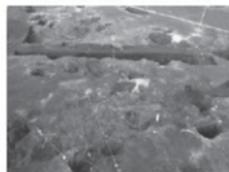
中道遺跡SD-46-1・47-1完掘(W→)



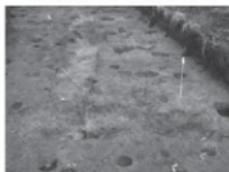
中道遺跡SD-46-2・47-2完掘(NE→)



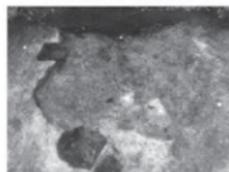
中道遺跡SD-46・47-1断面(W→)



中道遺跡SD-47-2断面(SW→)



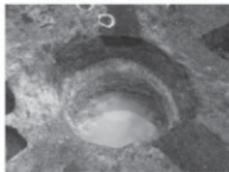
中道遺跡SD-52・53-1完掘(S→)



中道遺跡SD-53-2、BSP-109・110完掘(E→)

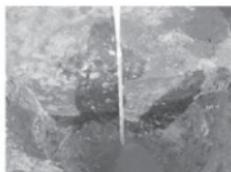


中道遺跡SD-52・53断面(W→)

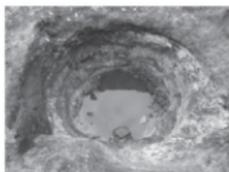


中道遺跡ASE-03完掘(S→)

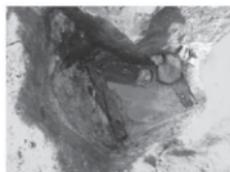
写真図版35 検出遺構(34)



中道道跡ASE-03断面 (SW→)



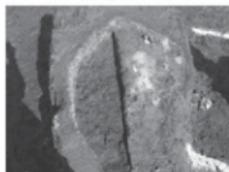
中道道跡ASE-04完掘 (E→)



中道道跡ASE-05遺物出土状況 (E→)



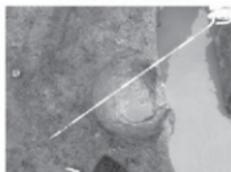
中道道跡ASE-05断面 (E→)



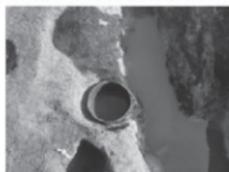
中道道跡ASN-02検土・炭化物確認状況 (S→)



中道道跡ASN-02断面 (W→)



中道道跡ASX-01完掘 (W→)



中道道跡ASX-01遺物出土状況 (W→)



中道道跡0区全景① (N→)



中道道跡0区全景② (S→)



中道道跡0区冠水状況 (NE→)



中道道跡0区基本層序 (SE→)



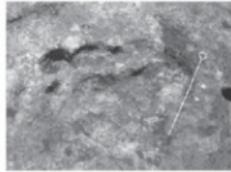
中道道跡BSK-01・BSP-40~42, 48, 81~84, 89・90, 99完掘 (S→)



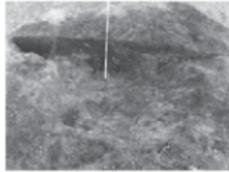
中道道跡BSK-01①、BSP-81・82、90断面 (S→)



中道道跡BSK-01②、BSP-83・84断面 (E→)



中道道跡BSK-02、BSP-77完掘 (N→)

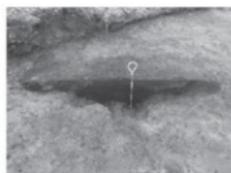


中道道跡BSK-02、BSP-77断面 (N→)

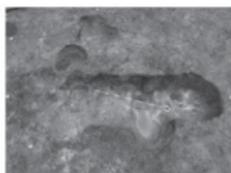


中道道跡BSK-05、BSP-153完掘 (N→)

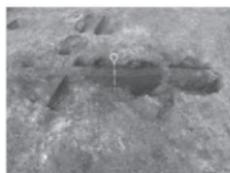
写真図版36 検出遺構 (35)



中道遺跡BSK-05、BSP-153断面(N→)



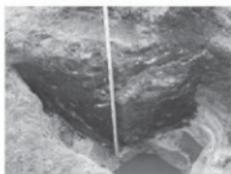
中道遺跡BSK-06、BSP-155~157完掘(W→)



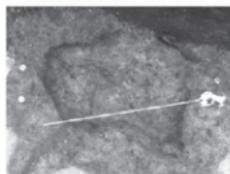
中道遺跡BSK-06、BSP-157断面(NW→)



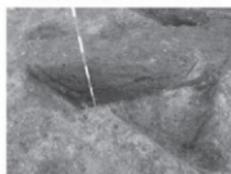
中道遺跡BSK-07、SD-66・67完掘(E→)



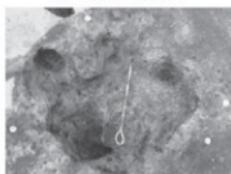
中道遺跡BSK-07断面(E→)



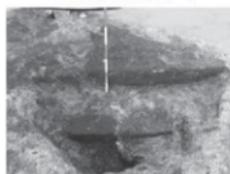
中道遺跡BSK-08完掘(W→)



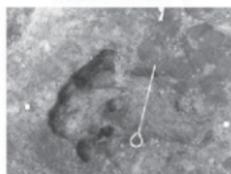
中道遺跡BSK-08断面(W→)



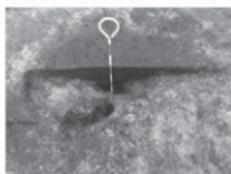
中道遺跡BSK-09、BSP-92、94・95完掘(S→)



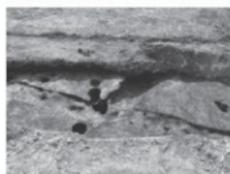
中道遺跡BSK-09、BSP-92、94・95断面(S→)



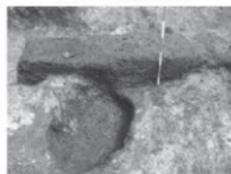
中道遺跡BSK-10完掘(S→)



中道遺跡BSK-10断面(S→)



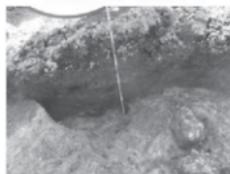
中道遺跡SD-50、51完掘(E→)



中道遺跡SD-50・51断面(SW→)



中道遺跡SD-54、BSP-27・28完掘(E→)



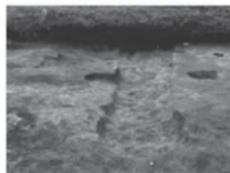
中道遺跡SD-54断面(NE→)



中道遺跡SD-55完掘(E→)



中道遺跡SD-55断面(E→)



中道遺跡SD-56、BSK-01完掘(E→)

写真図版37 検出遺構(36)



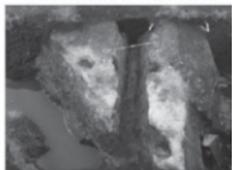
中道遺跡SD-56・BSX-01断面(E→)



中道遺跡SD-57完掘(E→)



中道遺跡SD-57断面(E→)



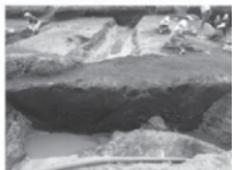
中道遺跡SD-58・59T完掘(E→)



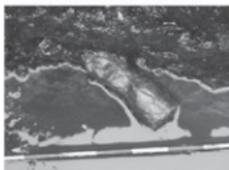
中道遺跡SD-59・58断面(SE→)



中道遺跡SD-59之・60T完掘・断面(E→)



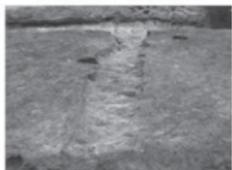
中道遺跡SD-61・60Z完掘(E→)



中道遺跡SD-61遺物出土状況(E→)



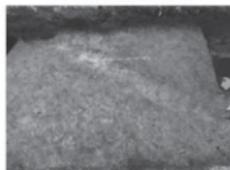
中道遺跡SD-61断面(E→)



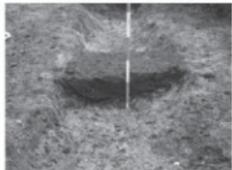
中道遺跡SD-62・BSP-158完掘(S→)



中道遺跡SD-62・BSP-158断面(SW→)



中道遺跡SD-63完掘(SW→)



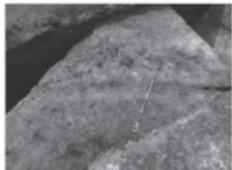
中道遺跡SD-63断面(S→)



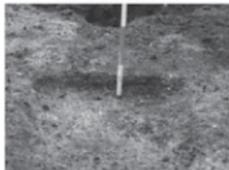
中道遺跡SD-64完掘(E→)



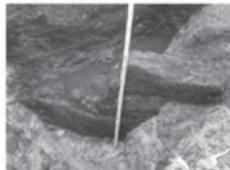
中道遺跡SD-64・67T断面(W→)



中道遺跡SD-65完掘(E→)



中道遺跡SD-65断面(NE→)

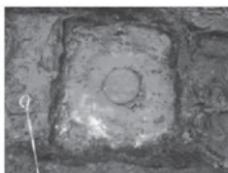


中道遺跡SD-66・67Z断面(S→)

写真図版38 検出遺構(37)



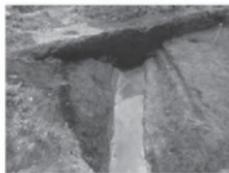
中道遺跡SD-68完掘 (E→)



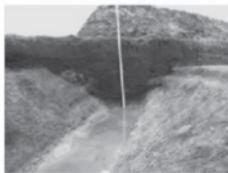
中道遺跡SD-68木製品出土状況 (N→)



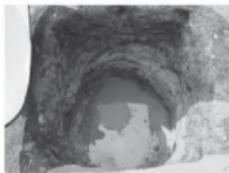
中道遺跡SD-68断面 (E→)



中道遺跡SD-69完掘 (S→)



中道遺跡SD-69断面 (S→)



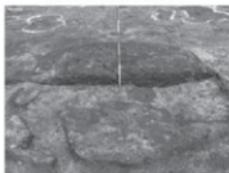
中道遺跡BSE-01完掘 (S→)



中道遺跡BSE-01断面 (E→)



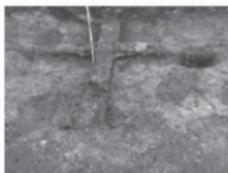
中道遺跡BSN-01焼土・灰検出状況 (S→)



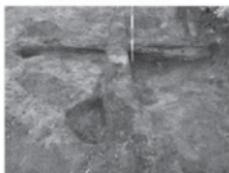
中道遺跡BSN-01断面 (SW→)



中道遺跡BSN-02焼土・炭化物検出状況 (E→)



中道遺跡BSN-02①、BSP-49断面 (S→)



中道遺跡BSN-02②断面 (S→)



中道遺跡C区全景① (S→)



中道遺跡C区全景② (N→)



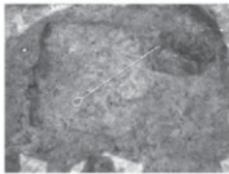
中道遺跡C区基本階序 (S→)



中道遺跡CSK-01、CSP-124完掘 (N→)

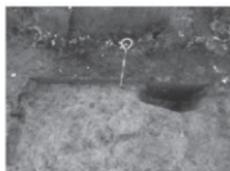


中道遺跡CSK-01断面 (NE→)

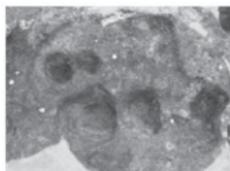


中道遺跡CSK-02、CSP-125完掘 (E→)

写真図版39 検出遺構 (38)



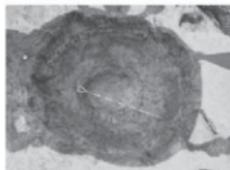
中道遺跡CSK-02、CSP-125断面(E→)



中道遺跡CSK-04、CSP-127~129、174・175完掘(NW→)



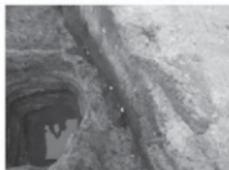
中道遺跡CSK-04、CSP-127断面(W→)



中道遺跡CSK-07、CSP-364完掘(E→)



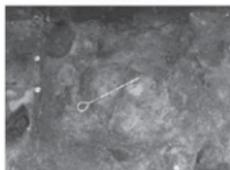
中道遺跡CSK-07断面(N→)



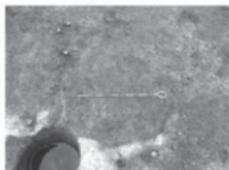
中道遺跡CSK-10完掘(W→)



中道遺跡CSK-10、CSE-03断面(S→)



中道遺跡CSK-11完掘(E→)



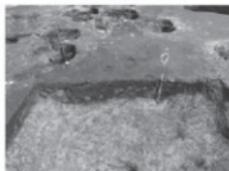
中道遺跡CSK-12完掘(W→)



中道遺跡CSK-13、SD-09完掘(W→)



中道遺跡CSK-12、SD-10、CSK-13断面(W→)



中道遺跡CSK-13之、SD-09断面(N→)



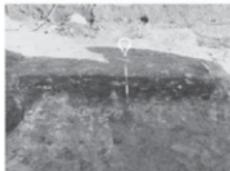
中道遺跡CSK-16、CSP-243、349完掘(E→)



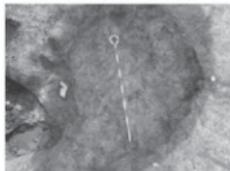
中道遺跡CSK-16、CSP-349断面(SE→)



中道遺跡CSK-17完掘(SE→)



中道遺跡CSK-17断面(NW→)

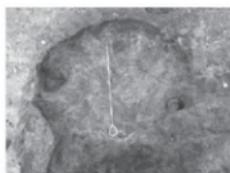


中道遺跡CSK-19完掘(N→)



中道遺跡CSK-19断面(N→)

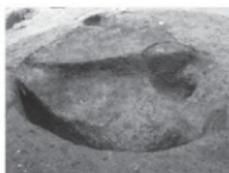
写真図版40 検出遺構(39)



中道遺跡CSK-20完掘 (S→)



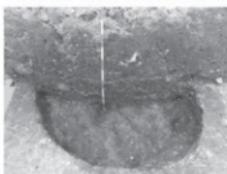
中道遺跡CSK-22、CSP-274、344完掘 (E→)



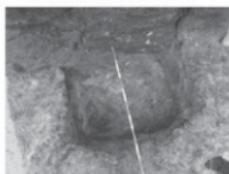
中道遺跡CSK-22、CSP-344断面 (E→)



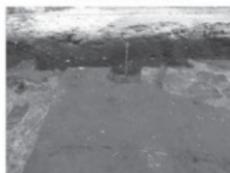
中道遺跡CSK-24完掘 (E→)



中道遺跡CSK-24断面 (E→)



中道遺跡CSK-26完掘 (S→)



中道遺跡CSK-26、SD-06①・07①断面 (S→)



中道遺跡SD-05完掘 (S→)



中道遺跡SD-06完掘 (SE→)



中道遺跡SD-05・06②断面 (SW→)



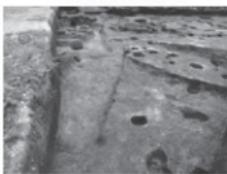
中道遺跡SD-07完掘 (S→)



中道遺跡SD-07遺物出土状況 (S→)



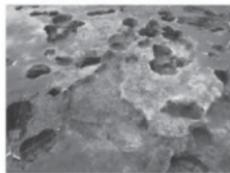
中道遺跡SD-07②・08①断面 (NW→)



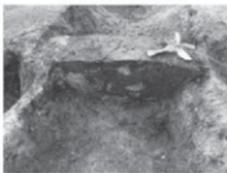
中道遺跡SD-08完掘 (W→)



中道遺跡SD-08②・12断面 (NW→)



中道遺跡SD-09②完掘 (E→)



中道遺跡SD-09②断面 (E→)



中道遺跡SD-10完掘 (S→)

写真図版41 検出遺構 (40)



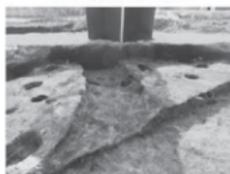
中道道跡SD-10 2断面 (N→)



中道道跡SD-11 完掘 (E→)



中道道跡SD-11断面 (E→)



中道道跡SD-12 完掘 (E→)

中道道跡SD-21、CSP-289~293、
296~298、338 完掘 (NE→)

中道道跡SD-21断面 (N→)



中道道跡SD-22(1)・23 完掘 (S→)



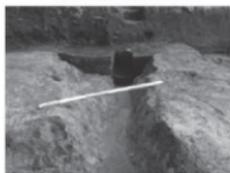
中道道跡SD-22.2 完掘 (E→)



中道道跡SD-22断面 (NW→)



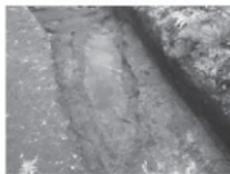
中道道跡SD-23断面 (NW→)



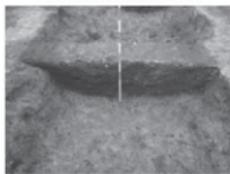
中道道跡SD-36、29.3 完掘 (W→)



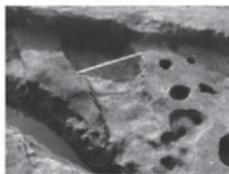
中道道跡SD-36.2、29.2 断面 (NW→)



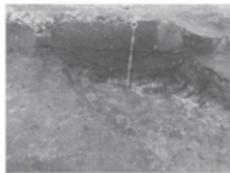
中道道跡SD-39 完掘 (SW→)



中道道跡SD-39断面 (S→)



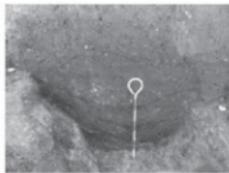
中道道跡SD-40、34.2 完掘 (E→)



中道道跡SD-40断面 (E→)



中道道跡SD-41・42、46.3 完掘 (SW→)

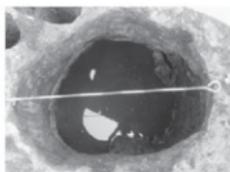


中道道跡SD-41断面 (E→)

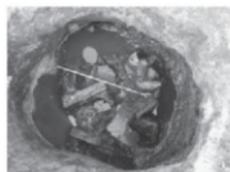
写真図版42 検出遺構 (41)



中道遺跡SD-42断面(E→)



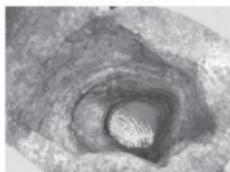
中道遺跡CSE-01完掘(N→)



中道遺跡CSE-01遺物出土状況(SW→)



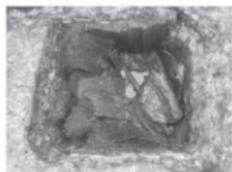
中道遺跡CSE-01断面(N→)



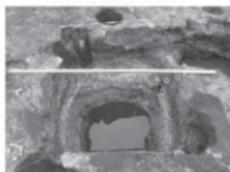
中道遺跡CSE-02完掘(N→)



中道遺跡CSE-03完掘(NW→)



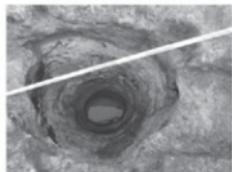
中道遺跡CSE-03遺物出土状況(E→)



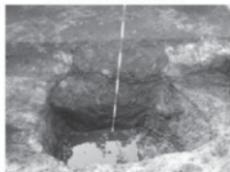
中道遺跡CSE-04完掘(N→)



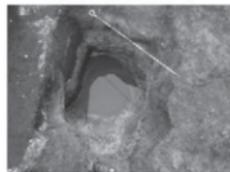
中道遺跡CSE-04断面(SE→)



中道遺跡CSE-06完掘(N→)



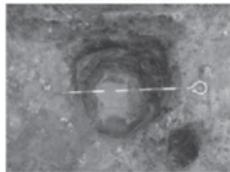
中道遺跡CSE-06断面(SE→)



中道遺跡CSE-07完掘(N→)



中道遺跡CSE-07断面(N→)



中道遺跡CSX-01完掘(N→)



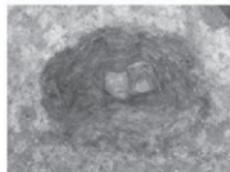
中道遺跡CSX-01断面・遺物出土状況(N→)



中道遺跡0区全景①(N→)



中道遺跡0区全景②(S→)

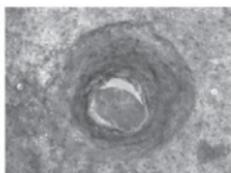


中道遺跡0SK-01完掘(SE→)

写真図版43 検出遺構 (42)



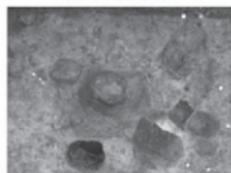
中道遺跡DSK-01断面 (NW→)



中道遺跡DSK-02完掘 (S→)



中道遺跡DSK-02断面 (S→)



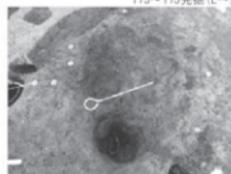
中道遺跡DSK-03、DSP-58~60、128・129、173~175完掘 (E→)



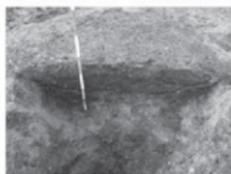
中道遺跡DSK-03、DSP-176、128断面 (SE→)



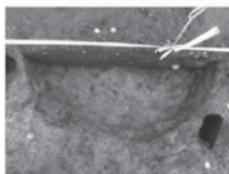
中道遺跡DSK-04、DSP-153完掘・断面 (南→)



中道遺跡DSK-05完掘 (E→)



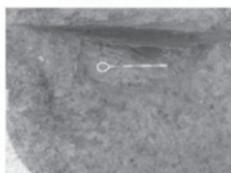
中道遺跡DSK-05断面 (E→)



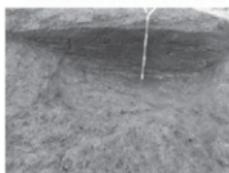
中道遺跡DSK-06、DSP-143完掘 (南→)



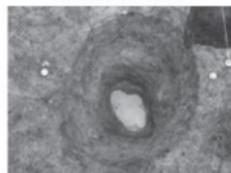
中道遺跡DSK-06断面 (南→)



中道遺跡DSK-07完掘 (E→)



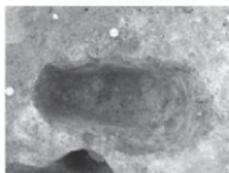
中道遺跡DSK-07断面 (E→)



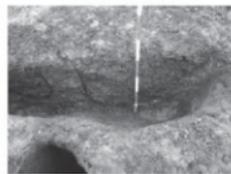
中道遺跡DSK-08完掘 (E→)



中道遺跡DSK-08断面 (SE→)



中道遺跡DSK-09完掘 (S→)



中道遺跡DSK-09断面 (SE→)

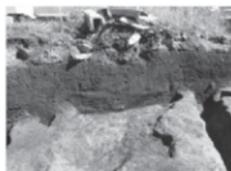


中道遺跡DSK-11完掘 (S→)

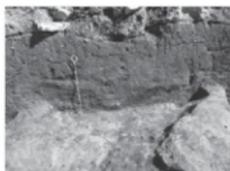


中道遺跡DSK-11断面 (E→)

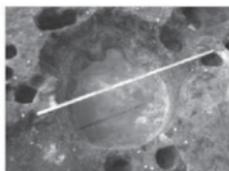
写真図版44 検出遺構 (43)



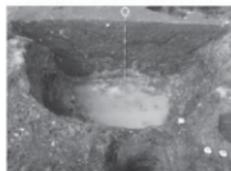
中道遺跡SD-24、DSK-12完掘(NW→)



中道遺跡SD-24、DSK-12断面(SW→)



中道遺跡DSK-13完掘(SE→)



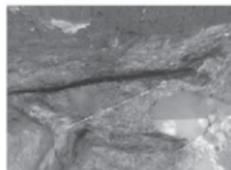
中道遺跡DSK-13断面(E→)



中道遺跡DSK-14完掘(W→)



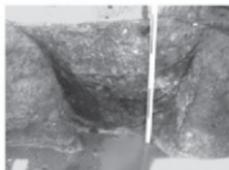
中道遺跡DSK-14断面(W→)



中道遺跡SD-25(1)、DSP-20完掘(W→)



中道遺跡SD-25(2)完掘(W→)



中道遺跡SD-25断面(SW→)



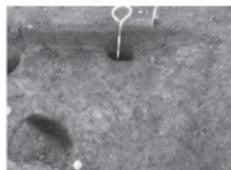
中道遺跡SD-26完掘(W→)



中道遺跡SD-26断面(W→)



中道遺跡SD-43完掘(W→)



中道遺跡SD-43断面(W→)



中道遺跡SD-48断面(SW→)



中道遺跡SD-48断面(E→)



中道遺跡SD-49完掘(N→)

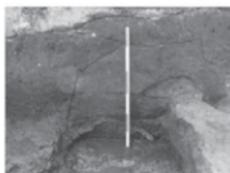


中道遺跡SD-49断面(N→)



中道遺跡DSE-03完掘(W→)

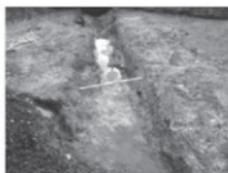
写真図版45 検出遺構(44)



中道道跡05E-03断面(N→)



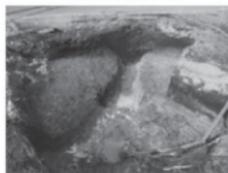
中道道跡E区全景(S→)



中道道跡SD-70完掘(E→)



中道道跡SD-70断面(E→)



中道道跡SD-71完掘(S→)



中道道跡SD-71断面(S→)



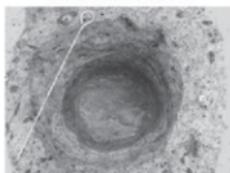
東早稲田道跡全景①(E→)



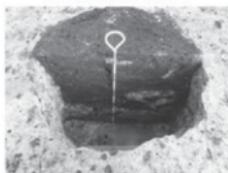
東早稲田道跡全景②(NW→)



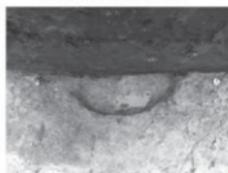
東早稲田道跡基本帯序(N→)



東早稲田道跡SK-13完掘(N→)



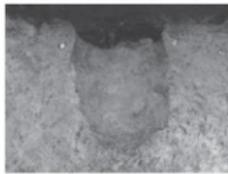
東早稲田道跡SK-13断面(N→)



東早稲田道跡SK-15完掘(N→)



東早稲田道跡SK-15断面(N→)



東早稲田道跡SK-16完掘(S→)



東早稲田道跡SK-16断面(S→)



東早稲田道跡SD-09完掘(N→)

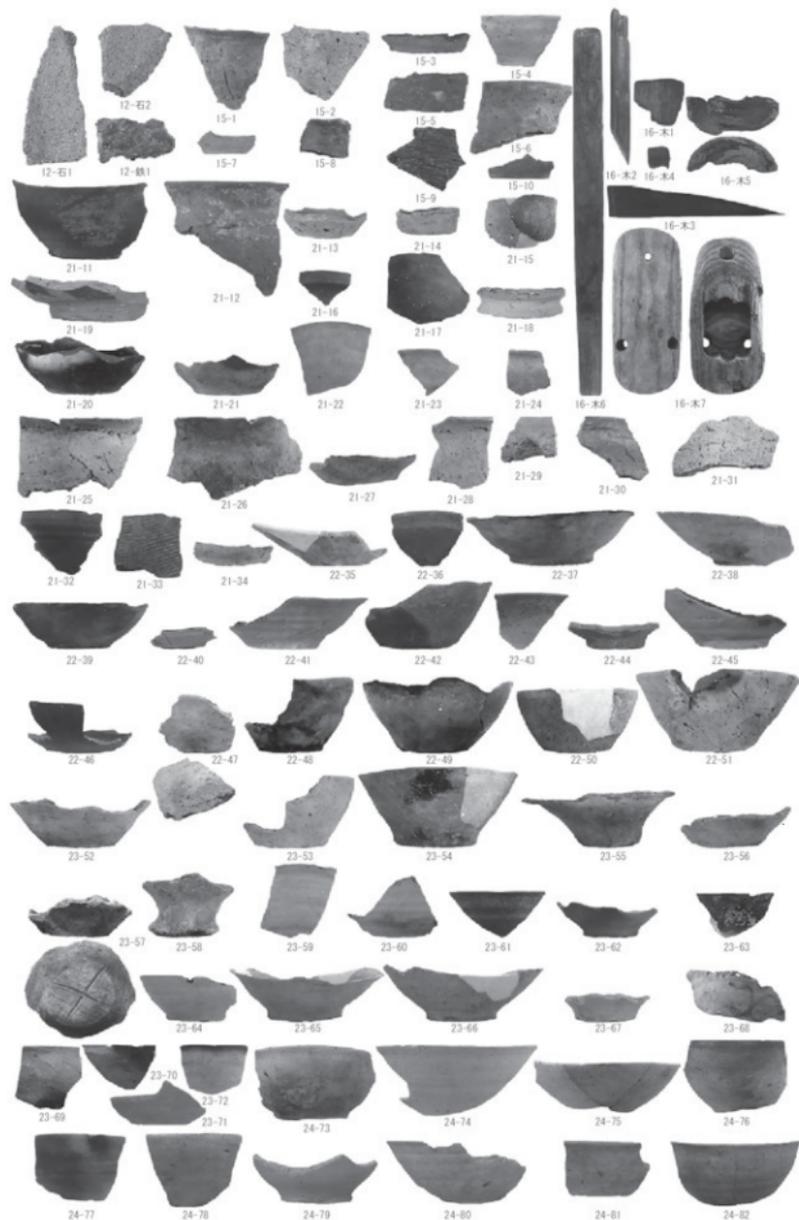


東早稲田道跡SD-09B-Tn火山灰状況(NW→)

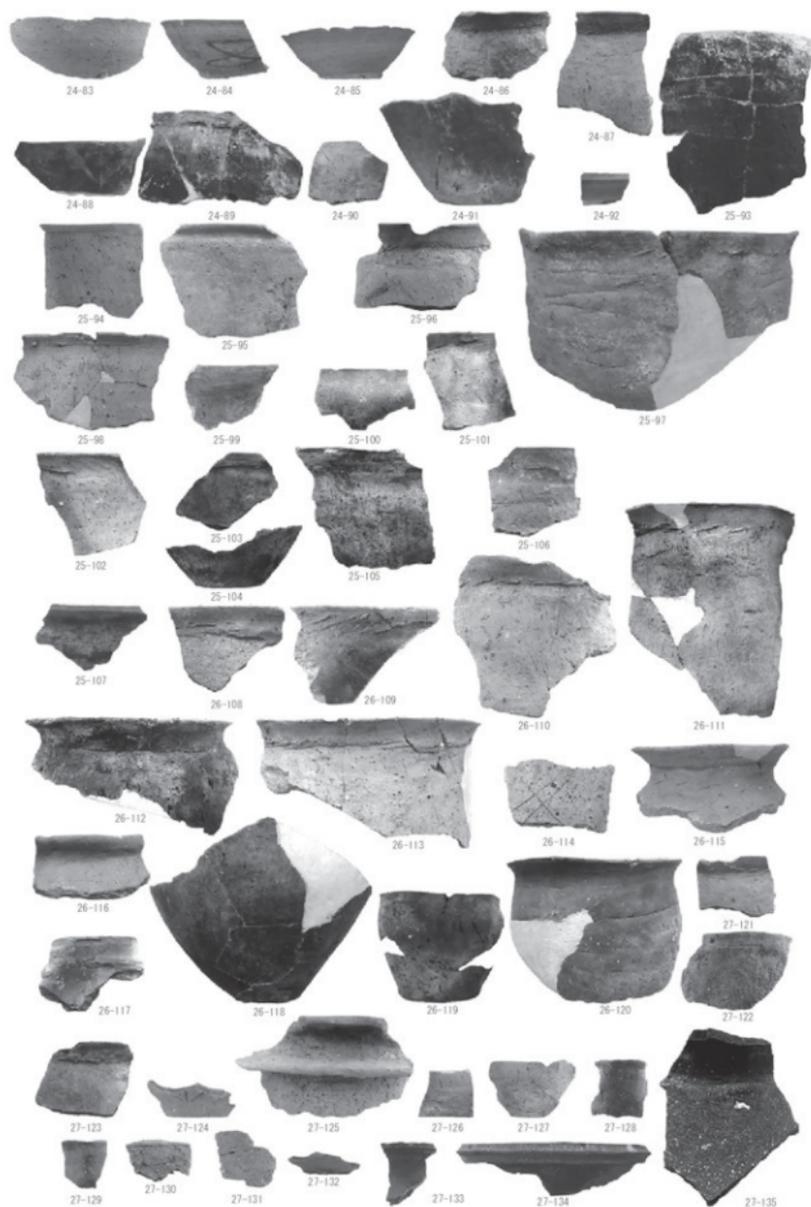


東早稲田道跡SD-09断面(NW→)

写真図版46 検出遺構(45)



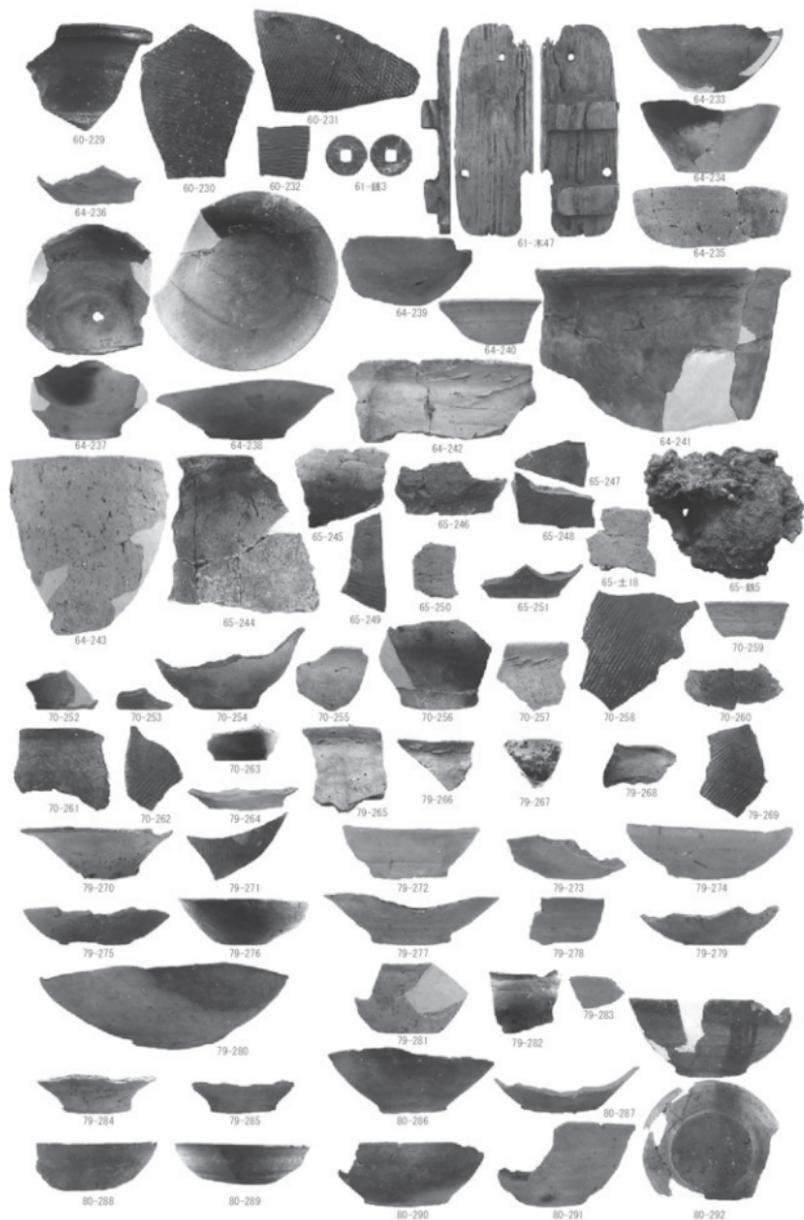
写真図版47 川原館遺跡出土遺物 1



写真図版48 川原館遺跡出土遺物2



写真図版49 川原館遺跡出土遺物 3



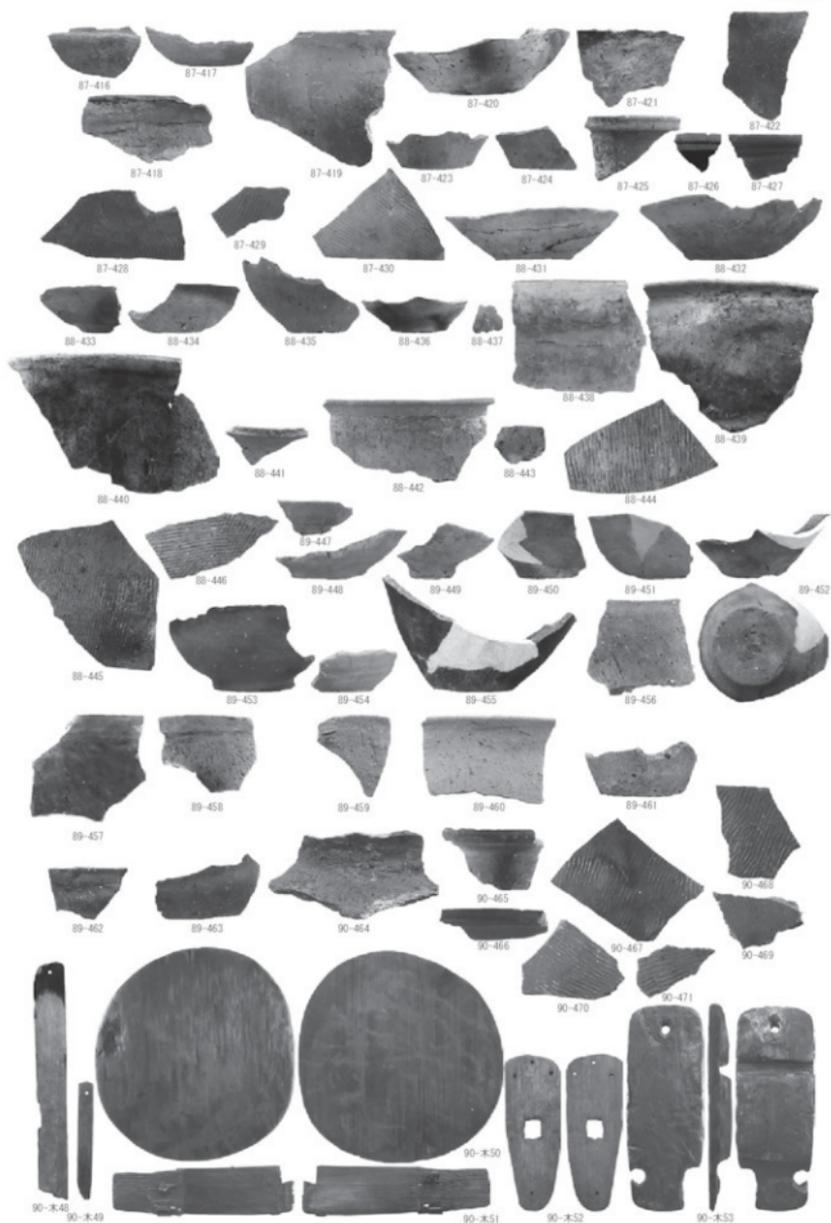
写真図版51 川原館遺跡出土遺物5



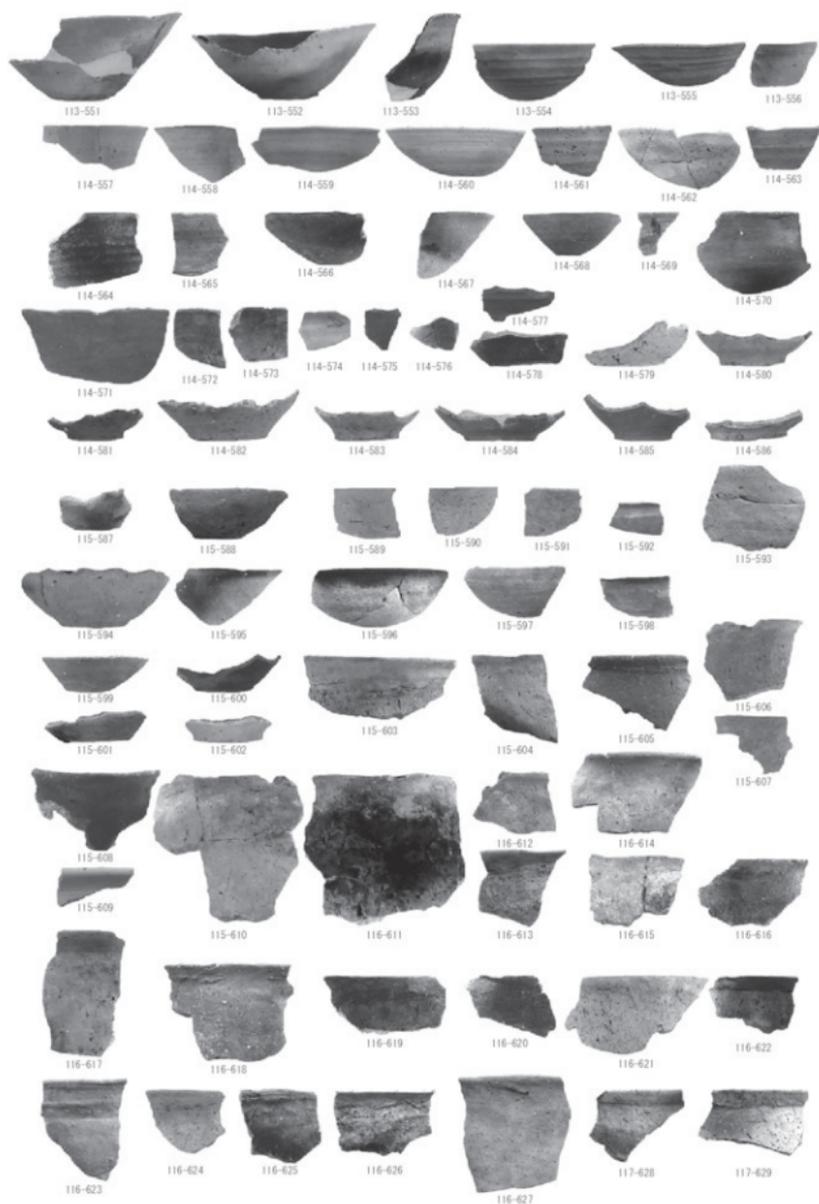
写真図版52 川原館遺跡出土遺物6



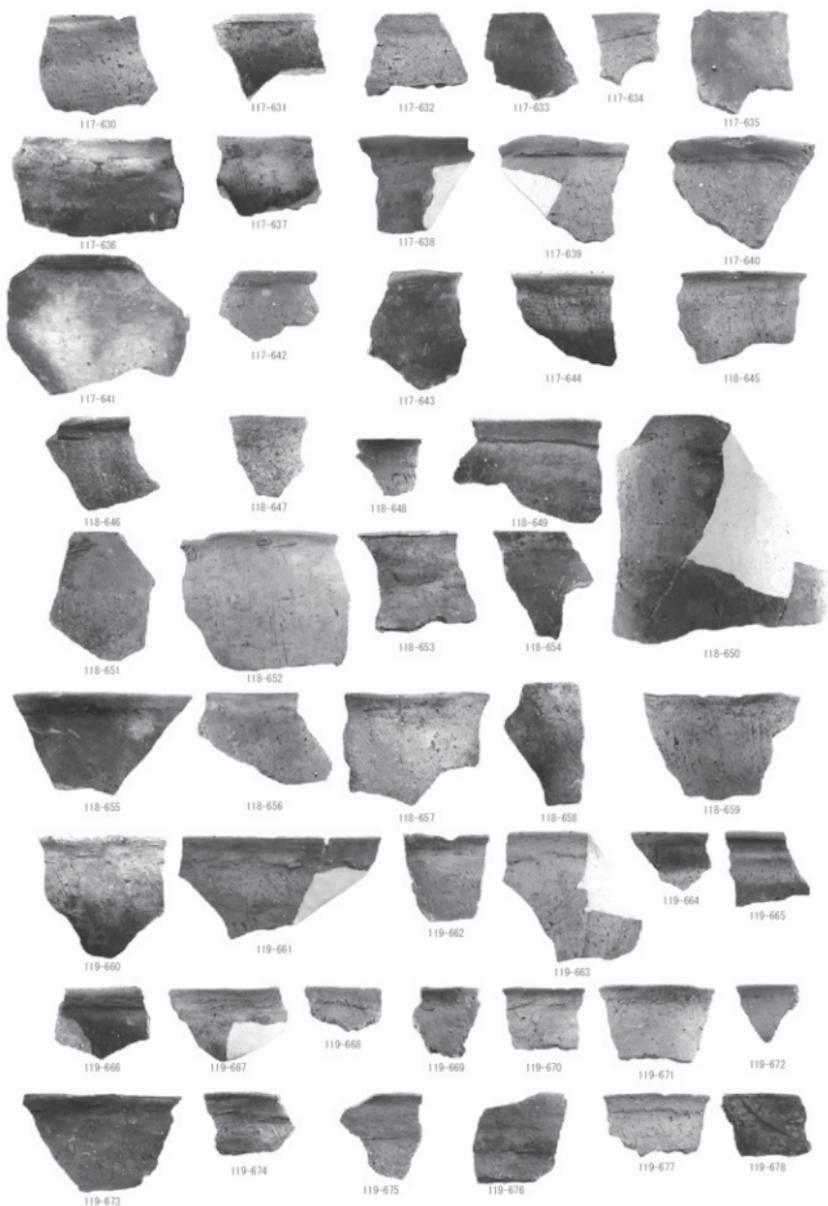
写真図版53 川原館遺跡出土遺物7



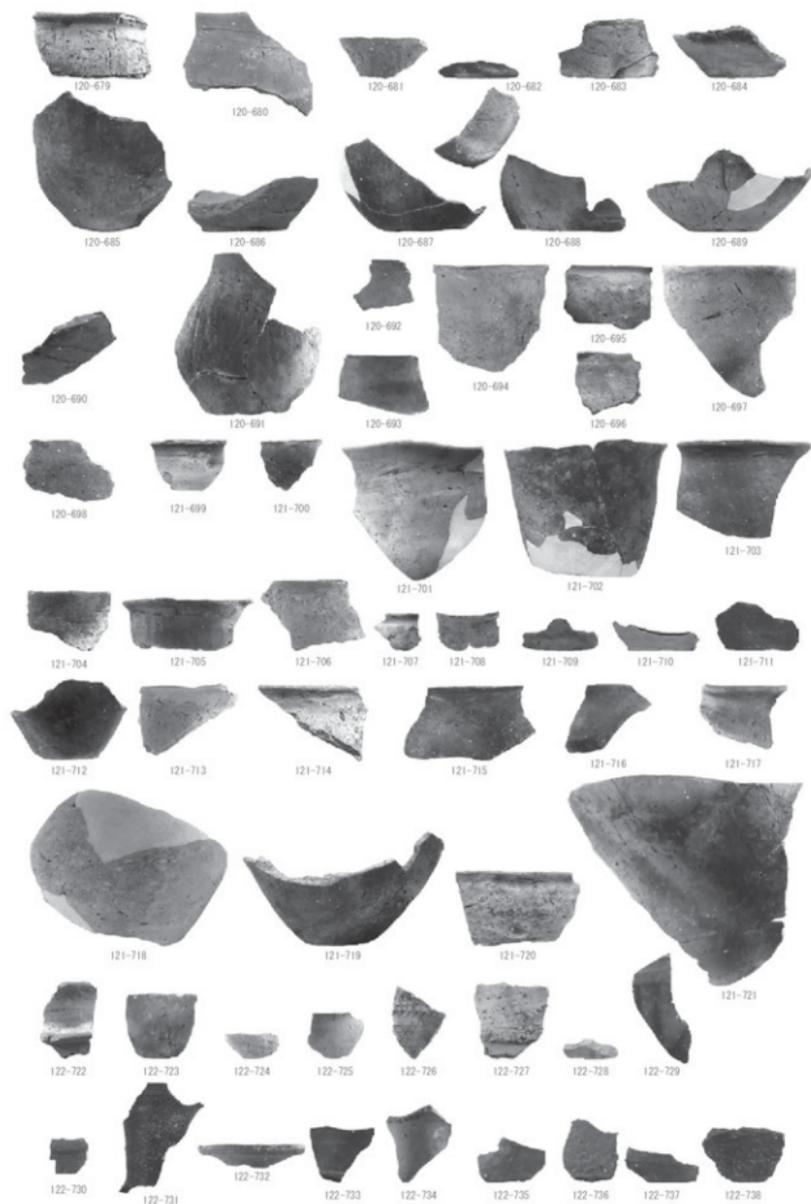
写真図版54 川原館遺跡出土遺物8



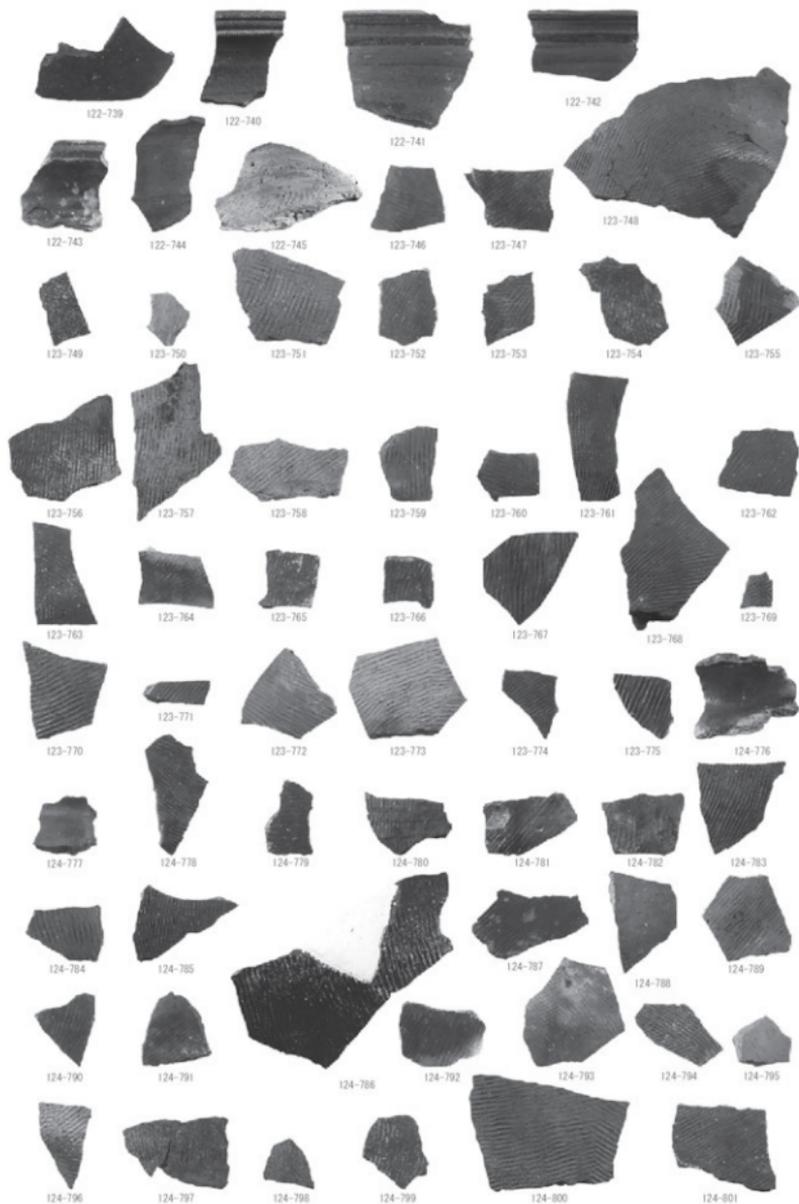
写真図版56 川原館遺跡出土遺物10



写真図版57 川原館遺跡出土遺物11



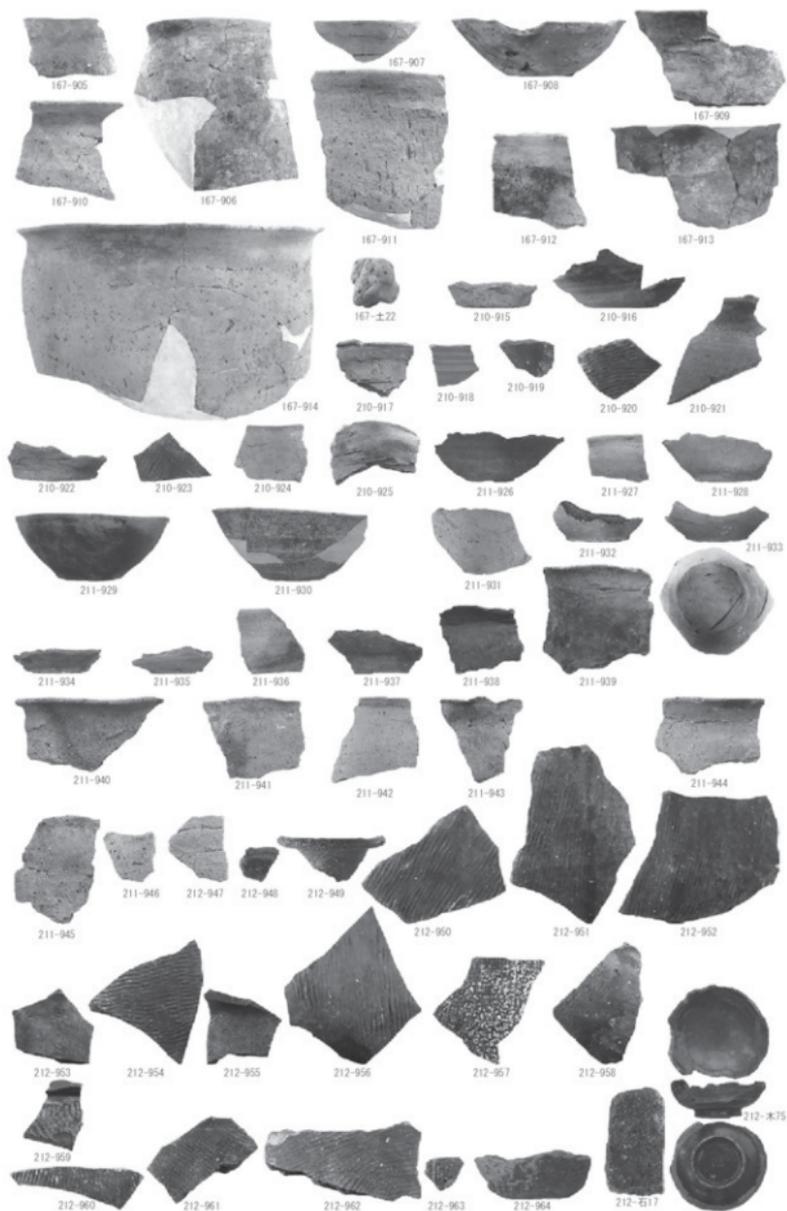
写真図版58 川原館遺跡出土遺物 12



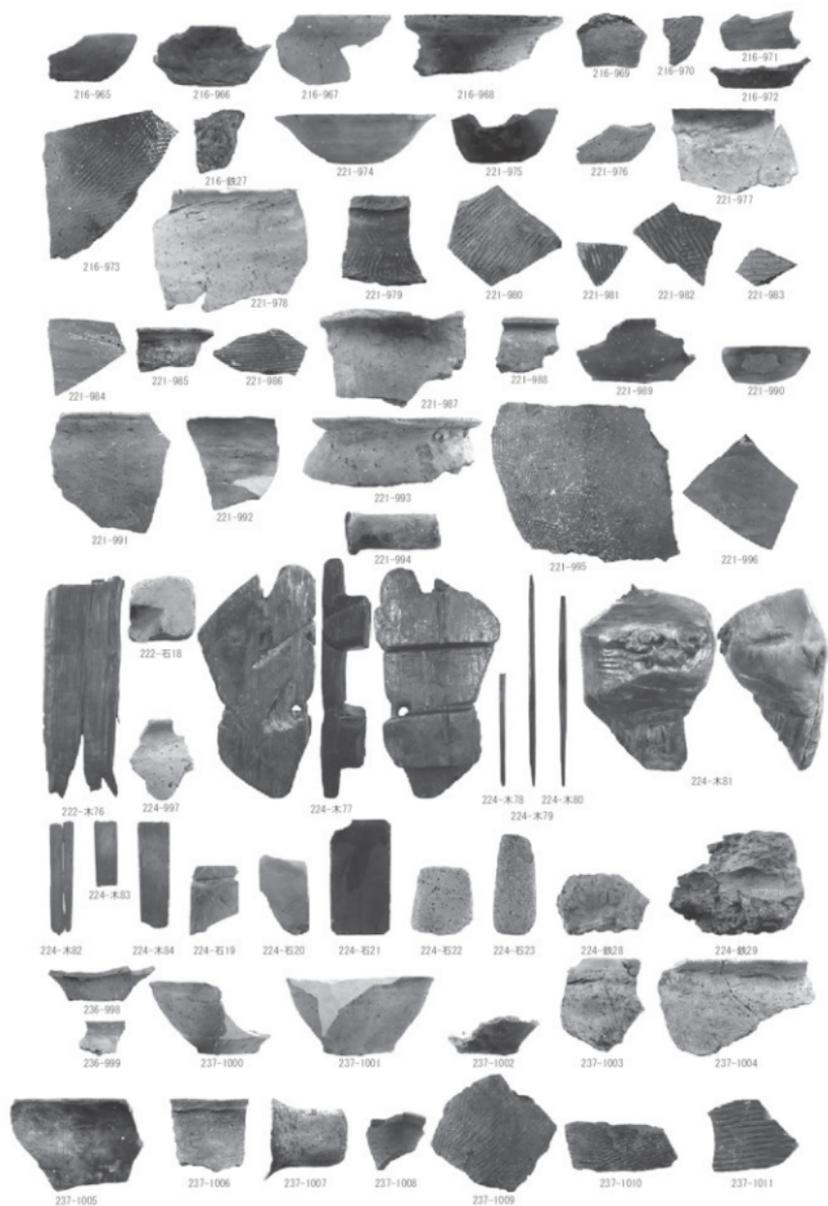
写真図版59 川原館遺跡出土遺物13



写真図版60 川原館遺跡出土遺物 14



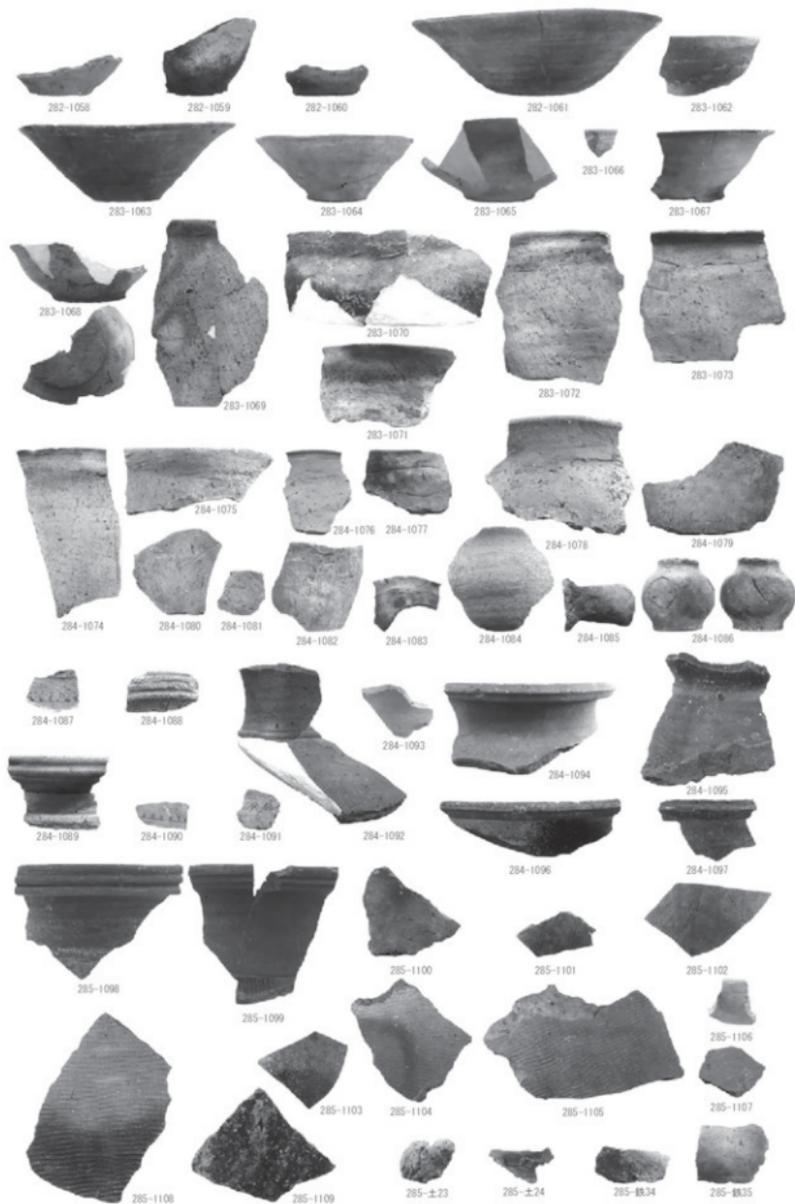
写真図版62 川原館遺跡出土遺物



写真図版3 川原館遺跡出土遺物 17



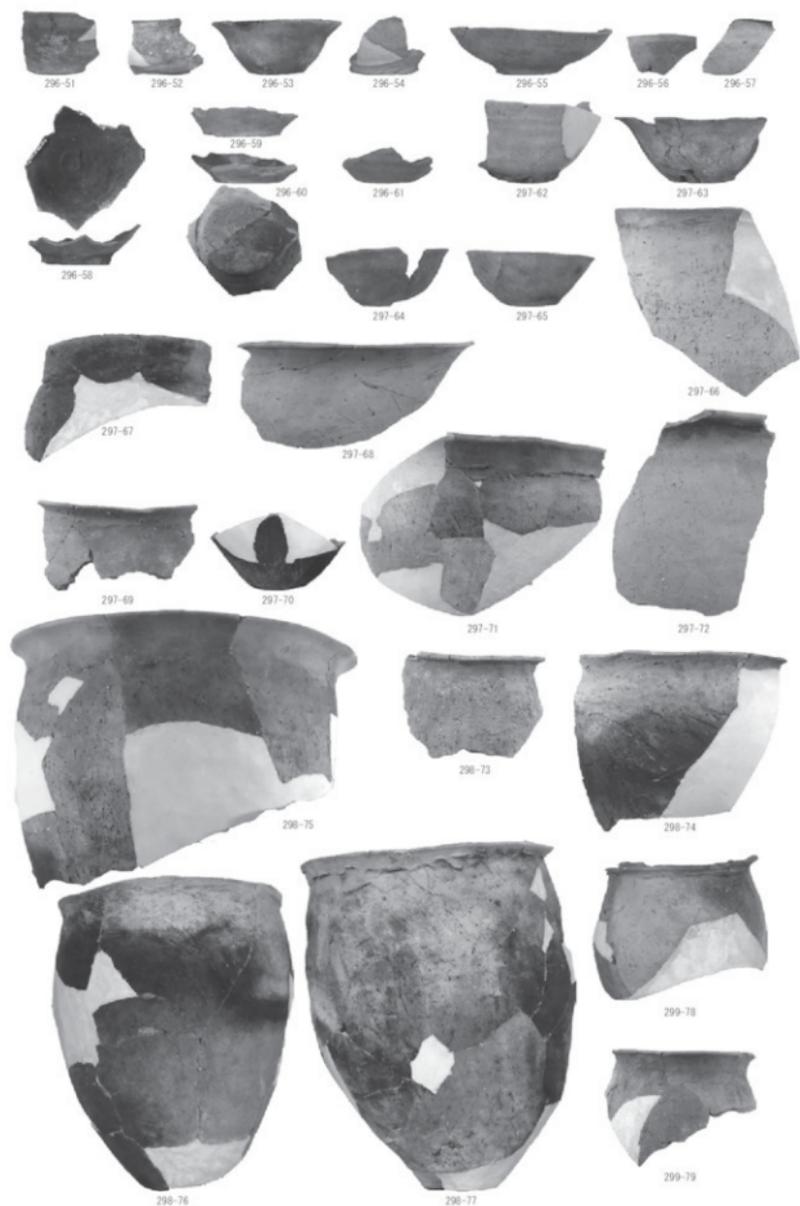
写真図版64 川原館遺跡出土遺物 18



写真図版65 川原館遺跡出土遺物 19



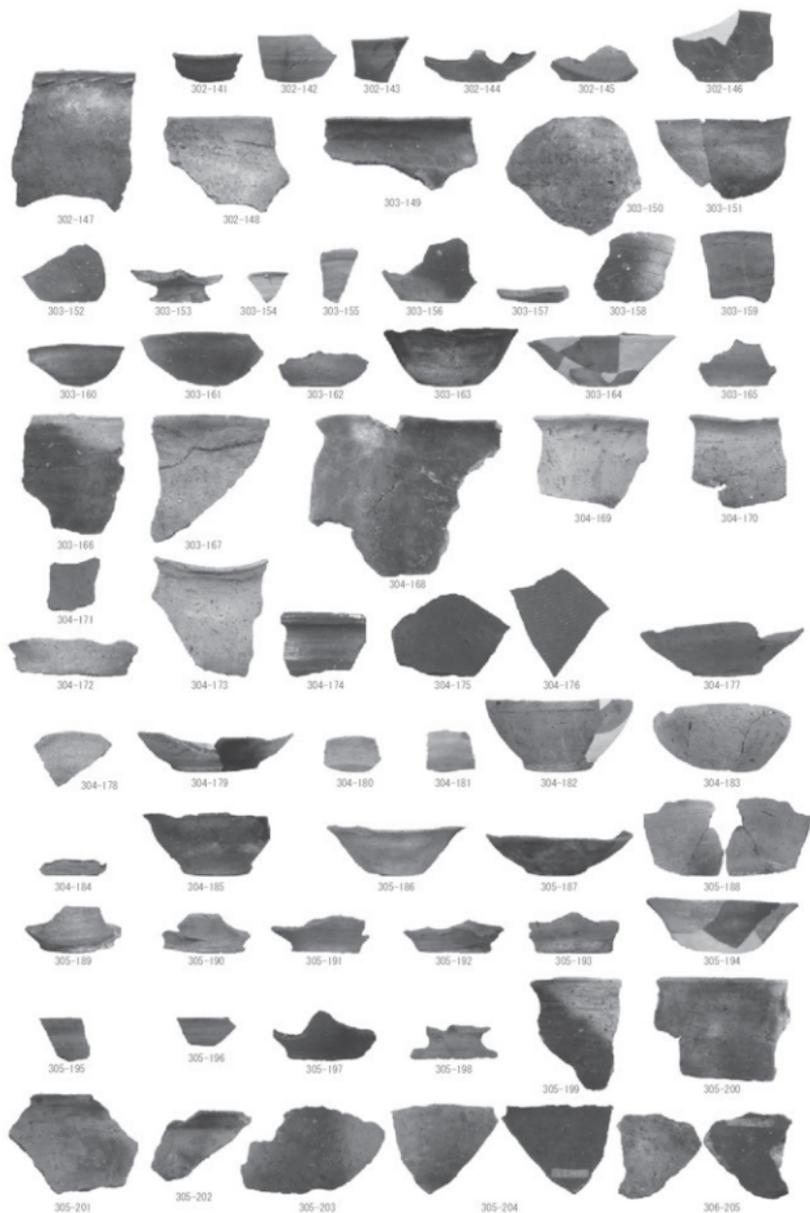
写真図版66 中道遺跡出土遺物 1



写真図版67 中道遺跡出土遺物 2



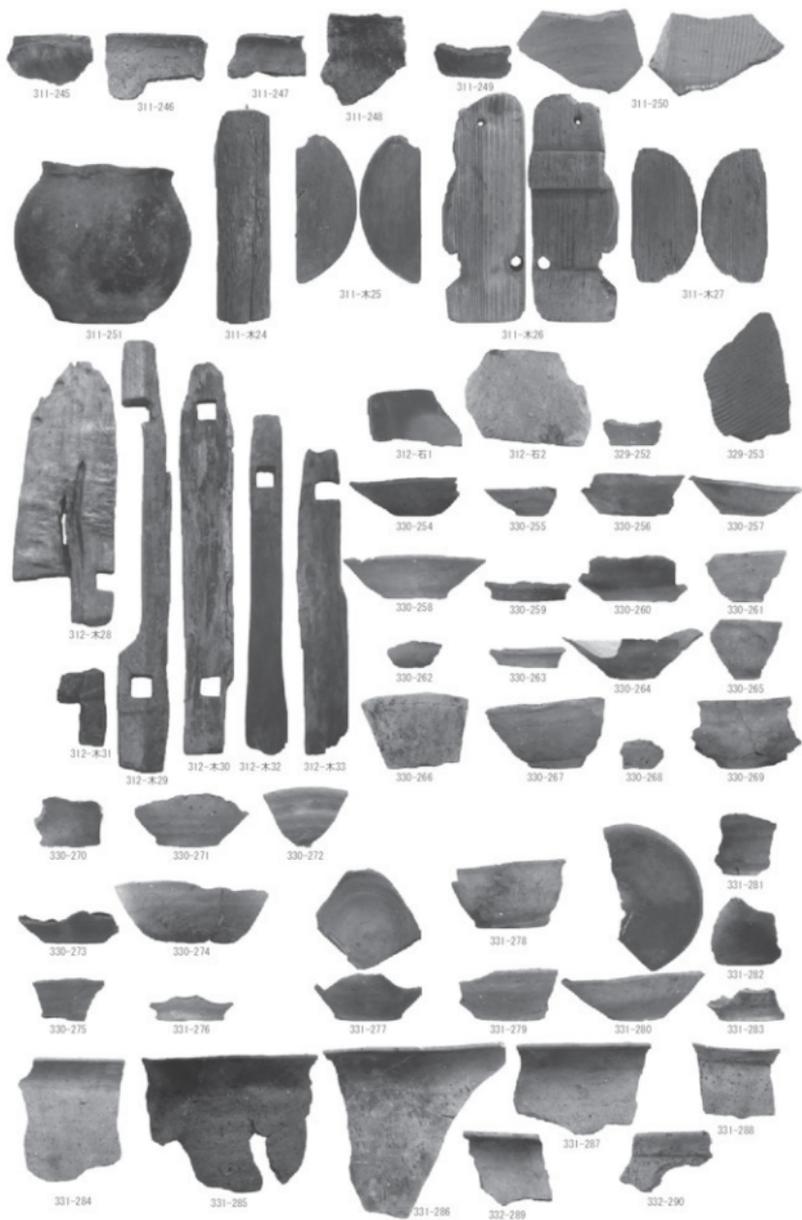
写真図版68 中道遺跡出土遺物 3



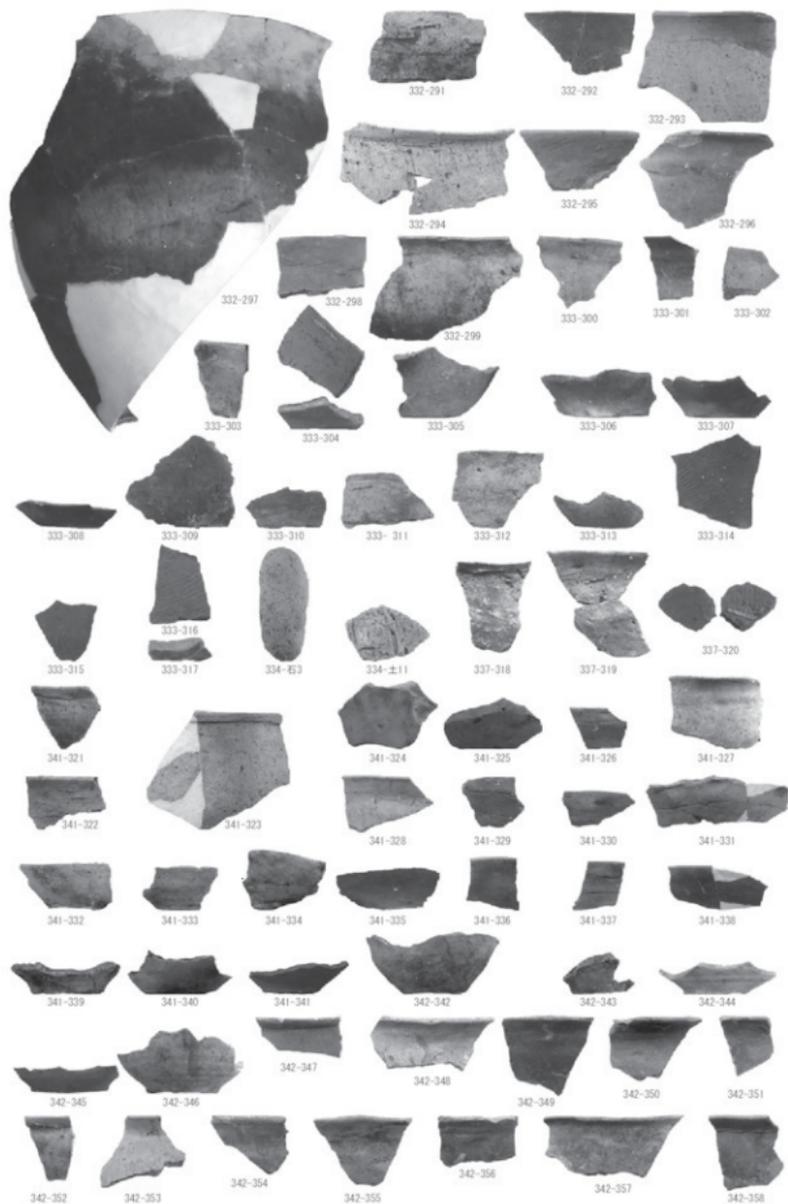
写真図版69 中道遺跡出土遺物 4



写真図版70 中道遺跡出土物5



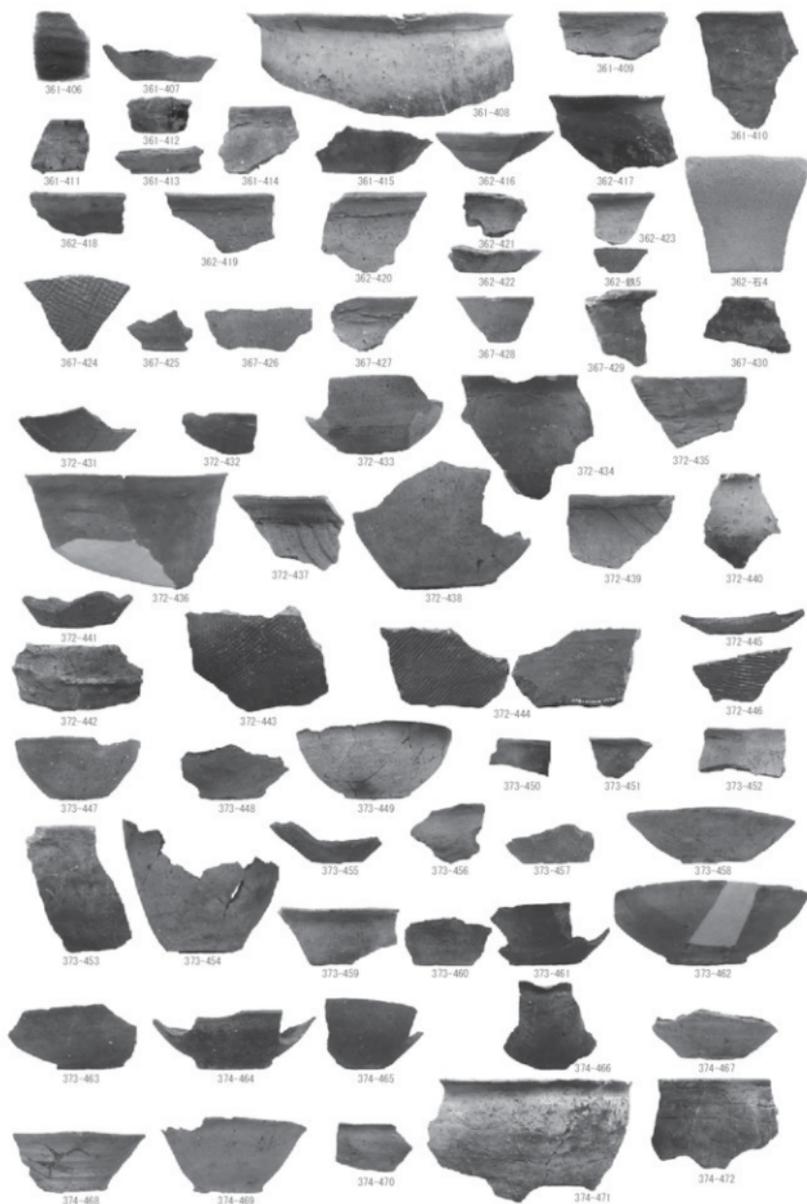
写真図版71 中道遺跡出土遺物 6



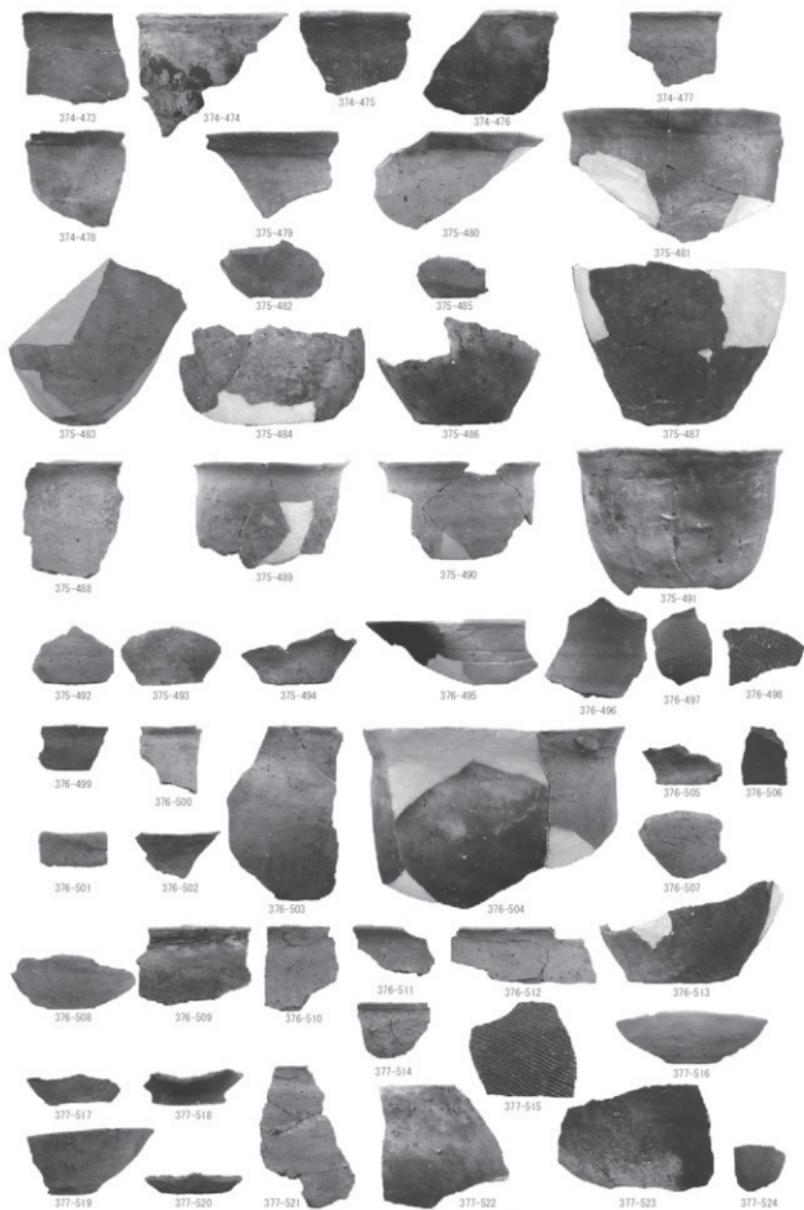
写真図版72 中道遺跡出土遺物 7



写真図版73 中道遺跡出土物 8



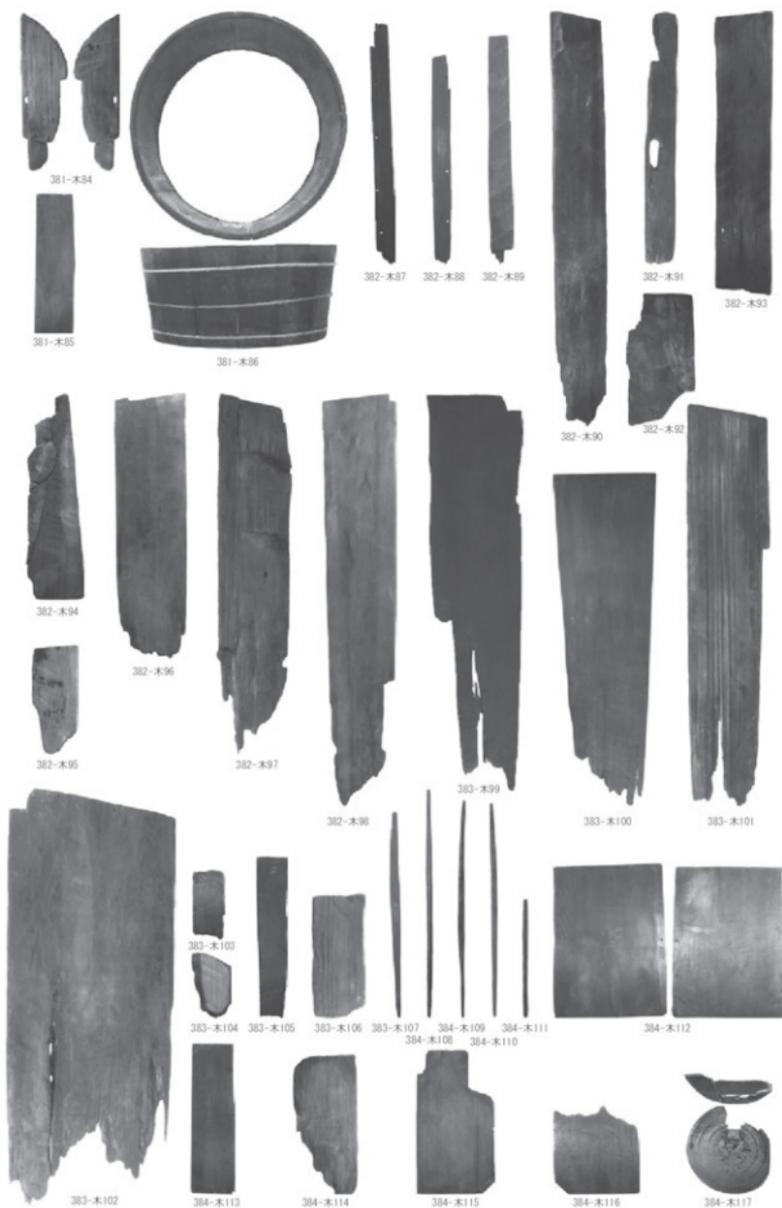
写真図版74 中道遺跡出土遺物9



写真図版75 中道遺跡出土遺物10



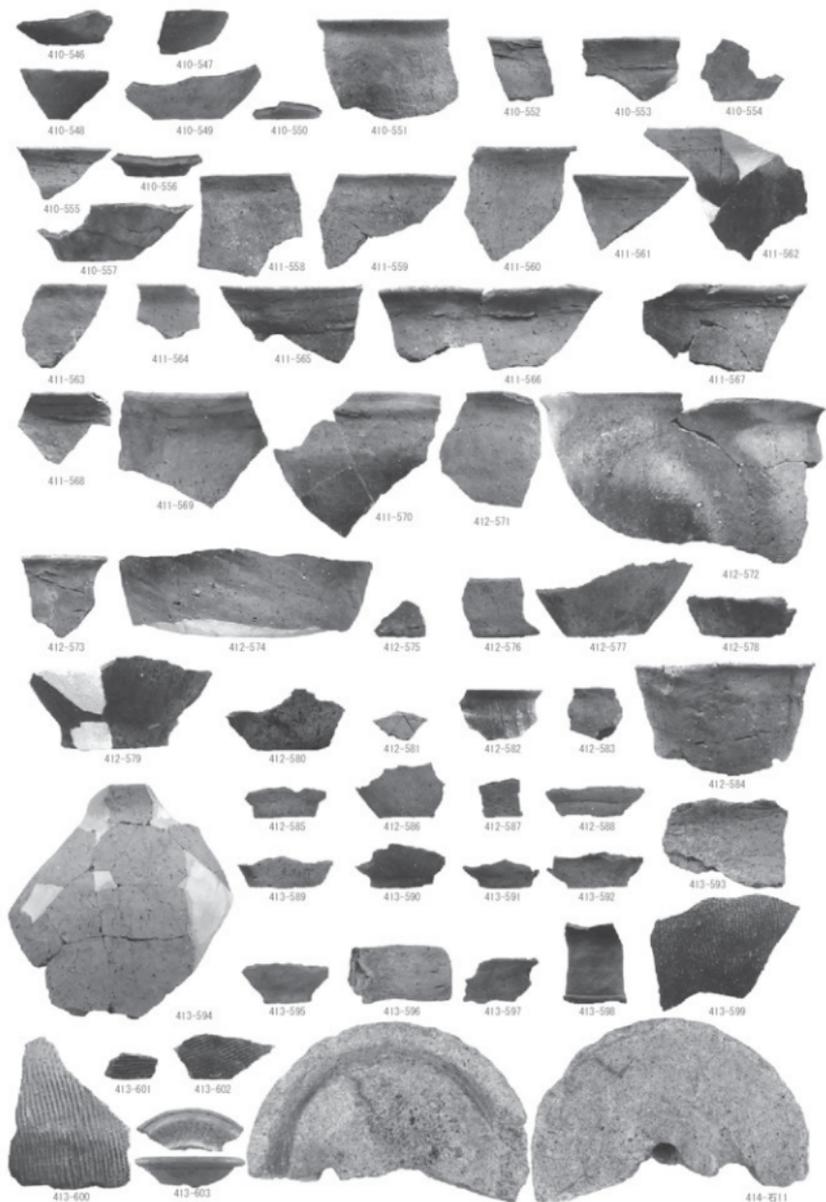
写真図版76 中道遺跡出土遺物11



写真図版77 中道遺跡出土遺物12



写真図版78 中道遺跡出土遺物13



写真図版79 中道遺跡出土遺物14



写真図版80 中道遺跡出土遺物15・東早稲田遺跡出土遺物

報告書抄録

ふりがな	かわはらだていせき・なかみちいせき・ひがしわせたいせきはつくつちょうきほうこくしょ
書名	川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡発掘調査報告書（第二分冊）
副書名	
巻次	
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第120集
編著者名	設楽 政能
編集機関	青森市教育委員会
所在地	〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号 TEL 017-761-4796
発行年月日	西暦2017年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (IGD2000)		調査機関	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
中道遺跡	青森市浪岡大字北中野字中道	02201	428	40° 42' 30"	140° 35' 59"	20130822 ～ 20131115 20140522 ～	1,621㎡	佐野沖港線 道路整備事業
東早稲田遺跡	青森市浪岡大字女鹿沢字東早稲田	02201	429	40° 42' 08"	140° 35' 44"	20150413 ～ 20150930	1,542㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
中道遺跡	集落跡	平安 中世 近世以降	掘立柱建物跡 土坑 溝跡 井戸跡 焼土遺構 カマド伏遺構 その他の遺構 ビット	1棟 45基 70条 11基 1基 2基 3基 987基	土 師 器 須 恵 器 擦 文 土 器 陶 磁 器 土 製 品 鉄 製 品 木 製 品 古 銭	平安時代を主体に大溝が伴う集落跡を検出した。		
東早稲田遺跡	散布地	平安 近世以降	土坑 溝跡 ビット	3基 1条 47基	土 師 器 木 製 品 古 銭			
要 約	<ol style="list-style-type: none"> 中道遺跡は青森市浪岡大字北中野字中道、東早稲田遺跡は女鹿沢字東早稲田に位置している。 中道遺跡・東早稲田遺跡は浪岡川によって形成された扇状地の先端部、標高23～30mの地点に位置している。 調査は佐野沖港線道路整備事業に先立ち、平成25～27年度に実施した。 中道遺跡では平成25～26年度の調査の結果、平安時代を主体とする竪穴遺構、掘立柱建物跡、土坑、溝跡、井戸跡、焼土遺構、カマド伏遺構、ビットを検出したほか、土師器、須恵器、擦文土器、陶磁器、土製品、木製品、鉄関連遺物、古銭が出土した。東早稲田遺跡では平成27年度の調査の結果、土坑、溝跡、ビットのほか、土師器、木製品、古銭が出土した。 							

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財 1	1962	『三内遺跡発掘調査概報』	青森市埋蔵文化財調査報告書	
"	2	1965	『四ツ石遺跡調査概報』	"
"	3	1967	『玉清水遺跡調査概報』	"
"	4	1970	『三内丸山遺跡調査概報』	"
"	5	1971	『野木遺跡調査報告書』	"
"	6	1971	『玉清水田遺跡発掘調査報告書』	"
"	7	1971	『大瀨遺跡調査報告書』	"
"	8	1973	『孫内遺跡発掘調査報告書』	"
"		1979	『笹沢遺跡』	"
"		1983	『四戸橋遺跡調査報告書』	"
青森市の埋蔵文化財	1983	『山野跡遺跡』	"	
"	1985	『長森遺跡発掘調査報告書』	"	
"	1986	『田茂木野遺跡発掘調査報告書』	"	
"	1987	『横内城跡発掘調査報告書』	"	
"	1988	『三内丸山1遺跡発掘調査報告書』	"	
青森市埋蔵文化財調査報告書			"	
"	第16集	1991	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第17集	1992	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	"
"	第18集	1993	『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』	"
"	第19集	1993	『市内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第20集	1993	『小牧野遺跡発掘調査概報』	"
"	第21集	1994	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第22集	1994	『小三内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第23集	1994	『三内丸山(2)・小三内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第24集	1995	『横内遺跡・横内(2)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第25集	1995	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第26集	1995	『坂家(2)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第27集	1996	『坂家(1)遺跡発掘調査概報』	"
"	第28集	1996	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第29集	1996	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第30集	1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』	"
"	第31集	1997	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第32集	1997	『坂家(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"
"	第33集	1997	『新町野遺跡試掘調査報告書』	"
"	第34集	1997	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第35集	1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第36集	1998	『坂家(1)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第37集	1998	『新町野遺跡発掘調査報告書』	"
"	第38集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』	"
"	第39集	1998	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第40集	1998	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	"
"	第41集	1998	『野木遺跡発掘調査概報』	"
"	第42集	1998	『無沢遺跡発掘調査概報』	"
"	第43集	1999	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"
"	第44集	1999	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第45集	1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	"
"	第46集	1999	『新町野・野木遺跡発掘調査概報』	"
"	第47集	1999	『福山遺跡発掘調査概報』	"
"	第48集	2000	『無沢遺跡発掘調査報告書』	"
"	第49集	2000	『福山遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"
"	第50集	2000	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	"
"	第51集	2000	『坂家(1)・雲谷山吹(3)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第52集	2000	『大矢沢野田(1)遺跡調査報告書』	"
"	第53集	2000	『市内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第54集	2001	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ・野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第55集	2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』	"
"	第56集	2001	『福山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』	"
"	第57集	2001	『福山遺跡発掘調査概報Ⅲ』	"
"	第58集	2001	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"
"	第59集	2001	『市内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第60集	2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』	"
"	第61集	2002	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第62集	2002	『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第63集	2002	『福山遺跡発掘調査概報Ⅳ』	"
"	第64集	2002	『市内遺跡発掘調査報告書』	"
"	第65集	2003	『雲谷山吹(4)～(7)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第66集	2003	『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	"
"	第67集	2003	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第68集	2003	『近野遺跡発掘調査報告書』	"
"	第69集	2003	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅠ』	"
"	第70集	2003	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』	"
"	第71集	2004	『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	"
"	第72集	2004	『福山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	"
"	第73集	2004	『新町野遺跡発掘調査概報』	"
"	第74集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅡ』	"
"	第75集	2004	『江渡遺跡発掘調査報告書』	"
"	第76集	2005	『栄山(3)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第77集	2005	『赤坂遺跡発掘調査報告書』	"
"	第78集	2005	『三内丸山(8)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第79集	2005	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅢ』	"
"	第80集	2005	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査概報』	"
"	第81集	2005	『江江遺跡発掘調査概報』	"
"	第82集	2006	『三内沢部(3)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第83集	2006	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"
"	第84集	2006	『新町野遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"
"	第85集	2006	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』	"
"	第86集	2006	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅣ』	"
"	第87集	2006	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第88集	2006	『史跡高野館遺跡跡地埋蔵品調査書Ⅱ』	"
"	第89集	2006	『鎌原遺跡発掘調査報告書』	"
"	第90集	2007	『月見野(1)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第91集	2007	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅤ』	"
"	第92集	2007	『新町野遺跡発掘調査概報Ⅲ』	"
"	第93集	2007	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第94集	2007	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第95集	2008	『野民(4)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第96集	2008	『葛野遺跡発掘調査報告書』	"
"	第97集	2008	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅥ』	"
"	第98集	2008	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	"
"	第99集	2009	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅦ』	"
"	第100集	2009	『河原野(1)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第101集	2009	『大矢沢野田遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	"
"	第102集	2009	『細地館遺跡発掘調査報告書』	"
"	第103集	2010	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅧ』	"
"	第104集	2010	『長瀬池遺跡発掘調査報告書』	"
"	第105集	2010	『葛野(3)遺跡発掘調査報告書』	"
"	第106集	2010	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	"
"	第107集	2011	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	"
"	第108集	2011	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	"
"	第109集	2011	『市内遺跡発掘調査報告書ⅠⅨ』	"
"	第110集	2012	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅠ』	"
"	第111集	2012	『野民館遺跡発掘調査報告書』	"
"	第112集	2012	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅵ』	"
"	第113集	2013	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅶ』	"
"	第114集	2013	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅡ』	"
"	第115集	2013	『大矢沢野田遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	"
"	第116集	2014	『江江遺跡発掘調査報告書Ⅷ』	"
"	第117集	2014	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅢ』	"
"	第118集	2015	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅣ』	"
"	第119集	2016	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅤ』	"
"	第120集	2017	『川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡発掘調査報告書』	"
"	第121集	2017	『市内遺跡発掘調査報告書ⅡⅥ』	"

青森市埋蔵文化財調査報告書 第120集

**川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡
発掘調査報告書
(第二分冊)**

発行年月日 平成 29 年 3 月 31 日
発 行 青 森 市 教 育 委 員 会
〒038-8505 青森市柳川二丁目1番1号
TEL 017-761-4796
印 刷 青 森 オ フ セ ッ ト 印 刷 株 式 会 社
〒030-0802 青森市本町2丁目11-16
TEL 017-775-1431
